鹿児島県立埋蔵文化財センター発掘調査報告書(203)

県道伊集院蒲生溝辺線改築に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

木佐木原（きさきばる）遺跡

（姶良市蒲生町）

2020年3月

鹿児島県立埋蔵文化財センター



遺跡全景（奥には米丸マール）



木佐木原遺跡　出土遺物

序　文

本報告書は，県道伊集院蒲生溝辺線改築事業に伴って，平成27～28年度にかけて実施した姶良市蒲生町上久徳に所在する木佐木原遺跡の発掘調査の記録です。

本遺跡では，縄文時代から近世にかけての多くの遺構・遺物が発見されました。狭小な調査範囲にも関わらず，縄文時代中期後半～後期前半の遺物が大量に出土したことは特筆すべき成果です。遺跡の立地や縄文時代の物流を示す遺物は，南九州における縄文時代中期後半～後期前半の状況を示す良好な資料となりました。

さらに，本遺跡が米丸マールや住吉池などの火山に囲まれた立地であり，調査区全体で米丸マールの噴出物が厚く堆積していることが判明し，中世期には噴出物（岩盤層）を利用した遺構も確認されました。

本報告書が，県民の皆様をはじめ多くの方々に活用され，地域に所在する埋蔵文化財の持つ多様の価値をご理解いただくとともに文化財の普及・啓発の一助となれば幸いです。

最後に，調査にあたり，ご協力をいただいた県土木部道路建設課，姶良・伊佐地域振興局，姶良市教育委員会，ならびに発掘調査・整理作業に従事された方々に厚くお礼申し上げます。

令和２年　３月
鹿児島県立埋蔵文化財センター
所長　前迫亮一

報　告　書　抄　録

ふりがな	ささきばるいせき
書　　名	木佐木原遺跡
副 書 名	一般県道伊集院蒲生溝辺線改築に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
シリーズ名	鹿児島県立埋蔵文化財センター発掘調査報告書
シリーズ番号	203
編 著 者 名	黒木梨絵・宮﨑大和
編 集 機 関	鹿児島県立埋蔵文化財センター
所 在 地	〒899-4318　鹿児島県霧島市国分上野原縄文の森２番１号　　TEL 0995-48-5811
発行年月日	2020年３月

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村	コード 遺跡番号	北緯	東経	調査期間	調査面積 (m²)	調査起因
ささきばる 木佐木原	かごしまけん 鹿児島県 あいらし 姶良市 かもうちょう 蒲生町 かみぎゅうとく 上久徳	462250	225-232	31° 76′ 149″	130° 57′ 740″	**確認調査** 201402 201407 **本調査** 20150703～ 20150928 20160509～ 20161111	810 4,740 (計5,550)	一般県道伊集院蒲生溝辺線改築に伴う埋蔵文化財発掘調査

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
木佐木原	散布地	縄文	土坑１基 炉跡１基	縄文前期土器（曽畑式・轟式） 縄文中～後期土器（春日式～指宿式）	
		縄文中期後半～後期		打製石鏃，石匙，石錐，掻器，石核，，磨製石斧，磨石，敲石，石皿，軽石加工品	
		弥生・古墳			
		古代	炉跡２基	土師器，須恵器，土錘	
		中世	掘立柱建物跡２棟 竪穴建物跡１軒 炉跡（カマド状遺構）１基 土坑７基 柱穴群	土師器，青磁，白磁，青花，石塔	
		近世	土坑１基 溝状遺構（畝間状）10条	陶磁器（薩摩焼ほか）	

遺跡の概要

木佐木原遺跡は，縄文時代から古代・中世・近世にわたる複合遺跡である。

このうち，縄文時代では中期後半～後期前半の遺物を主体に，約20万点以上の遺物が出土した。中期後半から後期前葉までがまとまって出土したことで南九州屈指の豊富な資料が得られた。出土した遺物は土器・石器・軽石加工品などで，特に土器においてはバリエーションが豊富で，縄文時代中期後半～後期前半の様相を示す好例として注目される。

そのほか，古代では土師器焼成遺構と考えられる遺構や炉跡が検出されている。中世では米丸マール岩盤層をくり抜いたピット群で構成される掘立柱建物跡や竪穴建物跡が検出されている。近世では岩盤層を掘った畝間と考えられる細い溝状遺構が検出された。

なお，本遺跡内では米丸マールの火砕流堆積物も観察，確認できた。



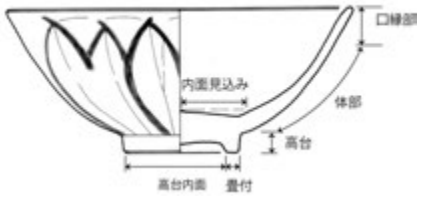
木佐木原遺跡位置図（S＝1：50,000）

例　言

1　本書は一般県道伊集院蒲生溝辺線改築に伴う木佐木原遺跡の埋蔵文化財発掘調査報告書である。
2　本遺跡は姶良市蒲生町上久徳に所在する。
3　発掘調査は，鹿児島県土木部道路建設課（姶良・伊佐地域振興局）から鹿児島県教育委員会が受託し，鹿児島県立埋蔵文化財センターが実施した。
4　発掘調査は平成27･28年度に実施し，整理・報告書作成作業は平成29～31年度に鹿児島県立埋蔵文化財センターで実施した。
5　掲載遺物番号は通し番号とし，本文，挿図，表，図版の番号は一致する。
6　遺物注記等で用いた記号は「ＫＳＫ」である。
7　挿図の縮尺は，挿図ごとに示した。
8　本書で用いたレベル数値は海抜絶対高である。
9　本書で使用した方位はすべて真北である。
10　発掘調査における実測図作成及び写真撮影は，調査担当者が行った。また，空中写真の撮影は（株）ふじた・（有）スカイサーベイ九州に委託した。
11　石器の実測は（株）パスコ，（株）九州文化財研究所，（株）島田組に一部委託した。
12　遺構図等の作成及びトレースは黒木梨絵が整理作業員の協力を得て行った。
13　出土遺物の実測・トレースは，黒木・宮﨑大和が作業員の協力を得て行った。
14　出土遺物の写真撮影は，西園勝彦・鮫島えりなが行った。
15　本書に係る自然科学分析は，炭素年代測定は（株）加速器分析研究所，（株）古環境研究センターに委託し,樹種同定，テフラ分析，植物珪酸体分析を（株）古環境研究センターに委託した。
　また，成尾英仁氏・下司信夫氏に玉稿を賜った。
16　陶磁器の分類および編年は以下の文献を参考にした。
中世前期：大宰府分類（太宰府市教育委員会編2000）
中世後期：青磁 上田分類（1982）
　白磁 森田分類（1982）
　青花 小野分類（1982）

上田秀夫1982「14～16世紀の青磁碗の分類について」『貿易陶磁器研究』２，pp.55-70
小野正敏1982「15～16世紀の染付碗，皿の分類とその年代」『貿易陶磁器研究』２，pp.71-87
大宰府市教育委員会編2000「大宰府条坊跡XV－陶磁器分類編ー』大宰府市の文化財第49集
森田勉1982「14～16世紀の白磁の分類と編年」『貿易陶磁器研究』２，pp.10-33

17　本書で用いた陶磁器の表現は次のとおりである。



18　観察表に記した色調は，農林水産省農林水産技術会議事務局監修・財団法人日本色彩研究所色票監修『新版　標準土色帖』のマンセル記号で表記している。
19　本書の編集は黒木が担当し，執筆分担は下記のとおりである。
　第１・２章　黒木
　第３章　　黒木・宮﨑
　第４章　　各分析者，成尾・下司
　第５章　　黒木
20　本書に係る出土遺物及び実測図，写真等の記録は鹿児島県立埋蔵文化財センターで保管し，展示活用を図る予定である。
　なお，調査中に行った土層の剥ぎ取りも鹿児島県立埋蔵文化財センターで保管している。



中央トレンチ土層剥ぎ取り

凡　例

1　遺構名については調査時に遺構名を付与後，欠番にしたものがあり，報告書掲載のため便宜上新たな遺構名を付与し，掲載番号とした。右表を参照にされたい。

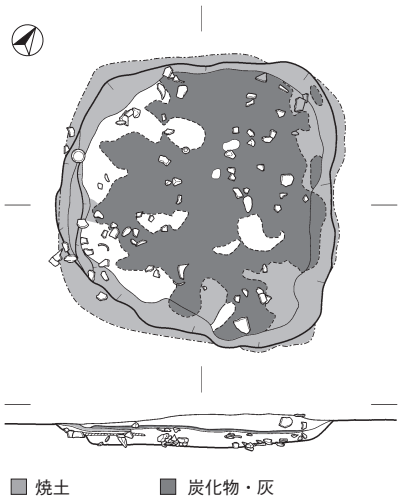
　なお，原資料（図面・遺物・写真等）の注記には，調査時の旧遺構名で記載されている。

掲載名	旧遺構名
SK1	SK6.7
SK2	SK11
SK3	SK1
SK4	SK4
SK5	SK5
SK6	SK9
SK7	SK8
SK8	SK10

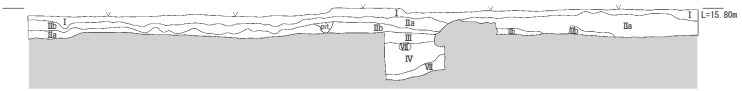
掲載名	旧遺構名
SL1	SL2
SL2	SL4
SL3	SL5
SL4	SL1
SI1	SI1
SB1	SB1
SB2	SB2

掲載名	旧遺構名
SD1	轍状遺構
-	SD2
-	SD3
-	SD4

2　本書で用いる遺構については次のとおりである。



3　Ⅷ層（米丸マール岩盤層）はアミカケで表現した。

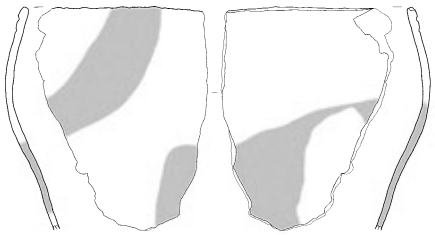


4　土器の表現については次のとおりである。

滑石混入土器



赤色顔料付着



5　本書で使用した石材は担当者が下記の基準で分類した。下記以外の石材については観察表に記載してある。

石材分類

石材		分類	特　　徴
黒曜石	OB	Ⅰ	不純物を多く含み，漆黒で光を通さないもの。上牛鼻の原産地資料に類似する。
		Ⅱ	光を通し，不純物を大量に含むもの。三船・長谷・日東などの原産地資料に類似する。
		Ⅲ	飴色～黒色を基調とし，不純物をほとんど含まないもの。桑ノ木津留，霧島系の原産地資料に類似する。
		Ⅳ	青灰色～黒色で不純物の少ないもの。針尾中町，淀姫，腰岳等の西北九州の原産地資料に類似する。
安山岩	AN	灰色で白色の長石や黒色の輝石の斑晶が入ったもの。	
凝灰岩	TU	灰色・灰白色で，火山灰や火山砂などが堆積して凝固したもの。	
蛇紋岩	SE	濃緑色で，ぬめっとした肌触りを有し，光沢があるもの。	
頁岩	SH	黒色～灰色で，珪質分がなく無光沢で白色の節理があるもの。	
砂岩	SA	灰色～ベージュ系の色で，砂粒・石英粒が集合して固まったもの。	
ホルンフェルス	HF	硬質化が著しく，鉱物が相累なって帯状もしくは斑状を成すもの。	
めのう系	CC	めのう・玉髄・石英・タンパク石・鉄石英を含めたもの。	
チャート	CH	灰白色で，珪酸を含み光沢感を有するもの。	

本　文　目　次

第Ⅰ章　発掘調査の経過 ・・・・・・・・・・・・・・・1
第１節　調査に至るまでの経緯・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
第２節　調査の体制と経過・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
第３節　整理・報告書作成・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3

第Ⅱ章　歴史的・地理的環境 ・・・・・・・・・・・・・4
第１節　地理的環境・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
第２節　歴史的環境・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4

第Ⅲ章　調査の方法と成果 ・・・・・・・・・・・・・・8
第１節　調査の方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8
第２節　層序・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8
第３節　調査の成果 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・17
1　縄文時代の成果 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・17
2　弥生・古墳時代の調査・・・・・・・・・・・・・・・・・・・155
3　古代の調査 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・155
4　中世の調査 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・157
5　近世の調査 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・169

第Ⅳ章　自然科学分析 ・・・・・・・・・・・・・・・197
第１節　放射性炭素年代測定・・・・・・・・・・・・・・・・・・197
第２節　樹種同定・植物珪酸体分析・・・・・・・・・・・・・・・208
第３節　テフラ分析・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・218
第４節　木佐木原遺跡の地質 ・・・・・・・・・・・・・・・・・225

第Ⅴ章　総括 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・229
第１節　縄文時代の成果 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・229
第２節　古代・中世の成果 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・231
第３節　遺跡の残存状況等 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・232

写真図版

挿　図　目　次

第１図　試掘トレンチ配置図 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
第２図　本調査範囲図 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
第３図　米丸マール・住吉マールの形成 ・・・・・・・・・・・・・・5
第４図　周辺遺跡位置図 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6
第５図　調査範囲と基本層序対応表 ・・・・・・・・・・・・・・・・9
第６図　土層断面図（１）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10
第７図　土層断面図（２）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11
第８図　土層断面図（３）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12
第９図　土層断面図（４）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・13
第10図　土層断面図（５）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14
第11図　土層断面図（６）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・15
第12図　土層断面図（７）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・16
第13図　縄文時代遺構配置図 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・17
第14図　ＳＫ１・ＳＬ１・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・17
第15図　土器分布図（１）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・19
第16図　土器分布図（２）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・20
第17図　土器分布図（３）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・20
第18図　土器分布図（４）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・21
第19図　１類　轟式・曽畑式土器・・・・・・・・・・・・・・・・・22
第20図　２類　春日式土器（１）・・・・・・・・・・・・・・・・・23
第21図　２類　春日式土器（２）・・・・・・・・・・・・・・・・・24
第22図　２類　春日式土器（３）・・・・・・・・・・・・・・・・・25
第23図　３類　中尾田Ⅲ類土器（１）・・・・・・・・・・・・・・・25
第24図　３類　中尾田Ⅲ類土器（２）・・・・・・・・・・・・・・・26
第25図　３類　中尾田Ⅲ類土器（３）・・・・・・・・・・・・・・・27
第26図　３類　中尾田Ⅲ類土器（４）・・・・・・・・・・・・・・・28
第27図　３類　中尾田Ⅲ類土器（５）・・・・・・・・・・・・・・・29
第28図　３類　中尾田Ⅲ類土器（６）・・・・・・・・・・・・・・・30
第29図　３類　中尾田Ⅲ類土器（７）・・・・・・・・・・・・・・・31
第30図　３類　中尾田Ⅲ類土器（８）・・・・・・・・・・・・・・・32
第31図　３類　中尾田Ⅲ類土器（９）・・・・・・・・・・・・・・・33
第32図　３類　中尾田Ⅲ類土器（10）・・・・・・・・・・・・・・・34
第33図　３類　中尾田Ⅲ類土器（11）・・・・・・・・・・・・・・・35
第34図　４類　大平式土器（１）・・・・・・・・・・・・・・・・・36
第35図　４類　大平式土器（２）・・・・・・・・・・・・・・・・・37
第36図　４類　大平式土器（３）・・・・・・・・・・・・・・・・・38
第37図　５類　並木式土器（１）・・・・・・・・・・・・・・・・・39
第38図　５類　並木式土器（２）・・・・・・・・・・・・・・・・・40
第39図　５類　並木式土器（３）・・・・・・・・・・・・・・・・・41
第40図　５類　並木式土器（４）・・・・・・・・・・・・・・・・・42
第41図　６類　阿高式土器（１）・・・・・・・・・・・・・・・・・43
第42図　６類　阿高式土器（２）・・・・・・・・・・・・・・・・・44
第43図　６類　阿高式土器（３）・・・・・・・・・・・・・・・・・45
第44図　６類　阿高式土器（４）・・・・・・・・・・・・・・・・・46
第45図　６類　阿高式土器（５）・・・・・・・・・・・・・・・・・47
第46図　６類　阿高式土器（６）・・・・・・・・・・・・・・・・・48
第47図　６類　阿高式土器（７）・・・・・・・・・・・・・・・・・49
第48図　６類　阿高式土器（８）・・・・・・・・・・・・・・・・・50
第49図　６類　阿高式土器（９）・・・・・・・・・・・・・・・・・51
第50図　６類　阿高式土器（10）・・・・・・・・・・・・・・・・・52
第51図　６類　阿高式土器（11）・・・・・・・・・・・・・・・・・53
第52図　７類　中津式土器・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・54
第53図　８類　宮之迫式土器（１）・・・・・・・・・・・・・・・・55
第54図　８類　宮之迫式土器（２）・・・・・・・・・・・・・・・・56
第55図　８類　宮之迫式土器（３）・・・・・・・・・・・・・・・・57
第56図　８類　宮之迫式土器（４）・・・・・・・・・・・・・・・・58
第57図　８類　宮之迫式土器（５）・・・・・・・・・・・・・・・・59
第58図　８類　宮之迫式土器（６）・・・・・・・・・・・・・・・・59
第59図　８類　宮之迫式土器（７）・・・・・・・・・・・・・・・・60
第60図　８類　宮之迫式土器（８）・・・・・・・・・・・・・・・・61
第61図　８類　宮之迫式土器（９）・・・・・・・・・・・・・・・・62
第62図　８類　宮之迫式土器（９）・・・・・・・・・・・・・・・・63
第63図　８類　宮之迫式土器（９）・・・・・・・・・・・・・・・・64
第64図　８類　宮之迫式土器（10）・・・・・・・・・・・・・・・・65
第65図　８類　宮之迫式土器（11）・・・・・・・・・・・・・・・・66
第66図　８類　宮之迫式土器（12）・・・・・・・・・・・・・・・・67
第67図　８類　宮之迫式土器（13）・・・・・・・・・・・・・・・・68
第68図　８類　宮之迫式土器（14）・・・・・・・・・・・・・・・・69
第69図　８類　宮之迫式土器（15）・・・・・・・・・・・・・・・・70
第70図　８類　宮之迫式土器（16）・・・・・・・・・・・・・・・・71
第71図　８類　宮之迫式土器（17）・・・・・・・・・・・・・・・・72
第72図　８類　宮之迫式土器（18）・・・・・・・・・・・・・・・・73
第73図　８類　宮之迫式土器（19）・・・・・・・・・・・・・・・・74
第74図　８類　宮之迫式土器（20）・・・・・・・・・・・・・・・・75
第75図　８類　宮之迫式土器（21）・・・・・・・・・・・・・・・・76
第76図　８類　宮之迫式土器（22）・・・・・・・・・・・・・・・・77
第77図　９類　南福寺式土器（１）・・・・・・・・・・・・・・・・78
第78図　９類　南福寺式土器（２）・・・・・・・・・・・・・・・・79
第79図　９類　南福寺式土器（３）・・・・・・・・・・・・・・・・80
第80図　９類　南福寺式土器（４）・・・・・・・・・・・・・・・・81
第81図　10類　出水式土器（１）・・・・・・・・・・・・・・・・・82
第82図　10類　出水式土器（２）・・・・・・・・・・・・・・・・・83
第83図　10類　出水式土器（３）・・・・・・・・・・・・・・・・・84
第84図　10類　出水式土器（４）・・・・・・・・・・・・・・・・・85
第85図　11類　指宿式土器（１）・・・・・・・・・・・・・・・・・86
第86図　底部　上げ底・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・87
第87図　底部　脚台・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・87
第88図　底部　滑石混入・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・88
第89図　底部　端部文様・木葉底・・・・・・・・・・・・・・・・・89
第90図　底部　網代底（１）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・90
第91図　底部　網代底（２）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・91
第92図　その他網代底・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・92
第93図　底部　鯨底（１）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・92
第94図　底部　鯨底（２）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・93
第95図　底部　無文（１）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・94
第96図　底部　無文（２）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・95
第97図　円盤形土製品・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・95
第98図　石器分布図（１）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・97

挿 図 目 次

第99図　石器分布図（２）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・98
第100図　石器分布図（３）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・98
第101図　石鏃（１）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・99
第102図　石鏃（２）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・100
第103図　石錐（１）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・101
第104図　石錐（２）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・102
第105図　石錐（３）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・103
第106図　楔形石器（１）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・104
第107図　楔形石器（２）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・105
第108図　尖頭状石器・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・106
第109図　彫器・異形石器・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・107
第110図　掻器・削器類（１）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・108
第111図　掻器・削器類（２）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・109
第112図　掻器・削器類（３）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・110
第113図　石匙・二次加工・使用痕剥片・・・・・・・・・・・・・・・・・111
第114図　二次加工・使用痕剥片（１）・・・・・・・・・・・・・・・・・112
第115図　二次加工・使用痕剥片（２）・・・・・・・・・・・・・・・・・113
第116図　二次加工・使用痕剥片（３）・・・・・・・・・・・・・・・・・114
第117図　二次加工・使用痕剥片（４）・・・・・・・・・・・・・・・・・115
第118図　二次加工・使用痕剥片（５）・・・・・・・・・・・・・・・・・116
第119図　石核Ⅰ類（１）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・117
第120図　石核Ⅰ類（２）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・118
第121図　石核Ⅱ類（１）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・119
第122図　石核Ⅱ類（２）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・120
第123図　石核Ⅲ類（１）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・121
第124図　石核Ⅲ類（２）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・122
第125図　石核Ⅳ類（１）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・123
第126図　石核Ⅳ類（２）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・124
第127図　磨製石斧（１）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・125
第128図　磨製石斧（２）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・126
第129図　磨製石斧（３）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・127
第130図　磨製石斧（４）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・128
第131図　磨製石斧（５）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・129
第132図　磨製石斧（６）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・130
第133図　磨製石斧（７）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・131
第134図　磨製石斧（８）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・132
第135図　磨石・敲石（１）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・133
第136図　磨石・敲石（２）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・134
第137図　磨石・敲石（３）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・135
第138図　磨石・敲石（４）・台石・石皿（１）・・・・・・・・・・・・・136
第139図　台石・石皿（２）・砥石・・・・・・・・・・・・・・・・・・・137
第140図　二次加工剥片・使用痕剥片・・・・・・・・・・・・・・・・・・138
第141図　その他の石器類・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・139
第142図　軽石製品（１）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・140
第143図　軽石製品（２）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・141
第144図　軽石製品（３）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・142
第145図　軽石製品（４）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・143
第146図　軽石製品（５）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・144
第147図　軽石製品（６）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・145
第148図　軽石製品（７）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・146
第149図　軽石製品（８）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・147
第150図　軽石製品（９）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・148
第151図　軽石製品（10）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・149
第152図　軽石製品（11）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・150
第153図　軽石製品（12）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・151
第154図　軽石製品（13）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・152
第155図　軽石製品（14）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・153
第156図　弥生・古墳時代出土遺物・・・・・・・・・・・・・・・・・・・155
第157図　古代　遺構配置図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・155
第158図　SL２　遺構・出土遺物・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・156
第159図　SL３　遺構・出土遺物・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・156
第160図　古代　出土遺物（１）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・158
第161図　古代　出土遺物（２）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・159
第162図　中世　遺構配置図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・160
第163図　SB１（掘立柱建物跡）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・161
第164図　SB２（掘立柱建物跡）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・161
第165図　SI１（竪穴建物跡）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・162
第166図　SL４（カマド状遺構）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・163
第167図　SK２・３・４（土坑）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・164
第168図　SK５・６・７（土坑）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・165
第169図　ピット群（Ｐ１～４）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・166
第170図　中世の遺物（１）（土師器・白磁）・・・・・・・・・・・・・・167
第171図　中世の遺物（２）（陶磁器・石塔）・・・・・・・・・・・・・・168
第172図　近世　遺構配置図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・169
第173図　ＳＫ８（土坑）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・169
第174図　ＳＤ1（溝状遺構）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・170
第175図　近世の遺物・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・171
第176図　暦年較正年代グラフ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・198
第177図　測定１　暦年較正年代グラフ・・・・・・・・・・・・・・・・・202
第178図　測定１　暦年較正年代グラフ・・・・・・・・・・・・・・・・・203
第179図　測定２　暦年較正年代グラフ・・・・・・・・・・・・・・・・・205
第180図　炭素・窒素安定同位体比グラフ（参考）・・・・・・・・・・・・206
第181図　炭素・窒素安定同位体比グラフ（参考）・・・・・・・・・・・・206
第182図　樹種同定結果（木材１）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・209
第183図　樹種同定結果（木材２）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・210
第184図　試料採取箇所・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・212
第185図　植物珪酸体分析結果１・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・214
第186図　植物珪酸体分析結果２・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・215
第187図　木佐木原遺跡の植物珪酸体分析・・・・・・・・・・・・・・・・217
第188図　テフラ分析結果２・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・221
第189図　テフラ分析結果３・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・222
第190図　テフラ分析結果４・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・223
第191図　テフラ分析結果５・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・224
第192図　遺跡の模式地質柱状図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・225
第193図　アカホヤ（K-Ah）直下の砂層（Ｓ）・・・・・・・・・・・・・226
第194図　桜島北岳噴出物Ｐ５の対比・・・・・・・・・・・・・・・・・・226
第195図　左：覆瓦構造　矢印は噴砂脈　右：モールトラック状構造・・・227
第196図　砂層中の火山ガラスの化学組成・・・・・・・・・・・・・・・・228
第197図　噴砂脈の平面と断面・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・228
第198図　変容形・折衷形土器・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・230
第199図　木佐木原遺跡の土器変遷・遺跡分布図・・・・・・・・・・・・・231
第200図　遺跡の残存状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・232

表　目　次

第１表　周辺遺跡一覧表・・・

第Ⅰ章　発掘調査の経過

第１節　調査に至るまでの経緯

鹿児島県教育委員会は，文化財の保護・活用を図るため，各開発関係機関との間で，事業区域内における文化財の有無及びその取り扱いについて協議し，諸開発との調整を図っている。

一般県道伊集院蒲生溝辺線改築については，事業実施に先立つ照会により対象地に木佐木原遺跡が所在することが判明し，鹿児島県土木部道路建設課（以下，道路建設課）と鹿児島県教育庁文化財課（以下，県文化財課）はその取扱いについて協議を行った。

この結果をもとに，道路建設課・県文化財課・県立埋蔵文化財センター（以下，県立埋文センター）で協議した結果，対象区域内の遺跡の有無，範囲と性格を把握するために当該地域において試掘調査を実施することとなった。

試掘調査は，平成26年２月と平成26年７月の２回，県文化財課が実施した。試掘トレンチは６か所設定し，内２か所（３T・５T）のトレンチで遺物を確認した。

そこで，道路建設課・県文化財課・県立埋文センターは再度協議を行い，記録保存のための本調査を行うことなり，平成27・28年度に実施した。

平成27年度の調査は，７月３日～９月28日（実働45日）の３か月実施した。当初計画では，表面積680㎡（延面積2,040㎡）の調査を行う予定であったが，①旧地形が非常に複雑で層堆積や地形の把握に時間を要したこと，②縄文時代中・後期の包含層の層厚が想定より1.3倍厚く，遺物密度が非常に高かったことから，県文化財課と協議を行い，表面積680㎡（延面積810㎡）の調査計画に変更した。

平成28年度は平成27年度の続きから調査を行った。平成28年度の調査期間は５月９日～11月11日（実働103日）である。調査計画では，表面積2,050㎡（延面積5,940㎡）を行う予定であった。調査範囲の確認のため，調査初期段階で，Ｅ・Ｆ－13・14区に確認トレンチを設定し，試掘を行ったところ遺物・遺構が確認されなかったことから，調査区を表面積1,650㎡，延面積4,740㎡に変更し，本調査を実施した。

第２節　調査の体制と経過

１　試掘調査

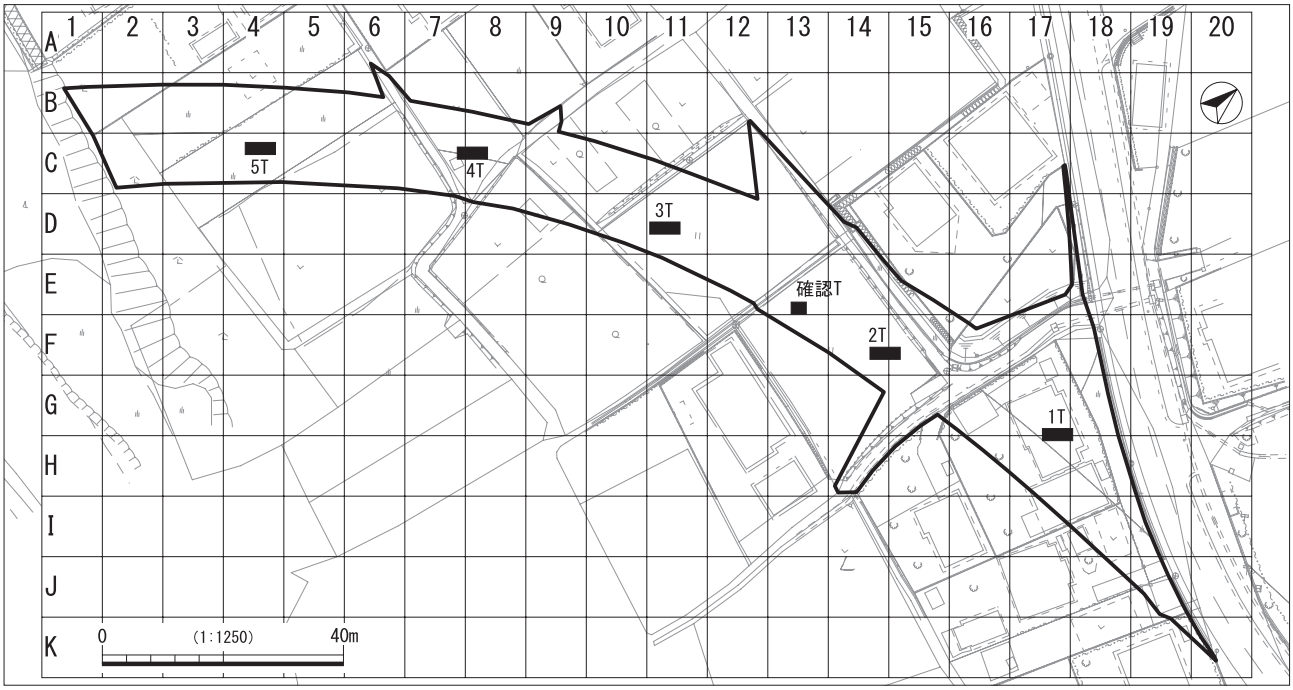
平成25・26年度

事業主体	鹿児島県土木部道路建設課	
	姶良・伊佐地域振興局	
調査主体	鹿児島県教育委員会	
調査担当	県教育庁文化財課	
	文化財主事	馬籠　亮道
	鹿児島県立埋蔵文化財センター	
	文化財主事	吉元　輝幸
調査協力	姶良市教育委員会社会教育課	
	主任主査	深野　信之
	姶良・伊佐地域振興局	
	土木建築課技術主査	脇　　俊一

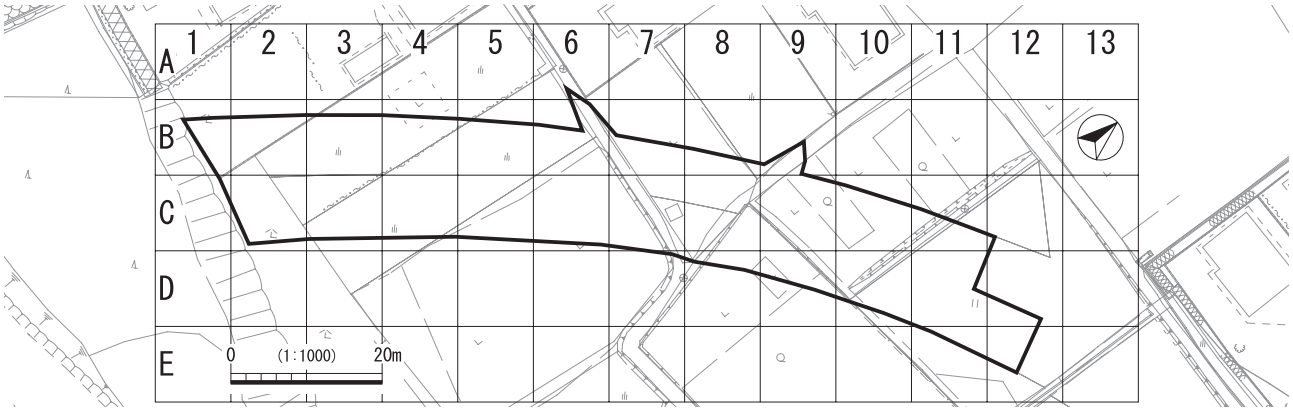
２　本調査

平成27年度

事業主体	鹿児島県土木部道路建設課
	姶良・伊佐地域振興局
調査主体	鹿児島県教育委員会
調査統括	鹿児島県立埋蔵文化財センター



第１図　試掘トレンチ配置図



第２図　本調査範囲図

	所長	福山　徳治
調査企画	鹿児島県立埋蔵文化財センター	
	次長兼調査課長	前迫　亮一
	総務課長	高田　　浩
	第二調査係長	今村　敏照
調査担当	鹿児島県立埋蔵文化財センター	
	文化財主事	本髙　謙治
	文化財研究員	眞邉　　彩
事務担当	総務係長	脇野　幸一
	主　　事	丸野　将輝

平成28年度

事業主体	鹿児島県土木部道路建設課	
	姶良・伊佐地域振興局	
調査主体	鹿児島県教育委員会	
調査統括	鹿児島県立埋蔵文化財センター	
	所長	福山　徳治
調査企画	鹿児島県立埋蔵文化財センター	
	次長兼調査課長	前迫　亮一
	総務課長	高田　　浩
	第二調査係長	今村　敏照
調査担当	鹿児島県立埋蔵文化財センター	
	文化財主事	本髙　謙治
	文化財研究員	黒木　梨絵
事務担当	総務係長	脇野　幸一
調査指導	鹿児島大学名誉教授	大木　公彦

３　調査の経過

平成27年度（7月3日～9月28日）

７月　環境整備，測量杭打設，Ｂ・Ｃ－１～５区Ⅱa・Ⅲ層掘り下げ，精査，遺物取上，Ｃ－３～５区先行トレンチ（下層確認）掘り下げ

８月　Ｂ・Ｃ－４・５区Ⅱa・b層掘り下げ，遺物取上，Ｃ－５区ピット1検出状況写真撮影，調査区範囲測量，Ｃ－５区Ⅳ層上面掘り下げ，米丸スコリア堆積状況確認，Ｂ－４区先行トレンチ焼土検出，Ｃ－５区下層確認トレンチ設定・掘り下げ，Ｂ－５区炉跡遺構検出状況写真撮影，インターンシップ（５日），埋蔵文化財職員養成講座：初級講座（19日），姶良地区小・中学生発掘体験・姶良地区新規採用教職員現場見学（26日）

９月　小グリッドメッシュ設定，Ｂ・Ｃ－２区Ⅲ・Ⅳ層掘り下げ，Ｂ・Ｃ－２・３区東西先行トレンチ掘り下げ，Ｃ－４区遺物集中区周辺精査，遺物取上，Ｂ・Ｃ－２区ＳＫ01～03，Ｃ－3区ＳＫ04～07検出状況写真撮影・調査，空撮

平成28年度

４月　表土剥ぎ

５月　環境整備，Ｂ・Ｃ－３～６区小グリッド設定，Ⅱc・Ⅲ層掘り下げ，遺物取り上げ，ＳＬ01検出・掘り下げ・実測，ＳＩ01掘り下げ，Ｅ－12区確認トレンチ調査，Ｃ－４・５区ピット調査

６月　Ｂ・Ｃ－３～６区Ⅱc・Ⅲ・Ⅳ層掘り下げ，遺物取り上げ，Ｃ－４・５区ピット群調査・実測，ＳＫ07・08検出・調査・実測，ＳＬ01掘り下げ・実測・写真撮影，ＳＩ01掘り下げ・実測・写真撮影・埋土ウォーターセパレーション，Ｂ－５・６区溝状遺構検出・実測

７月　Ｂ・Ｃ－７・８区Ⅱb層掘り下げ，Ｂ・Ｃ－３～６区Ⅲ・Ⅳ層掘り下げ，遺物取り上げ，Ｃ－４～６区下層確認Tr掘り下げ，ＳＩ01炭化木取り上げ作業，Ｂ－４・５区土層断面図実測，Ｂ・Ｃ－７～９区グリッド杭打設，Ｄ・Ｅ－９～12区表土剥ぎ，Ⅱ層掘り下げ

８月　Ｂ・Ｃ－４～６区Ⅲ・Ⅳ層掘り下げ，遺物取り上げ，Ｄ・Ｅ－9～12区Ⅲ・Ⅱ層取り上げ，遺物取り上げ，Ｂ・Ｃ－６区南北ベルト土層断面図，Ｂ・Ｃ－5区中央トレンチ延長掘り下げ，ＳＫ10・11検出・調査・実測，Ｄ・Ｆ－９～13区グリッド杭打設，Ｂ・Ｃ－４～６区地形図実測，調査区全景写真撮影，姶良市体験発掘，イン

ターンシップ（５・18日）

９月　Ｂ・Ｃ－７・８区Ⅳ層掘り下げ，遺物取り上げ，Ｃ・Ｄ－９～12区Ⅲ・Ⅱ層取り上げ，遺物取り上げ，グリッド杭打設，ＳＫ11実測，Ｃ－10区表土剥ぎ，Ｂ・Ｃ－４区噴砂跡実測，ＳＬ04検出・調査・実測

10月　Ｃ・Ｄ－9～11区Ⅱ・Ⅲ層取り上げ，遺物取り上げ，ＳＫ11実測，ＳＬ04・05検出・調査・実測，Ｃ・Ｄ－８・９区地形図測量，蒲生小学校見学（６日），空撮（７日），土層剥ぎ取り（13日）

11月　Ｂ・Ｃ－８～11区調査区全景写真撮影，Ⅱ・Ⅲ層取り上げ，遺物取り上げ，土層断面図実測（調査区北壁・南壁・中央トレンチ）

第３節　整理・報告書作成

本報告書刊行に伴う整理・報告書作成作業は，平成29～31年（令和元年度）にかけて県立埋蔵文化財センターで行った。

出土遺物の水洗い，注記，包含層遺物の仕分け，接合作業，遺物の実測，図面のトレース・レイアウトや遺物写真の撮影，原稿執筆等の編集作業を行った。整理・報告書作成作業に関する調査体制は以下のとおりである。

１　作成体制（平成29年度）

事業主体	鹿児島県土木部道路建設課	
調査主体	鹿児島県教育委員会	
企画調整	鹿児島県教育庁文化財課	
調査統括	鹿児島県立埋蔵文化財センター	
	所長	堂込　秀人
調査企画	次長兼調査課長	大久保浩二
	総務課長	髙田　　浩
	調査課主任文化財主事	
	兼第一調査係長	中村　和美
作成担当	文化財主事	山崎　克之
	文化財主事	池田裕一郎
事務担当	総務係長	草水美穂子
整理指導	国立歴史民俗博物館名誉教授	
		春成　秀爾

２　作成体制（平成30年度）

事業主体	鹿児島県土木部道路建設課	
調査主体	鹿児島県教育委員会	
企画調整	鹿児島県教育庁文化財課	
調査統括	鹿児島県立埋蔵文化財センター	
	所長	堂込　秀人
調査企画	次長兼調査課長	大久保浩二
	総務課長	髙田　　浩
	調査課主任文化財主事	
	兼第二調査係長	宗岡　克英
作成担当	文化財研究員	黒木　梨絵
	文化財研究員	宮﨑　大和
事務担当	総務係長	草水美穂子
整理指導	鹿児島県考古学会会長	本田　道輝
	志布志市教育委員会	相美伊久雄

３　作成体制（平成31年度・令和元年度）

事業主体	鹿児島県土木部道路建設課	
調査主体	鹿児島県教育委員会	
企画調整	鹿児島県教育庁文化財課	
調査統括	鹿児島県立埋蔵文化財センター	
	所長	前迫　亮一
調査企画	次長兼総務課長	野間口　誠
	調査課長	中村　和美
	調査課主任文化財主事	
	兼第一調査係長	宗岡　克英
作成担当	文化財主事	黒木　梨絵
	文化財研究員	宮﨑　大和
事務担当	主幹兼総務係長	草水美穂子
整理指導	熊本大学埋蔵文化財調査センター	
	准　教　授	大坪　志子

報告書作成指導委員会

令和元年６月11日
　中村課長ほか７名
令和元年８月６日
　中村課長ほか７名
令和元年10月２日
　中村課長ほか７名
令和元年11月26日
　中村課長ほか７名

報告書作成検討委員会

令和元年11月27日
　前迫所長ほか６名

第Ⅱ章　歴史的・地理的環境

第１節　地理的環境

木佐木原遺跡が所在する姶良市蒲生町は，鹿児島湾奥の西部の鹿児島県本土の中央部にあたる。姶良市の最西部にあり，北緯31°45’32″，東緯130°34′17″に位置し，東西11.7㎞，南北15.0㎞，総面積79.47㎢である。

町の地形はほぼ三角形を呈し，三方を川に囲まれている。西北には標高400～500ｍの山岳が連なり，東南に向かってなだらかに傾斜して平地が続く。東南の平地は前郷川や別府川が流れ，それらは下久徳で合流し，錦江湾に続いている。

蒲生町の山地・丘陵の間の台地は，複数の火砕流堆積物から構成されている。地表面は，最も新しい入戸火砕流堆積物である。蒲生町東南部の地質は，角閃石安山岩や国分層群が主であり，標高150ｍ以上は軽石層で形成されている。俗に「イワ」といわれる岩層が山岳の間のところどころに露出しており，この層は蒲生層と呼ばれる海成層である。

また，姶良市は姶良カルデラ火山区の一部で構成されており，蒲生地区とその周辺は約8,100年前に噴火した米丸マール，住吉池マール，これらより古い更新世に噴火した青敷山火砕丘からなる単成火山群が分布している。木佐木原遺跡の北西に位置する米丸マールは蒲生町米丸にある直径約１㎞の火口跡で，現在は円形状の窪地で平坦な盆地となっている。北東に位置する住吉池マールは，蒲生町住吉にある直径550m，周囲3.2㎞，面積0.15㎢の火口湖である。

蒲生町の中心部は，米丸マール・住吉池マール噴出物からなる低台地上にあり，これらの火山周辺にはメサ状（卓状）地形がみられる。どちらのマールもランクCの活火山として指定されている。

これらの堆積物は，蒲生町南東部の川東，北下，漆下，大迫，中郷，堂ノ平，上畑南部付近および住吉池周辺に分布している。一般に粗粒火山灰および径３㎝以下のスコリアからなっており，蒲生八幡神社東の露頭では約10ｍ堆積している。木佐木原遺跡の基盤層も米丸マール噴出物堆積層であった。アカホヤ火山灰層より下位に堆積しており，粗粒火山灰の上に硬いスコリア層が厚く堆積して岩盤層のようになっている（詳細は第Ⅲ章第２節層序を参照）。

この米丸マールと住吉池マールは，約8,100年前に噴火しており，当時の海域の汀線近くにマールがあったために，マグマ水蒸気噴火が起こったとされている。縄文海進のピークは約6,000年前だが，湾奥部沿岸域はその後約10ｍ隆起したとされる（森脇ほか1986，大木ほか2001）。

第２節　歴史的環境

姶良市の遺跡は旧石器～近世まで幅広く分布している。

旧石器時代～縄文時代草創期にかけては，蒲生町漆に所在する竹牟礼遺跡で槍形尖頭器が出土している。また草創期の集落遺跡として姶良市西餅田に所在する建昌城跡があり，南九州初期の縄文文化を解明する上で重要な遺跡である。

縄文時代は蒲生町漆に所在する嶺前遺跡が畑耕作時に貝殻条痕文系土器が出土しており，楠ヶ宇都遺跡では石斧と早期貝殻文円筒土器（前平式・桑ノ丸式）や山形押型文土器が出土している（新東1989）。竹牟礼遺跡でも縄文早期・前期・中期・晩期土器が出土している。出土量は少ないが，前期土器（曽畑系）の一部に滑石混入土器片が含まれていたり，中期の阿高式の大片が出土している。

古墳時代では，蒲生町下久徳に所在する下原田遺跡で成川式土器や丹塗の高坏等が出土している。春花遺跡では多量の成川式土器（辻堂原～笹貫式段階）が出土しており，６世紀代の集落跡の可能性が指摘されている。

古代では，古代駅家と推定されていた下久徳に所在する藤坂・禁中遺跡で掘立柱建物跡２棟，溝３条が検出されたほか，鞴の羽口や墨書土器が出土している。

また，別府川の東岸に位置する姶良市船津の春花地区遺跡群（柳ガ迫遺跡，城ヶ崎遺跡，外園遺跡）は，古代蒲生駅家もしくは桑原郡衛の関連遺跡という可能性が指摘されている。

城ヶ崎遺跡では，路面幅3.7～4.7ｍ，道路幅5.9～6.6ｍの道路状遺構が検出された。土師器や越州窯系青磁碗，石製腰帯具，鞴の羽口，北宋銭が出土している。外園遺跡では，掘立柱建物跡や井戸のほか，土師器焼成遺構（8世紀後半～9世紀前半）が検出されており，官衛に付属する土器生産工房であった可能性が指摘されている。

柳ガ迫遺跡は，掘立柱建物跡を構成する柱穴の規模が大きいことや，「足」などのヘラ書き土師器の多量出土，希少な中国陶磁器（越州窯系青磁，白磁，長沙窯系水注）のほか石製腰帯具，焼塩土器等遺物の出土から，一般的な集落ではなく官衛跡の可能性が高いと推定されている（８世紀前半期～10世紀代）。

中世では，蒲生町の長緑遺跡で溝状遺構が検出され，土師器，紡錘車，須恵器，青磁等が出土している。

下久徳に所在する三池原遺跡では，鎌倉時代の溝状遺構と土坑のほか，土師器，須恵器，青白磁等が出土した。古代官衛跡でもある外園遺跡では，掘立柱建物跡とともに８世紀末～16世紀後半までの遺物が出土しているが，おおよそ13世紀中ごろから遺物が減少傾向にある。

また，後郷川南岸の標高162.5ｍの龍ヶ山にある蒲生城跡は，山頂付近に本丸，北尾根に二の丸，麓に三の丸

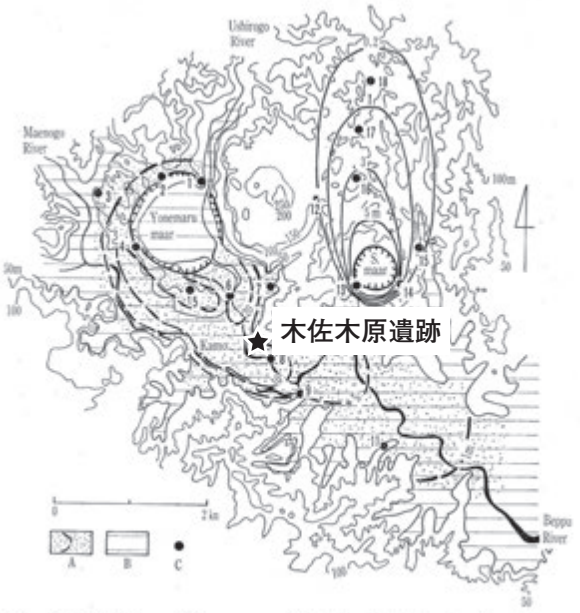


Fig. 2 Distribution of Yonemaru and Sumiyoshi-ike tephra formations.
A: Distribution and isopachs in m of Yonemaru base surge deposit, B: Lowland,
C: Localities of columnar sections shown in Fig. 3, S. maar: Sumiyoshi-ike maar.

第３図　米丸マール・住吉マールの形成（森脇ほか1986引用・改変）

を配し，その周辺に複数の曲輪群が構成される中世城郭である。急崖の阿多火砕流堆積物や入戸火砕流堆積物（シラス）の崖を利用して築城しており，城の東部には溶結凝灰岩の切り立った崖に多くの梵字が刻まれている（「竜ヶ城磨崖一千字梵字仏蹟」（市指定史跡））。

蒲生城は，1123（保安４）年蒲生舜清によって築城され，蒲生氏は代々蒲生城を居城とした。18代蒲生範清は，渋谷祁答院良重と結んで島津貴久と戦ったが，1556年（弘治２)島津貴久によって，蒲生城が攻められ，籠城していた蒲生氏は城に火を放って祁答院氏を頼って逃亡した。

元和の一国一城令後は，薩摩藩の外城制度下に置かれた。蒲生範清・蒲生家臣団が宮之城に逃れた後は，島津義弘が腹心の部下を88人，漆に50人移したとされる（『蒲生野史』，『三国名勝図会』）。慶長～寛永期には現在の蒲生武家屋敷の場所に地頭所・地頭仮屋が置かれ，麓（武士集落）が形成されたといわれる。1699年（元禄12）には『蒲生総廻縄引帳』,1726年（享保11年）には『蒲生衆中屋敷帳』が作成されている（『蒲生御仮屋文書』）。なお，2019年（令和元）５月20日には蒲生麓を含む市内9つの文化財（蒲生麓，蒲生城跡，蒲生御仮屋門，御仮屋犬槙（一ツ葉），蒲生八幡神社，蒲生のクス，太鼓踊り，蒲生の紙漉き，掛橋坂）が日本遺産（「薩摩の武士が生まれた町―武家屋敷群『麓』を歩く―」）に選定された。

1877年（明治10）の西南戦争時には，蒲生は戦場となる。４月29日には官軍が蒲生郷・重富郷・帖佐郷が入り，白煙硝90樽が住吉で見つかり，住吉池に投げ込まれてしまった。また，米丸村に薩軍の砲弾製造所があり，臼砲を製造していた。６～９月にかけて蒲生で攻防戦が繰り広げられたが，薩軍が城山で籠城を決め，最終決戦を行ったことで，蒲生は焦土とはならなかったとされる。

【参考文献】

姶良市誌編集委員会2019『姶良市誌　第1巻先史・古代編・自然編』

姶良市教育委員会2011『柳ガ迫遺跡』姶良市埋蔵文化財発調査報告書第１集

姶良市教育委員会2012『城ヶ崎遺跡・外園遺跡』姶良市埋蔵文化財発掘調査報告書第３集

鹿児島県姶良町教育委員会2004『姶良町内遺跡詳細分布調査報告書』姶良町埋蔵文化財発掘調査報告書第９集

森脇　広・町田　洋・初見祐一・松島義章(1986)「鹿児島湾北岸におけるマグマ水蒸気噴火とこれに影響を与えた縄文海進」『地学雑誌』95

森脇　広・松島義章・町田　洋・岩井雅夫・新井房夫・藤原治　2002「鹿児島湾北西岸平野における縄文海進最盛期以降の地　形発達」『第四紀研究 』41－4

大木公彦・奥野充・三木靖・二之宮ますみ・桑代勲2001「『続日本紀』の噴火記録と隼人三島」『日本第四紀学会講演要旨集』31

新東晃一1989「蒲生町の縄文土器」『南九州縄文通信』2，南九州縄文研究会

蒲生郷土誌編さん委員会1991『蒲生郷土誌』

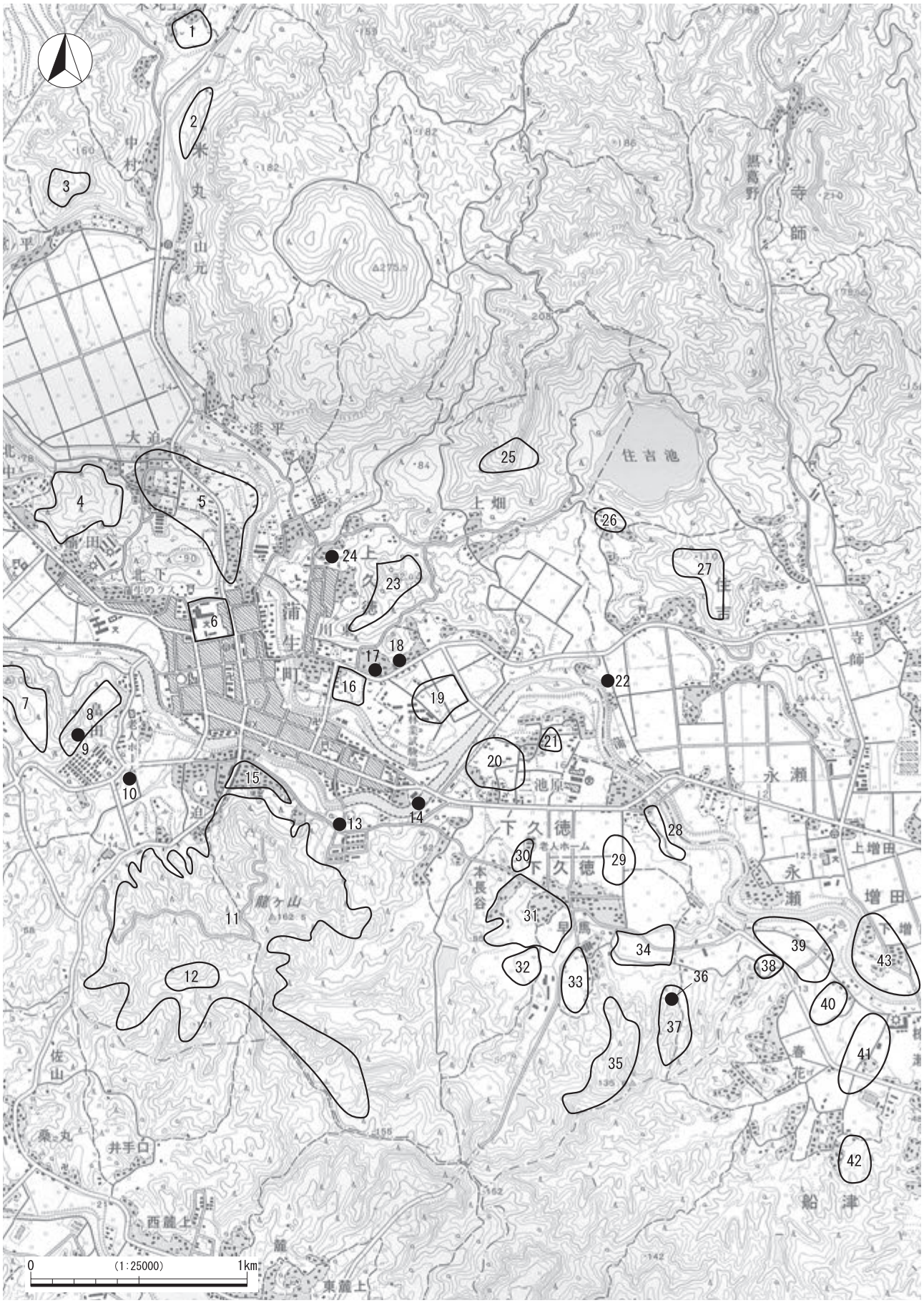
蒲生町教育委員会1994『藤坂・禁中遺跡』

蒲生町教育委員会1995『竹牟礼遺跡』

蒲生町教育委員会1999『長緑遺跡』

蒲生町教育委員会2001『三池原遺跡』

蒲生町教育委員会2001『下原田遺跡』


1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37
38
39
40
41
42
43
住吉池
0
(1:25000)
1km

第４図　周辺遺跡位置図

第１表　周辺遺跡一覧表

番号	遺跡名	所在地	地形	時代	主な出土遺物	備考	遺跡GIS
1	山口田	蒲生町米丸･山口田	台地	古代,中世,近世			H25-225-203-0
2	平之城跡	蒲生町米丸･米丸上	丘陵	中世			H25-225-188-0
3	堂ノ平	蒲生町米丸･堂ノ平	山地	中世			H25-225-189-0
4	菱刈陣跡	蒲生町米丸･大迫～北･陣ヶ丘	丘陵	中世			H25-225-187-0
5	宮内	蒲生町上久徳･宮内	丘陵	古墳時代,古代			H25-225-205-0
6	永興寺跡	蒲生町上久徳･宮内	平地	中世,近世			H25-225-173-0
7	平城跡	蒲生町白男･上之段	丘陵	中世			H25-225-186-0
8	向城跡	蒲生町白男･上之段	丘陵	中世			H25-225-185-0
9	竜譚寺跡	蒲生町久末･畠田	台地	中世			H25-225-178-0
10	重栄寺跡	蒲生町下久徳･迫東	台地	近世,			H25-225-179-0
11	竜ヶ城跡（蒲生城跡）	蒲生町久末･迫上～下久徳･早馬	山地	古代,中世	青磁器，土師器・皿	蒲生町教育委員会 1992 『竹牟礼遺跡/蒲生城二ノ丸跡』蒲生町埋蔵文化財発掘調査報告書1	H25-225-180-0
12	荒平陣跡	蒲生町久末･迫上	山地	中世			H25-225-181-0
13	千手院跡	蒲生町上久徳･迫東	平地	中世			H25-225-174-0
14	蛙ヶ城跡	蒲生町下久徳蛙ヶ城	平地	中世			H25-225-216-0
15	蒲生麓集落跡	蒲生町久末字松木田	平地	近世			H25-225-233-0
16	木佐木原	蒲生町上久徳字木佐木原	平地	縄文時代（中後期）,古代・中世・近世	縄文時代中・後期土器（春日式，大平式，並木式，阿高式，南福寺式，宮之迫式），石器，古代・中世，土師器，中国陶磁器ほか	本報告書	H25-225-232-0
17	正孝庵跡	蒲生町上久徳･川東前	台地	中世			H25-225-175-0
18	神護院跡	蒲生町上久徳･川東前	台地	近世			H25-225-176-0
19	剣御前	蒲生町上久徳･川東前	山地	古墳時代,古代			H25-225-206-0
20	三池原	蒲生町下久徳･三池原	平地	古代	土師器，須恵器，青磁器，陶器	蒲生町教育委員会 2001 『三池原遺跡』蒲生町埋蔵文化財発掘調査報告書5	H25-225-207-0
21	三池原Ⅱ	蒲生町下久徳字三池原	平地	古代,中世			H25-225-230-0
22	住吉	住吉字竹下	平地	縄文時代,古墳時代			H25-225-103-0
23	貝皿陣跡	蒲生町上久徳･川東前	丘陵	中世			H25-225-184-0
24	法寿寺跡	蒲生町上久徳･川東中	台地	中世			H25-225-172-0
25	馬立陣跡	蒲生町上久徳･川東上	山地	中世			H25-225-183-0
26	山下	住吉字山下	山地	古代,中世,近世			H25-225-154-0
27	高城跡	住吉字上高城･下高城	山地	中世			H25-225-120-0
28	下川原	蒲生町下久徳字下川原	平地	中世			H25-225-229-0
29	下原田	蒲生町下久徳･原田	平地	古墳時代,古代	成川式土器，丹塗り高杯，土師器，土錘，須恵器陶器	蒲生町教育委員会 2001 『下原田遺跡』蒲生町埋蔵文化財発掘調査報告書6	H25-225-214-0
30	下久徳	蒲生町下久徳･下久徳	台地	弥生時代			H25-225-170-0
31	樋之口	蒲生町下久徳字樋之口	平地	古代			H25-225-231-0
32	藤坂･禁中	蒲生町下久徳･早馬	台地	古代			H25-225-213-0
33	長緑	蒲生町下久徳･長緑	台地	古墳時代	土師器，土師甕，紡錘車須恵器，青磁器，陶器	蒲生町教育委員会 1999 『長緑遺跡』蒲生町埋蔵文化財発掘調査報告書4	H25-225-208-0
34	平田	蒲生町下久徳字平田及び笛竹	平地	古代,中世			H25-225-228-0
35	尼ヶ城跡	蒲生町下久徳･下久徳下	山地	中世			H25-225-182-0
36	下久徳下	蒲生町下久徳･下久徳下	平地	弥生時代			H25-225-171-0
37	城ヶ崎跡	蒲生町下久徳･下久徳下	丘陵	中世			H25-225-200-0
38	城ヶ崎	船津字城ヶ崎	台地	古墳時代,古代,中世,近世	土師器，須恵器，越州窯系青磁，白磁，石製腰帯具，鉄製品，銭貨（銅銭「景□□宝」）	古代駅路 姶良市教育委員会 2012 『城ヶ崎遺跡・外園遺跡』姶良市埋蔵文化財発掘調査報告書3	H25-225-142-0
39	外園	船津字外園	台地	古墳時代,古代,中世	土師器，須恵器，越州窯系・龍泉窯系・同安窯系青磁，白磁，青白磁，鉄製品，焼塩土器，銭貨（銅銭「崇寧重宝」）	古代駅路・別府川に面して営まれた集落跡 姶良市教育委員会 2012 『城ヶ崎遺跡・外園遺跡』姶良市埋蔵文化財発掘調査報告書3	H25-225-227-0
40	柳ガ迫	船津字柳ガ迫	台地	古代	土師器，須恵器，越洲窯系青磁，白磁，長沙窯系水注，石製腰帯具ほか	工房跡 姶良市教育委員会 2011 『柳ガ迫遺跡』姶良市埋蔵文化財発掘調査報告書1	H25-225-226-0
41	春花	船津字下宮田･一町畠ほか	台地	古墳時代,古代,中世,近世			H25-225-144-0
42	二俣	船津字二俣	山地	古墳時代,古代,中世,近世			H25-225-145-0
43	川畑	船津字川畑･郷屋ほか	平地	古墳時代,古代,中世,近世			H25-225-143-0

第Ⅲ章　調査の方法と成果

第１節　調査の方法

１　発掘調査の方法

調査グリッドは，センター杭No.58（X=-137254.639,Y=-40080.316，Ｂ・Ｃ－２・３のグリッド杭）とNo.59(X=-137238.822,Y=-40068.084，Ｂ・Ｃ－４・５のグリッド杭)を基準に10m間隔のグリッドを設定した。

表土除去は，重機（バックホウ）を使用し，遺物・遺構の検出や精査は人力による掘削を行った。平成27年度は，Ｂ・Ｃ－１～５までの表土を除去し，掘削を行ったが，土層の堆積状況が複雑（米丸マールスコリア層（Ⅷ層）の堆積状況や旧地形の把握が困難）であったことから，調査区中央にトレンチを設定し，先行して掘削を行い，層堆積や旧地形の把握を行うこととした。その結果，基盤層としてⅧ層が調査区に広く堆積し，Ｂ・Ｃ－２・３区とＢ・Ｃ－２・３～５区にかけて米丸マールスコリア層（Ⅷ層）が深く窪んだ谷部に遺物包含層が堆積していることを確認した。

特にⅢ・Ⅳ層（縄文時代包含層）が厚く，遺物密度も非常に高かったため，平成27年度の調査は表面積680㎡，延面積810㎡で調査を終了した。

平成28年度は，平成27年度の続きから調査をはじめ，Ｂ・Ｃ－２～５区のⅢ・Ⅳ層の掘り下げおよびＢ・Ｃ－５～８区の表土除去を行った。Ｂ・Ｃ－２～５区は，地点によって層堆積が異なったため，調査区の北・南壁沿いに下層確認トレンチを設定し，包含層の厚さを確認しながら，掘り下げを行った。Ｂ・Ｃ－１～８区の調査終了後，Ｃ・Ｄ－９～12区の表土を除去し，包含層の調査を行った。

当初，調査区は14区までを予定していたが，試掘調査でＦ－14・15区の１～８区の調査終了後，Ｃ・Ｄ－９トレンチ（２Ｔ）で包含層が確認されなかったこと，さらに調査前にＥ－13区に確認トレンチを設定し，確認を行ったところ遺物・遺構が確認されなかったことから，本調査の範囲をＣ・Ｄ－12区までとした。

Ⅲ・Ⅳ層の遺物包含層から出土した遺物の取り上げについては，基本的にはトータルステーションでの点上げを行ったが，出土量が膨大であったため，Ｂ・Ｃ－３～５区では，１グリッドに１×１ｍの小グリッド，Ｃ・Ｄ－９～11区は５×５ｍの小グリッドを設定し，各小グリッド内で層位別に一括して取り上げた。Ｂ・Ｃ－５～８区はⅡ～Ⅳ層が浅く，表土下約50㎝でⅧ層が検出されたことから，層ごとにグリッド一括で取り上げた。

また，調査区の層堆積が複雑であったため，各地点の各層位の土壌サンプルを採取し，分析資料とした。

２　遺構の認定と調査方法

検出された遺構については，遺構の種類ごとに検出された順で遺構名と遺構番号を付与した。調査の過程で遺構でないと判断されたものについては欠番とした（本報告掲載番号については凡例を参照）。

Ｂ・Ｃ－１～５区では，Ⅱc層（中世）およびⅣ層上面（縄文），Ｃ・Ｄ－９～11区ではⅢ層上面で遺構検出（古代）を実施した。各地点での層堆積や包含層の時期が異なっていたため，遺物の取り上げを行いながら，慎重に遺構の検出を試みた。

遺構は検出された段階で写真撮影・実測を実施した後，土坑や柱穴については半截，竪穴建物跡・カマド状遺構などは土層観察用のベルトを十字に設定し，４分の１区画ずつ掘り下げた。遺構の性格・状況に応じて出土遺物の記録作成や取り上げ，土層堆積状況の断面図等の記録を行った。遺構の認定については埋土の状況や床面の状態，遺物出土状況等を基に判断した。遺構内から出土した有機物（炭化木等）は出土地点を記録し，コンタミネーションがないように慎重に取り上げ，アルミホイルで梱包した。また，有機物が出土した遺構の埋土はベルトで区分けされた箇所ごとにサンプリングし，フローテーションで微細な有機遺物の検出を試みた。

Ｂ・Ｃ－３～５区の中央トレンチではⅧ層をつき破る噴砂等が確認されたことから，北壁・南壁ともに土層の剥ぎ取りを行い，記録を保存することとした。

３　整理作業の方法

遺物の水洗作業は，平成29・30年度に行い，土器や陶磁器，石器類はブラシで水洗いを行った。

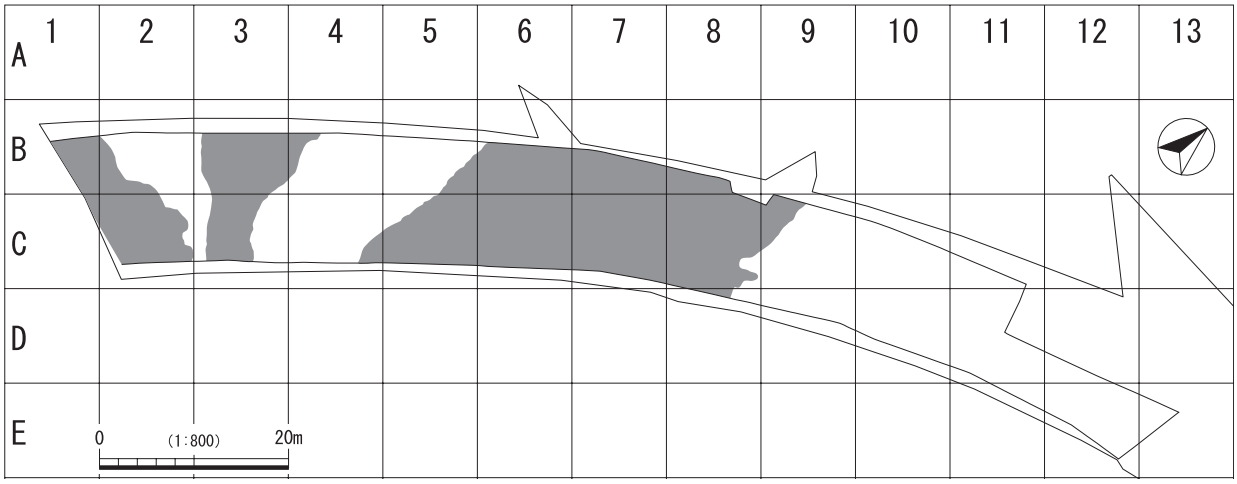
注記は注記記号「KSK」を頭に「区」，「層」，「小グリッド」，「取り上げ番号」を記入した。遺構内出土遺物については，「KSK」の次に「区」，「遺構名」，「取り上げ番号」を記入した。なお，土器の小破片や摩滅が激しいものは注記を省略した。

遺物接合は，平成30年度に行った。土器に関しては区ごとに時期・種類ごとに分類した後，文様や胎土等の特徴を基に再分類を行い，各部位ごとに接合を試みた。なお，出土量が膨大であったため，口縁部・底部の接合を優先的に実施し，胴部や各部位同士での接合は十分な作業ができなかった。

各時期の遺物の分類基準は，時期ごとに異なるため，凡例または各節を参照されたい。

第２節　層序

遺跡の立地が，米丸マールの噴出物堆積層（Ⅷ層）の上に立地していることや旧地形が起伏に富んでいたことから，調査区内での層堆積は一様ではない。よって，遺跡を東西方向に３地点にわけて基本層序を第５図のように整理した。



１～５区

層位	色調等	層厚
Ⅰ	表土：黒色砂質土	20～60㎝
Ⅱ	黒褐色・暗褐色砂質土 弥生～近世:遺物包含層	50～70㎝
Ⅲ	にぶい黄褐粘質土 縄文時代:遺物包含層	10～20㎝
Ⅳa	暗褐色土（P5パミス含む） 縄文時代:遺物包含層	20～30㎝
Ⅳb	黒褐色砂質土	10～20㎝
Ⅴ	黒褐色土	10～20㎝
Ⅵ	アカホヤ火山灰（2次堆積）	15～20㎝
Ⅶ	黒褐色土（白色パミス多く含む）	10㎝
Ⅷa	暗灰黄色砂質土（米丸マール風化土）	20㎝
Ⅷb	米丸マール　スコリア岩盤層	6m＋

６～８区

層位	色調等	層厚
Ⅰ	表土：黒色砂質土	20～90㎝
Ⅱ	黒褐色・暗褐色砂質土 弥生～近世:遺物包含層	20～40㎝
Ⅳ	暗褐色土（P5パミス含む）	20～30㎝
Ⅷa	暗灰黄色砂質土（米丸マール風化土）	20㎝
Ⅷb	米丸マール　スコリア岩盤層	6m＋

９～12区

層位	色調等	層厚
Ⅰa	表土:褐灰色砂質土	15～20㎝
Ⅰb～e	褐灰色・灰黄褐色砂質土（鉄分含） 近現代～近代:旧水田層	60～80㎝
Ⅱa～d	黒褐色・暗褐色土 古代～中世:遺物包含層	50～100㎝
Ⅲa～e	にぶい黄褐色・灰褐色・暗褐色粘質土 縄文時代:遺物包含層	50～100㎝
Ⅳa	暗褐色土（P5パミス含む） 縄文時代:遺物包含層	80～150㎝
Ⅳb	黒褐色砂質土	30～50㎝
Ⅴ	黒褐色土	20～30㎝
Ⅵa・b	アカホヤ火山灰（2次堆積）	10㎝
Ⅶ	黒褐色土（白色パミス多く含む）	10～20㎝
Ⅷa	暗灰黄色砂質土（米丸マール風化土）	10㎝
Ⅷb	米丸マール　スコリア岩盤層	6m＋

第５図　調査範囲と基本層序対応表

本遺跡は旧地形として１～５区，９～12区の２つのⅧ層の落ち込み部があることが大きな特徴である。遺構・遺物はこの２か所から確認された。

後郷川沿いの１～５区に関しては，Ⅷ層の落ち込みが２か所確認された。表土下からすぐにⅧ層が確認された箇所は層堆積が非常に薄い。落ち込み部はⅧ層まで達しており，遺物包含層（Ⅲ層）も良好に残存し，多量の遺物が出土した。Ⅱ層は厚いが様々な時期が包括された層であり，出土遺物も少ない。縄文時代以降については，後世の削平や造成が行われた可能性が高いと考えられる。

６～８区は堆積層が非常に薄く，Ⅱ層除去後はⅧ層の表面が見えるほどであった。そのような層堆積もあり，Ⅷb層（岩盤層）を掘りぬいたピットや溝状遺構が検出された。なお，Ⅱ層（包含層）での出土遺物を非常に少ない。

９～12区は，１～５区よりⅧ層が深く広く落ち込んでいることもあり，本遺跡の中では層堆積が明瞭であった。

他区と比して旧水田層（Ⅰ層）が厚く堆積していた。さらにはⅡ層が厚く残存しており，古代の包含層と遺構が確認された。出土遺物はさして多くない。また旧地形が東に向かって，Ｃ・Ｄ区にかけて傾斜しており，Ｄ－11区が最もⅢ層が厚く堆積していた。そのⅢ層から大量の遺物（縄文）が出土した。また，Ｄ－11区は水分を多く含んでいる粘質土（Ⅲ下層～）が堆積しており，Ⅵ層（Ah）が水性作用により白色を呈していた（箇所によっては湧水もみられた）。Ⅲ層下位で出土した土器は焼成があまいものが粘土状に溶けて出土したものも多く散見され，それ以外の遺物も表面が磨滅したものが多かった。

遺跡の形成に関わる地質的な特徴として，米丸マール噴出物の堆積とその後の層堆積は注目される。

詳細については第Ⅳ章を参照されたいが，Ⅷ層の上には硬い黒褐色土（Ⅶ層）は珪藻土に近く，当時干潟のような地質であったと考えられる。その後堆積したⅥ層（アカホヤ）には二次堆積層の下に砂層（Ⅵb層）しており，津波の痕跡の可能性が指摘されている。

また，噴砂がＢ・Ｃ－４区で検出されている。噴砂はⅧ層を突き破る状態でⅡc層まで噴出している。噴砂の時期については中世の造成面までは確認できなかったことから，弥生～古代の間のものと考えられる。

第２表　各地点土層注記一覧表

１～５区

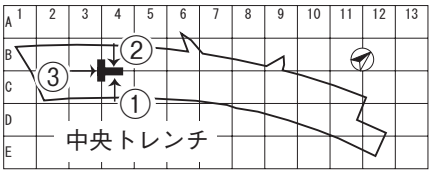
層位	色調等	遺物	層厚
Ⅰ	表土：黒色砂質土	現代	20～60㎝
Ⅱa	黒褐色砂質土	古代～中世	20～30㎝
Ⅱb	暗褐色砂質土		20㎝
Ⅱc	黒褐色砂質土		10～20㎝
Ⅲ	にぶい黄褐粘質土	縄文中期後半～後期前半	10～20㎝
Ⅳa	暗褐色土（P5パミス含む）		20～30㎝
Ⅳb	黒褐色砂質土	無遺物層	10～20㎝
Ⅴ	黒褐色土		20㎝
Ⅵ	アカホヤ火山灰（2次堆積）		10～20㎝
	アカホヤ（褐灰色砂）		5㎝
Ⅶ	黒褐色土 （白色パミス多く含む）		10㎝
Ⅷa	暗灰黄色砂質土 （米丸マール風化土）		20㎝
Ⅷb	米丸マール　スコリア岩盤層		＋

６～８区

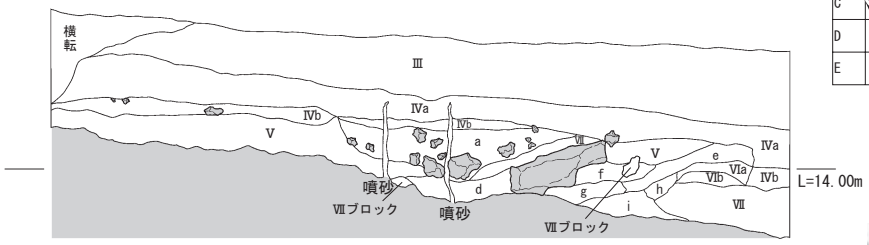
層位	色調等	遺物	層厚
Ⅰ	表土：黒色砂質土	現代	20～60㎝
Ⅰb	にぶい黄褐粘質土	近世	20～30㎝
Ⅱa	黒褐色砂質土	古代～中世	10～20㎝
Ⅱb	暗褐色土（P5パミス含む）	無遺物層	10～20㎝
Ⅷa	暗灰黄色砂質土 （米丸マール風化土）		20～30㎝
Ⅷb	米丸マール　スコリア岩盤層		＋

９～12区

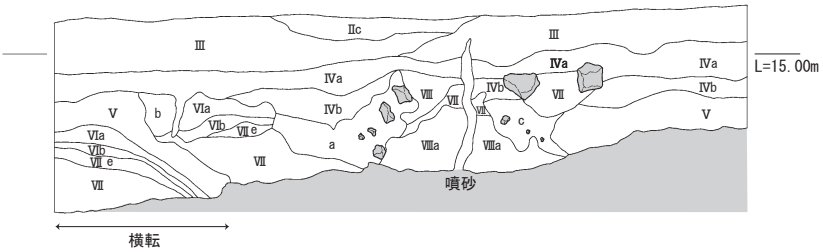
層位	色調等	遺物	層厚
Ⅰa	表土：褐灰色砂質土	現代	15～20㎝
Ⅰb	旧表土：褐灰色砂質土 （鉄分含）	近現代～近世 （旧水田層）	30～40㎝
Ⅰc	旧表土：灰黄褐色砂質土 （鉄分含）		10㎝
Ⅰd	旧表土：灰黄褐色砂質土 （鉄分含）		10㎝
Ⅰe	旧表土：灰黄褐色砂質土 （鉄分含）		10～20㎝
Ⅱa	黒褐色砂質土	古代～中世	10～20㎝
Ⅱb	黒褐色土		10～30㎝
Ⅱc	黒褐色粘質土		20～35㎝
Ⅱd	黒褐色粘質土		10～15㎝
Ⅲa	にぶい黄褐粘質土	縄文中期後半～後期前半	20～30㎝
Ⅲb	にぶい黄褐粘質土		10～30㎝
Ⅲc	灰褐色粘質土		20～40㎝
Ⅲd	暗褐色粘質土		20㎝
Ⅲe	暗褐色粘質土		15～30㎝
Ⅳa	暗褐色土（P5パミス含む）		30～50㎝
Ⅳb	暗褐色土（P5パミス含む）	無遺物層	20～30㎝
Ⅴ	黒褐色粘質土		10～20㎝
Ⅵa	アカホヤ火山灰（2次堆積）		10㎝
Ⅵb	アカホヤ（褐灰色砂）		5～10㎝
Ⅶ	黒褐色土 （白色パミス多く含む）		20～40㎝
Ⅷa	暗灰黄色砂質土 （米丸マール風化土）		10㎝
Ⅷb	米丸マール　スコリア岩盤層		＋

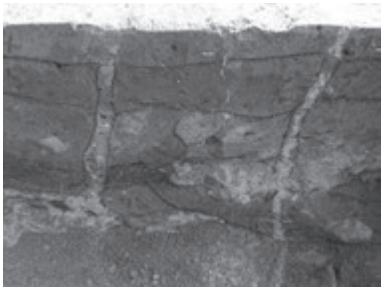


①中央トレンチ南壁土層断面図（C・D－４区）



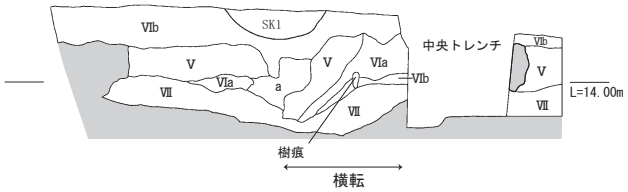
②中央トレンチ北壁土層断面図（C・D－４区）



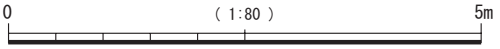


南壁噴砂跡

③中央トレンチ西壁土層断面図（B・C－４区）

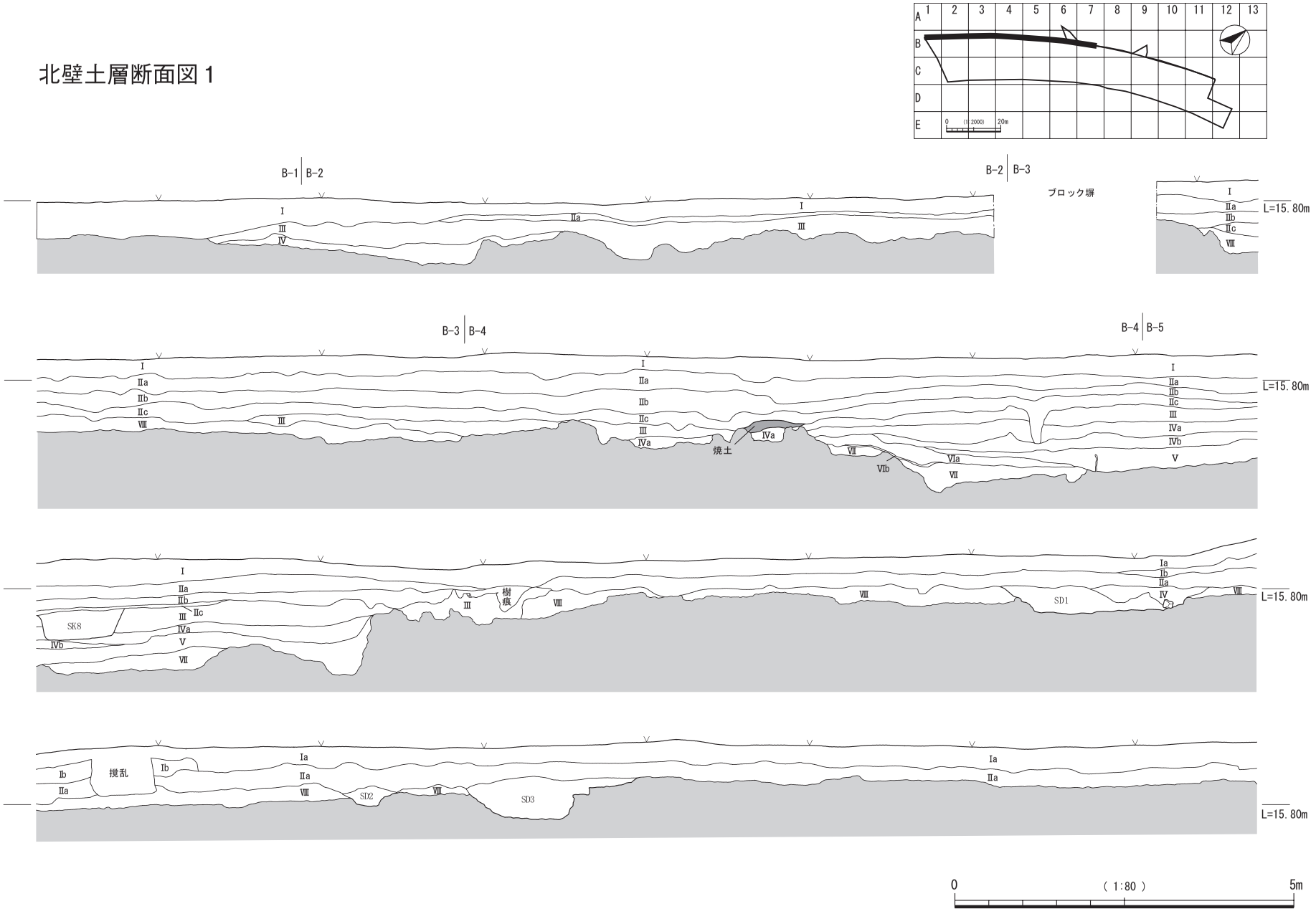


a：黒褐色土(10YR2/3)，φ0.5㎜大の白・黄色パミス多く含む，
しまりややあり，Ⅵb層由来



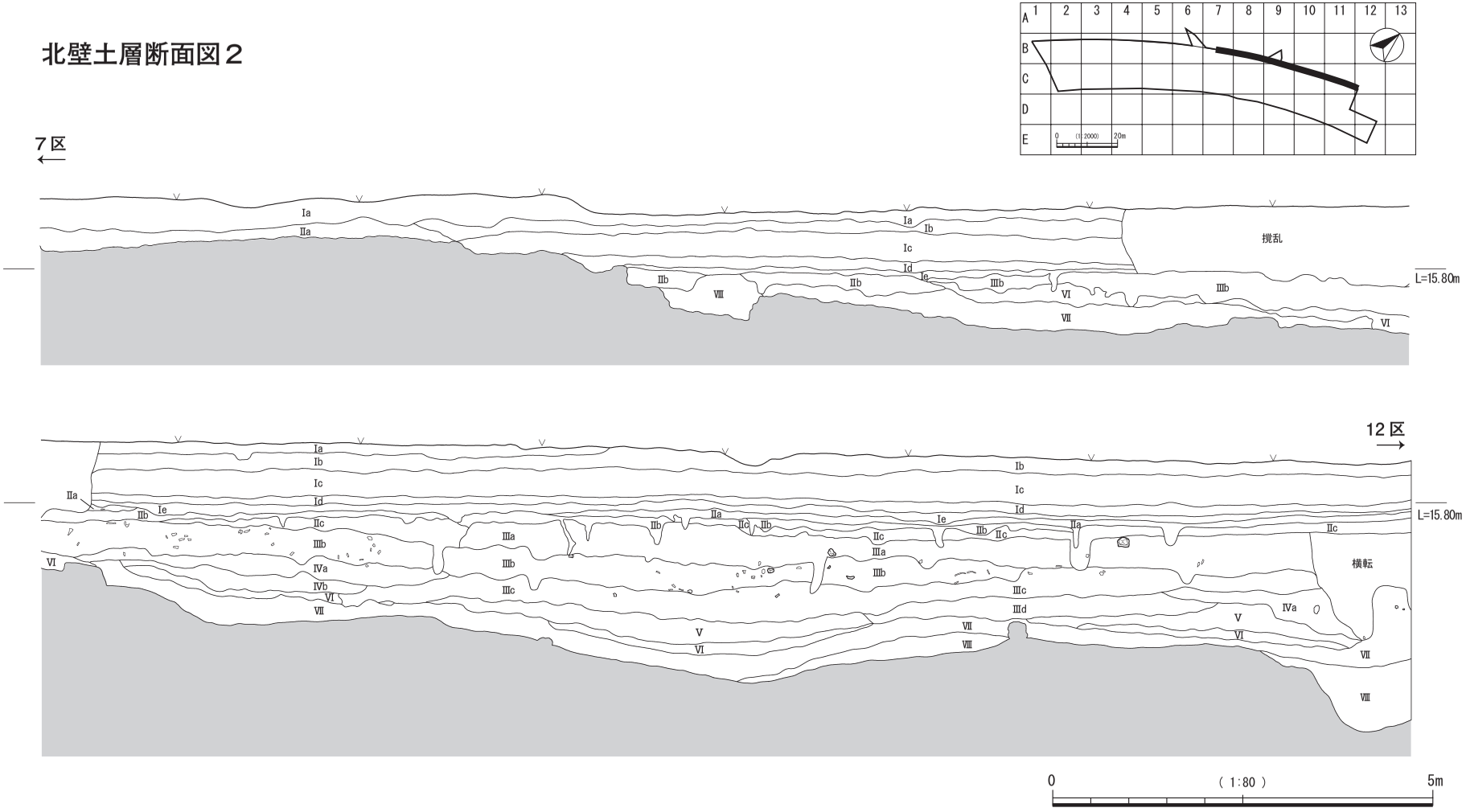
第６図　土層断面図（１）（中央トレンチ）

北壁土層断面図１



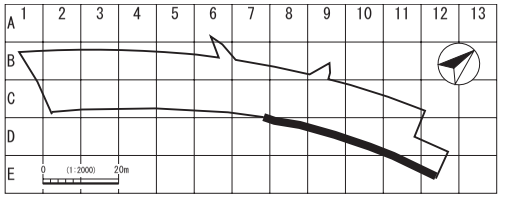
第７図　土層断面図（２）

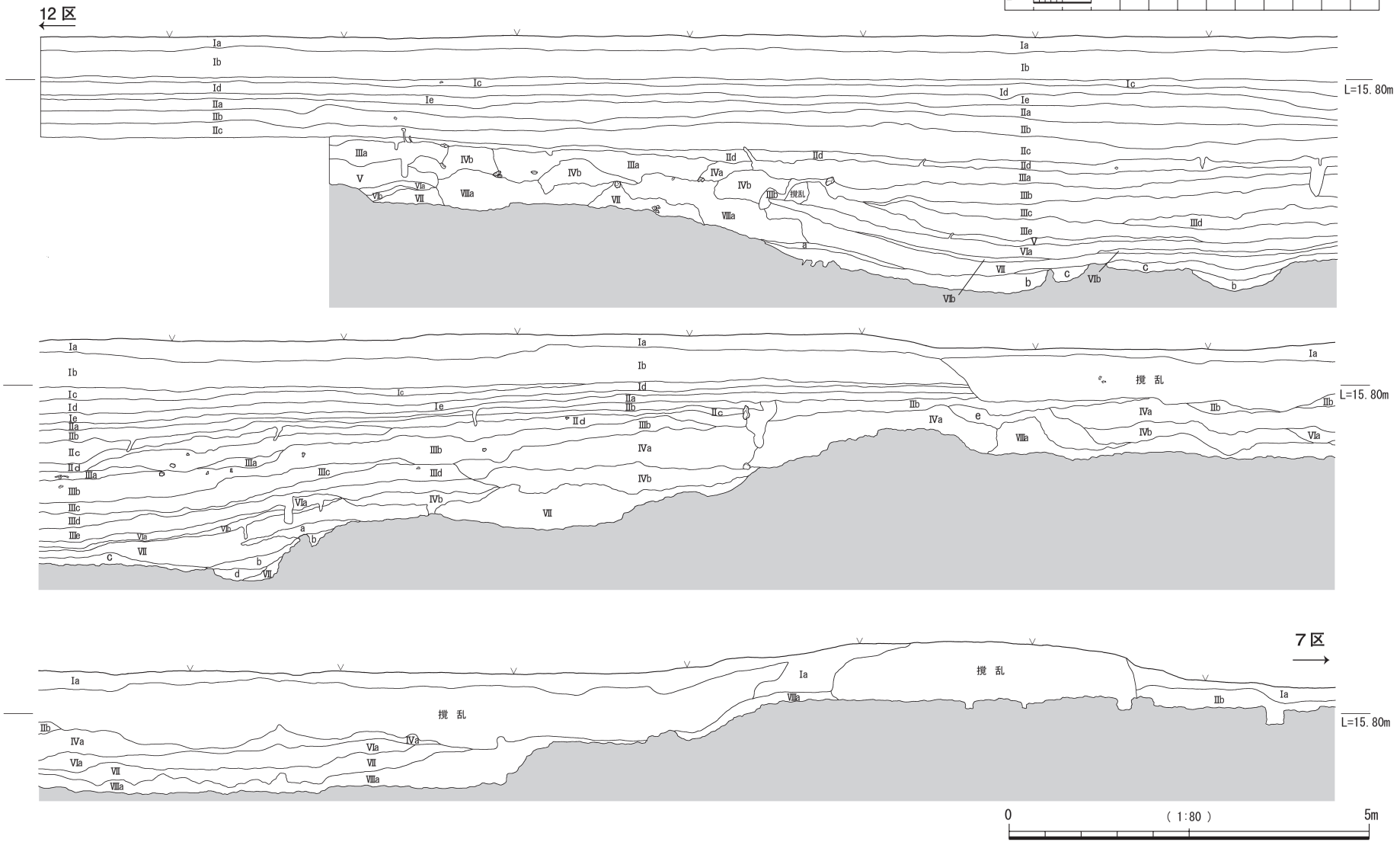
北壁土層断面図２



第８図　土層断面図（３）

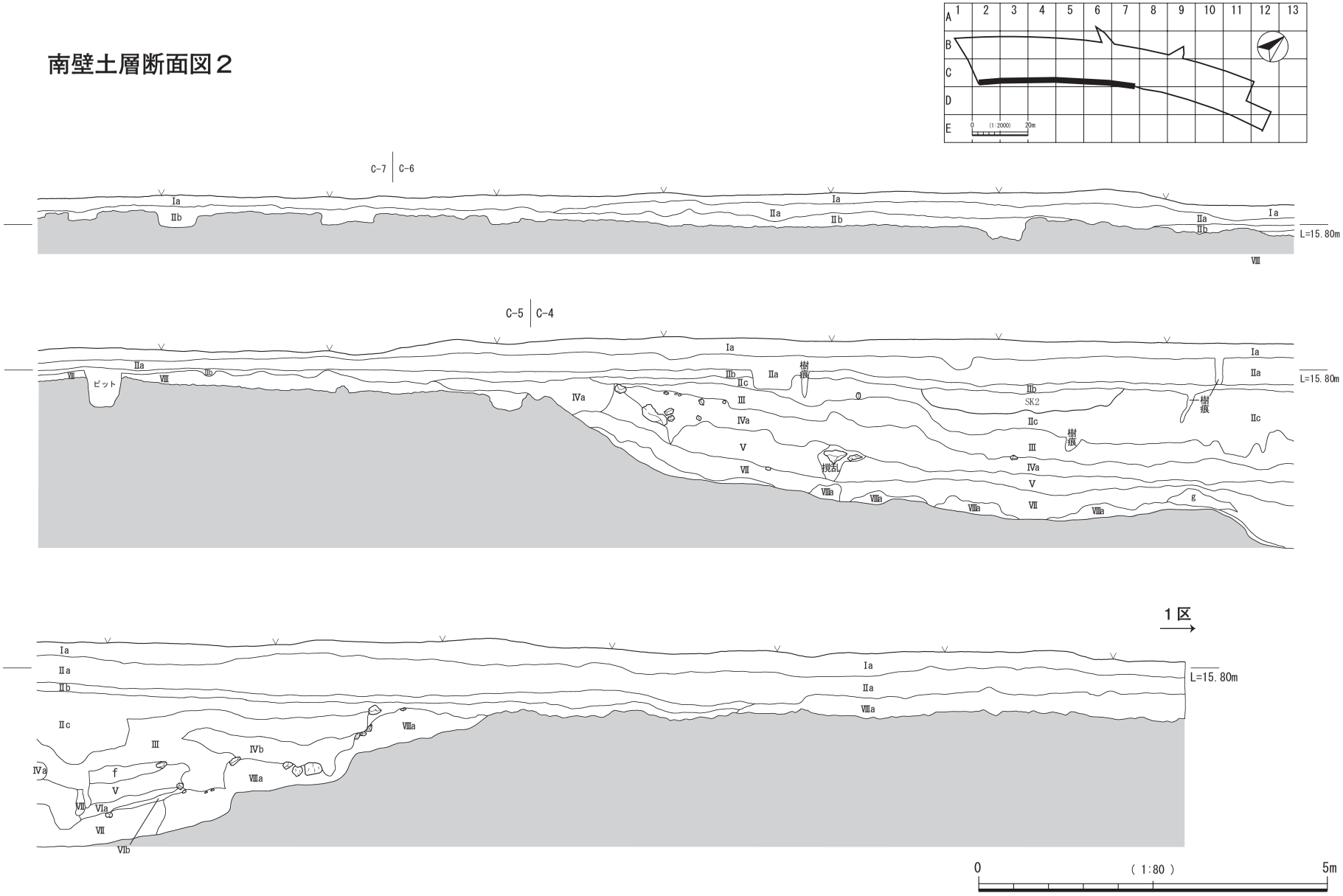
南壁土層断面図１





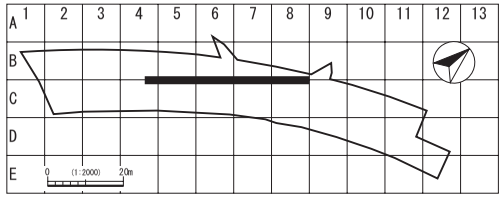
第９図　土層断面図（４）

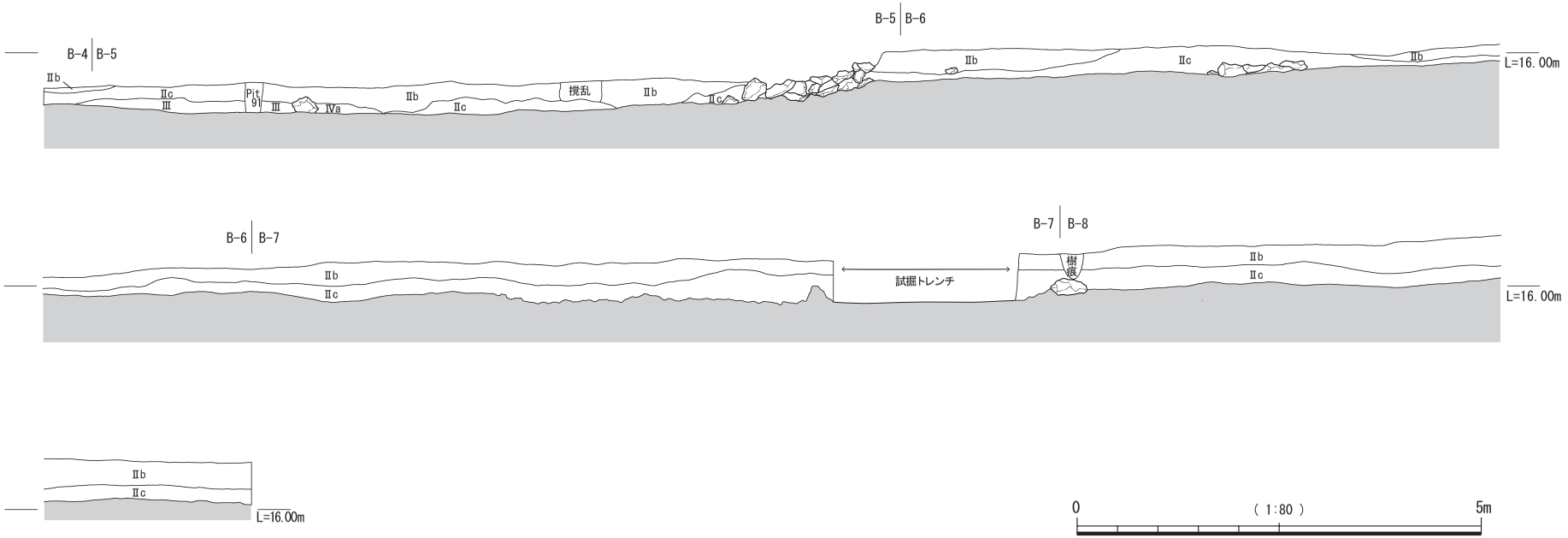
南壁土層断面図２



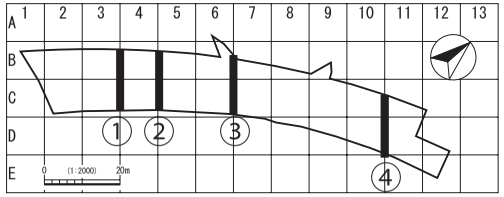
第10図　土層断面図（５）

B・C－４～８区 東西土層断面図

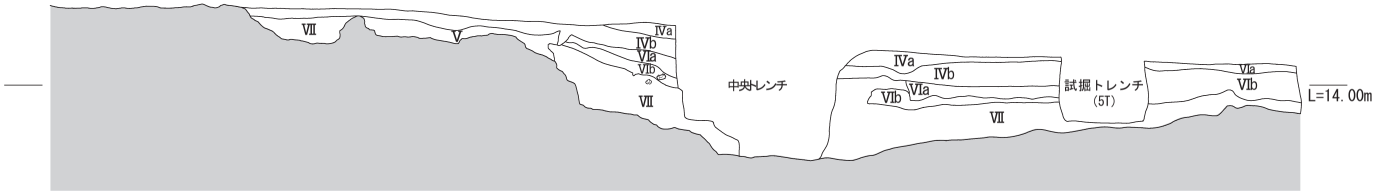




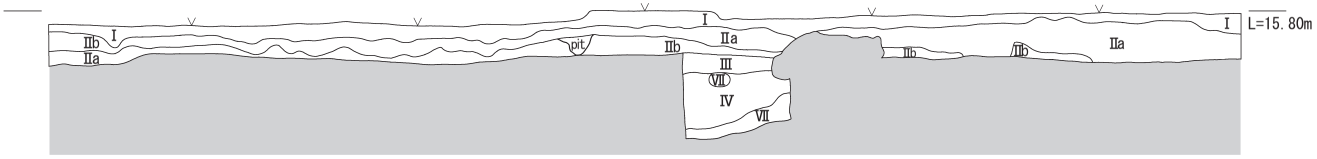
第11図　土層断面図（６）



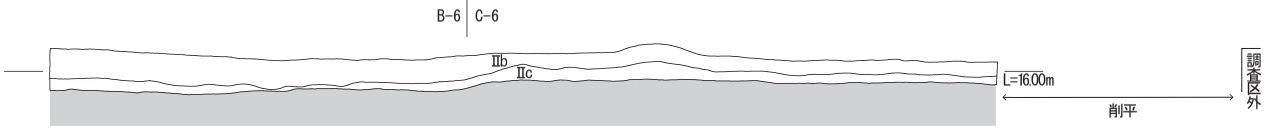
①南北Ｂ・Ｃ－3・4区北壁



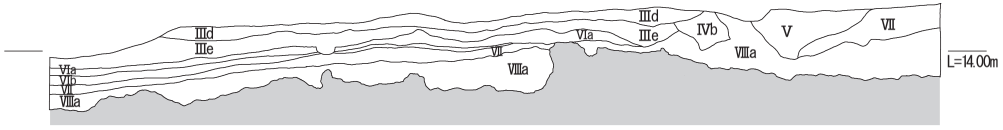
②南北Ｂ・Ｃ－4・5区北壁

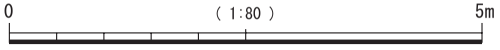


③南北Ｂ・Ｃ－６・７区北壁



④南北Ｃ・Ｄ－10・11区北壁





第12図　土層断面図（7）

第３節　調査の成果

１　縄文時代の成果

縄文時代の遺構はＢ・Ｃ－３・４区でⅢ・Ⅳ層上面で２基検出された。また１～５区，９～12区では，Ⅱｃ～Ⅳ層上面（縄文時代包含層）にかけて約20万点近くの遺物が出土した。その大半は縄文時代中期～後期前半の範疇に入る遺物群（土器・石器）である。

前述したが，調査区内では米丸マール岩盤層（Ⅷ層）の落ち込みが２か所確認されている。遺物もその落ち込み部分に集中して出土した。特に，Ｂ・Ｃ－４区中央部に向かって地形的に傾斜しており，最も地形的に落ち込んでいることが確認された。遺物の量もこの部分を中心に広がっている。

Ｃ・Ｄ－10・11区も遺物が多量に出土したが，Ｄ区にかけて傾斜する旧地形が確認され，傾斜に沿って遺物が出土する状況であった。

（１）遺構

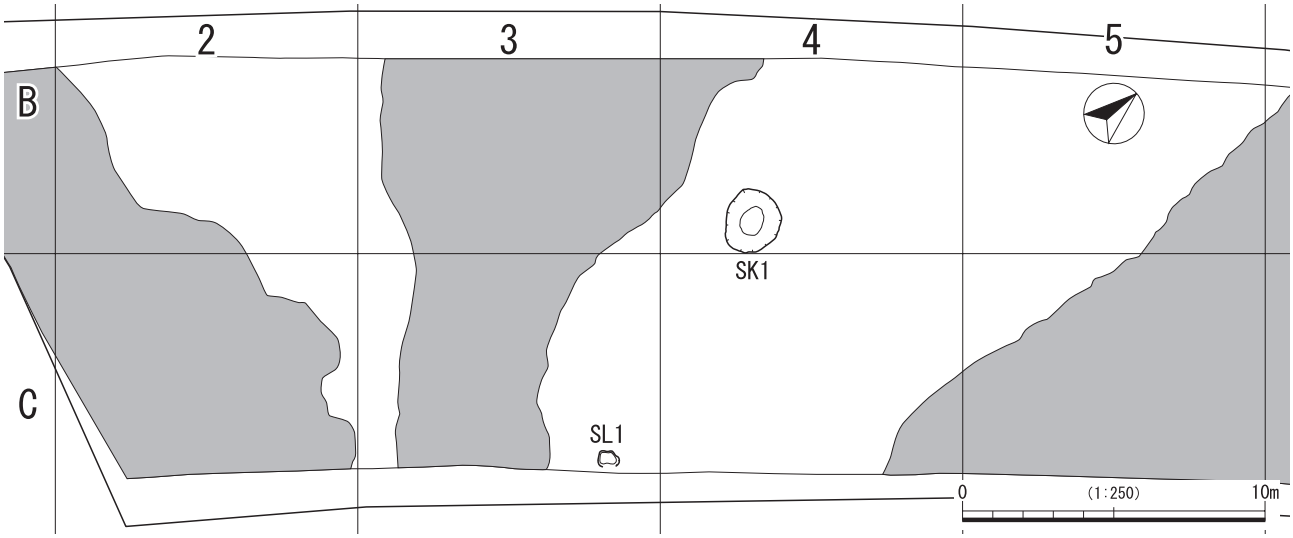
ＳＫ１（土坑１号）

検出状況　Ｂ－４区のⅣ層上面で検出した。

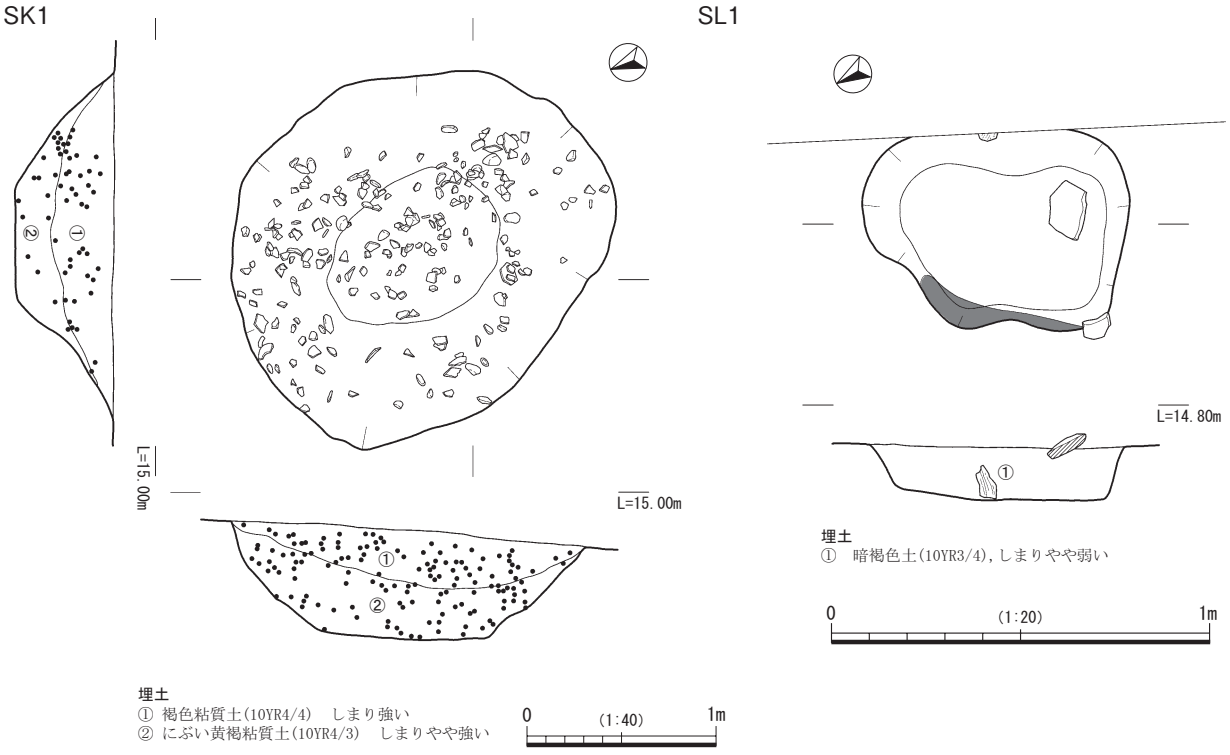
形状・規模　径約200㎝の円形状を呈し，床面はⅥ層であった。ＳＫ１の南側には横転があったことから遺構ではなく，横転の可能性もある。

埋土　粘質土が擂鉢状に堆積していた。

出土遺物　土坑からは多くの遺物が出土したが，いずれも磨滅が激しく小片が多いため，図化しなかった。



第13図　縄文時代遺構配置図



第14図　ＳＫ１・ＳＬ１

ＳＬ１（炉跡１号）

検出状況　Ｃ－３区のⅣ層上面で検出した。

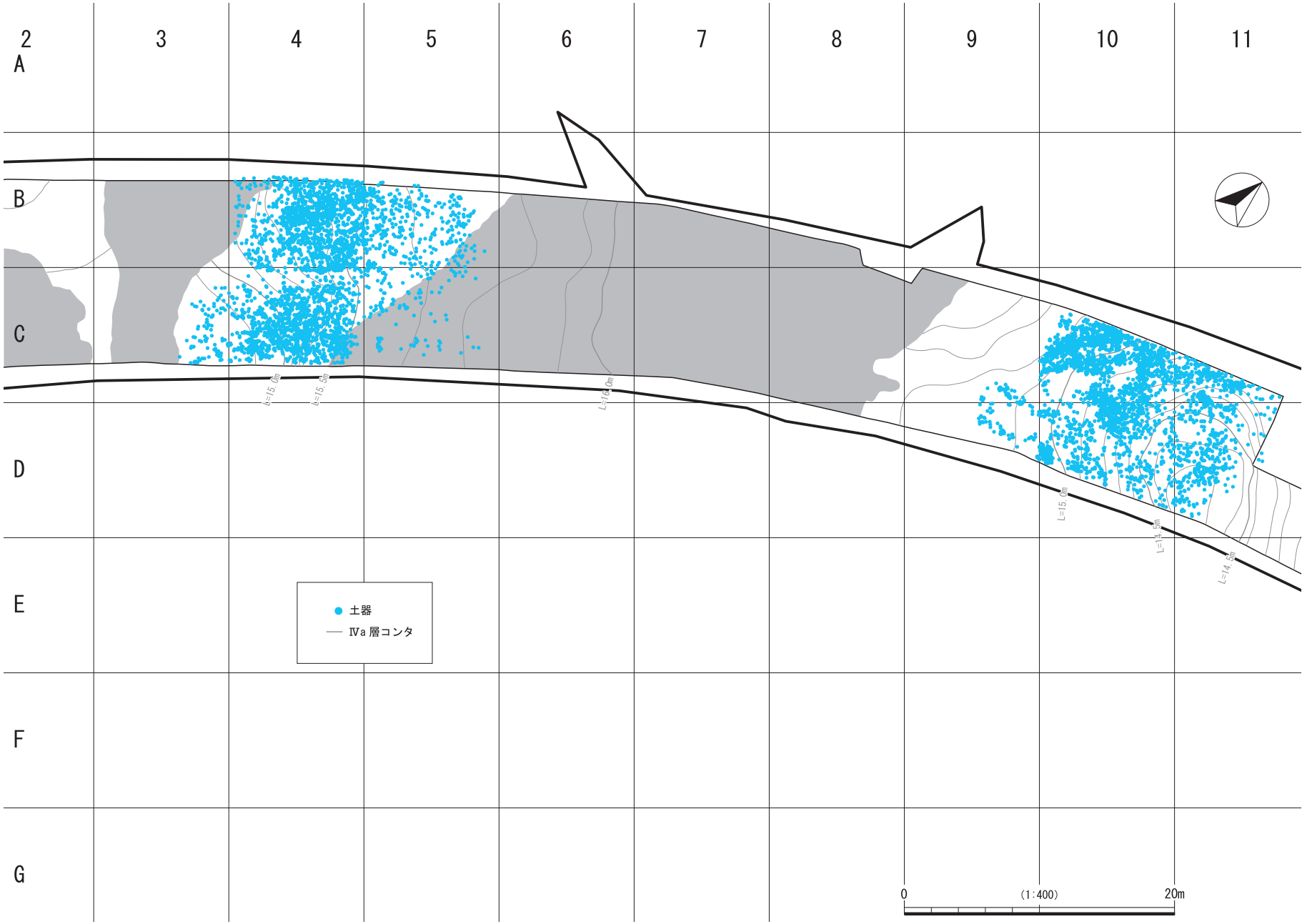
形状・規模　約70×50㎝の掘り込みを有し，西縁辺部には焼土の広がりがみられた。

埋土　暗褐色土で焼土片・炭化物を多く含む。

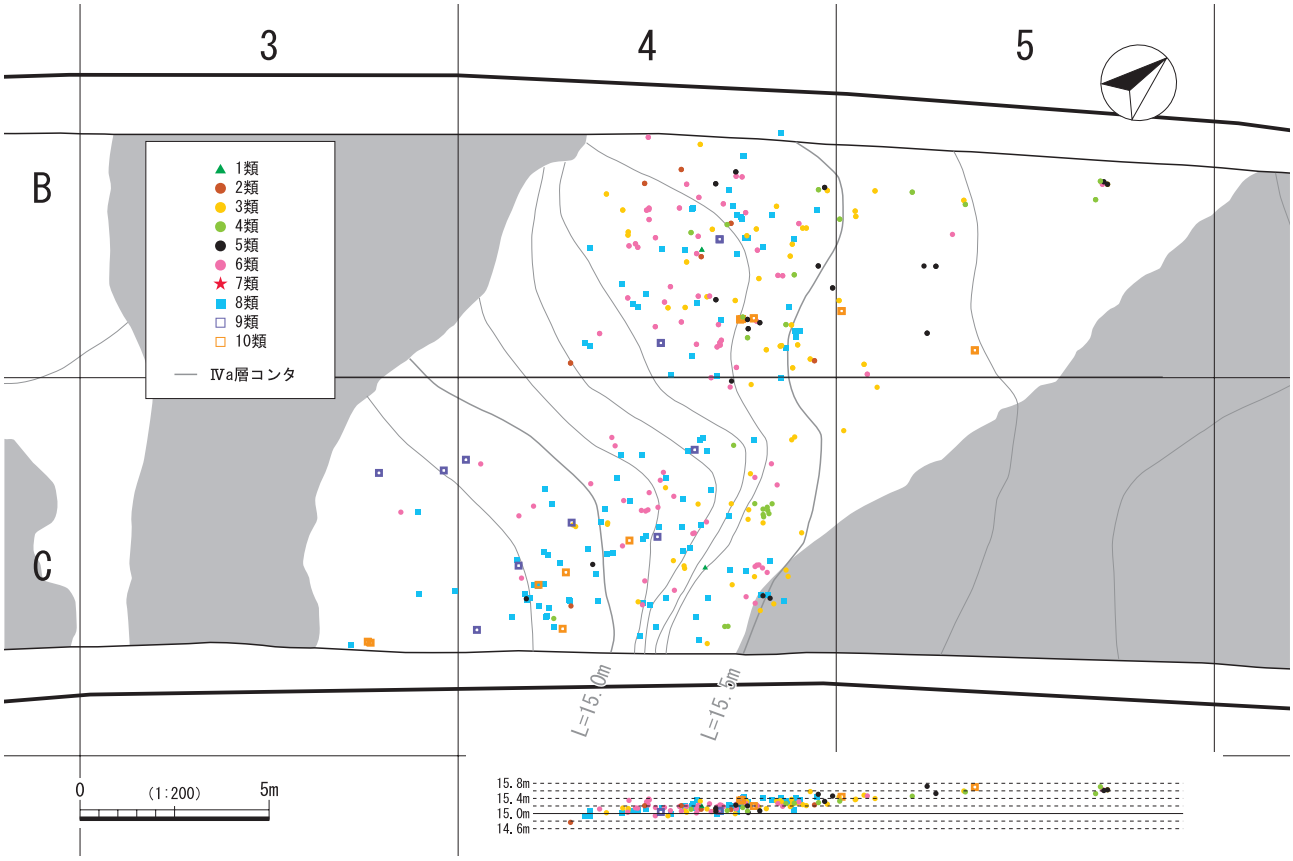
出土遺物　土坑中央部の床面直上から炭化木が出土した。年代測定の結果ではBP2975±25（縄文晩期）という結果が得られており，本遺跡主体の中期後半～後期前半の範疇には収まらない（第Ⅳ章参照）。炭化木以外は出土していないため，本遺構の時期については晩期相当としておく（なお，縄文晩期の遺物はⅢ層からごく小量，小片で出土している）。

第３表　縄文時代　土器分類表

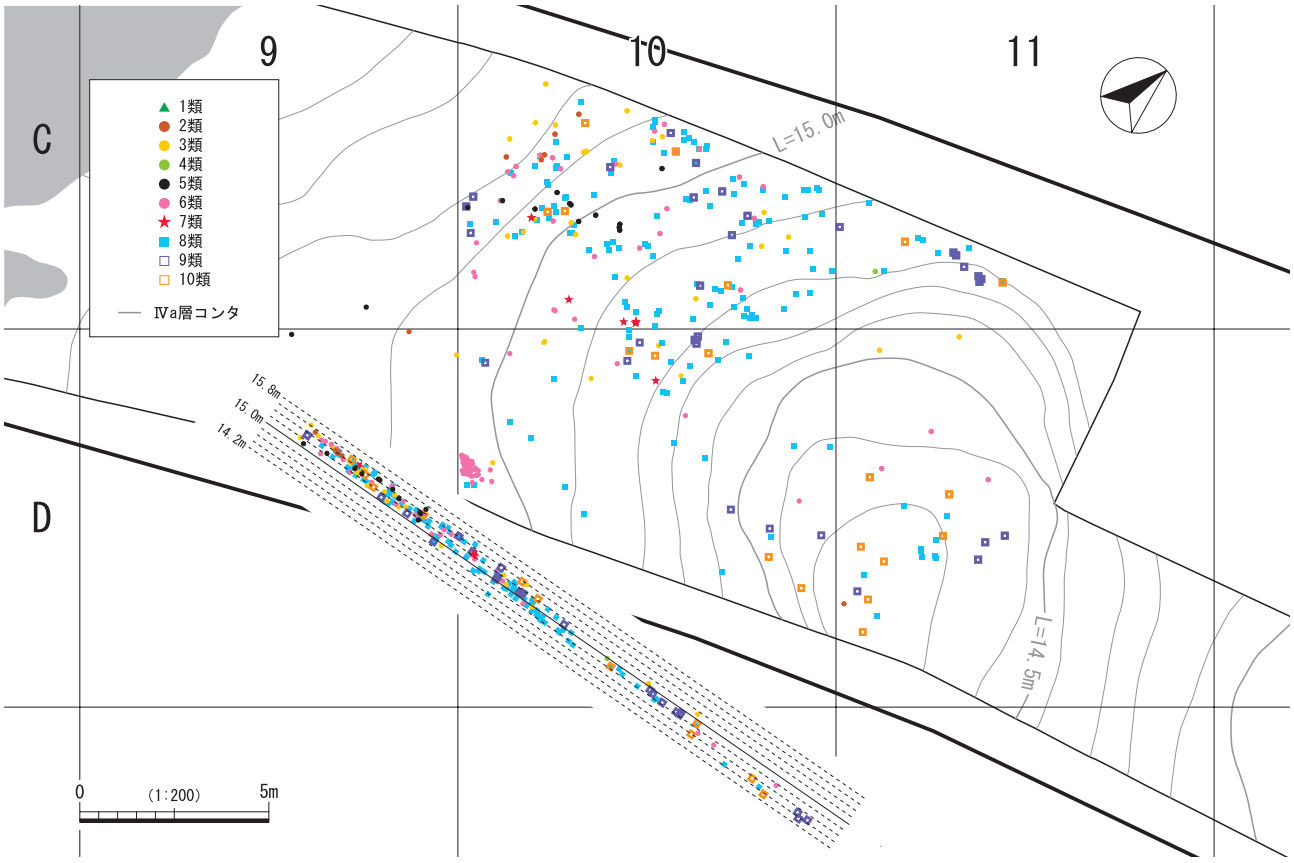
分類		特徴	滑石	相当型式	相当時期	掲載番号		
1		貝殻条痕文系	-	曽畑式・轟C・D式	前期	1	～	14
2	1	キャリパー形，滑石混入（轟木ヶ迫段階）	○	春日式	中期中葉～後半	15	～	47
	2	突帯貼付（轟木ヶ迫・南宮島段階）	-			48	～	70
	3	口唇端部突帯貼付（南宮島段階）	-			71	～	88
3	1	突帯＋沈線文	-	中尾田Ⅲ類	中期後葉～末	89	～	97
	2	口縁部肥厚（幅狭）線描・貝殻押引：山形文・格子文など				98	～	198
	3	口縁部肥厚（幅広）線描・貝殻押引：山形文・格子文など				199	～	274
	4	全面施文，線描山形文・格子文など				275	～	288
4	1	口縁部下位に段 幅広の施文帯，線描幾何学文，山形文など	-	大平式		289	～	304
	2	口縁部下位段なし 施文帯なし，口縁～胴部：線描幾何学文，山形文など				305	～	311
	3	胴部中半に突帯 幅広の施文帯：太形凹線文など				312	～	315
	4	胴部中半に突帯 幅広の施文帯，口縁～胴部：線描幾何学文，山形文など				316	～	320
5	1	口縁部下位：幅狭文様帯（横位） 刺突文＋凹線文	○	並木式		321	～	324
	2	口縁～胴部下位：文様帯 刺突文＋凹線文，凹線文（入組文）＋刺突文等				325	～	371
6	1	文様：凹線文,文様帯2分割 施文帯：胴部上半～全面	○	阿高式		372	～	404
	2	文様：凹線文,文様帯1or2単位 施文：口縁部上半・文様帯1分割				405	～	514
7		文様：磨消縄文　中段階相当	-	中津式	後期初頭～前半	515		523
8	1	文様：凹線文	-	宮之迫式		524	～	581
	2	文様：縦位短凹線文＋凹線文（入組文など）				582	～	600
	3	文様：縦＋横：区画文				601	～	609
	4	文様：横平行文				610	～	627
	5	文様：縦線文＋横平行線文				628	～	679
	6	文様：口縁部肥厚風				680	～	691
	7	文様：貝殻刺突＋凹線文				692	～	708
	8	擬似縄文：連点文＋凹線文				709	～	726
	9	擬似縄文：C字文・短沈線＋凹線文				727	～	772
	10	文様：無文				773	～	829
9	1	深鉢	-	南福寺式		830		849
	2	浅鉢				850		875
10	1	深鉢	-	出水式		876	～	923
	2	浅鉢				924	～	930
11		細沈線幾何学文	-	指宿式		931	～	944


2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
A
B
C
D
E
F
G
L=15.0m
L=15.5m
L=16.0m
L=15.0m
L=14.5m
L=14.5m
土器
Ⅳa層コンタ
0
(1:400)
20m

第15図　土器分布図（１）

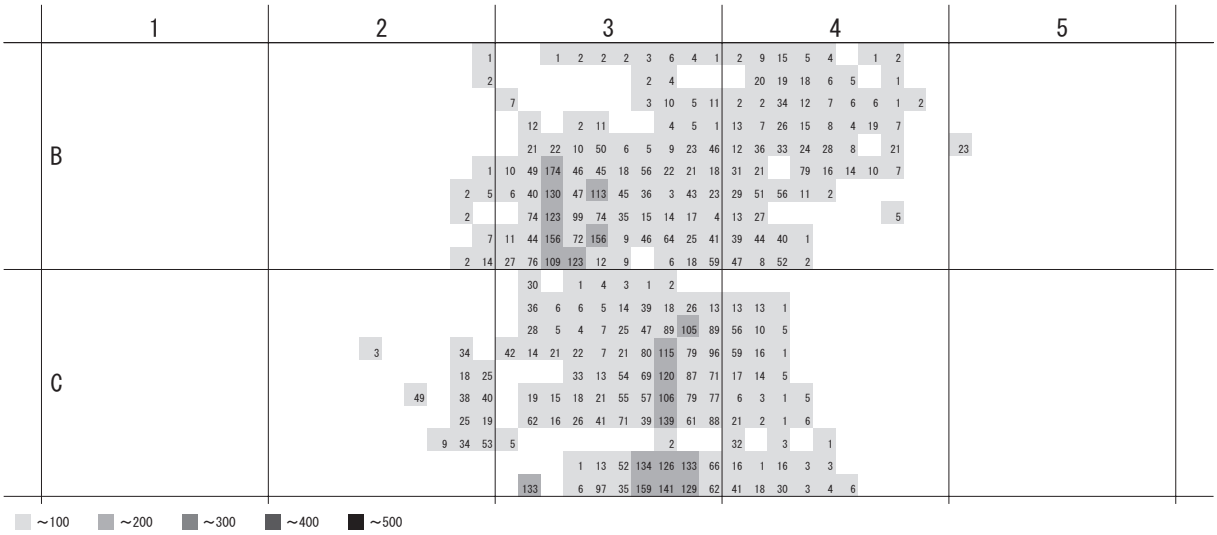


第16図　土器分布図（２）Ｂ・Ｃ－３～５区

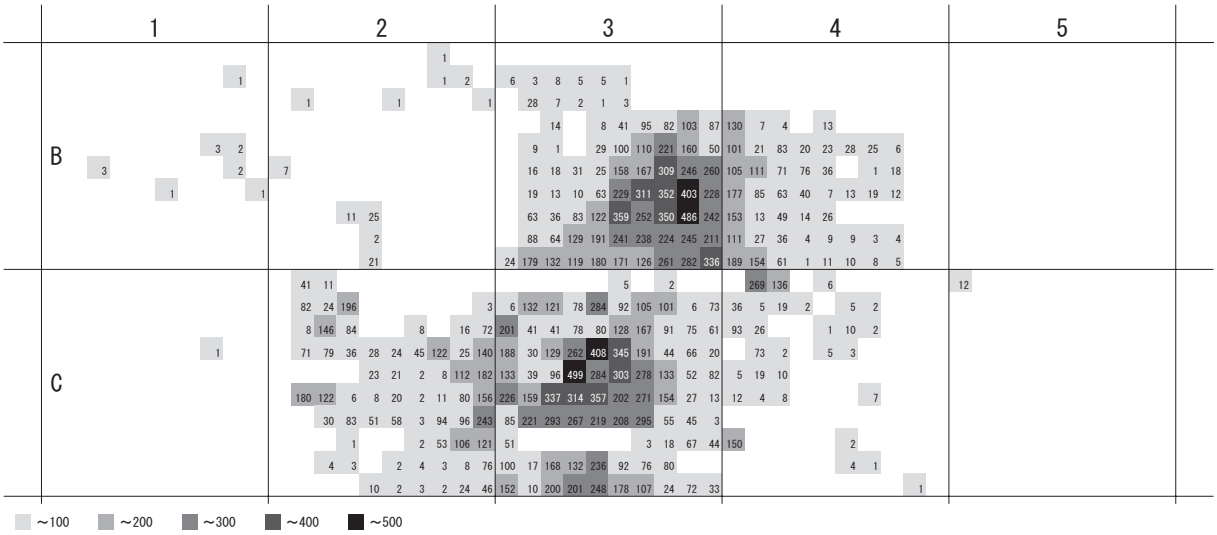


第17図　土器分布図（３）Ｃ・Ｄ－９～11区

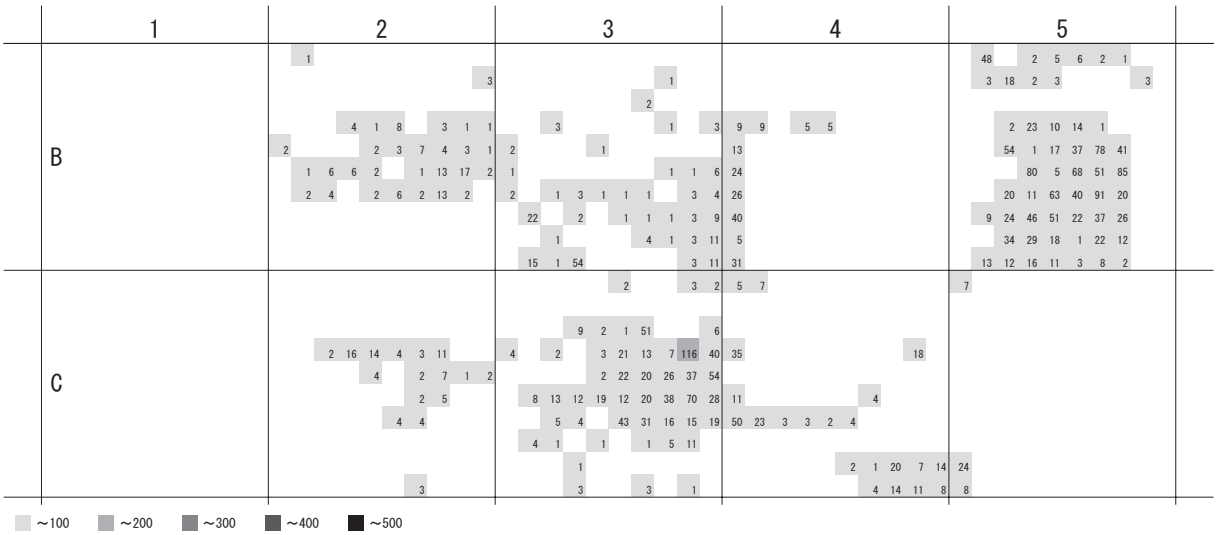
Ⅱ層



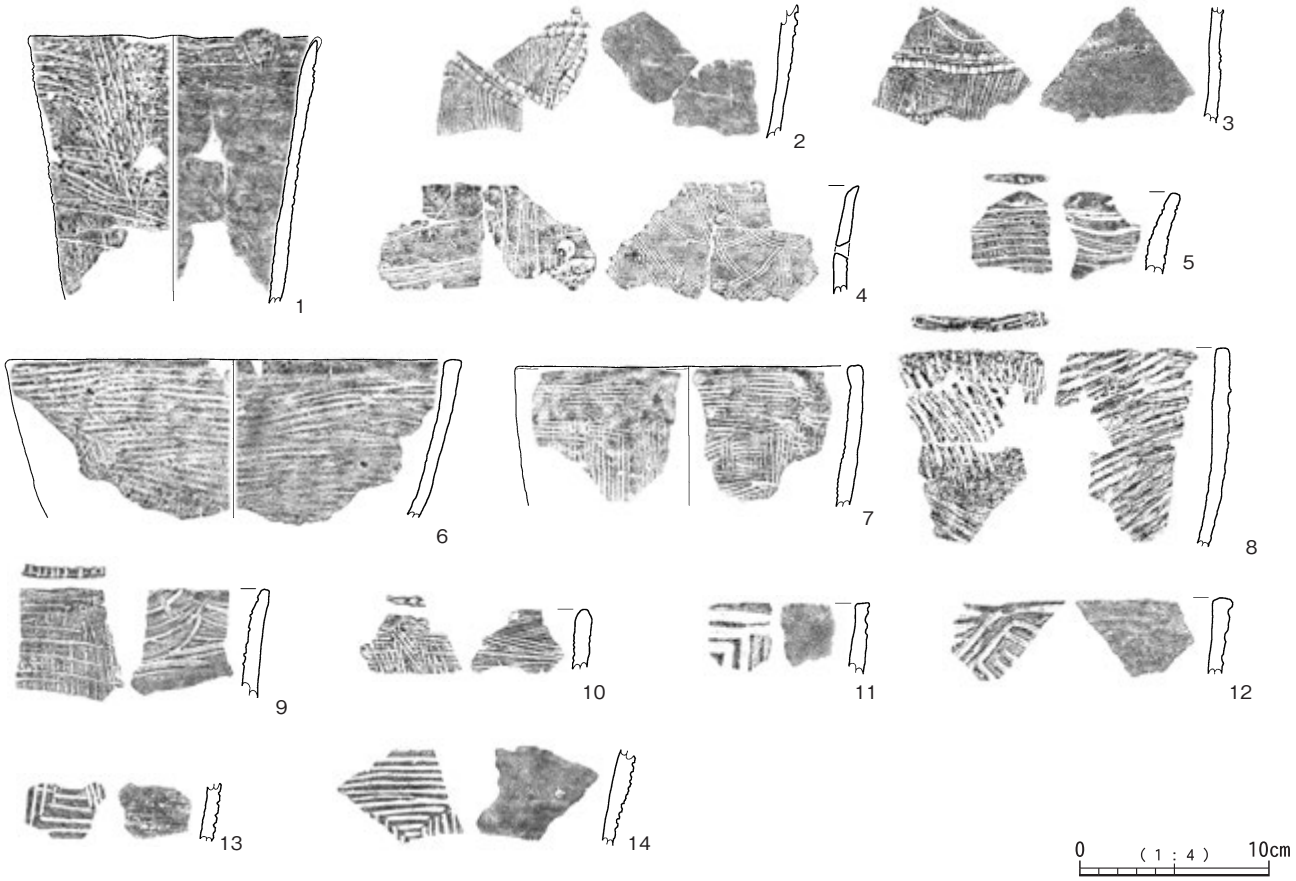
Ⅲ層



Ⅳ層



第18図　土器分布図（4）出土密度



第19図　1類　轟式・曽畑式土器

（2）遺物（土器）

Ⅱc～Ⅳa層にかけて，多量の土器片が出土した。縄文時代中期後半～後期前半の範疇の土器群を中心に出土している。縄文土器総数としては約15万個体以上が出土しており，遺物出土はⅧ層落ち込み部の４・５区，９～12区に集中する。

出土量が多い４・５区は小グリッドを設定し取り上げを行った。出土量ごとにグラデーションマップ（第18図）をみると，グリッドの中心部（最も地形的に落ち込む部分）に出土が集中していることがわかる。

各型式ごとの分布図と垂直分布（第16・17図）を確認すると，各型式のごとに明確な層位的な差は認められなかった。出土した土器型式には数量差はあるが，いずれの型式も一定量存在していることから，中期後半～後期前半にかけての一定期間遺跡が存続していたことが窺える。型式ごとの出土量の傾向としては，最も多いのは３・６・８類であった。層位的な年代差が確認できなかったことも考慮すると，地形の落ち込みからの多量の遺物の出土する状況は，廃棄という性格が想定される。詳細については，第Ⅴ章の総括を参照されたい。

出土した土器は，型式が多岐かつ，バリエーションも多いことから便宜的に一定の特徴をもつ群で分類を設定した（第３表）。型式分類は従来様々な考えが提示されているが，本報告では型式については，一般的に使用されている基本的な型式名を採用し，報告することとした。

１類　前期：轟・曽畑式（１～14）

１～10は条痕文土器で，轟C・D式相当と考えられる。1は砲弾形で，横位の沈線文を基調として，縦位の沈線や沈線間に刺突を施文している。口縁部内面上部にも横位の沈線と刺突を巡らす。２・３は横・斜位の押引文と沈線文をもつ。４～10は，内外面に縦・横位の明瞭な貝殻条痕と沈線文が施文されている。

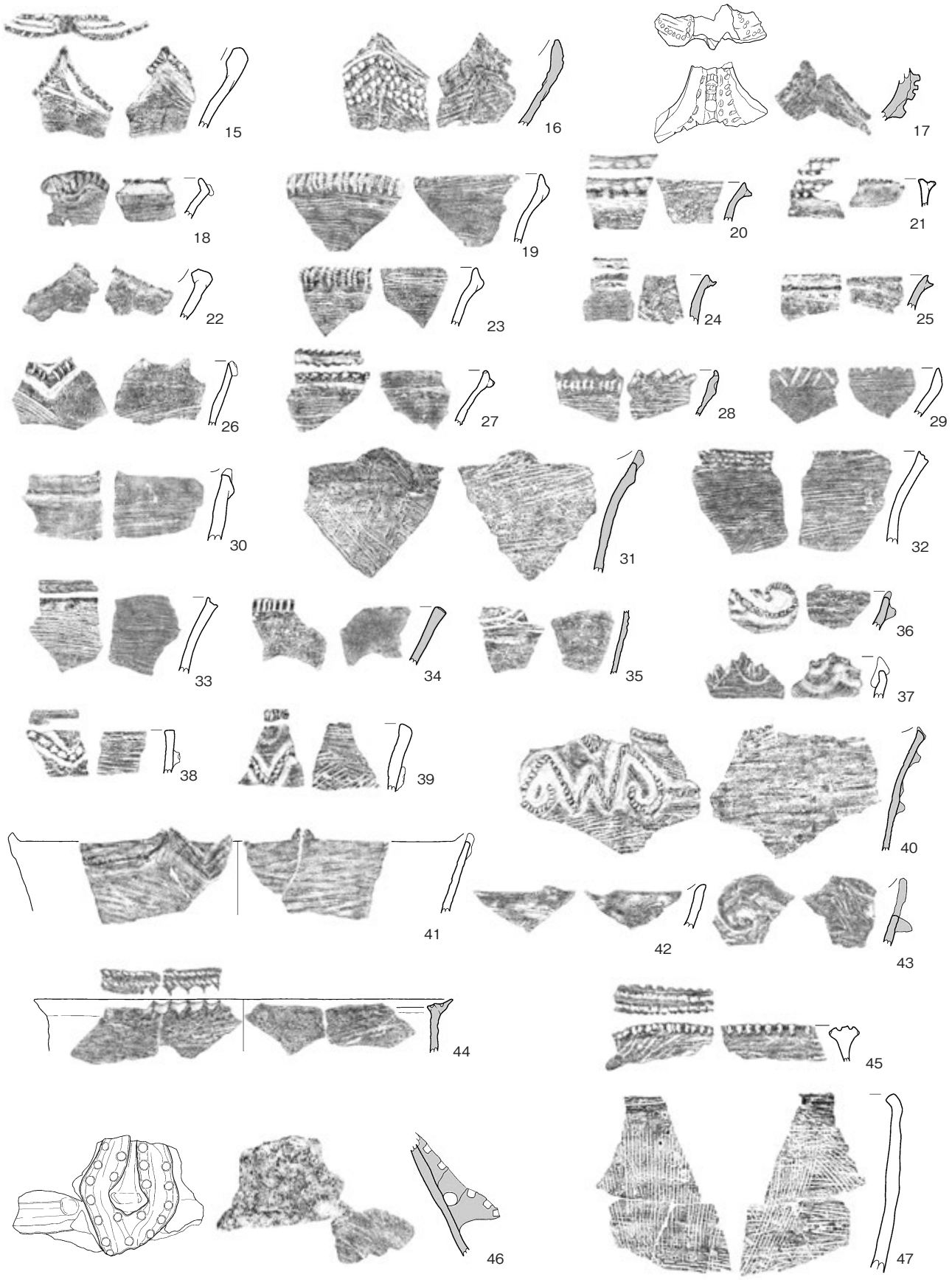
11～14は，沈線文土器で曽畑式に相当する。沈線文による四角形の折帯文が施文される。

２類　春日式：轟木ヶ迫・南宮島段階（15～88）

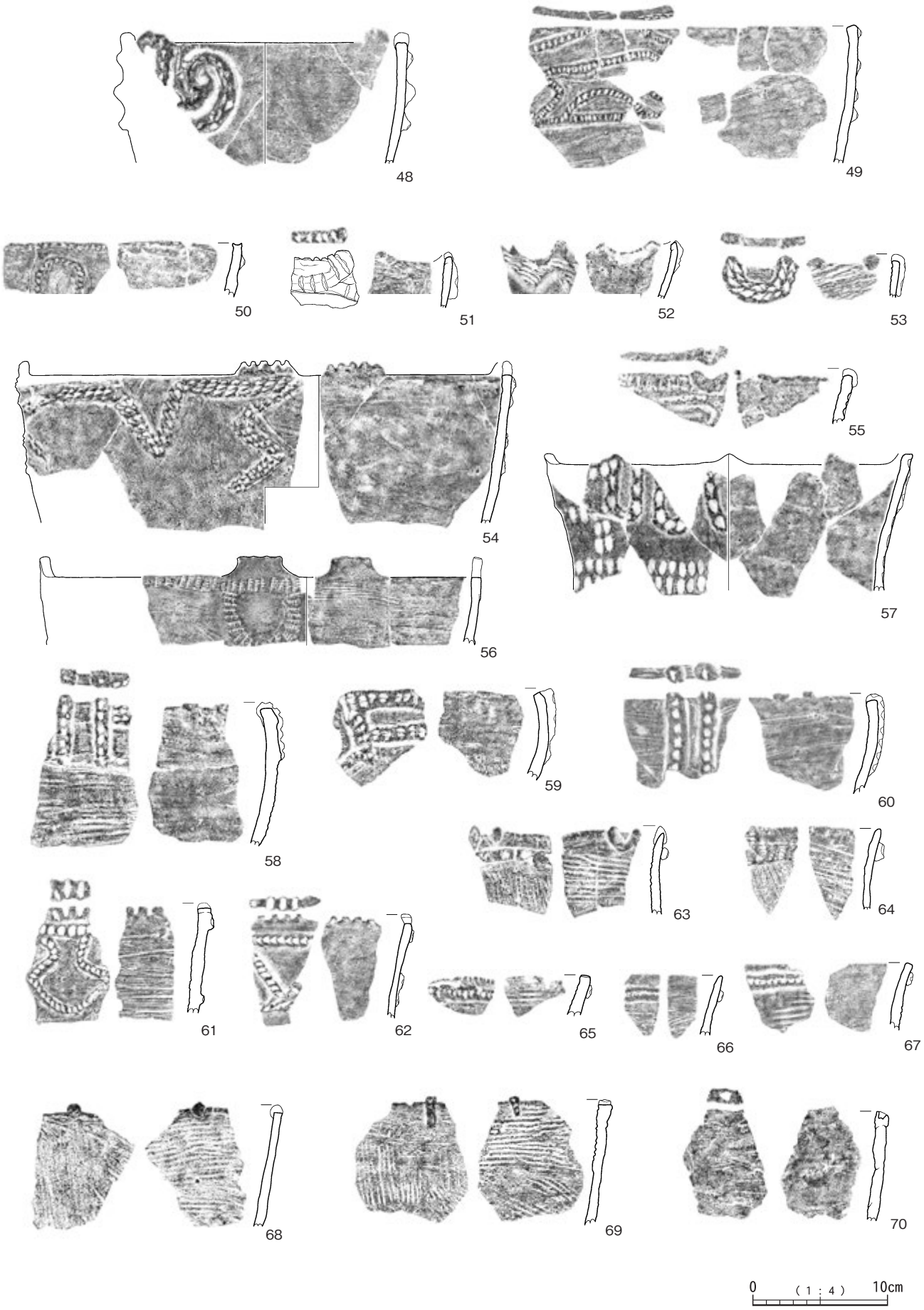
２－1類　キャリパー形・滑石混入（轟木ヶ迫段階）

15～46は，春日式に相当の土器群で，滑石混入土器が多い。口縁部のみ内傾させる弱いキャリパー形を呈す。文様は口縁部に集約され，口縁部には貝殻刺突や細い刻目突帯が貼付される。基本的には口縁部は外反するが，44・45のように口唇部を平坦で，連続刺突文をもつものもある。

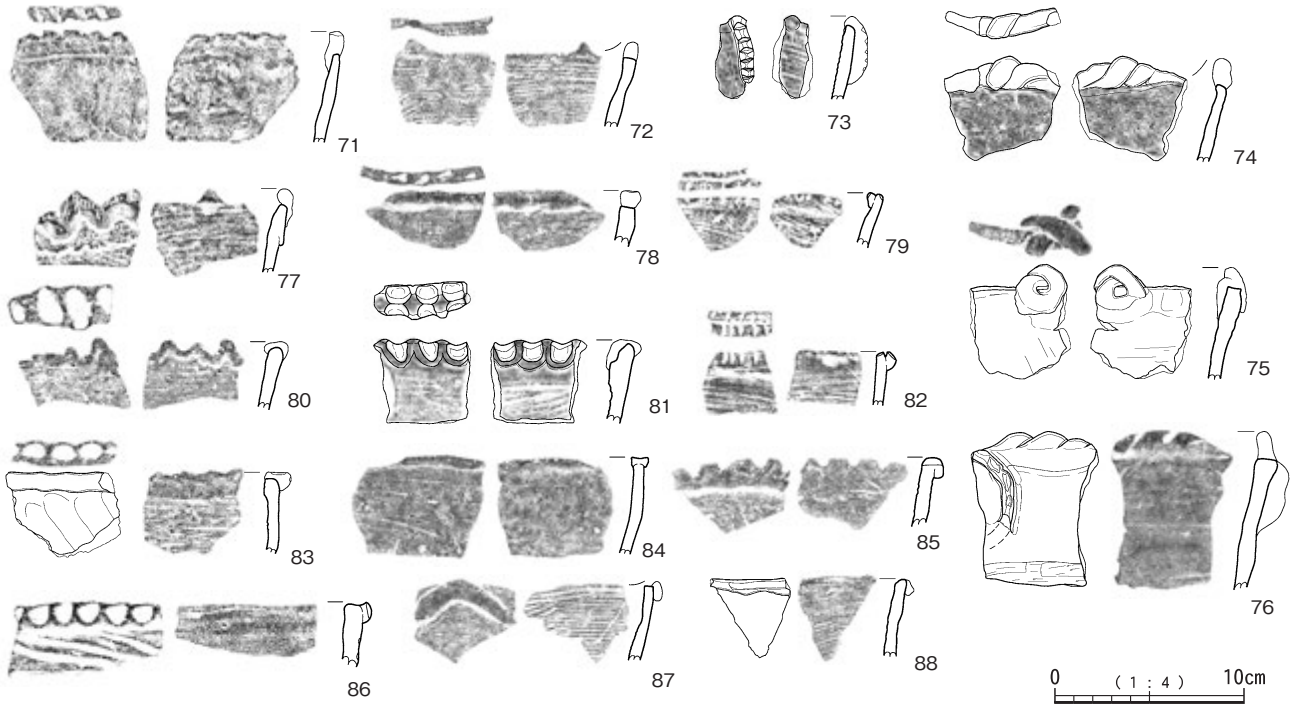
46は特殊な馬蹄形の把手をもつ。刺突文の間に凹線文が施文されており，特徴的には５類（並木式）に類似する。形態としては,壺の可能性も考えられる。滑石の混入の程度から本類に入れたが，５類の可能性も想定さ



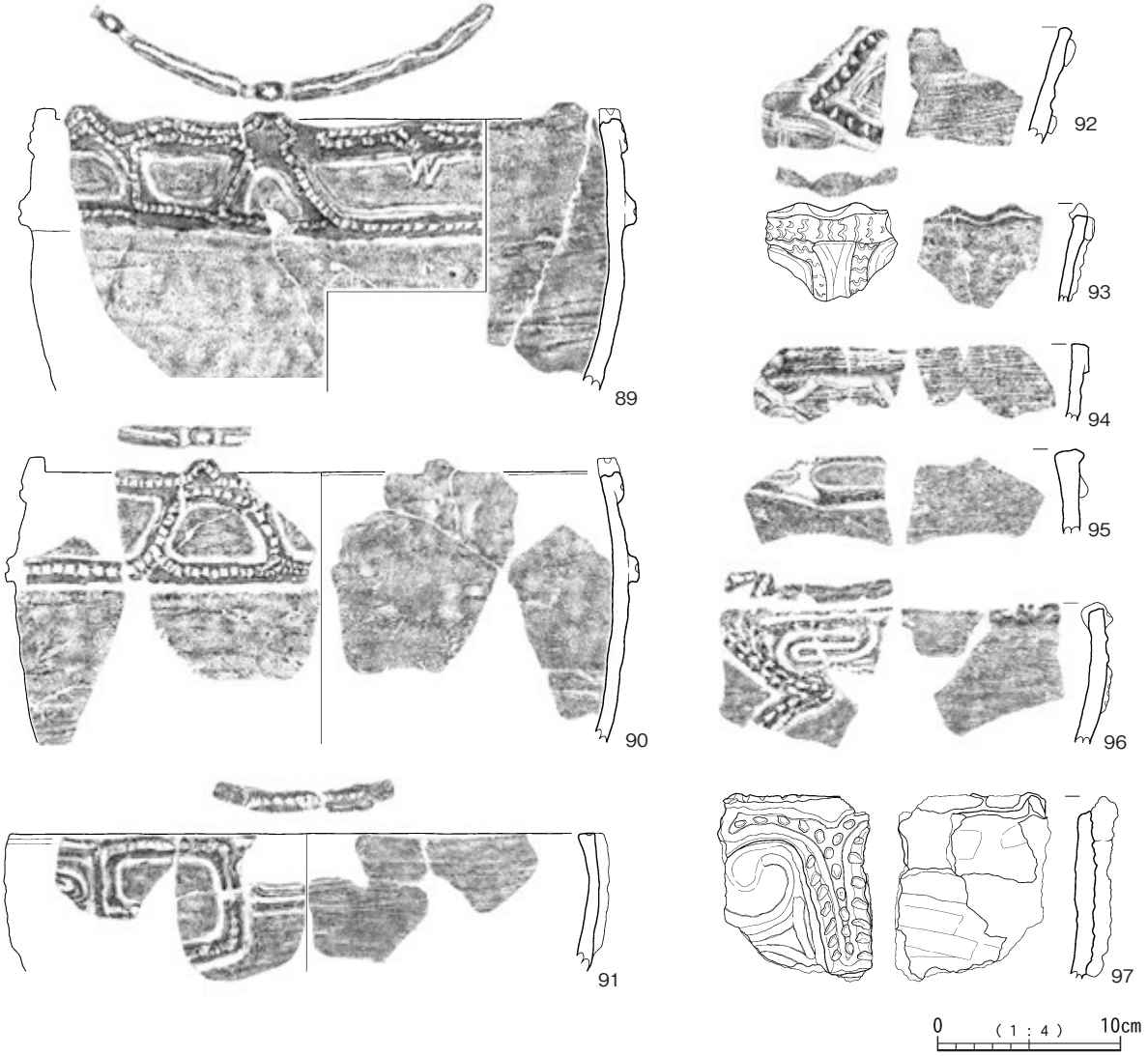
第20図　２類　春日式土器（１）2-1



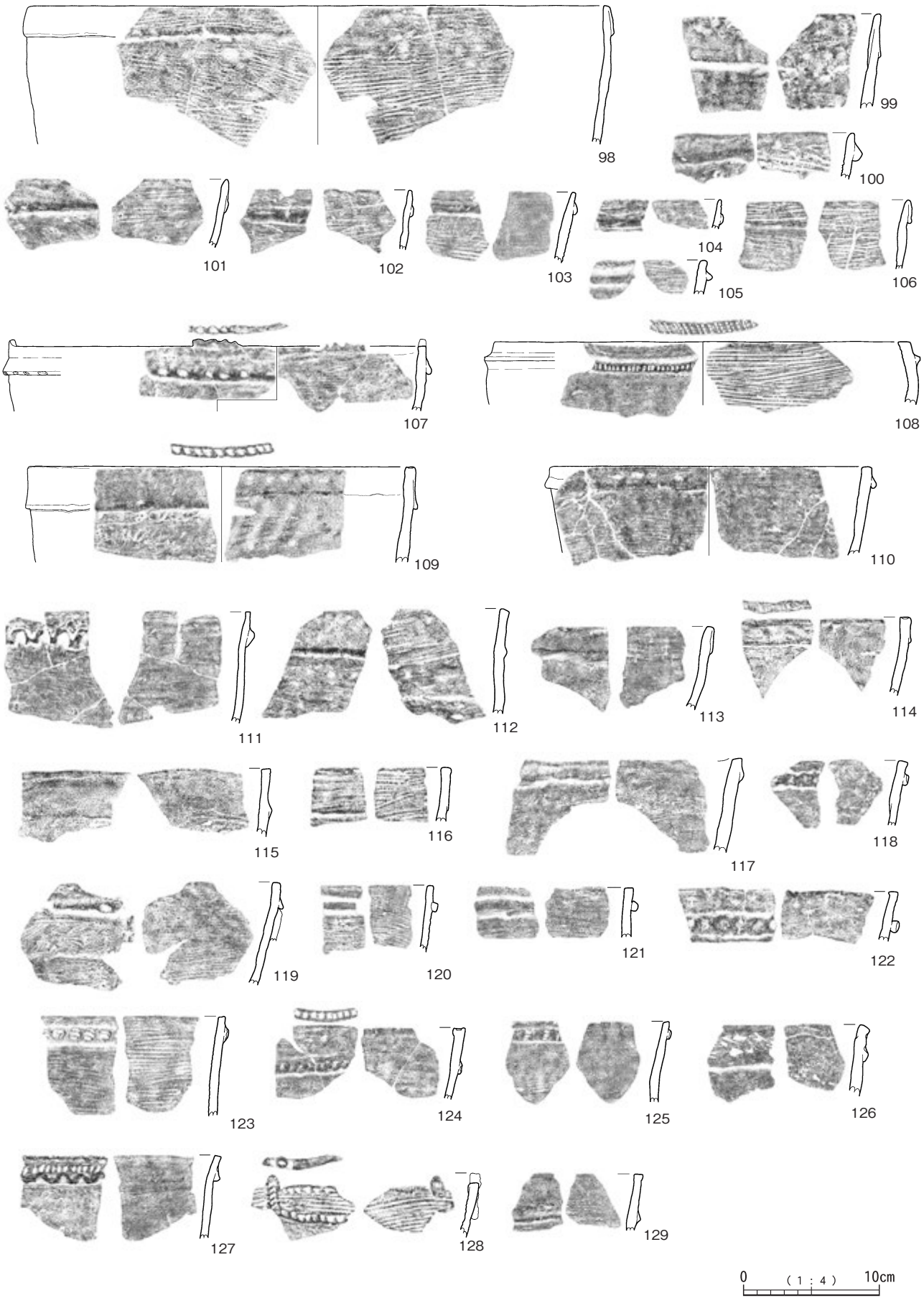
第21図　２類　春日式土器（２）2-2



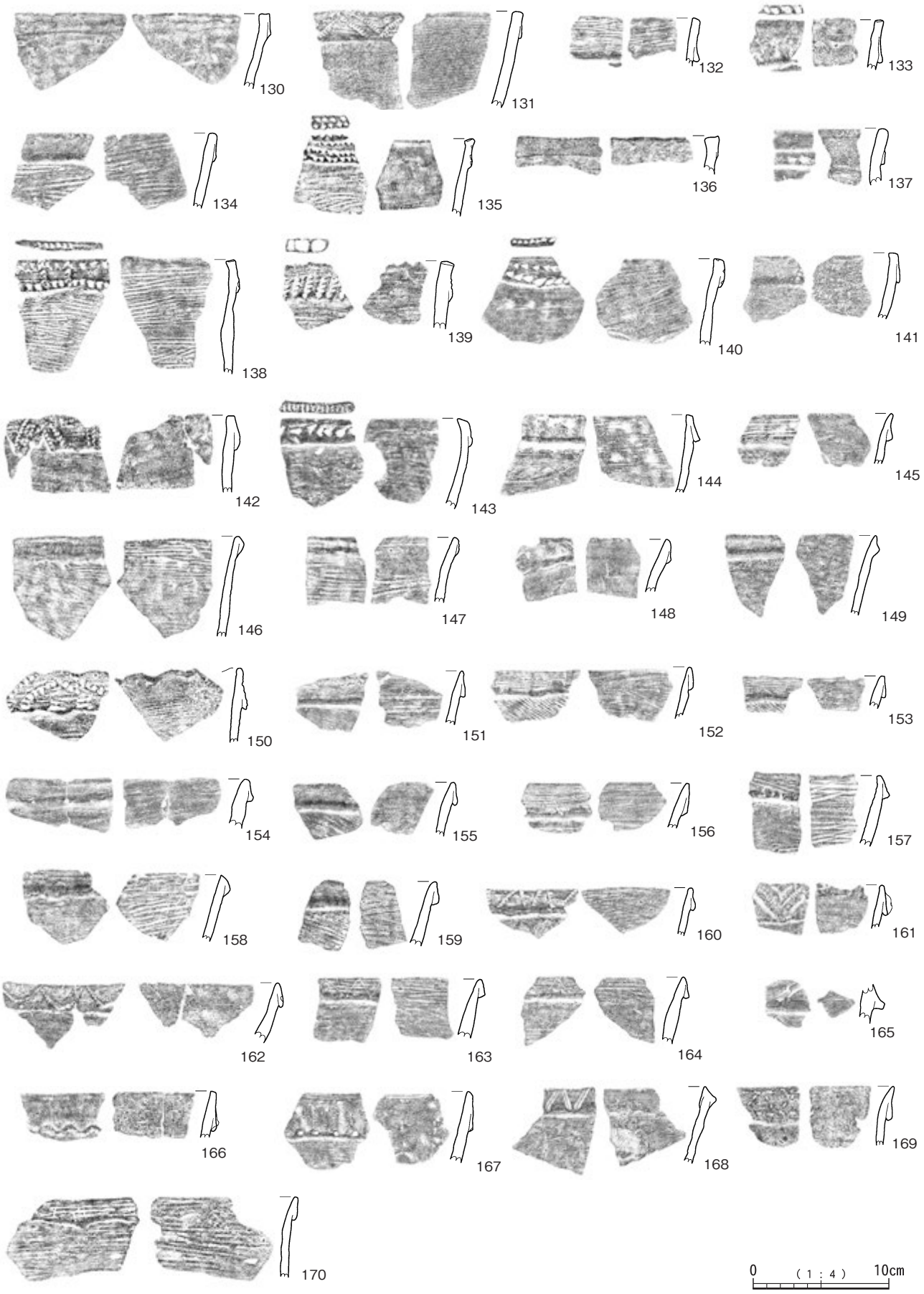
第22図　２類　春日式土器（３）2-3



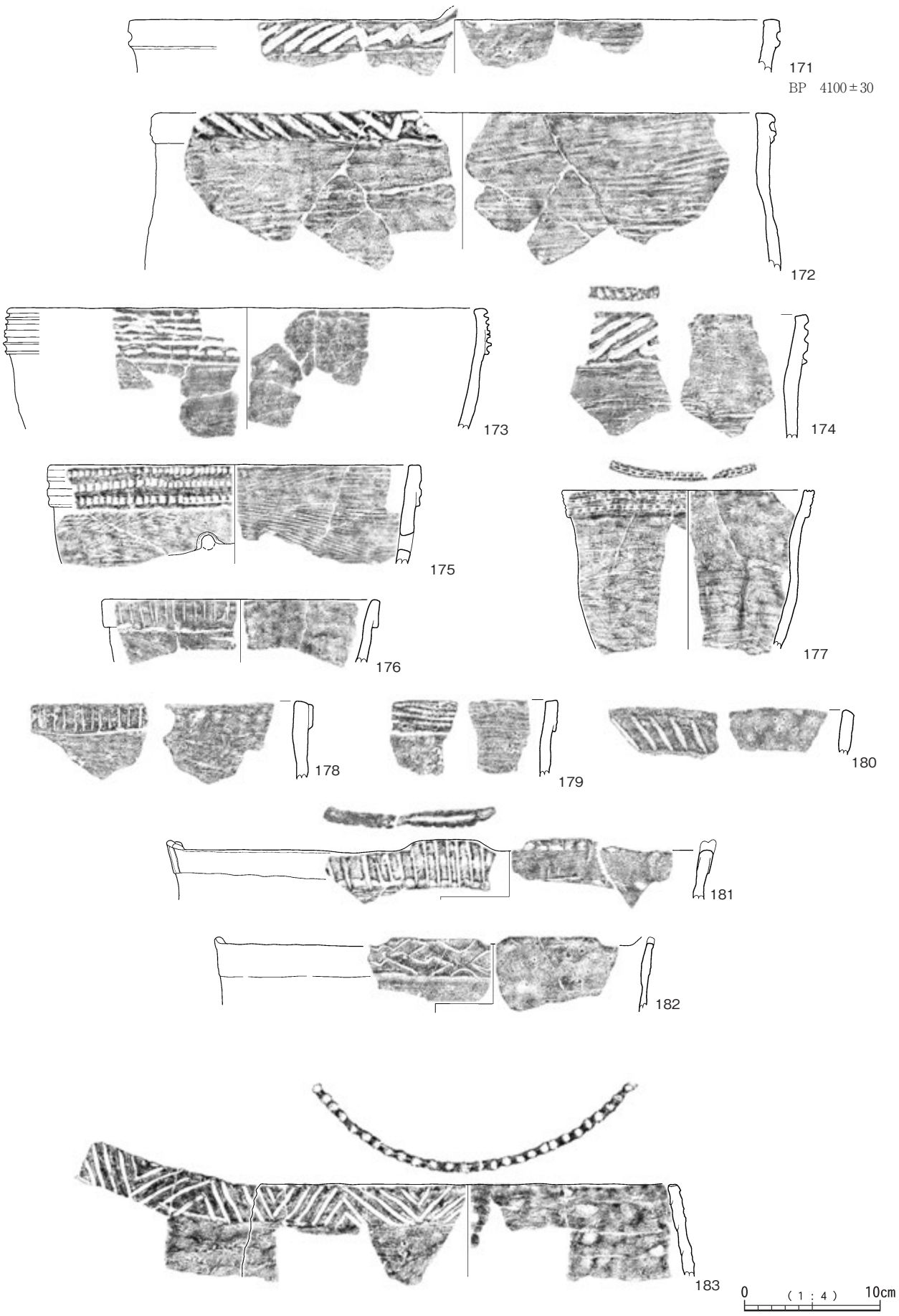
第23図　３類　中尾田Ⅲ類土器（１）3-1



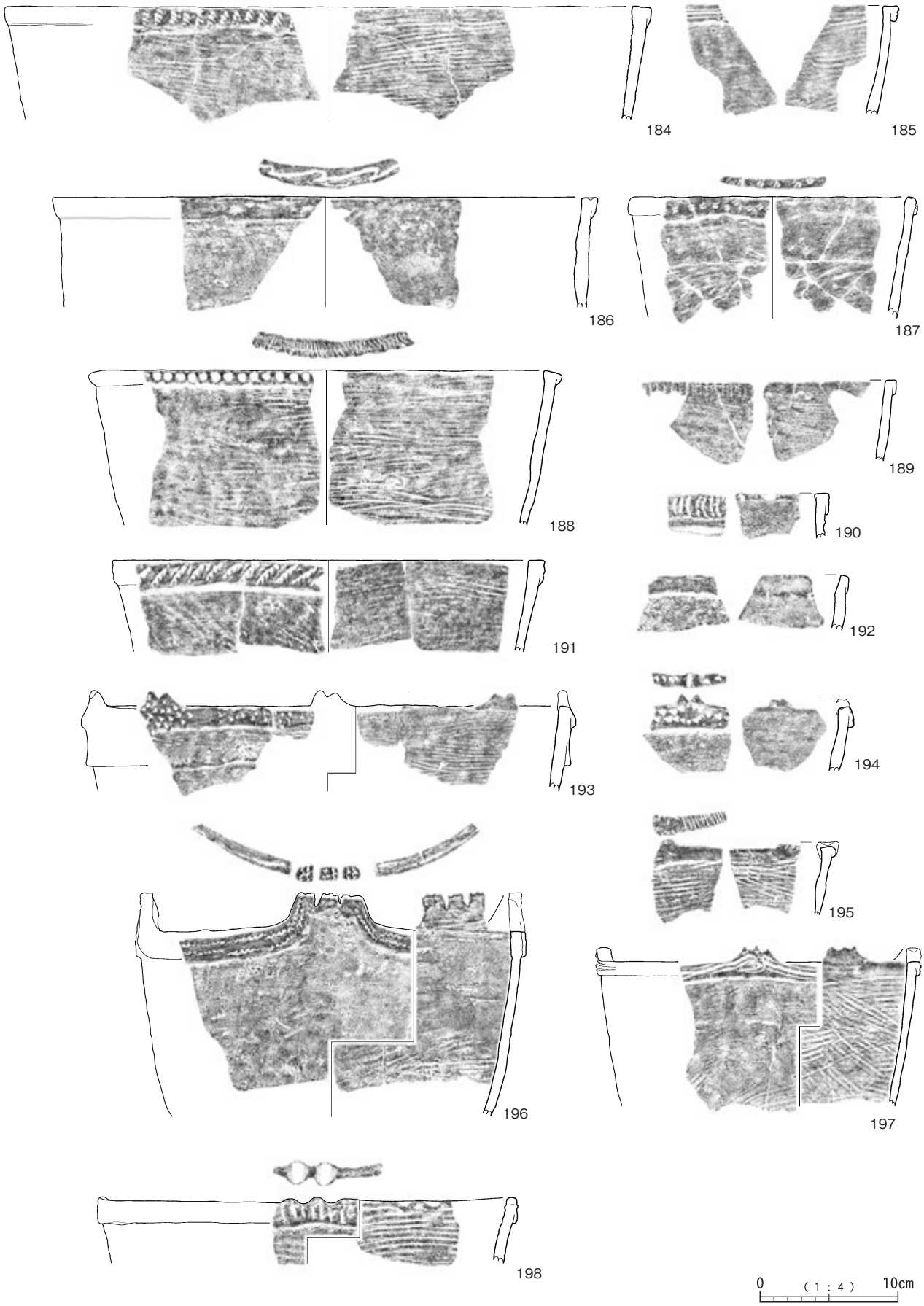
第24図　３類　中尾田Ⅲ類土器（２）3-2



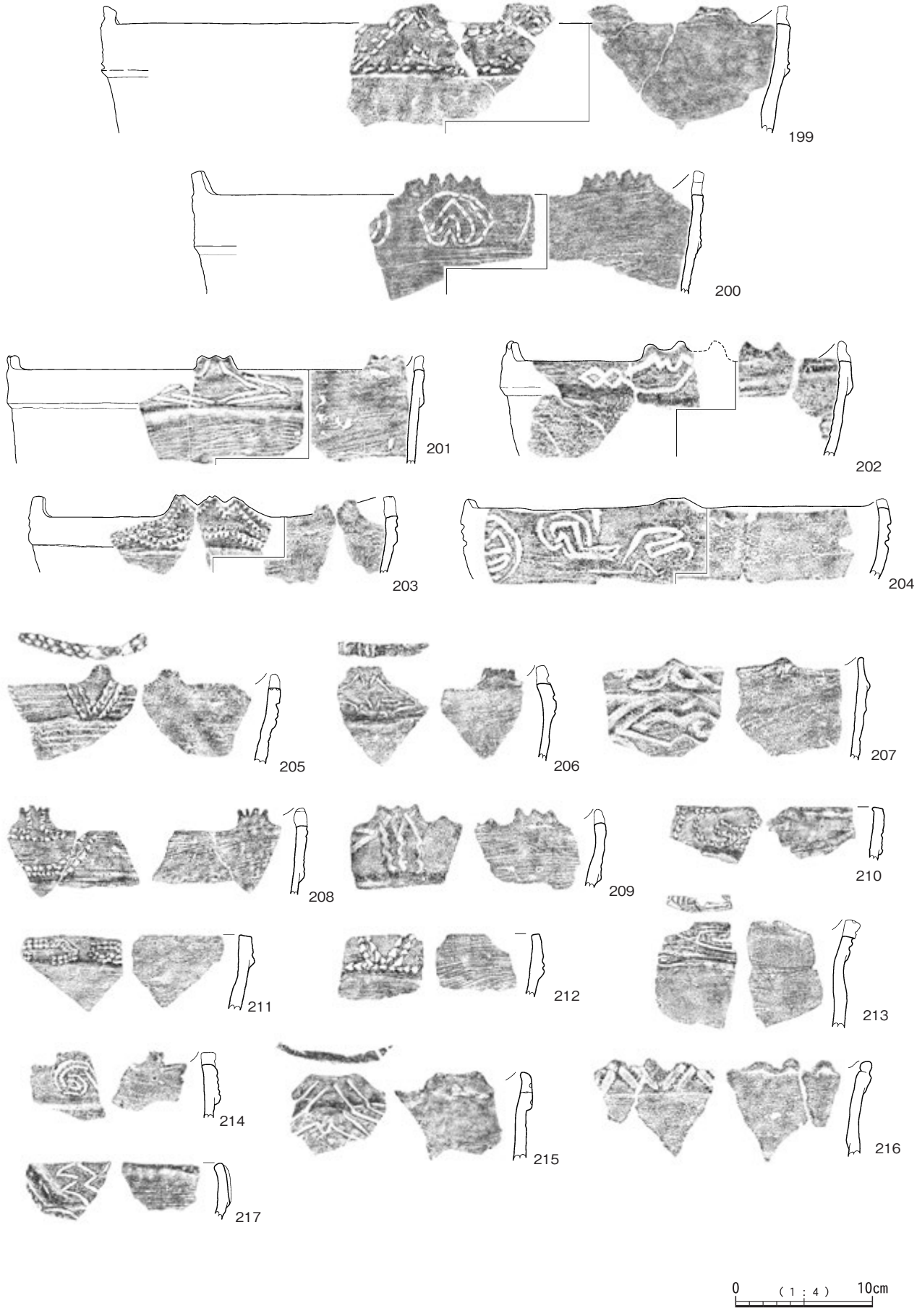
第25図　３類　中尾田Ⅲ類土器（３）3-2



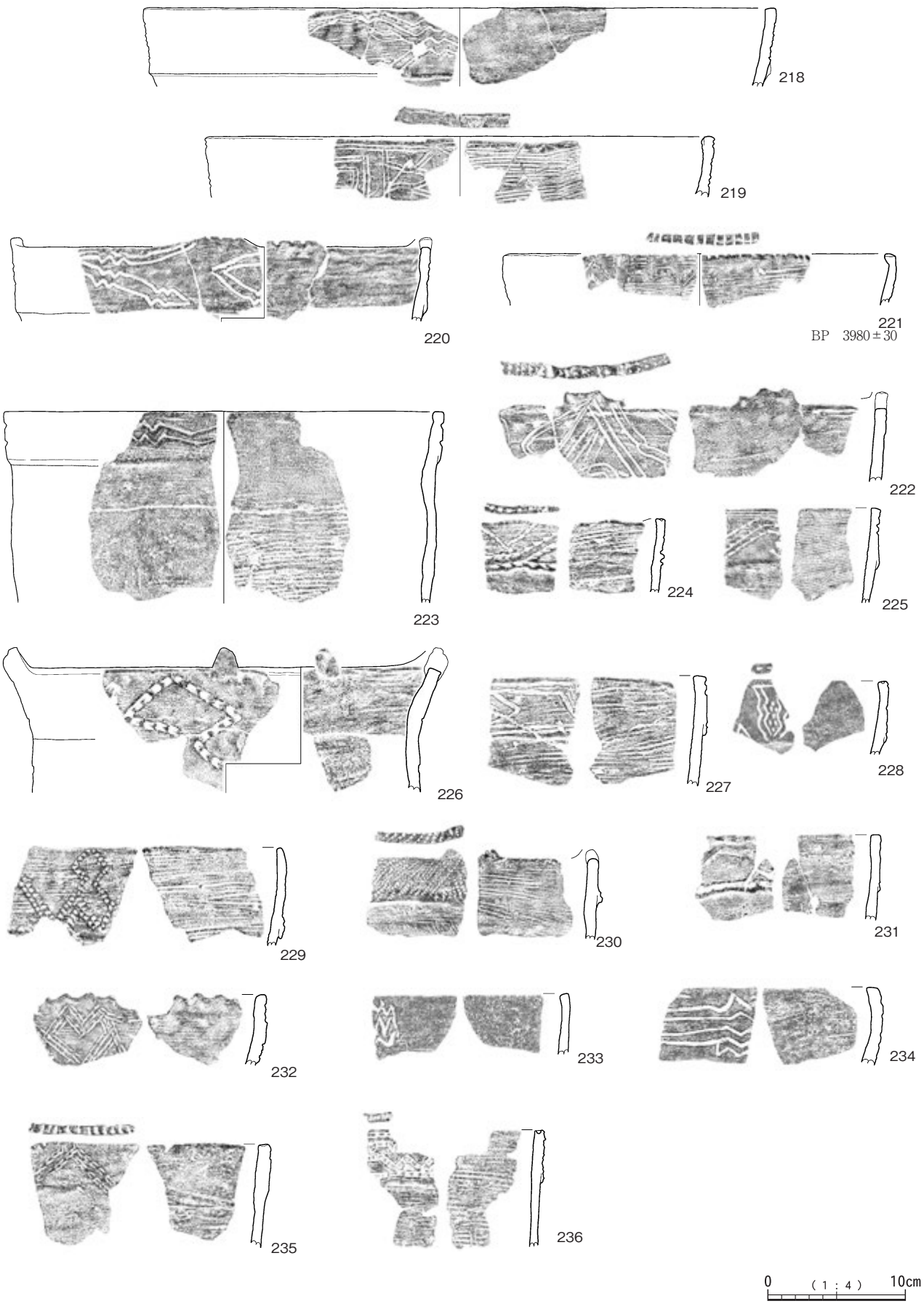
第26図　３類　中尾田Ⅲ類土器（４）3-2



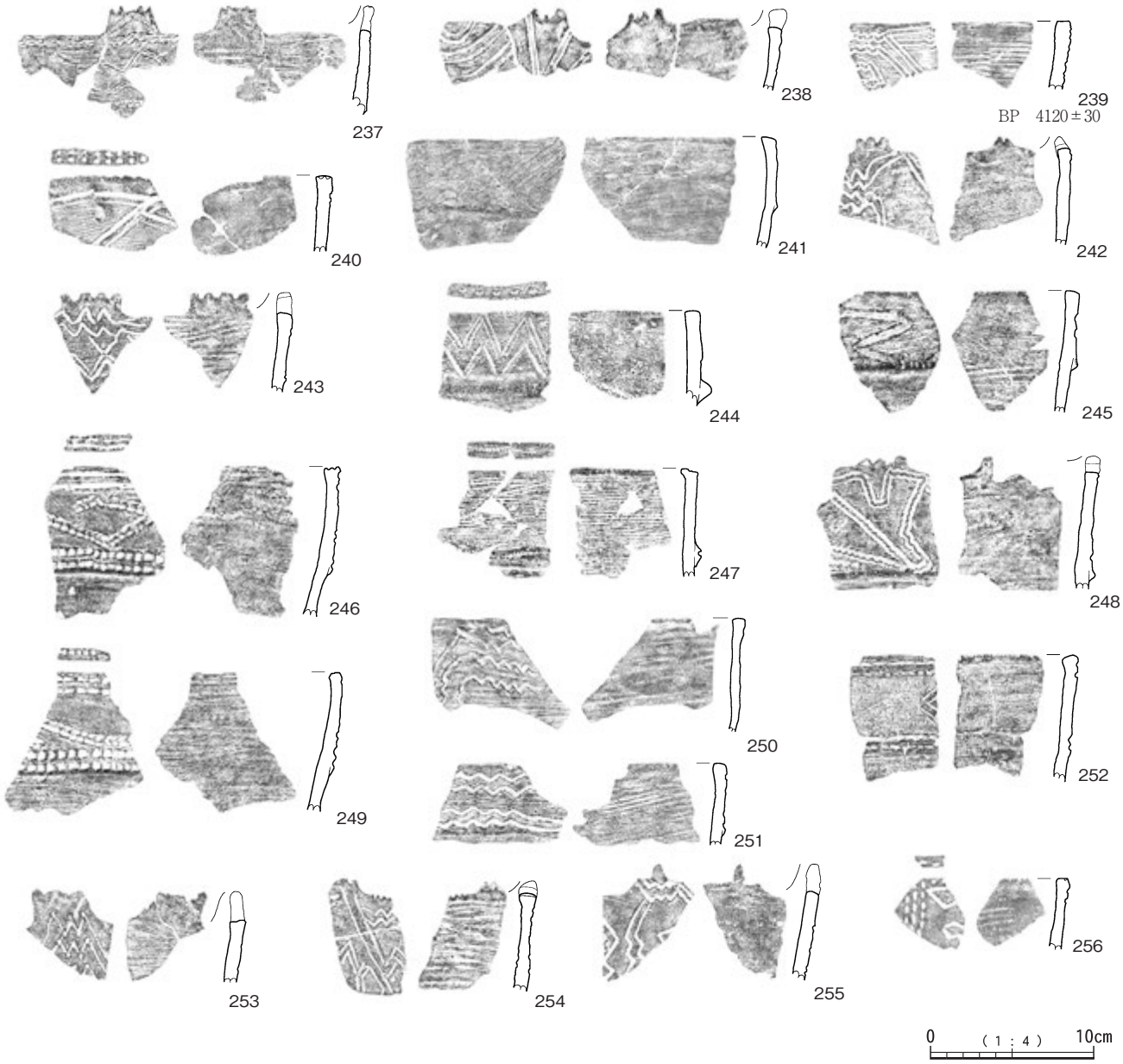
第27図　３類　中尾田Ⅲ類土器（５）3-2



第28図　３類　中尾田Ⅲ類土器（６）3-3



第29図　3類　中尾田Ⅲ類土器（7）3-3



第30図　３類　中尾田Ⅲ類土器（８）3-3

れる。47は非常に焼成がよく内外面に明瞭な条痕を残す。口縁部が内湾する（キャリパー形？）ことから本類として報告する。

２－２類　突帯貼付（轟木ヶ迫～南宮島段階）

48～70は，轟木ヶ迫～南宮島段階相当と考えられる一群で，胎土には滑石は含まれない。細いもしくは幅広の粘土紐を貼り付け，突帯で口縁部周辺に文様を作出する。突帯には押引文や刻目が施文される。

48～50は細く丁寧な突帯貼付文で，轟木ヶ迫段階の範疇に入る可能性もある。54・56・57は幅広で扁平の突帯を貼り付け,貝殻腹縁による押引文や刺突文が施文される。

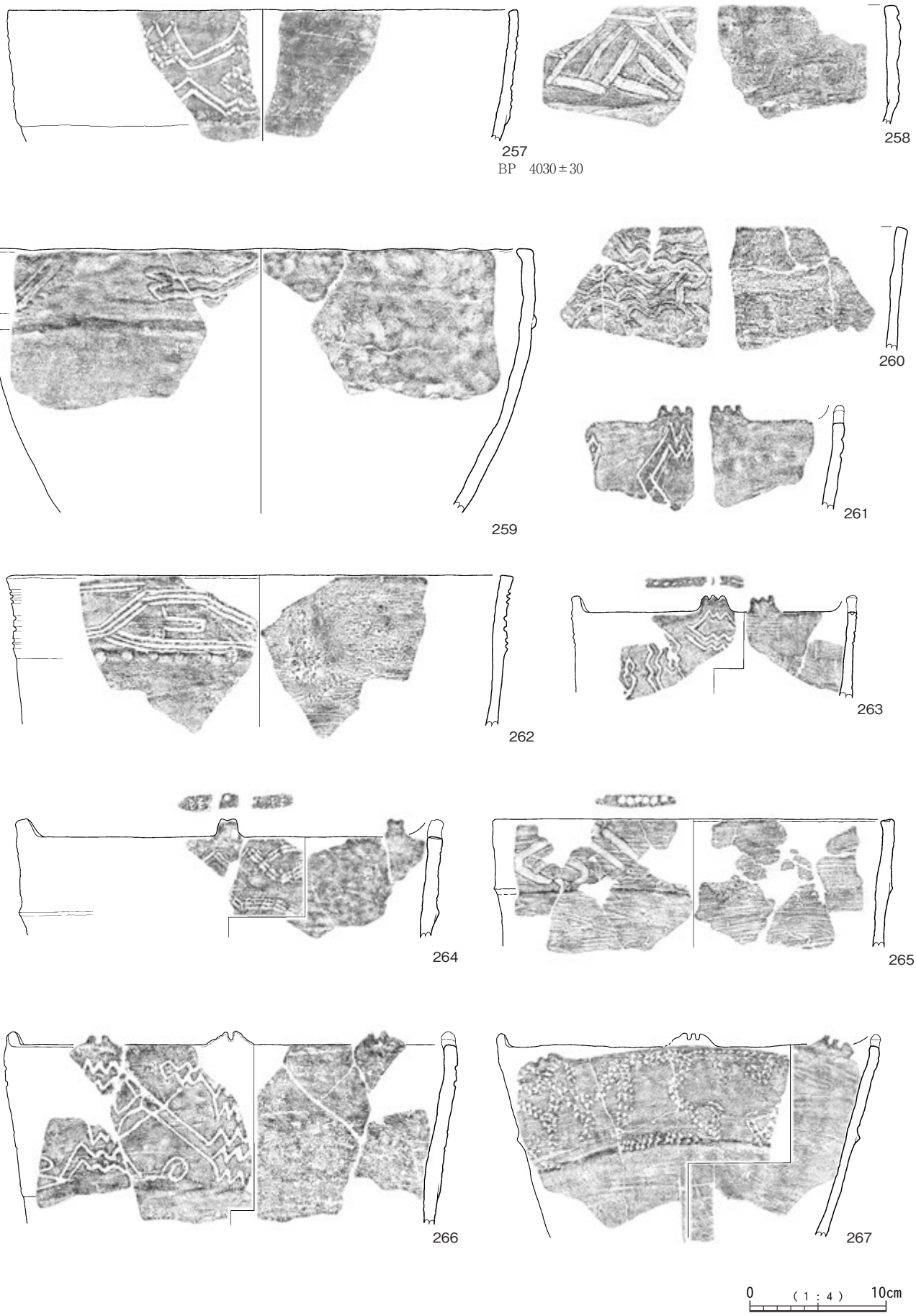
58～67は細い粘土紐を口縁部下に貼付し，貝殻や工具による刺突を施すものである。突帯貼付痕は明瞭で粘土紐の形をそのまま残し，断面は丸い。内外面ともに貝殻条痕を明瞭に残る。68・69は口唇部にかけて細い粘土紐を貼り付けて連点文をつける。

２－３類　口唇端部突帯貼付（南宮島段階）

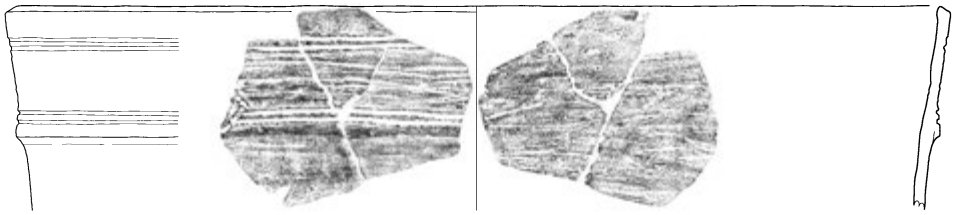
71～88は口唇端部に突帯を貼り付けるものである。貼り付け痕は明瞭に残し，突帯には連点文や貝殻腹縁による刺突文のほか，波状や粘土紐を捻り装飾するものなどがある。

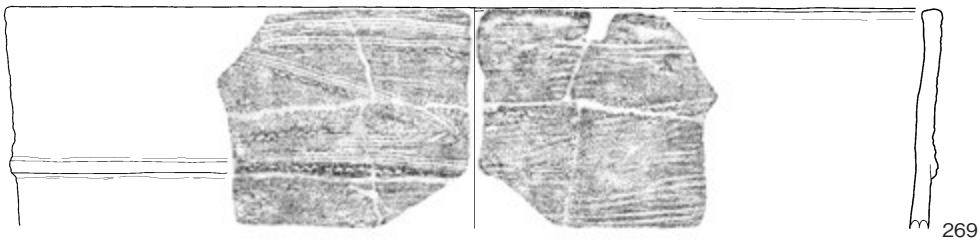
３類　中尾田Ⅲ類土器（89～288）

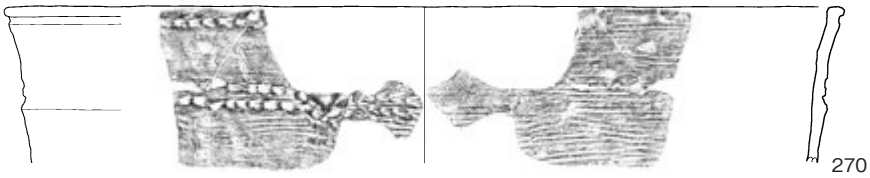
口縁部を肥厚させて文様帯とする一群である。口縁部は粘土帯を貼り付け，または折り返して肥厚させ，貼付痕・折り返し痕が明瞭に残る。文様帯となる肥厚部分には刺突文や貝殻腹縁による押引文，ヘラ状工具による沈

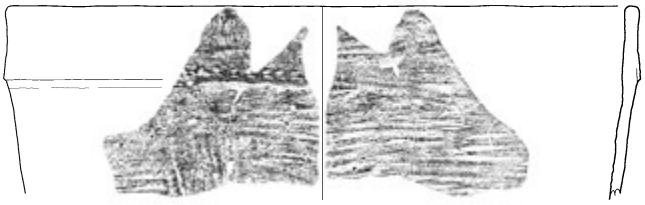


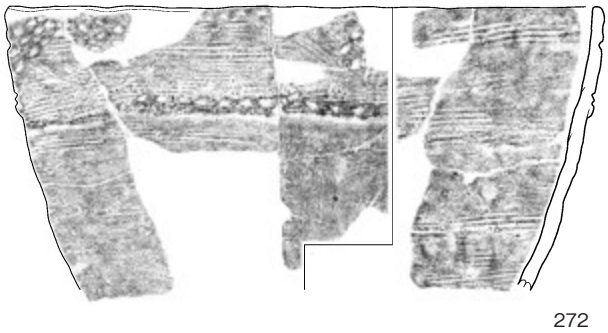
第31図　３類　中尾田Ⅲ類土器（９）3-3

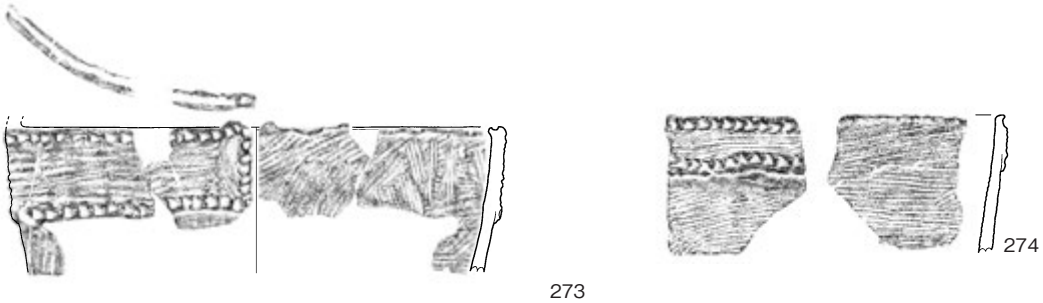






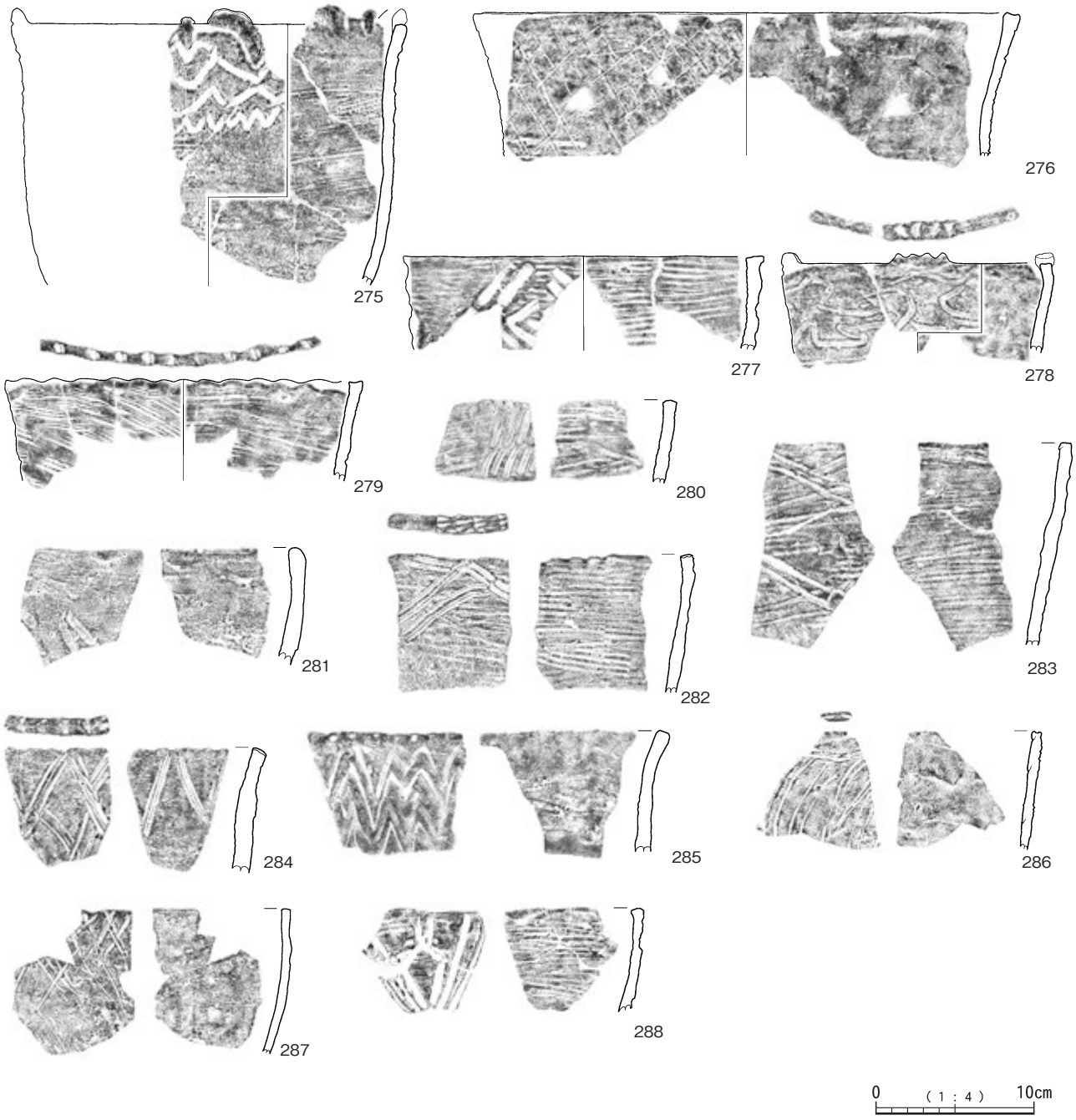






0 (1:4) 10cm

第32図　３類　中尾田Ⅲ類土器（10）3-3



第33図　３類　中尾田Ⅲ類土器（11）3-4

線による鋸歯文，平行線文，沈線（幾何学文）などが施文される。口縁部は直口もしくはやや外反し，器形は砲弾形でやや胴部が張り，丸みを帯びる。

３－1類　突帯＋沈線文

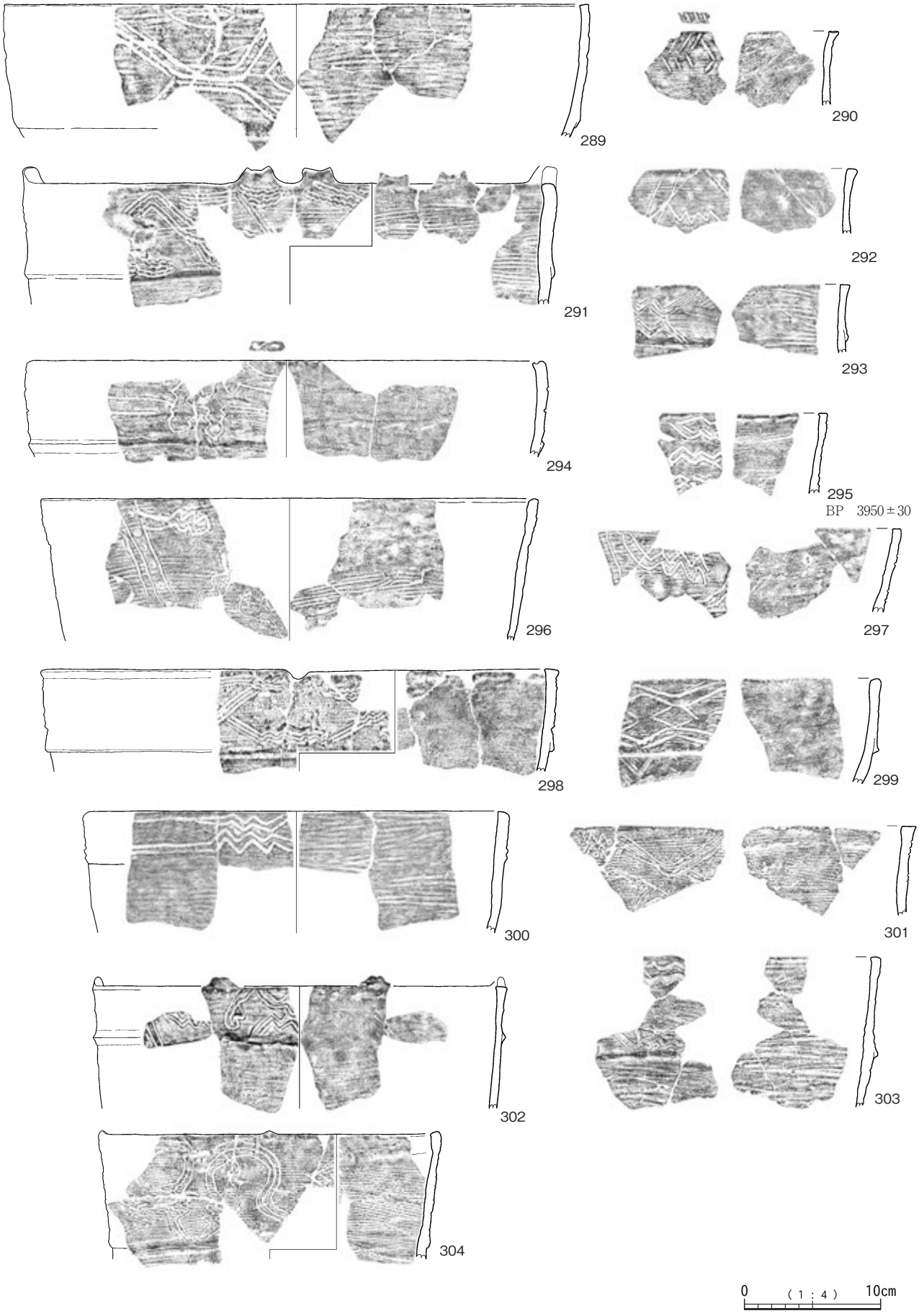
89～96は口縁部に四角形状の突帯を貼付して突帯に押引文・連点文を施文する。さらに突帯を巡るように沈線文を施し，文様帯を構成する一群である。

89と90，91と96は同一個体の可能性が高い。89・90は幅広で厚い粘土帯を貼り付け，口縁部下の文様帯をつくる。突帯部分にはヘラ状工具による押引文を施文し，突帯内側に沈線文を巡らす。91・96は突帯間に波状（渦巻状）の沈線文をもつ。

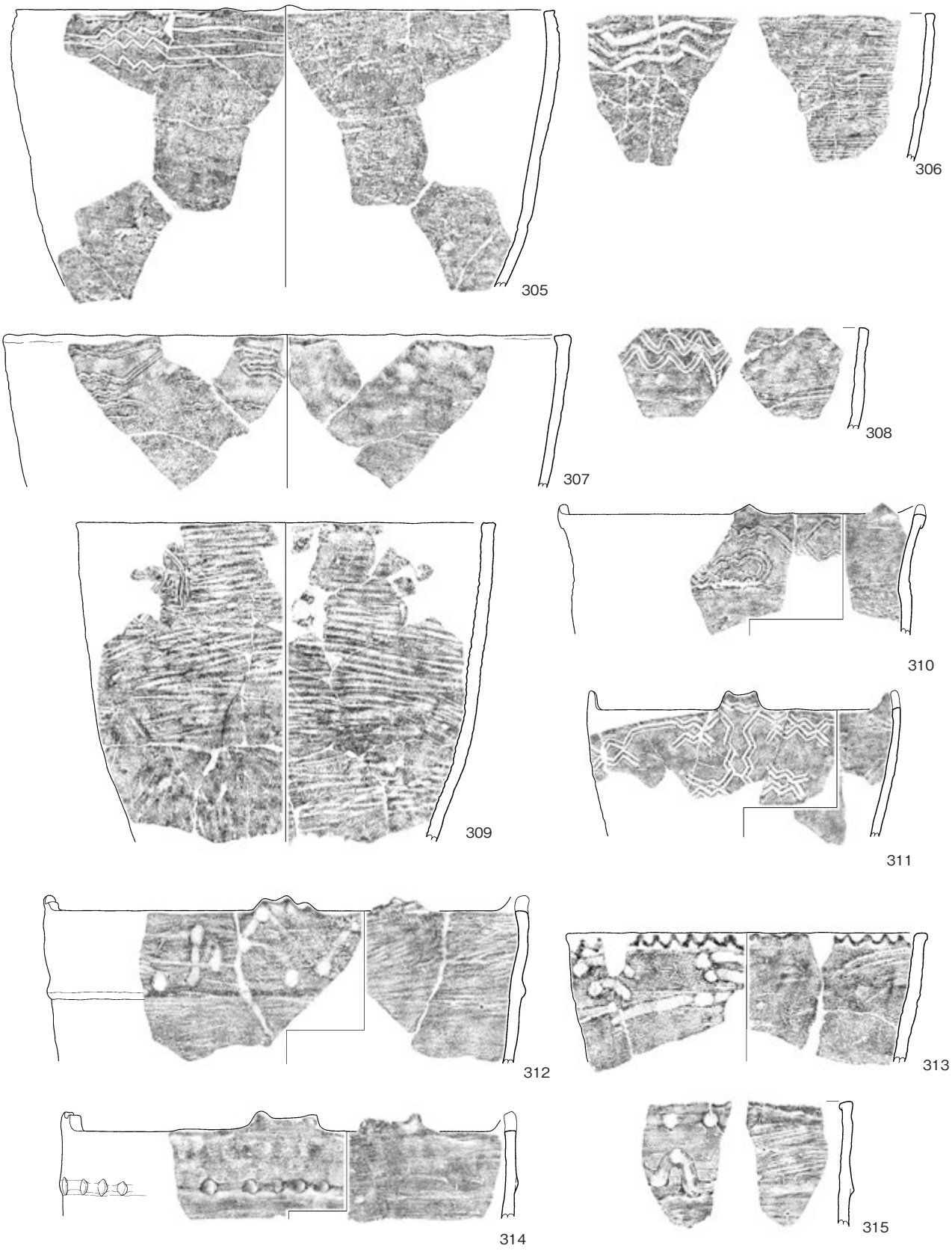
92～96はやや細い突帯を持ち，突帯周りに沈線文が施文される。97はＴ字状の幅広の突帯に沈線文と連点文を施文し，外面器壁には沈線文をもつ。突帯と沈線の組み合わせのものとして本類として報告するが，中期後半の範疇に入るものと考えられる。

３－２類　口縁部肥厚（幅狭）

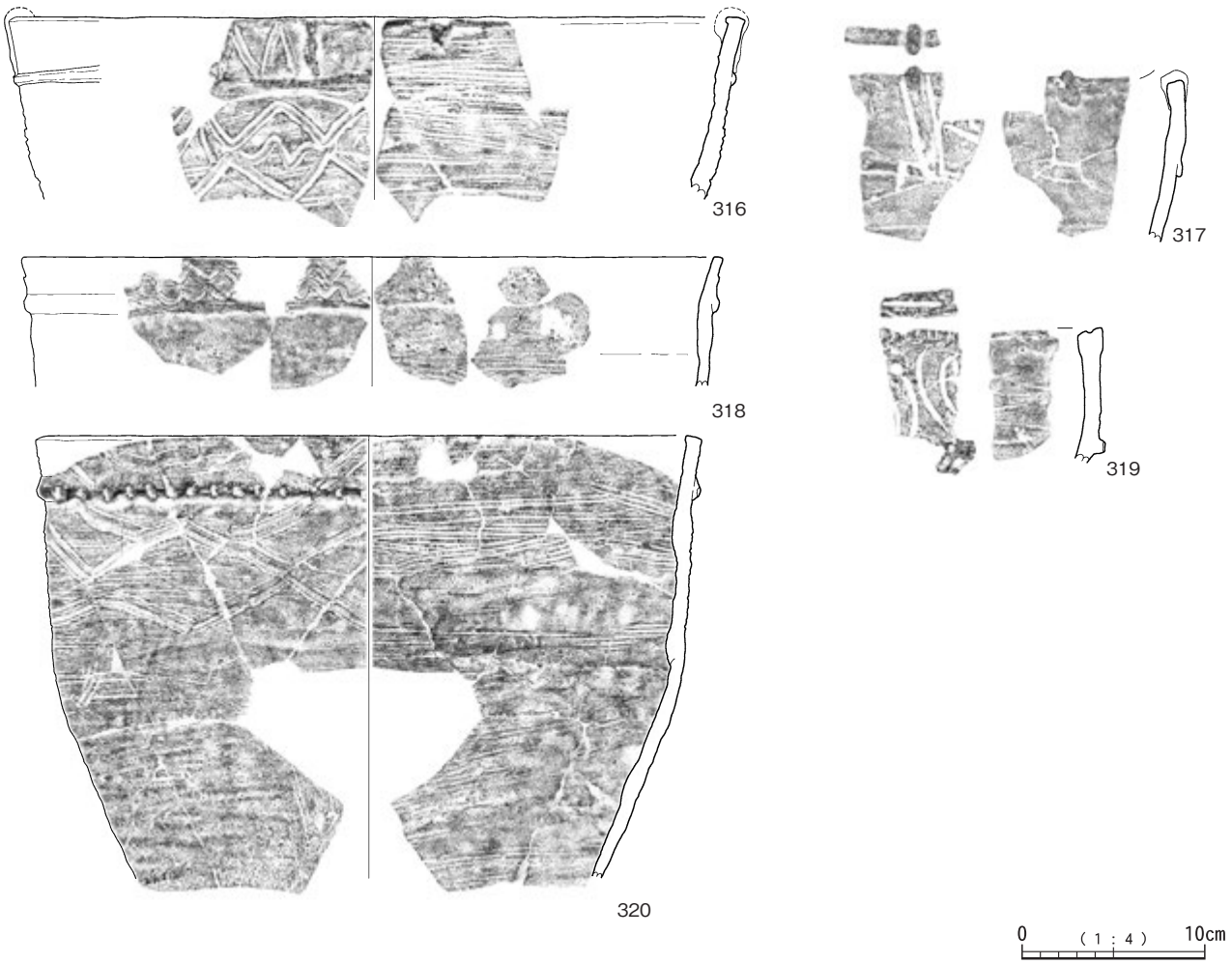
98～170は口縁部を粘土帯で肥厚させ，幅狭の文様帯を構成させるものである。貼り付け痕は明瞭に残り，段を成す。器面調整は横方向の貝殻条痕が明瞭に残るものが多い。111には外面全面に煤が付着している。



第34図　４類　大平式土器（１）4-1



第35図　４類　大平式土器（２）4-2・4-3



第36図　４類　大平式土器（３）4-4

98～126は一見口縁部下に突帯を貼り付けているようにみえるが，口縁部に粘土帯を貼り付けて肥厚させ，口縁部下のみ突帯状の段を成形し，文様帯を作出する。文様は無文もあるが，突帯状の部分に刻目を施文するものも多い。

130～144は口縁部を肥厚し，断面四角形になるものである。肥厚部分の文様帯には貝殻腹縁による鋸歯文や刺突文，押引文が施文される。

145～170は口縁部を折り返し，口唇端部が先細りで断面三角形状を呈するものである。貝殻腹縁や沈線による鋸歯文などが施文される。

171～183は，口唇部を幅広で厚く肥厚させ，断面四角形のものである。文様帯には深い短斜の凹線や押引文などが施される。175は胴部に補修孔と思われる穿孔がある。183は口縁部下位の貼り付け痕が丁寧にナデ消し，沈線による鋸歯文が施文される。内面には粘土帯積み上げ痕と指頭圧痕が明瞭に残る。

184～198は幅狭の断面四角形の口縁部を呈し，明瞭な段を持つものである。184～192は直口縁で縦方向の貝殻刺突などが施文される　193～198は山形の突起をもった波状口縁になるものが多く，文様も押引文や沈線文などが施される。

３－３類　口縁部肥厚（幅広）

199～274は幅広の文様帯をもつものである。文様帯との境は粘土帯を張り付けて肥厚させた接合痕によって段を成す。文様はヘラ状工具による細沈線文や幅広の沈線文・押引文・貝殻刺突等で山形・菱形・鋸歯・亀甲文などを施文する。

器形は砲弾形と山形の突起をもつ波状口縁のものがある。砲弾形の器形的な特徴や文様の構成は４類（大平式）と非常に類似する。器面調整はナデ調整と横方向の貝殻条痕を明瞭に残す２つのパターンがみられる。口縁部断面は四角形状を呈し，突起や口唇部に刺突文・連点文などが施文されるものもある。

215は口縁部下にも沈線文が広がる。226は他と比して口縁部が外反しており器形が異なるが，段を境に文様帯をもつものとして本類として報告する。262は段の部分に刺突を施す。266は内面に赤色顔料が明瞭に残る。269は沈線と貝殻刺突で沈線文風に施文し，曲線状の文様を施文する。

270～274は沈線文ではなく，口縁部と段に押引平行文



第37図　５類　並木式土器（１）5-1・5-2

を施文するものである。内外面の貝殻条痕の調整痕が明瞭に残る。

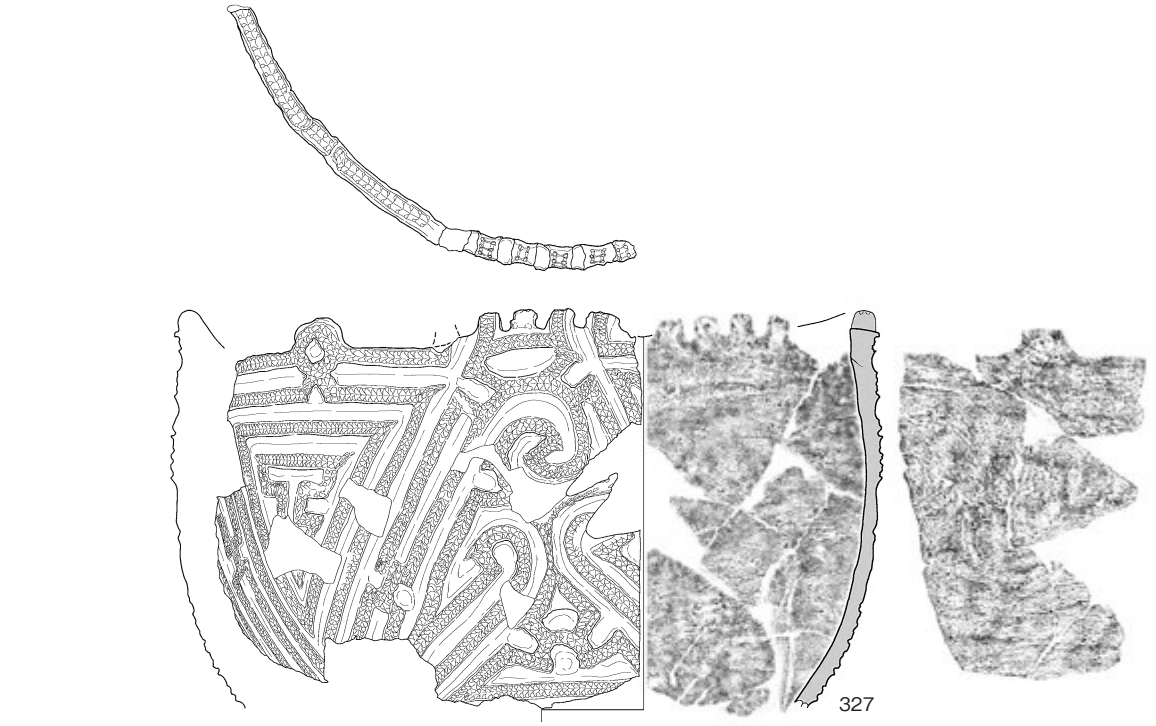
３－４類　全面施文

形態的には口縁部は肥厚せずに，砲弾形もしくはやや外反するもので，外面に沈線文などで山形文や格子文などが施文される。形態や施文モチーフ，細沈線文等の特徴から本類として報告するが，一部は後期相当のものの可能性がある。275は２－２類にみられるような細い粘土紐を口唇部に貼り付け，外面には沈線で山形文が施文される。276は浅細沈線で斜格子文が施文される。

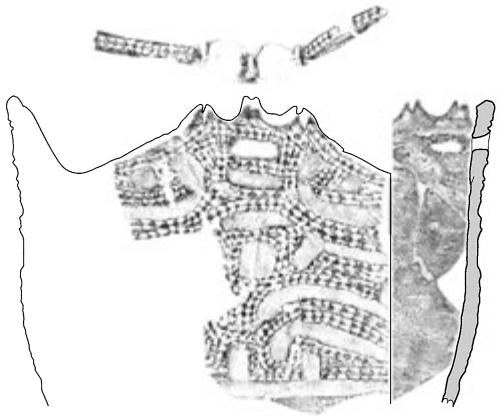
278や284などは沈線文内に工具の筋痕が残るものもある。

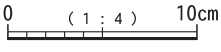
４類　大平式土器　（289～320）

砲弾形の形状を呈し，口縁部上位を肥厚させて段を成し，幅広の文様帯をもつ。４類の文様の特徴として，ヘラ・櫛状工具によって細沈線で山形・菱形・鋸歯・亀甲

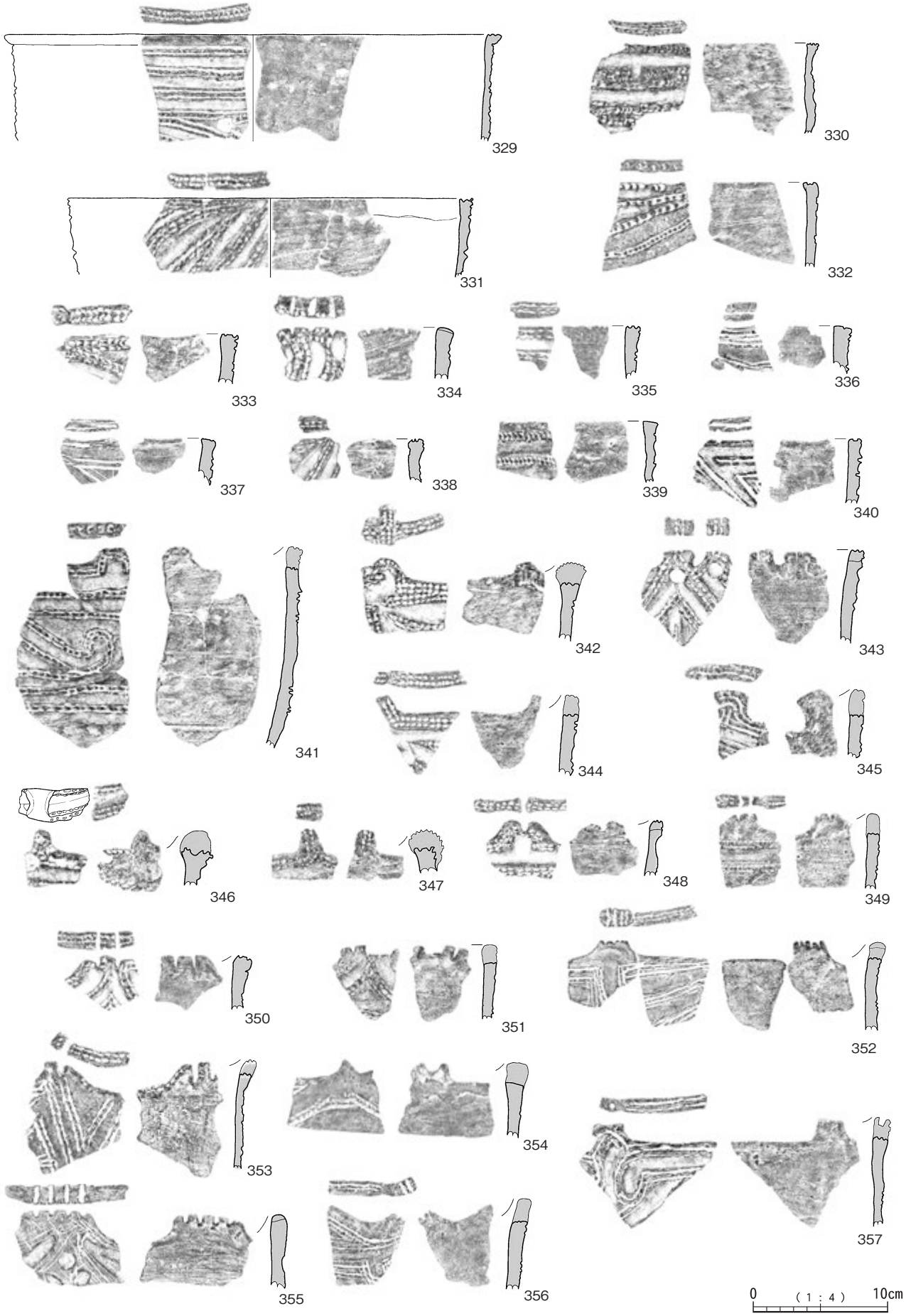




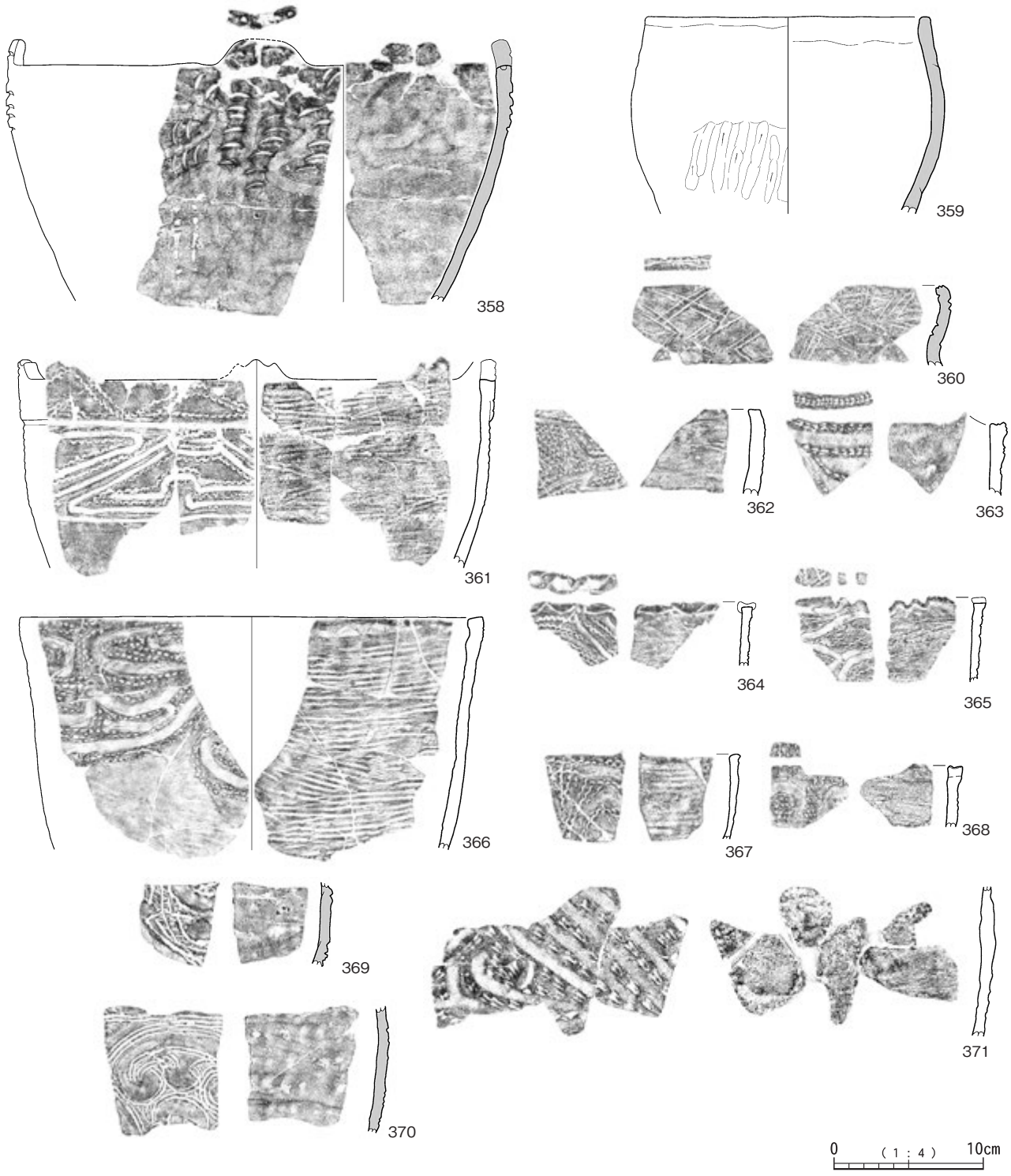




第38図　５類　並木式土器（２）5-2



第39図　５類　並木式土器（３）5-2

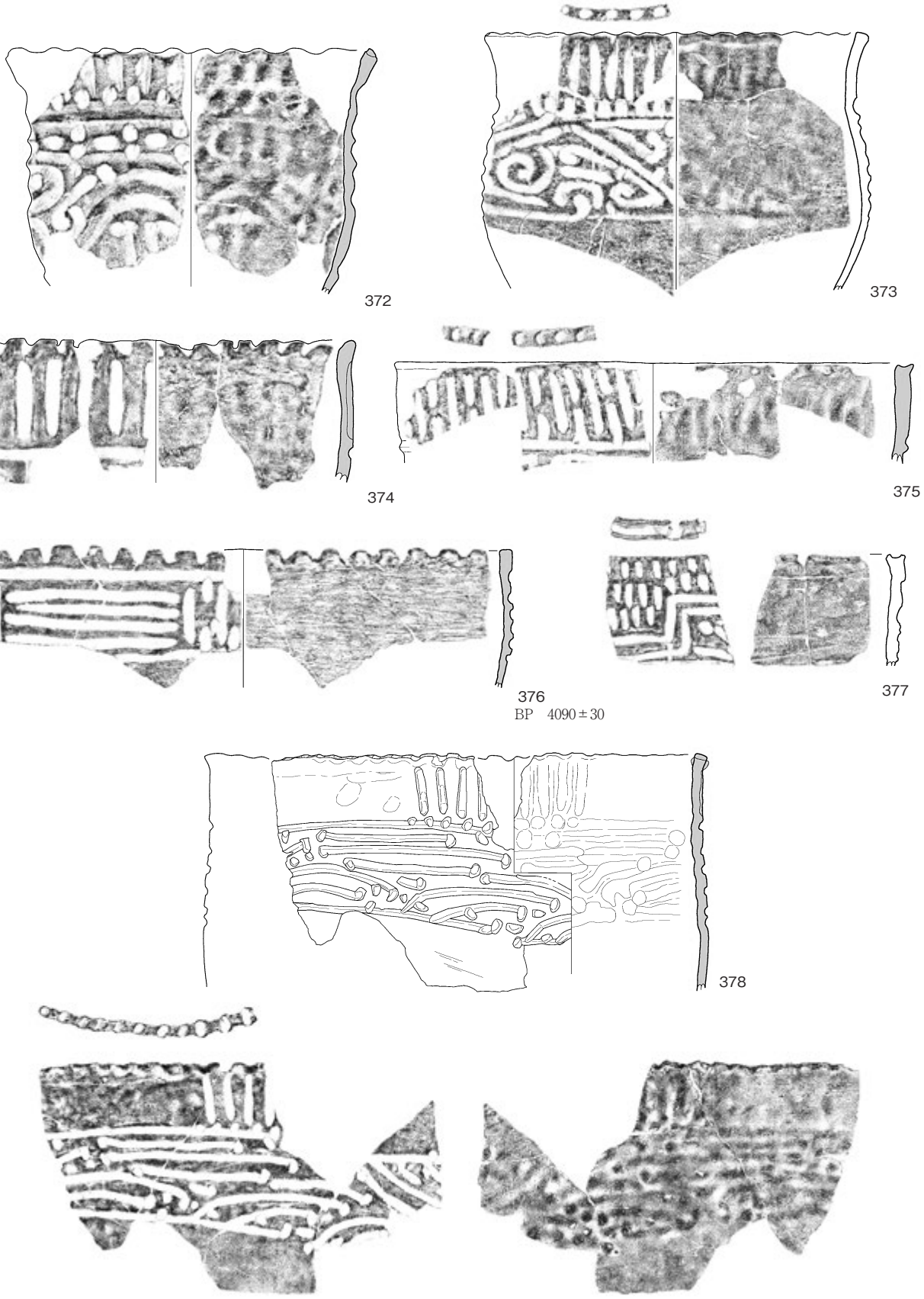


第40図　５類　並木式土器（４）5-2

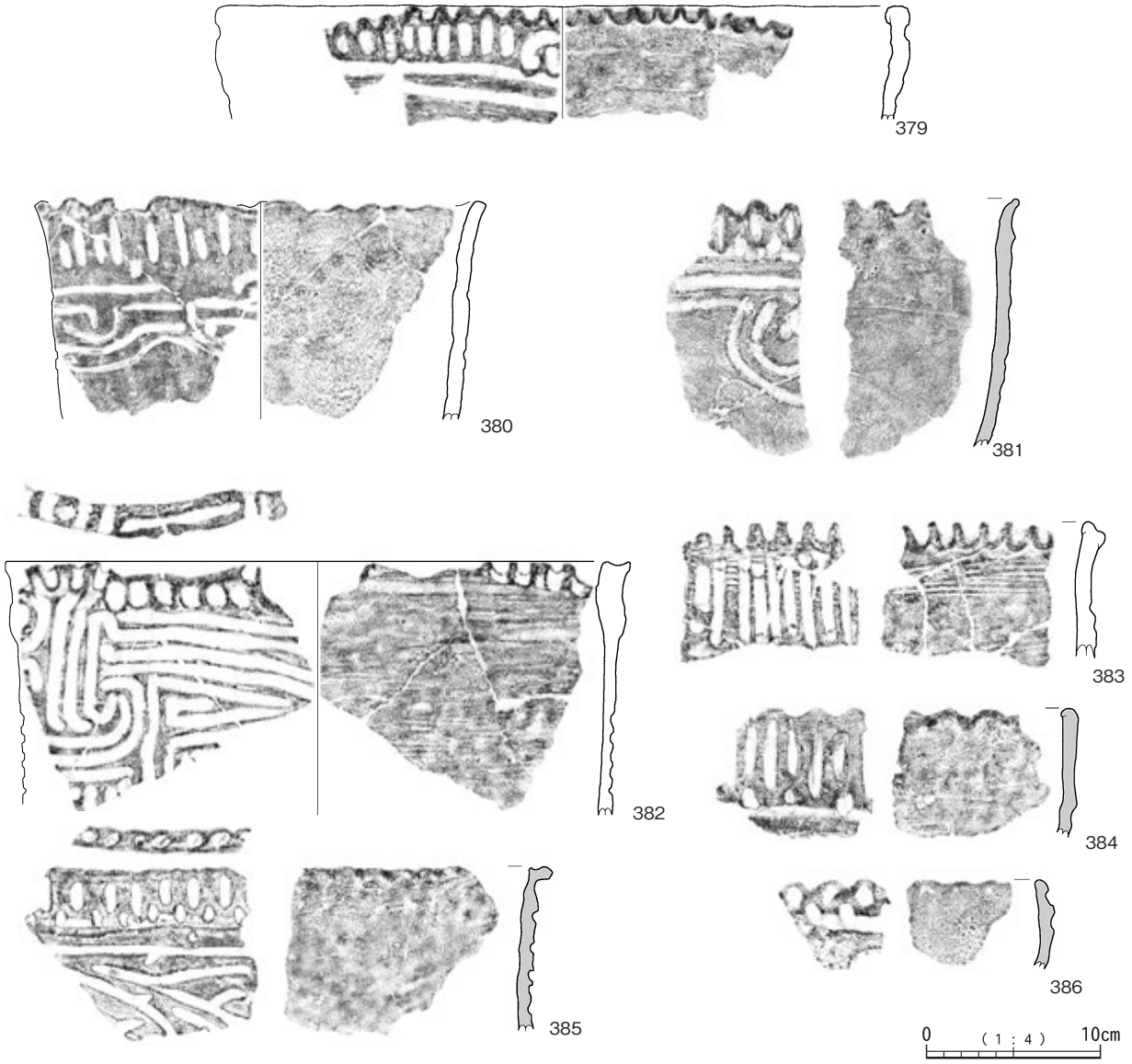
文などが施文される。口縁部には山形突起をもつものもある。

口縁部下位に段をもつもの（４－１類），段を持たない・不明瞭なもの（４－２類）がある。段を持つものは段を区画として段上位を文様帯としており，段が不明瞭なものも概ね口縁～胴部上位まで文様帯としている。また，段を持たず口縁部下位に突帯を貼り付けて，文様帯との境とするもの（４－３類）もあるが，境となる突帯下にも文様が広がるものもある。

なお，４類の形態的特徴を持ちながら，曲線の凹線文を施文するもの（４－４類）もあり，他型式との影響がみられる変容的なものもある。器面調整は横方向の貝殻条痕のちナデ調整が基本で，貝殻条痕が明瞭に残るものが多い。



第41図　６類　阿高式土器（１）6-1



第42図　６類　阿高式土器（２）6-1

４－１類　口縁部下位に段

289～304は口縁部下に段をもち，幅広の文様帯をもつもので，いわゆる大平式中段階に相当するものである。口縁部下位に粘土紐を貼り付けて，段を作出しており，段の粘土帯の接合痕は丁寧にナデ消している。口縁部は断面四角形で端部はあまり丸くならず稜をもつ。

文様は２～３条単位の鋭い沈線による鋸歯文や幾何学文が施文される。

304は器壁はやや薄く，器面調整は内外面ともに横方向の貝殻条痕を明瞭に残す。

４－２類　段が不明瞭・なし

口縁部下位に段をもたずに２～３条の細沈線で山形文などを施文する。４－１類と比すると，文様単位はもつが，やや崩れたものもある。305は，器壁がやや厚く，胎土には角閃石や石英が目立つ。外面には煤が付着している。309は焼成が良く，内外面ともに貝殻条痕が明瞭に残る。310は口縁部が外反し，屈曲部を境に３本単位の沈線で波形・山形文が施文される。胎土には角閃石が目立つ。311は焼成が良く，２本単位の沈線で山形文を一定の区画で施文される。

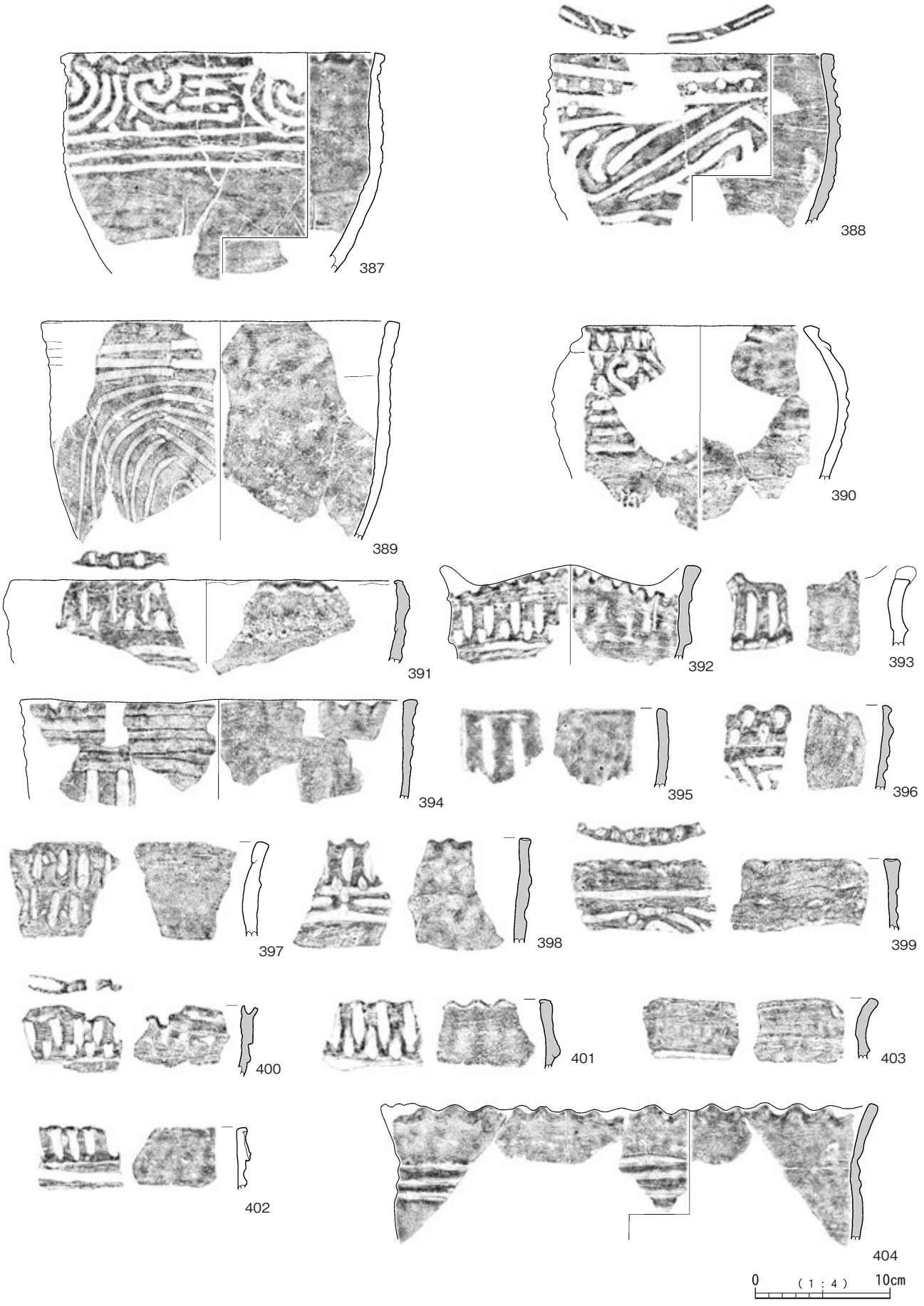
４－３類　凹線文

文様が細沈線文ではなく，幅広の太形凹線文のものである。口縁部下位に段をもつ，または段はもたずに凹線によって文様帯との境を構成する。312・313のように文様の末端に鉤手状に短凹点が入る。

312は胎土がやや粉っぽく，内面には煤が薄く付着している。314は段部分に刻目がつき，内面には赤色顔料が付着している。

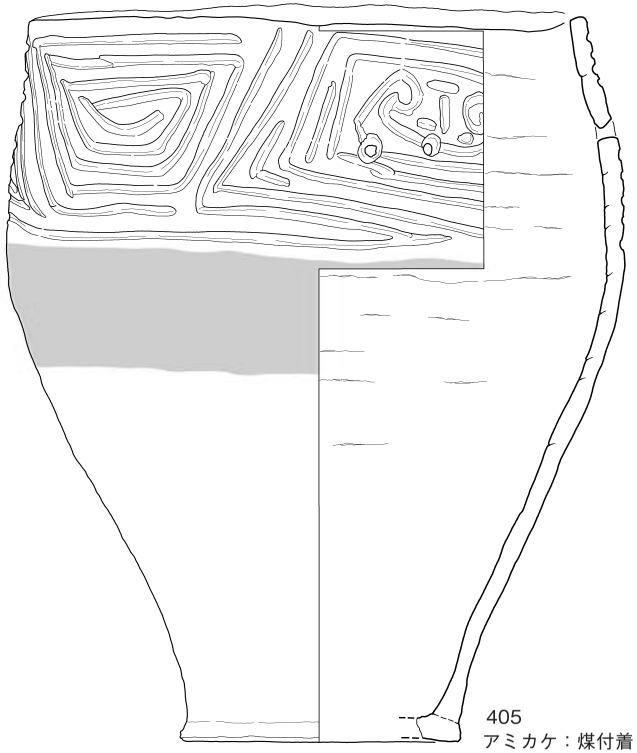
４－４類　突帯

口縁部下位に段ではなく，明瞭な突帯を作出するものである。突帯から上位を文様帯とする317～319と，突



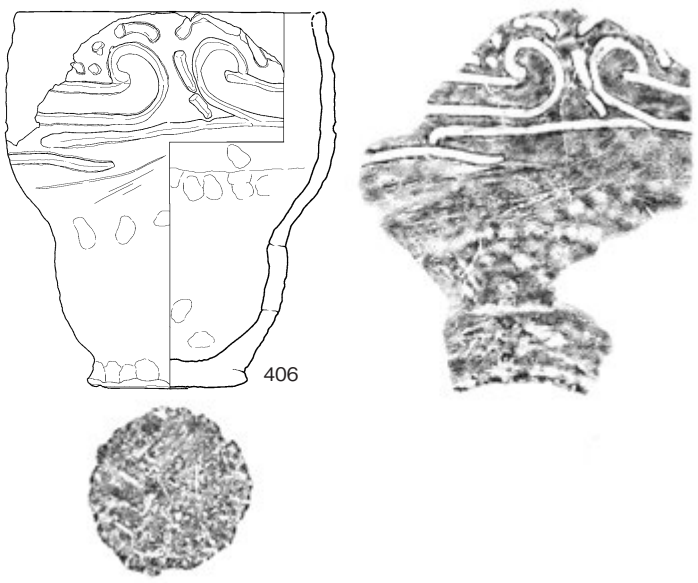
第43図　６類　阿高式土器（３）6-1

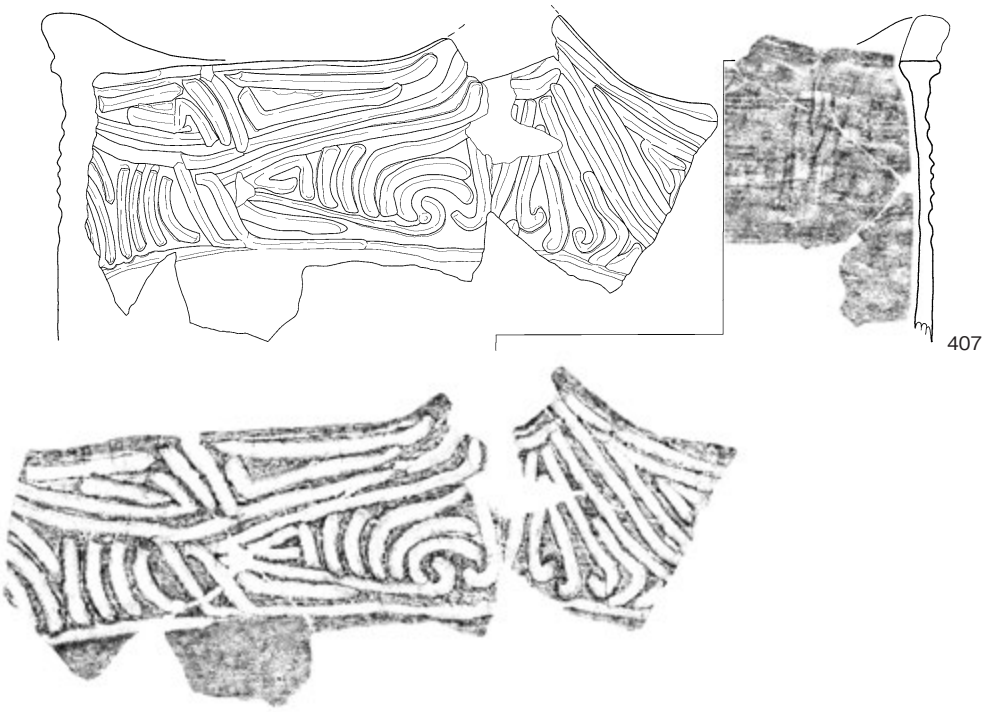




0 （1：4） 10cm

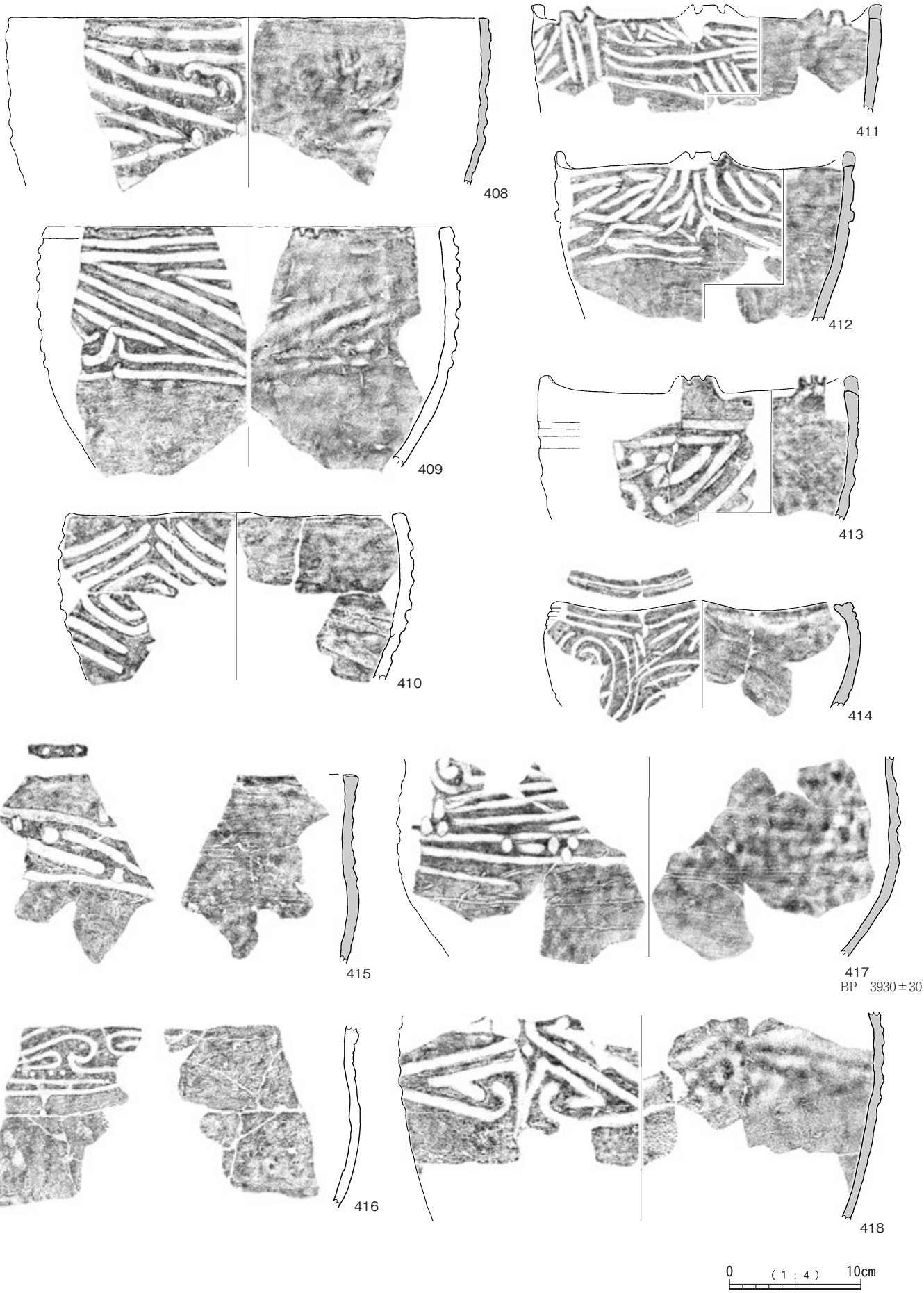
第44図　６類　阿高式土器（４）6-2



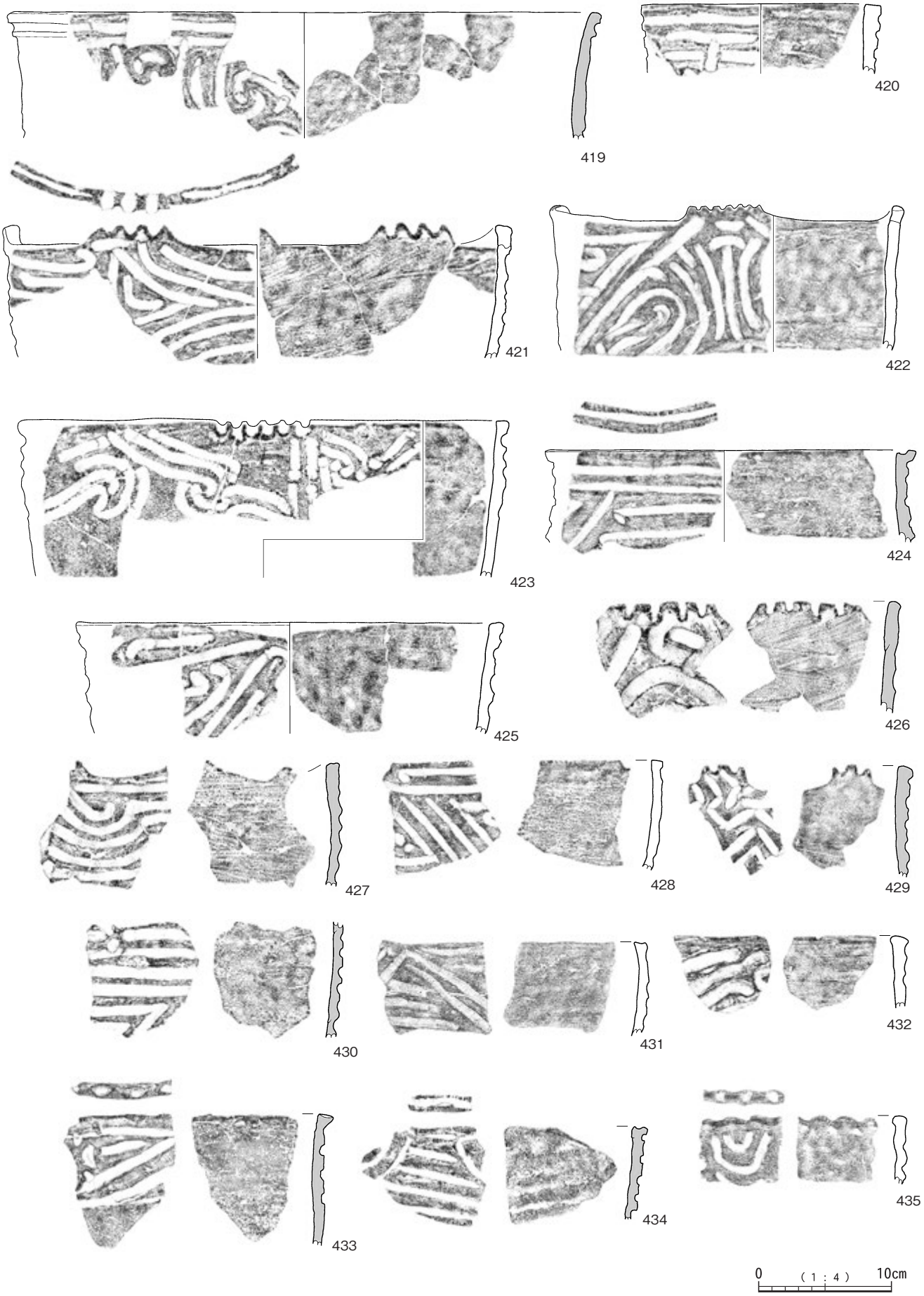


0 （1：4） 10cm

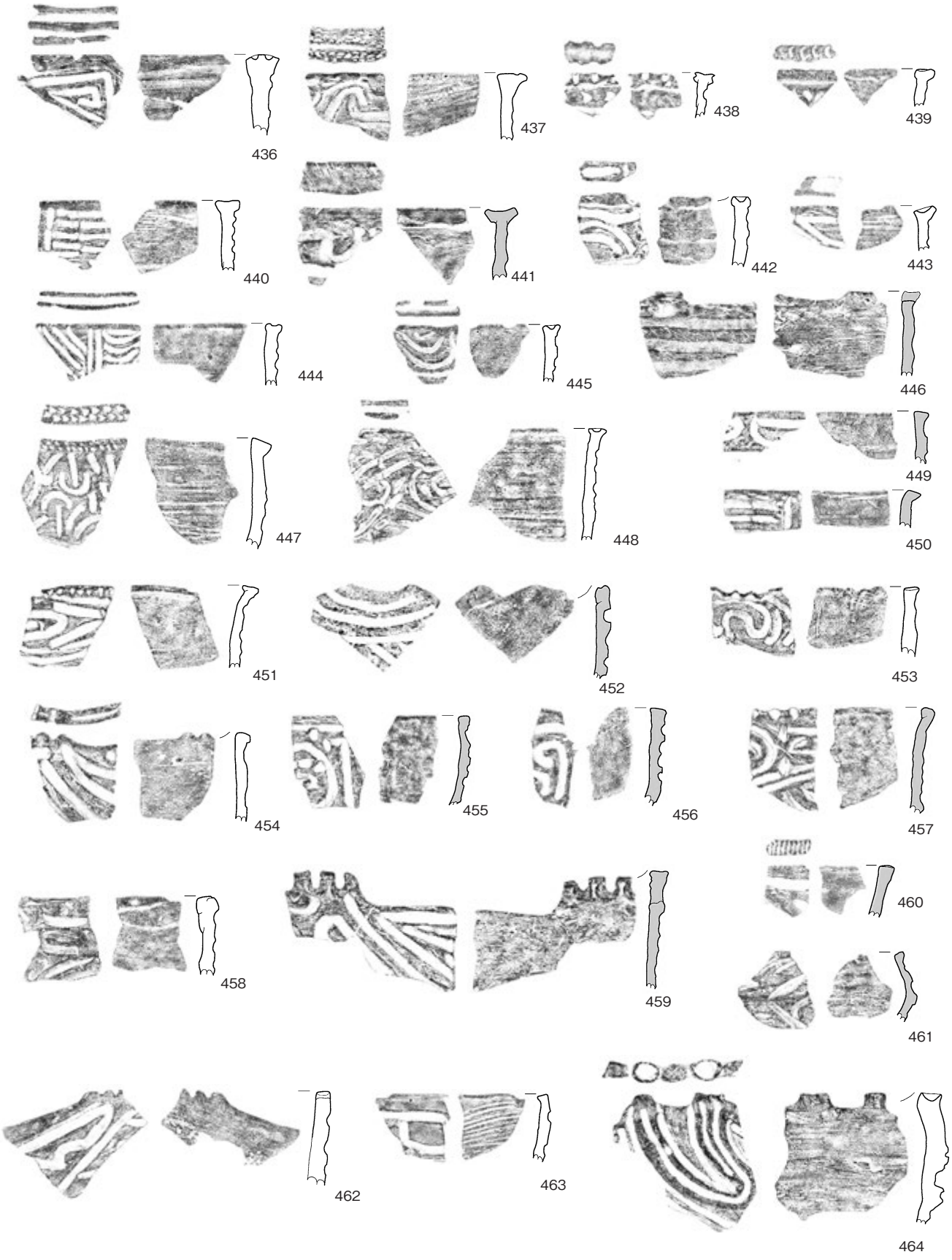
第45図　６類　阿高式土器（５）6-2



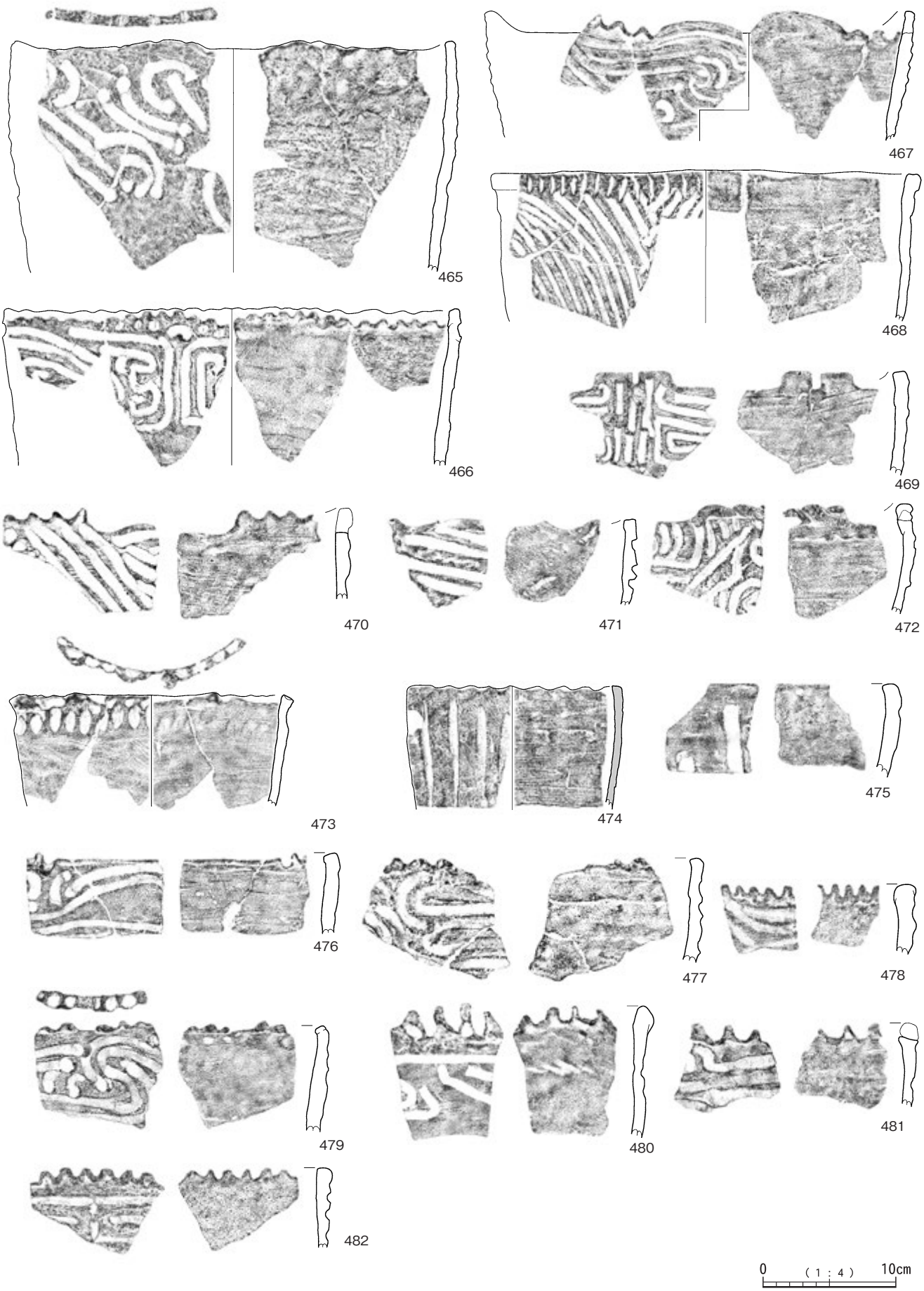
第46図　6類　阿高式土器（6）6-2



第47図　６類　阿高式土器（７）6-2



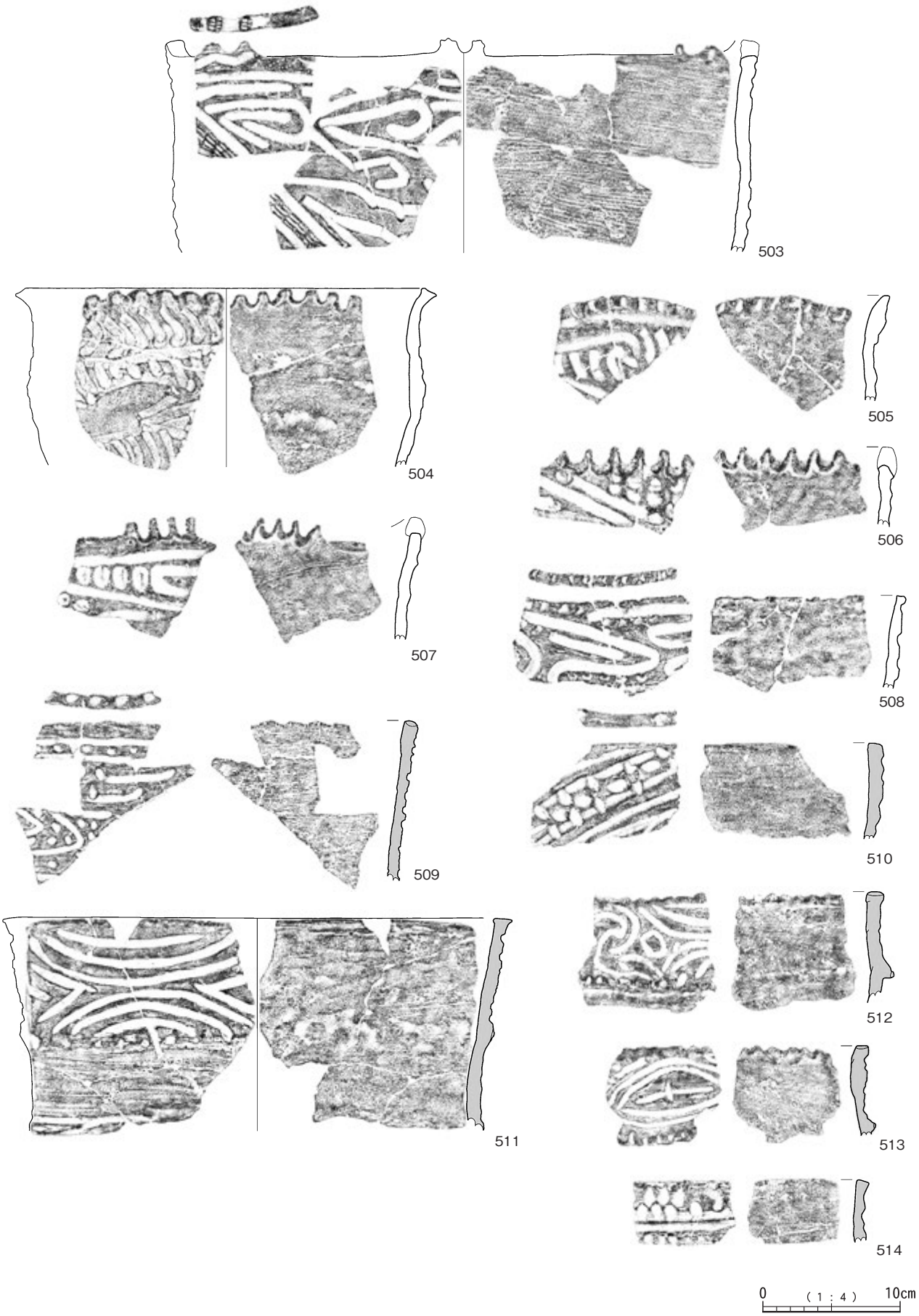
第48図　６類　阿高式土器（８）6-2



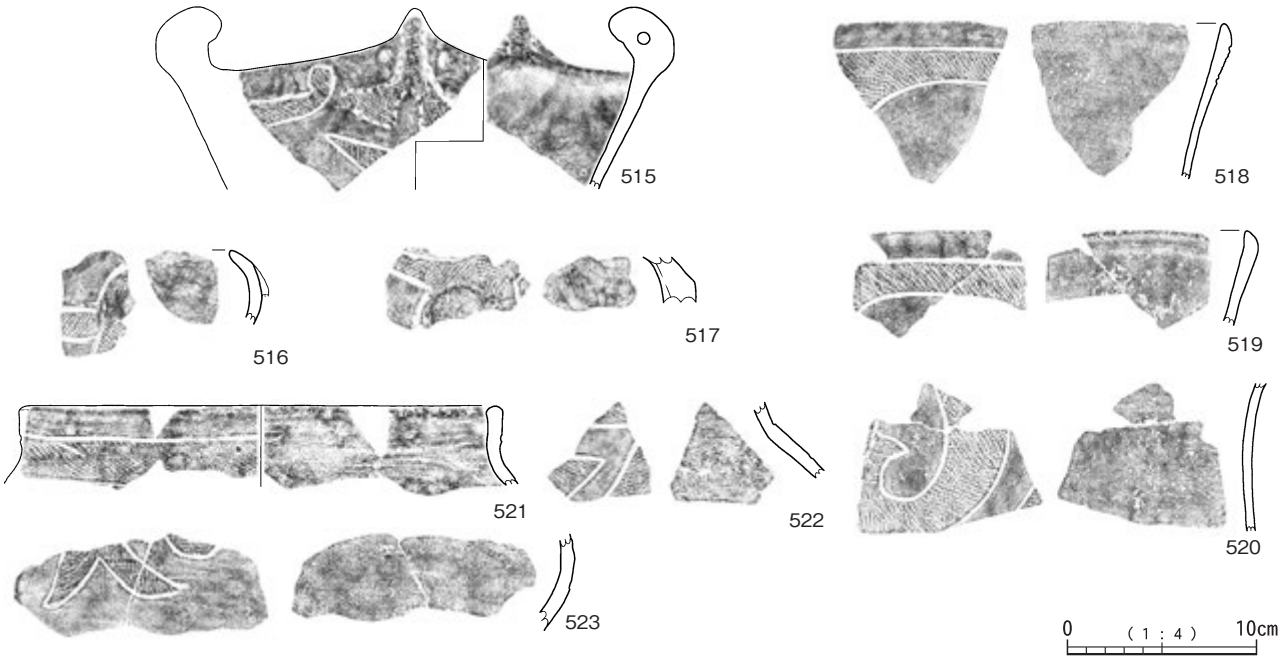
第49図　６類　阿高式土器（９）6-2



第50図　６類　阿高式土器（10）6-2



第51図　６類　阿高式土器（11）6-2



第52図　７類　中津式土器（磨消縄文）

帯下まで文様が広がる316・320もある。３類（中尾田Ⅲ類）の範疇に入る可能性もあるが，形態や文様，器面調整（明瞭な横方向の貝殻条痕）から本類として報告する。

５類　並木式土器（321～371）

２本単位の押引文の間に凹線文を施文する一群である。滑石混入が多い。口縁部下に文様帯が一帯構成の５－１類と，文様帯が胴部まで広がり，押引文や刺突文（貝殻刺突含む）と凹線文が施文される５－２類がある。

５－１類　文様一帯構成

口縁部下位に一帯構成の文様帯をもつものである。文様は横位展開で，刺突文・押引文と凹線文で曲線的な文様を施文する。321は突帯に刺突文を施した渦巻状の文様を構成し，渦巻文間には沈線文と刺突文で施文する。突帯で文様を構成する例は南さつま市金峰町上焼田遺跡や熊本県黒橋貝塚で類例がある。

322・323は滑石混入で緻密な押引文と凹線文で施文される。324は貝殻刺突文と凹線文を施文している。５－２類の範疇の可能性もあるが，口縁部下に文様帯をもつものとして本類で報告する。

５－２類　文様区画構成：胴部上～中位施文

２本単位の押引文と凹線文で構成され，胴部中位まで施文されるものがみられる。押引文は先端が扁平な工具や先端が二叉状の工具，先端が鋭利な工具（細線）などで施文されるほか，貝殻刺突で施文するものもある。滑石混入も多い。

325～327は滑石混入品で，327は２種類の突起をもち，突起を基準に曲線とスペード文の区画と三角文とスペード文の組み合わせで文様を構成する。非常に施文が緻密である。

327～328・341は胴部中位まで文様が施文される。山形の突起をもち，口唇部がやや平坦で連続刺突文が施される。329～353は，口唇部に山形の突起をもつものが多い。

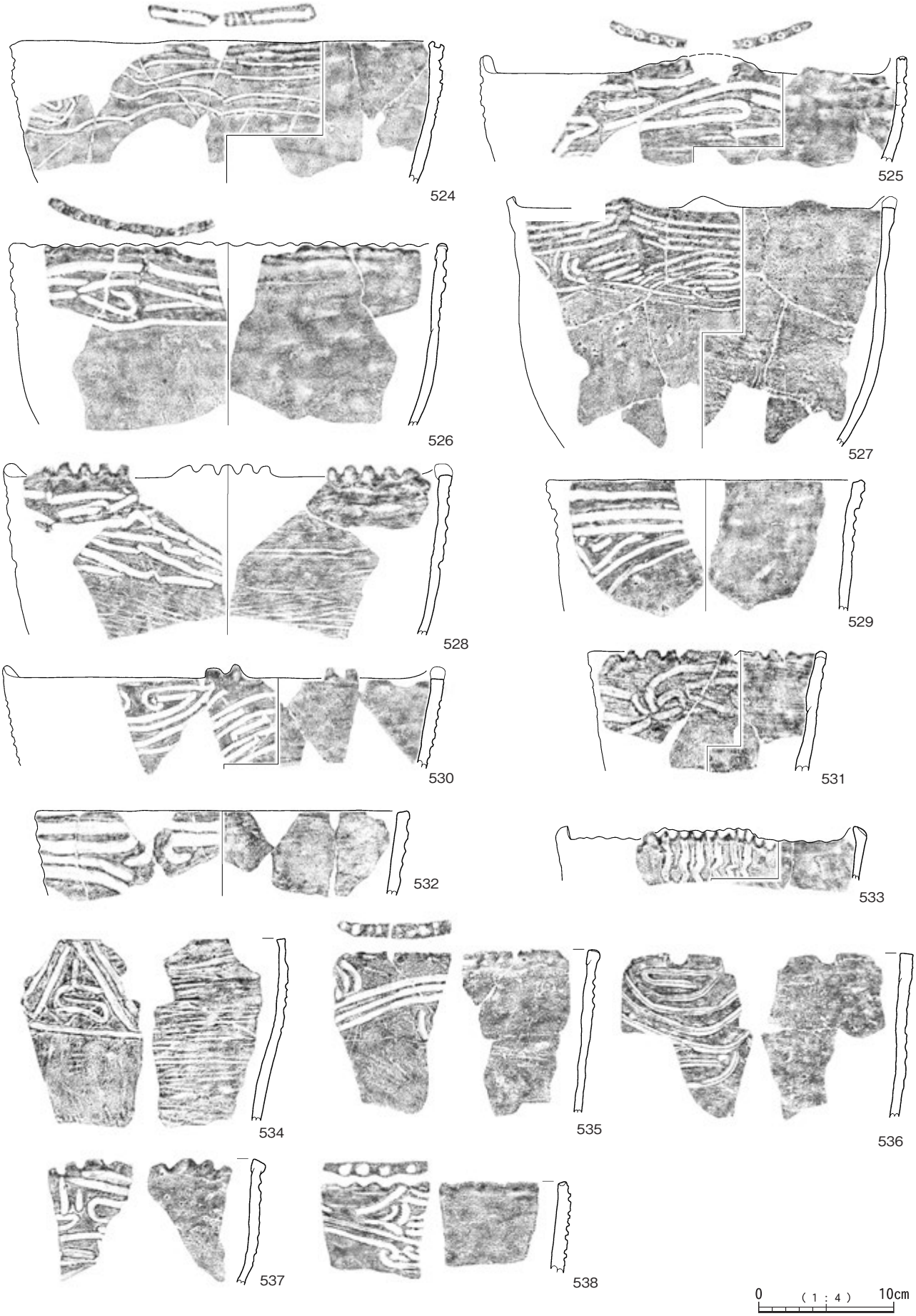
358～371は，並木式の変容形と考えられるものである。胎土は他と比べやや粗い。359は内湾する形態で無文の滑石混入土器である。358は爪形文と凹線文の組み合わせで，361は器形的には口縁部を肥厚させる３類（中尾田Ⅲ類土器）だが，貝殻刺突と凹線文であるため，本類として報告しておく。

361や366，367は他とは異なり，内面に横位の貝殻条痕が明瞭に残る。370は，短細沈線と凹線文が施文され，内面には外面の凹線による押圧痕が残る。

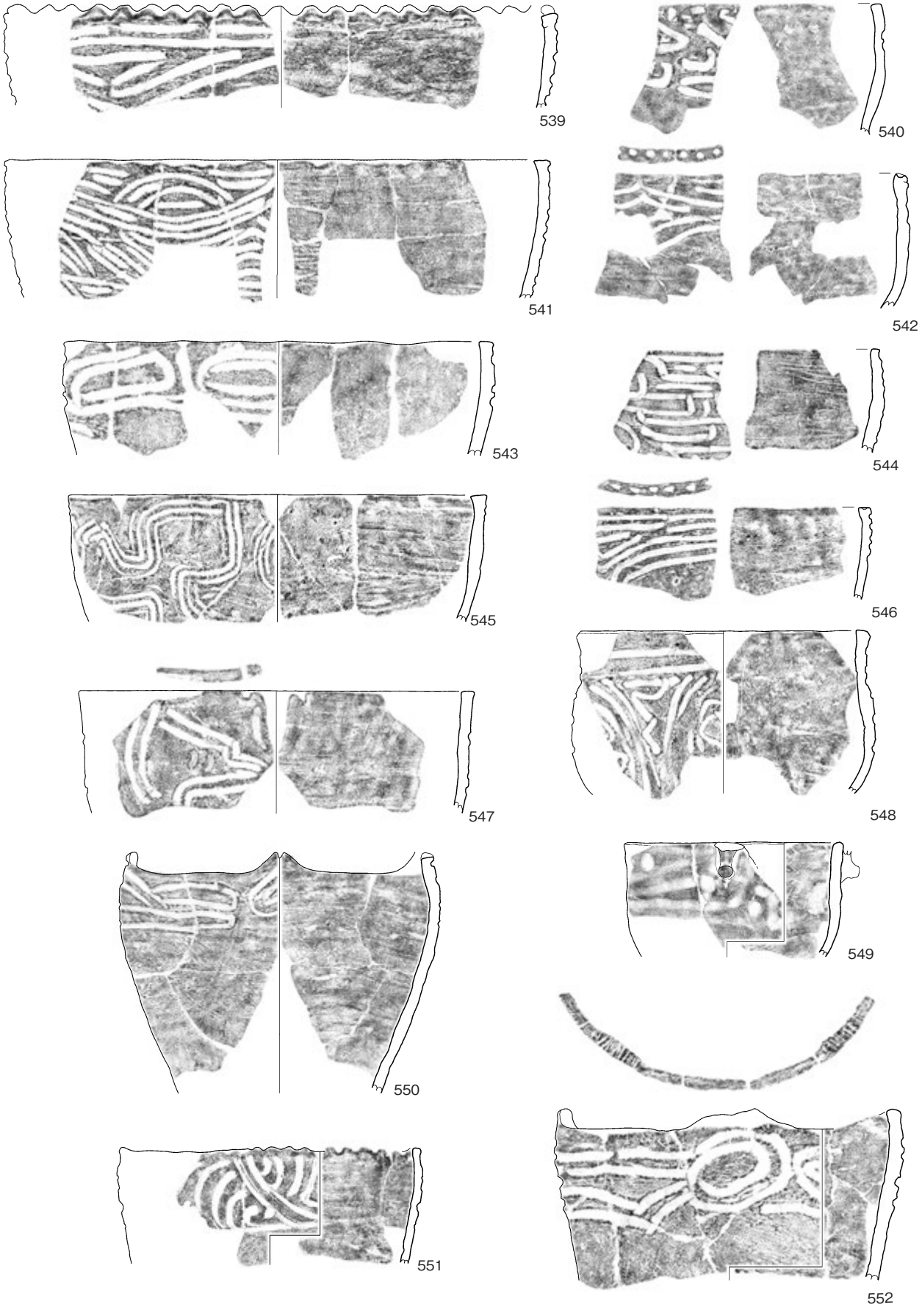
６類　阿高式土器（372～514）

口縁～胴部もしくは全面に太形凹線文の施文が特徴的な一群である。凹線文は指頭や太いヘラで施文したような太く深いものや断面が深く断面四角形，楕円形をなすような棒状工具やヘラ状工具での施文もみられる。外面の文様施文により，内面には凹凸（押圧痕）が残るものが多い。

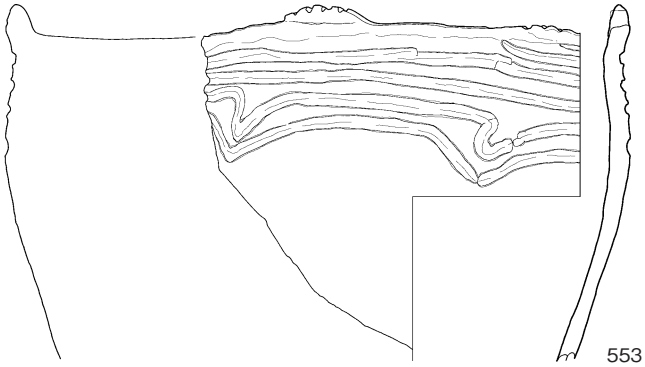
文様構成は縦位短凹線文と横位の平行文や鉤手状入組文，渦巻文などの複雑な曲線的・直線的な文様が施文される。胎土には滑石混入や，角閃石が目立つものも多い。器面調整は基本的には丁寧なナデ調整でミガキのように光沢をもつものがある。文様帯幅と文様区画から２種類に分類した。

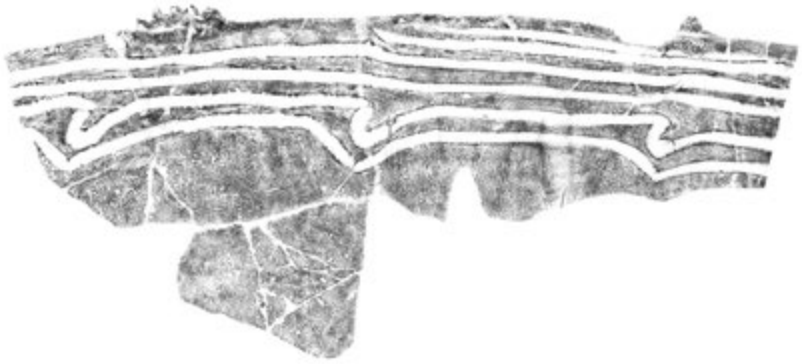


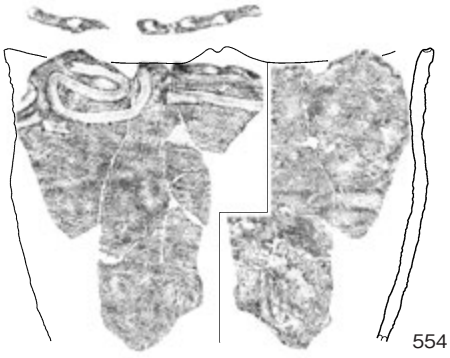
第53図　８類　宮之迫式土器（１）8-1

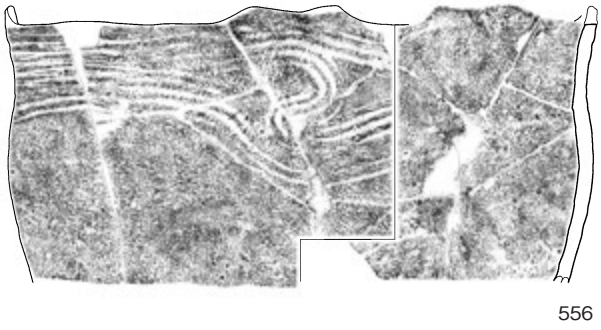


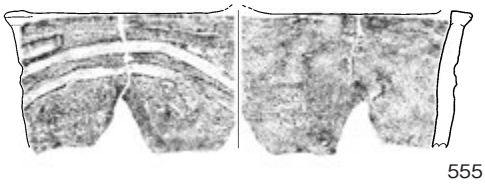
第54図　８類　宮之迫式土器（２）8-1

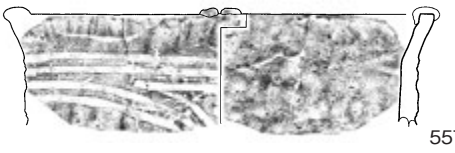


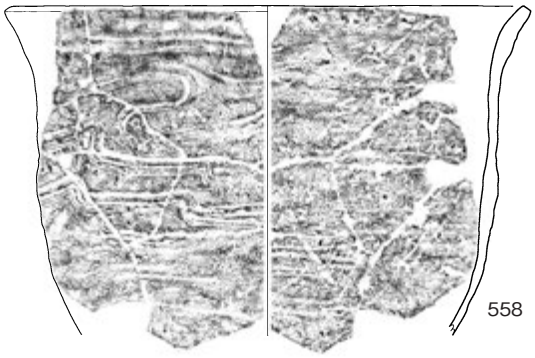


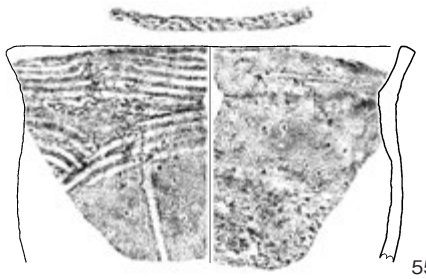






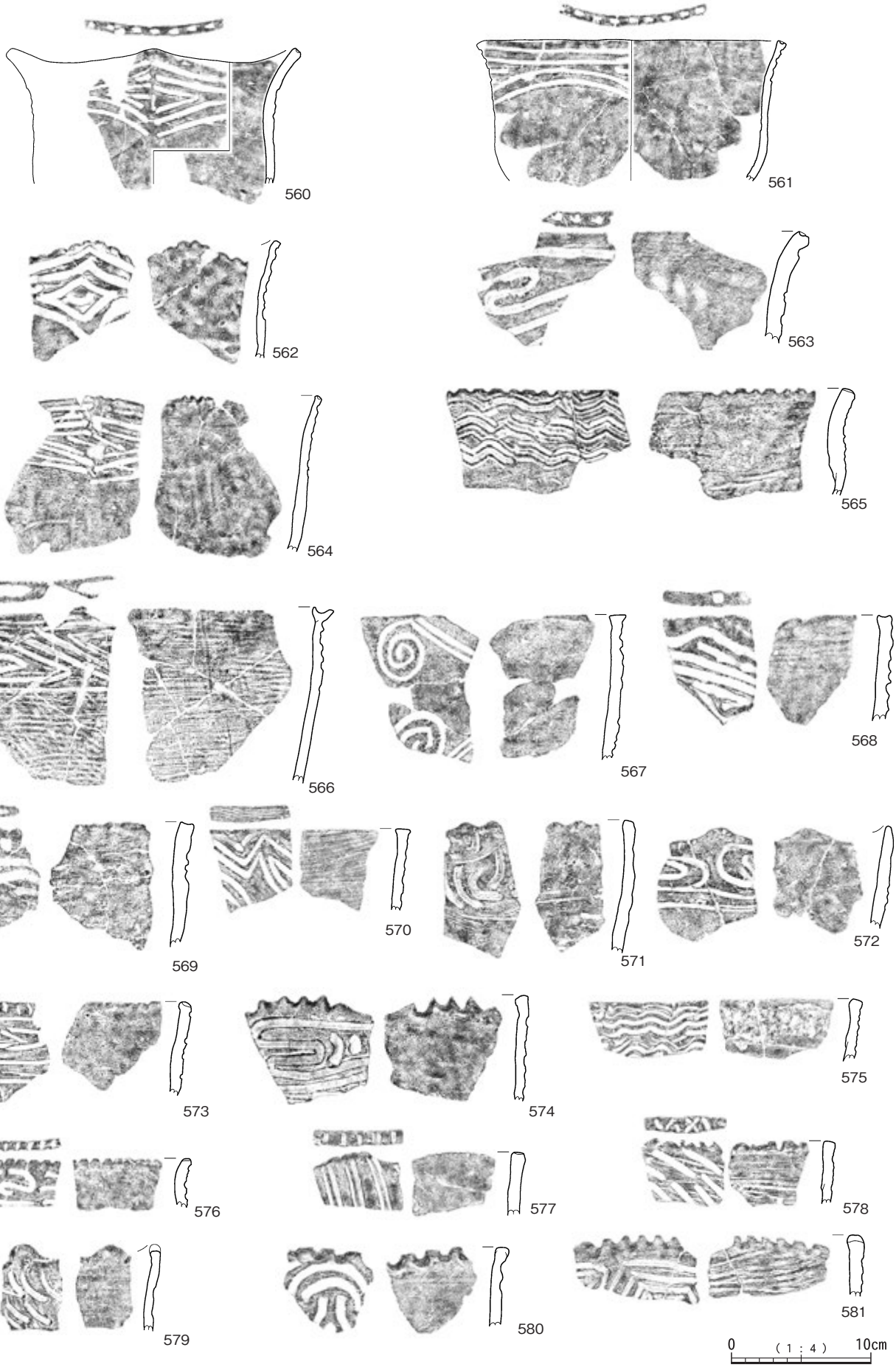




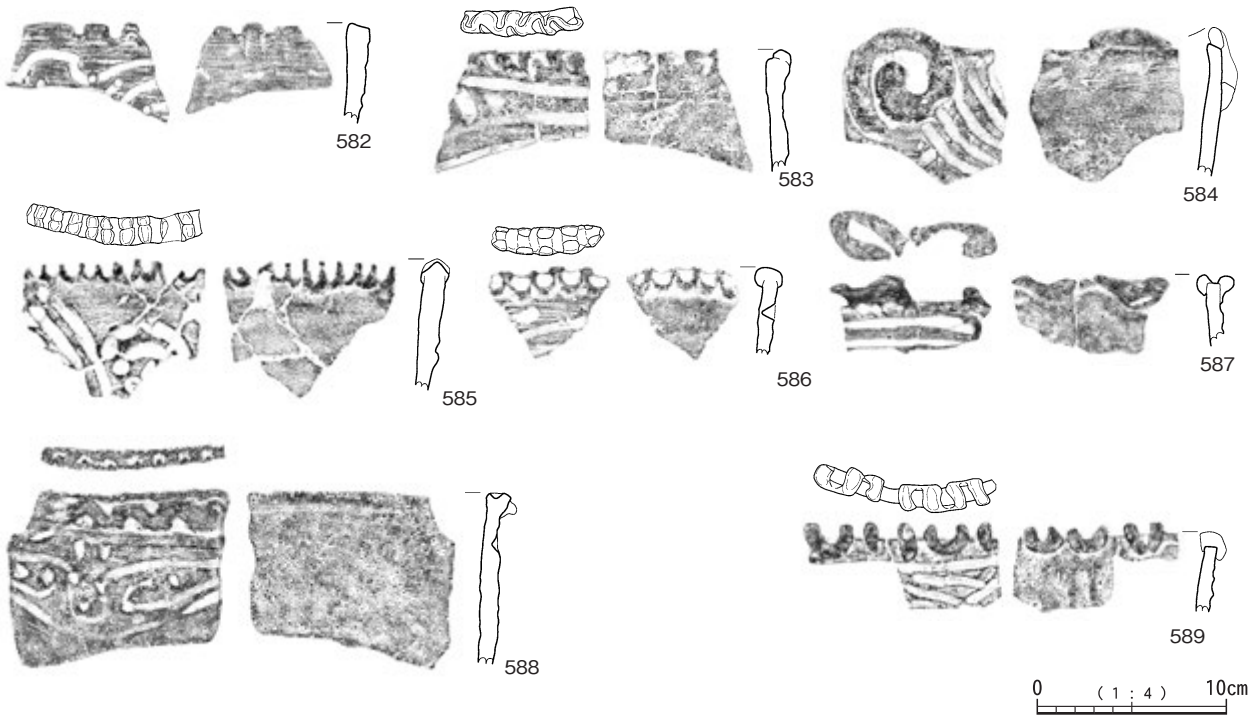


0 （1：4） 10cm

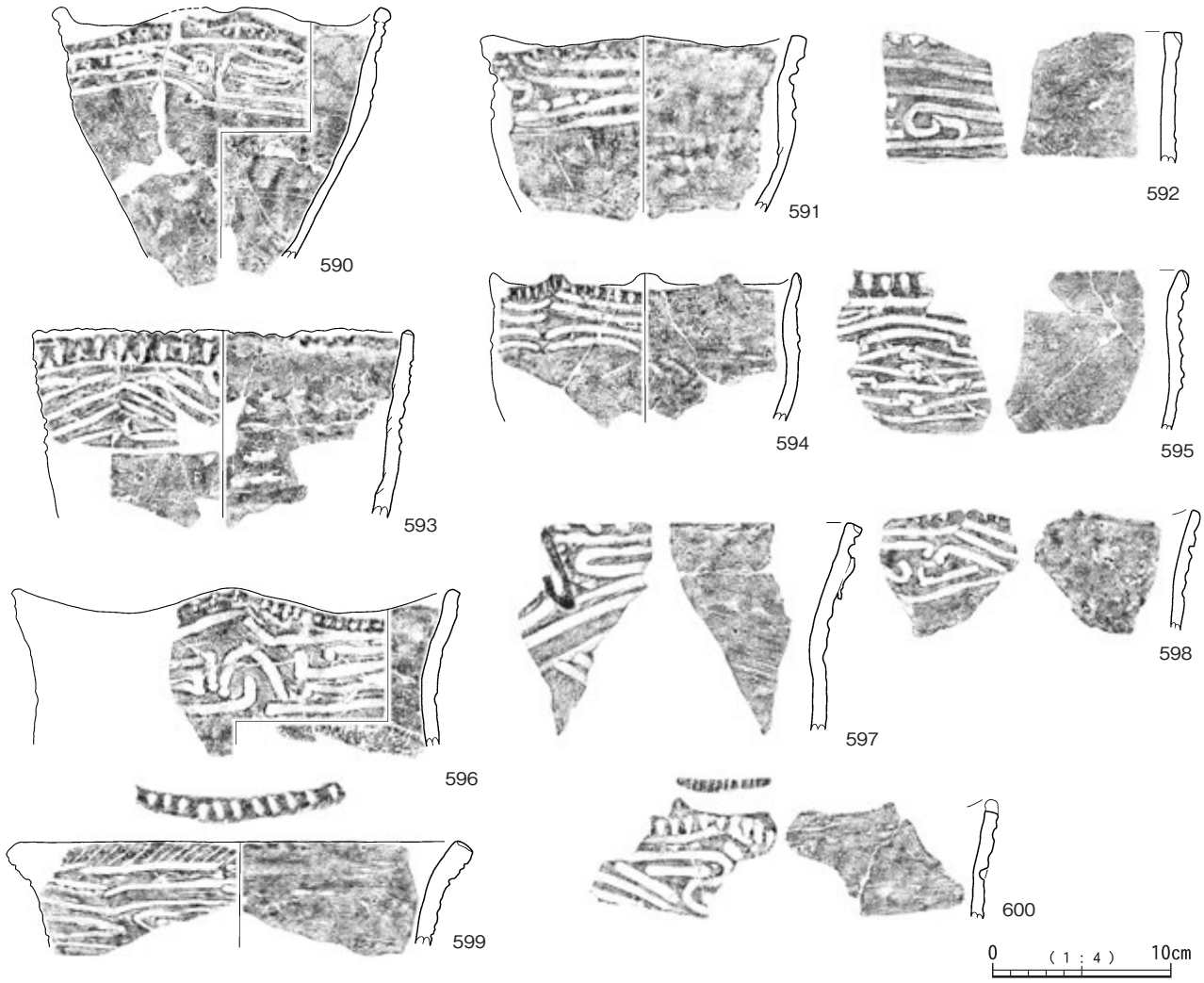
第55図　８類　宮之迫式土器（３）8-1



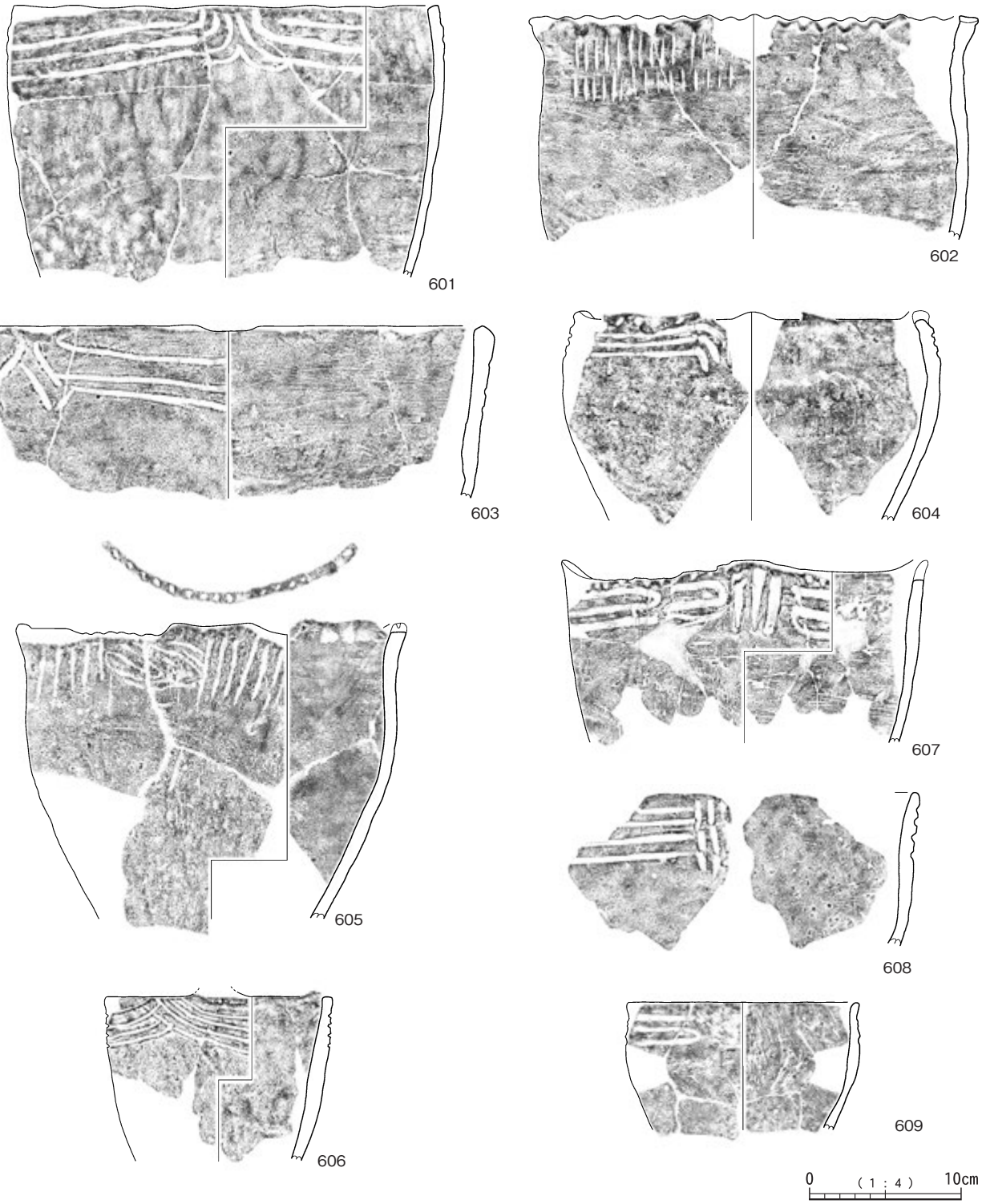
第56図　８類　宮之迫式土器（４）8-1



第57図　８類　宮之迫式土器（５）8-1



第58図　８類　宮之迫式土器（６）8-2



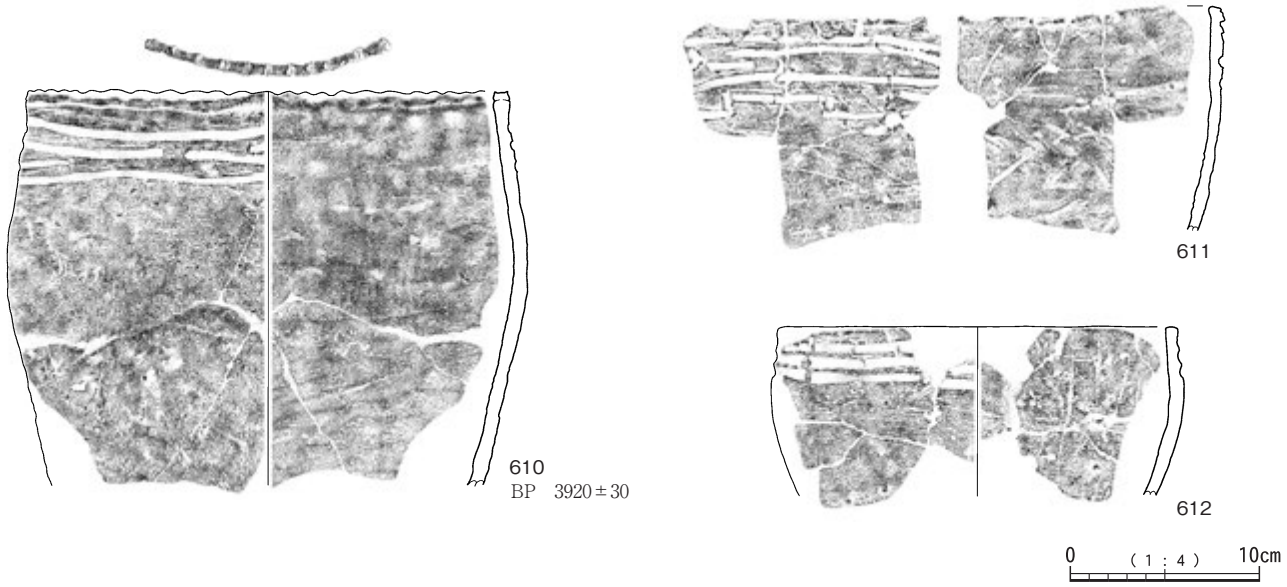
第59図　８類　宮之迫式土器（７）8-3

６－１類　胴部上半＋文様帯２分割

胴部上半～中位に文様が施文され，文様帯を上下に２分割しているものである。文様帯は縦位の凹線と渦巻状の曲線的な幾何学文や波文，横平行文などが施文される。

形態は基本的には砲弾形だが，胴部最大径が張るもの（372・373）もある。口唇部は深い大ぶりな圧痕で細かい波状を呈すものが多い。378は文様帯の上位には短縦位凹線を数本と無文部分で文様を構成している。下位の文様は凹線端部が鉤手状になり，深い施文のため内面は施文の押圧痕が明瞭に残る。383は器面調整の貝殻条痕が明瞭に残す。

387・388は器形が丸みを帯び，器面調整が非常に丁寧なナデで光沢をもつ。390は口縁部が大きく内湾し，鉢形を呈す。391～397は文様帯上位に縦位の短凹線をめぐ



第60図　８類　宮之迫式土器（８）8-4

らす。398～402は口縁下に凹線文施文時の押圧により内面が凹凸が目立つ。404は上位の文様を無文にし，下位には横平行文を施文する。

６－２類　口縁部上半＋文様帯１分割

胴部上半に凹線文を施文するが，基本的に文様帯は１つで口縁部の突起や文様で区画をもち，全体の文様を構成する。６－１類と同様に滑石が入るものが多く，深い凹線文で渦巻文や四角形文等を施文する。

405はほぼ完形品で底部のみ欠損している。台形状の四角文の中心に鉤状文様をもち，それを上下交互に施文し，文様帯を巡らす。施文単位や施文の切り合いがわかる良好な土器である。口縁部上位には２つ補修孔が穿孔されている。内面は粘土帯接合痕が確認できる。

406は胴部は窄み屈曲する器形で，内外面には指頭圧痕が明瞭に残る。やや細目の沈線で鉤状の文様を施文し，底面には網代痕がみられる。霧島市の前原和田遺跡で類例がある。407は波状口縁部でヘラ状工具で深く鋭い凹線文を施文する。

408～449は胴部最大径が張り，丸みをもつ器形のものである。414は鉢形である。436～453は口縁部断面が三角形状を呈すもので。口唇部に刺突文や沈線文などを施す。464はＵ字状の厚い沈線を施文した突帯を張り付け，口唇部には深い凹点をもつ。461は滑石を含み，屈曲する器形から小型の鉢の可能性がある。

465～512は阿高式新段階もしくは後続する８類（宮之迫式土器）の可能性もあるが，凹線文の幅や深さなども考慮し，本類の範疇に入るものとして報告する。

503～510は凹線文の凹線の間に貝殻押引文や連点文を施文する擬似縄文的な文様をもつものである。511・512は胴部上位に突帯を巡らし，文様帯を構成するものである。

７類　中津式土器（515～523）

いわゆる磨消縄文手法で施文される中津式に相当する一群である。沈線文と充填縄文で曲線的な文様が施文される。器面調整はミガキに近い丁寧なナデで非常に薄手である。胎土も精緻でにぶい黄橙色を呈し，他の土器とは異なる。搬入品の可能性が非常に高い。

515は大きな山形の波頂部をもつ深鉢で，波頂部には穿孔をもつ。518・519は口縁部がハの字状に広がる器形で，516～523は胴部が丸くなる鉢形を呈する。

８類　宮之迫式土器（524～829）

６類（阿高式）に後続すると考えられる，従来岩崎上層・下層式土器，綾式土器，宮ノ前式土器，中原式土器，宮之迫式と呼ばれてきた土器群である。本報告では宮之迫式土器として報告する。形態・文様のバリエーションが多く，文様構成を基準に９分類に細分した。

各類に共通して，形態的に①口縁部が直線的に立ち上がるもの，②内湾し丸味を帯びるもの，③外反するものの３種が存在する。

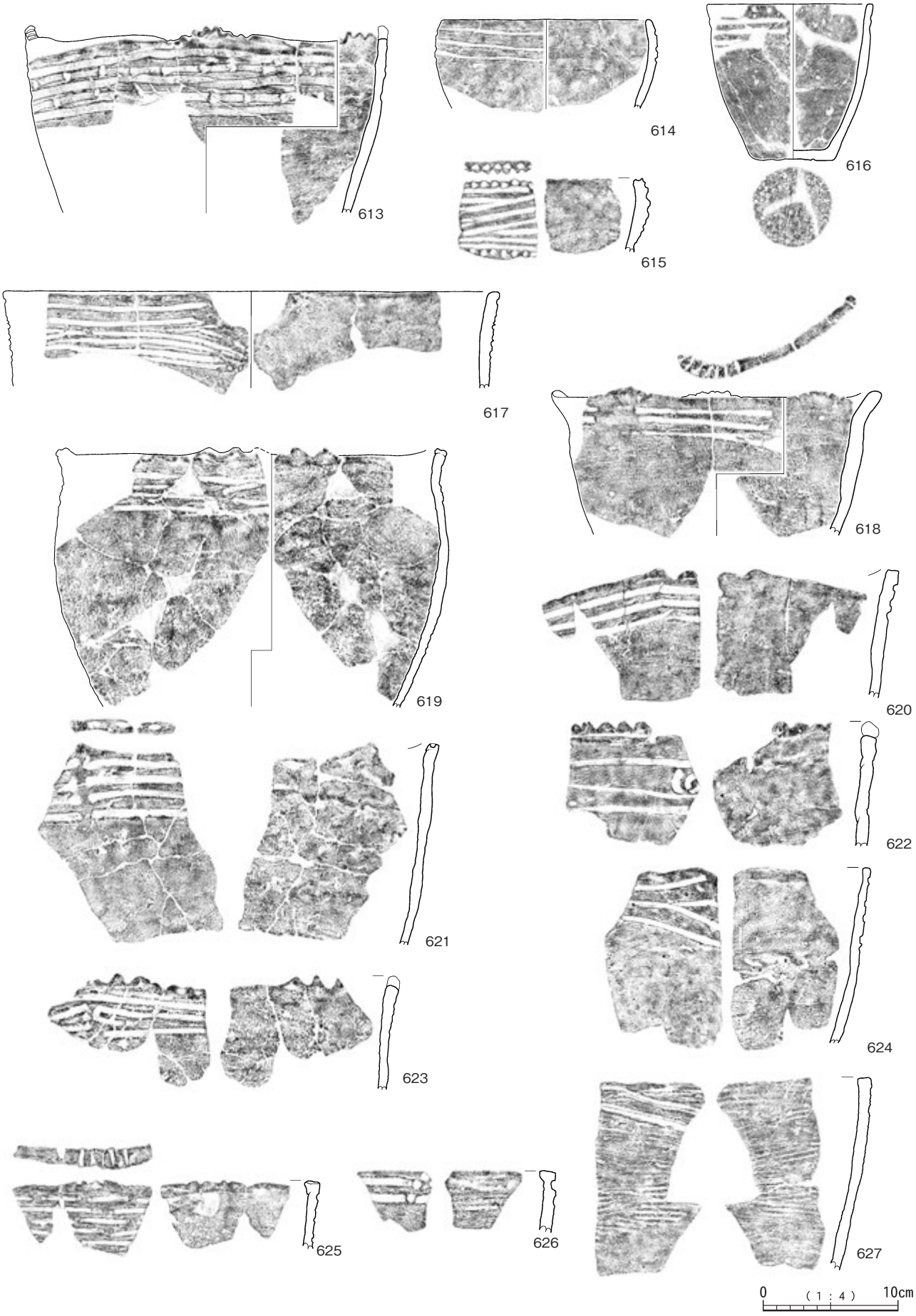
器面調整は内外面ともにナデ調整が基本であり，貝殻条痕を明瞭に残すものは少量であった。文様がヘラ状の工具で６類（阿高式）よりは細目で深い凹線文で文様間が広くなる。

胴部上位に文様帯をもち，文様帯が１分割単位のものと，上下で２分割する（上位：縦短凹線＋下位：平行文や波文）の文様構成をもつものがある。

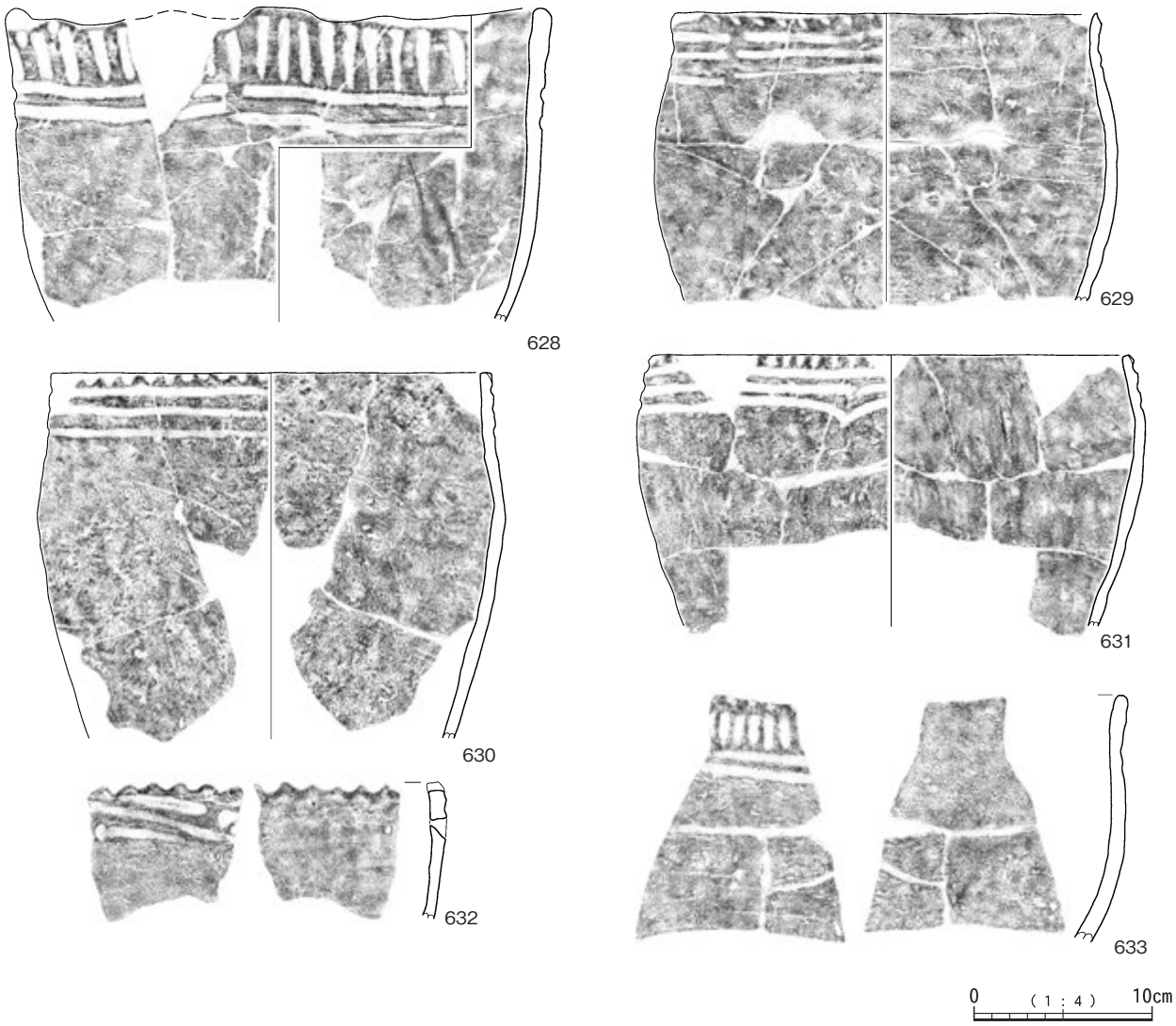
８－１類　凹線文系

胴部上位にヘラ状工具や棒状施文具で細目の凹線文で波状文や幾何学文などをもつものである。

幾何学文は７類の区画化された文様構成と比すると，やや崩れており明確な区画構成はもたないものが多い。



第61図　８類　宮之迫式土器（９）8-4



第62図　８類　宮之迫式土器（９）8-5

口唇部は平坦で刺突文や沈線文などが施文されるものがある。口縁部は山形の突起を数か所つけて波状にするものと口唇部に深い刺突を施文し，細かな波状にするものなどがある。

524～538は口縁部が垂直方向に直線的に立ち上がるもので，539～546，550～552は口縁部が内湾するタイプ，553～576はやや外反し，胴部が張る器形のものである。

548・549は丸みを帯びる器形をもち，形態的特徴では６類（阿高式）相当とも考えられるが，文様の崩れ方を考慮し，本類として報告する。

566は内外面の貝殻条痕が明瞭に残り，口縁部下位に文様帯が集約され，やや細めで深い凹線で山形文が施文される。

579～581は口唇部に粘土紐を貼り付け，波状の口縁部である。

８－２類　縦位短凹線＋凹線文

口縁部下に縦位の短凹線を巡らし，その下位に凹線文で幾何学文を施文するものである（文様帯２分割単位）。凹線文は長く，凹線の終点を省略した鉤手状にするものもある（592・595など）。

縦位の凹線文が簡略し，口唇端部に深い刺突で施文したもの（592～600）もある。

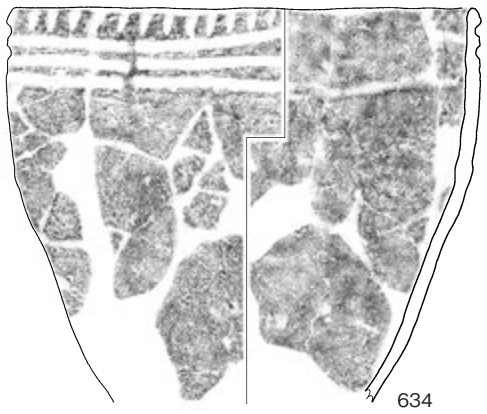
８－３類　縦＋横：区画文

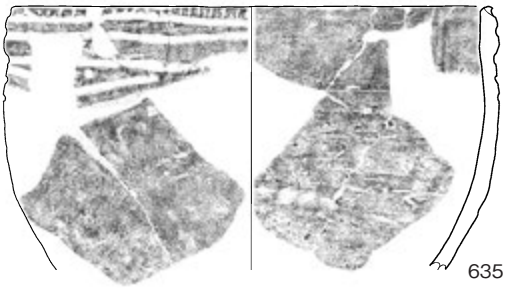
文様帯は一帯だが，文様帯を縦に分割し文様を構成するものである。縦位の凹線と数条の横位置の平行文などで文様を構成している。601は胎土にφ0.5㎜大の赤色礫や軽石粒を多く含む。外面には煤が付着している。

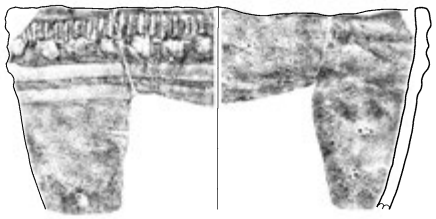
605は胎土が赤褐色を帯び，φ５㎜大の軽石粒を多く含む。表面が摩滅が著しい。

602は２段の細縦位線と空白で文様帯を構成し，口唇部を深い刺突で波状口縁を成している。604のように横位の平行文を下方向に伸ばし，縦位の文様とみなしているものもある。

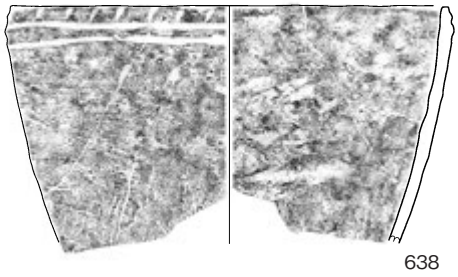
606・609は内外面ともに丁寧なナデで器面調整され，わずかに光沢をもつ。

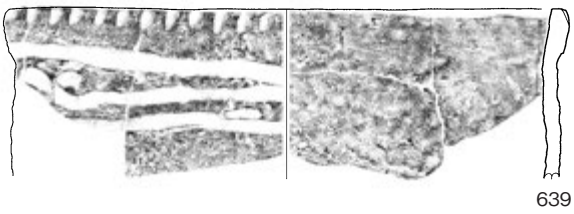


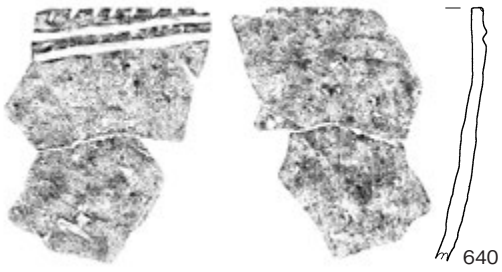












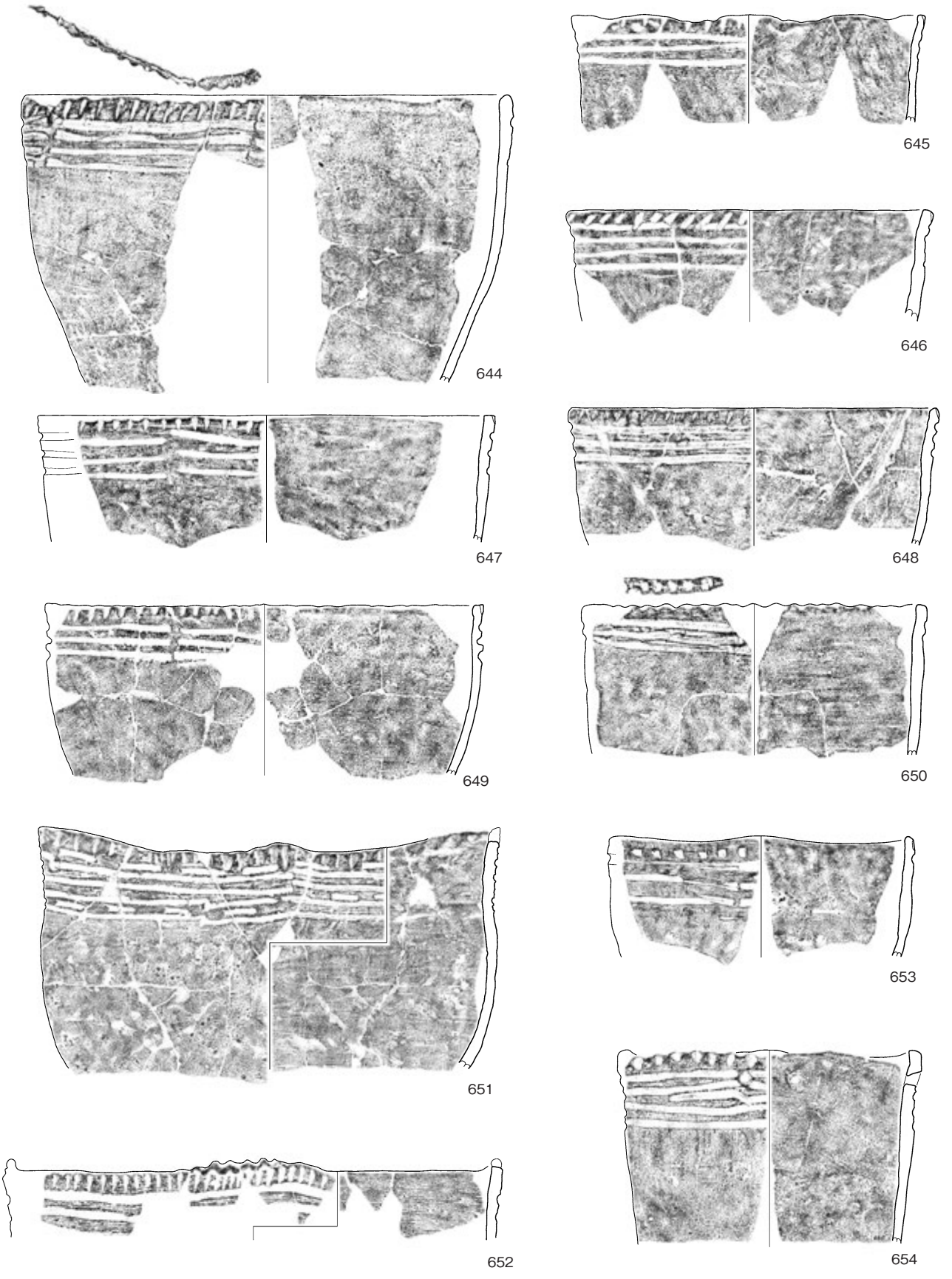




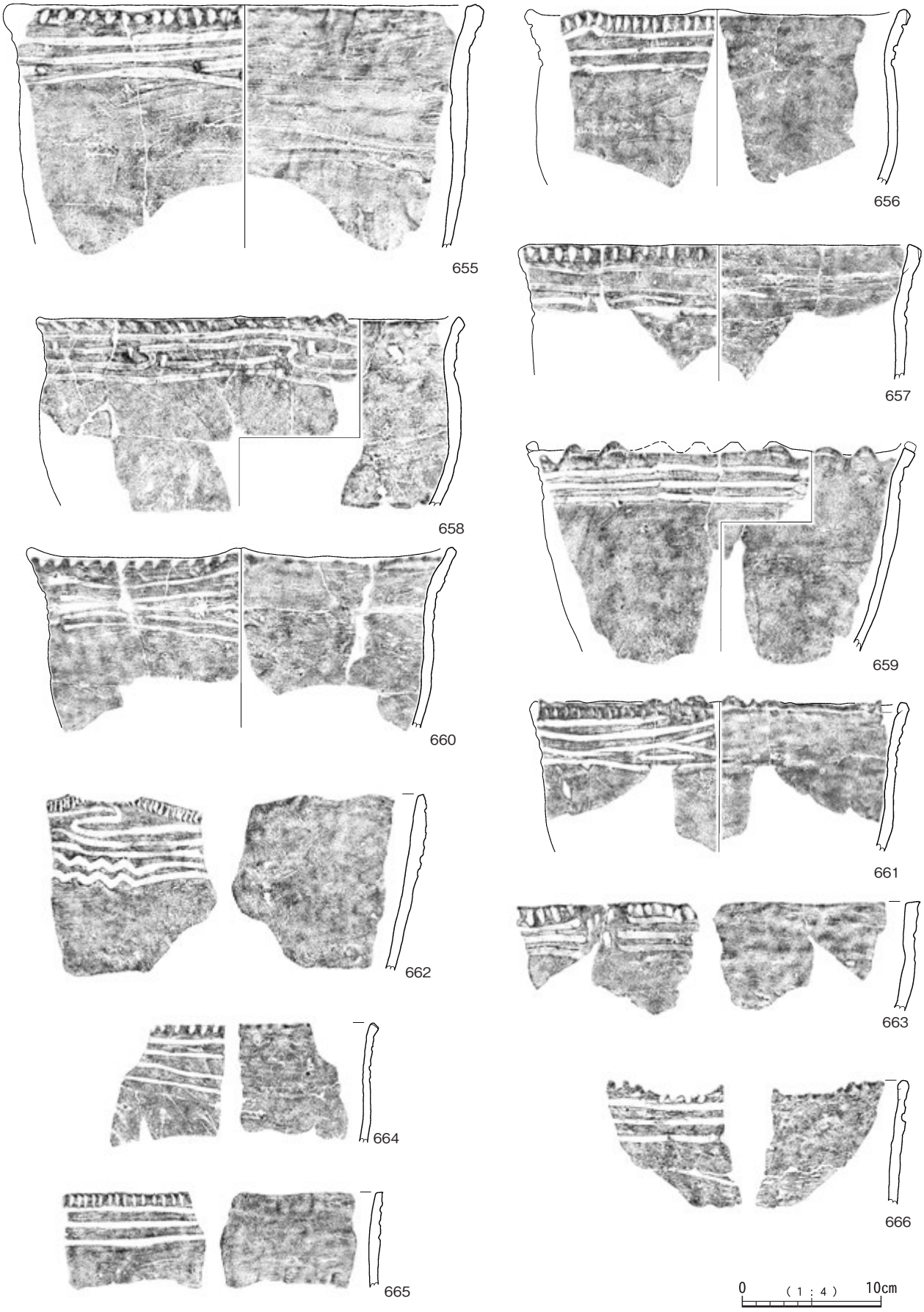


0 （1：4） 10cm

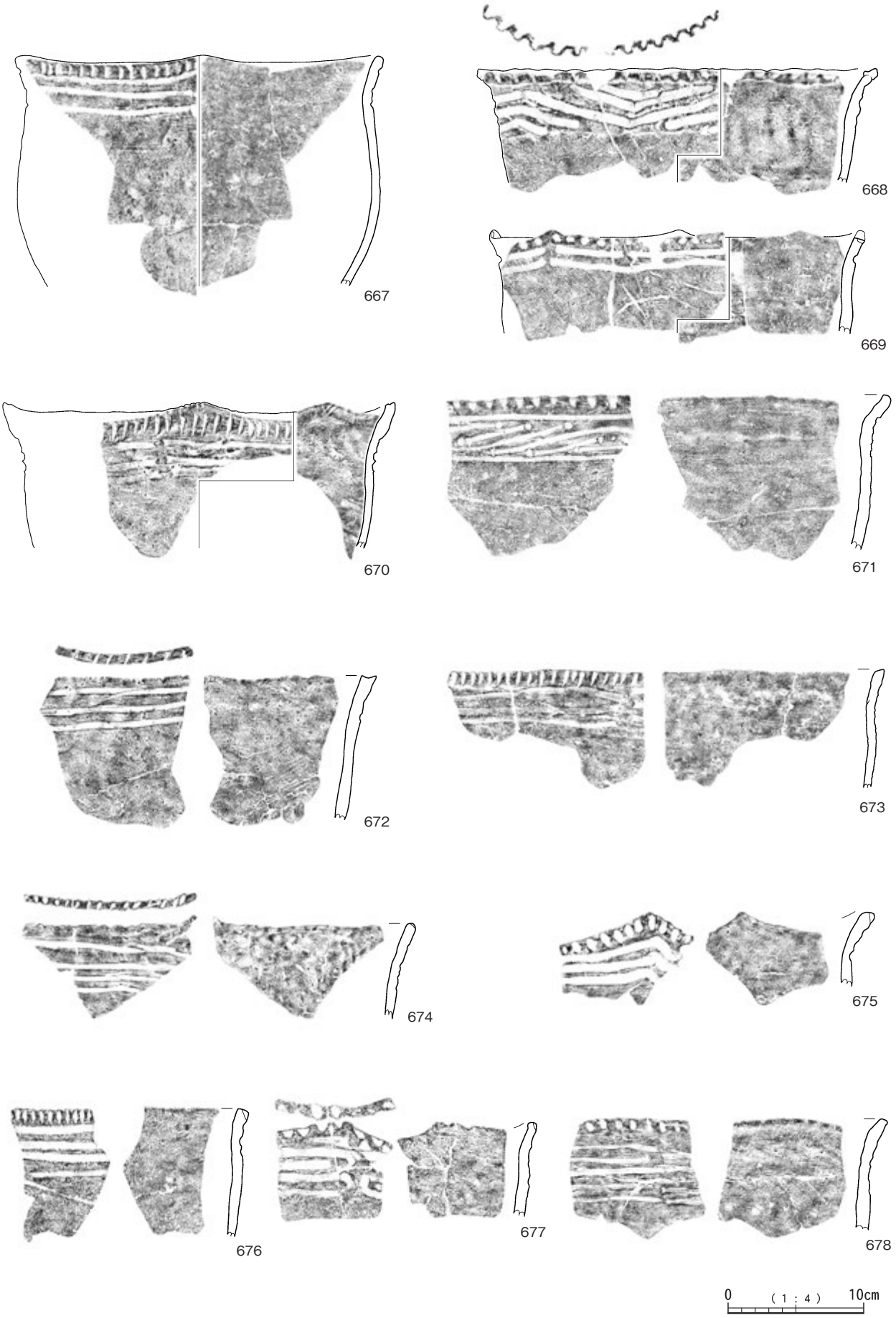
第63図　８類　宮之迫式土器（９）8-5



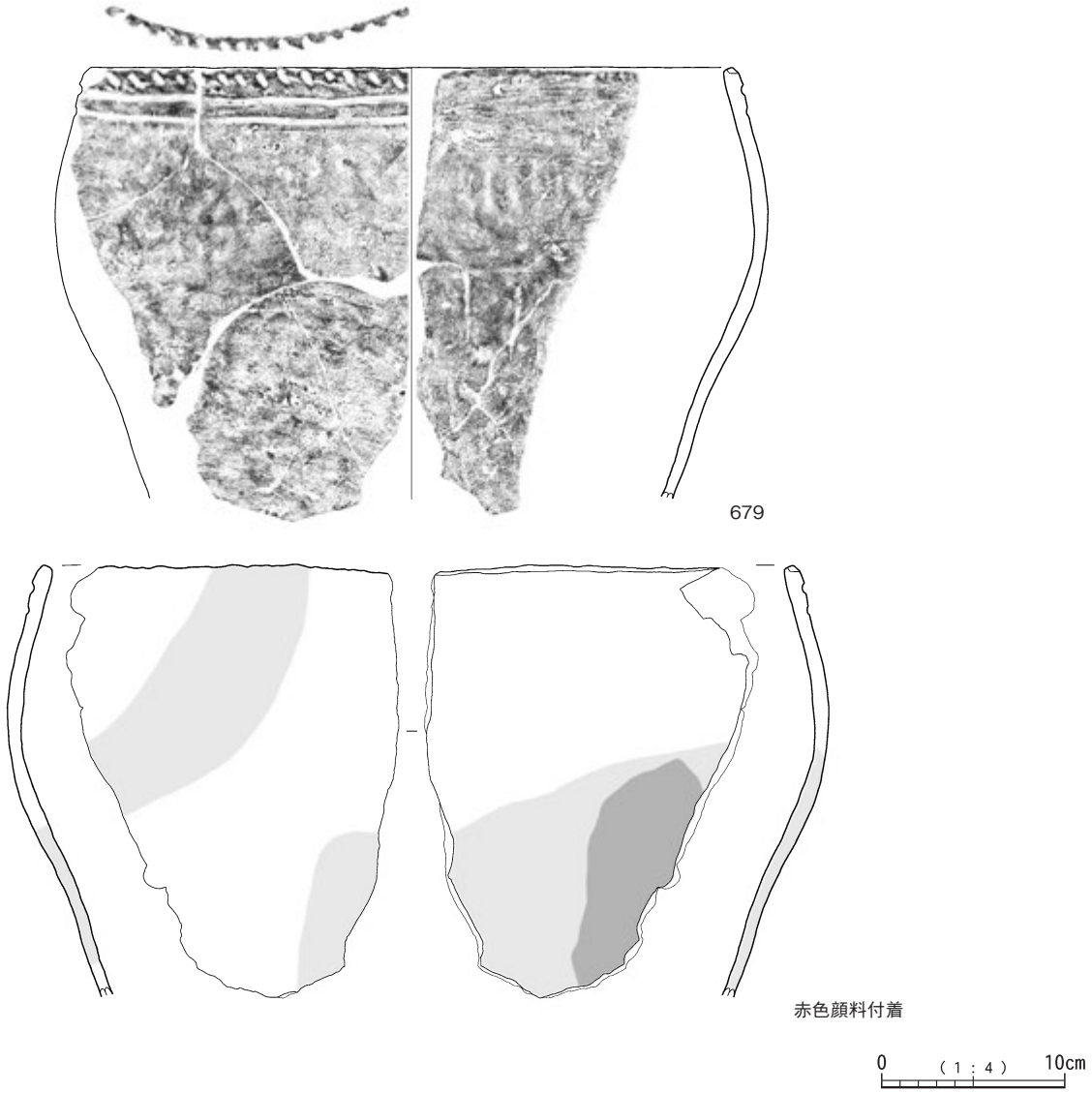
第64図　８類　宮之迫式土器（10）8-5



第65図　８類　宮之迫式土器（11）8-5



第66図　８類　宮之迫式土器（12）8-5



第67図　８類　宮之迫式土器（13）8-5

８－４類　横位平行文

文様帯は一帯で，口縁部に横位の数条の平行文を施文するものである。平行文は一周巡らず一定の単位で施文を止めて，凹線文間に空白をあける。

横線と空白で文様を区画し構成するもの（617～624）もある。627は器面調整の貝殻条痕を明瞭に残す。616は小型の深鉢で底部には網代底が残る。

610・611は口唇部に粘土紐を貼付し，緩い波状を呈す。620，624～626は外面に煤が付着する。627は内外面に貝殻条痕のちにナデで器面調整がされており，胎土には角閃石を含む。

８－５類　縦位短凹線＋横位平行文

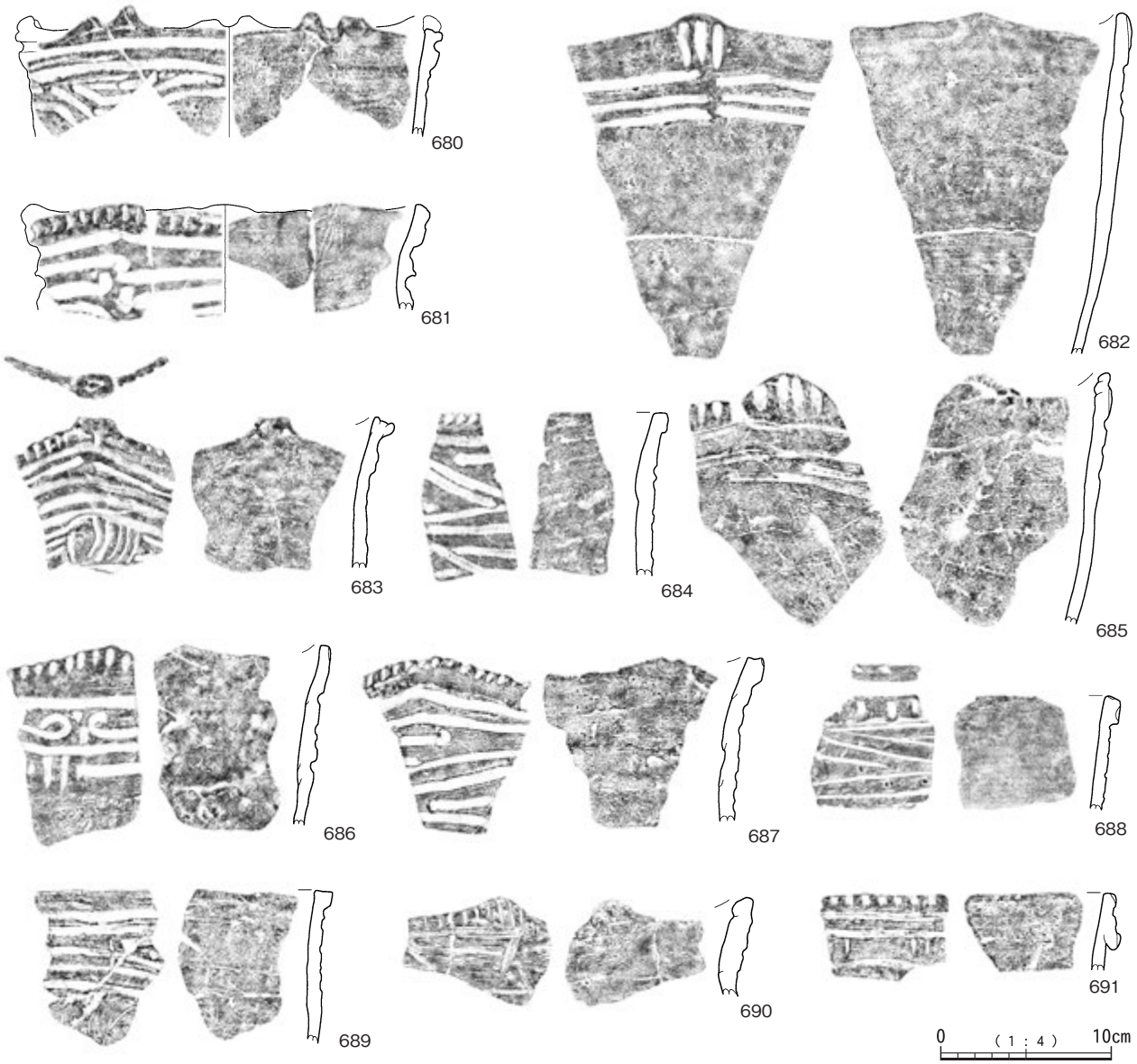
文様が上下に２分割される（上位：縦位短凹線＋下位：横位平行文）文様帯をもつものである。628・633はやや長い縦位凹線をもつものや短凹線である629・634などのほか，縦位文様を簡略化し口唇端部に刺突を施文し，縦位文様風（630など）のものがある。

横位の凹線は２～3条単位で平行して施文されるが，一周回らずに一定の長さで分割されている。砲弾形が基本だが，波状口縁になるもの（645・651・655・659など）もある。

628～631，633は非常に軽く，胎土の密度が薄い（混和材の影響か）。631は，外面全面に煤が付着している。632は口縁部に補修孔と考えられる穿孔ある。内面には煤が付着する。636は短縦位の凹線と凹点と横線の文様構成で，凹点部分はわずかに肥厚させている。635，637，638は外面胴部中位に煤が付着する。651は胎土にφ１㎜大の赤色礫を多く含む。

641は内面胴部中位に貝殻条痕が残り，胎土には角閃石や火山ガラスが目立つ。

667～678はハの字状に広がる外反口縁で，口唇端部に



第68図　８類　宮之迫式土器（14）8-6

刺突をもつものが多い。

679は，口縁部が内湾し，胴部が張る丸味を帯びた器形をもつ。この個体は内面に赤色顔料が明瞭に残存していた。観察の結果，内面のほか，断面・外面にも赤色顔料の付着が確認された。土器が破損した後，破片を二次加工し，再利用したものと考えられる。

８－６類　口縁部肥厚系

口縁部下の凹線を深く施文するため，口縁部が厚く，一見肥厚しているようにみえる一群である。口唇部は平坦もしくは丸味をもち，凹線文が施文される部分との厚さに差があり，口縁部が強調され，断面四角形になる。

８－７類　貝殻刺突文＋凹線文

口縁部上位の縦位凹線が貝殻腹縁による刺突文になったものである。692・693は下位文様が凹線・沈線による波状等の文様，697～705は横位の平行文が施文される。701・702は器面調整に貝殻条痕が明瞭に残る。

８－８類　連点文＋凹線文（擬似縄文）

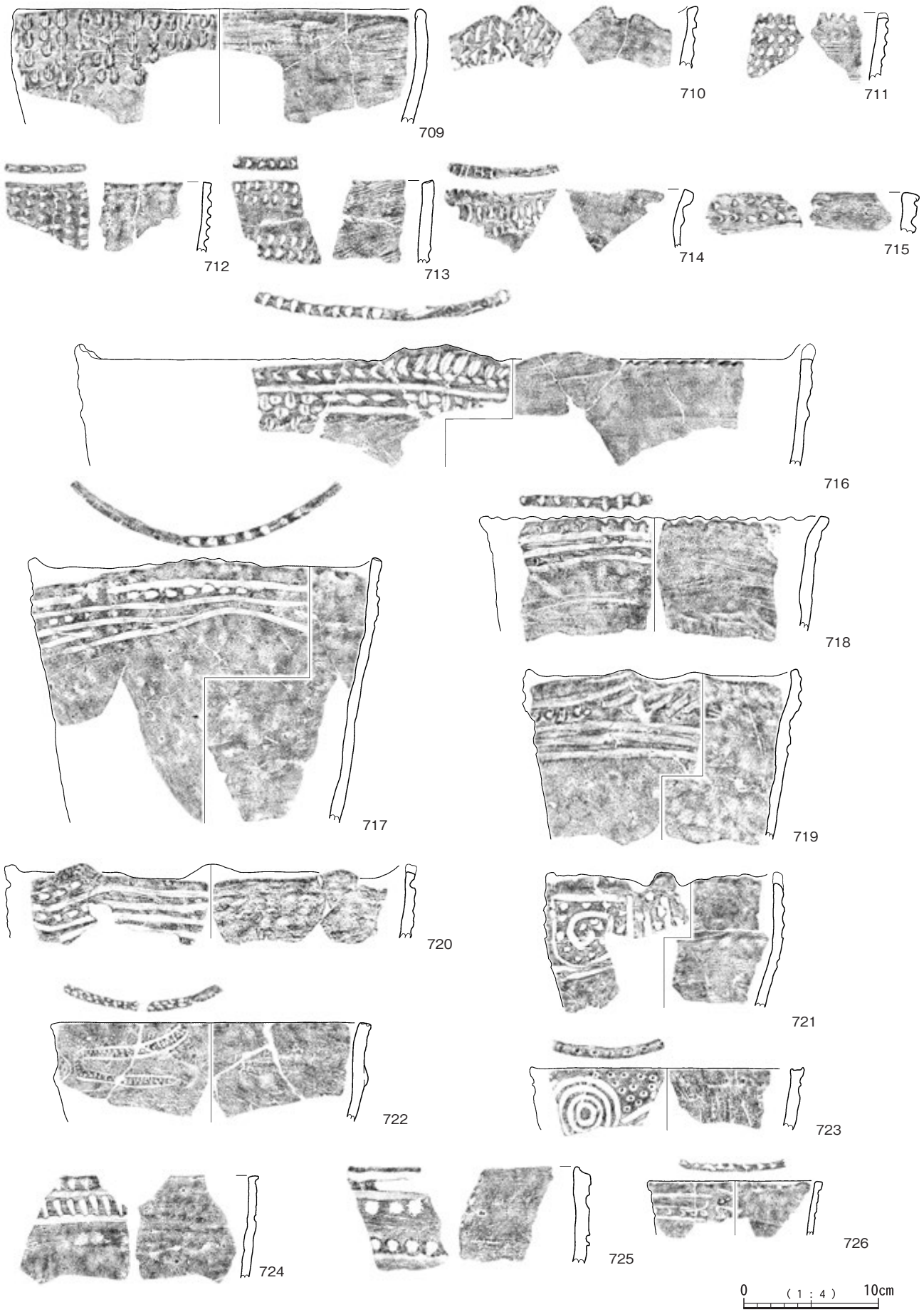
棒状工具やヘラ状工具で連続刺突（連点文）で施文する709～715と，716～726のように凹線文・沈線文の間に連点文・刺突文を埋める擬似縄文で文様構成するものがある。

８－９類　C字文・短沈線＋凹線文（擬似縄文）

凹線・沈線文の間をC字文や短沈線文で充填させて，擬似縄文で文様を構成する。深い凹線文の文様の中を短凹線やC字文で充填させるもの（759～763）と，細沈線文の文様帯に沈線文を等間隔に施文し，擬似縄文風に文



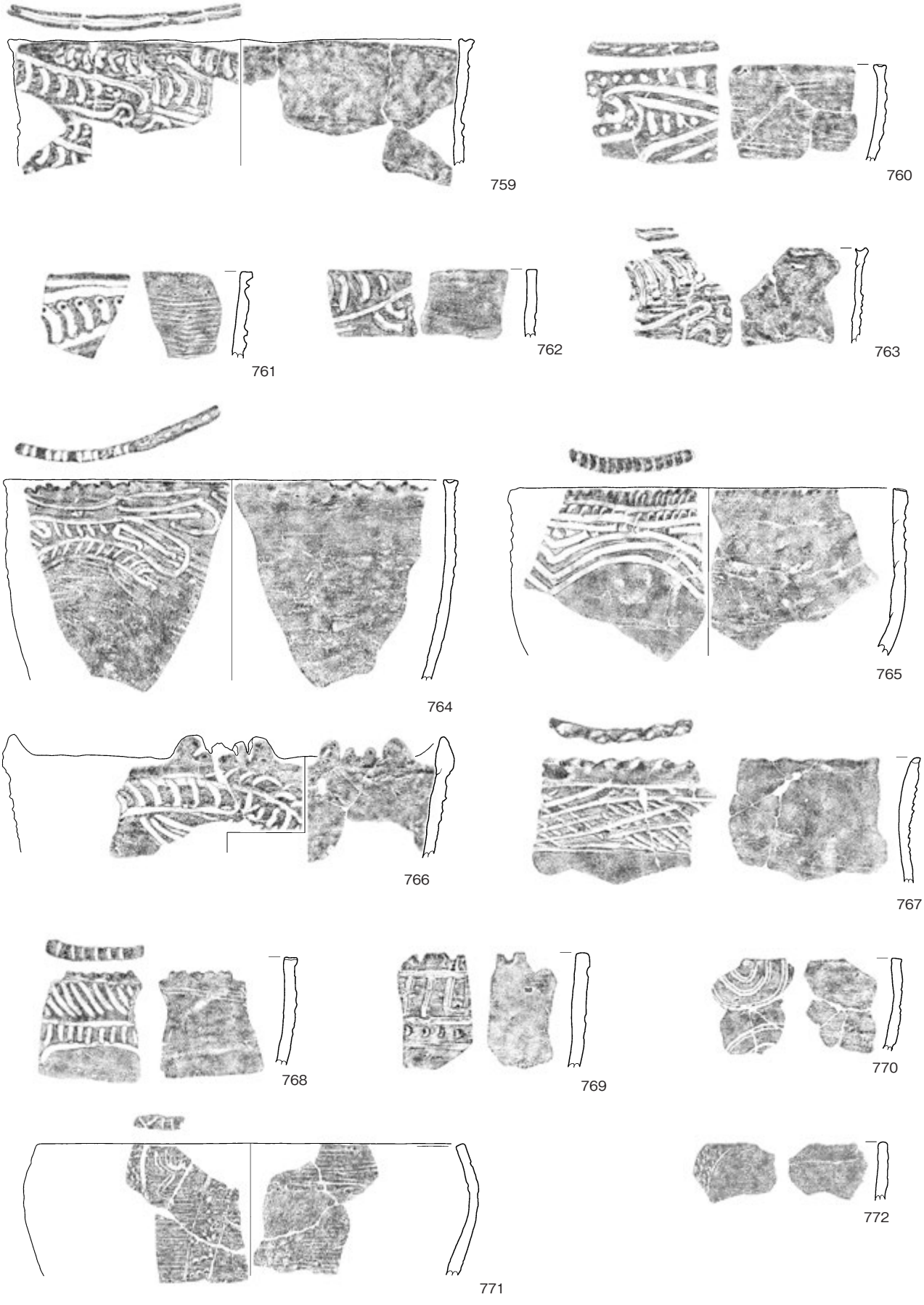
第69図　８類　宮之迫式土器（15）8-7



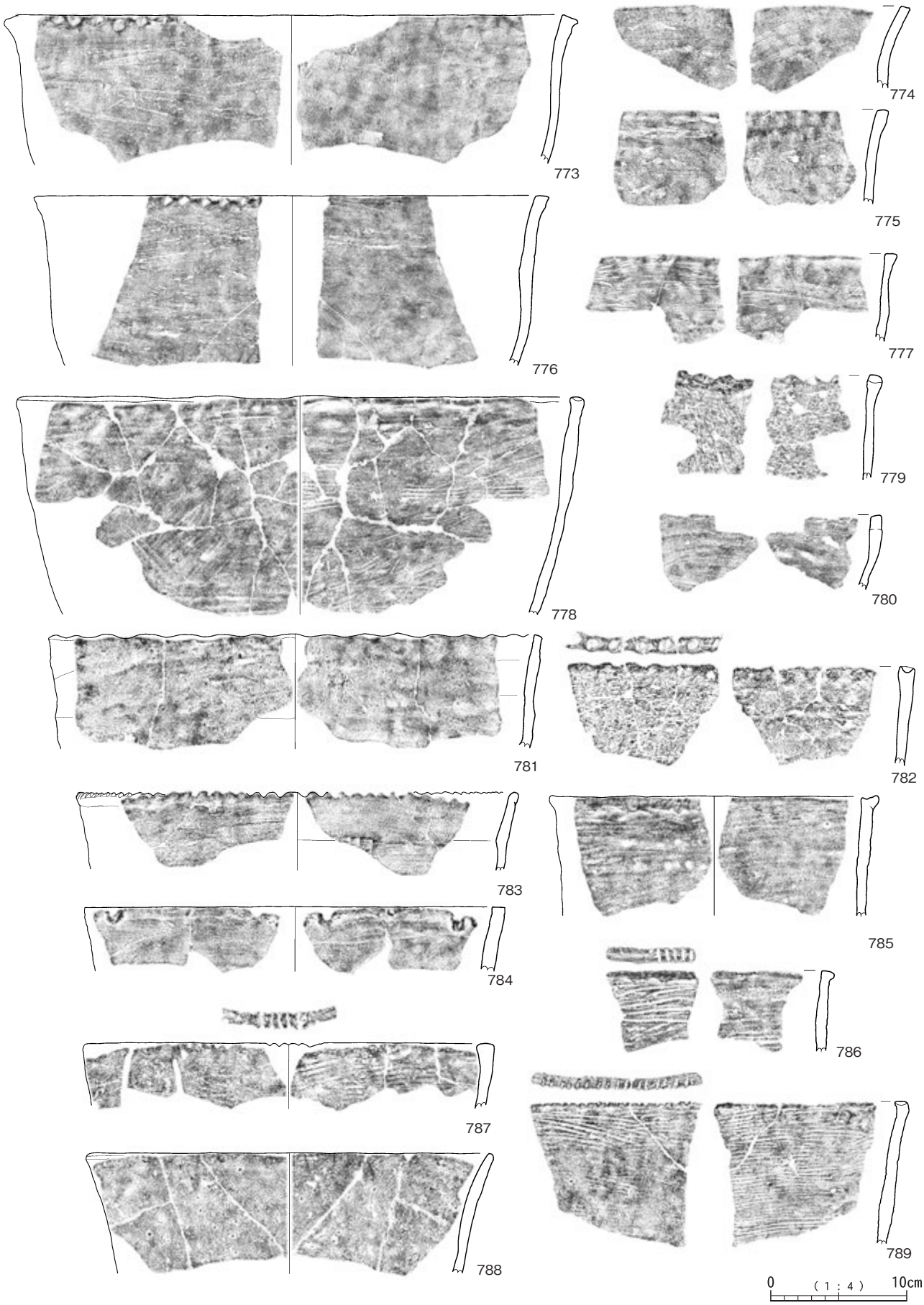
第70図　８類　宮之迫式土器（16）8-8



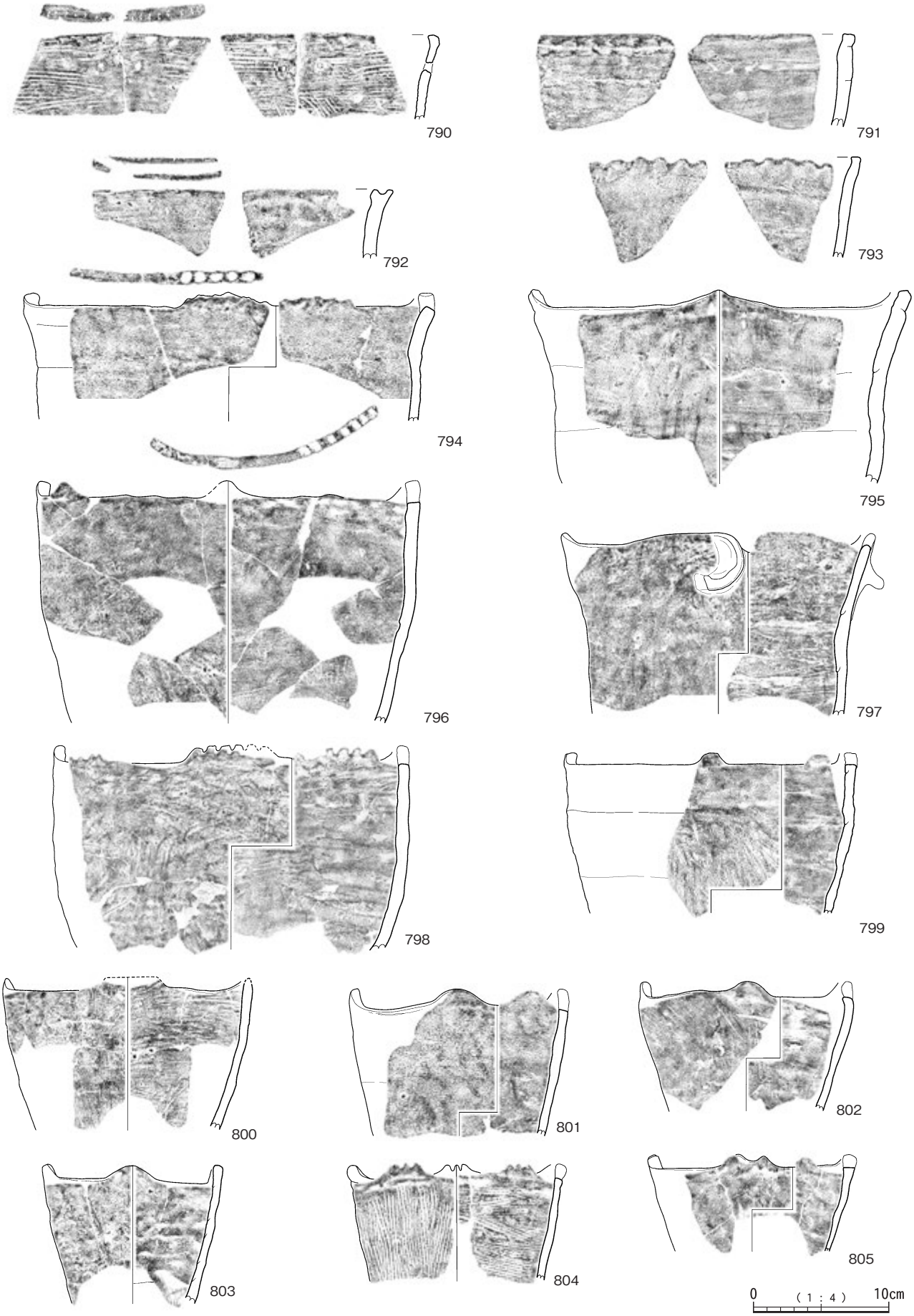
第71図　８類　宮之迫式土器（17）8-9



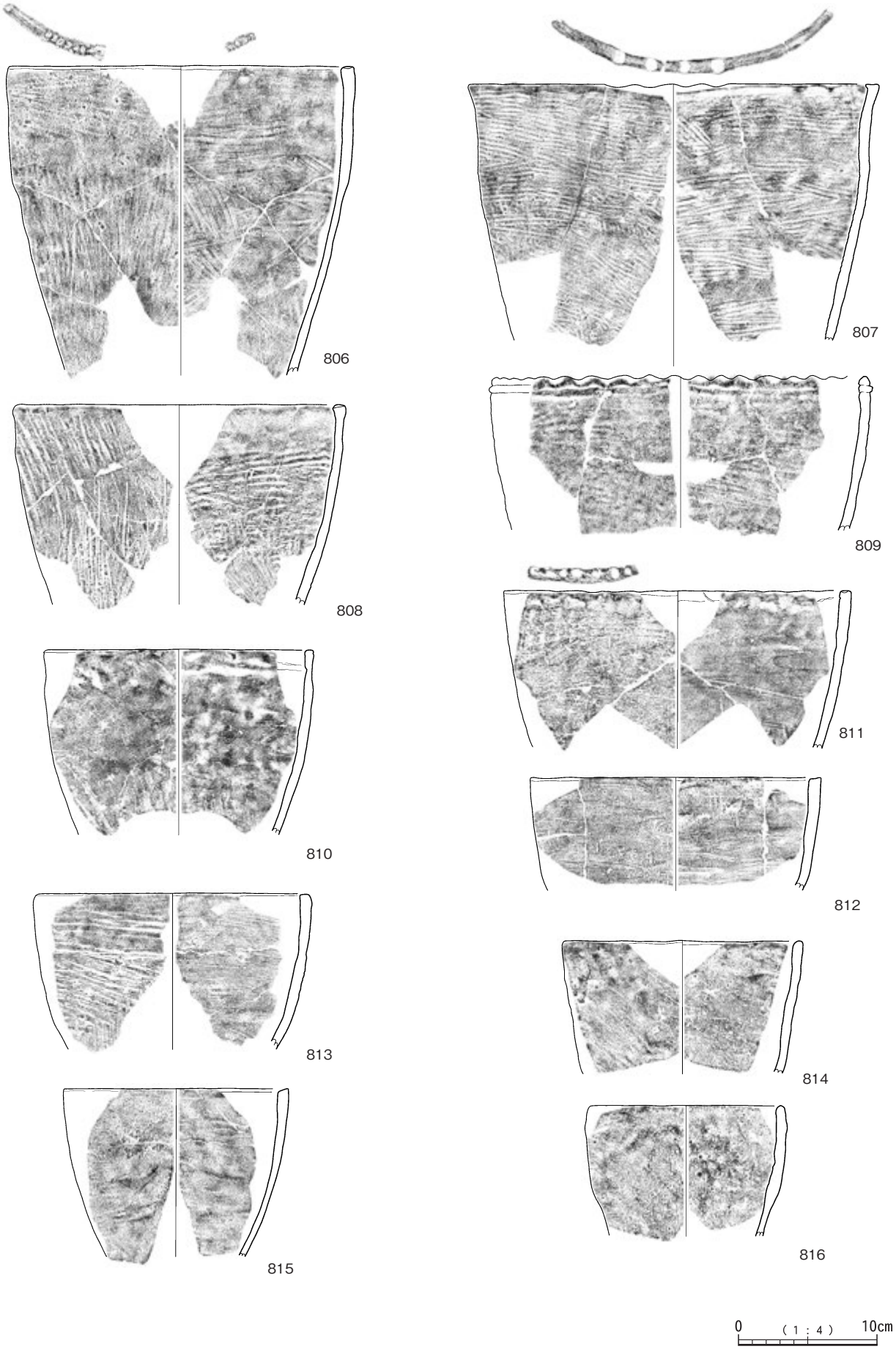
第72図　８類　宮之迫式土器（18）8-9



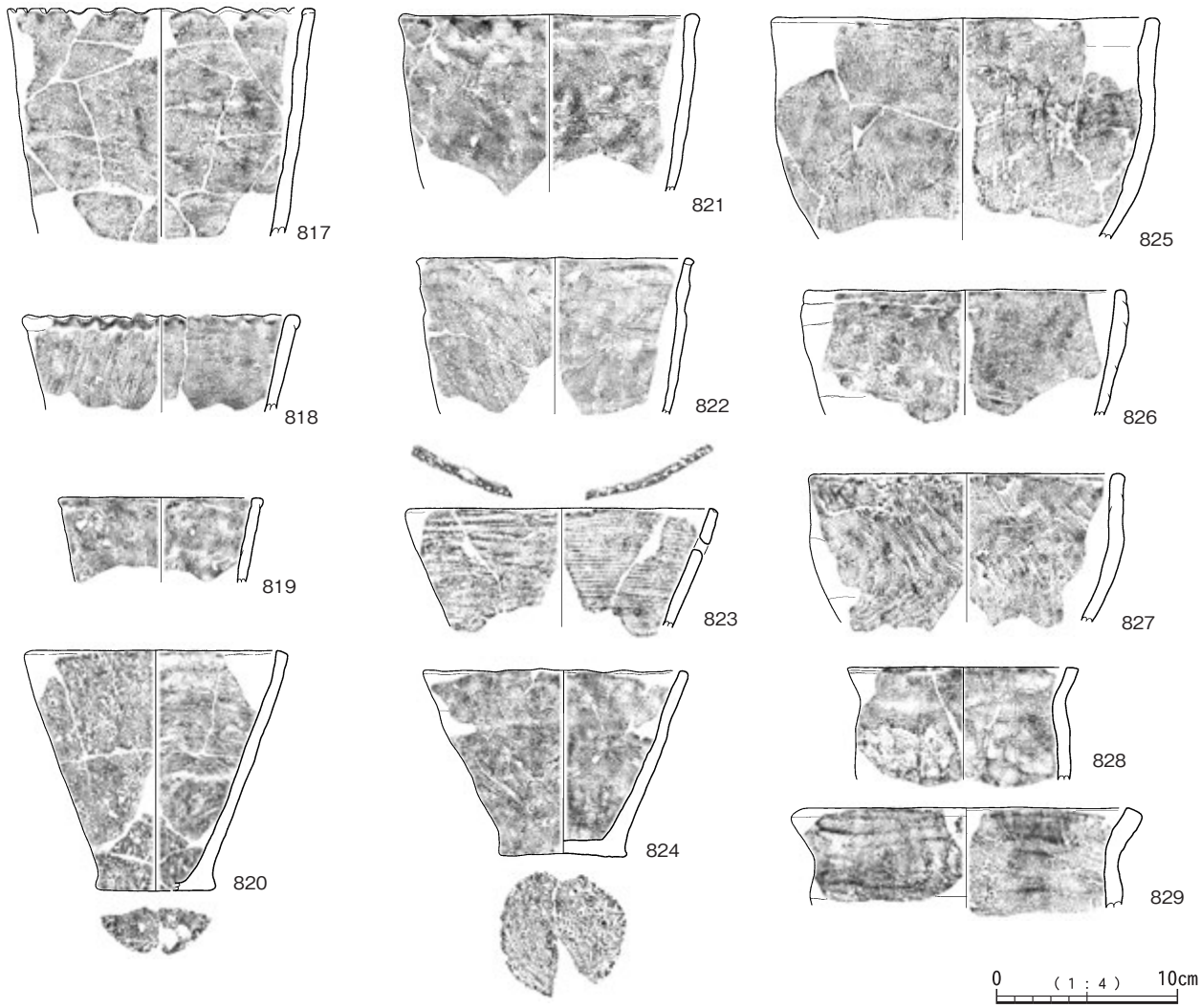
第73図　８類　宮之迫式土器（19）8-10



第74図　８類　宮之迫式土器（20）8-10



第75図　８類　宮之迫式土器（21）8-10



第76図　８類　宮之迫式土器（22）8-10

様を構成させるものがある（764～772）。

８－10類　無文

外面に文様を持たない一群である。

773～793は，口縁部や口唇部には刻目や突帯を貼付し，波状口縁を呈す。器面調整はナデが基本だが，777～782のように粗いナデ調整や786・789のように貝殻条痕を明瞭に残すものもある。

山形突起をもち波状口縁を呈する794～805は粘土接合痕のナデ消しが非常に甘く，明瞭に接合痕が残る。器面調整は内外面ともにナデ調整だが，804のように縦位の明瞭な条痕を残すものもある。なお，804は内面全体に赤色顔料が付着している。

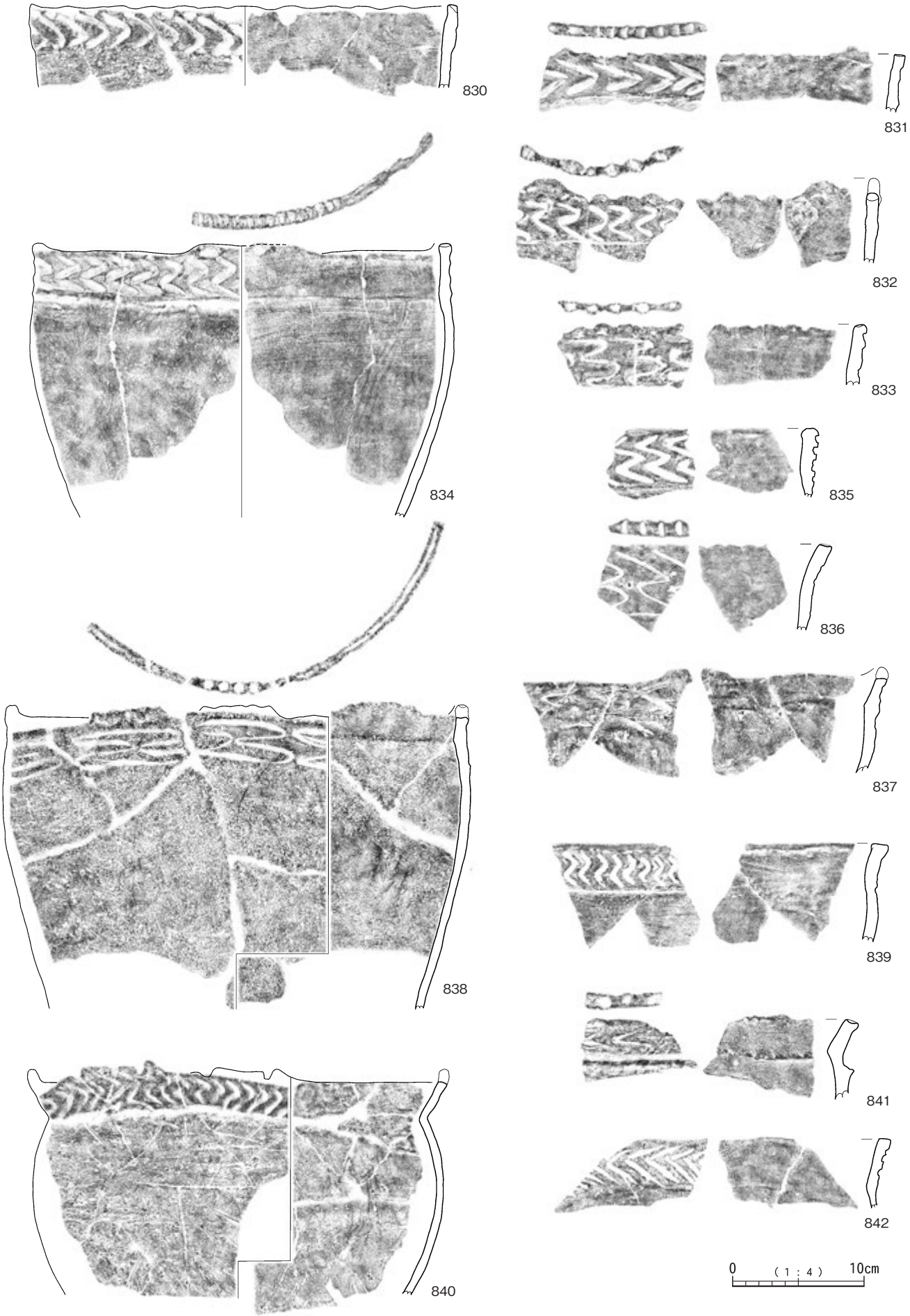
806～824は底部に向かって窄まる砲弾形を呈する。806～809，813は内外面に条痕が明瞭に残るが，ナデ調整により器壁は滑らかで光沢をもっている。815・827は外面に煤が付着する。828は小型品で口縁が屈曲する。器壁には凹凸が目立つ。

９類　南福寺式土器（830～875）

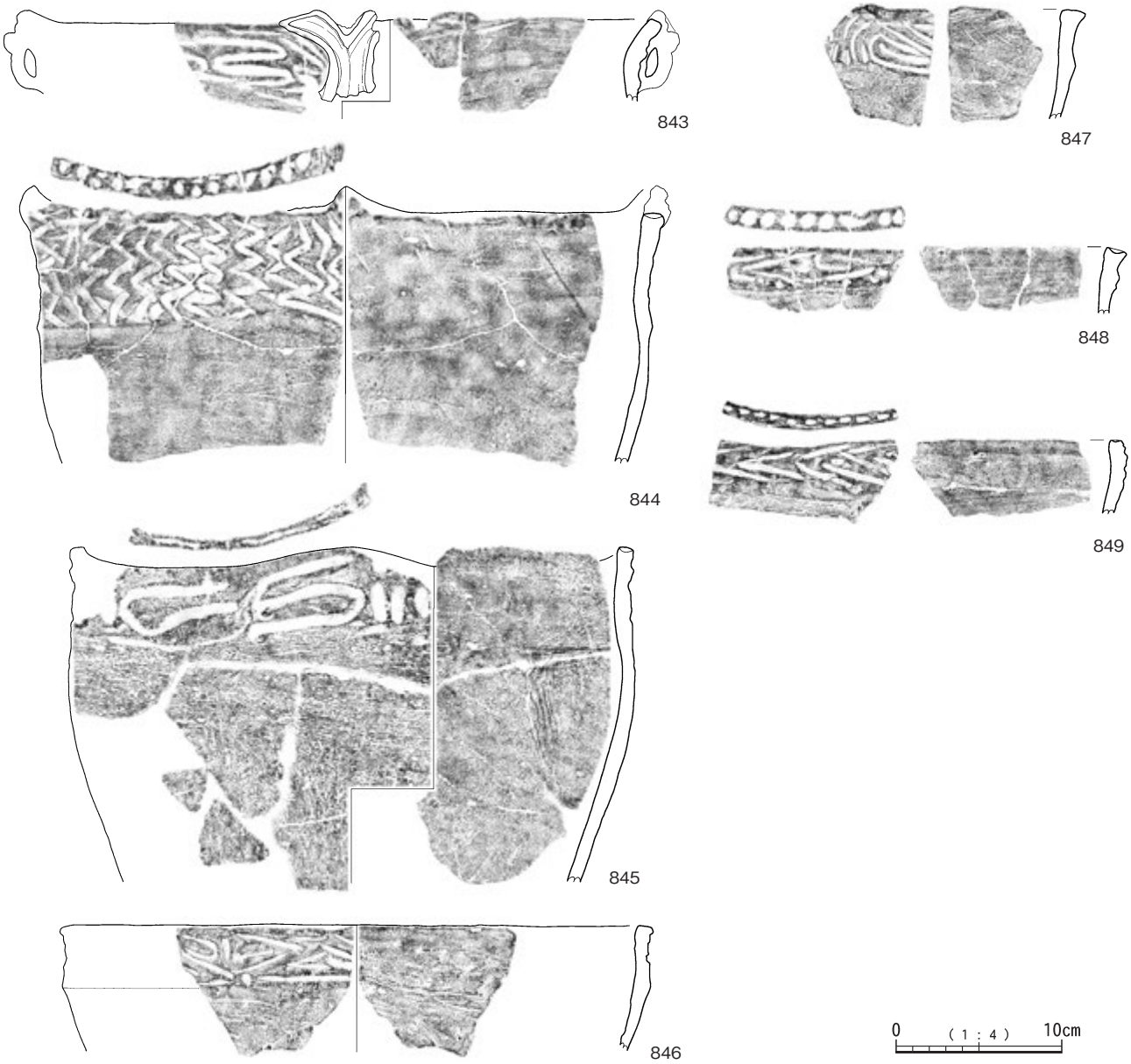
口縁部の文様帯が狭くなり，口縁部下位に文様帯が集約される。文様帯下を横方向のヘラ削りで，ケズリ出し口縁部を肥厚させ，文様帯との境を明瞭にするものである。文様の施文具にはヘラ状工具や棒状工具などが用いられる。文様構成は，凹線・沈線・刺突などで，逆Ｓ字文，平行文，渦巻文などのほか，ヘラ状工具で深く鋭く削り出した「削り出し文」などがみられる。器種には深鉢と浅鉢があり，浅鉢には橋状把手などの装飾性が高いものがみられ，赤色顔料の塗布される個体が多い。

９－１類　深鉢

口縁部上位に文様帯を構成し，文様帯境をヘラ削りでケズリ出し，段を作出する。文様は凹線・沈線による逆Ｓ字文が多く，入組文の簡略化したものもある。器面調整は内外面ともにナデ調整だが，施文帯は丁寧なナデによって光沢をもつ。口縁部は垂直に立ち上がるもの（830～838）や外反し屈曲部分を文様帯を境にするもの（840～842）等がみられる。口唇部は指頭押圧により細かな波状を呈すものや山形の突起で波状口縁になるも



第77図　９類　南福寺式土器（１）9-1



第78図　９類　南福寺式土器（２）9-1

のがある。843は文様帯部分にX字形の橋状把手をもつ。846～849は鉢形で胴部が張り，丸みを帯びる形態をもつ。

９－２類　浅鉢

850はやや大型の浅鉢で複数の細い粘土紐で橋状把手を装飾し，口縁部内面にも粘土紐で装飾をつける。外面～口縁部内面には赤色顔料が付着している。

851～856は口縁部を横位のケズリによって肥厚させ，胴部でくの字に屈曲する形態をもつ。外面は横方向のミガキで調整されるが，内面には指頭圧痕が残る（850・851・853）。

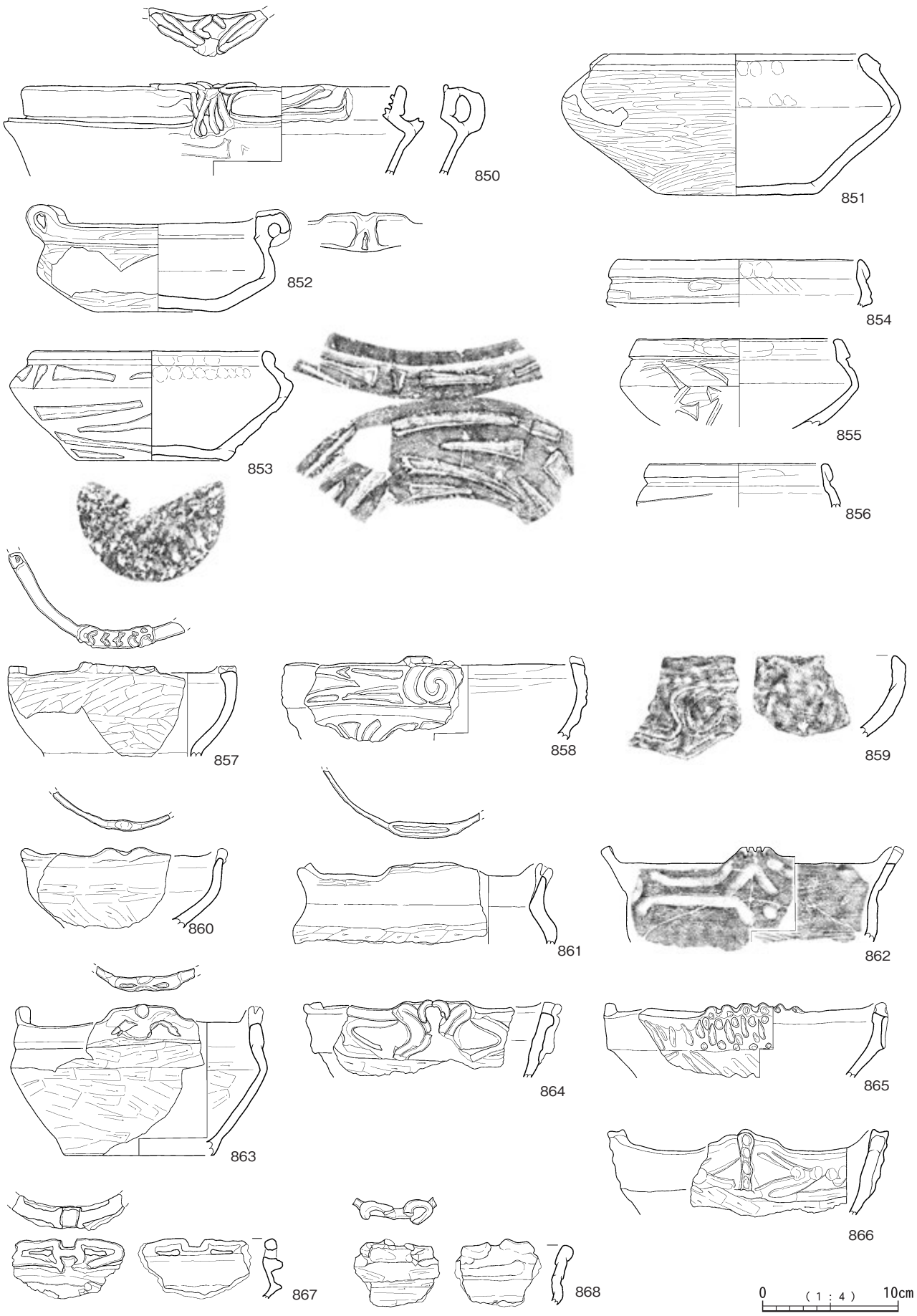
853～856は外面にヘラ削り出し文が施文され，外面に赤色顔料の付着がみられる。857～860は椀形で胴部の屈曲は緩く丸みをもつ。858は口縁部に渦巻文と突起を基準に文様が構成され，胴部下位にはヘラ削り文が深く施文される。

863～868は山形突起をもち，口縁部がやや外反し，胴部で屈曲する。文様は，太い凹線文（862）や深い刺突文と凹線文の組み合わせ（865）や粘土紐による装飾性の高い把手（864・867・868）をつける。

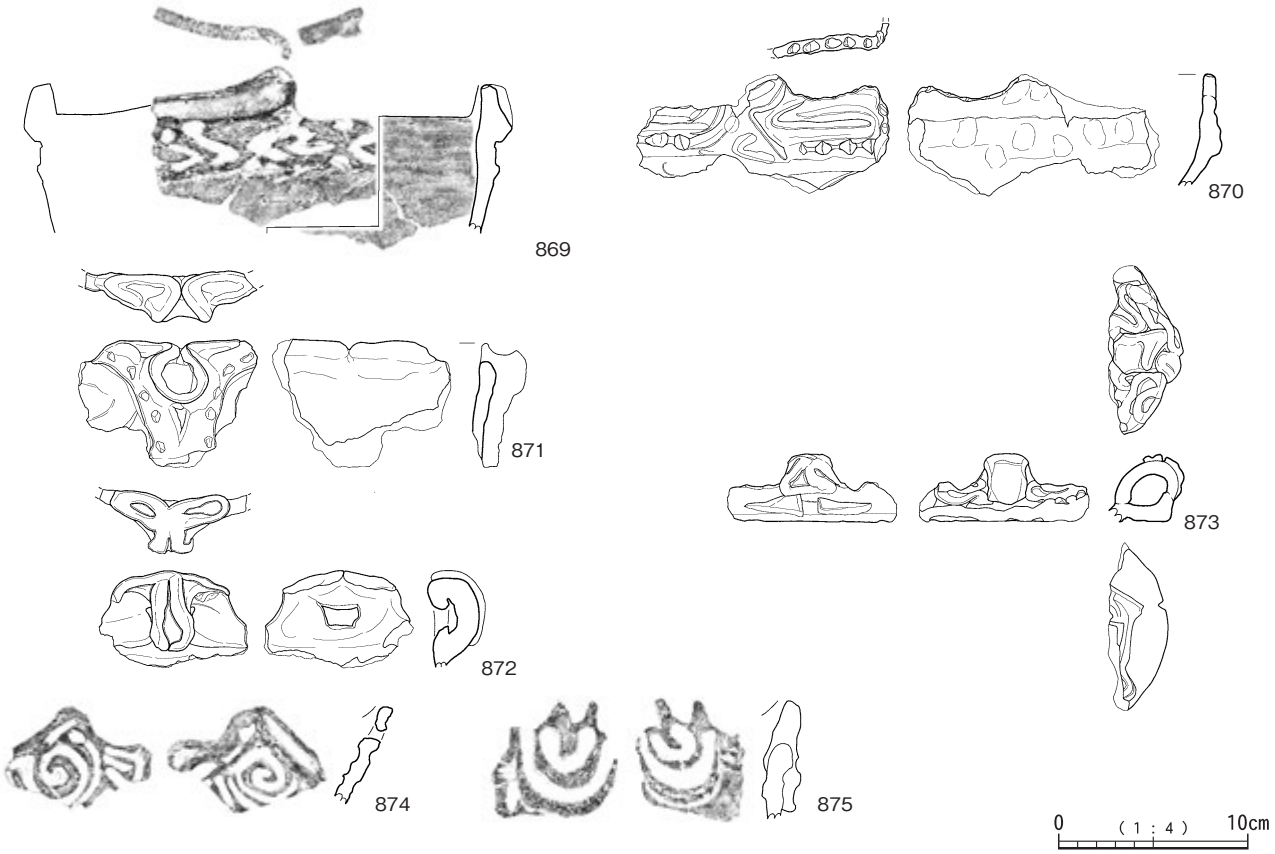
869・870は口縁を深く横方向に削り，口縁部の肥厚を明瞭にしている。871～873は粘土紐で装飾された突起をもつ。874は内外面に凹線文を施し，外→内へ補修孔と思われる穿孔をもつ。875は口縁を厚く肥厚させ，内外面に凹線文の施文がみられる。

10類　出水式土器（876～930）

９類（南福寺式）と同じく口縁部に文様帯をもつが，文様帯の肥厚はなくなり，ケズリやナデによって文様帯との境界にする。器種には深鉢・浅鉢がある。



第79図　９類　南福寺式土器（３）9-2



第80図　９類　南福寺式土器（４）9-2

文様施文具はヘラ状工具や棒状工具だが，９類（南福寺式）と比すると施文の深さは浅く，文様は細い凹線文または沈線文で構成される。文様も９類よりも簡略化する。

器面調整は口縁部下は横方向のケズリ，内外面ともにナデ調整で基本である。施文部位は丁寧なナデにより，光沢をもつ。

10－1類　深鉢

876～878は口縁部にヘラ削り出しで，三角形文・四角形文を施文する。施文部は丁寧なナデによって光沢をもち，口縁部下位の胴部はミガキで調整される。９類の範疇に入る可能性もあるが，文様の簡略性から本類として報告しておく。

879は文様帯の境をケズリで作出し，沈線文を巡らす。表面は摩滅が激しい。880は口縁部は内湾し，肩部に渦巻文と連点文を施文した橋状把手をつける。外面文様口唇部には刻目を巡らすのみである。881～893は入組文の簡略したものが施文されるものである。894は沈線文で擬似縄文風の文様がつく。895～903・905は縦・斜位の短沈線が施文されるもので，刻目突帯で文様帯を区画する896・897や，口縁部を外反させ，屈曲部を境にする898～903がある。

904．906～922は，口縁部に押引文（904・906・907），平行沈線文（900～913），極細沈線文（916・920），連点文（914・915）などが施文される。

10－２類　浅鉢 ・その他

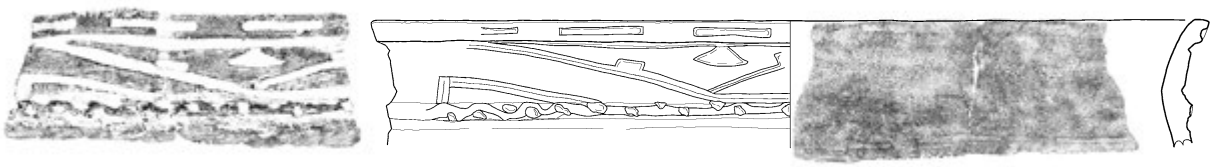
924・926・927は浅鉢で，924は口縁部に縦短沈線文を施文し，口唇部には沈線を巡らす。925は口縁下に突帯をもつ深鉢に近いと思われる。928は壺形を呈す。929・930は鉢の口縁部と想定される。929は口唇部と突帯に細かな沈線文が施文され，930は沈線で擬似縄文風の文様と口唇部に突起をつける。

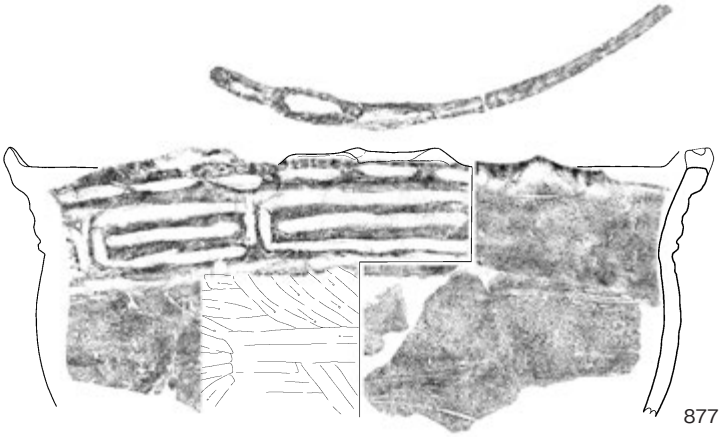
11類　指宿式土器（931～944）

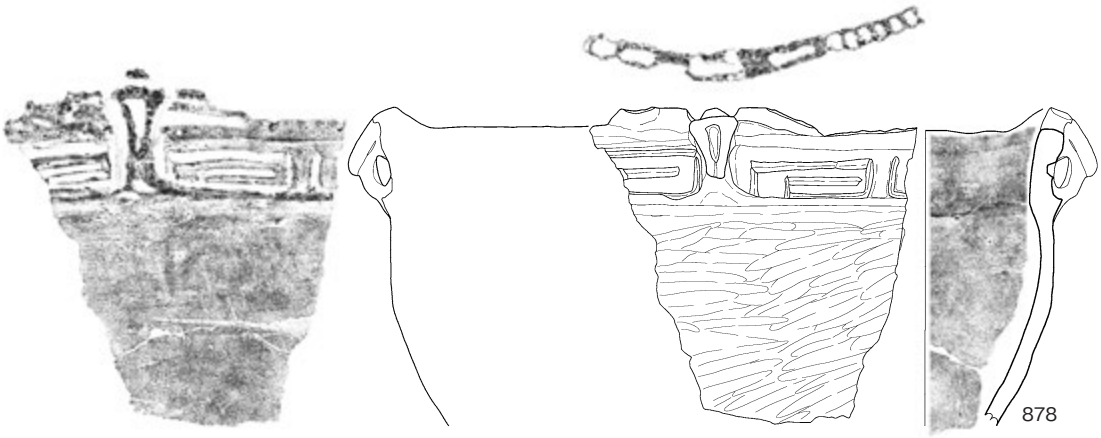
口縁部の文様帯が崩れ，口縁～胴部にかけて，明確な規則性をもたない幾何学文的な沈線文をもつものである。器形は屈曲形（931）や砲弾形（934・939ほか），内湾形（933）と様々である。器面調整はナデ調整のものと，貝殻条痕を明瞭に残すものがある。943は台付鉢の脚部と考えられ，透かしと透かし間に擬似縄文的な沈線文が，底面には山形の沈線文が施文される。944は台付皿の坏部と考えられ，内面には黒色の付着物が薄くみられる。

底部（945～1082）

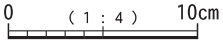
全出土遺物で5550点確認した（小片などは含めず）。土器の形態的特徴を①上げ底，②脚，③底部の立ち上がりが直線的なもの，④屈曲して立ち上がるものと４種に分類し，それぞれの底面の圧痕（木葉，網代，鯨，無



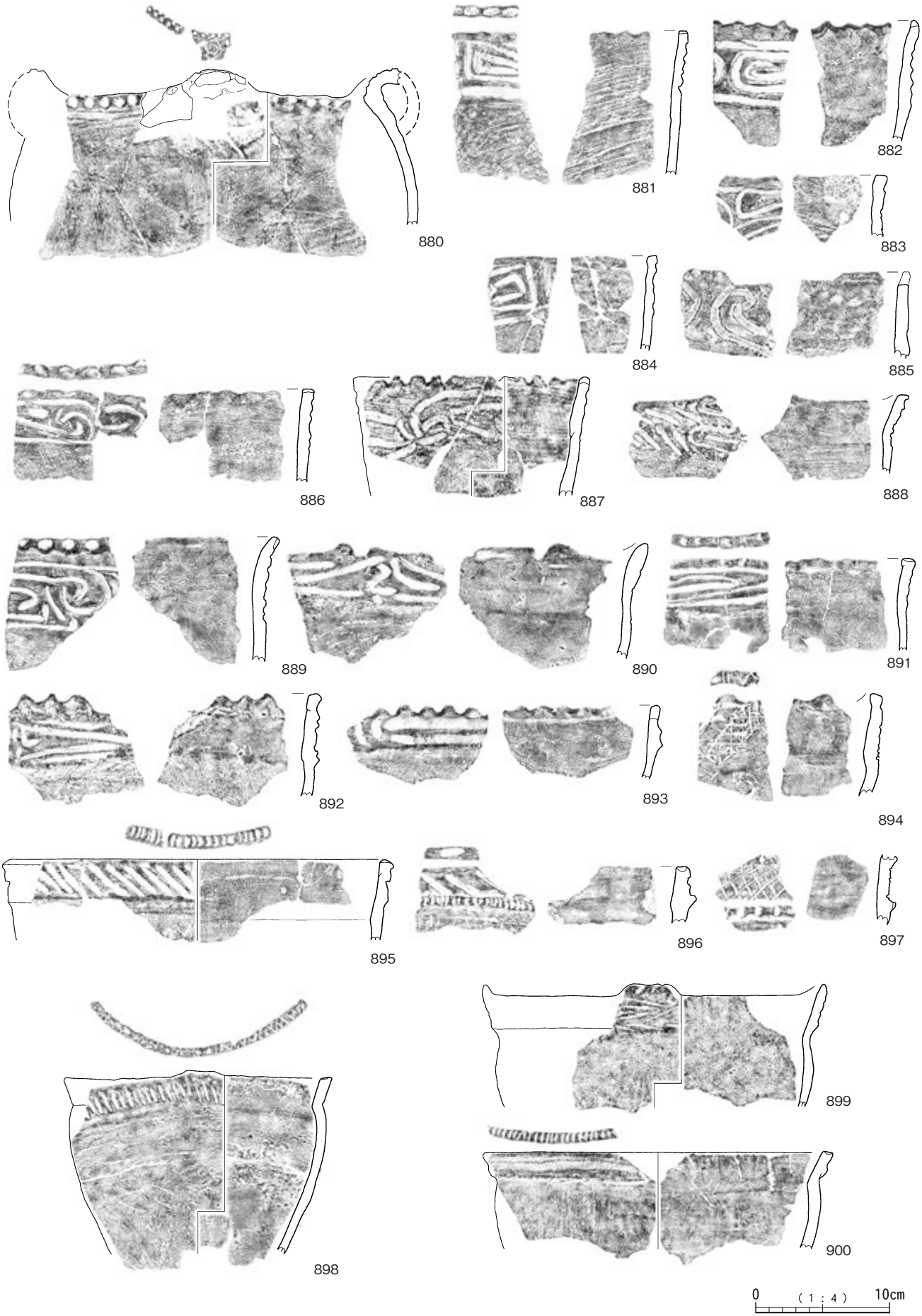




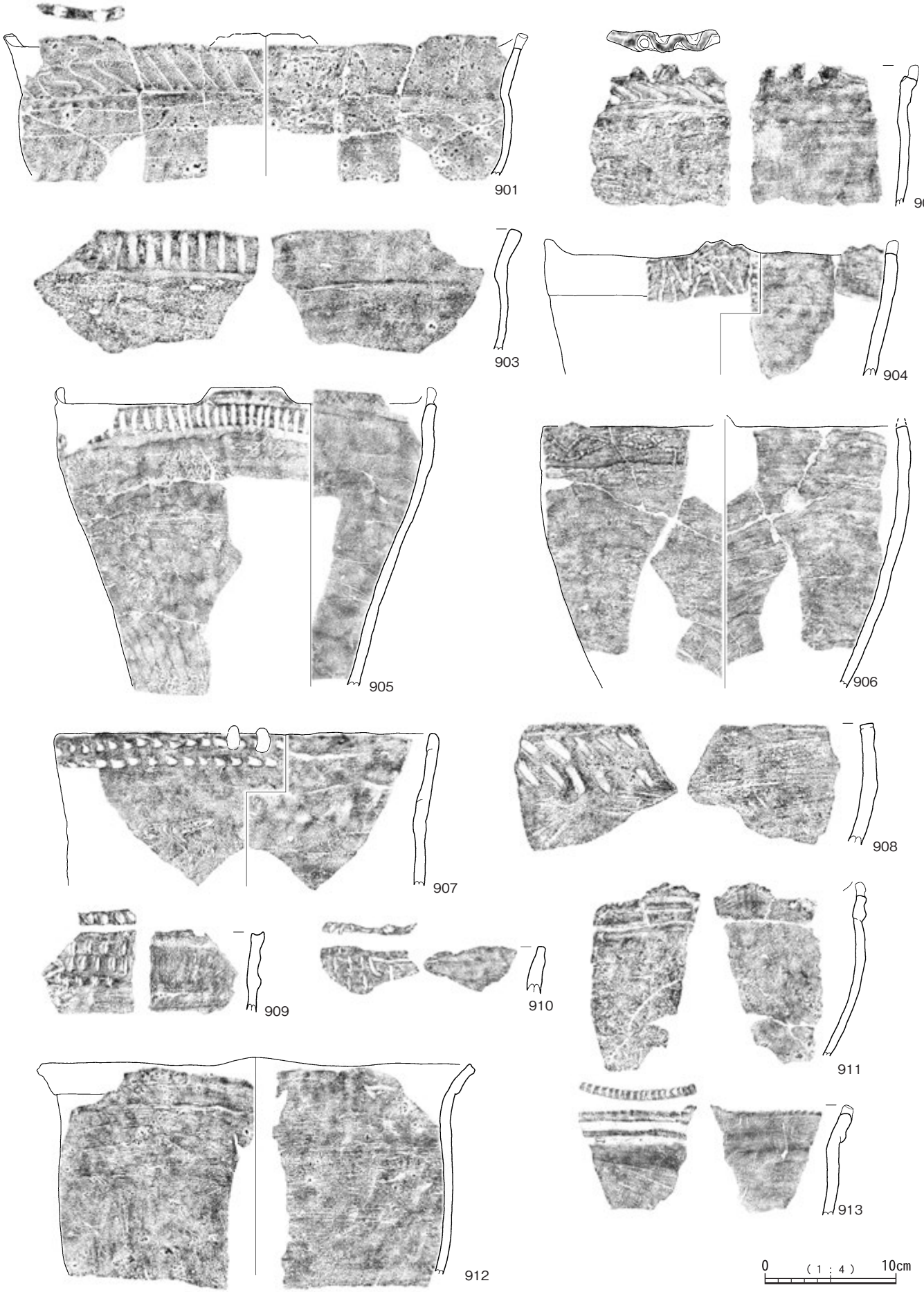




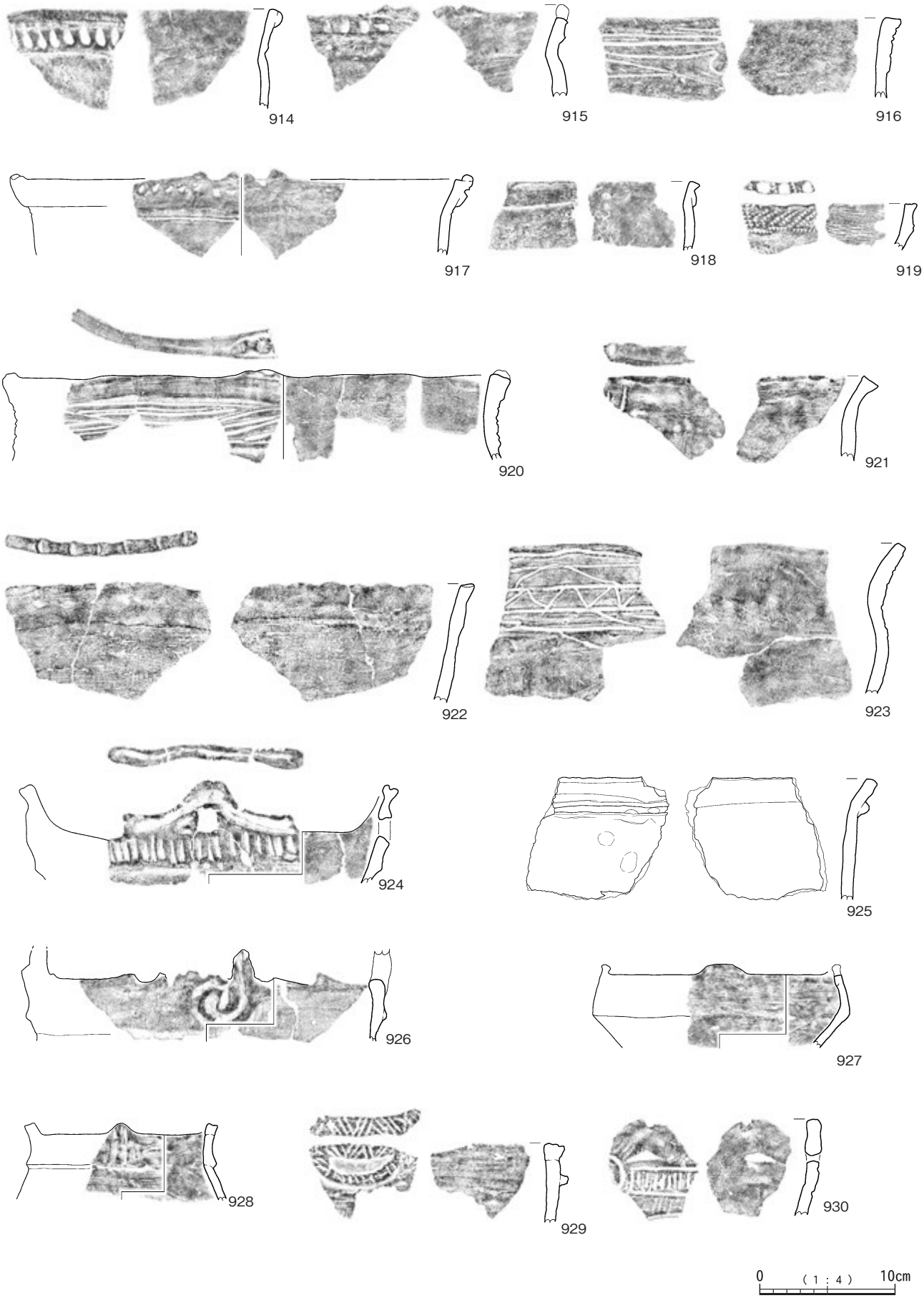
第81図　10類　出水式土器（1）10-1



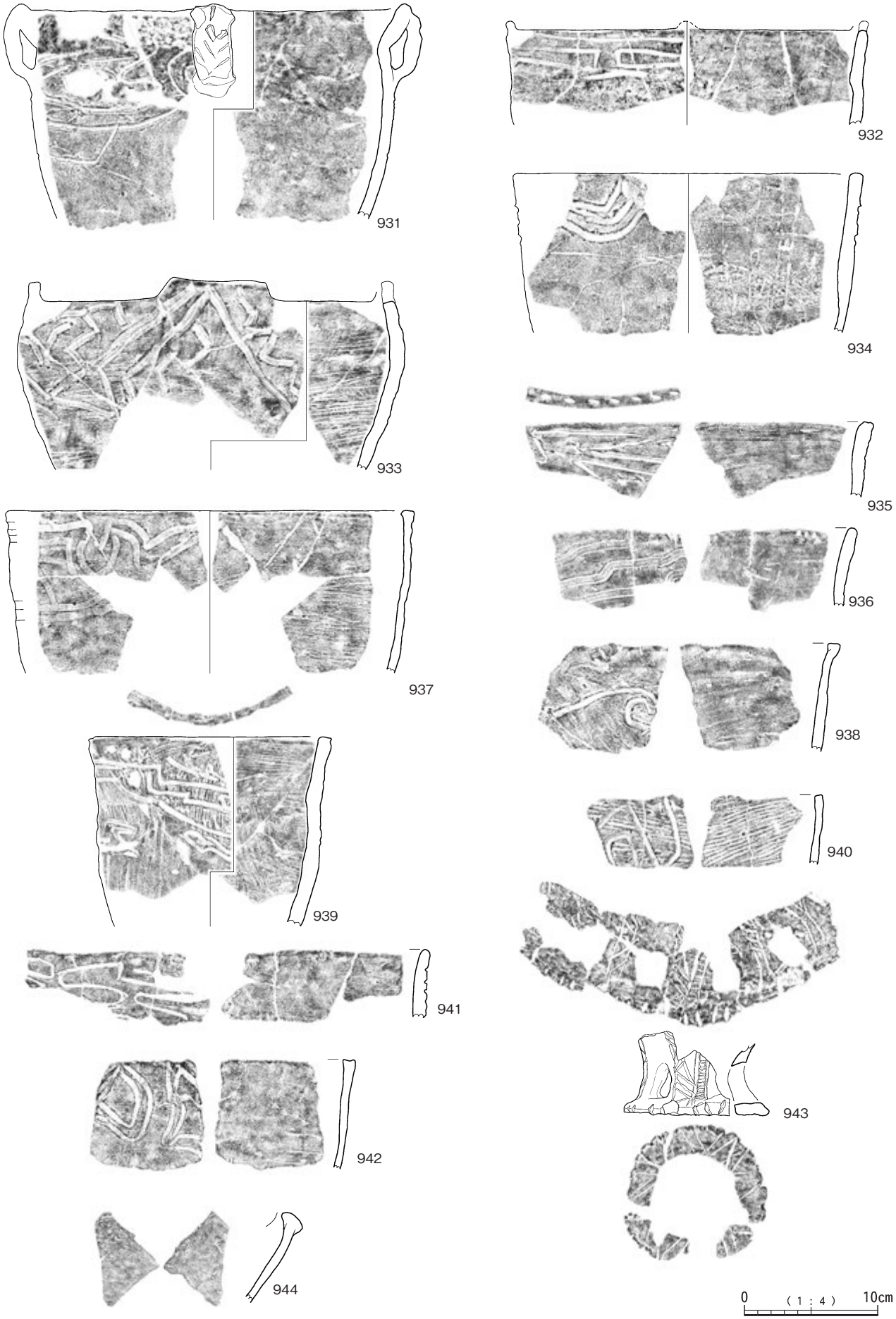
第82図　10類　出水式土器（2）10-1



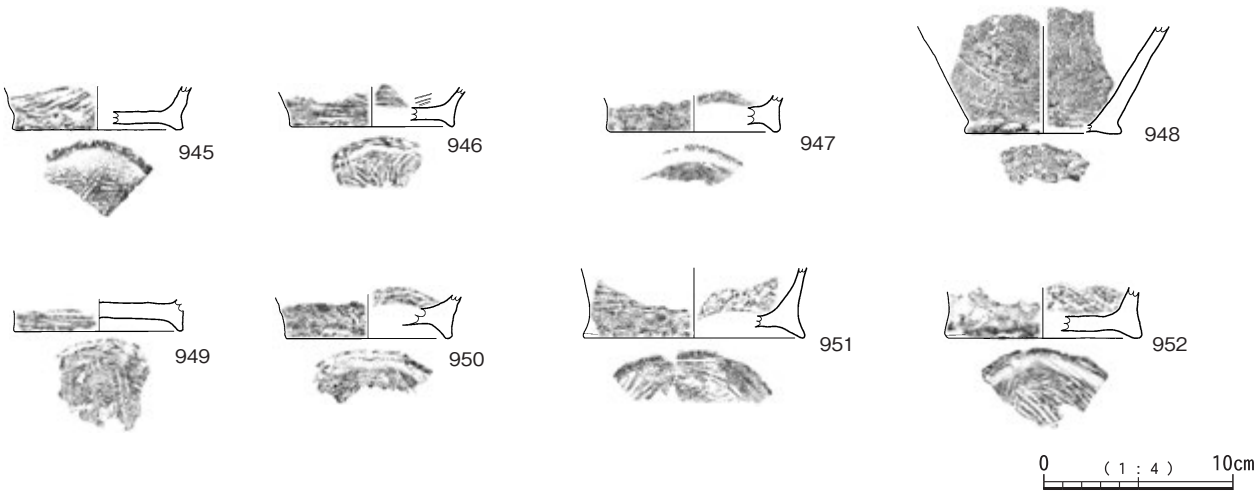
第83図　10類　出水式土器（3）10-1



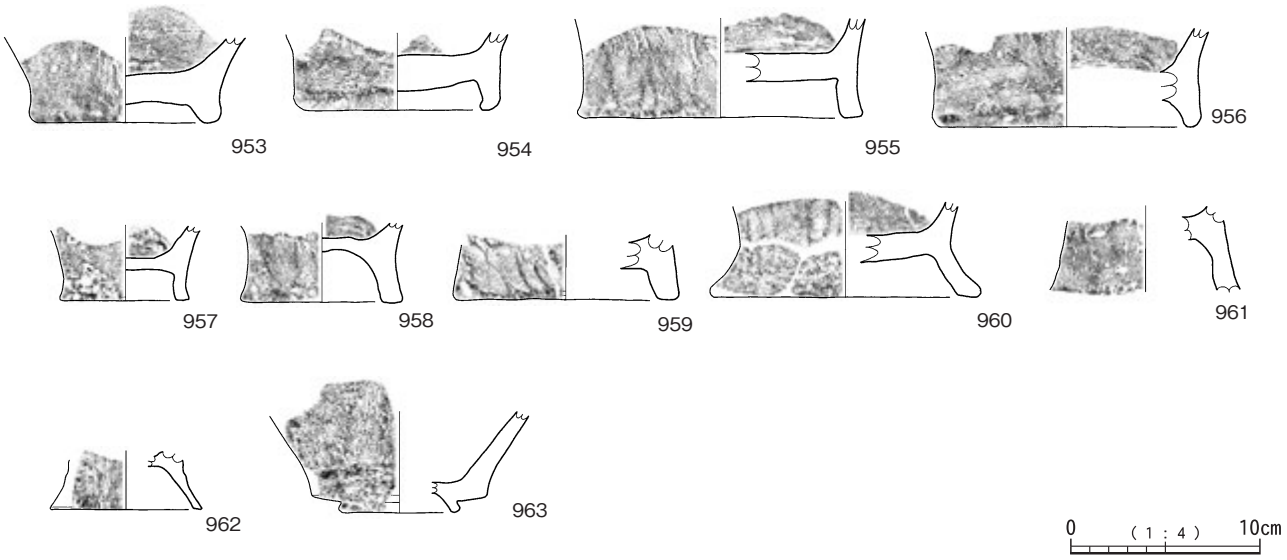
第84図　10類　出水式土器（4）10-1・2



第85図　11類　指宿式土器（1）



第86図　底部　上げ底



第87図　底部　脚台

文）との対応表を第４表に示した。

滑石混入品は全体の2.3％程度（129/5550点）であった。また圧痕底でもモジリ編みなどの網代底が全体の約32％を占める。鯨底も160点近くあり，九州西北部に近い様相を示している。

１　上げ底

底部が低い上げ底状になるものである。全体の出土量としては，38／5550点と非常に少ない。特徴として内外面に明瞭な貝殻条痕が残り，底部見込みにもみられる。２類（春日式）に相当する底部と思われる。

２　脚台状

底部に粘土帯をつけ，脚台状にしたものである。全体の出土量としては，（79／5550点）と非常に少ない。直線的に立ち上がるタイプ（953～959）とハの字状に広がるタイプ（960～962）がある。963は特殊でハの字状に広がり，椀形のような器形を呈す。器面調整はナデ調整が基本である。

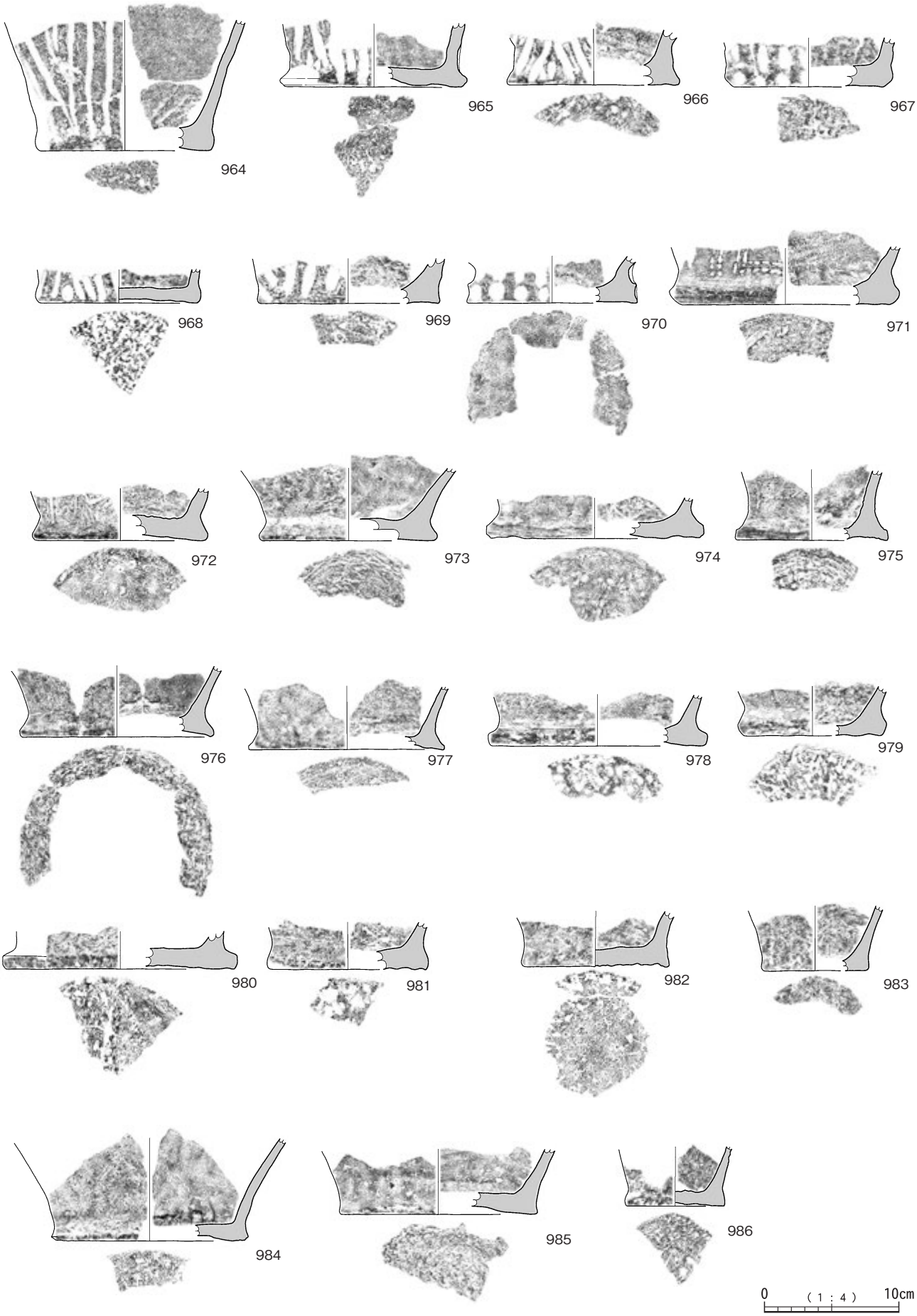
３　滑石混入

滑石が多量に混入しているものである。全体の出土量としては，129／5550点と少ない。底面には鯨底や網代底がみられる。964～971は外面に太凹線文や刺突文が施文される。968は鯨底である。

972～980は底部から胴部への立ち上がりが強く屈曲するものである。981～986はやや緩やかに立ち上がる。

４　端部文様

滑石を含まず，底部外面端部に刺突文をもつものである。987・989の底面には明瞭に網代痕が残る。

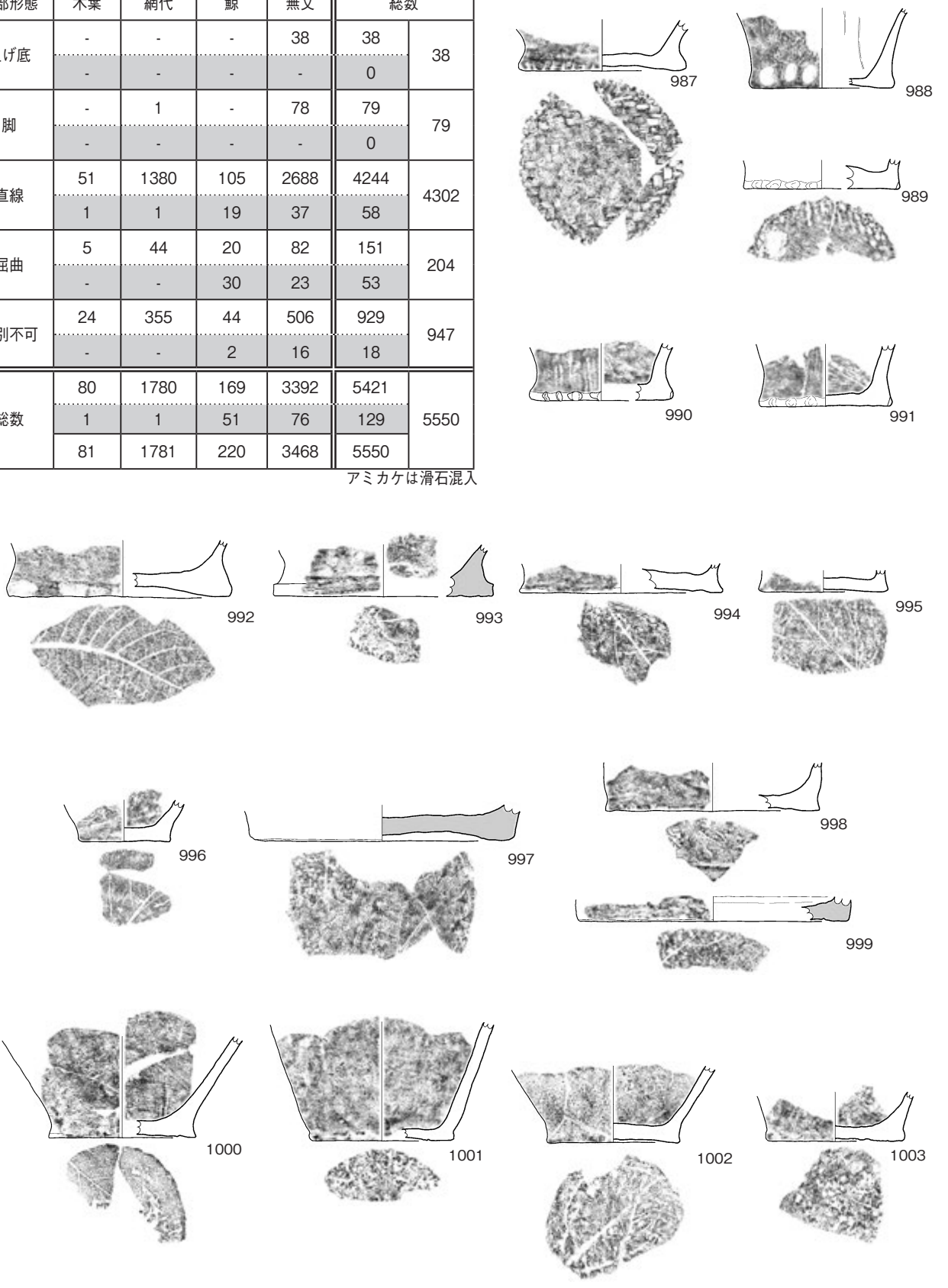

964
965
966
967
968
969
970
971
972
973
974
975
976
977
978
979
980
981
982
983
984
985
986
0 (1:4) 10cm

第88図　底部　滑石混入

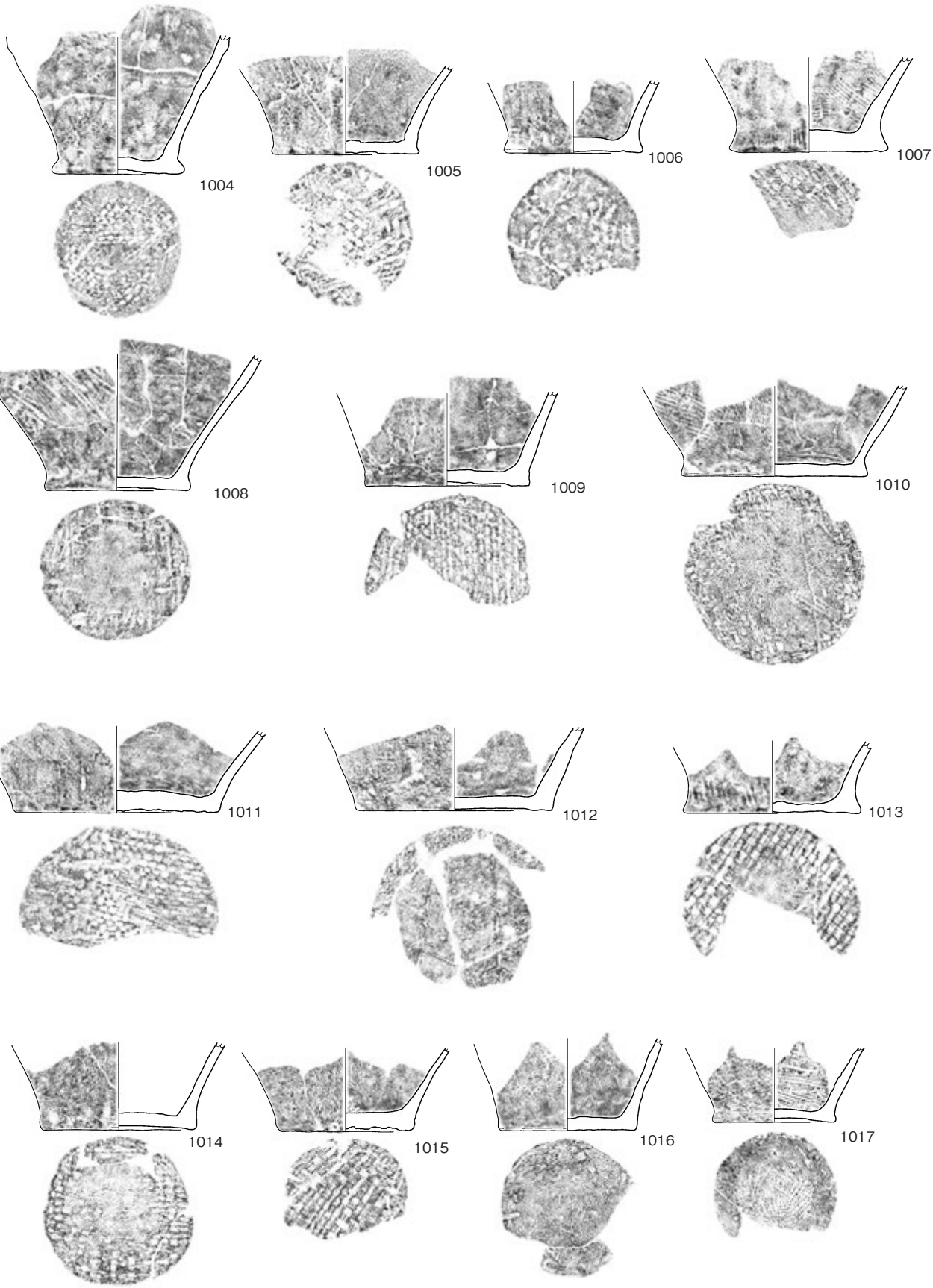
第４表　底部種別総数

底部形態	木葉	網代	鯨	無文	総数	
上げ底	-	-	-	38	38	38
	-	-	-	-	0	
脚	-	1	-	78	79	79
	-	-	-	-	0	
直線	51	1380	105	2688	4244	4302
	1	1	19	37	58	
屈曲	5	44	20	82	151	204
	-	-	30	23	53	
判別不可	24	355	44	506	929	947
	-	-	2	16	18	
総数	80	1780	169	3392	5421	5550
	1	1	51	76	129	
	81	1781	220	3468	5550	

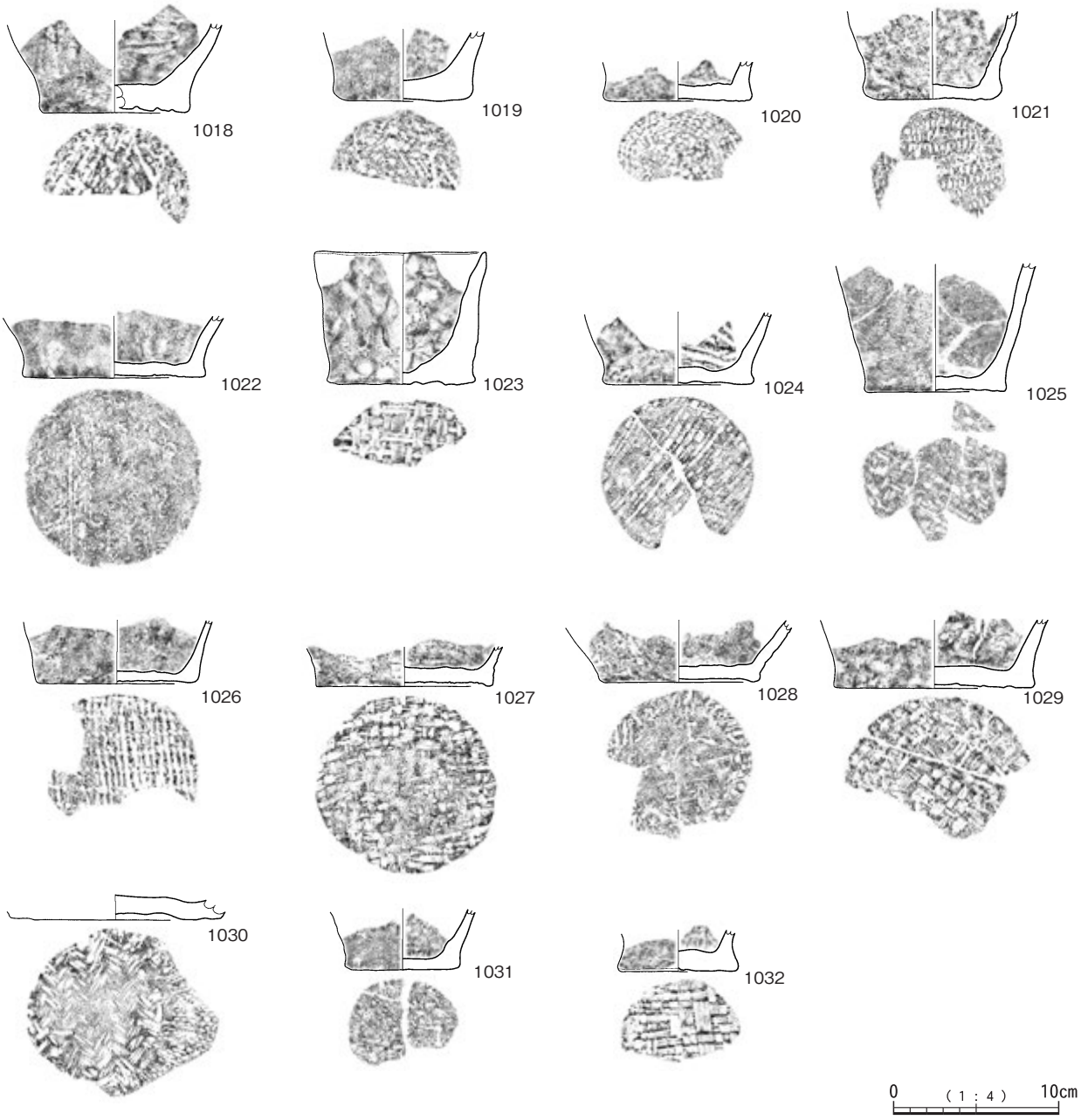
アミカケは滑石混入



第89図　底部　端部文様・木葉底


1004
1005
1006
1007
1008
1009
1010
1011
1012
1013
1014
1015
1016
1017
0 （1：4） 10cm

第90図　底部　網代底（1）



第91図　底部　網代底（2）

5　木葉底

底面に木葉の葉脈が明瞭に残るものである。全体の出土量としては80／5550点であり，数は多くない。

6　網代底

全体の約30％出土している。明瞭に残るものが多い。肉眼および拓本での判別だが，1013～1015・1027等は平編みで，1021や1026等はモジリ編み，1010や1025は綾編み＋平編みがみられ，1011は網代編み＋モジリ編みなどと考えられる痕跡が確認された。なお，1030は綾編みとモジリ編みで籠状に編んだような網代痕がみられる。

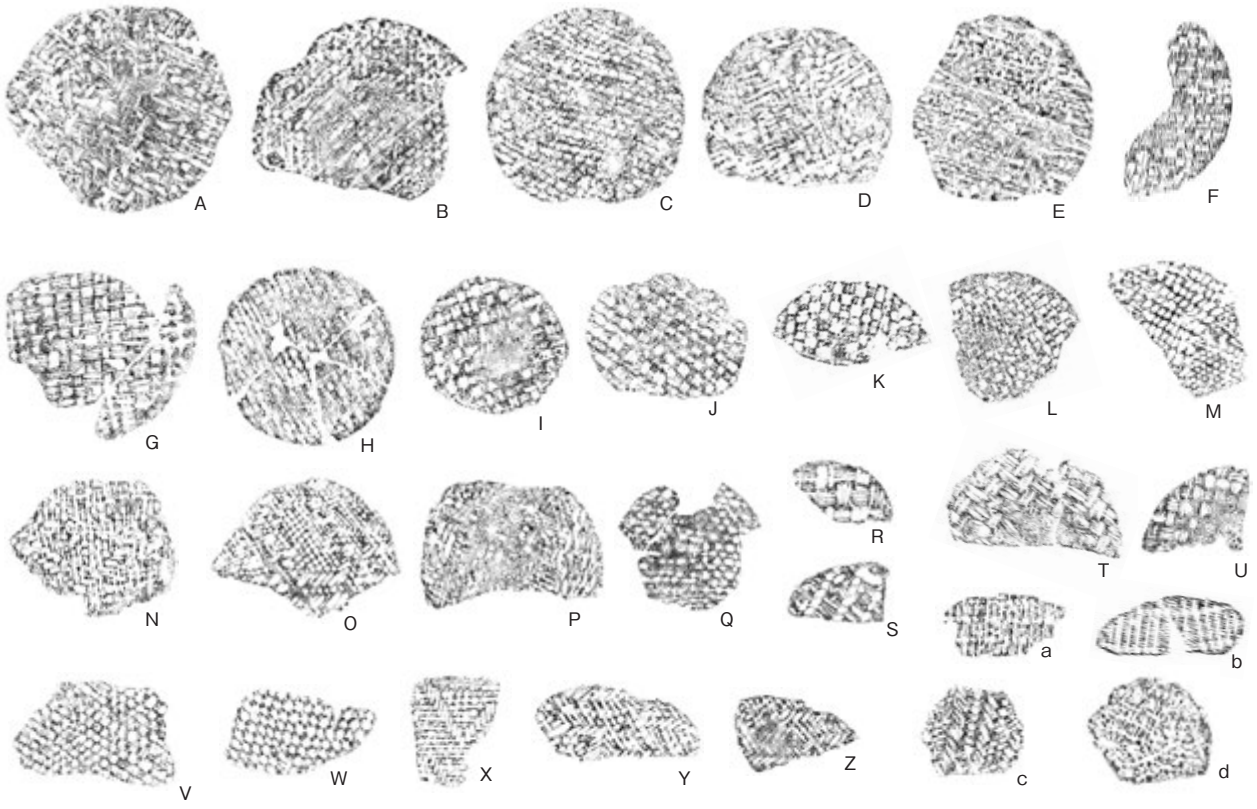
底部のみ残存しているものは，網代痕のみ掲載したが，全体的に非常に残存状態がよく，様々な編組技術が分かる資料が多い。

7　鯨底

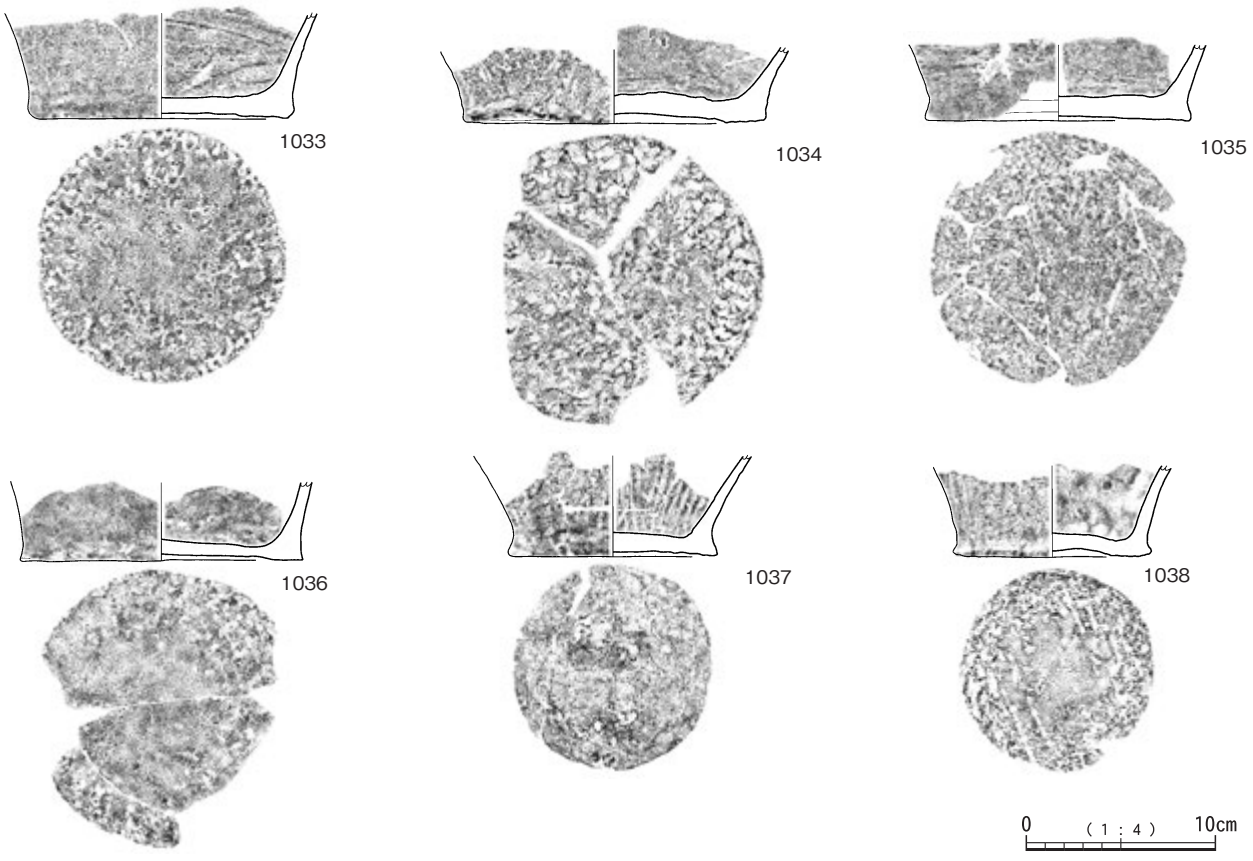
鯨の脊椎骨の圧痕が残るものである。全体の出土量としては3.2％程度出土している。（169/5550点）

8　無文

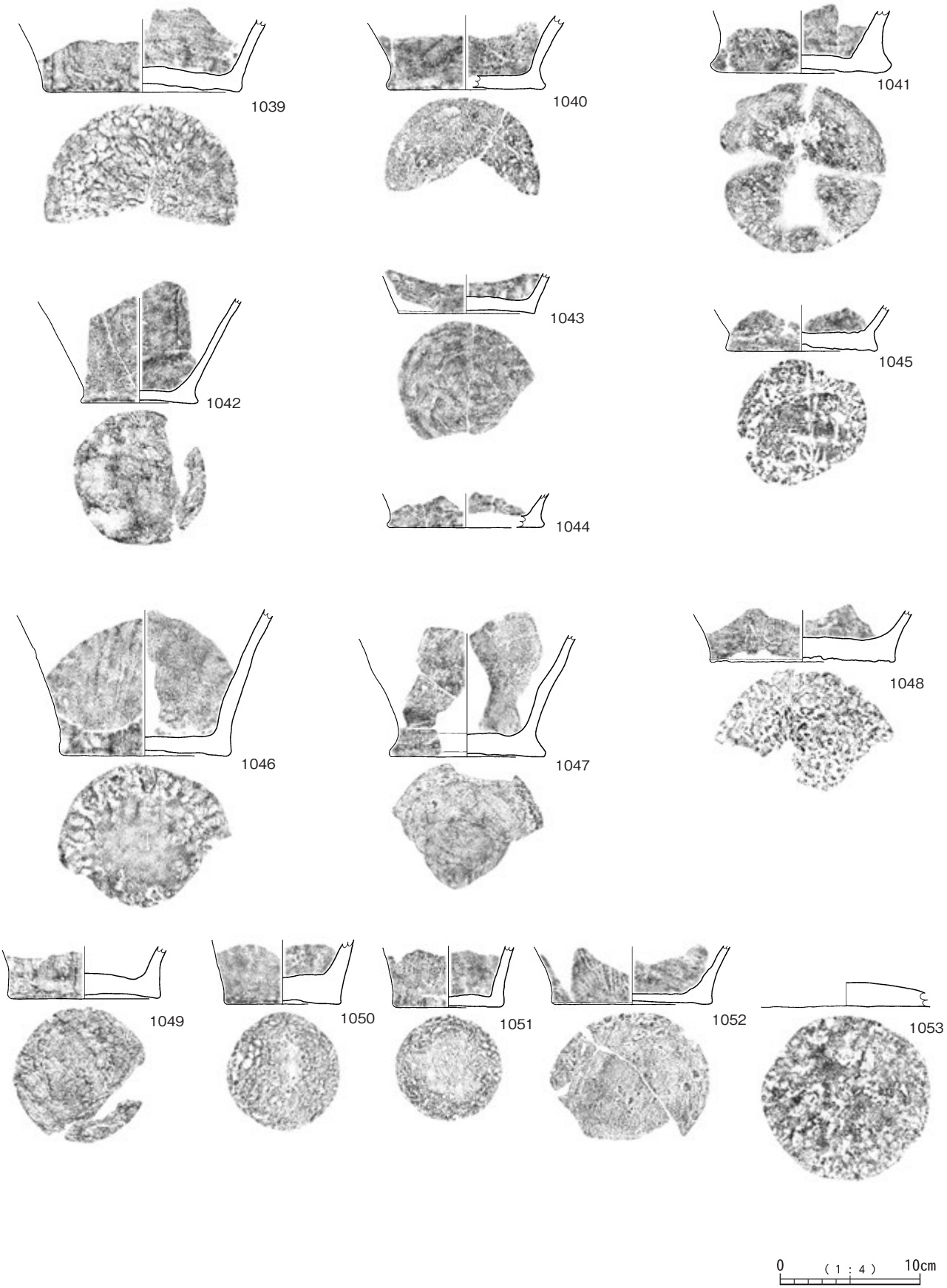
1054～1062は底部の立ち上がりが屈曲するもので，1063～1074は緩く立ち上がるものである。基本的な器面調整はナデ調整が多いが，1058～1061・1063・1070のように内外面に斜・縦方向のハケメのような貝殻条痕が残



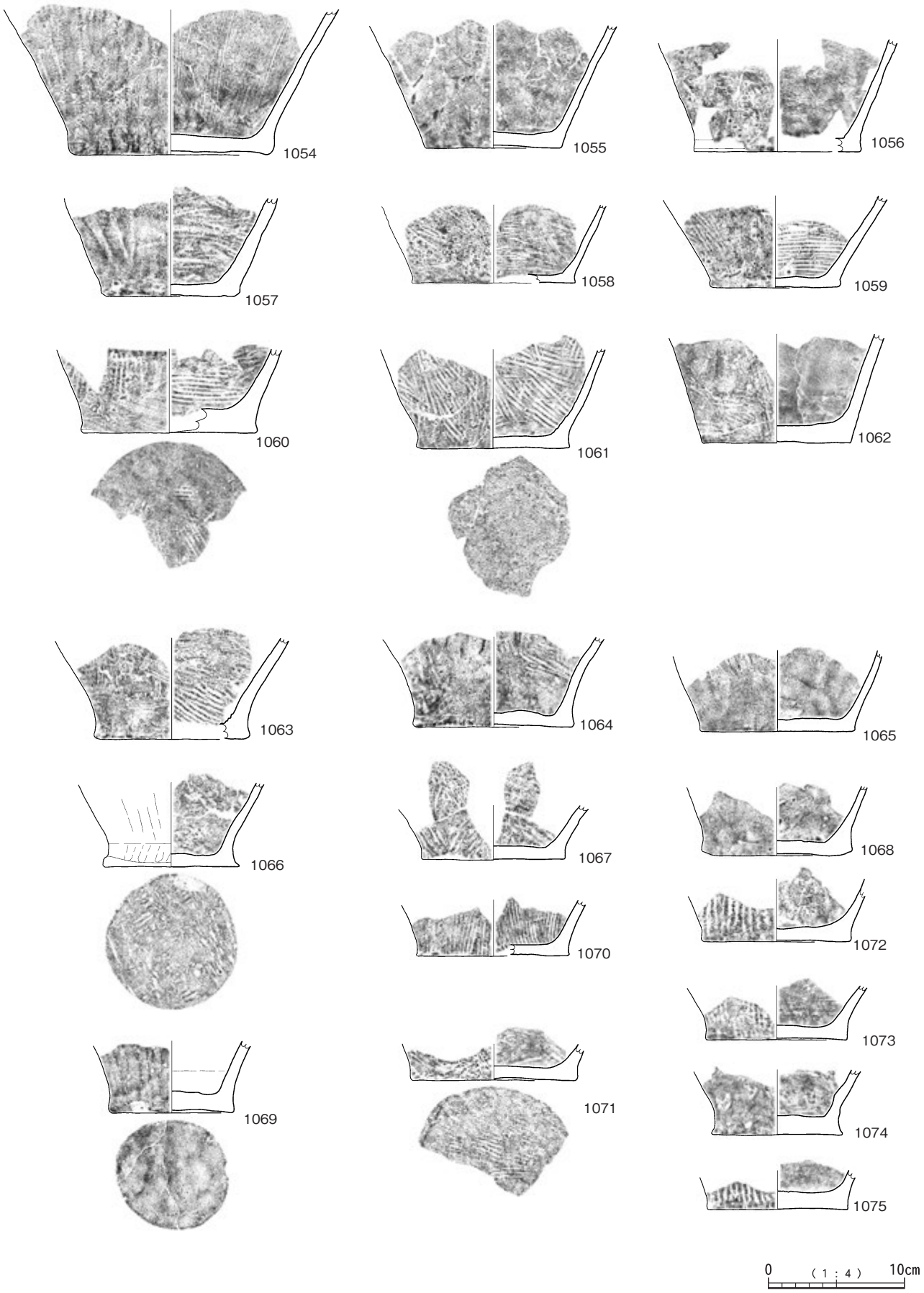
第92図　その他網代底



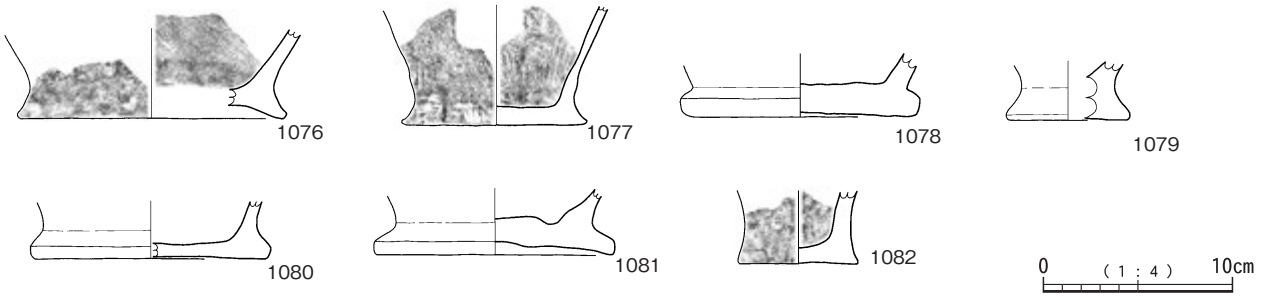
第93図　底部　鯨底（1）


1039
1040
1041
1042
1043
1044
1045
1046
1047
1048
1049
1050
1051
1052
1053
0 (1:4) 10cm

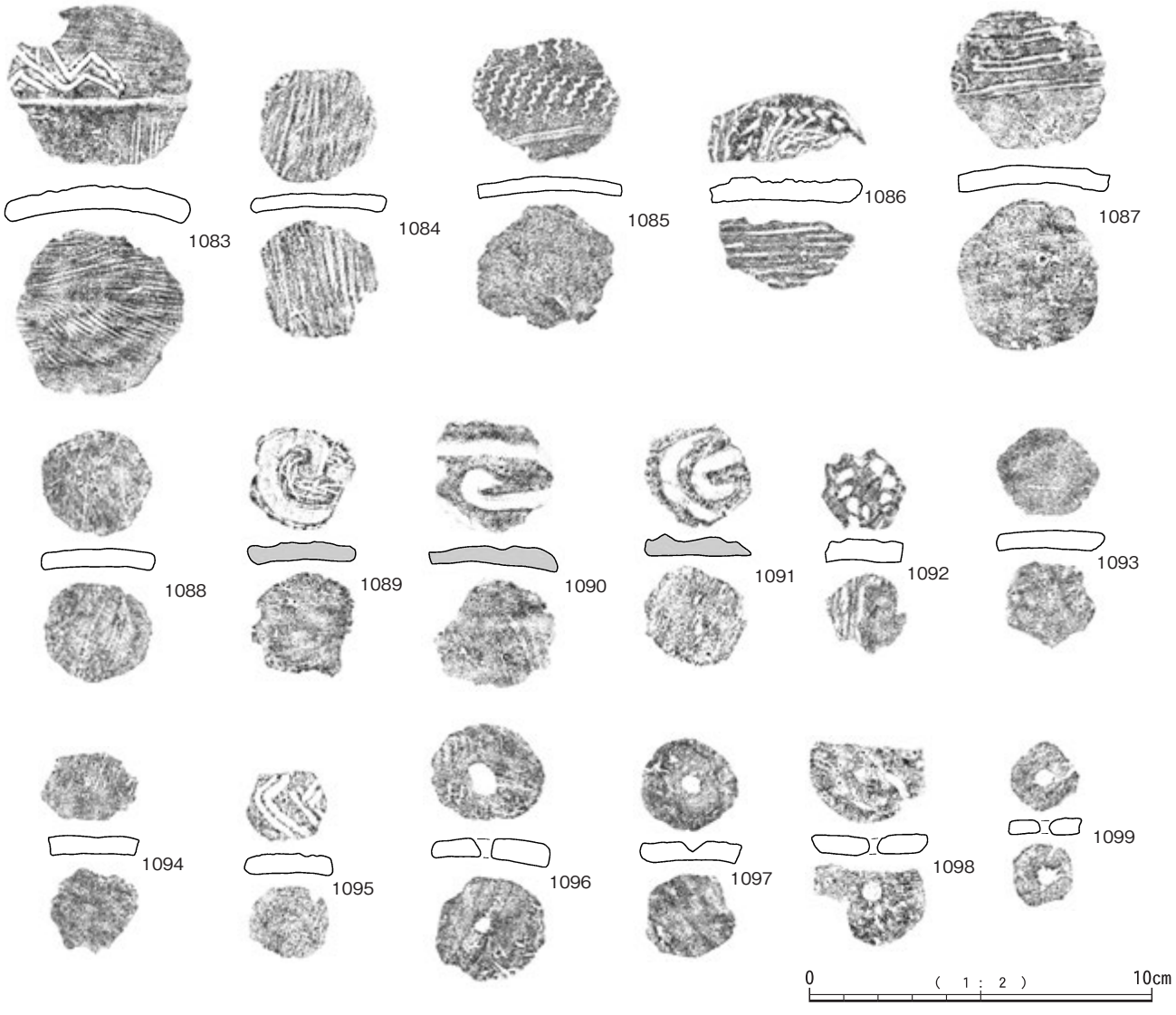
第94図　底部　鯨底（2）


1054
1055
1056
1057
1058
1059
1060
1061
1062
1063
1064
1065
1066
1067
1068
1070
1072
1069
1071
1073
1074
1075
0
（1：4）
10cm

第95図　底部　無文（1）



第96図　底部　無文（2）



第97図　円盤形土製品

るものがる。1071は底面にも貝殻条痕が残る。

円盤形土製品（1083～1099）

土器片の縁辺部を面取りし，円盤形（メンコ）にしたものである。1089～1091は滑石混入である。1096～1099は中心部に穿孔を穿っている。

文様等の特徴を確認すると，様々な型式の土器片が再加工されていることがわかる。

（３）遺物（石器）

縄文時代の石器は，Ⅱc～Ⅳａ層（包含層）で土器とともに大量に出土した。時期は土器の時期からみて，縄文時代中期後半～後期前半の範疇に収まると考えられる。出土した石器の多くは石鏃，石錐，楔形石器，尖頭器，彫器，掻器，石匙，二次加工剥片，使用痕剥片，石核，磨製石斧，磨石，敲石，台石，石皿，砥石，擦切状石器，礫器類，軽石製品，玉類である。

石器の石材は黒曜石，玉髄（めのう，たんぱく石，鉄石英），安山岩，頁岩，砂岩，凝灰岩，蛇紋岩，軽石などが使用されている。（石材分類については凡例を参照されたい）

石器総数としては約14,000点出土しており，そのうちツールは約1,200点（軽石製品含む）で内578点を本報告書では図化した。その他の12,800点の内，チップ，フレークが全体の約77％，石核，素材が約７％，軽石加工品は約16％を占める。

小型剥片石器（石鏃，石匙，石錐，掻器，彫器，尖頭状石器，楔形石器）に関しては，すべて図化しており掲載点数が全体の総数である（第５表）。

全体的な器種構成は，小型剥片石器，石斧類，礫石器（磨石，敲石，石皿など）がセットであり，加えて軽石加工品が多量にあることが特徴的である。また，製品の数に反して黒曜石の素材や石核が多い。それらの石材も近隣で産出されているものよりも，上牛鼻産や桑ノ木津留産，腰岳，針尾産のものが多い傾向にある（第６表）。礫石器は近隣で採取できる安山岩や凝灰岩等を使用している傾向がある。また，石皿や敲石などには赤色顔料が付着しているものもあり，赤色顔料の利用を窺えるものもある。

第98～100図の石器出土状況（分布図）をみると，土器と同様にB・C－３～５区，C・D－９～11区で出土している。垂直分布ではⅧ層の落ち込み部分の地形に沿って出土していることが分かる。出土量的にはB・C－３～５区での出土が最も多いが，分布的には器種差などは認められなかった。

また，出土レベルから確認しても包含層内（Ⅱc～Ⅳa層）で混在して出土しているため，ツールや素材，石核，チップ，フレークの各分布からは石器製作，使用等に関わるような出土状況とは言い難く，土器の出土状況等からみても廃棄的な性格が窺える。

第５表　掲載石器一覧（製品）

掲載石器		数量
剥片石器	石鏃	54
	石錐	53
	楔形石器	31
	尖頭状石器	6
	彫器・異形石器	6
	掻器・彫器	33
	石匙	3
	二次加工剥片・使用痕剥片	83
	玉製品	1
	石核	124
	磨製石斧	56
礫石器	磨石・敲石	33
	石皿・台石	9
	砥石（有溝含む）	3
その他	石錘	2
	掏切石器	2
	線刻	1
	有孔製品	1
	礫	3
	軽石加工品	74
計		578

石鏃（第101・102図　1100～1153）

石鏃及び未製品，また，その製作に関わる可能性のある二次加工のある剥片等である。

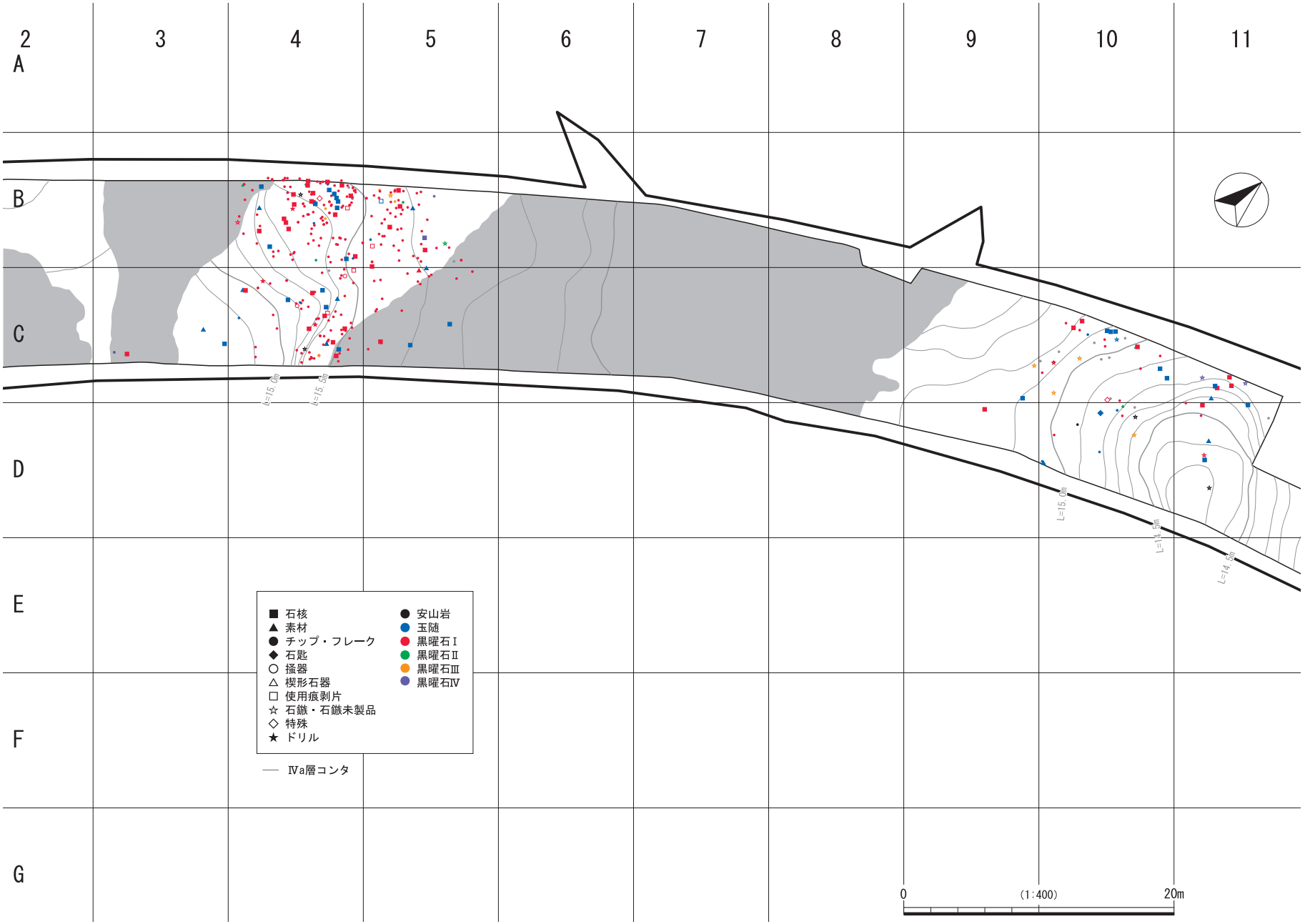
1100～1141，1145は平基無茎鏃である。乳白色を呈する玉髄製の1100に代表される小型の三角形鏃のほか，上半部を欠損するものの，残存部分からやや長身で二等辺三角形を呈するとみられる薩摩川内市樋脇町上牛鼻産黒曜石に類似する漆黒色不透明で白色の不純物を混ず黒曜石を素材とする1108がある。

1106・1107・1125・1126・1135・1136は基部が浅く内湾する浅い凹基の石鏃である。1106は上牛鼻産に類似する黒曜石製の三角形鏃である。

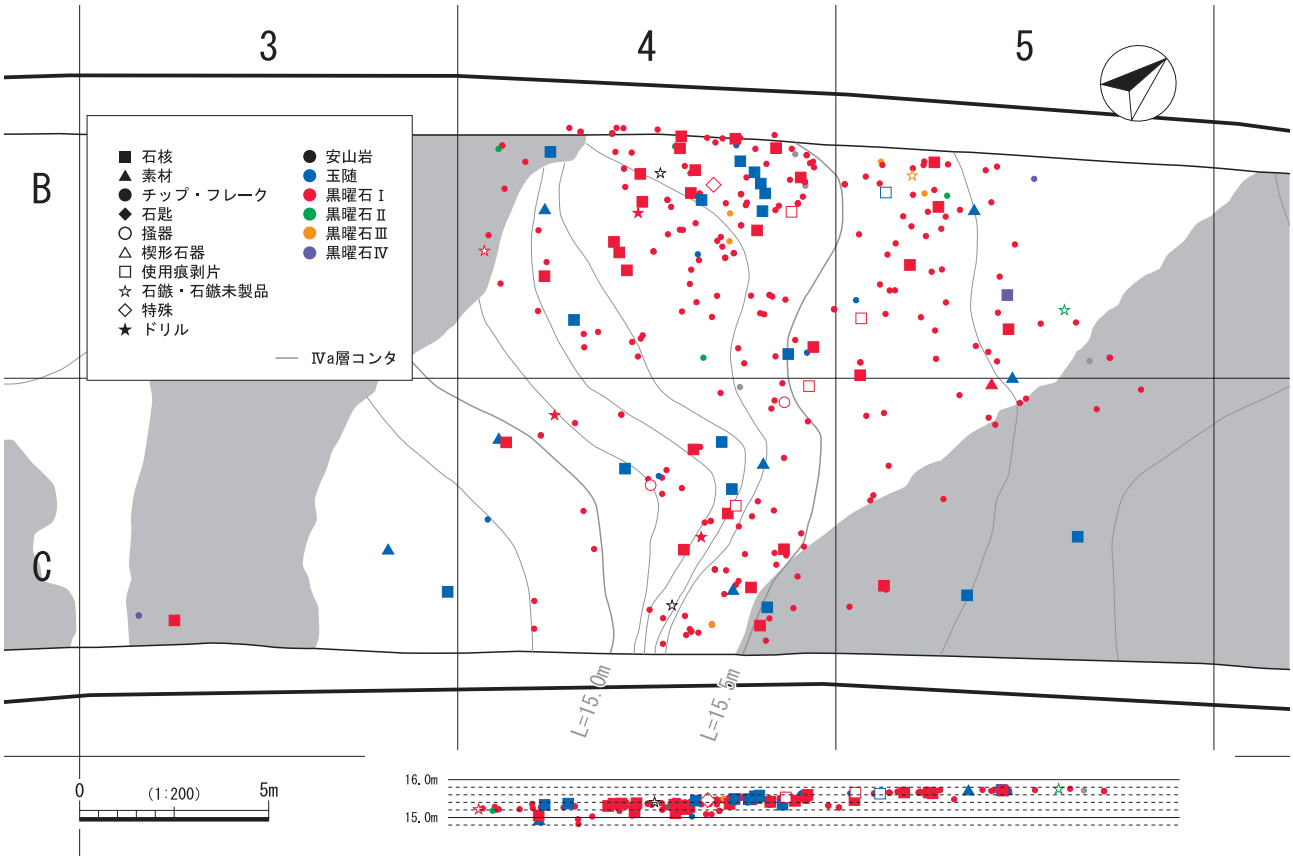
第６表　石器総数一覧表

	石核	チップ	フレーク	素材	礫	不明	軽石加工品	合計
黒曜石Ⅰ	373	5224	3218	42	-	-	-	8857
黒曜石Ⅱ	34	202	95	4	-	-	-	335
黒曜石Ⅲ	15	186	66	8	-	-	-	275
黒曜石Ⅳ	13	127	36	3	-	1	-	180
玉髄	160	97	258	189	15	2	-	721
チャート	-	-	1	-	-	-	-	1
鉄石英	-	-	2	-	-	-	-	2
安山岩	-	12	12	1	-	-	-	25
ホルンフェルス	-	-	2	-	-	-	-	2
蛇紋岩	-	-	1	-	-	-	-	1
シルト質頁岩	-	-	1	-	-	-	-	1
不明	-	-	97	-	-	-	-	97
軽石	-	-	-	-	-	-	2033	2033
合計	595	5848	3789	247	15	3	2033	12530

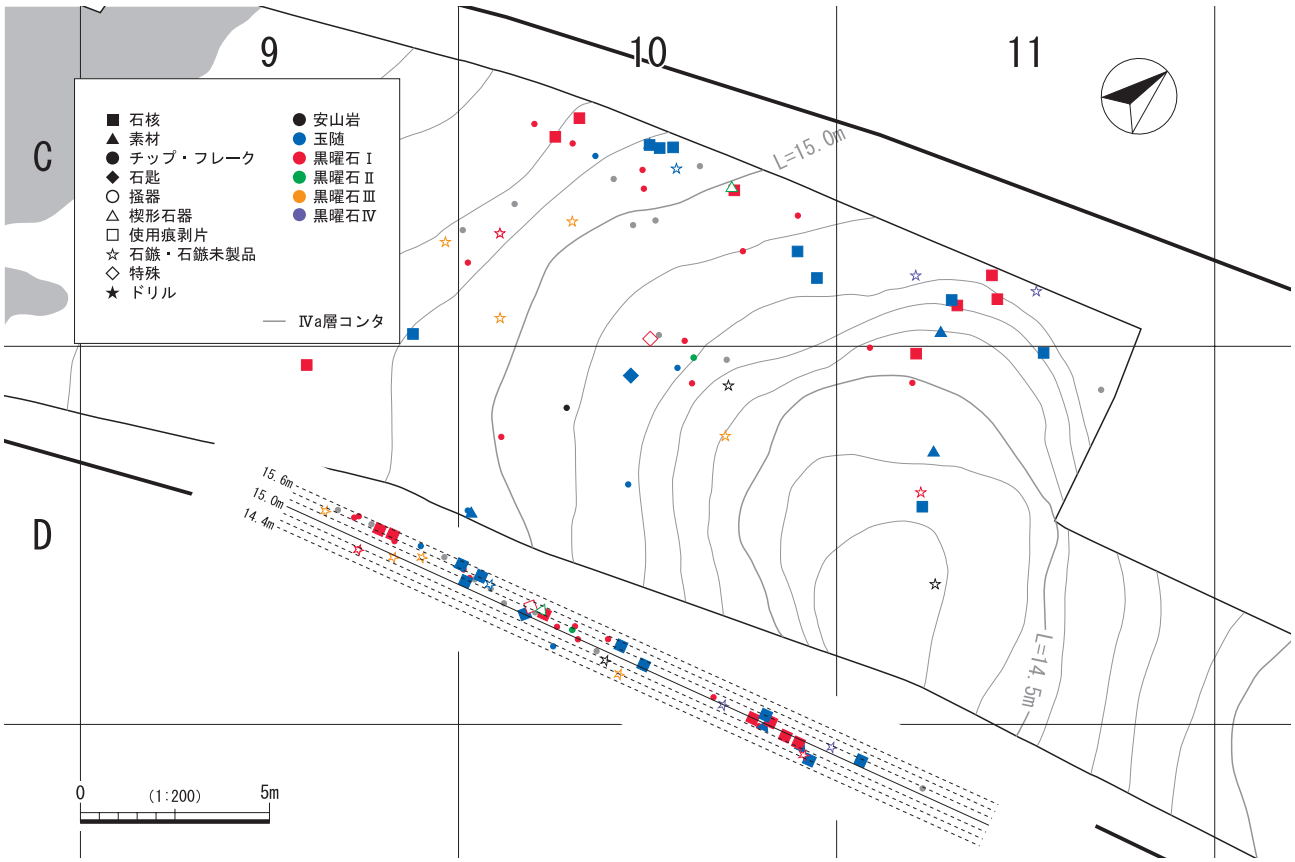
※石核・軽石製品は掲載数含む。各石材の分類は凡例を参照。


2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
A
B
C
D
E
F
G
L=15.0m
L=15.5m
L=15.0m
L=14.5m
L=14.5m
■ 石核
▲ 素材
● チップ・フレーク
◆ 石匙
○ 掻器
△ 楔形石器
□ 使用痕剥片
☆ 石鏃・石鏃未製品
◇ 特殊
★ ドリル
● 安山岩
● 玉随
● 黒曜石Ⅰ
● 黒曜石Ⅱ
● 黒曜石Ⅲ
● 黒曜石Ⅳ
IVa層コンタ
0
(1:400)
20m

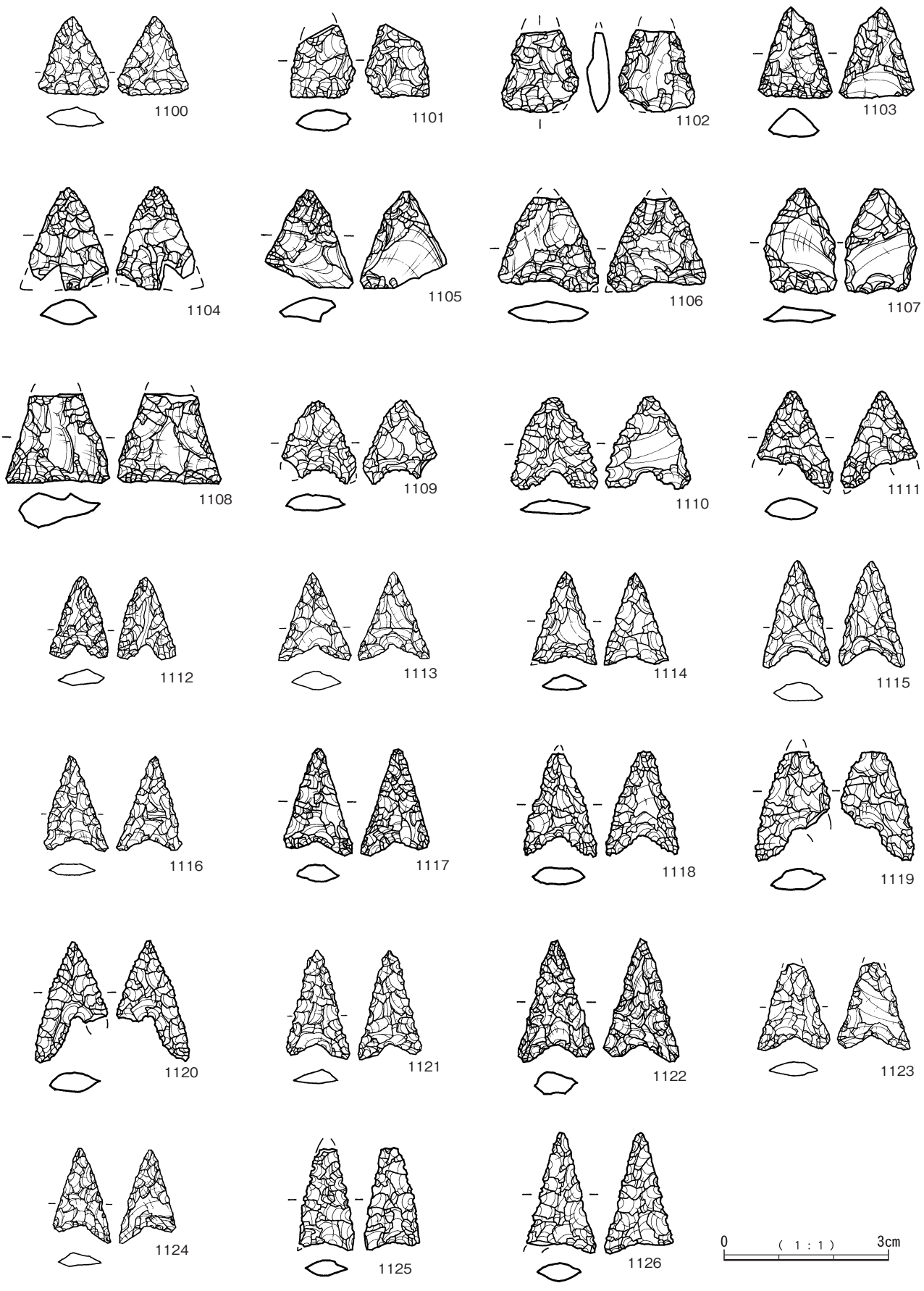
第98図　石器分布図（1）



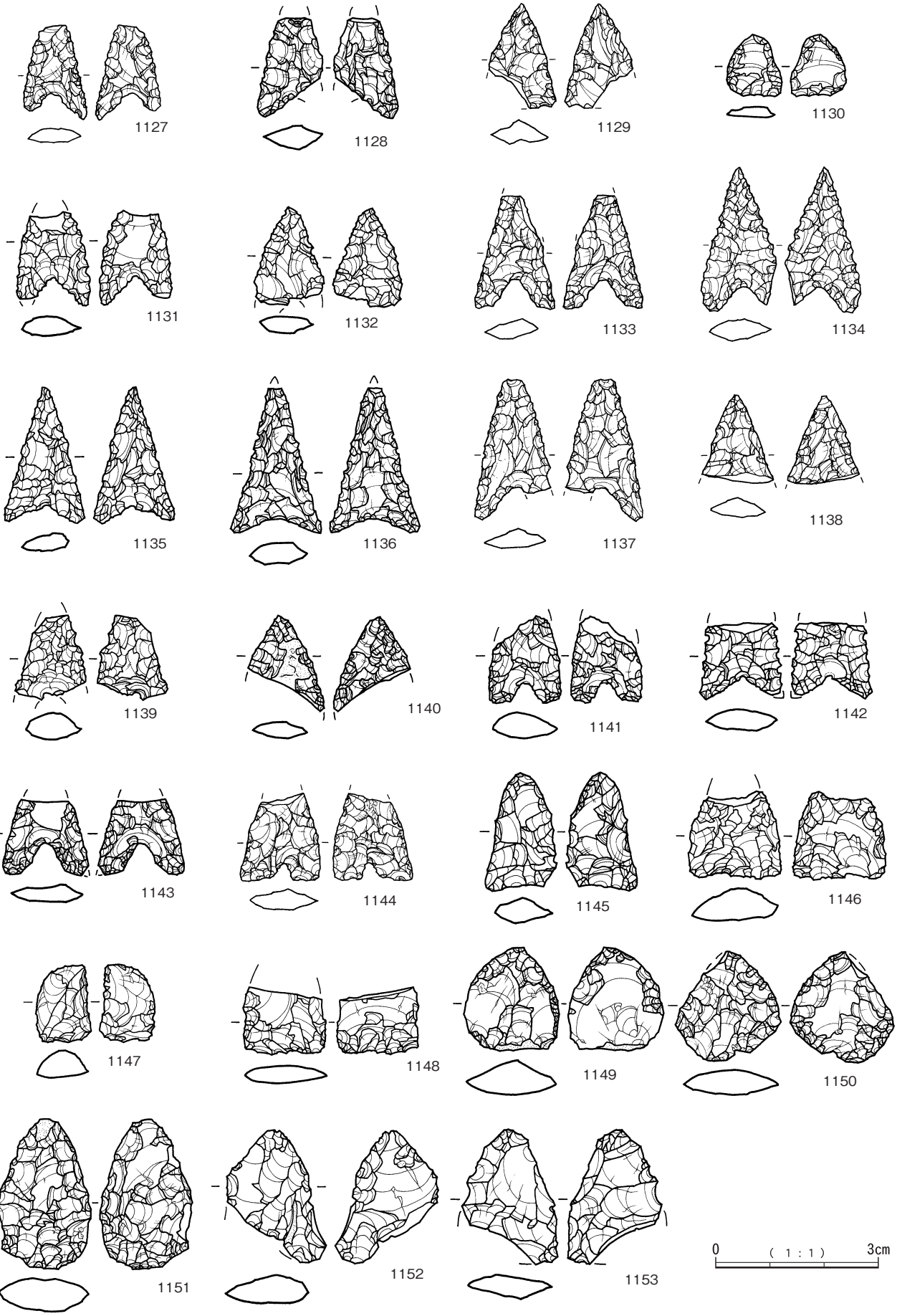
第99図　石器分布図（2）



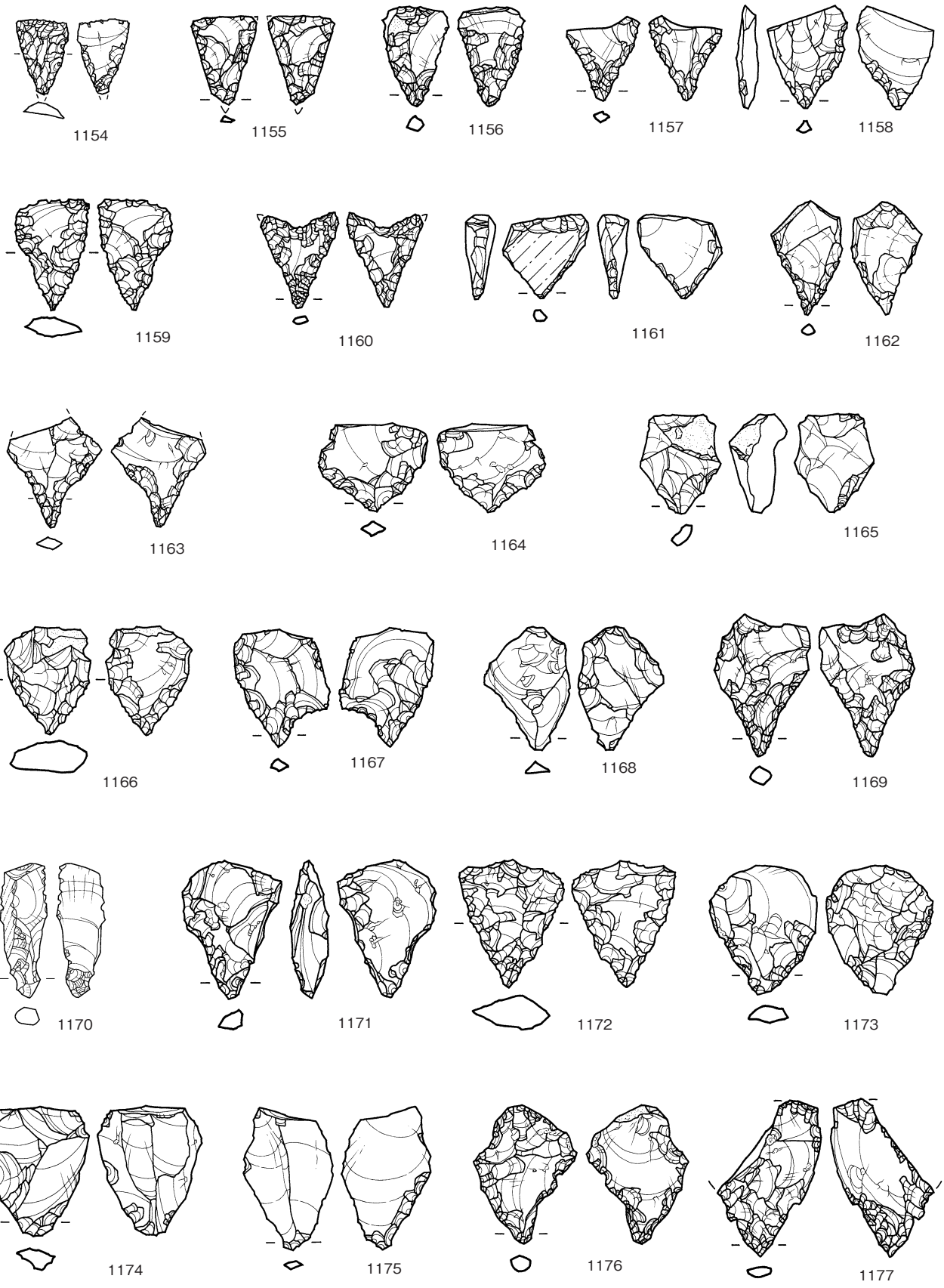
第100図　石器分布図（3）


1100
1101
1102
1103
1104
1105
1106
1107
1108
1109
1110
1111
1112
1113
1114
1115
1116
1117
1118
1119
1120
1121
1122
1123
1124
1125
1126
0
(1 : 1)
3cm

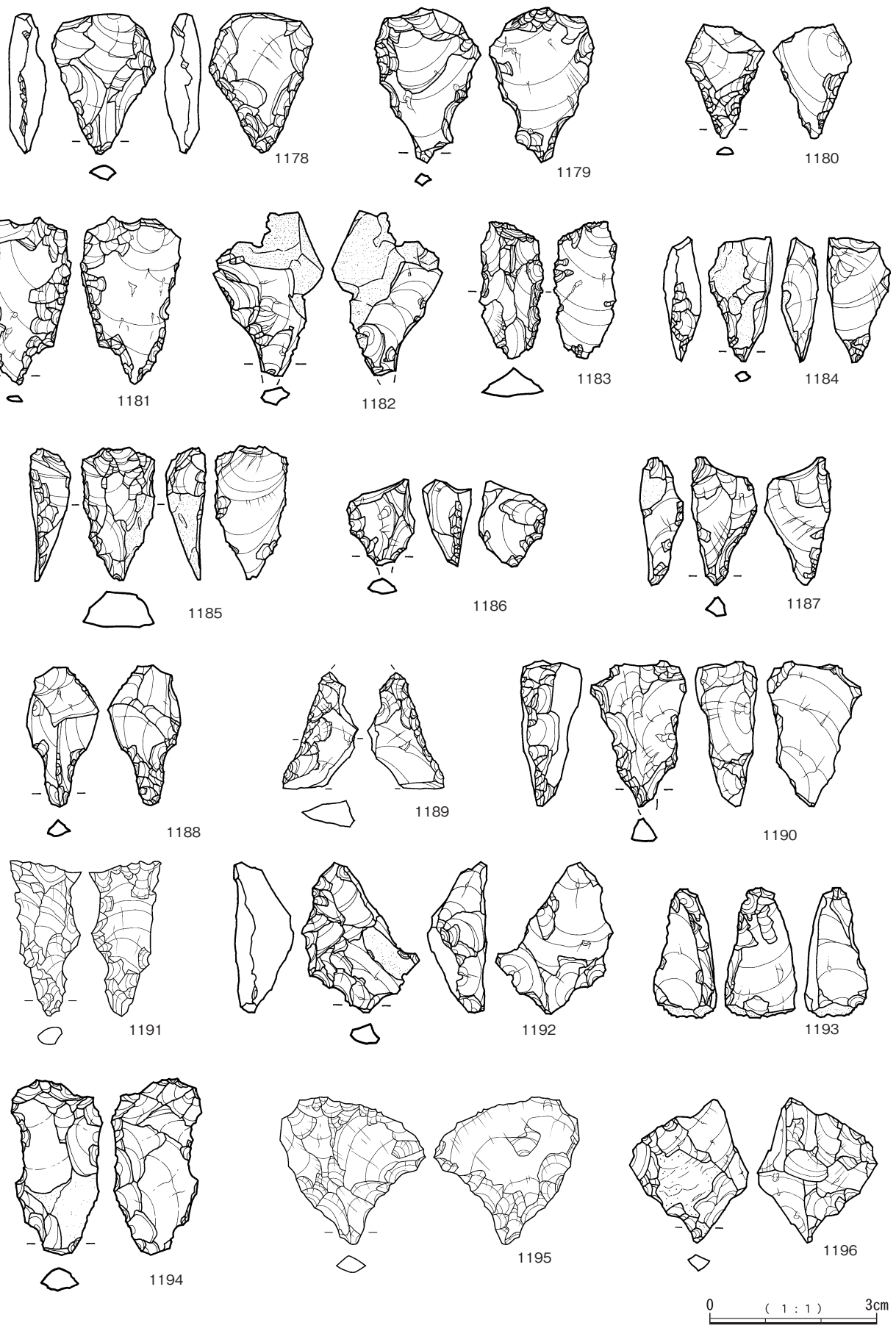
第101図　石鏃（1）


1127
1128
1129
1130
1131
1132
1133
1134
1135
1136
1137
1138
1139
1140
1141
1142
1143
1144
1145
1146
1147
1148
1149
1150
1151
1152
1153
0
(1 : 1)
3cm

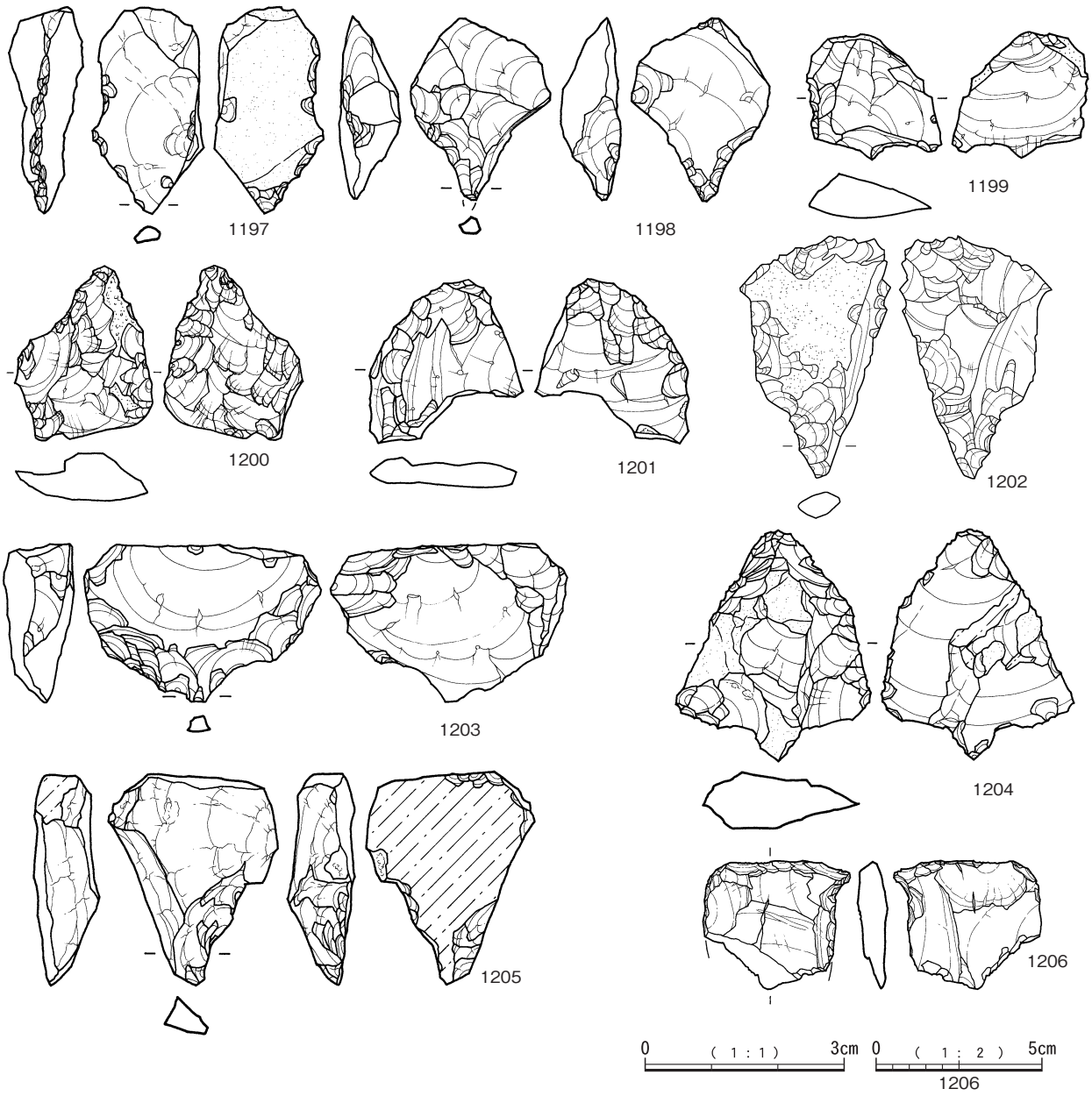
第102図　石鏃（2）


1154
1155
1156
1157
1158
1159
1160
1161
1162
1163
1164
1165
1166
1167
1168
1169
1170
1171
1172
1173
1174
1175
1176
1177
0
(1 : 1)
3cm

第103図　石錐（1）


1178
1179
1180
1181
1182
1183
1184
1185
1186
1187
1188
1189
1190
1191
1192
1193
1194
1195
1196
0
(1 : 1)
3cm

第104図　石錐（2）



第105図　石錐（3）

1200は黒灰色～褐色を呈し透明度の高いガラス質の黒曜石で白色の長石やわずかに雲母を含む良質な黒曜石で，熊本県人吉市桑ノ木津留産，伊佐市大口上青木産の黒曜石に類似するが，器面に被熱によるとみられる微細なヒビ割れで磨り硝子状を呈する。

1135・1136はやや長身の二等辺三角形鏃で，1135は漆黒色ガラス質の腰岳産に類似する黒曜石製，1136は風化面が明灰色を呈する良質な安山岩製で側辺が鋸歯状を呈する。

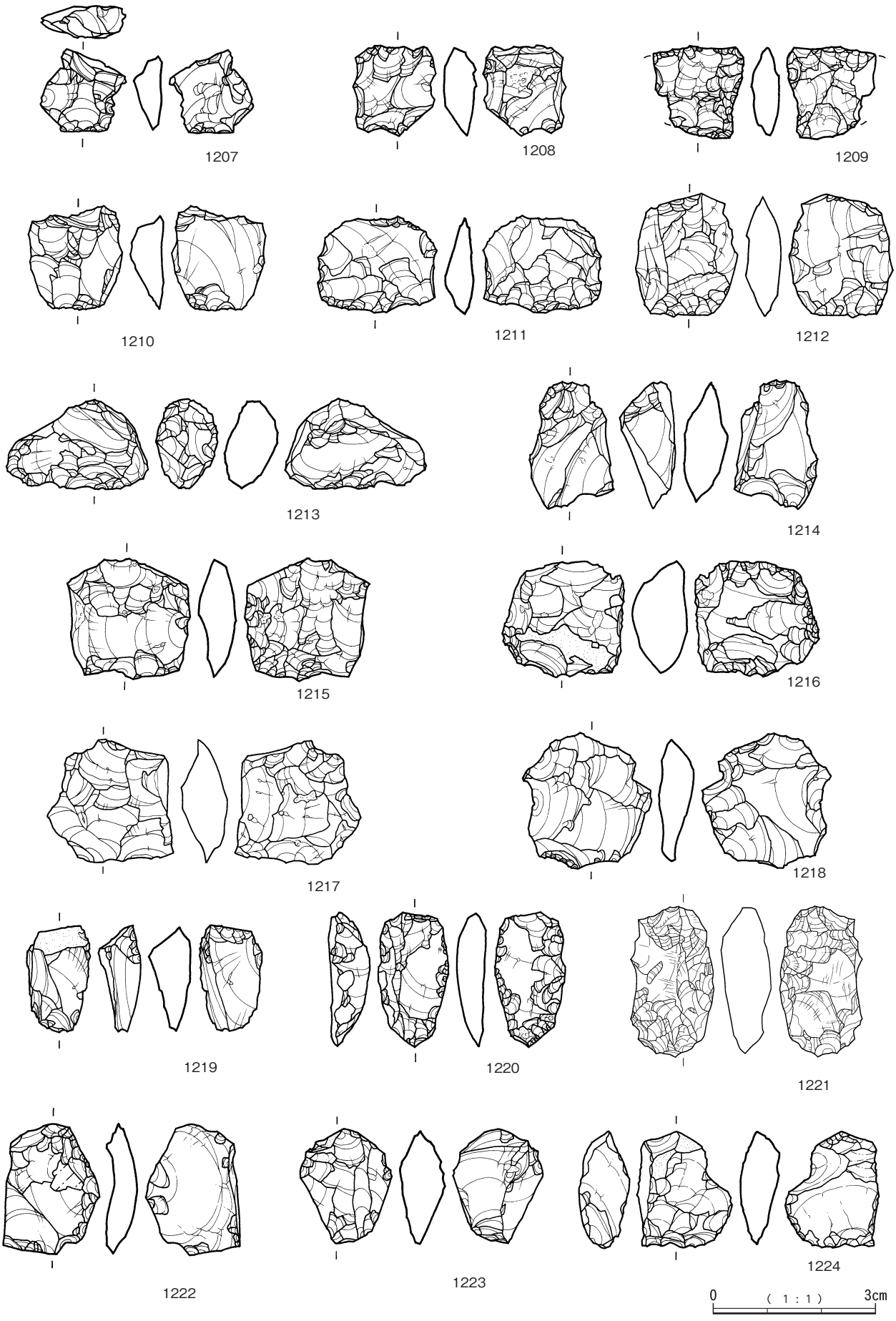
1109～1124・1127・1128・1131・1133・1134・1137・1141～1144は凹基の石鏃である。外形が三角形を呈するものから，やや長身で二等辺三角形を呈するものがあり，長さ1.5cm前後から3.0cm前後までサイズのバリエーションがあるが，2.0cm前後のものが主体を占める。

基部の抉りは，半円状ないし低い山形を呈するものが多いが，1120のように体部中央まで抉りが入り長脚となるもの，1141や1144のように基辺中央にU字状に抉りが入るものがある。

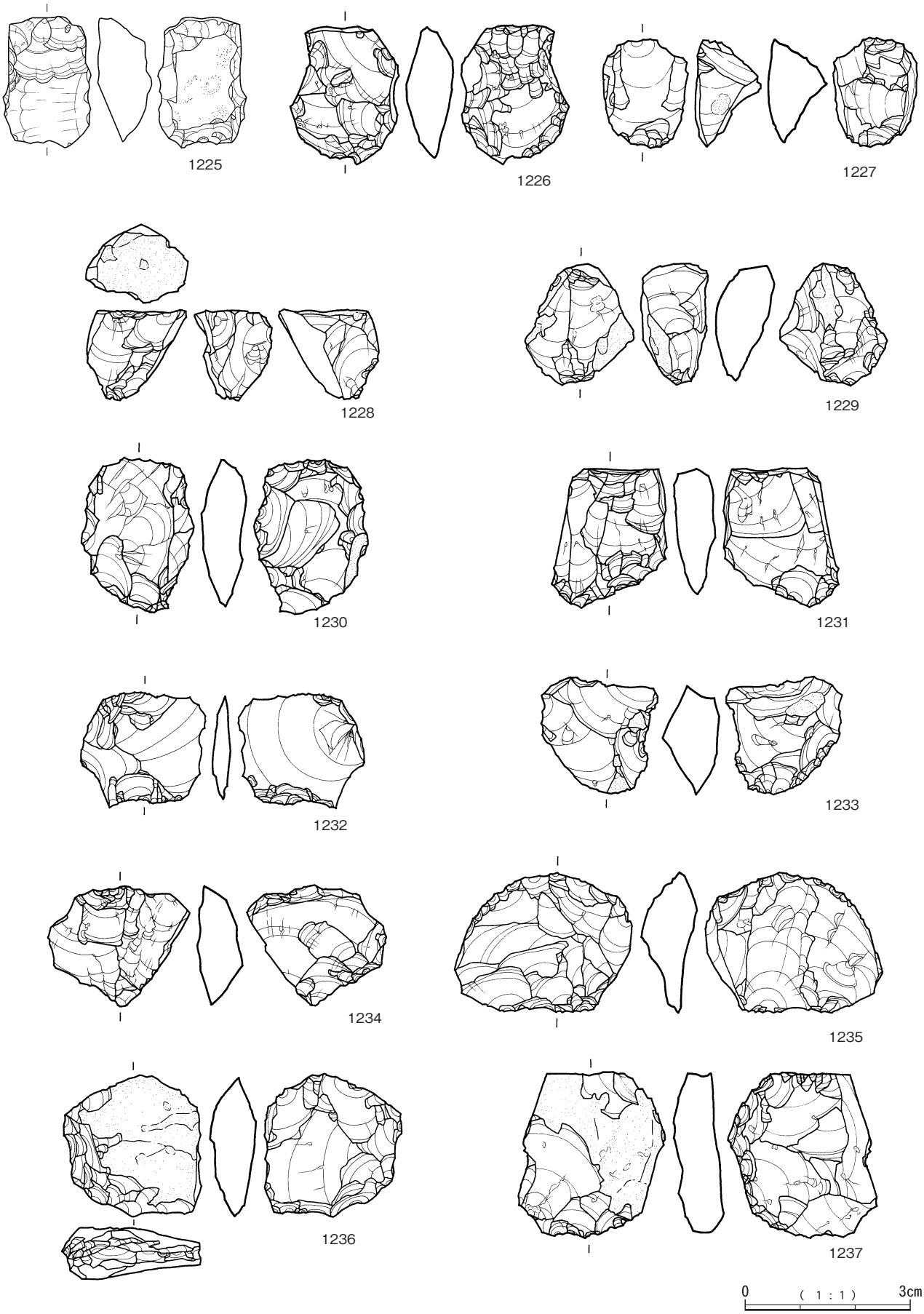
石材は，上牛鼻産，桑ノ木津留産，腰岳産に類似する黒曜石，良質な安山岩製のほか，灰黒色～灰色不透明な長崎県針尾及び東浜産黒曜石に類似するものが比較的多く用いられている。1123は墨色不透明な熊本県阿蘇周辺産に類似する黒曜石を用いている。

1129・1138・1140は欠損により，基部の形態等が不明な資料である。1129は針尾産に類似する黒曜石を用い，残存部から平基の可能性が高い。1140は上牛鼻産に類似する漆黒色不透明な黒曜石製である。

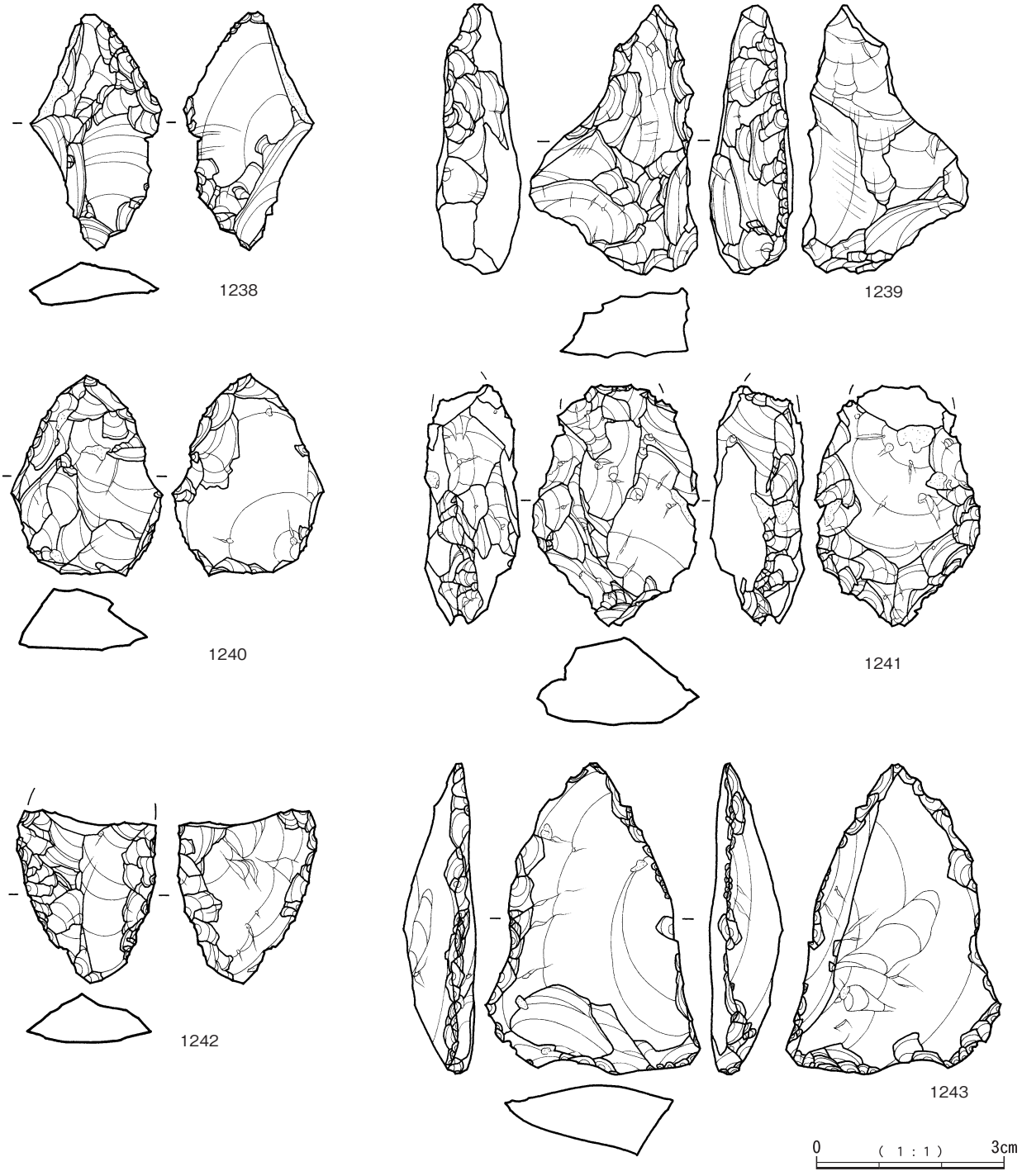
1105及び1148～1153は，石鏃未製品及びその製作に関わる可能性のある二次加工の剥片である。1105・1152が桑ノ木津留産，1132～1151が上牛鼻産に類似する黒曜


1207
1208
1209
1210
1211
1212
1213
1214
1215
1216
1217
1218
1219
1220
1221
1222
1223
1224
0
(1 : 1)
3cm

第106図　楔形石器（1）


1225
1226
1227
1228
1229
1230
1231
1232
1233
1234
1235
1236
1237
0
(1 : 1)
3cm

第107図　楔形石器（2）



第108図　尖頭状石器

石，1153が乳白色を呈する玉髄を素材とする。

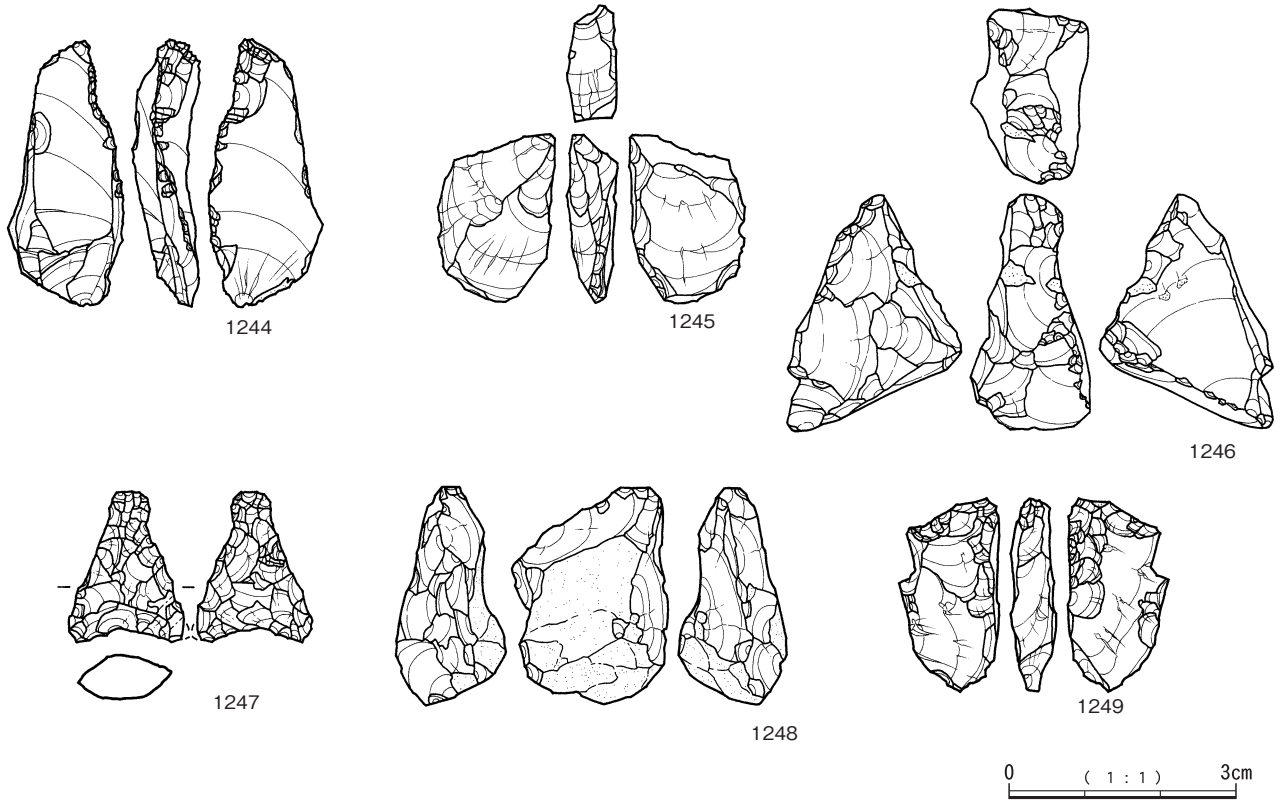
石錐（第103～105図　1154～1206）

剥片素材で錐部の作り出しが認められる石錐，端部が突起する石錐状の機能部をもつ二次加工剥片，使用痕のある剥片及びその製作，使用と関係する可能性のある石器類である。

1154～1156，1160・1166・1172は逆三角形状に整形された剥片の下端部に表裏，左右から調整を加え小さく突起する錐部が作り出されるもので，錐部の断面形は菱形状と三角形状のものがある。いずれも錐部を中心に微細な剥離がみられる。1154・1155・1172では機能部に折れが生じており，1155・1156・1166には錐部の摩耗が認められる。

石材は，1154・1155が桑ノ木津留産，1156が針尾産，1166・1172が上牛鼻産に類似する黒曜石である。1160は，回転穿孔の痕跡はなく刺突穿孔具若しくは石鏃の可能性もある。

1157～1159・1161・1163・1167・1169・1171・1173・1175～1181・1184～1187・1190・1191・1195・1198・



第109図　彫器・異形石器

1202・1205は，剥片の一端を三角形状に整形した後，先端部に小さく突起する錐部が作り出されるもので，両側辺に調整を加えたものと，機能部を除き一側辺のみに調整を加えたものがある。

錐部の断面形は菱形状と三角形状のものがある。いずれも機能部に微細な剥離や摩耗，折れ等がみられるが，1158・1161・1169・1176・1178・1190・1194・1198には先端部や錐部稜上に摩耗が認められ，回転穿孔具として使用された可能性が高い。

これに対し，1167・1173・1179・1185・1186・1202・1205は機能部の摩耗がみられず，先端部から剥離が生じていることから刺突穿孔具として用いられた可能性がある。また，1159は，突起部分に微細剥離，摩耗ともみられず，石鏃の未製品の可能性がある。石材は，桑ノ木津留，上牛鼻産に類似する黒曜石の他，乳白色，赤紅色を呈する玉髄などが用いられている。

1164・1203はやや幅広な剥片の下縁端部に小さく突起する錐部を作り出すが，錐部に摩耗はみられない。石材は上牛鼻産に類似する黒曜石である。

1188・1191は剥片の端部に左右の側辺から調整を加え舌状の錐部を作り出すものである。錐部には微細な剥離や摩耗が生じており回転穿孔具として用いられたとみられる。石材はいずれも上牛鼻産に類似する黒曜石である。

1170・1174は上記類型以外で，回転穿孔具と使用された可能性のある資料である。いずれも調整加工は，剥片の一端の小さく突出する機能部のみに限られるが，微細剥離や摩耗が認められる。1170は黒色で良質な腰岳産に類似する良質な黒曜石，1174は黒色を呈する良質な安山岩製である。

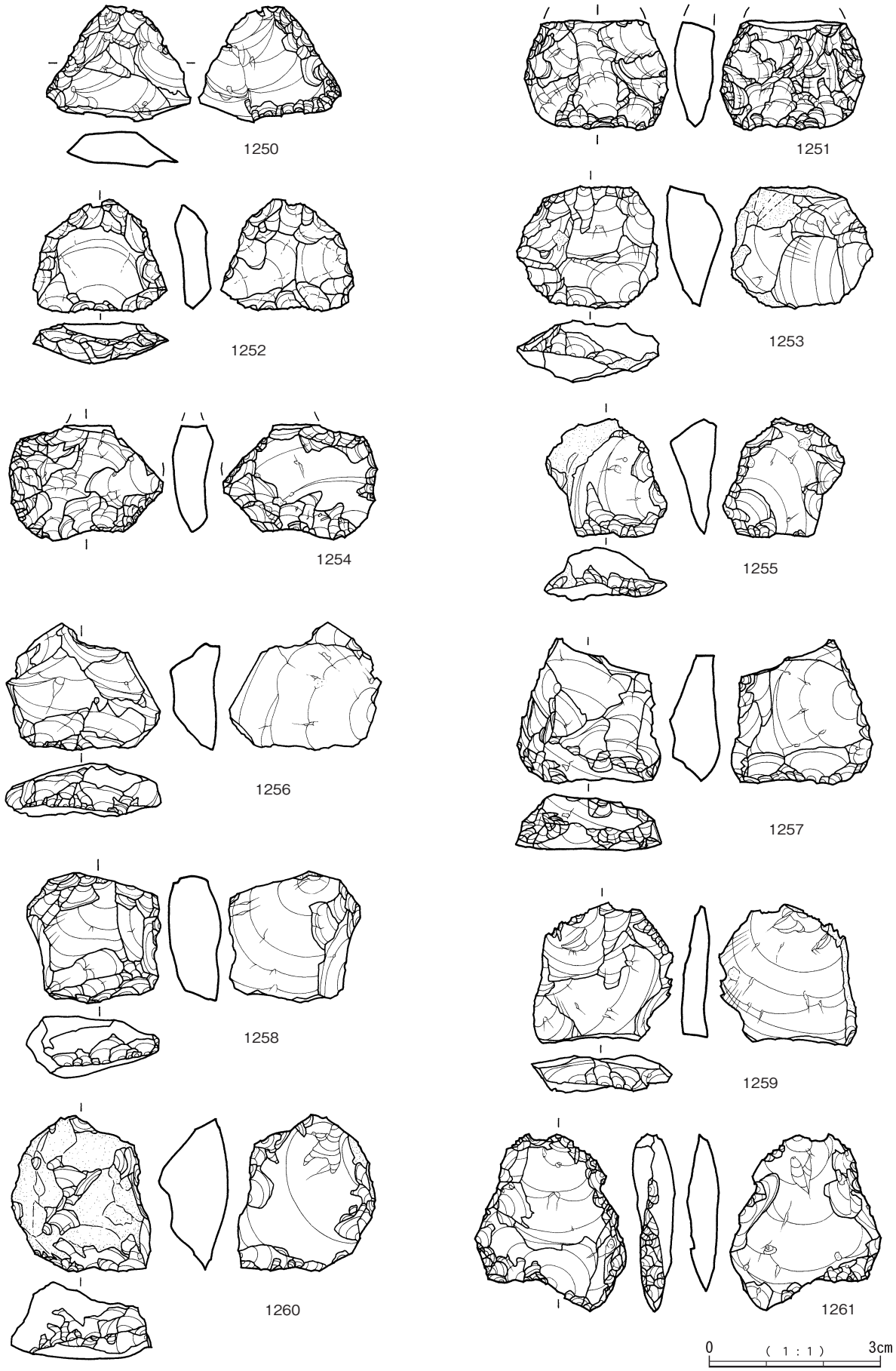
1165・1168・1182・1183・1192・1193・1196・1199・1200は，錐部の作り出しと見なしうる調整，加工が認められないが剥片の一端に突起する部分があり，先端方向から剥離や折れが見られるものである。分類上の石錐とは異なるが，素材形状を活かして使用された可能性はある。

楔形石器（第106・107図　1207～1237）

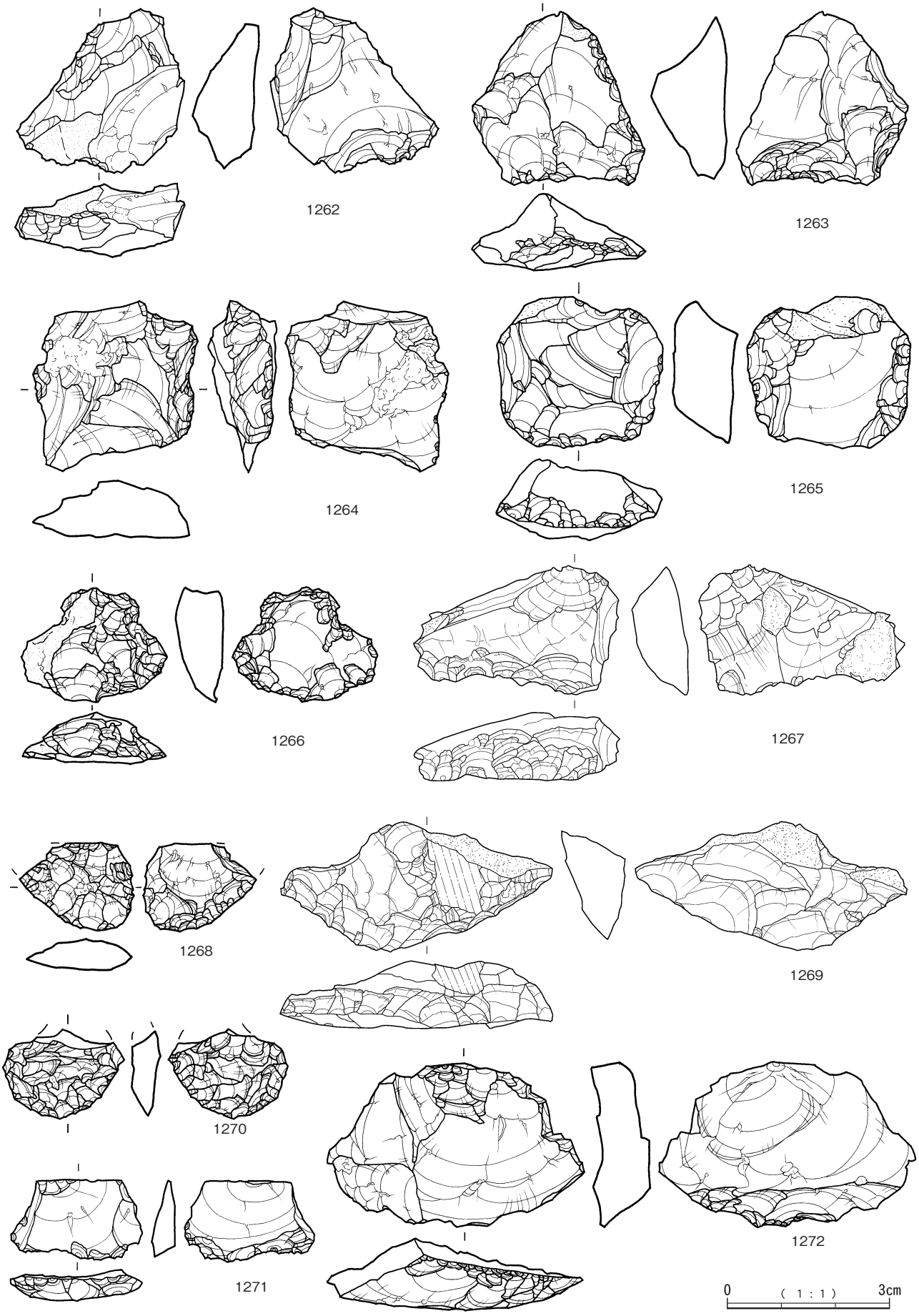
上下（左右）に対向する剥離がみられ，上，下辺につぶれや，階段状の剥離が生じているものを楔形石器とし，これと関連する可能性がある部分的痕跡がみられる資料と併せて報告した。

1207～1212，1214～1227，1230・1231・1233～1237は断面形が紡錘状を呈し，上下に対向する剥離がみられ，つぶれや階段状の剥離がみられることから楔形石器とした。このうち，1207は上辺，1214・1234は右辺及び下辺，1215・1220・1223～1225・1231・1237は左辺，1219・1230・1240は右辺に，1233は上辺及び右辺に使用に伴う可能性がある折れや剪断剥離が生じている。

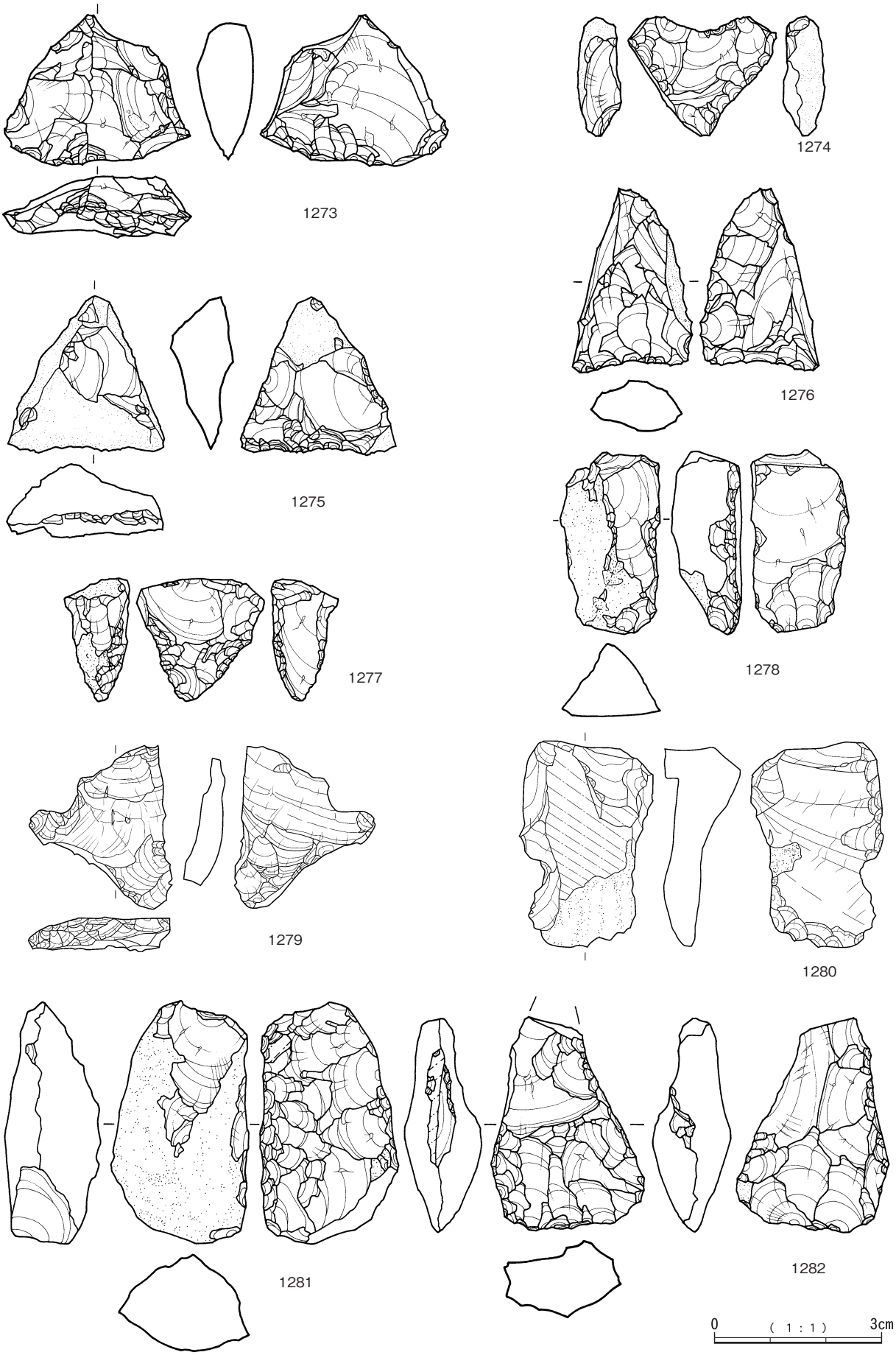
1213・1229は，部分的に階段状の剥離などが生じているが，形状からみて残核がスクレイパー等に転用されたものである可能性が高い。1228は残存形状から楔形石器と考えるのは困難で砕片の可能性が高い。また，1232は薄手の剥片で二次的な剥離は使用痕の可能性もある。



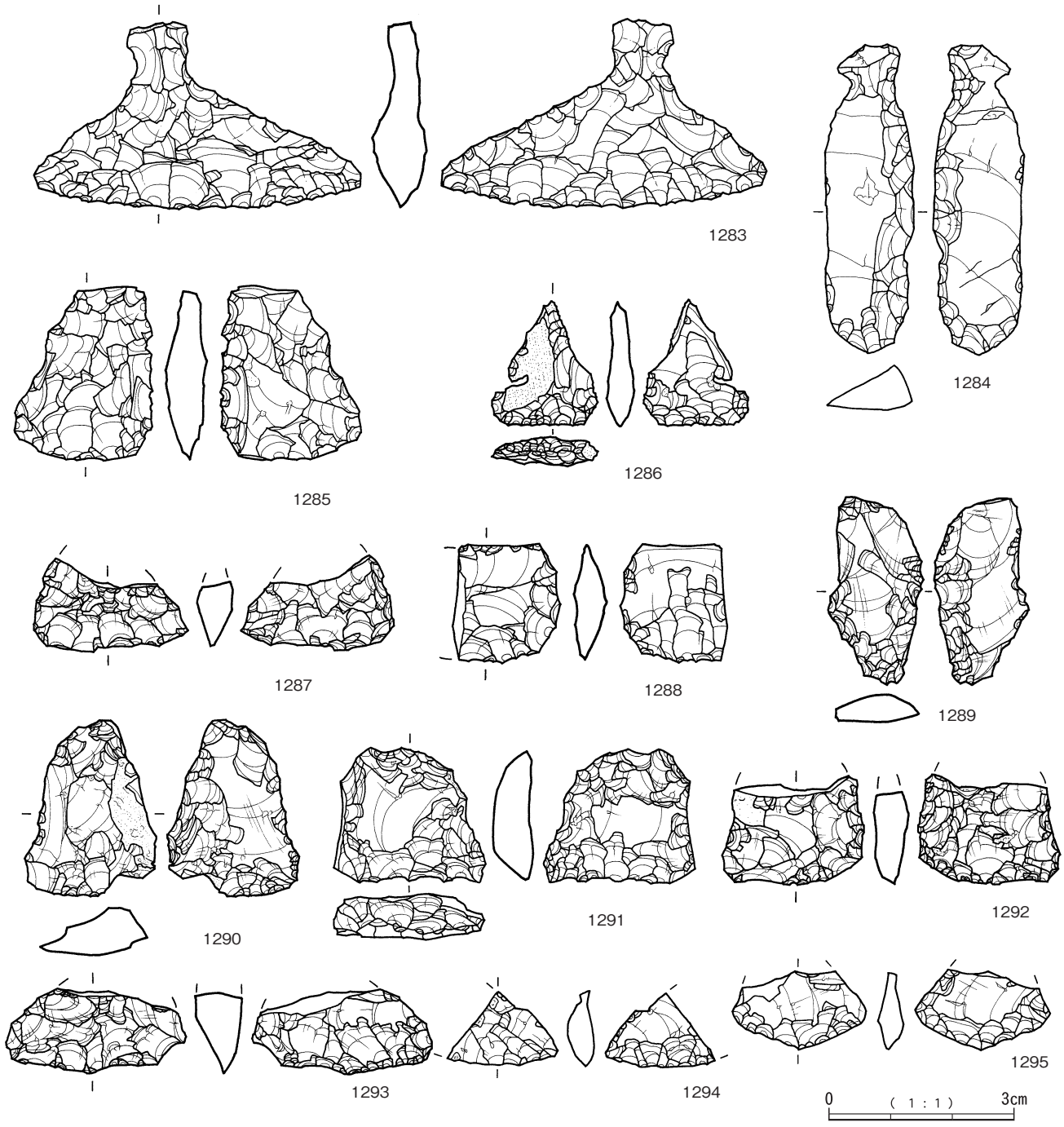
第110図　掻器・削器類（1）



第111図　掻器・削器類（2）



第112図　掻器・削器類（3）



第113図　石匙・二次加工・使用痕剥片

石材は，1217が透明度が高い黒色で，白色の長石が含まれる黒曜石で，鹿児島市三船産黒曜石に類似する。1218は針尾産，1232は腰岳産に類似する黒曜石，1222・1224・1227は乳白色を呈する玉髄製で，他はすべて上牛鼻産に類似する黒曜石である。

尖頭状石器（第108図　1238～1243）

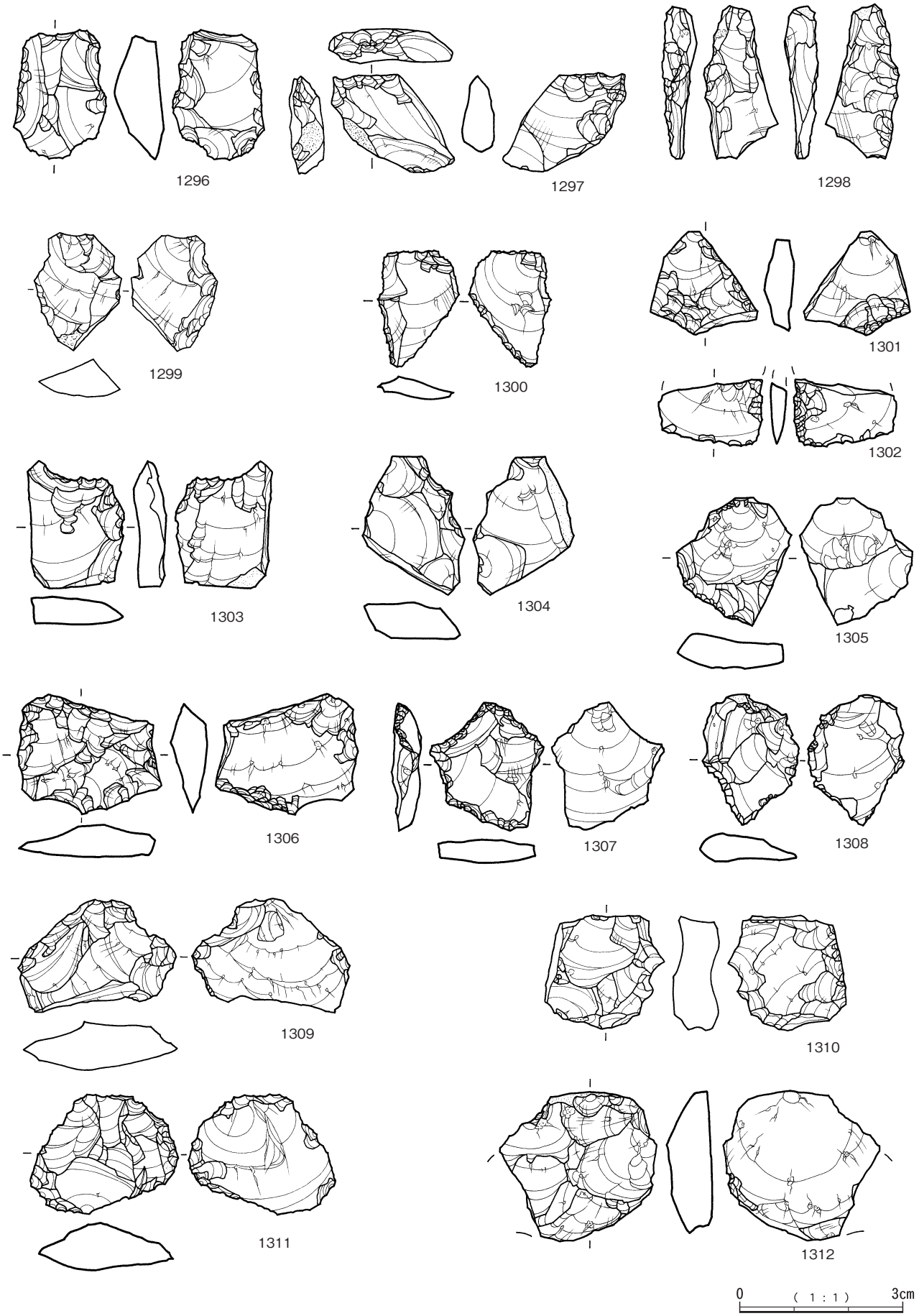
石鏃，石錐以外の二次加工が施され尖頭状を呈する石器で，必ずしも狭義の尖頭器に限定していない。

1238は，黒色ガラス質で白色の不純物をわずかに含む比較的良質な黒曜石製で，分割もしくは折れが生じたノの字形の剥片の先端部分で，右側辺下端部及び尖頭部の右側辺のみに認められる。尖頭部左側辺は二次的に被熱している可能性がある。

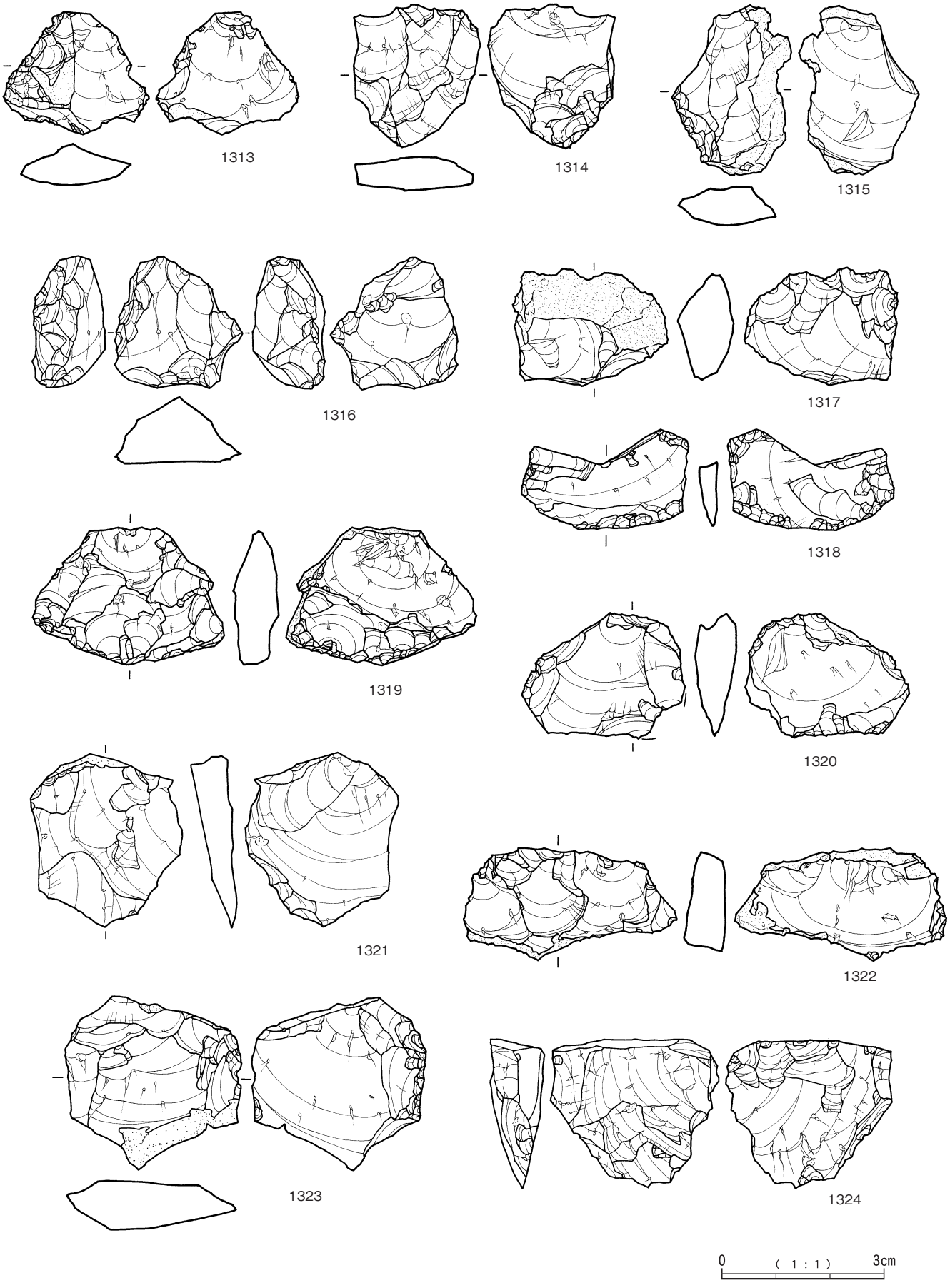
1239は上牛鼻産に類似する漆黒色不透明の黒曜石製のやや厚みのある剥片で，荒い剥離で調整され右側辺は鋸歯状を呈する。

1240はやや不純物を多く含む漆黒色不透明の黒曜石であるが，あまり風化が進んでいない。やや厚みのある剥片で，左側辺上部は腹面側から，右側辺上部は腹面及び背面側から荒い調整が加えられ尖頭状を呈する。

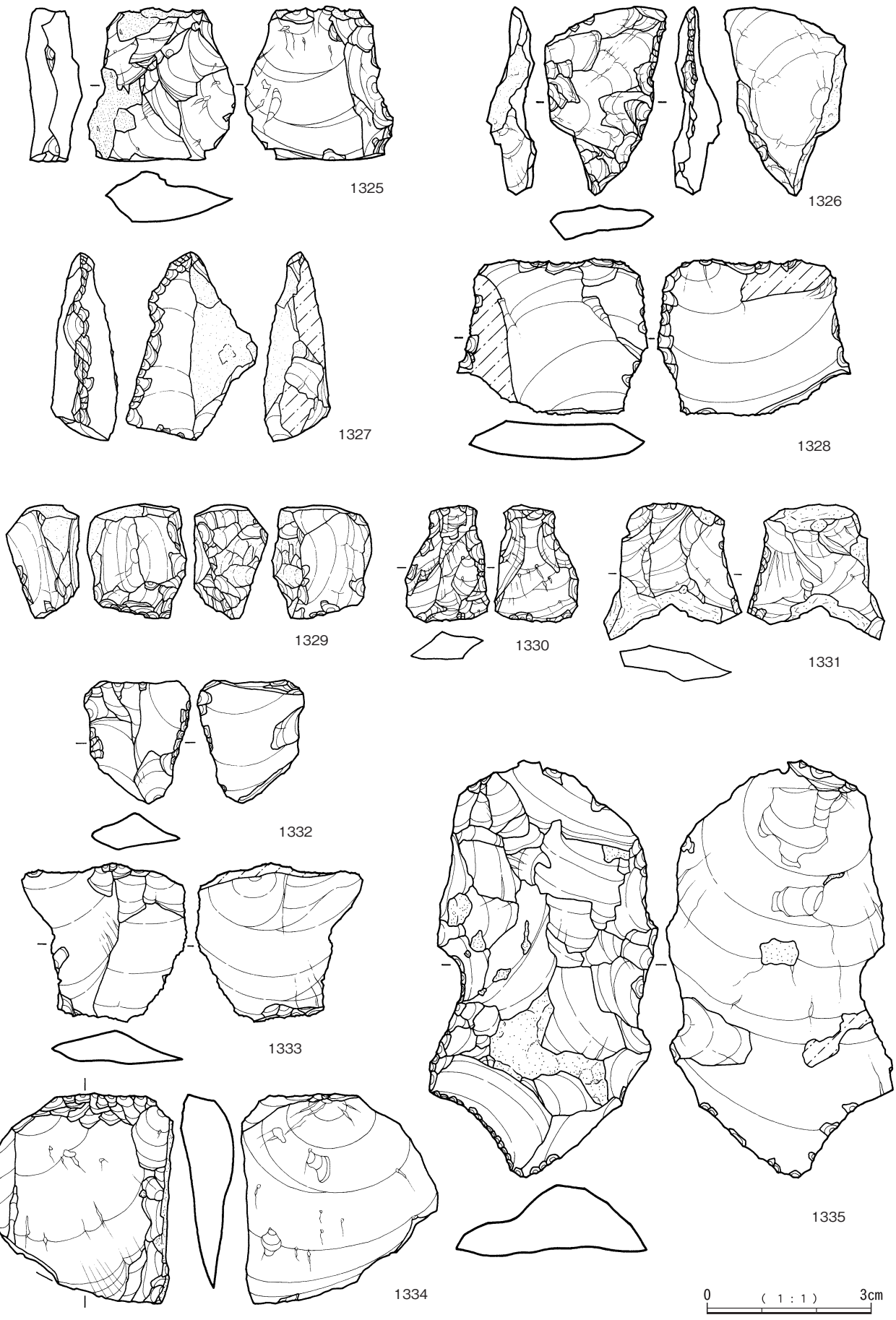
1241も上牛鼻産に類似する厚みのある黒曜石剥片で，



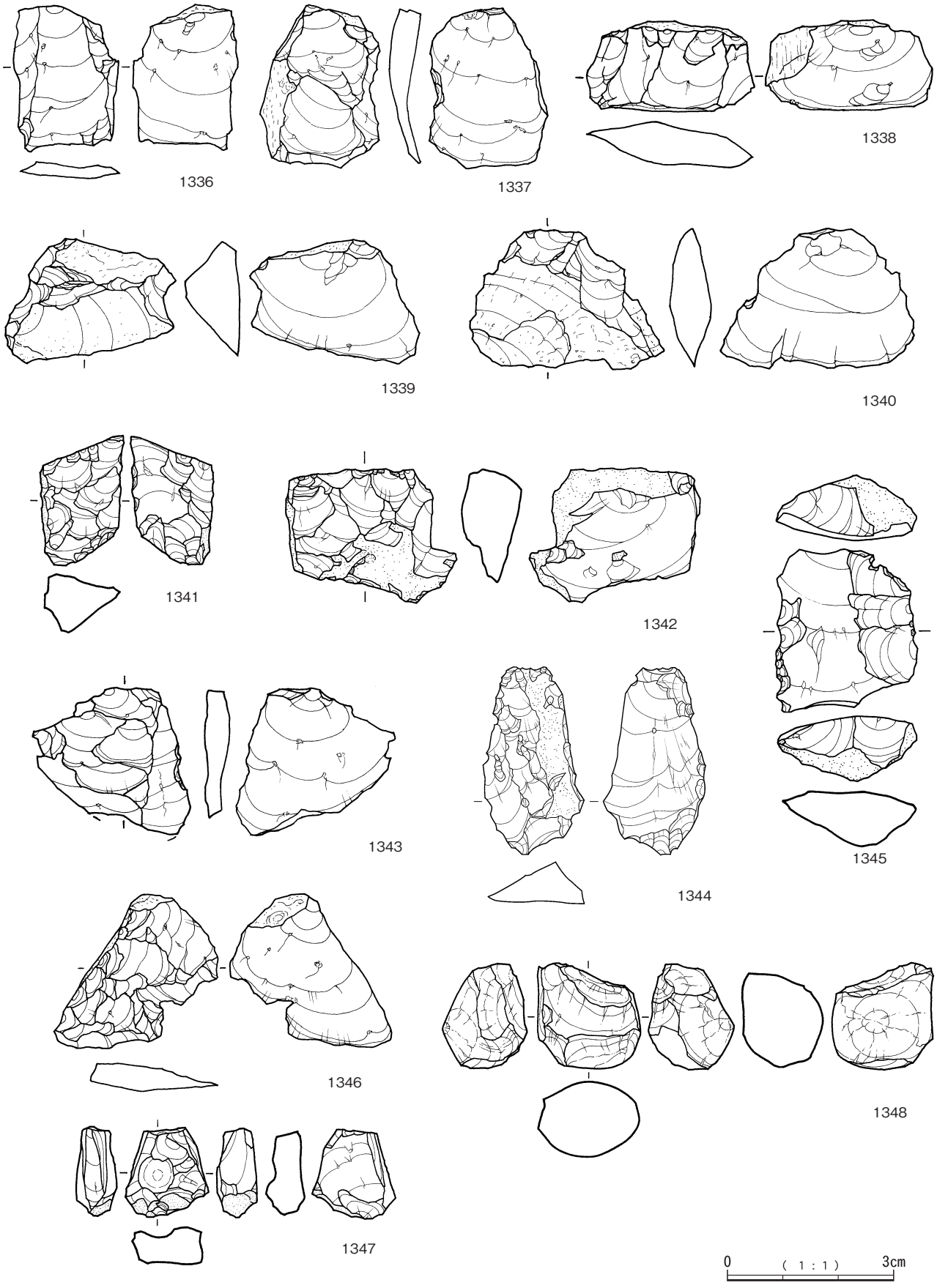
第114図　二次加工・使用痕剥片（1）



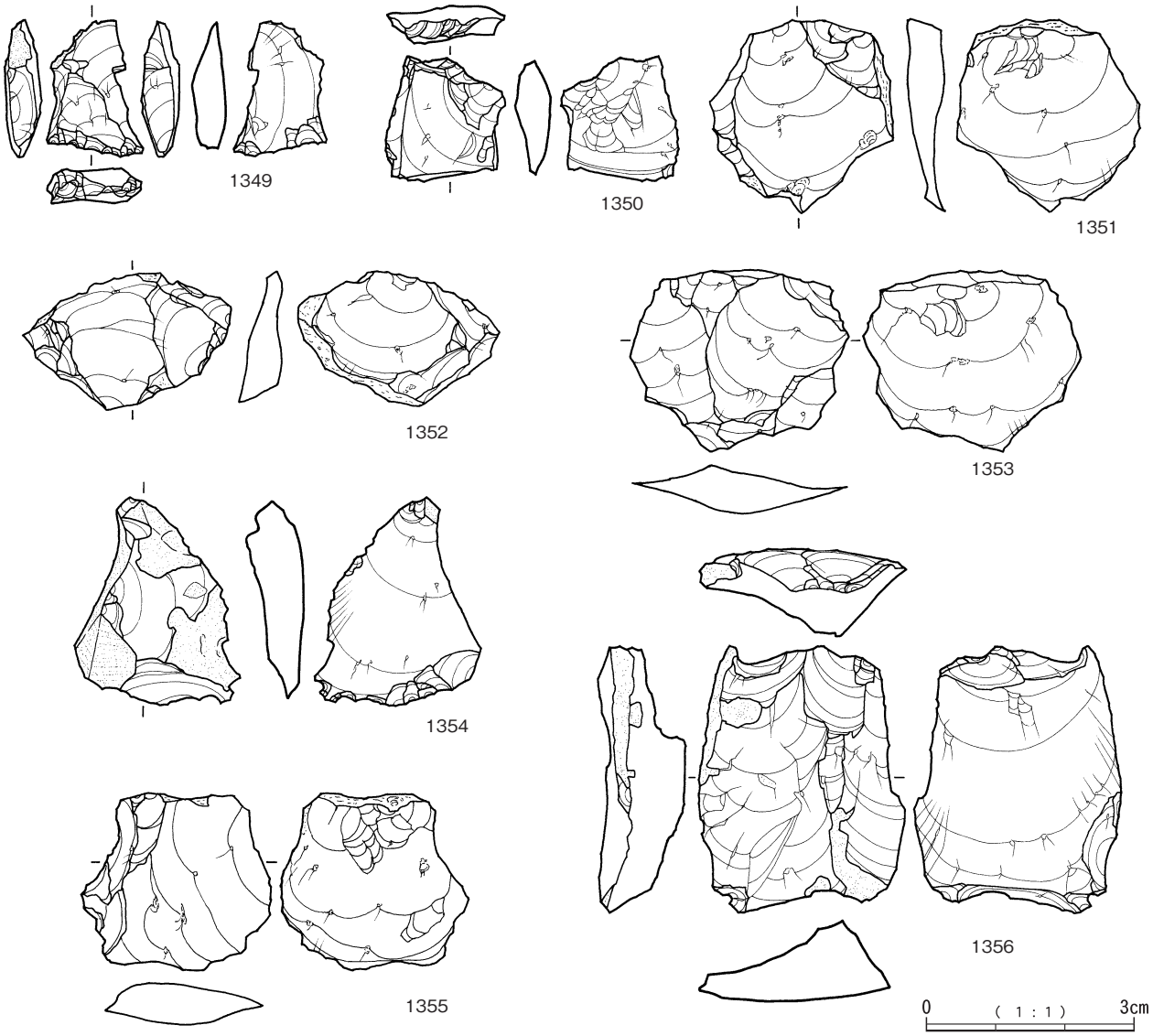
第115図　二次加工・使用痕剥片（2）



第116図　二次加工・使用痕剥片（3）



第117図　二次加工・使用痕剥片（4）



第118図　二次加工・使用痕剥片（５）

第７表　石核分類表

分類	素材	打面調整	打面転移	剥離
Ⅰ類	礫	なし	なし	一方向
Ⅱ－a類	礫	あり	なし	一方向
Ⅱ－b類	礫	あり	作業面へ	一方向
Ⅲ類	礫 （玉髄系）	あり	90度	多方向（回転）
Ⅳ類	剥片 （黒曜石・玉髄系）	あり	なし	一方向

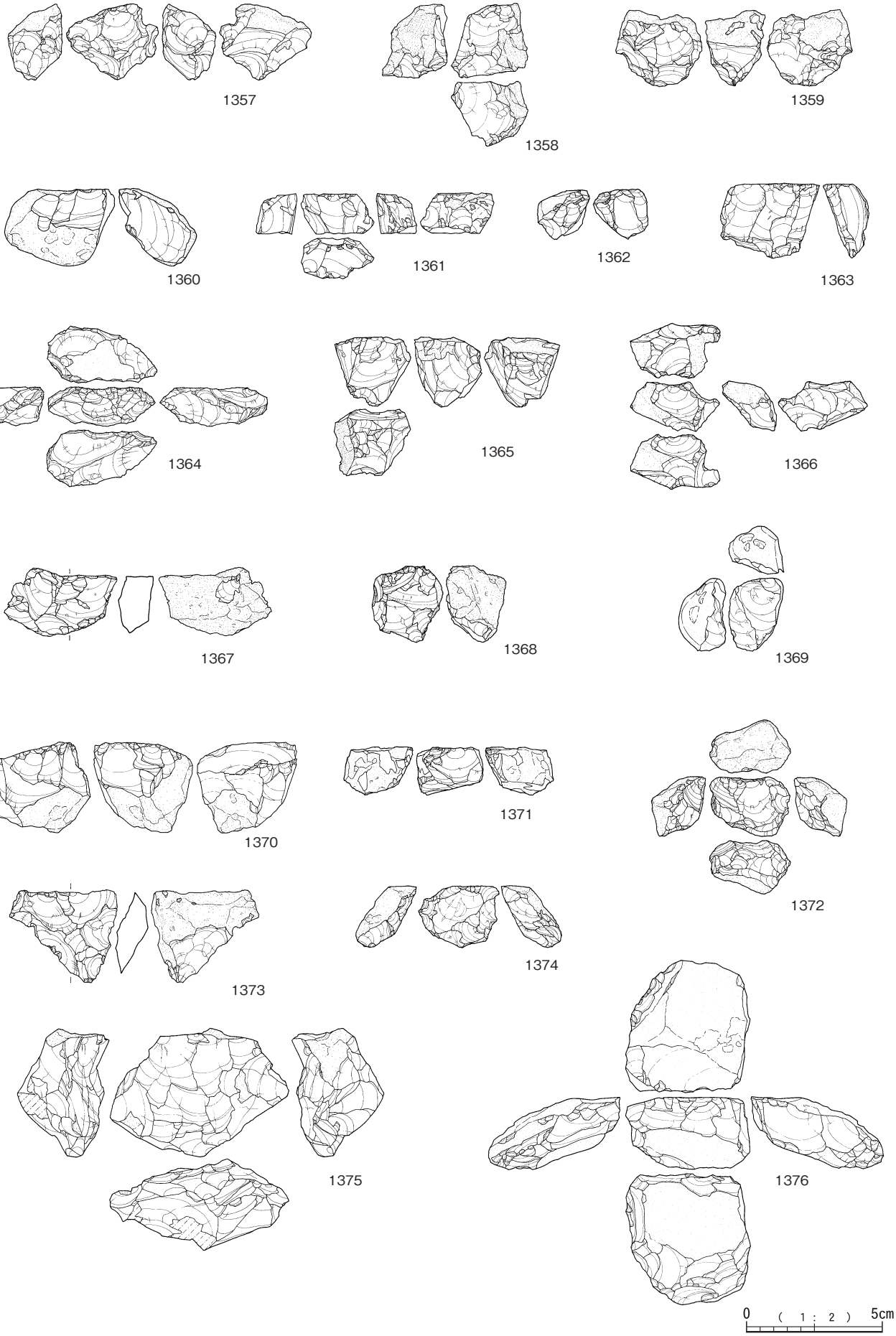
主に背面側からの調整で下端部が尖る形状となっている。端部には折れが生じている。1242は白色の不純物をわずかに含むが，比較的良質なガラス質黒色の黒曜石で，下端部を除き両側片に比較的丁寧な表裏面からの調整が加えられている。上半部を欠損するが小型の槍先形尖頭器の可能性がある。

1243は少量の白色の長石を含む比較的良質な黒色の安山岩で，各辺に不規則に平坦剥離が加えられ，上端が尖った形状を呈する。

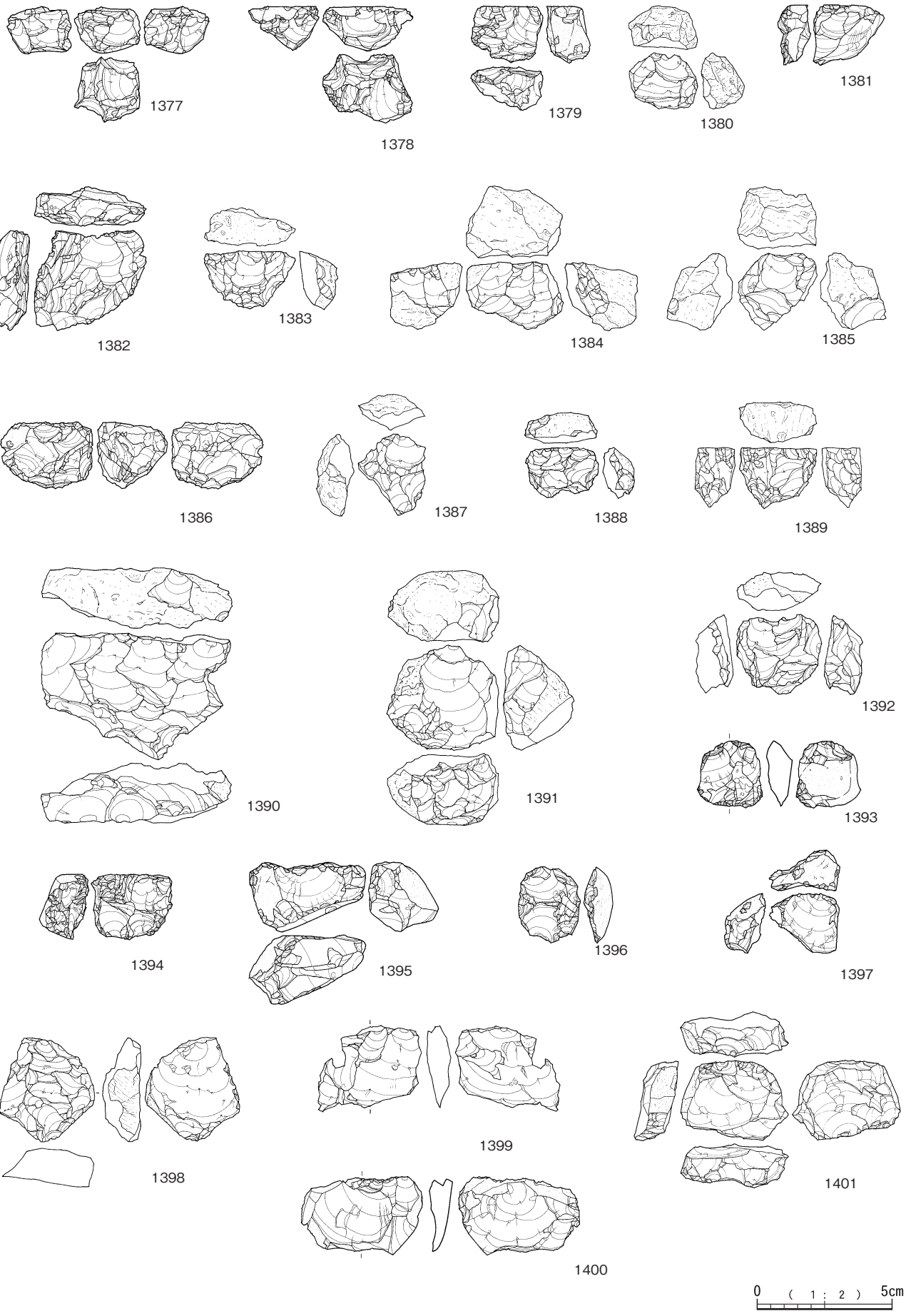
彫器・異形石器（第109図　1244～1249）

1244は灰黒色不透明な針尾産に類似する黒曜石の剥片で左側面部分は自然面を取り込む。右側縁上部に表裏からの調整が加えられたるほか，上端の自然面から短い樋状剥離が加えられている。

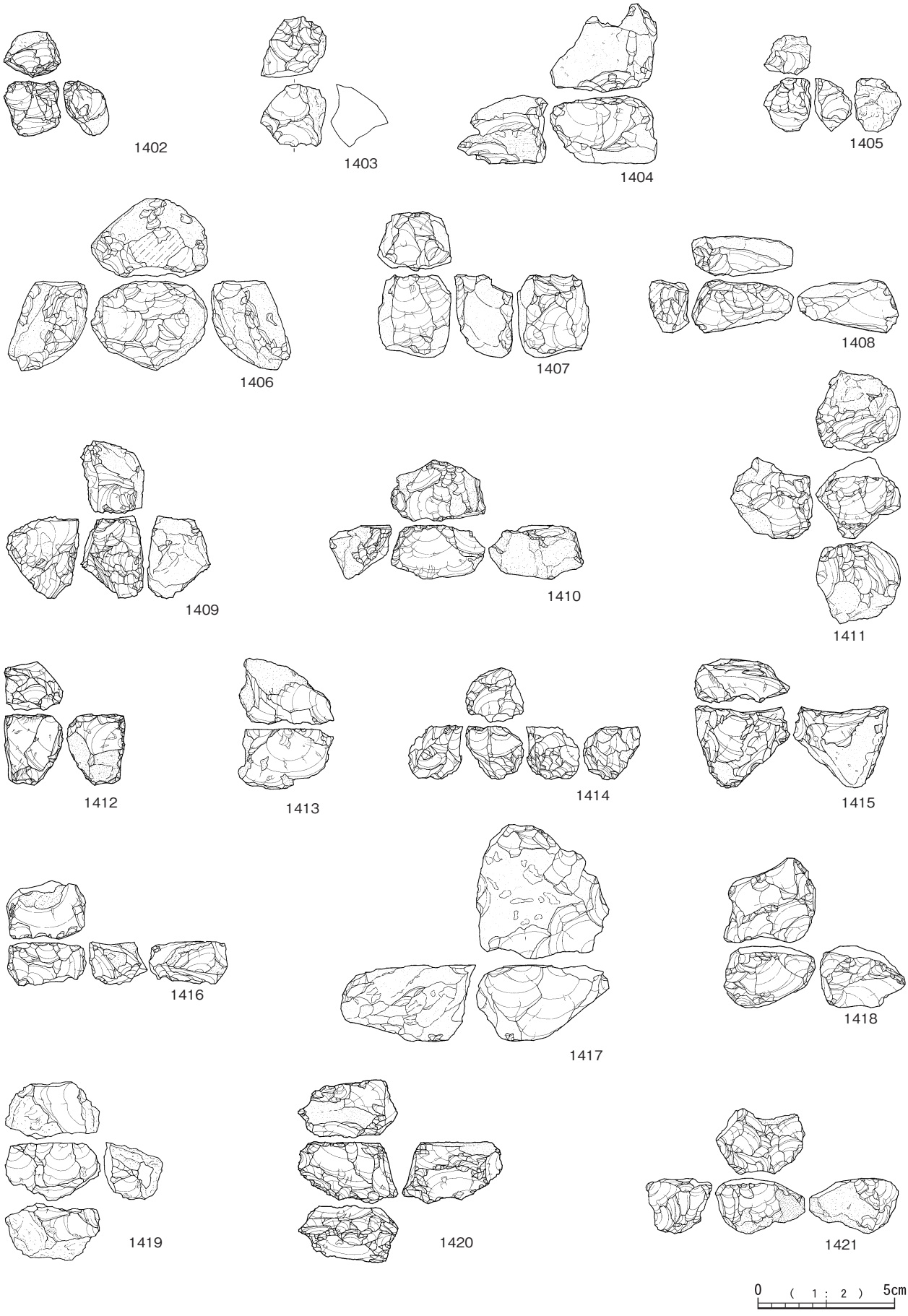
1245・1249は漆黒色不透明で不純物を含む上牛鼻産に類似する剥片である。1245は右辺上端を打点とする複数


1357
1358
1359
1360
1361
1362
1363
1364
1365
1366
1367
1368
1369
1370
1371
1372
1373
1374
1375
1376
0 (1 : 2) 5cm

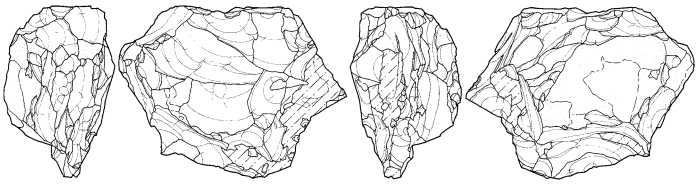
第119図　石核Ⅰ類（1）


1377
1378
1379
1380
1381
1382
1383
1384
1385
1386
1387
1388
1389
1390
1391
1392
1393
1394
1395
1396
1397
1398
1399
1400
1401
0 (1 : 2) 5cm

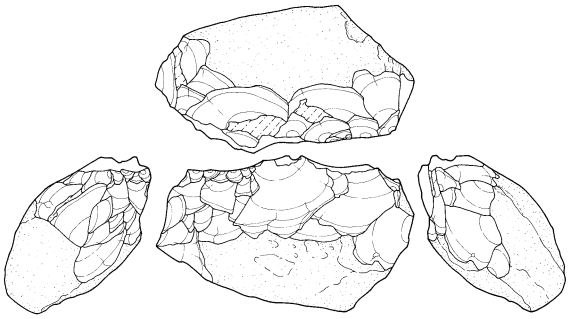
第120図　石核Ⅰ類（2）


1402
1403
1404
1405
1406
1407
1408
1409
1410
1411
1412
1413
1414
1415
1416
1417
1418
1419
1420
1421
0 (1 : 2) 5cm

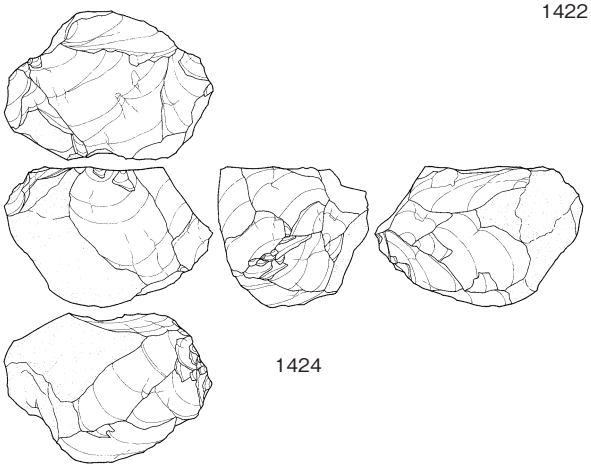
第121図　石核Ⅱ類（1）



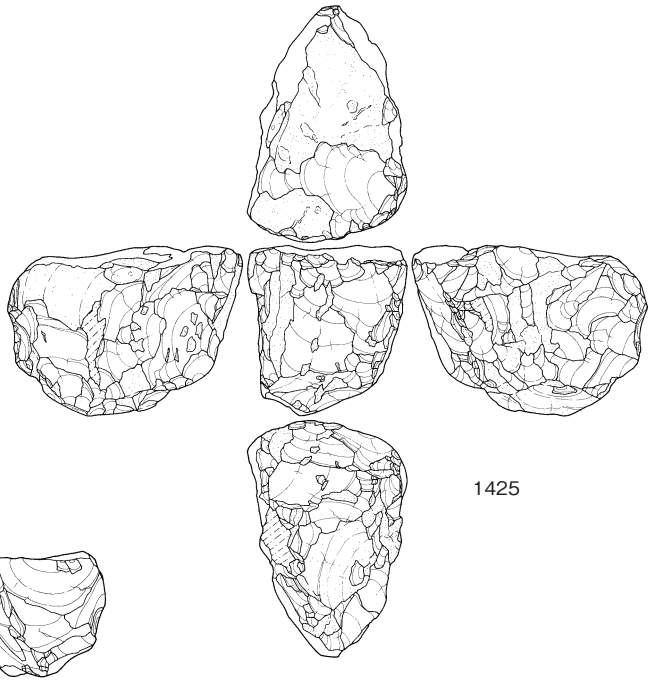
1422



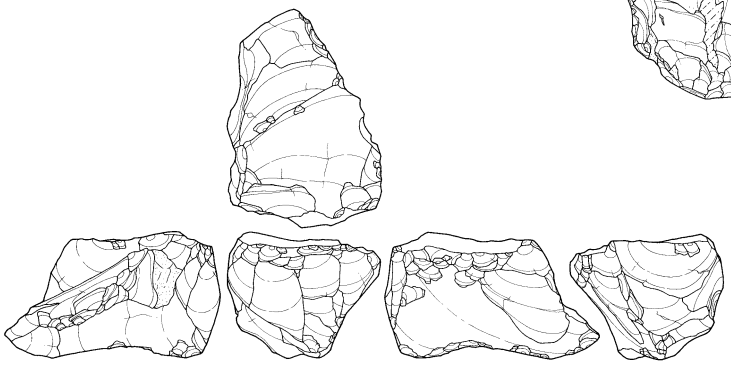
1423



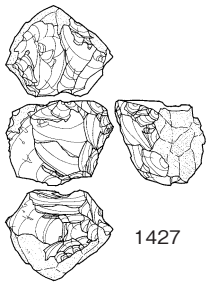
1424



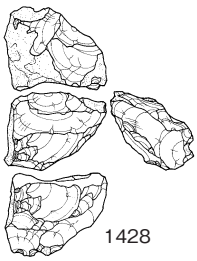
1425



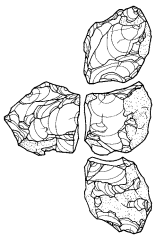
1426



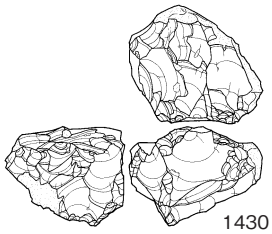
1427



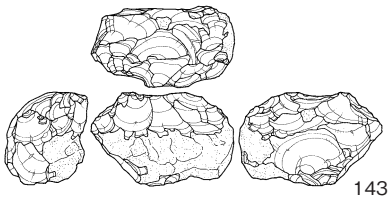
1428



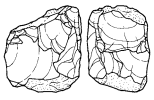
1429



1430



1431



1432

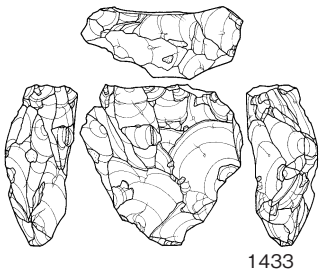
0 (1 : 2) 5cm

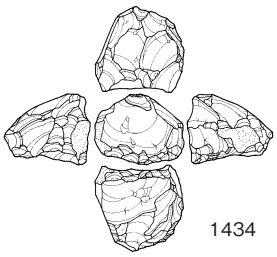
1423～1424，1426～1432

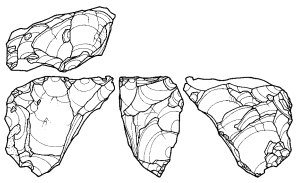
0 (1 : 3) 10cm

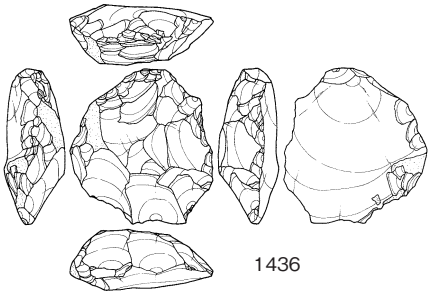
1422・1425

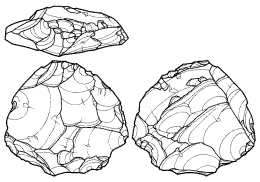
第122図　石核Ⅱ類（2）

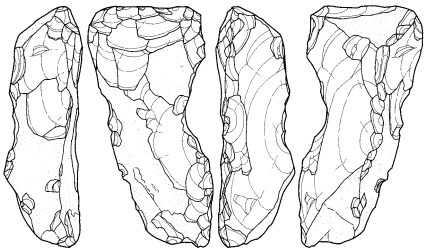

1433

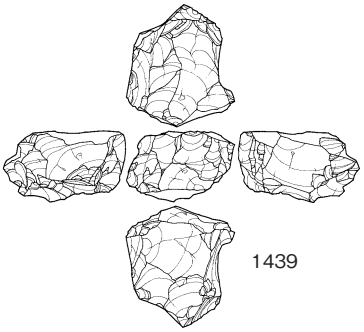

1434

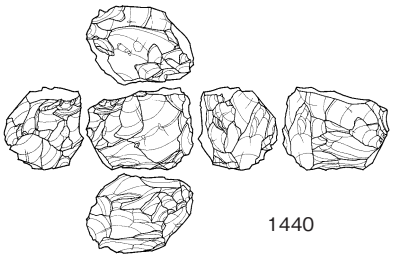

1435

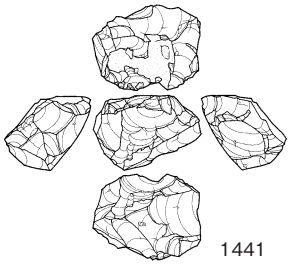

1436

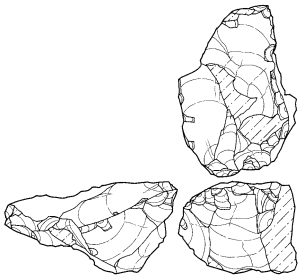

1437

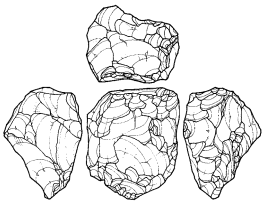

1438

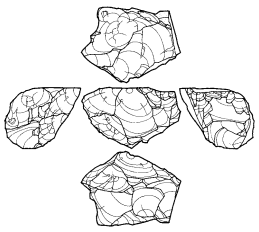

1439

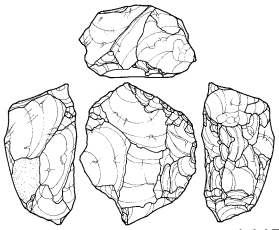

1440

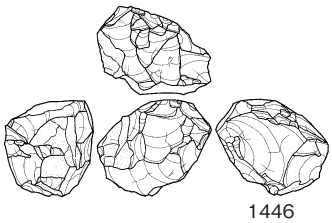

1441

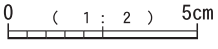

1442


1443

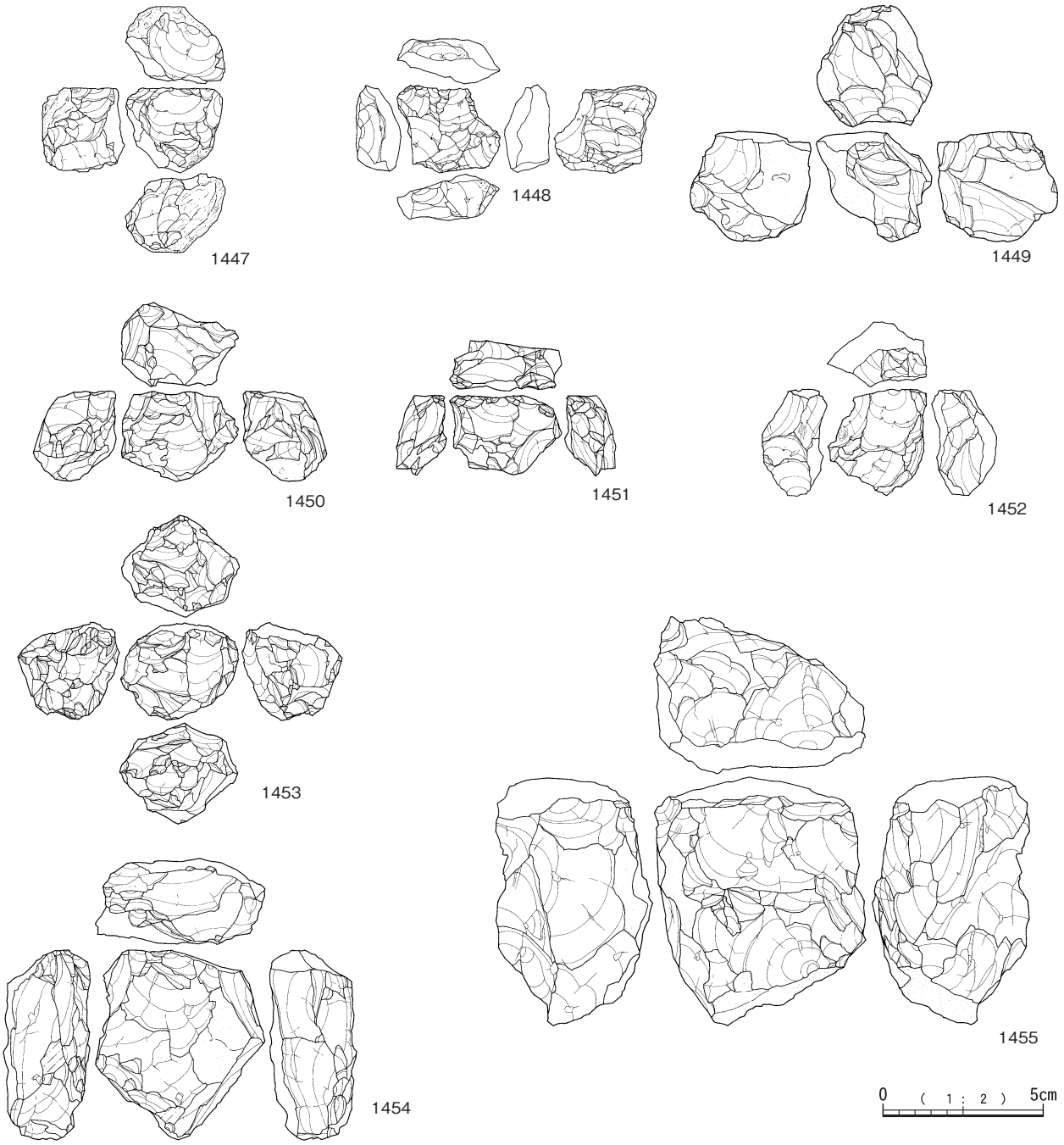

1444


1445


1446



第123図　石核Ⅲ類（1）



第124図　石核Ⅲ類（2）

方向の剥離がみられる。1249は右側面に分割面もしくは折れ面をもつ剥片で，上辺には部分的に表裏から調整が加えられているほか，右側辺裏面側に分割面から加えられた剥離が認められる。右側面上部には上端から加えられた階段状の剥離が認められる。

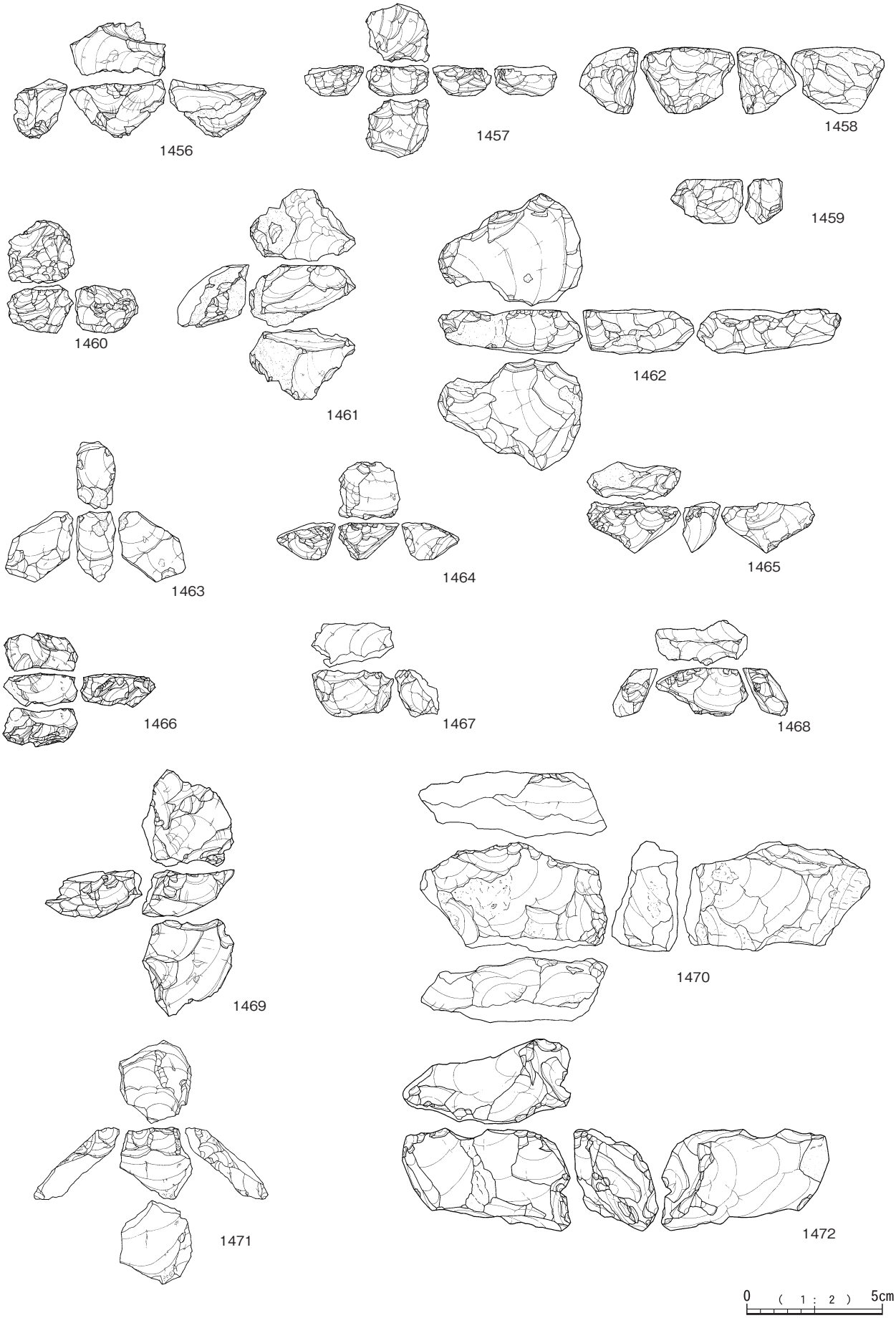
1248は乳白色を呈する玉髄製の剥片で明確な二次加工は認められないが，上辺には使用痕の可能性がある微細な剥離，右側辺上部には上端からの斜行する剥離が認められる。1246は乳白色にやや黄色みを帯びる玉髄製の厚みのある剥片で，右上側面上端部には上端からの剥離の他微細な剥離と摩耗が，左側面下端にも端部からの剥離と微細剥離が認められる。

1247は異形石器である。乳白色に部分的に紅色を帯びる玉髄製で，表裏面からの比較丁寧な調整で，浅い凹基の石鏃に似た形態であるが，上端は尖らずやや丸みを帯びた形状に仕上げられている。

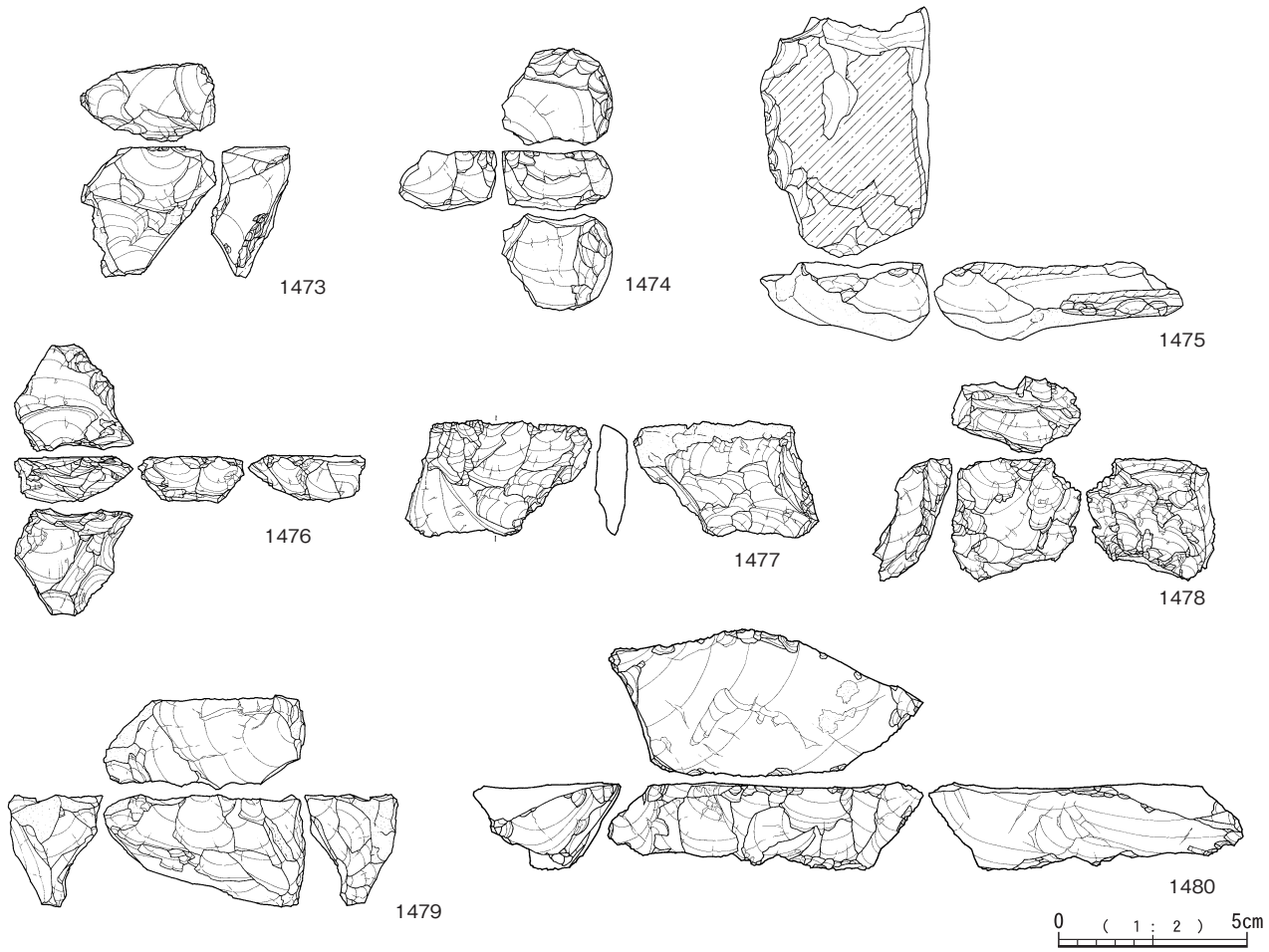
掻器・削器類（第110～112図　1250～1282）

急角度に調整された刃部をもつ掻器，鋭利な刃部が作り出された削器及びこれらに類似する加工，使用が認められる石器を掻器，削器類として報告した。

1250は左側辺及び下辺左部分，1251は下縁部，1252は下辺及び左右側辺，1254は下縁，左側縁及び右側縁下半に，いずれも表裏両面からの調整で鋭利な刃部を作り出


1456
1457
1458
1459
1460
1461
1462
1463
1464
1465
1466
1467
1468
1469
1470
1471
1472
0 (1 : 2) 5cm

第125図　石核Ⅳ類（1）



第126図　石核Ⅳ類（2）

す削器である。1252を除き比較的明瞭な使用によるとみられる微細剥離や刃部の摩耗が認められる。1268・1270も表裏からの調整で，鋭利な縁辺を呈するが，使用の痕跡は認められず石鏃未製品の可能性もある。

1253・1256・1258・1269・1272は図の下辺（縁）部分に片面調整で急角度の刃部が作り出された掻器で，刃部には微細剥離や摩耗が認めらる。1253は主に覆面側からの整形で略円形状を呈する。

1255・1260は下辺及び右側辺の一部に，1265・1282は下辺（縁）及び左側辺の一部に，1266は下縁右側部分に，1264・1278は右側辺に，1281は左右側辺の一部に急角度の刃部をもつ掻器である。

1261は下辺及び右辺の中央付近に，1279は上辺左端に，1280は左辺下部に半円状に小さく内湾する刃部をもつノッチドスクレイパーである。1279は下辺にも内湾する刃部を有する。

1262・1263・1267・1271・1273・1275は図下辺及びその一部に，1274は上辺及び右側辺に，1277は左側辺下部に内湾気味の刃部をもつ掻器である。1275・1277は石核からの転用された可能性がある。1276は二次加工剥片で，下辺部が内湾気味に調整されているが，使用の痕跡はなく石鏃等の未製品の可能性もある。

石材は1252・1280が乳白色を呈する玉髄，1255が三船産，1265が針尾産，1268が桑ノ木津留産に類似する黒曜石，1269・1276が白色の長石を僅かに混ずる灰黒色の安山岩で，他はすべて上牛鼻産に類似する漆黒色不透明の黒曜石である。

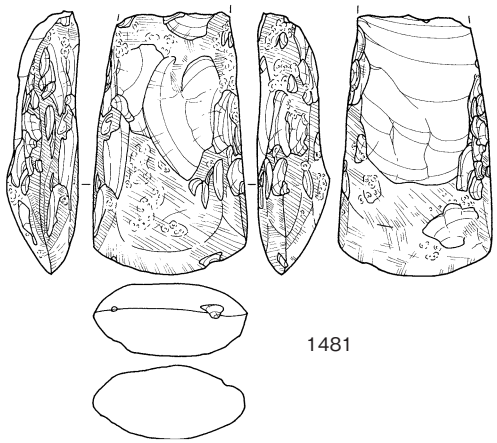
石匙（第113図　1283～1285）

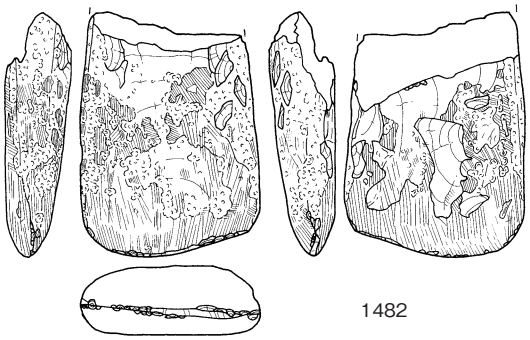
1283・1284はいずれも乳白色を呈す玉髄製の石匙である。1283は表裏全面に丁寧な整形を施し，下縁を刃部とする横型の石匙で上縁左寄りに表裏からの調整でつまみ部を作り出す。1284は縦長剥片を素材とし，素材剥片の末端部分につまみ部を作り出した縦型の石匙で，調整は右側片及び下縁のみに施し，表裏とも素材の剥離面が残置される。刃部は左辺下半から下縁で，微細剥離と摩耗が認められる。1285は上牛鼻産に類似する黒曜石製で，上端のつまみ部を欠損する石匙の可能性がある。

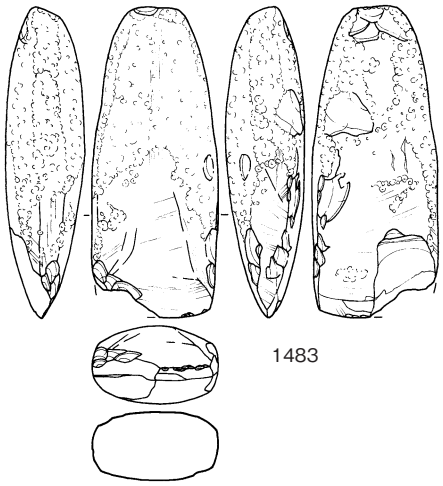
二次加工剥片・使用痕剥片（第113～118図　1286～1356）

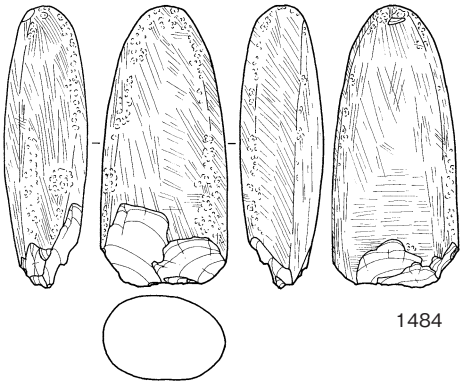
黒曜石など緻密な石材を用い，素材剥片に対する二次加工とみられる加工痕のある剥片及び使用痕が認められる剥片等である。

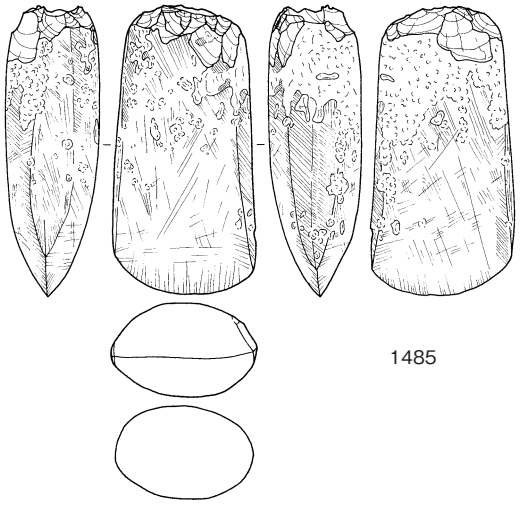
1286～1299，1301・1303・1304・1309・1310・1313・1315～1319，1324・1325・1330・1333・1345・1356は二

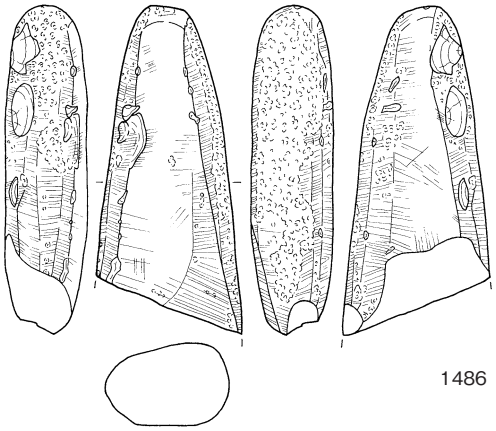


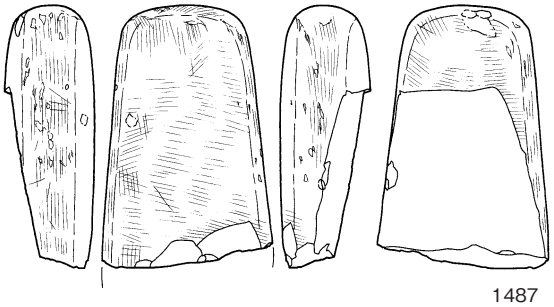


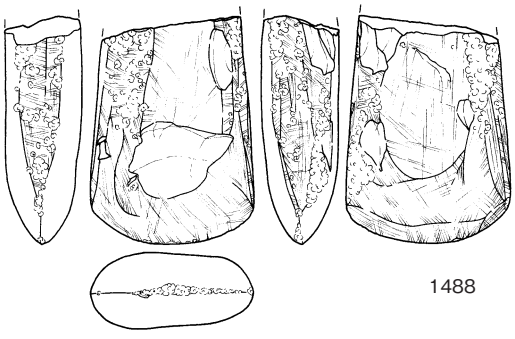


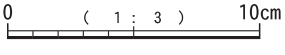




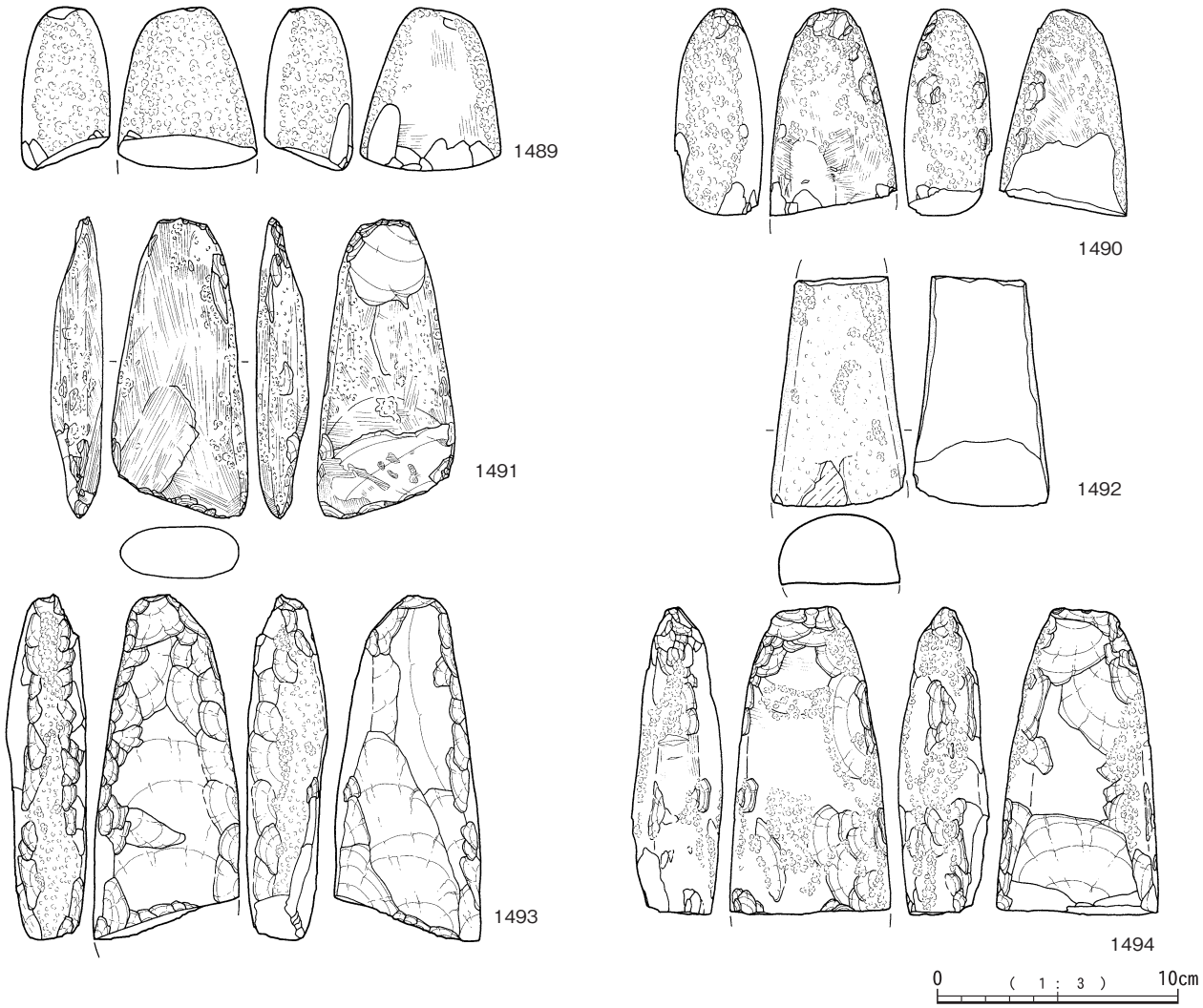








第127図　磨製石斧（1）



第128図　磨製石斧（2）

次加工のある剥片である。

このうち，1286は図下辺，1292は右辺及び下辺，1297は上辺，1301は下辺左部分を，それぞれ刃部とする削器に，1310は図左辺，1311は左辺下部及び右辺の一部，1316は左辺の一部を刃部とする掻器に類する使用の可能性がある。また，1294・1295・1318は押圧剥離による二次調整とみられ，石鏃未成品の可能性が高く，1287，1293は使用の痕跡が認められず，石鏃もしくは削器等の未製品の可能性がある。

1302・1306～1309，1312・1313・1314・1320～1323，1326～1329，1331・1332・1335・1334・1338・1339・1344・1349・1350・1352・1354は剥片の一部に使用によるとみられる小剥離や微細剥離，刃部の摩耗やつぶれなどが認められるもので，使用痕のある剥片とした。このうち，1323の左右側辺，1329の下辺には階段状の剥離と縁辺のつぶれが認められ，楔形石器に類する使用の可能性がある。

1336・1337・1340～1342・1343・1346・1347・1351・1353・1355は明瞭な加工，使用の痕跡が認められない剥片類である。1347の正面図左下の凹みは，不純物が脱落した跡か発泡によるとみられる自然の凹みである。

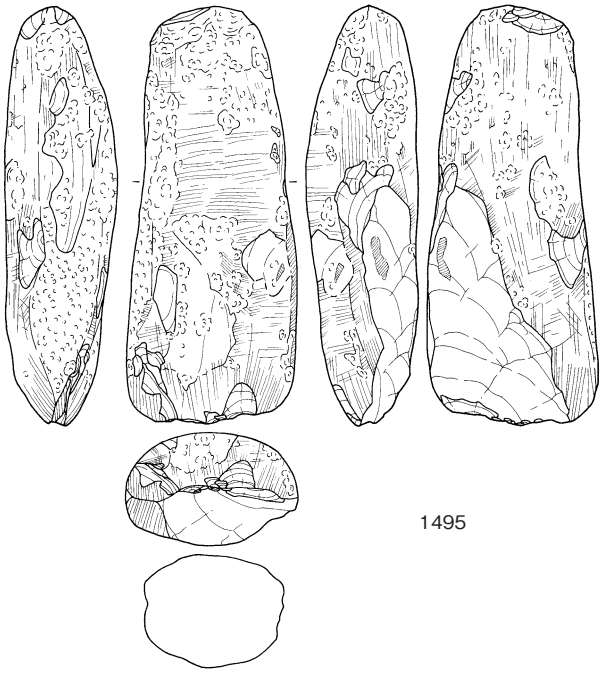
これらの剥片類の石材は，上牛鼻産に類する黒曜石がほとんどを占め，針尾産，白色の不純物を含む腰岳産，三船産，黒色ガラス質で白色の石英結晶を含む霧島系などに類似する黒曜石，乳白色を呈する玉髄などが使用されている。

石核（第119～126図　1357～1480）

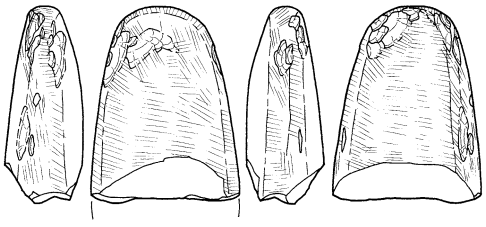
石核は第７表に示した分類表に従いⅠ類～Ⅳ類に分類して掲載している。

Ⅰ類は，礫もしくは分割礫を素材とし，基本的に打面調整を施さず，単一の打面から一方向に剥片剥離を行うもので，1357～1401がこれにあたる。石材は黒曜石Ⅰに分類した上牛鼻産に類似する黒曜石が66％，黒曜石Ⅱに分類した三船産に類似する黒曜石が５％，黒曜石Ⅲに分類した桑ノ木津留産及び霧島系とされる黒曜石に類似するものが３％，黒曜石Ⅳに分類した腰岳産，針尾産に類似する黒曜石が２％，玉髄が24％を占める。

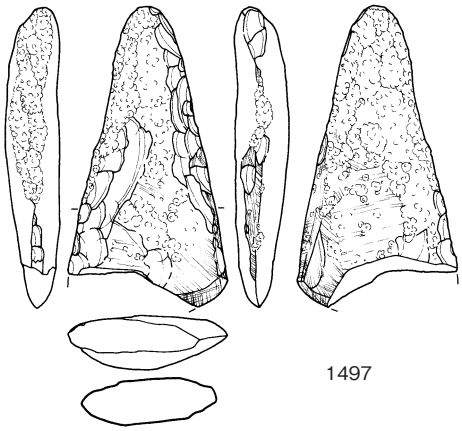
Ⅱ類は，剥片剥離に先立って打面調整が行われるもので，打面転移が行われない1402～1426をⅡ-ａ類，先行



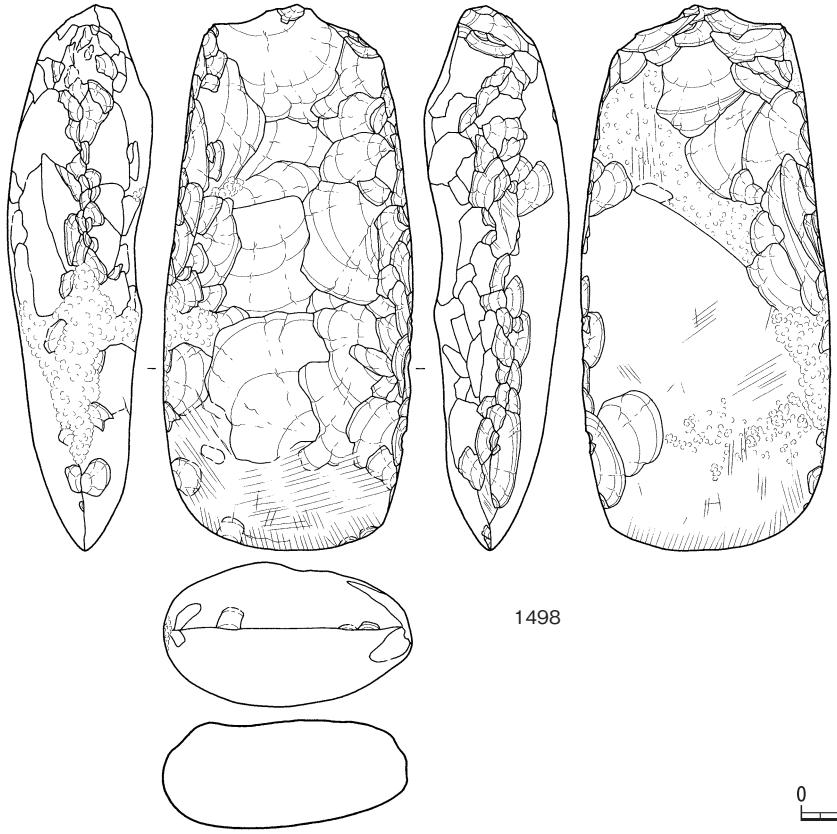
1495



1496



1497

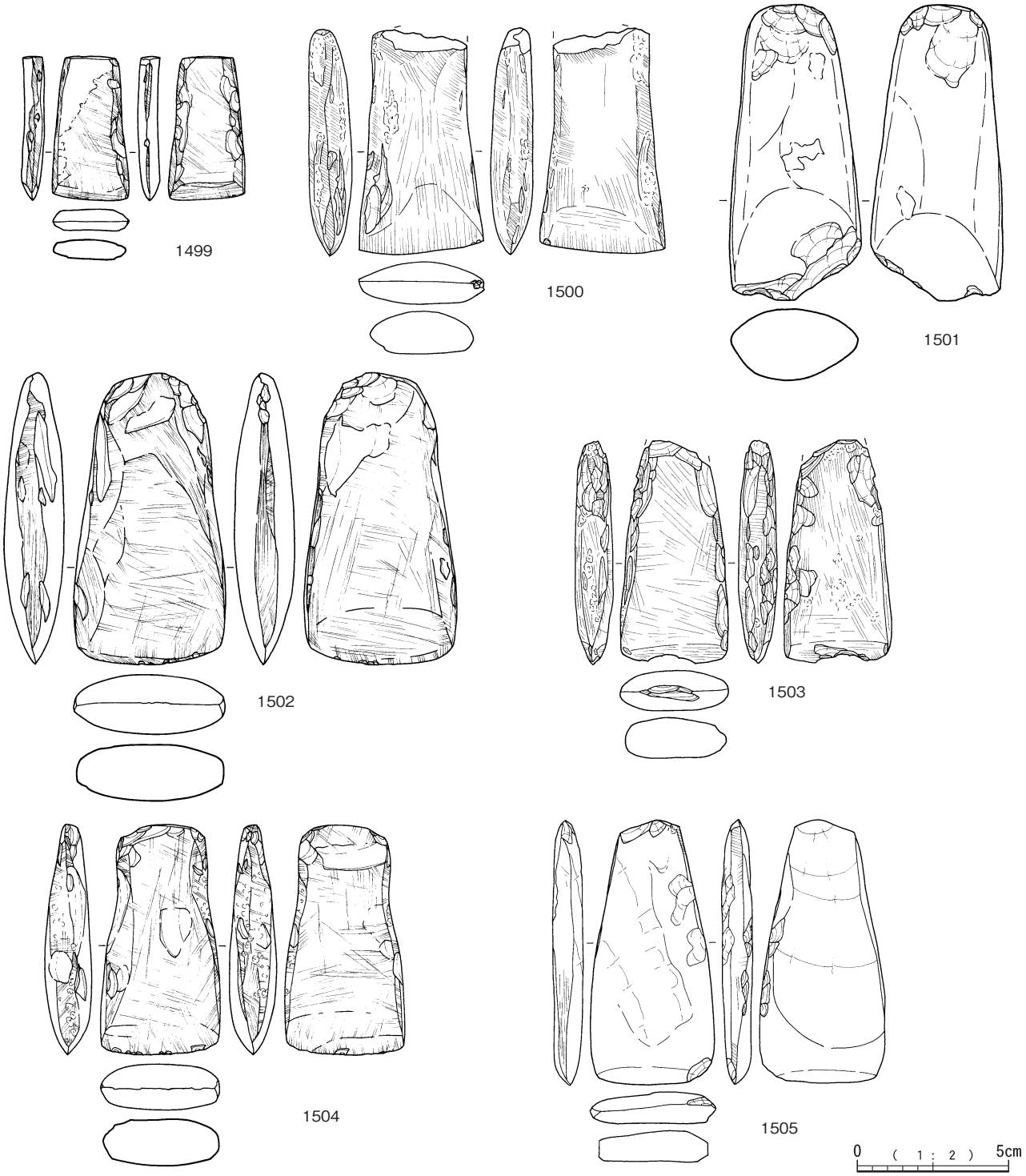


1498

0 (1 : 2) 5cm
1498

0 (1 : 3) 10cm
1495～1497

第129図　磨製石斧（3）



第130図　磨製石斧（４）

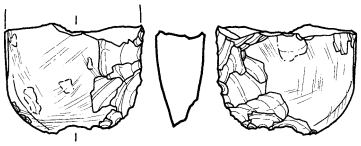
する打面を作業面として剥片剥離が行われる1427～1432をⅡ-ｂ類とした。石材は黒曜石Ⅰ類が69％，黒曜石Ⅱ類が８％，黒曜石Ⅳ類が１％，玉髄が22％を占める。

Ⅲ類は，打面調整を行いながら，90度単位に前後，左右に打面転移を行うもので，1433～1455がこれに該当する。石材は黒曜石Ⅰ類が37％，玉髄が40％を占め，他に黒曜石Ⅱ類６％，Ⅲ類３％，Ⅳ類１％となっている。

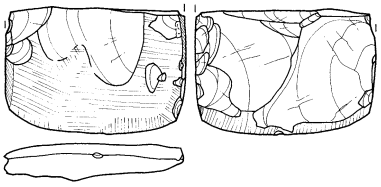
Ⅳ類は，単一の比較的平坦な分割面，節理面を打面とし，打面調整を施して剥片剥離を行う1456～1480である。石材は，黒曜石Ⅰ類が32％，次いで玉髄が20％，黒曜石Ⅱ類が４％，黒曜石Ⅳ類が２％，黒曜石Ⅲ類が１％となっている。

磨製石斧（第127～134図　1481～1536）

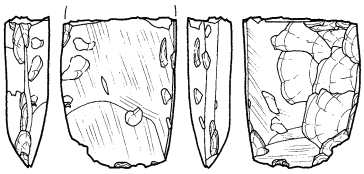
1481～1484・1488・1491～1494・1495・1500～1503・1512・1526・1529・1536は，基部にやや厚みがあり，平



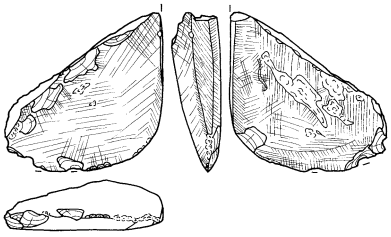
1506



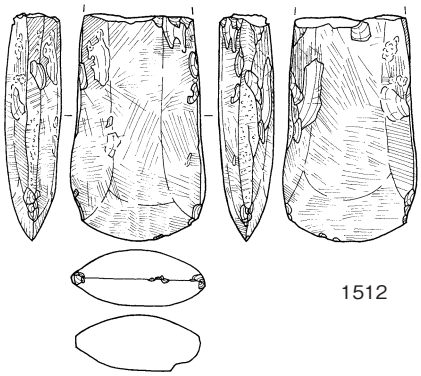
1508



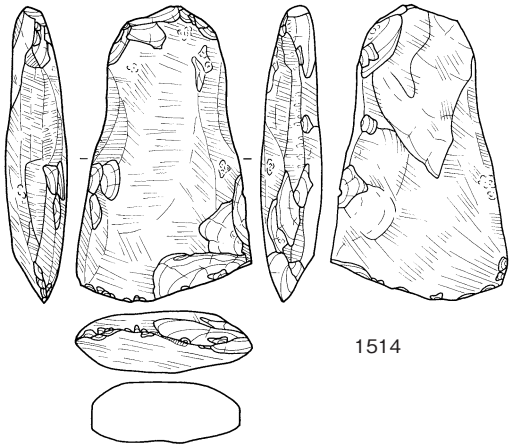
1509



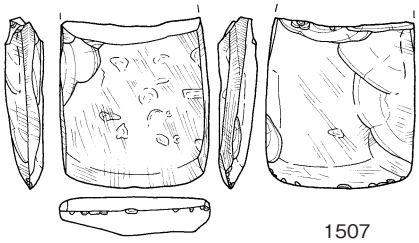
1511



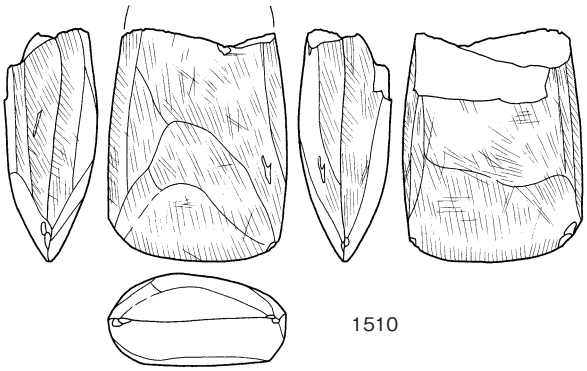
1512



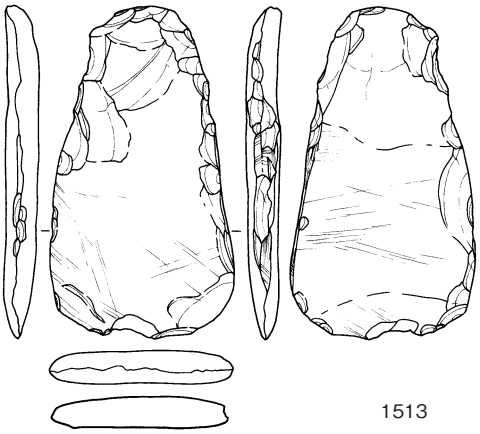
1514



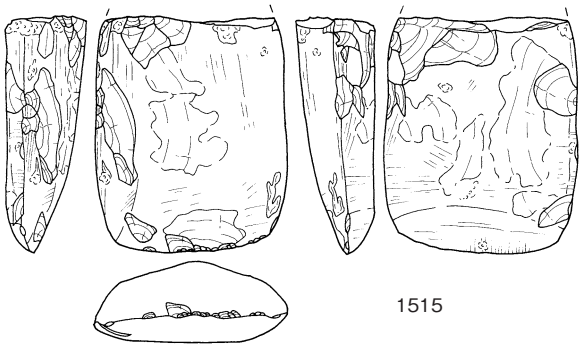
1507



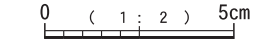
1510



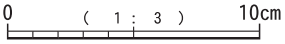
1513



1515

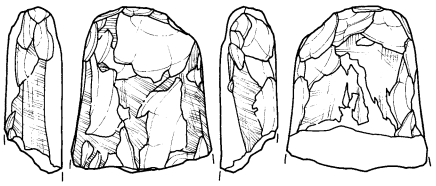


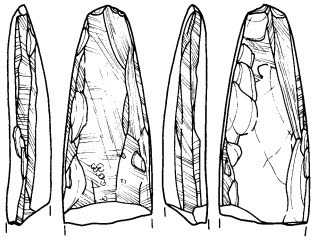
1506～1510, 1513～1515

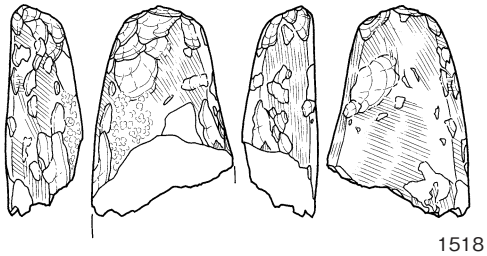


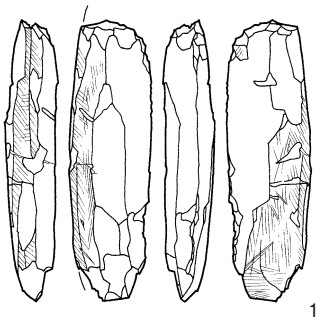
1511,1512

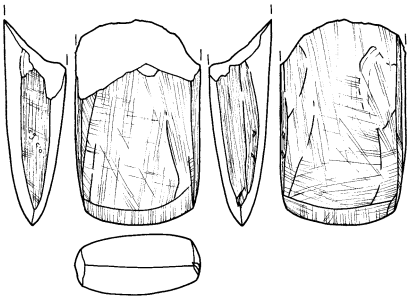
第131図　磨製石斧（5）

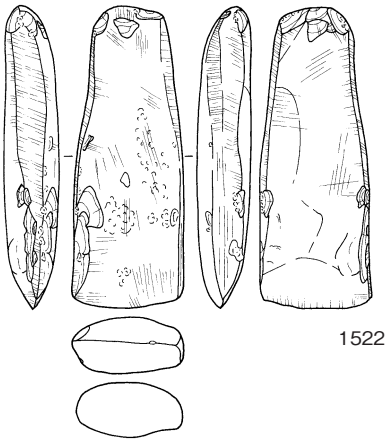

1516

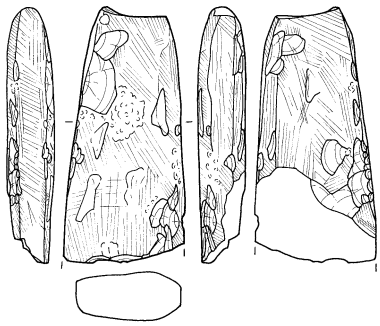

1517

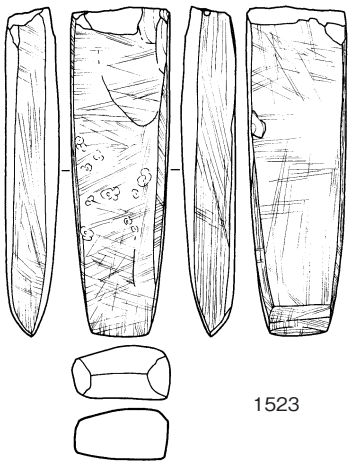

1518

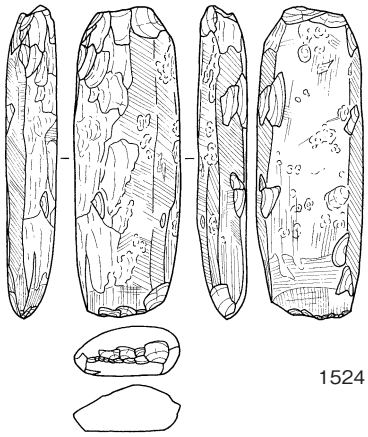

1519

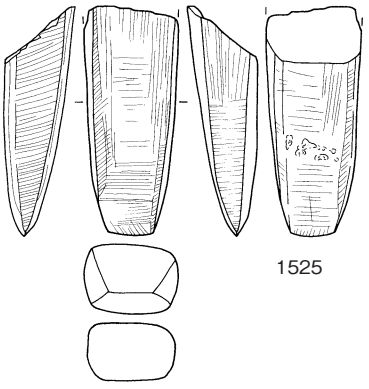

1520


1522


1521


1523


1524


1525

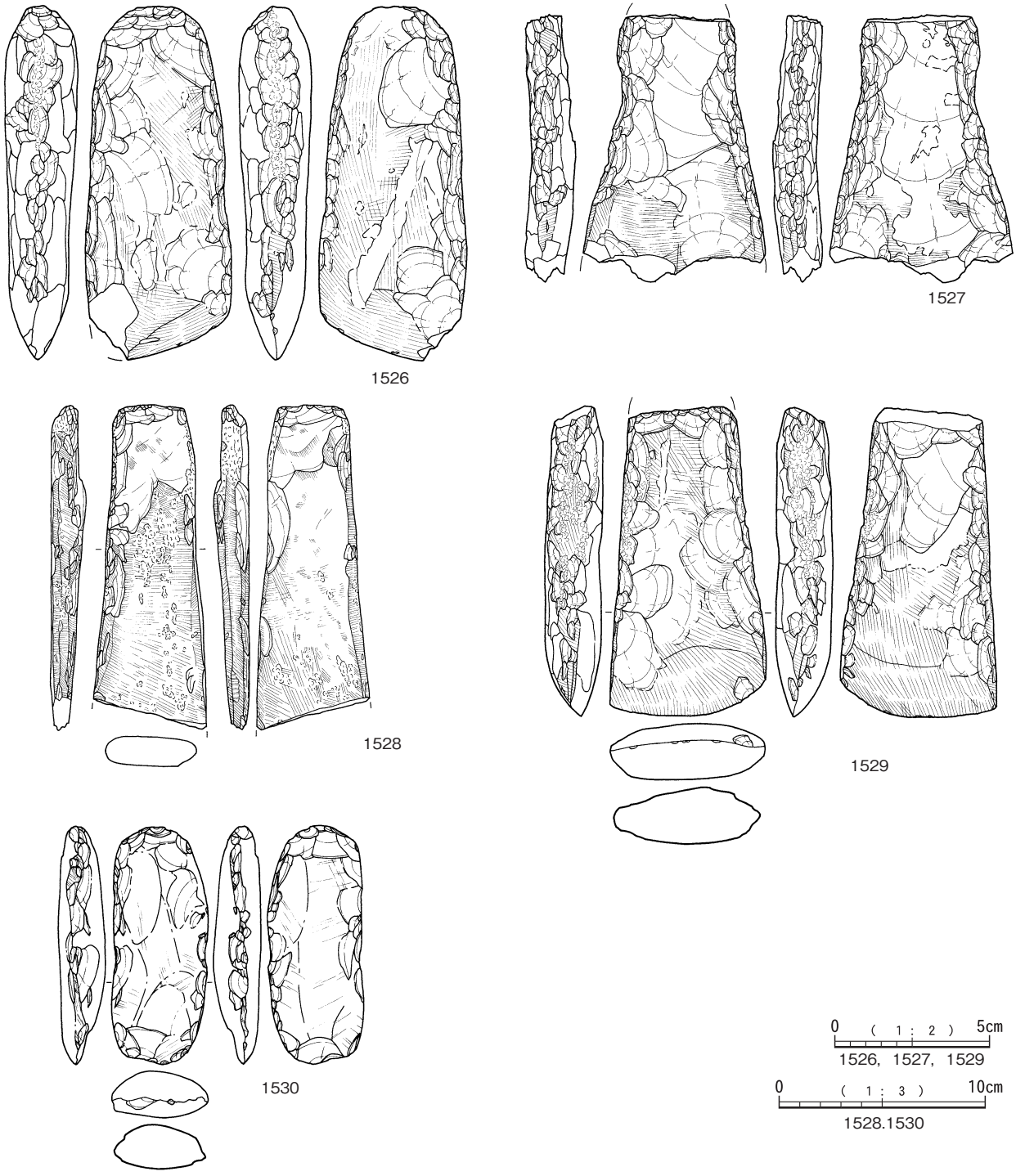
0 (1 : 2) 5cm

1516～1521，1523～1525

0 (1 : 3) 10cm

1522

第132図　磨製石斧（6）



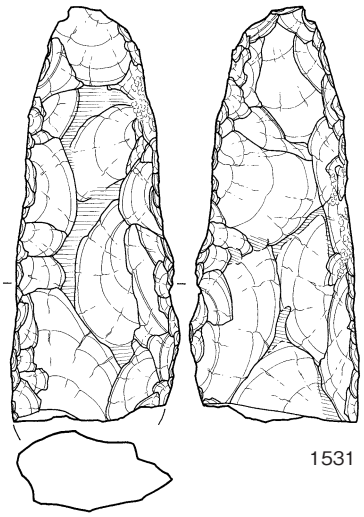
第133図　磨製石斧（7）

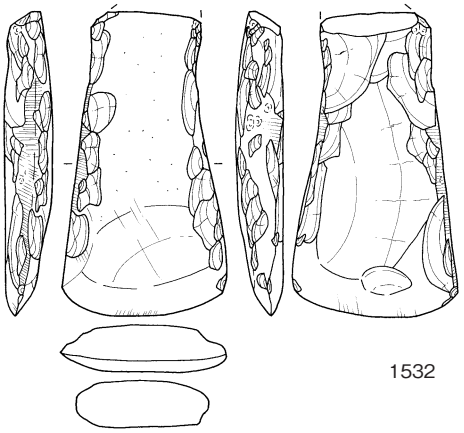
面形が撥形を呈し刃部付近が最大幅となる磨製石斧である。偏刃ないし偏刃気味の外弯刃となるものが多い。刃部は1481が弱凸強平刃片刃，1503が両平刃，1500・1536が弱凸強凸片刃であるが，他は両凸刃である。1486もこの類に類似するが，左右側辺で加工，形状が異なっており，石製品の可能性もある。

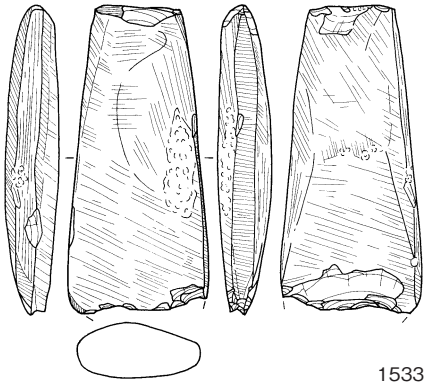
1504・1514・1522・1527・1532も撥形に近い平面形であるが，基部上方に敲打や研磨で作り出された括れが認められる。刃部は，1504が両凸刃，他は弱凸強凸片刃の磨製石斧である。

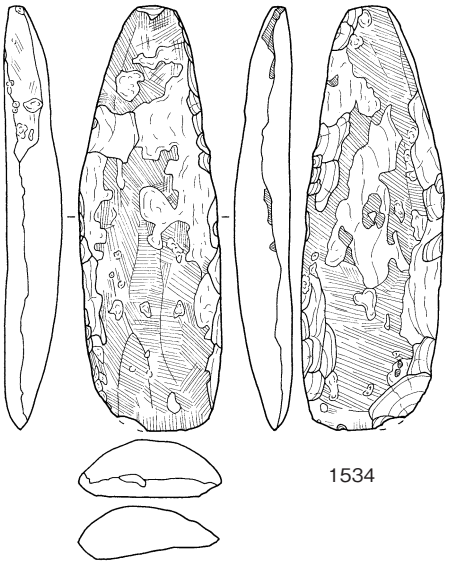
1497・1505・1513・1528も撥形を呈するが，扁平な基部をもつ磨製石斧である。刃部はいずれも弱凸強凸片刃で，1505は両側縁にも研磨が施される。1499も扁平な基部をもつ小型の磨製石斧で，刃部は弱凸強平刃片刃である。

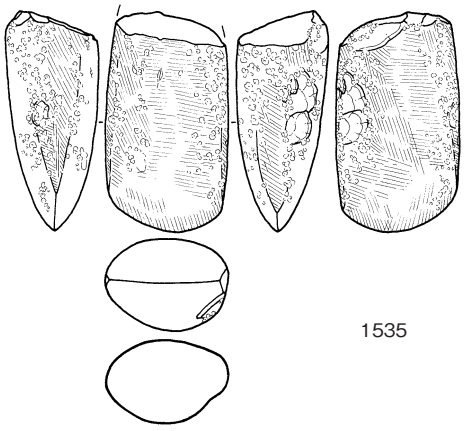
1485・1535はいずれも基部を欠損するが，乳房状磨製石斧とみられる。基部は敲打調整による丸味を帯びた横断面形状で，刃部は円刃の両凸刃である。1489・1490・

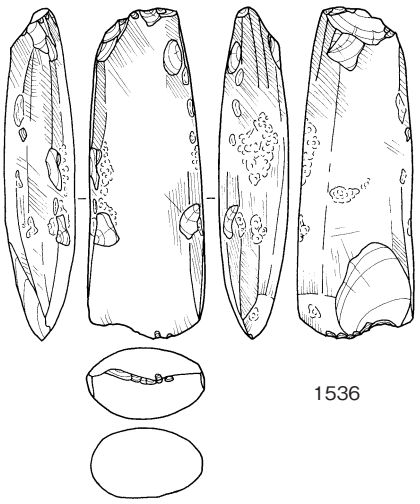








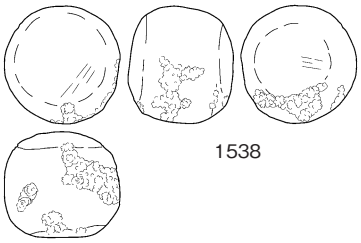


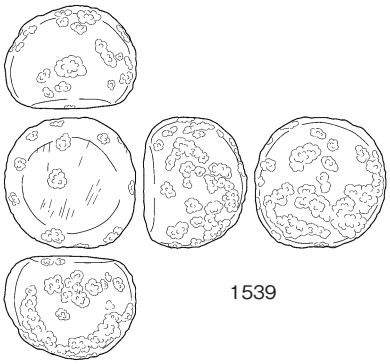


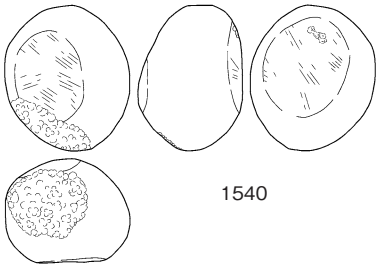
0 (1 : 2) 5cm
1513～1534, 1536
0 (1 : 3) 10cm
1535

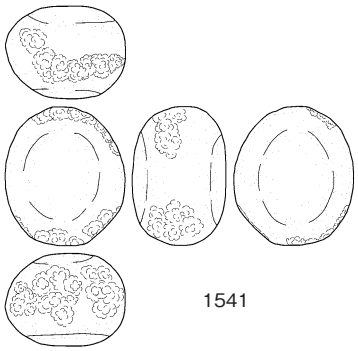
第134図　磨製石斧（8）

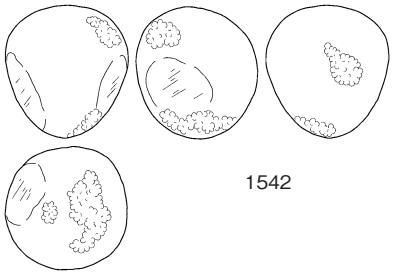

1537

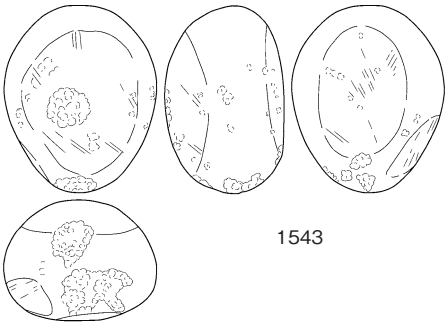

1538

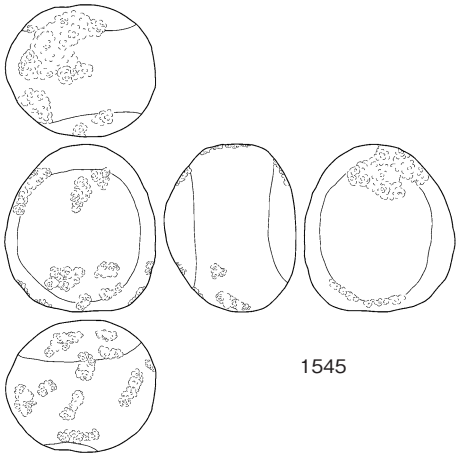

1539

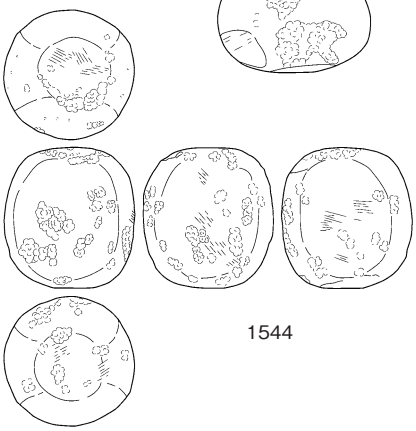

1540

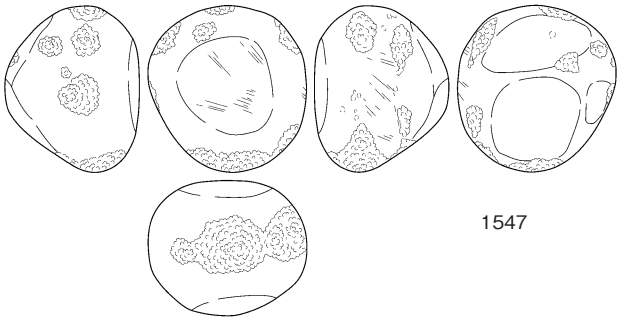

1541

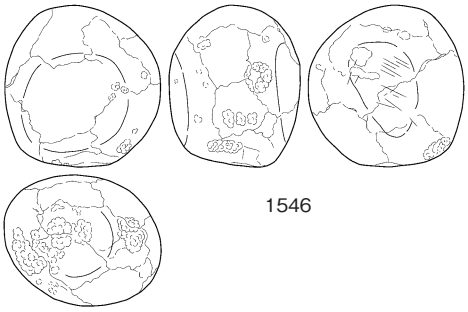

1542

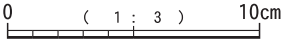

1543


1545

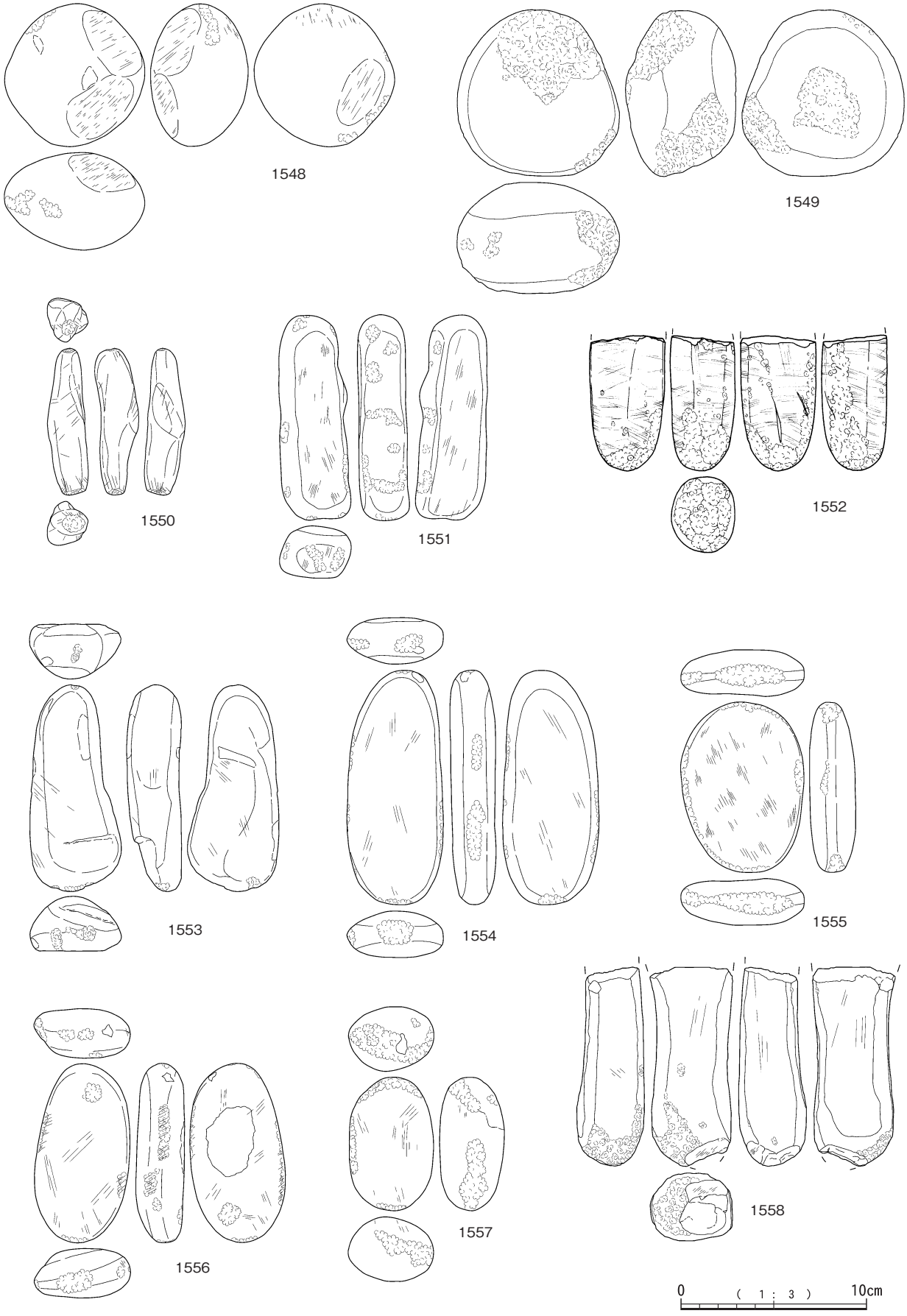

1544


1547

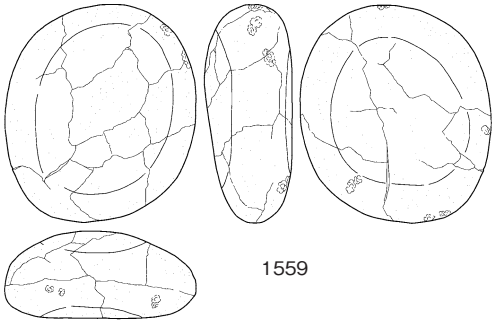

1546

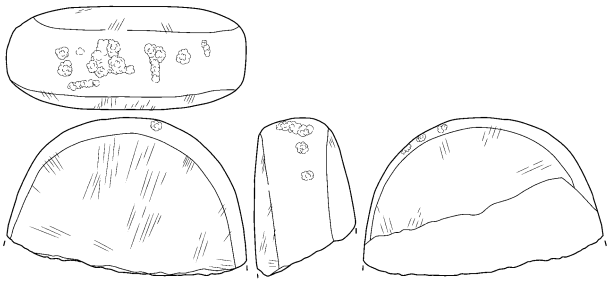

0
(1 : 3)
10cm

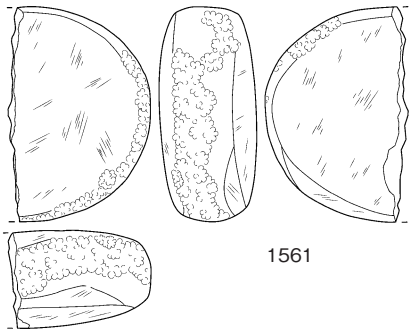
第135図　磨石・敲石（1）


1548
1549
1550
1551
1552
1553
1554
1555
1556
1557
1558
0 (1 : 3) 10cm

第136図　磨石・敲石（2）

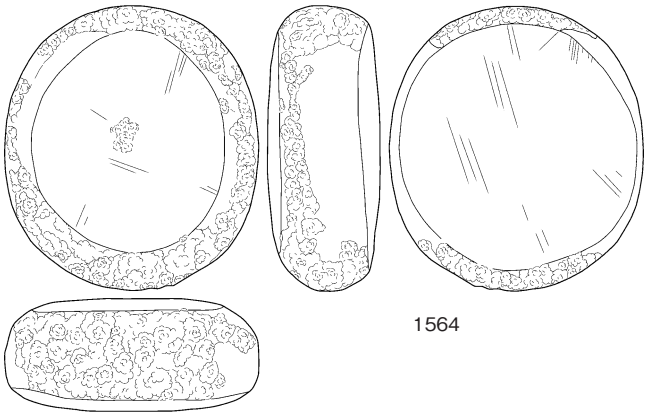


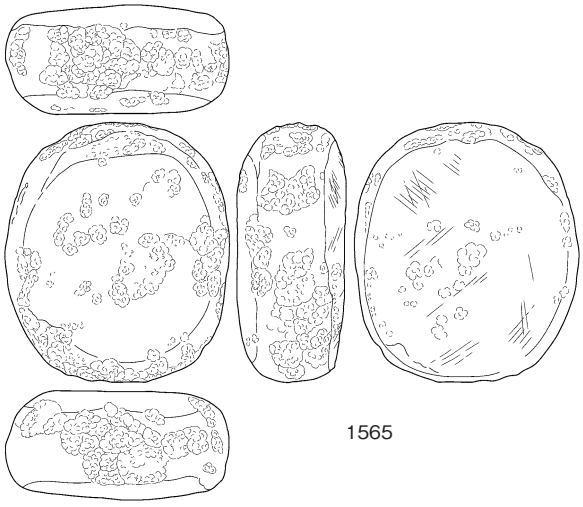


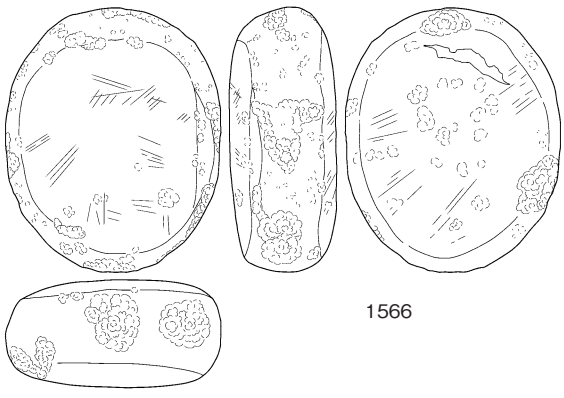


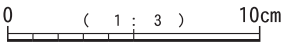




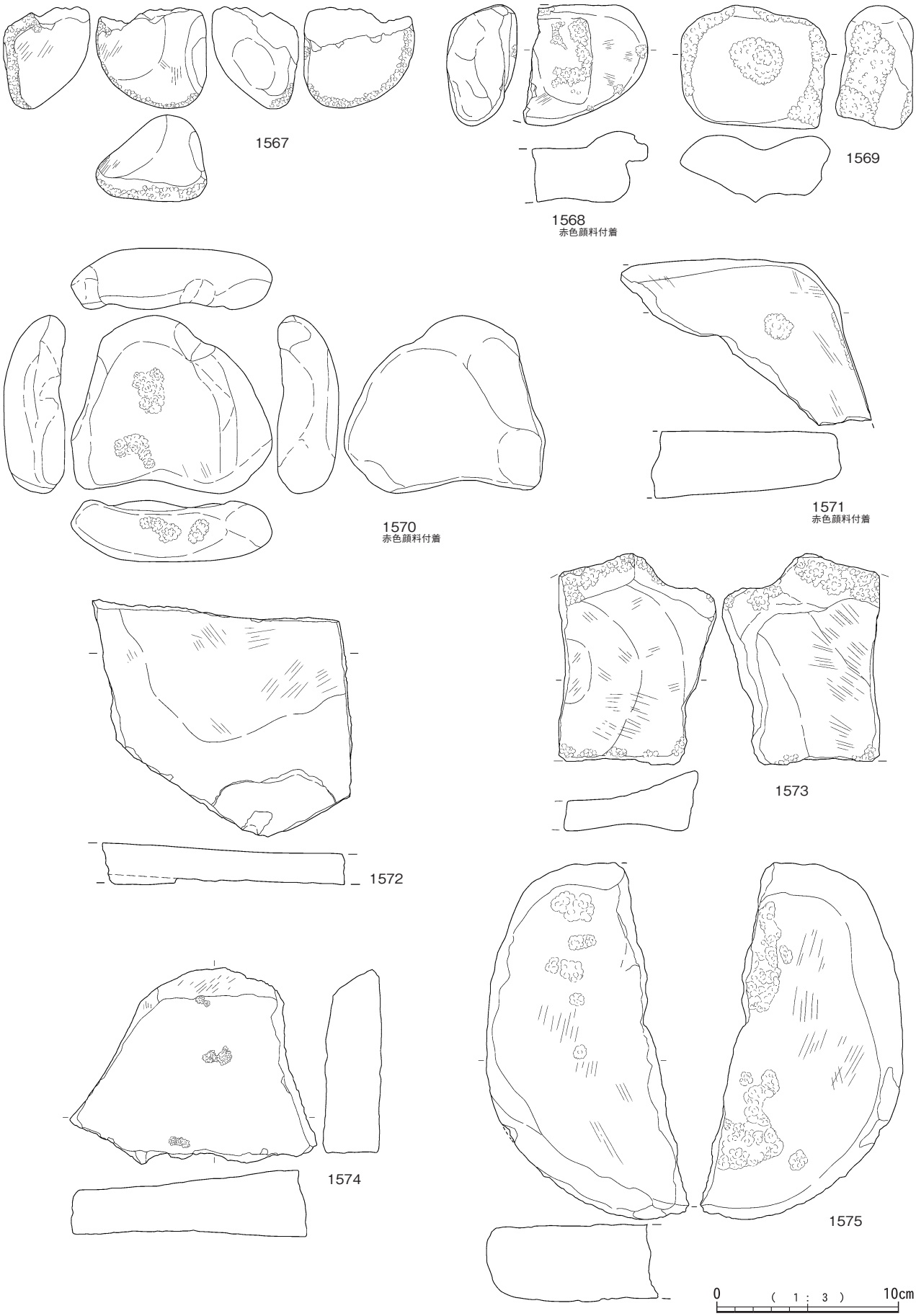




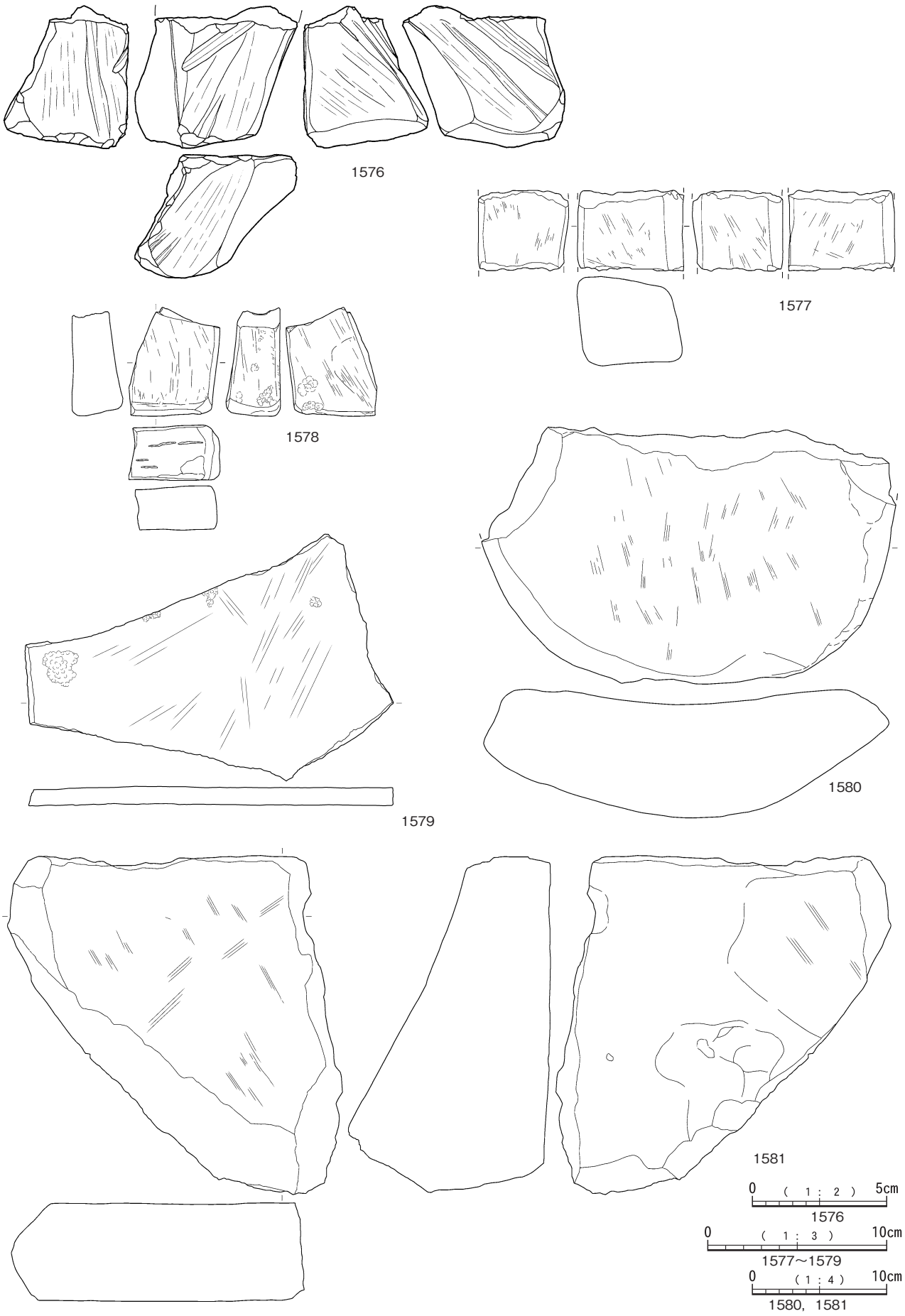




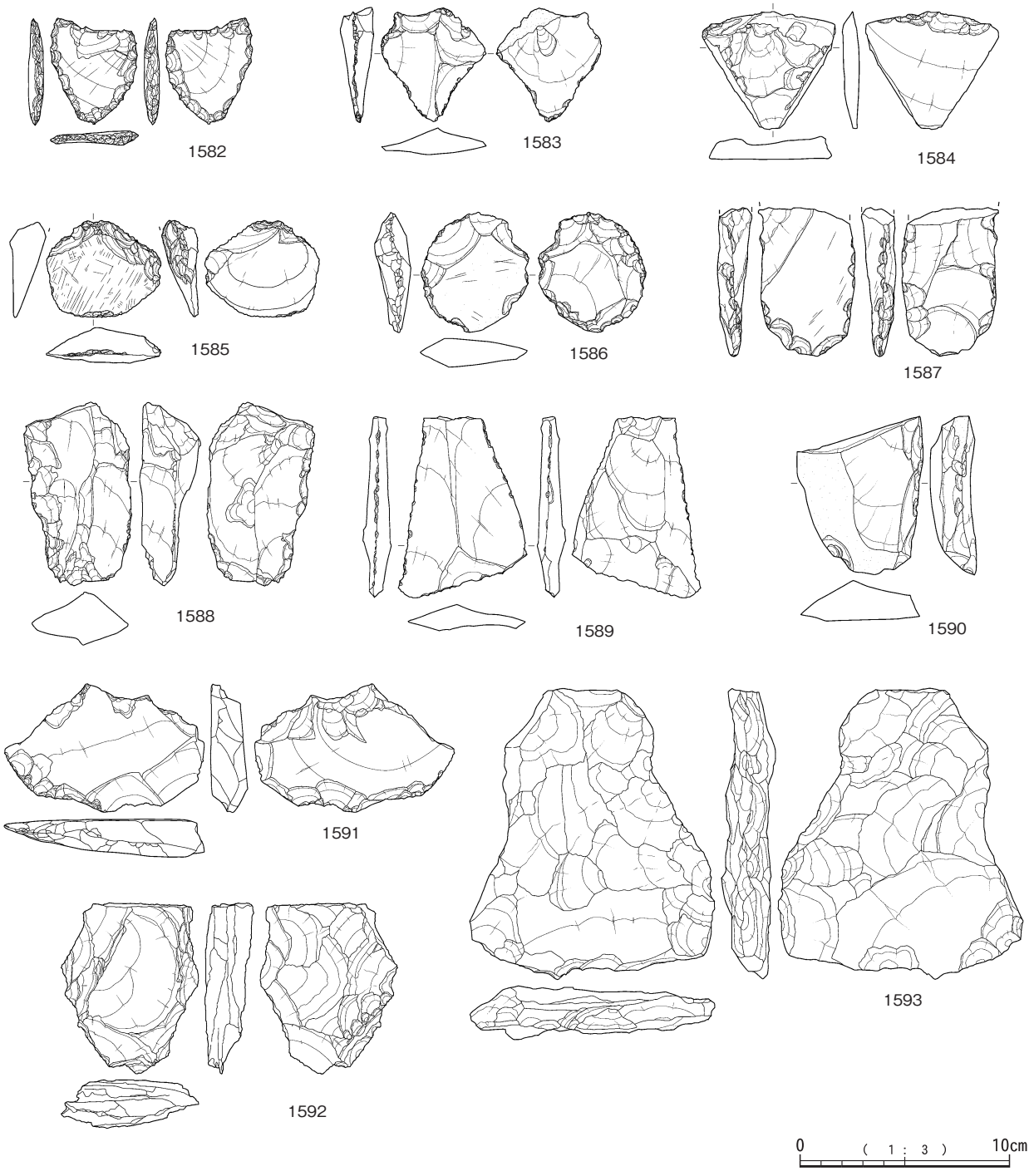
第137図　磨石・敲石（3）



第138図　磨石・敲石（4）・台石・石皿（1）



第139図　台石・石皿（2）・砥石



第140図　二次加工剥片・使用痕剥片

1492も乳房状磨製石斧の基部の可能性がある。

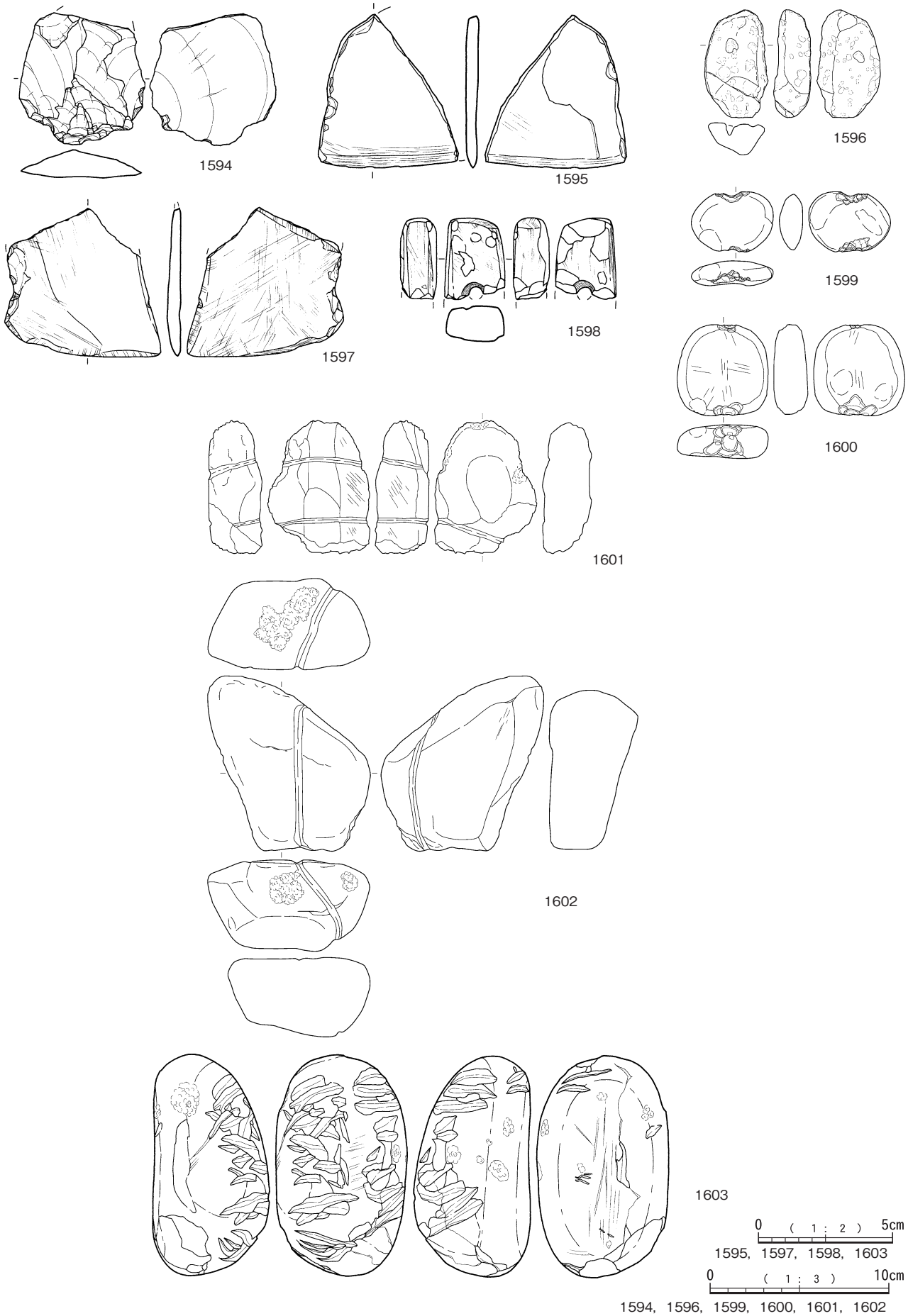
1521・1533は，両側面及び頭部に研磨が施される定角式磨製石斧である。いずれも刃部を欠損するが1533は残存部から弱凸強平片刃の可能性がある。基部を大きく欠損する1510・1511，刃部を欠損する1516，小型の1517も定角式磨製石斧の可能性がある。

1498は基部下半に最大幅をもちわずかに窄まりながら刃部に至る磨製石斧である。基部はやや肉厚で，刃部は両凸刃である。

1523～1525は，基部中央付近に最大幅があり，刃部に向かってやや窄まる形状をもつ石鑿状の磨製石斧である。1523，1525が両側面が丁寧に研磨され稜をもつのに対し，1524は側面を成さない。刃部は1523，1524が弱凸強平片刃，1525が弱凸強凸片刃である。

1507，1508は扁平な刃部のみの資料である。刃部はやや外弯気味で，1507が弱凸強凸片刃，1508が弱凸強平刃片刃である。

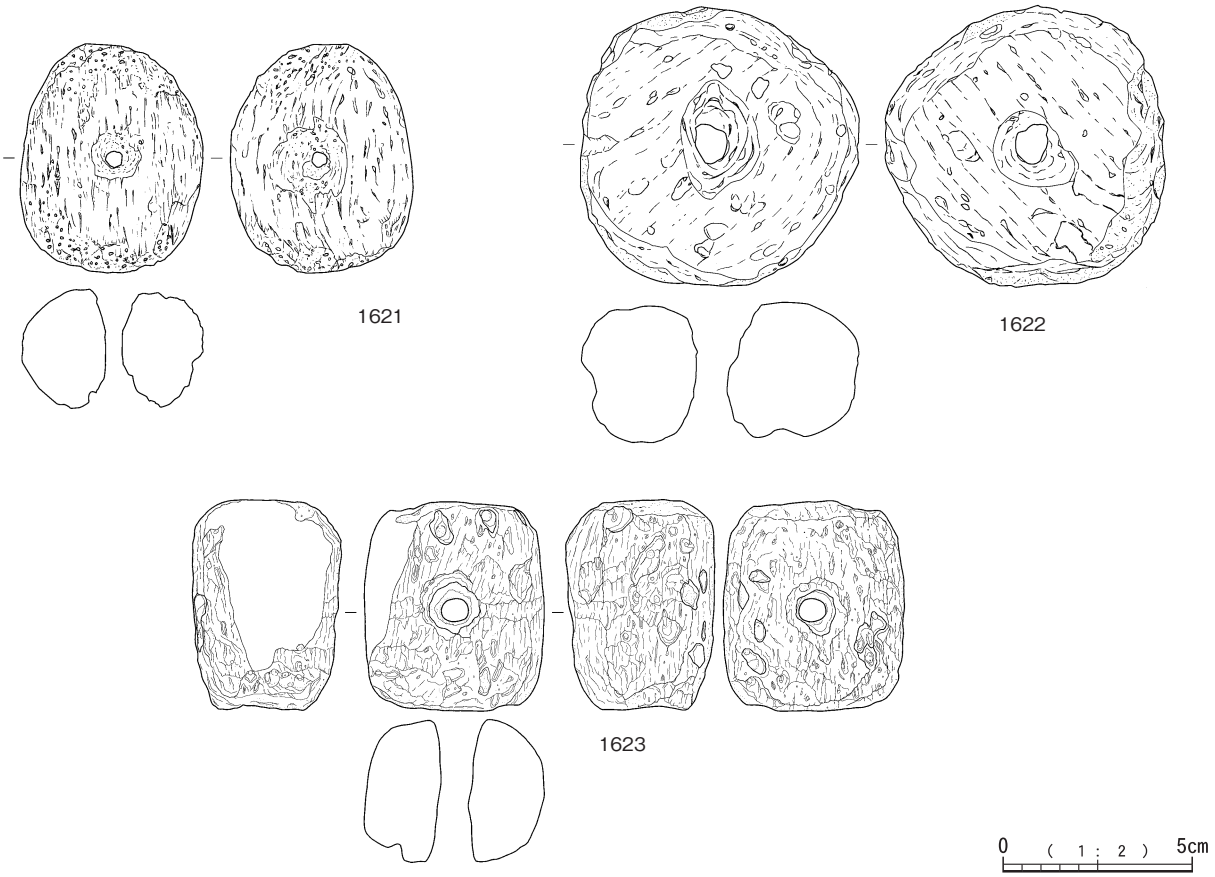
1506，1509，1520は，幅３cm前後の磨製石斧の刃部片で，1506は右側辺に，1509は左側辺裏面側に二次的な剥離が生じている。刃部は，1506，1509は弱凸強凸片



第141図　その他の石器類


1604
1605
1606
1607
1608
1609
1610
1611
1612
1613
1614
1615
1616
1617
1618
1619
1620
0 (1 : 2) 5cm

第142図　軽石製品（1）



第143図　軽石製品（2）

刃，1520は両凸刃である。

1530・1534は素材形状によるものか，表裏，左右で非対称な形状となる磨製石斧である。1530はホルンフェルスの棒状の亜円礫に周縁から剥離で調整を加え，刃部周辺に研磨を施している。1534は蛇紋岩の剥片を素材とし，剥離面の凹部にまで比較的丁寧に研磨を施す。1531は剥離面を広く残すもので，側縁部分には敲打調整が，表面の一部に丁寧な研磨の痕跡が認められるが，剥離が研磨面を切っており，全面磨製の磨製石斧に再加工が試みられた可能性もある。

掲載した56点中の石材は，ホルンフェルスが18点，砂岩が20点，蛇紋岩，頁岩が各９点であるが，砂岩，頁岩に分類した中にはある程度熱変性を受けたとみられるものも含む。

二次加工剥片・使用痕剥片（第141図　1582～1594）

粗面の安山岩やホルンフェルス，凝灰岩など比較的目の粗い石材を用い，素材剥片に対する二次加工とみられる加工痕などがみられる剥片及び使用痕が認められる剥片等である。

1582・1585・1586・1591・1592は二次加工のある剥片である。1582は灰黒色を呈する安山岩の剥片で周縁に表裏から細かい調整が施される。下端部付近には縁辺の摩耗が生じている。1585は背面に自然面をもつホルンフェルスの剥片で上辺縁に腹面側から二次加工が加えられ，下縁部分に使用によるとみられる微細な剥離が生じている。1586も背面の一部に自然面をもつホルンフェルスで，周縁からの調整で円形状を呈する。左側縁上半に小剥離が生じている。掻器に類する使用の可能性がある。1591・1592は輝石を多く含む安山岩の剥片で，周縁部分に不規則な荒い剥離が生じているが明確な使用の痕跡は認められない。

1583・1589はいずれも安山岩の剥片で，明確な二次加工は認められないものの側辺部分に微細な剥離が生じており使用された可能性がある。

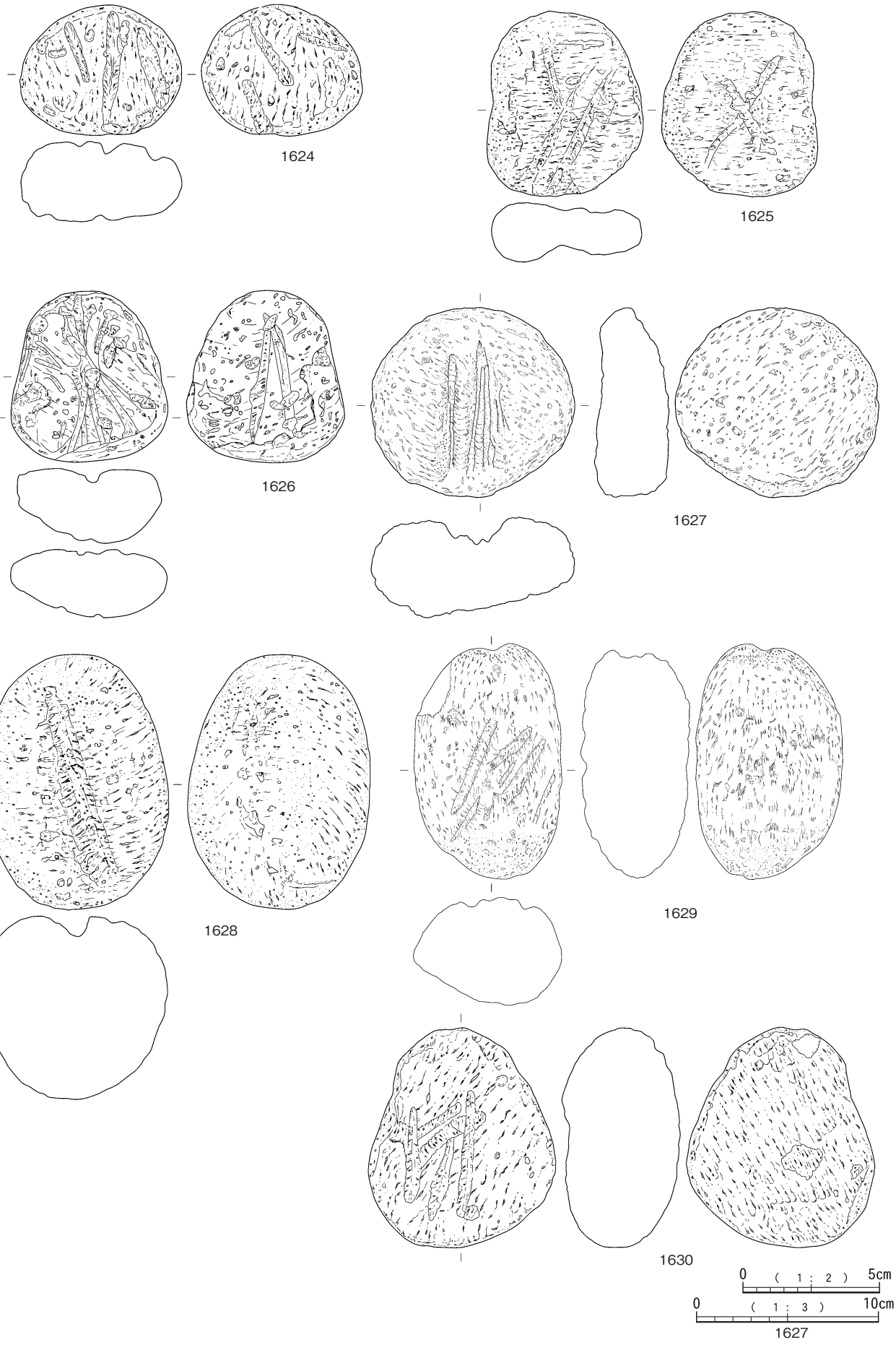
その他の石器類（第141図　1595～1603）

上記分類に属さないその他の石器類を一括している。1595・1597は砂岩製の擦切石器である。1595は図下辺，1597は下辺及び右側辺を刃部とする。

1599・1600はいずれも安山岩の扁平円礫で，上下に打ち欠きを加えた石錘である。

1598は白色で部分的に緑色を帯びる軟質の凝灰質頁岩で，全面に研磨を施され成形されている。折れ面には穿孔部分が残り，表裏両側から回転穿孔を加えたものとみられる。二次的に被熱している可能性がある。

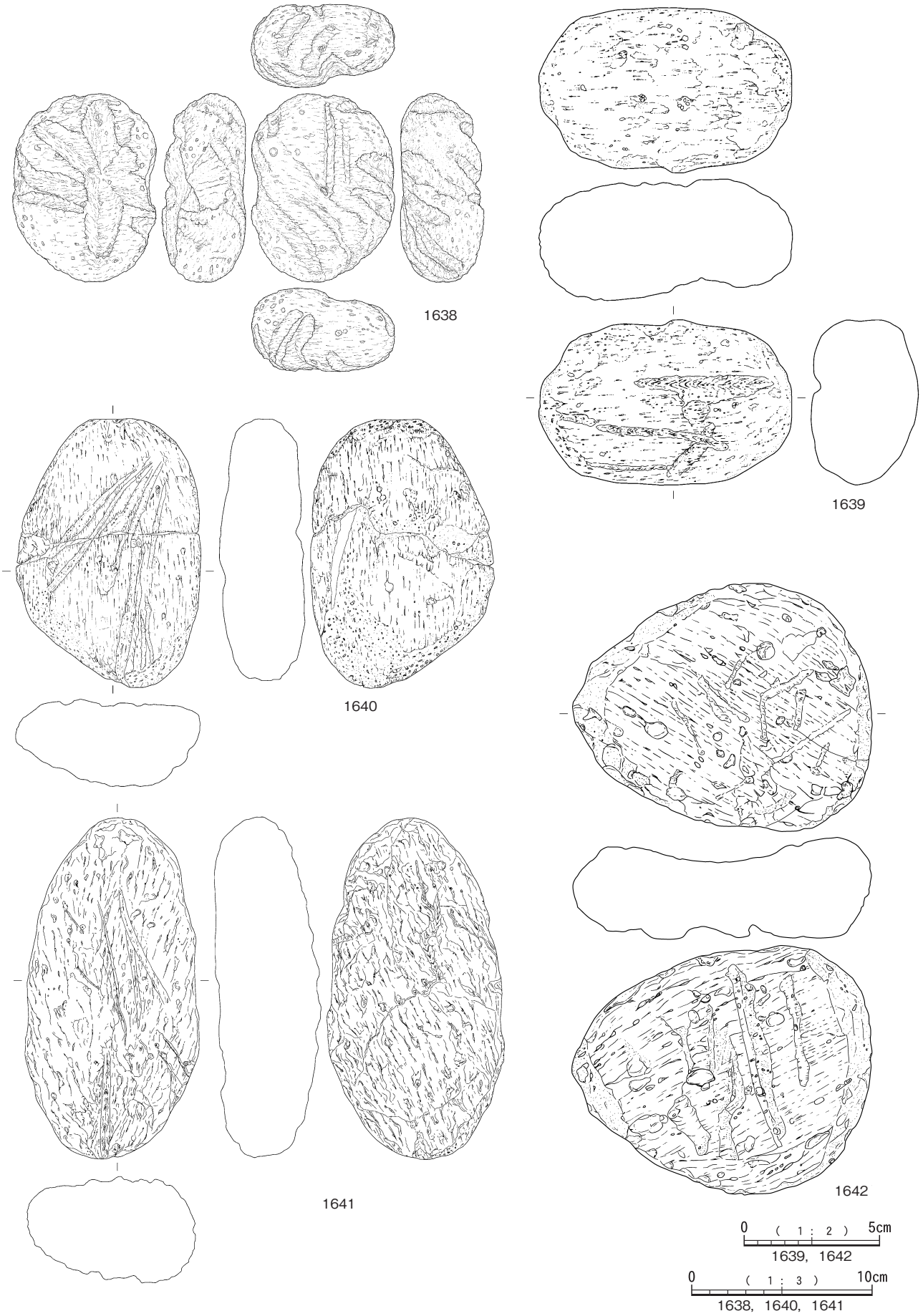
1601は黒曜岩，石英，長石含む玻璃班岩で一見帯状に括れが２条あるように見えるが，人為的なものではない。1602は多孔質の安山岩礫で，溝状にくびれる部分があり，この部分が赤褐色に変色しているが，溝状の部分



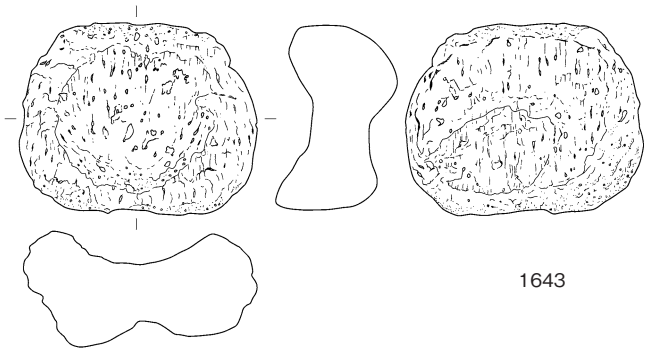
第144図　軽石製品（3）


1631
1632
1633
1634
1635
1636
1637
0 (1 : 2) 5cm
1631, 1637
0 (1 : 3) 10cm
1632～1636

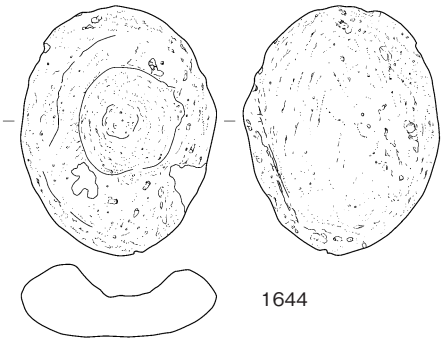
第145図　軽石製品（4）


1638
1639
1640
1641
1642
0 (1 : 2) 5cm
1639, 1642
0 (1 : 3) 10cm
1638, 1640, 1641

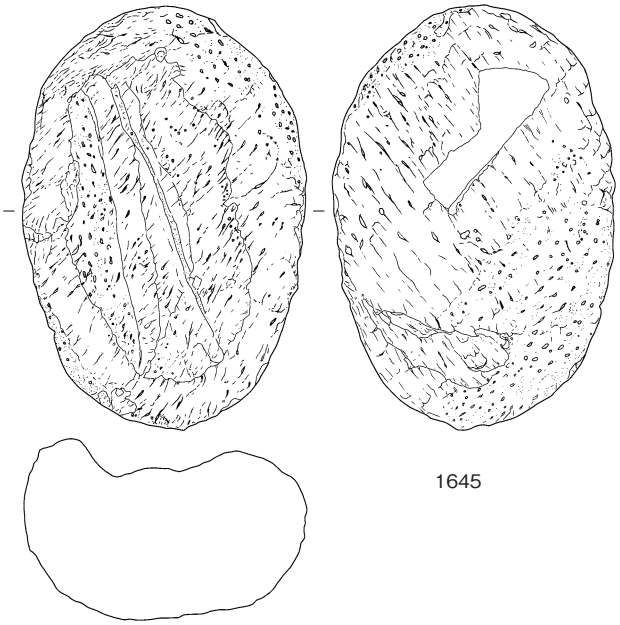
第146図　軽石製品（5）



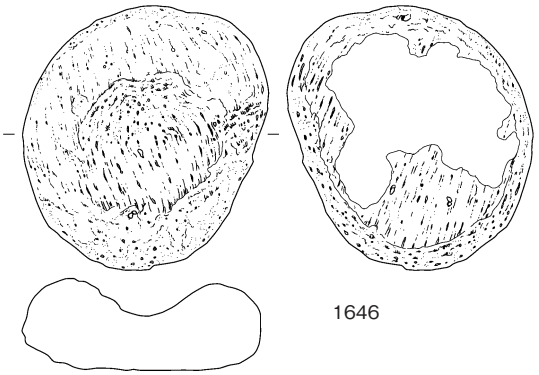
1643



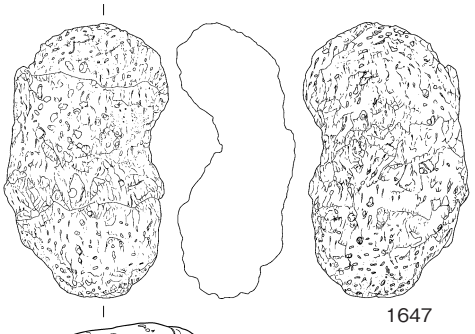
1644



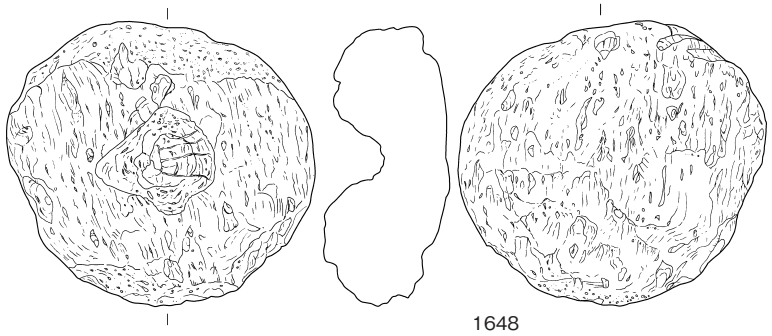
1645



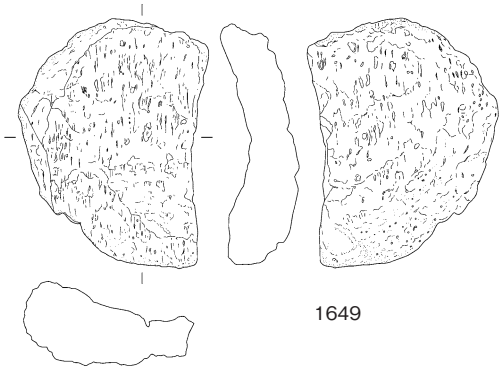
1646



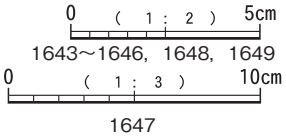
1647



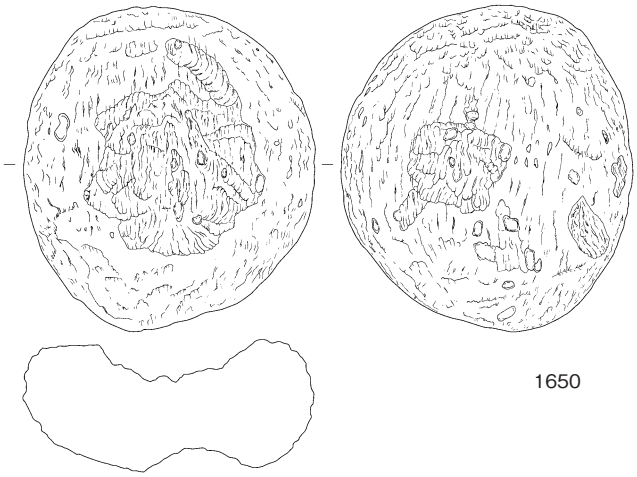
1648



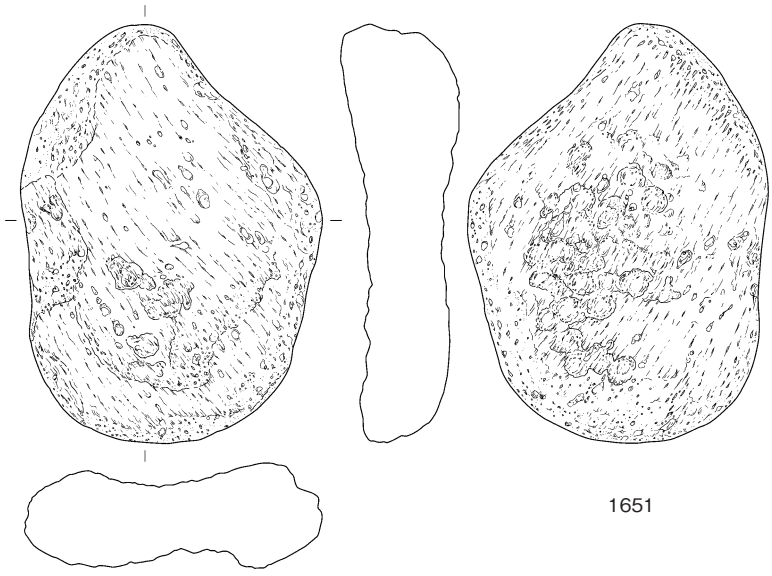
1649



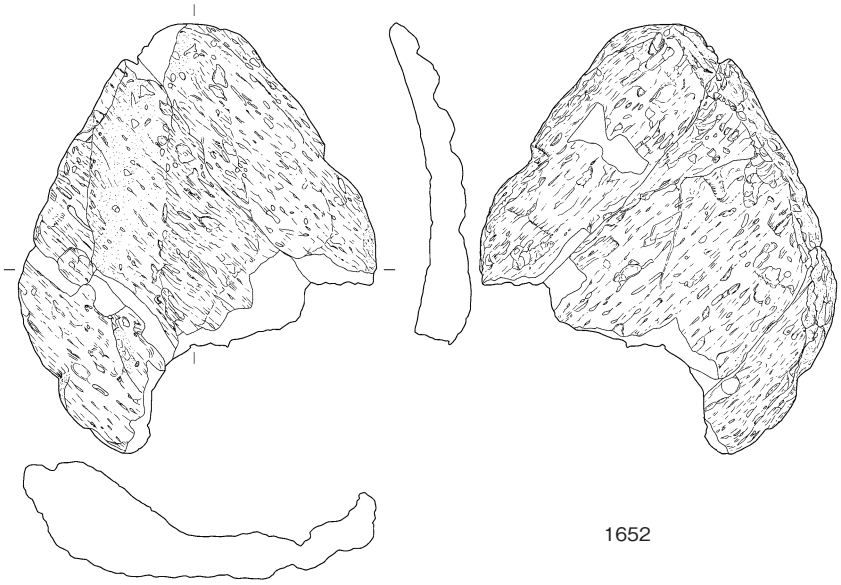
第147図　軽石製品（6）



1650



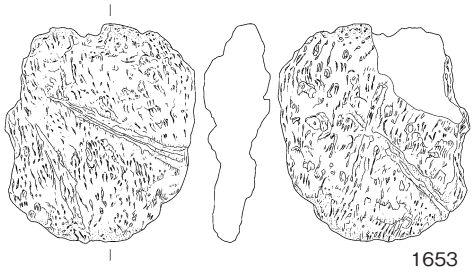
1651



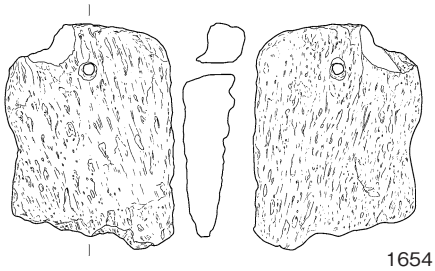
1652

0 (1 : 3) 10cm

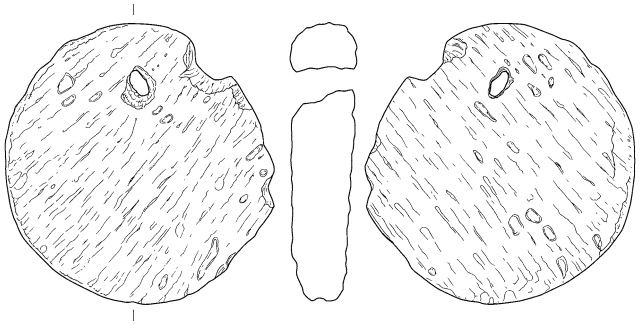
第148図　軽石製品（7）



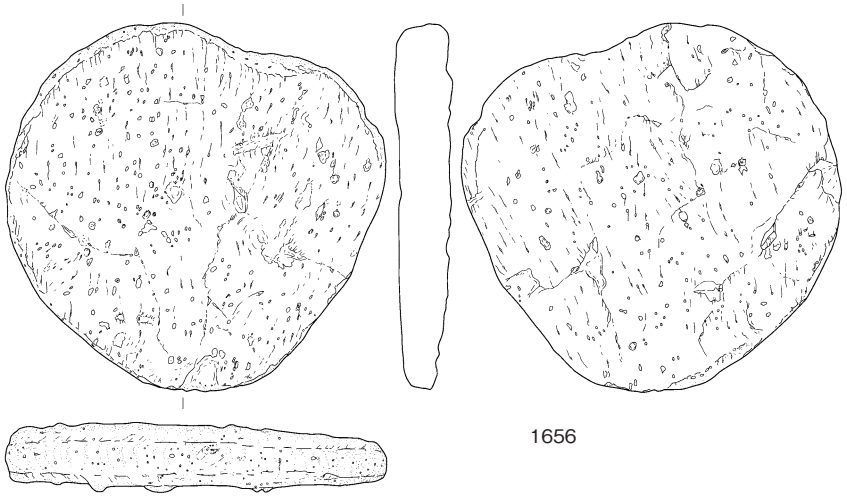
1653



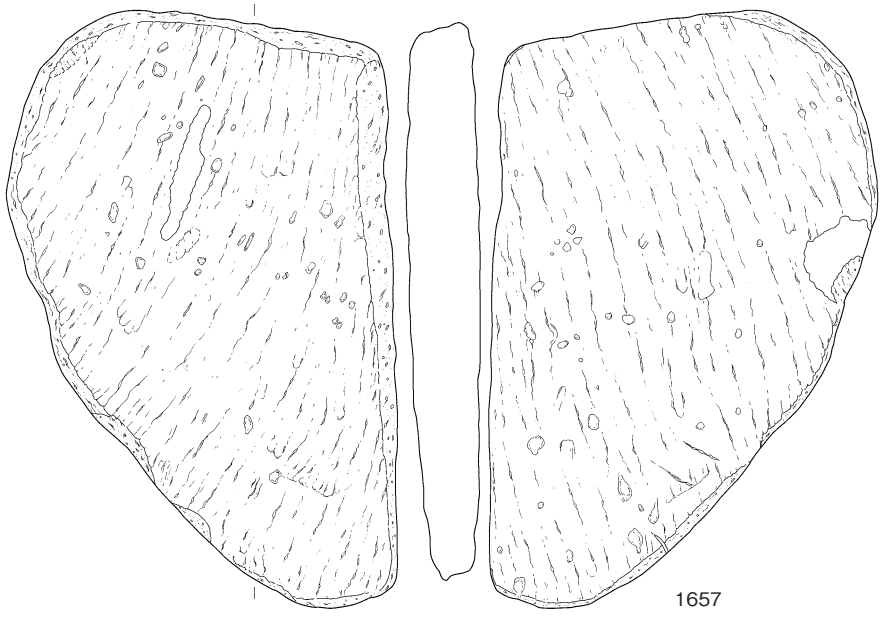
1654



1655



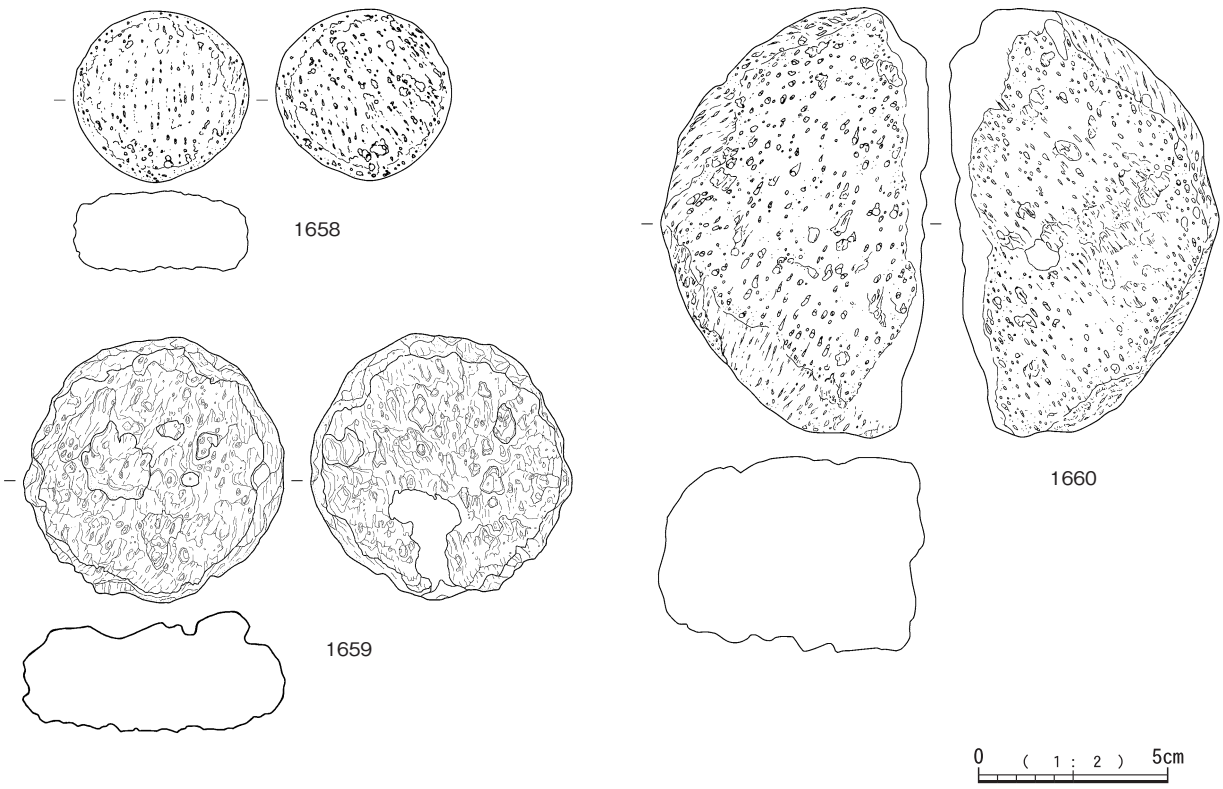
1656



1657

0 (1 : 3) 10cm

第149図　軽石製品（8）



第150図　軽石製品（9）

には擦切等の痕跡はなく，自然に生じたものの可能性が高い。

1603は軟質の凝灰質頁岩の円礫で，表面は黄褐色を呈し，手擦れのような光沢がある。表面には１～３cm程度の横位あるいは斜位の刻線が刻まれた線刻礫である。刻線は人為的に刻まれたものである可能性が高い。

磨石・敲石（第135～138図　1537～1569）

磨面や敲打痕，凹み等は同一資料中に混在しているために機能的に区別せずに磨石，敲石類と一括して扱う。

1537～1568は磨石，敲石である。安山岩，花崗岩，頁岩，砂岩等の石材が多用されている。1537～1549は小型の円礫を素材としている。敲打痕が上下端に部分的に集中する。1550～1558は細長い円礫を素材としている。敲打痕が上下端に集中する。1551は表裏に磨面も認められる。

1559～1566は比較的扁平な円礫を素材としている。すべて表裏面に磨面が形成されている。側縁には敲打痕が観察されるものが多く，敲打痕が上下左右の側面に集中するものや側面を全周するものがある。1565は隅丸方形に近い形状である。

1567・1568は小型の不定型な礫を素材としている。いずれも磨面や敲打痕が認められ，破砕している。なお，1568は赤色顔料が付着している。1569も小型の不定型な礫を素材としている。表面に直径約2.5cmの凹みを有する。

台石・石皿（第138・139図　1570～1575，1579～1581）

1570～1575，1579～1581は台石，石皿である。安山岩や砂岩，凝灰岩などの石材が多用されている。また，扁平な板状の素材を用いているものが多い。明瞭な凹面を有するものは1570，1573，1580，1581である。

1570は敲打痕が凹面と下側面に認められる。1571は表面に敲打痕が認められる。1570・1571は赤色顔料が厚く付着しており，顔料の粉砕に使用した可能性が高い。1574は表裏面に磨面があり敲打痕も認められる。1572は表面の上部に明瞭な磨面が認められる。1573は表裏面ともに凹状で明瞭な磨面が認められる。砥石の可能性もある。

1575は表裏面に磨面があり，敲打痕も認められる。左側面は成形のための敲打痕が認められ，右側面は破断している。1579は表面に明瞭な磨面が認められる。また下部に敲打痕が認められる。1580 は表面が磨られ凹面が形成されている。1581は表面が磨られ，緩い凹面が形成されている。裏面の一部に磨面が認められる。

有溝砥石・砥石（第139図　1576～1578）

1576 は砂岩製の有溝砥石である。表裏面及び左側面にＶ字状の溝が４本形成されている。1576・1578は砂岩製の砥石である。いずれも破断している面以外はすべて磨面が形成されている。



第151図　軽石製品（10）

軽石製品（第142～155図　1604～1677）

軽石製品（加工品）は約2000点近く出土している。意図的な穿孔や線刻，玉形や板形などへの形態加工のものを軽石製品とした。加工の状況が判別つかない，または素石の状態のものは数量内には入れていない。

1604～1623は軽石に穿孔や線刻等の細工を施した加工品である。多くは整形を伴った製品と考えられる。

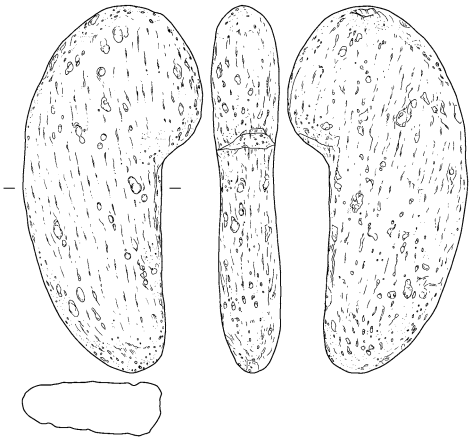
1614はサイコロ玉状の小型加工品で，ほぼ全面に断面「V」字状の線刻が施されたものである。線刻は幅約２～３㎜の細線で，面毎に組合せが異なっている。

1607は径約3.2㎝の円盤状を呈する軽石の２面に，それぞれ２個ずつの未貫通孔（径約0.4～0.5㎝）がみられる製品である。

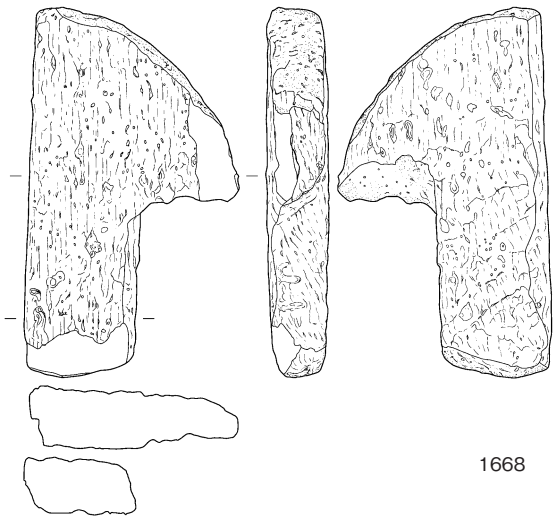
1604～1613，1615～1619，1621～1623は軽石に穿孔を施した，いわゆる有孔軽石加工品である。1604は最も小型の製品で，長さ2.5㎝，幅2.1㎝の楕円形状を呈し，厚さが1.05㎝でやや扁平である。面のほぼ中央に両面穿孔による径0.3～0.4㎝の穿孔がみられる。1605は径約3.7㎝の円盤状の加工品で，面のほぼ中央に両面穿孔による径0.4～0.5㎝の穿孔がみられる。1606・1623は，やや縦長の筒状を呈する加工品で，前者が縦軸と並行に，後者が縦軸に対して垂直に穿孔を施したものである。

1621と1622は，それぞれ楕円形，円形を呈する面の中央に穿孔（それぞれ径約0.4㎝，0.8～1.1㎝）がみられる加工品である。1608～1616は，楕円形状を呈するやや扁平な加工品で，面のほぼ中央に両面穿孔の孔がみられる製品である。

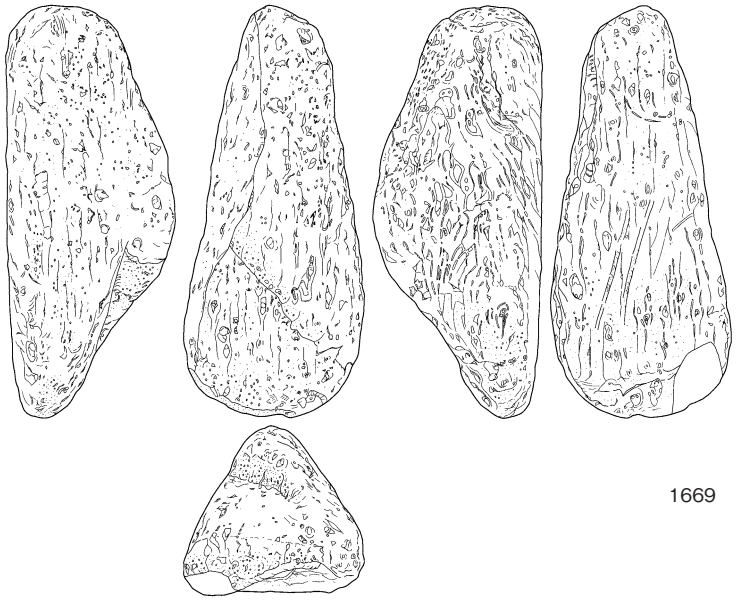
1611～1613は楕円形状を呈するやや扁平な加工品で，



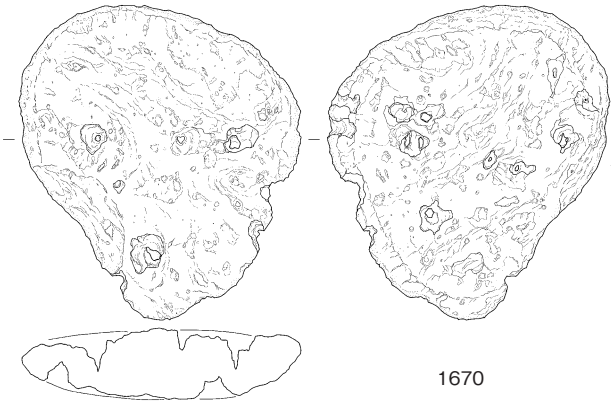
1667



1668



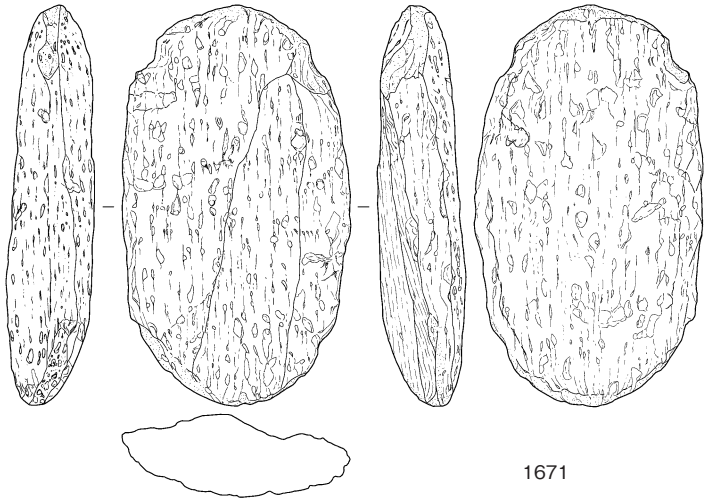
1669



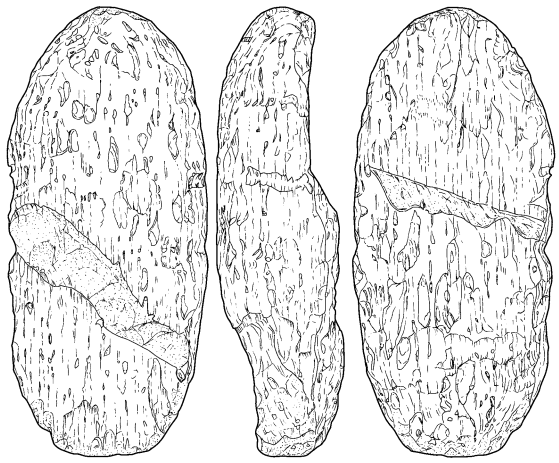
1670

0 (1 : 3) 10cm

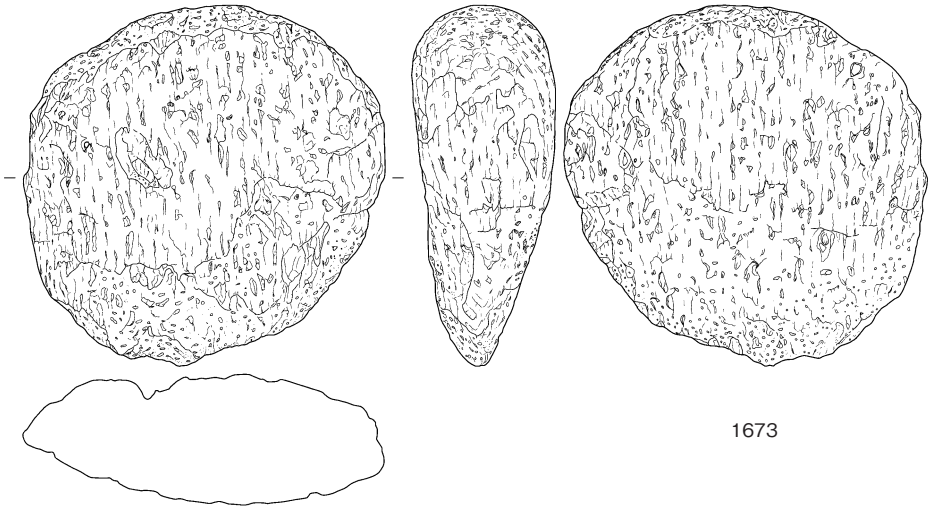
第152図　軽石製品（11）



1671



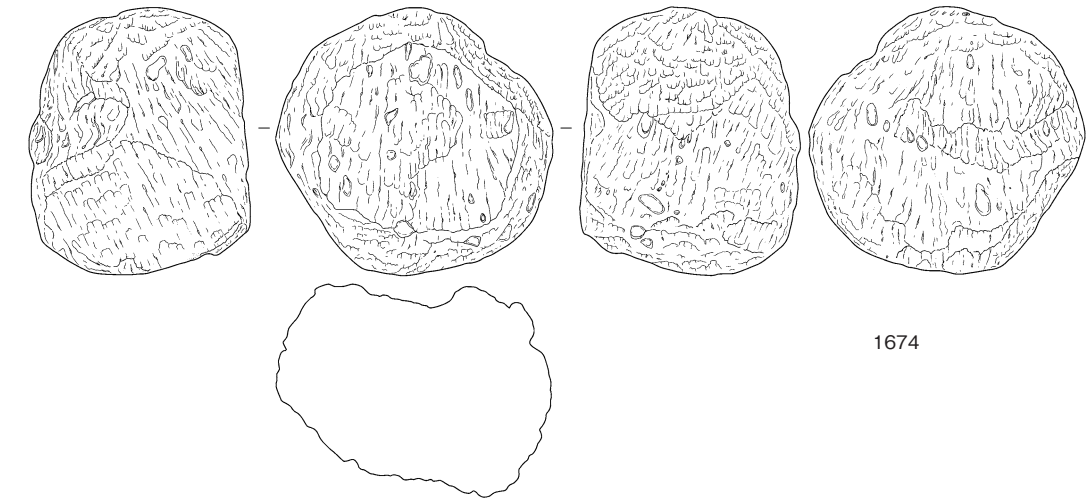
1672

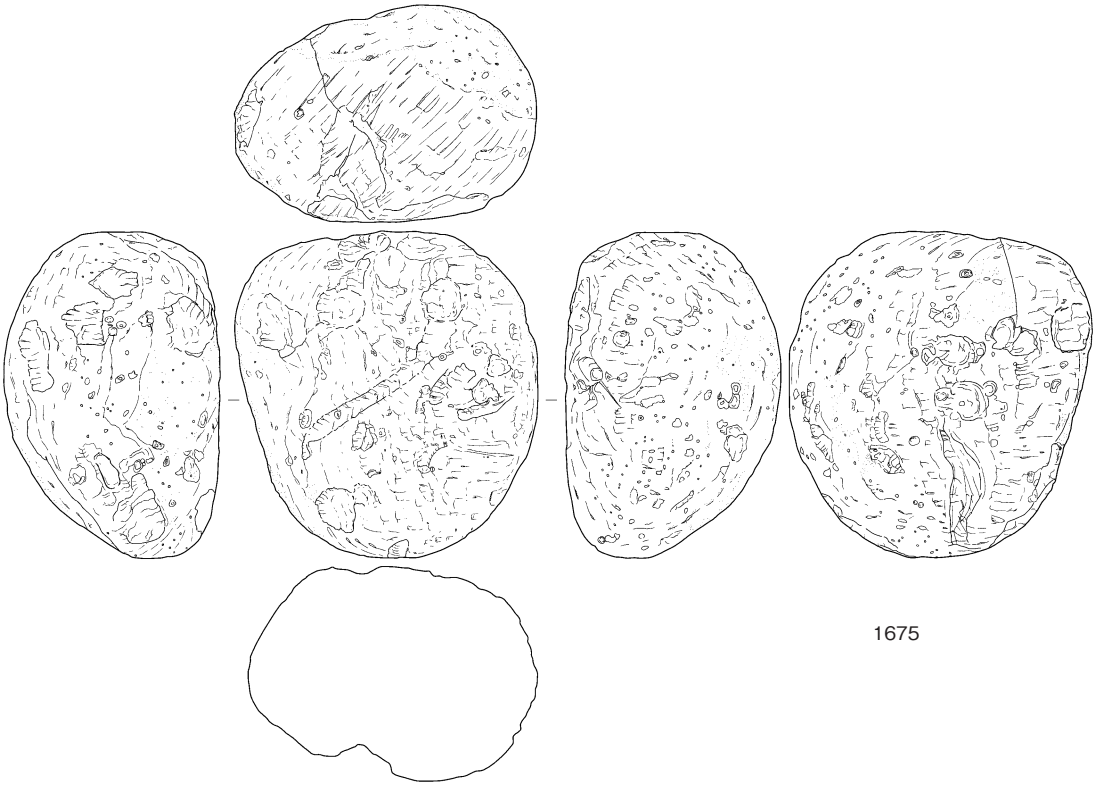


1673

0 (1 : 3) 10cm

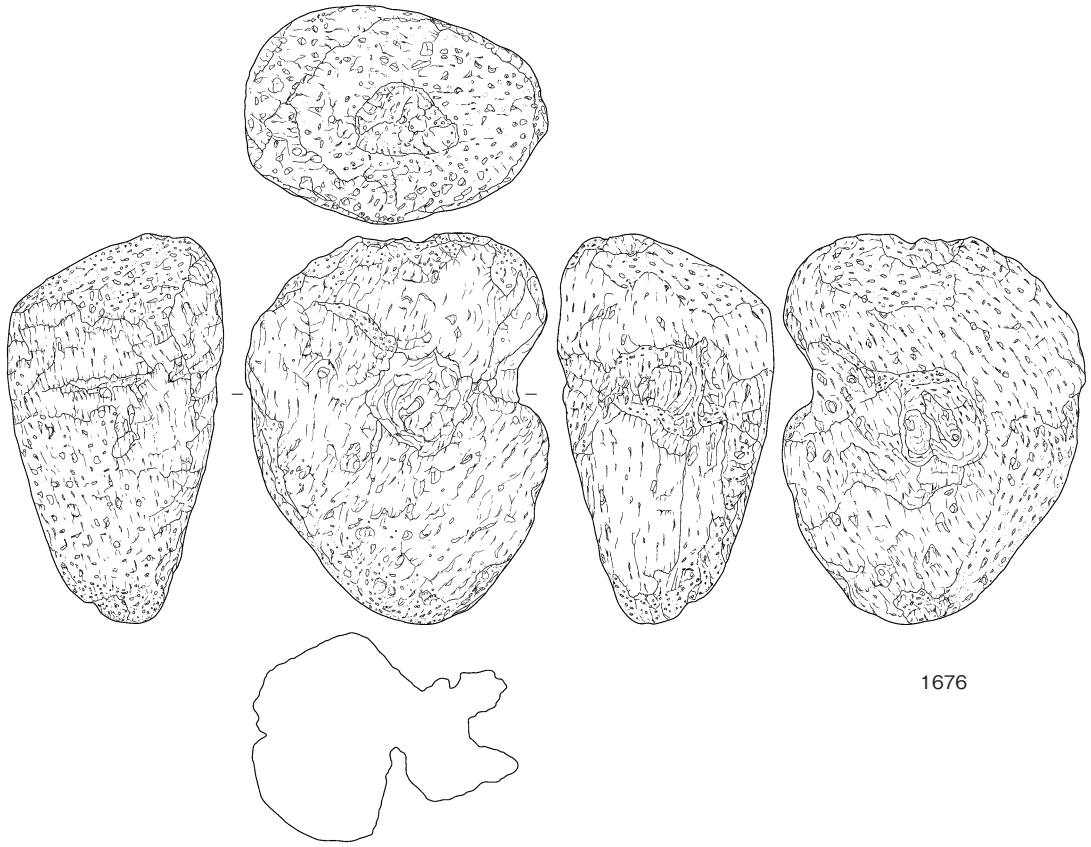
第153図　軽石製品（12）

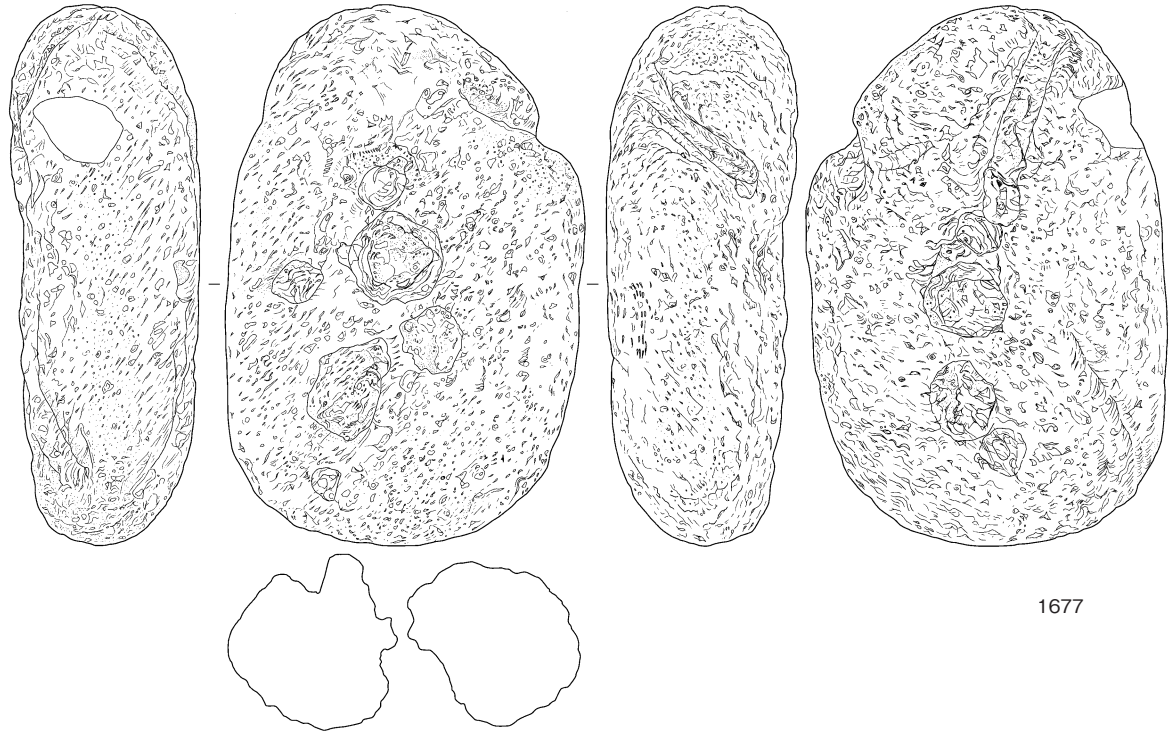




0 (1 : 3) 10cm

第154図　軽石製品（13）





0 (1 : 3) 10cm

第155図　軽石製品（14）

長軸方向の偏った位置に穿孔を施した製品である。1617・1618は棒状を呈し，長軸方向の偏った位置に穿孔を施した製品である。断面がやや方形状に整形されている。

1620～1642は器面のいずれかに直線の溝状凹線を施した，いわゆる有溝軽石加工品である。溝の断面形は「U」字や「V」字状をなしている。また，一面でみられる溝の本数は１～５本を数える。複数の溝は平行線の場合が多いが，中には「X」字状を呈する例（1625・1626・1630・1637）や，凹点との組合せが考えられる例（1626・1637）もある。

1643～1652は，面の一部に「凹」部が施された加工品である。「凹」部には，擂り鉢状を呈する例（1643・1646・1650）や凹点状を呈する例（1648），面全体を凹ませた例（1649，1651，1652）などがある。その他1645は，「凹」部の中に平行する２本の溝（断面「V」字状）がみられる。また，側面形が「C」字状を呈する1647のような製品もある。比較的大型の1652は，一部欠損しているが，一面全体を凹ませ，平面形の一部を三角形状に仕上げている。舟の舳先あるいは二枚貝の貝殻を模した可能性も考えられる。

1653～1657は，比較的扁平な断面形を示す板状の加工品である。1653は表裏両面に鋭利な工具による直線の溝状凹線を施したものである。凹線の断面形が深い「V」字状を呈する。1654・1655は，いずれも面の端部に穿孔が施された加工品であるが，平面形がそれぞれ円形と方形という違いがある。1655は丁寧な整形で均整のとれた円盤状をなす。1656も略円形盤状を呈する比較的大型の板状扁平加工品である。1657は本遺跡出土品の中で最も大型の板状扁平加工品である。一部が欠損しているため全形は不明である。1656と同様に丁寧な整形を行っている。

1658～1660は比較的厚みのある円盤状加工品である。いずれも表裏両面及び側面を丁寧に整形している。1659については両面共に浅い凹点状の凹部がみられるが，人為的かどうかについての判断は厳しい。

1661～1677は特殊な形状及び加工がみられる製品である。

1661は平面形が二等辺三角形状を呈する扁平な加工品である。底辺部に略「V」字状の抉り部を設けている。

1662は断面「V」字及び「U」字状の溝状線刻を前面に施す製品である。1663は平面が楕円形でやや棒状を呈する軽石の２面に，緩やかにカーブを描く磨面をもつ製品である。1664・1665は断面が略方形状を呈する棒状の加工品である。1664は棒状の両端部から約0.2cm内側にそれぞれ溝状の線刻を入れ，全体を３つの区画に分割している。長さ約0.6cmの中央区画には，全面に展開する縦長の溝状線刻を数本巡らせている。

1665の両端には欠損がみられるものの，形状としてはいずれも比較的鋭利な仕上げを行っていたと考えられる。４面で形成する体部には，３面に縦長の溝状線刻が施されている。1666は平面形が径1.1cm弱，形状が平坦な面とカーブを描く面の２面からなる饅頭形を呈する加工品で，平坦面に断面形が「V」字及び「U」字状の溝状線刻（長さ0.3～０.4cm）を，ほぼ全面に展開させた製品である。

1667・1668は，長軸が15cm前後と比較的長いのに対し，厚さが約0.2cm，しかもほぼ均一に保っている扁平な加工品である。形状は1667が勾玉状，1668は３か所に欠損部がみられることから，全形は知り得ないが，残存部から推定すると，元来円形を呈していた可能性も考えられる。1669は断面が略三角形を呈する棒状の加工品である。長さが17cm弱と比較的大型である。整形された３面のうち，２面は特に平坦度が高い。平坦化が目的なのか結果なのか不明である。1670は不定形ながら丁寧に平坦面を形成した加工品である。一面には径0.1～０.15cmの凹点を３か所に配置し，一見顔面（両目と口）を想像させる仕上げを行っている。その裏面にも同様な凹点が複数観察できる。

1671～1677は，法量値が比較的高い大型加工品である。1671は長さ16.3cm，幅9.2cmで，平面が小判形を呈する加工品である。片面に剥がれ取られたような凹部がみられる。1672は長さ18.3cm，幅8.2cmで，1671をさらに長くした形状を呈するが，厚さが5.2cmと２倍近くの差がある。

1673は径1.47cmの略円形の平面を呈する加工品で，閉じた二枚貝のように，側面の一部がやや平坦で，その反対側を鋭い稜線で仕上げている。1674は一辺がキューブ状の加工品で，面にやや不明瞭な円形及び溝状の凹部が施されている。

1675は長さ13.2cm，幅12.2cm，最大厚8.5cmを測る略球状の加工品である。径0.1cm強の凹点や，断面「V」字及び「U」字状の溝状線刻が施されている。側面や線刻の一部に赤茶色に変色した部分がある。詳細は不明であるが，側面は帯状に変色していることから，人為的な可能性も否定できない。

1676は略三角柱状を呈する大型加工品である。径0.3～0.4cm，深さ0.25～0.35cmの凹点が４か所施されている。1677は長さ22cm，幅14.6cm，最大厚7.8cmを測る，本報告最大の軽石製品である。平面のほぼ中央部に径0.4cm前後の凹部があり，一部は貫通した状態となっている（貫通孔は長軸0.8cm，短軸0.5cmの楕円形状）。また，凹部は中央孔の両サイドやその周辺にも複数施されており，機能，性格が注目される。

２　弥生・古墳時代の調査（第156図）

弥生・古墳時代に相当する遺構は確認されていない。遺物はⅠ・Ⅱ層中で出土しているが少量である。また，出土したものは総じて小片であり，形態が判別できるものも表面が摩滅している。ここでは，良好に残存していたものに限って図化した。

1678・1679は，弥生時代前期の突帯文土器の甕である。1678は刻目突帯であり，浅い刻目が施される。胎土には，滑石が含まれており，光沢をもつ。1679は刻目をもたない２条突帯である。1680は弥生終末期の中津野式土器の甕である。口唇部が鋭く，端部の断面は四角形になる。器面調整は内外面ともにヨコナデである。1681は古墳時代の成川式土器の甕の脚部である。中空で，外面には指頭圧痕が残る。

３　古代の調査

古代に相当する遺構は，Ｄ－10・11区のⅡ層上面でＳＬ２・３が検出された。調査区全体では，Ｃ・Ｄ－９～12区で古代の包含層（Ⅱ層）の残存が良好であったことから，遺物もこの区内のものが多い。

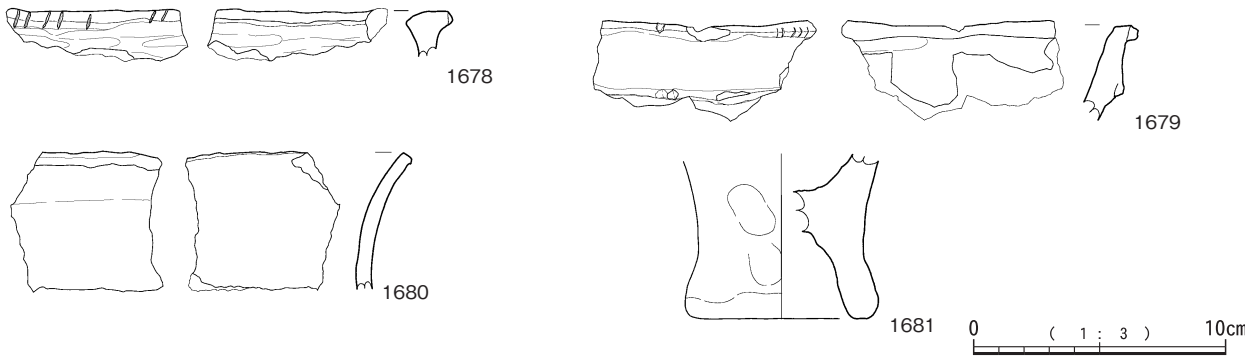
（１）遺構

ＳＬ２（カマド状遺構）（第157・158図）

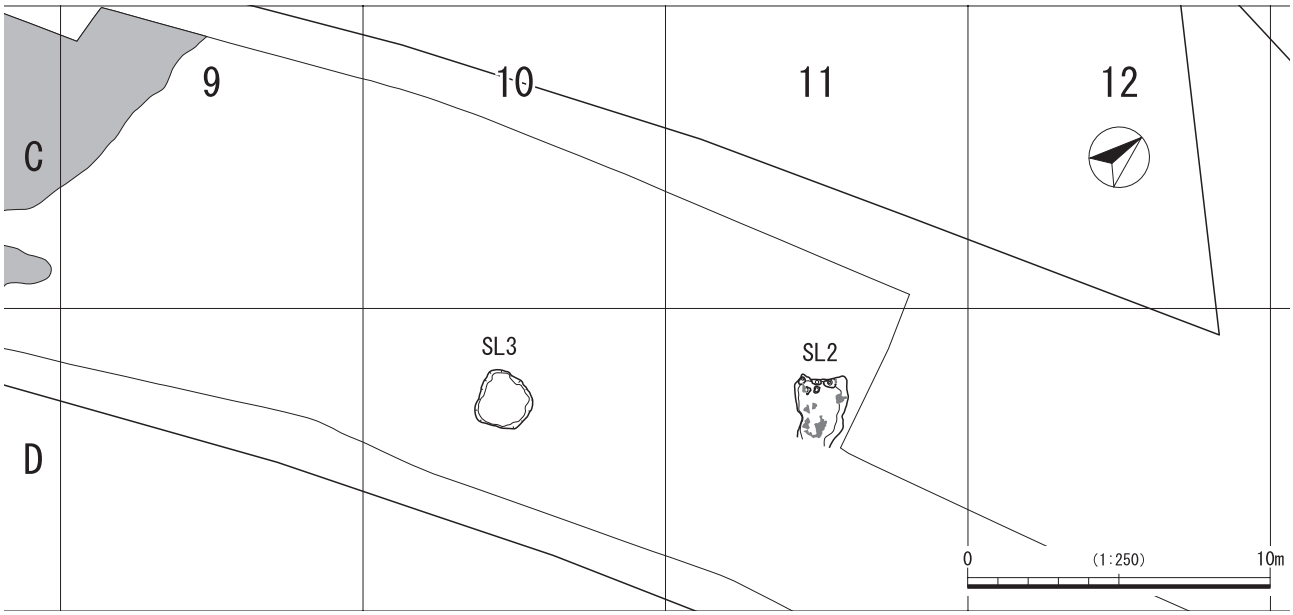
検出状況　Ｄ－11区のⅡ層上面で検出された。赤褐色の焼土や炭化物が散在しており，その範囲を精査およびサブトレンチを入れて遺構の形状を確認した。

形状・規模　馬蹄状（Ｕ字状）に焼土塊が残存していたカマド跡である。焚き口は北東に開いており，灰溜まりははっきりしないが，焚き口側には炭化物が層になって残存していた。北東側の焼土塊は，壊れた竈壁が散在したものである可能性がある。

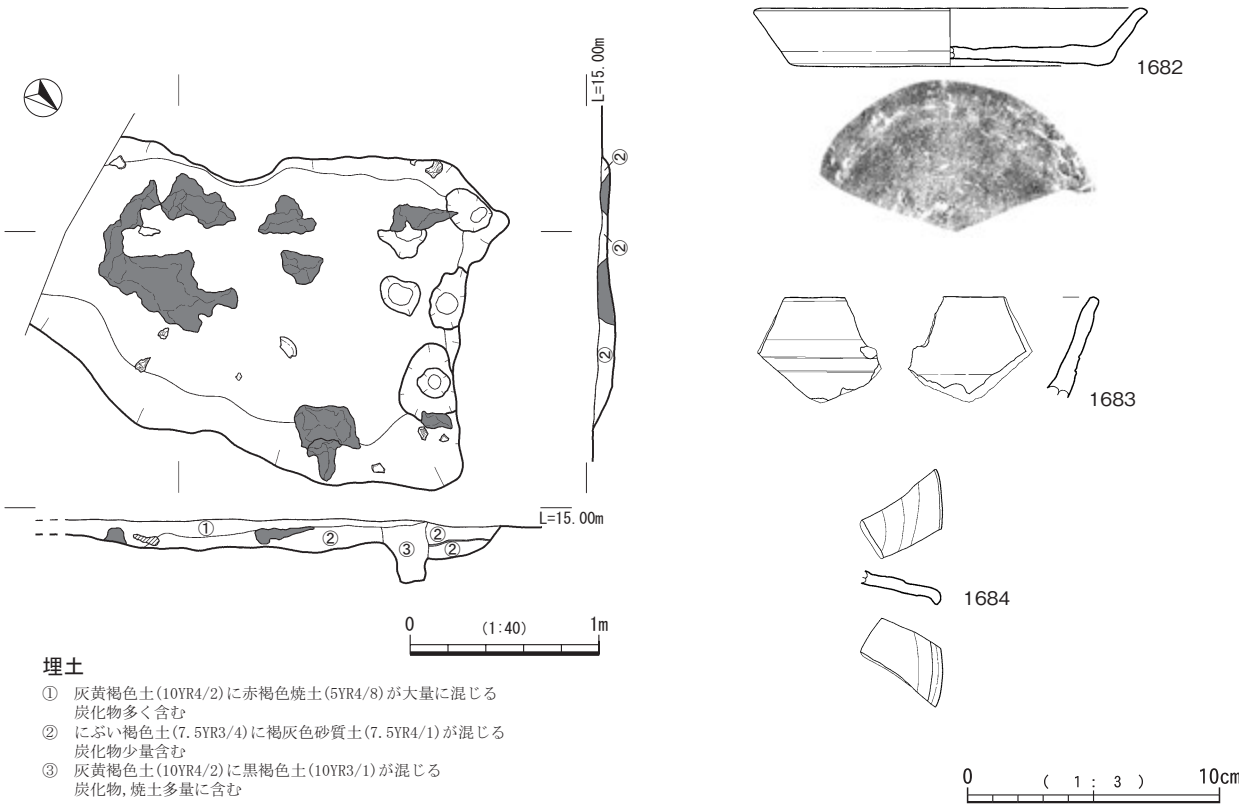
北側にはピットが数基あり，埋土には焼土を含むが，遺構に伴うものかは判断しがたい。また，カマド跡は楕円形の掘り込み内に設置されている（南側の掘り込みは削平のため，残存せず）。



第156図　弥生・古墳時代出土遺物



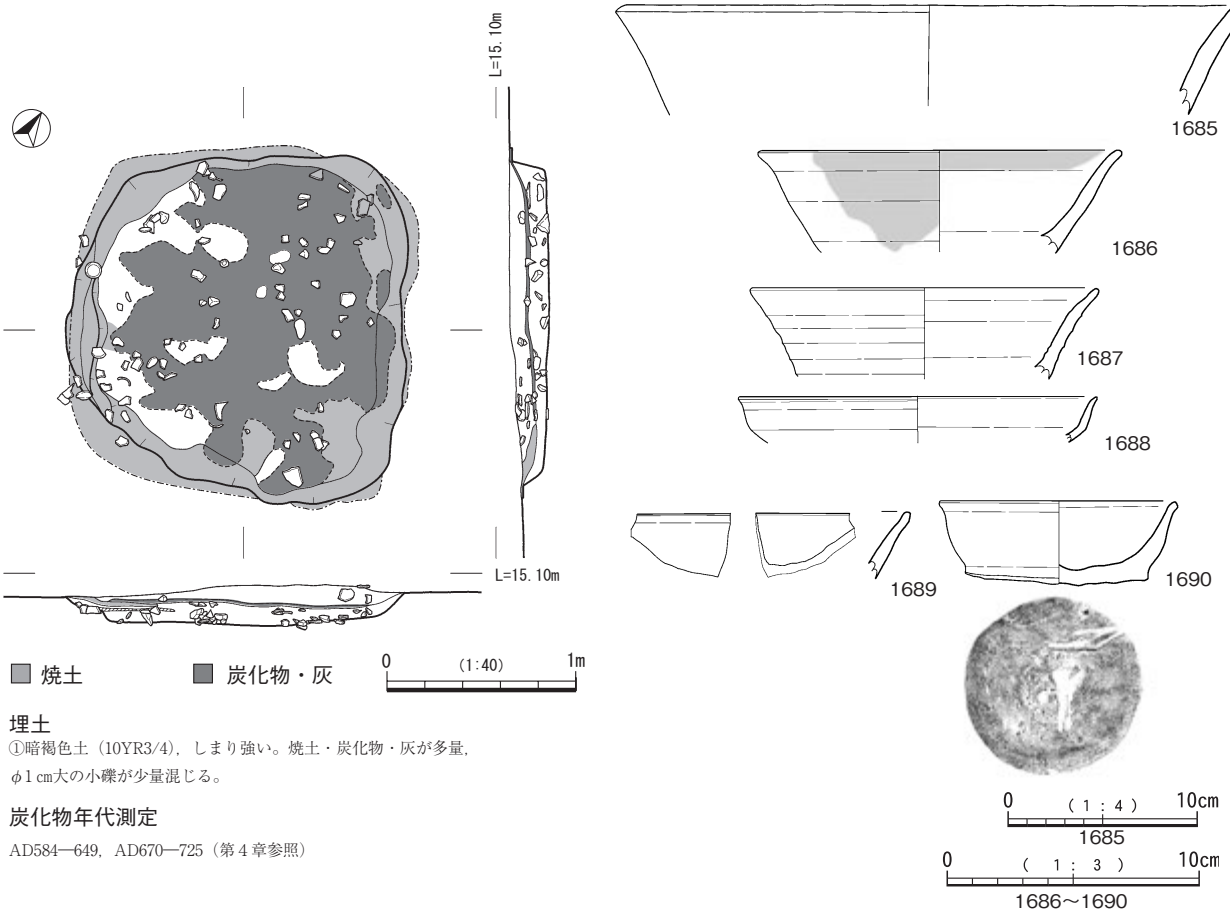
第157図　古代　遺構配置図



埋土

① 灰黄褐色土(10YR4/2)に赤褐色焼土(5YR4/8)が大量に混じる
炭化物多く含む
② にぶい褐色土(7.5YR3/4)に褐灰色砂質土(7.5YR4/1)が混じる
炭化物少量含む
③ 灰黄褐色土(10YR4/2)に黒褐色土(10YR3/1)が混じる
炭化物,焼土多量に含む

第158図　SL２　遺構・出土遺物



■ 焼土　■ 炭化物・灰

埋土

①暗褐色土（10YR3/4），しまり強い。焼土・炭化物・灰が多量，
φ1㎝大の小礫が少量混じる。

炭化物年代測定

AD584―649，AD670―725（第４章参照）

第159図　SL３　遺構・出土遺物

遺物　1682・1683・1686は土師器の坏である。1686は，内外面に強い回転ナデ痕残り，外面と口唇部が黒色化している。1683は外面には赤色顔料が塗布されており，強い回転ナデの痕跡が明瞭に残る。1682はヘラ切り底で，胎土は精緻で赤色鉱物を多く含む。1684は土師器の蓋の端部である。

分析・年代　出土炭化物の年代測定結果では，７世紀中～８世紀前半（AD657-713：第Ⅳ章参照）という年代測定結果が出ているが，土師器の特徴から８世紀後半段階と考えられる。

ＳＬ３（土師器焼成遺構）（第157・第159図）

検出状況　Ｄ－10区のⅡ層上面で検出された。方形に沿って炭化物の黒色のしみ込みの範囲と黒色の範囲内にみられた赤褐色の焼土や灰の広がりから遺構のプランを推定した。

形状・規模　180×180㎝の正方形を呈す。検出面からの深さは約20㎝，断面形は床面が平坦で，壁面の立ち上がりはやや外方向へ開く。床面約10㎝で，炭化物の層が堆積しており，焼土塊や灰の広がりも確認された。

遺物　1687・1690は坏である。1687は強い回転ナデで成形され，焼成がよく硬質である。1690は完形品で，外面に赤色顔料が少量残る。焼成が良く，ヘラ切り底で，内面には黒色の有機物痕が残る。1685は，甕の口縁部である。胎土には，φ１～２mm大の小礫を多く含み，表面はやや摩滅している。1688・1689は皿である。器厚が薄く，胎土には赤色鉱物を多く含む。また，図化していないが，断面四角形の土師器埦の高台片が２～３個体分出土している。なお，埋土内には，表面が摩滅し，二次焼成を受けた縄文土器片も多くみられた。

出土遺物としては少ないが，多量の炭化物・焼土・灰が埋土に含まれていること，土師器埦の高台片や焼成が良好な土師器は出土していることを考慮すると，土師器焼成遺構の可能性が高い。近隣の古代駅家の関連遺跡である外園遺跡では，同規模の方形の土師器焼成遺構が確認されている。

分析・年代　出土炭化物の年代測定結果では，６世紀後半～７世紀中葉，７世紀後半～８世紀前半（AD584－649，AD670-725：第Ⅳ章参照）という結果が得られている。出土遺物からみれば，８世紀後半段階と考えられる。

（２）遺物

ア　土師器

甕・鉢・把手　1699・1700は土師甕である。1699は口縁部が短く緩く外反し，口唇端部を強いナデで成形する。内外面の器面調整は，横方向のケズリで，外面の口縁部下位には明瞭な指圧痕を残す。1700は，ヨコナデで器面調整され，胎土にはφ0.5～１㎝大の白色・赤色鉱物が多く含まれる。1701は甕または甑の把手で，牛角状を呈す。器面には指頭圧痕がみられ，ナデで調整されている。

1726は鉢である。非常に焼成が良く，硬質で胎土は精緻である。内外面ともに回転ナデで調整されている。

内黒土師器　1701・1722・1723は内黒土師器の埦で，1724は平底の坏である。1719は，口唇部が玉縁状で，内外面ともに横方向のミガキで調整されている。

高台付坏　1714～1718・1720・1723は，高台付の坏である。1714，1716，1717，1722の高台は低く，断面四角形で須恵器坏の高台と類似する。９世紀前半期に相当すると推定される。1715・1720・1721は，高台の端部は先細り，ハの字に開く。1715は須恵質で灰白色を呈し，外面が黒色化している。

坏　1702～1713は平底の坏である。いずれもヘラ切り底で，内外面ともに回転ナデで成形される。形態は須恵器と類似しており，底部～体部にかけて立ち上がりは緩く，丸みを帯び，口縁部にかけて直線的に伸びる。1712・1713は器高が低い坏である。

蓋　1727～1730は蓋である。外面中央部には宝珠形のつまみがつく。1727・1728は，赤色顔料が塗布される。

高坏　1725は高坏の脚部である。焼成が良く，硬質で内面は黒色化している。

イ　須恵器

坏　1691は高台付坏であり，高台は低く，断面四角形のものがつく。1692は坏であり，体部から口縁部にかけて直線的に立ち上がる。

蓋　1693は端部を丸いが，内面に小さなかえりがつく。形態は半円状で，天井部が高さをもつ形を呈す。

壺　1694は逆くの字の二重口縁の壺で，口唇部に黒色の自然釉が付着する。

甕　1695～1698は，大型の甕である。1695は口縁部で，外面には自然釉（黒色）が付着する。1696・1697は胴部で，外面は格子目タタキ，内面には同心円状当て具痕が明瞭に残る。1698の内面は平行文タタキが残る。

ウ　土製品（土錘・紡錘車）

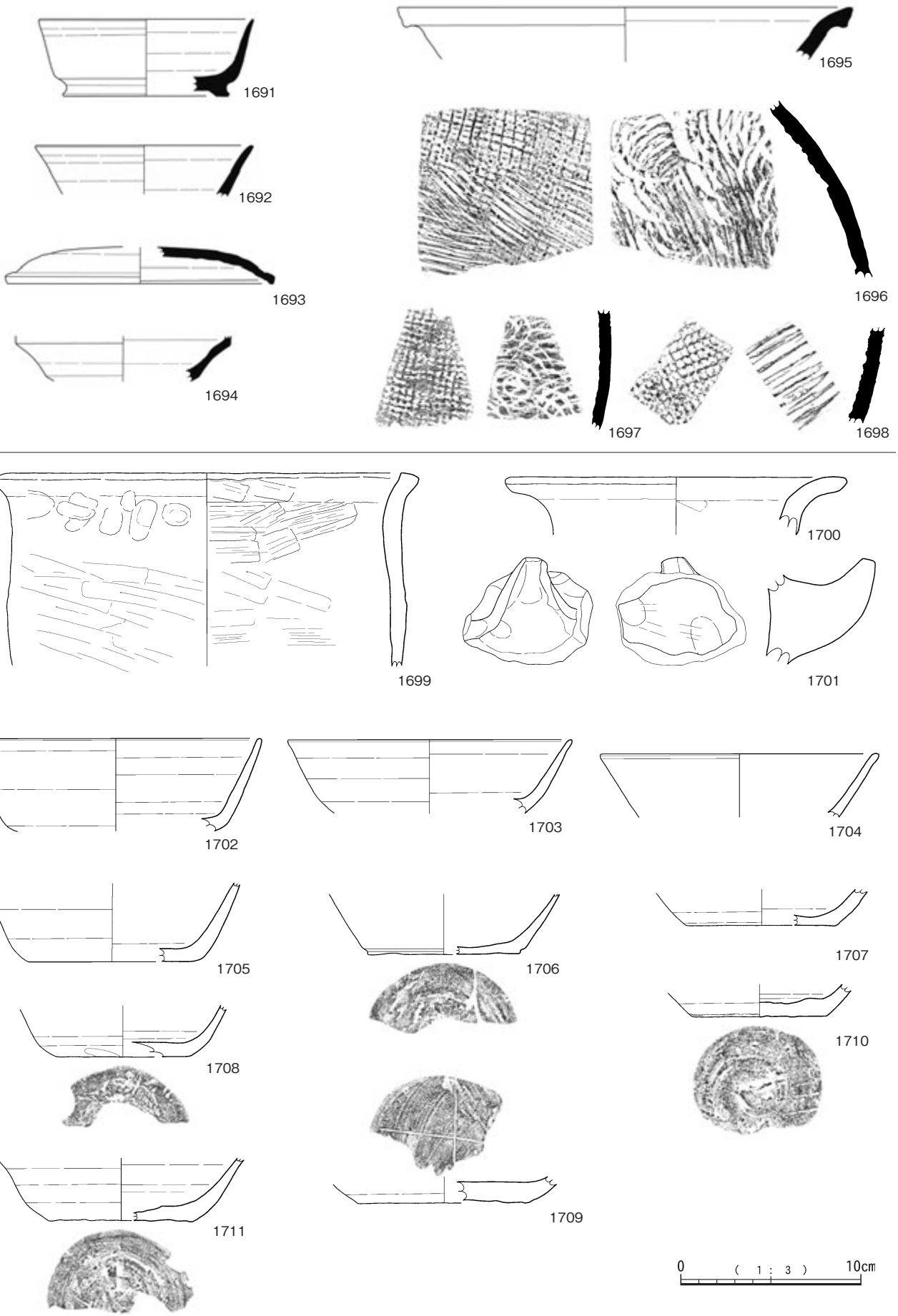
1732～1739は土錘である。中世の可能性もあるが，古代として報告する。1739は表面にわずかだが，赤色顔料が付着している。1734は表面が丁寧なミガキで成形されている。1731は，土製の紡錘車である。

４　中世の調査

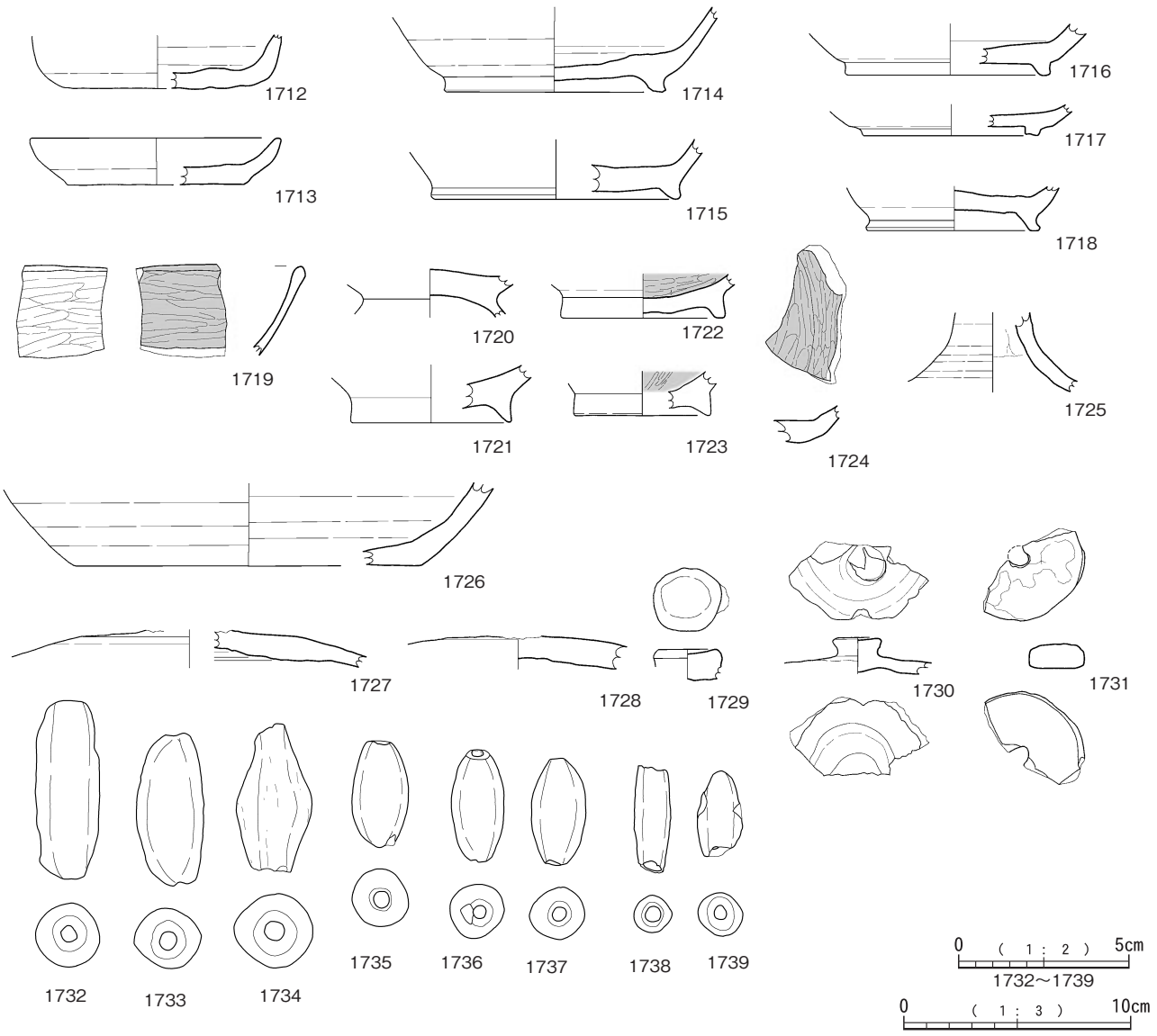
中世の遺構・遺物は調査区全体からⅡ層・一部Ⅳ層上面で検出された。しかしながら，近世以降の造成によって，包含層は良好な状態で残存しておらず，遺物の出土量は少なく，小片が多い。

遺構・遺物の帰属時期としては，①12世紀後半～13世紀段階と，②15～16世紀段階の２期に大別できる。

遺構は，Ｂ・Ｃ－２～６区で検出された。ピットが全



第160図　古代　出土遺物（1）



第161図　古代　出土遺物（2）

体的に散在するが，掘立柱建物跡や竪穴建物跡などはＢ・Ｃ－３～５区に集中していた。この区域に関しては，Ⅱ層が非常に薄く，表土下60㎝でⅧ層（米丸マール岩盤層）が検出されたが，Ⅷ層の岩盤を刳り抜いた掘立柱建物跡，竪穴建物跡，ピット等が検出された。また，刳り抜いた米丸マール岩盤片を利用したカマド跡（ＳＬ４）も確認された。このような遺構は，他に類例はなく，本遺跡の地形的な特質と土地利用を考える上で，非常に希少な例である。

ピットも多く検出されている。検出状況，埋土から中世に帰属するものと判断したが，遺物も出土しておらず，詳細な時期判断はできなかった。本報告では建物跡と判断できたものと，特徴的なものに限って報告する。

（1）遺構

ＳＢ１（掘立柱建物跡１号）

検出状況　Ｃ－５区のⅡｃ層・Ⅳ層上面で検出した。

形状・規模　平面形は北西方向に主軸（Ｎ45°Ｅ）をもち，梁行が調査区外（南東方向）に続く可能性が高く，全形は不明である。柱穴はすべてⅧ層の米丸マール岩盤層を刳り抜いて成形されており，規模も40～80㎝と比較的に大きい。Ｐ１に関しては，西側の巨大な岩片から岩盤層を掘り抜いている。Ｐ１は他と比べ，深さが60㎝と深いが，他は約40㎝ほどである。

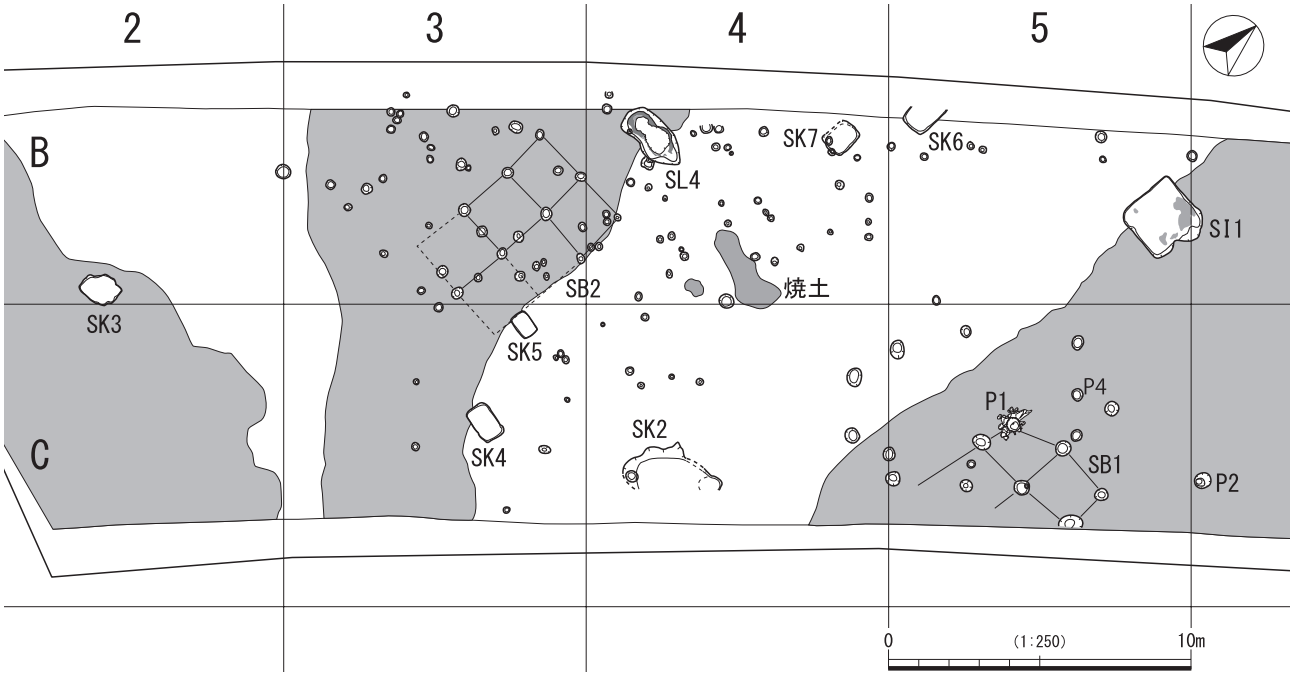
埋土　柱穴の埋土はいずれも暗褐色土（10YR3/4）で，φ２～３㎝大のマール岩盤片を含む。

出土遺物　柱穴内からは，縄文土器の小片が出土したが，中世の遺物は確認されなかった。

ＳＢ２（掘立柱建物跡２号）

検出状況　Ｂ－３・４区のⅣ層上面で検出した。

形状・規模　平面形は北方向に主軸をもち，２×３間の総柱の建物跡である。南東側の柱穴は，先行トレンチによって検出できなかった。規模は，桁行間北側で380



第162図　中世　遺構配置図

cm，梁行間東側約580cm（推定）である。柱跡の床面はすべてⅧ層の岩盤層である。

埋土　柱穴の埋土はいずれも暗褐色土（10YR3/4）で，φ２～３cm大のマール岩盤片を含む。

出土遺物　柱穴内から青磁の極小片が出土した。

ＳＩ１（竪穴建物跡１号）

検出状況　Ｂ－５区のⅡ層面で，焼土片を含む埋土を検出した。

形状・規模　平面形は隅丸方形状で約210cm×210cmである。検出面からの深さは約20cmで，床面と一部の壁面はⅧ層を掘り抜いて形成されている。北東側のプランが膨らんでいるのは，岩盤が崩落しているためである。床面はⅧ層の岩盤層を平坦に成形している。壁帯溝は確認されなかった。四隅には柱穴が配置されている。北側の柱穴は，柱材の安定のためか，穴の周囲をマール岩盤片で囲っていた。

埋土　暗褐色土をベースに，多量の焼土・炭化物を含む埋土である。また，炭化木も多量に含まれており，焼失建物跡の可能性が高い。

出土遺物　土師器の小片や粘土塊も出土しているが，図化できた２点を報告する。1740は，土師器皿（糸切底）でほぼ完形ある。回転ナデ痕もみられるが，非常にゆがみが強い。埋土上面で出土した。1741は，口禿の白磁皿（Ⅸ類）である。

分析・年代　出土した炭化木の樹種同定を行い，スガジイやツブラジイ等であったことが確認された。これらは建築部材の可能性が推測される。なお，炭化木の年代測定の結果では，13世紀後半～14世紀の測定結果が得られている。出土遺物とも整合はあり，おおむね帰属時期は14世紀の範疇に相当すると考えられる。

ＳＬ４（カマド状遺構）

検出状況　Ｂ－４区のⅡc層で焼土と炭化物の楕円状の広がりを検出した。

形状・規模　東西方向に中央がくびれる形状で，炊き口は東側に広がる。縦軸約2400×横軸800cmでカマド本体周辺は約15cmの掘りこみがあり，その床面の同レベルに本体の被熱した（赤化）粘土塊が残存していた。カマド内部と炊き口には弱い被熱をうけた粘土ブロックが広がっていた。カマド本体下には深い掘りこみが確認でき，床面はⅧ層の岩盤層で被熱痕がみられた。西側のカマド本体には粘土ブロックの内部に板状のマール岩盤をブロック状に組んだ状況が確認された。

埋土　粘土ブロックや炭化物を含む褐色土，黄橙色土の間に炭化物層・焼土層が堆積していた。

出土遺物　土師器の小片が出土した。

土坑（SK2～７）

ＳＫ２

検出状況　Ｃ－４区のⅡｃ層上面で検出した。

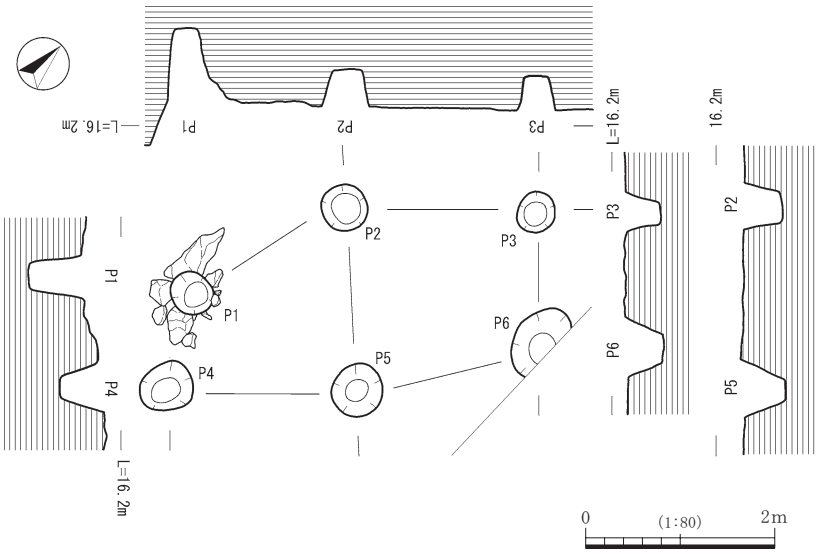
形状・規模　不定形で呈し，長軸約280cmで東側には不明瞭だが40cm大の掘り込みがあったと想定された。

埋土　暗褐色土で，Ⅱb層に類似する。φ２～３cm大のマール岩盤片を含み，掘り込み部には炭化物が少量混じる。

出土遺物　縄文土器の極小片が出土した。

ＳＫ３

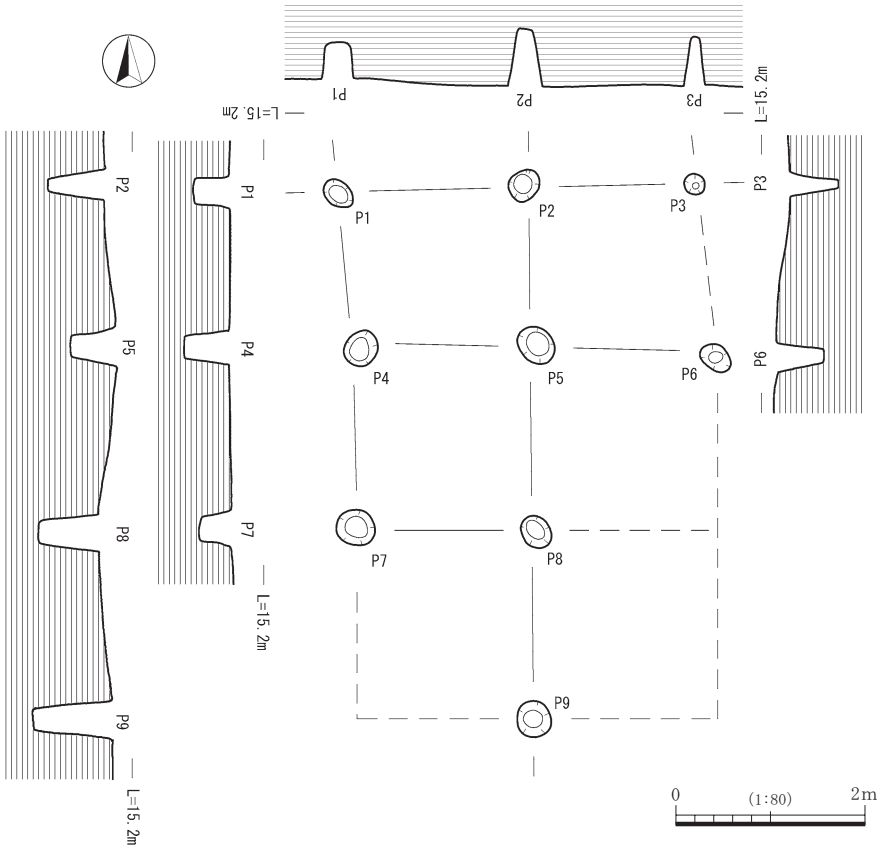
検出状況　Ｂ－２区のⅡ層で検出した。



No	柱穴（cm）		
	長径	短径	深さ
P1	50	46	60
P2	50	50	40
P3	40	40	32
P4	58	50	50
P5	52	50	50
P6	80	72	40

主軸	方向	柱穴	柱間距離	
			cm	尺
N45° E	桁行	P1-P2	180	5.94
		P2-P3	200	6.60
		P4-P5	200	6.60
	梁行	P4-P5	200	6.60
		P1-P4	100	3.30
		P2-P5	200	6.60
		P3-P6	150	4.95

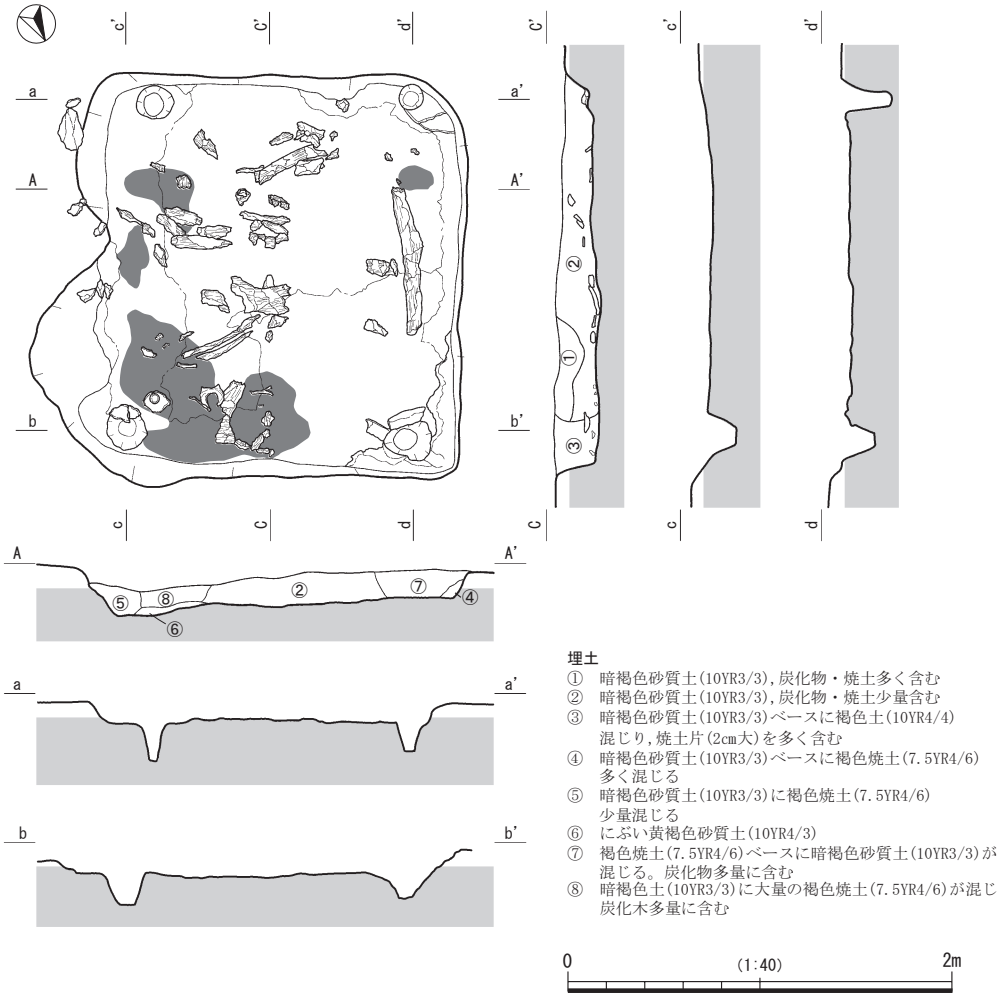
第163図　SB１（掘立柱建物跡）

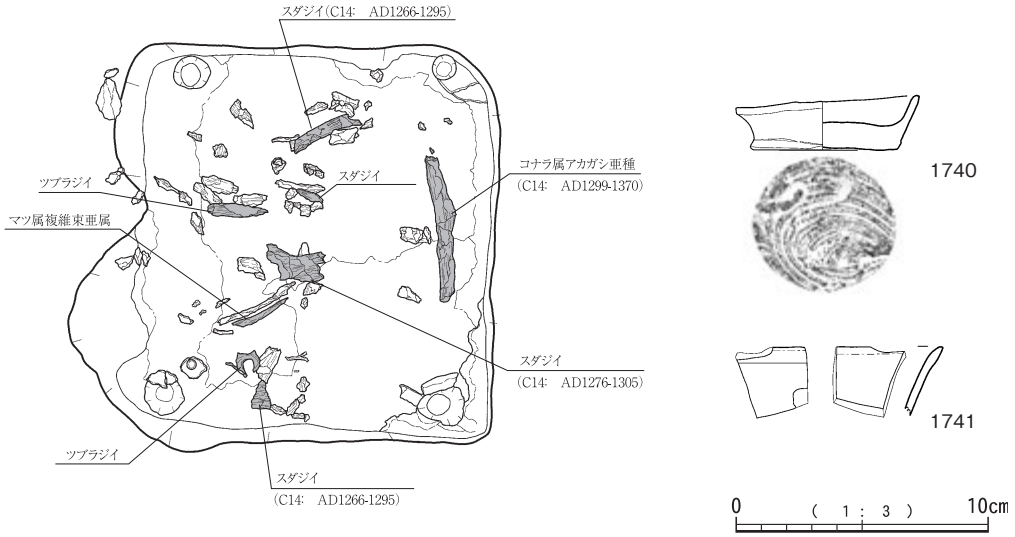


No	柱穴（cm）		
	長径	短径	深さ
P1	38	30	40
P2	32	30	60
P3	20	20	50
P4	40	38	50
P5	40	38	50
P6	38	30	48
P7	42	38	30
P8	38	30	62
P9	40	36	82

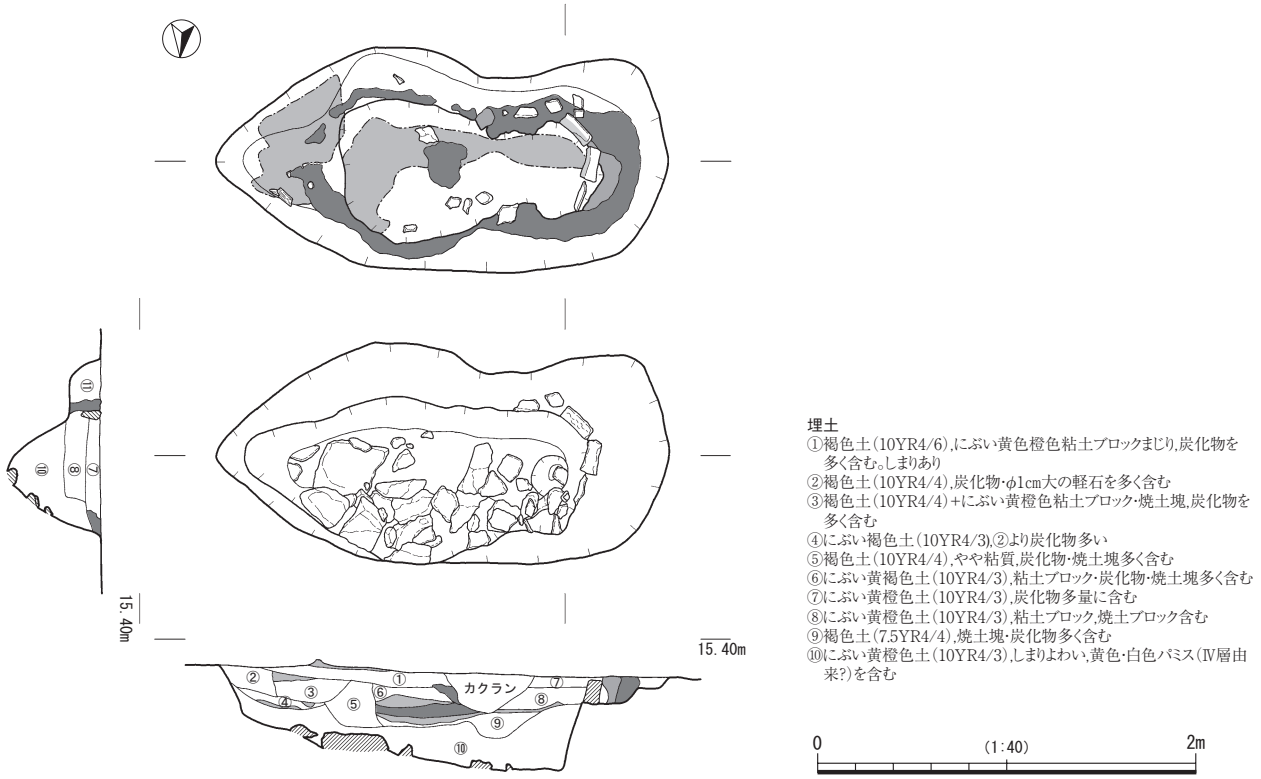
主軸	方向	柱穴	柱間距離	
			cm	尺
N0°	桁行	P1-P2	200	6.60
		P2-P3	180	5.94
		P4-P5	190	6.27
		P5-P6	190	6.27
		P7-P8	190	5.61
	梁行	P1-P4	170	5.61
		P2-P5	170	5.61
		P3-P6	180	5.94
		P4-P7	190	6.27
		P5-P8	200	6.60
		P8-P9	200	6.60

第164図　SB２（掘立柱建物跡）





第165図　SI 1 （竪穴建物跡）



第166図　SL４（カマド状遺構）

形状・規模　約123×100cmの不定形の土坑で，西側の縁にはⅧ層の大きな岩盤片がみられた。床面はⅣ層である。
埋土　暗褐色土でややしまりがある。
出土遺物　遺物は出土していない。

ＳＫ４
検出状況　Ｃ－３区のⅢ層上面で検出した。
形状・規模　約86×58cmの長方形を呈す。
埋土　暗褐色の砂質土で，φ0.5～２㎜大の軽石を多く含む。
出土遺物　遺物は極小片が出土している。

ＳＫ５
検出状況　Ｃ－３区のⅢ層上面で検出した。
形状・規模　約78×125cmの長方形を呈す。
埋土　暗褐色土で，ややしまりあり。
出土遺物　遺物は出土していない。

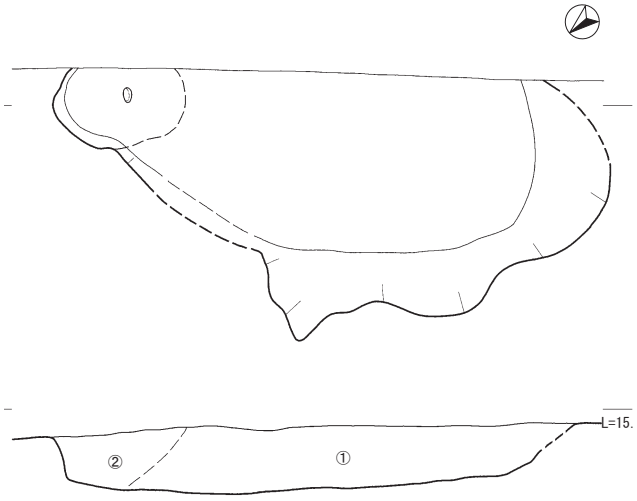
ＳＫ６
検出状況　Ｂ－５区のⅡc層上面で検出した。
形状・規模　約85×113cmの長方形を呈す。北側は先行トレンチによって削平されていた。
埋土　暗褐色土で，床面の埋土がややしまりが弱い。
出土遺物　遺物は出土していない。

ＳＫ７
検出状況　Ｂ－４区のⅡc層上面で検出した。
形状・規模　約95×120cmの長方形を呈す。長軸は調査区外に延びる。
埋土　暗褐色土で，床面の埋土がややしまりが弱い。
出土遺物　遺物は出土していない。

ピット群
Ｂ・Ｃ－４～６区でⅡc層・Ⅳ層面で約105基検出した（掘立柱建物跡柱穴除く）。Ｂ・Ｃ―４区を中心としたⅧ層が深く落ち込む箇所については床面がⅣまたはⅤ層であったが，Ⅷ層が浅い箇所に関しては，Ⅷ層を刳りぬいた柱穴であった。Ｃ－５区の柱穴は幅が約50cm大と比較的大型のものが多い。検出した柱穴の深さは約10～50cmとばらつきがある。５～７区にかけても浅いピットが数基検出している。本報告では，特徴的な柱穴と考えられるものに限って報告することとした。

Ｐ１（ＳＢ１－Ｐ１）
検出状況　Ｂ－４区のⅡc層上面で検出した。
形状・規模　ＳＢ１を構成する掘立柱建物の柱穴である。幅約45×50cmでⅧ層の米丸マール岩盤層を約55cm掘り抜いて成形している。柱穴壁には鑿痕を思われる工具痕も確認した。床面は平坦に成形されている。
埋土　暗褐色砂質土でφ１～２cm大のマール片を含む。
出土遺物　摩滅した内黒土師器の小片が出土した。

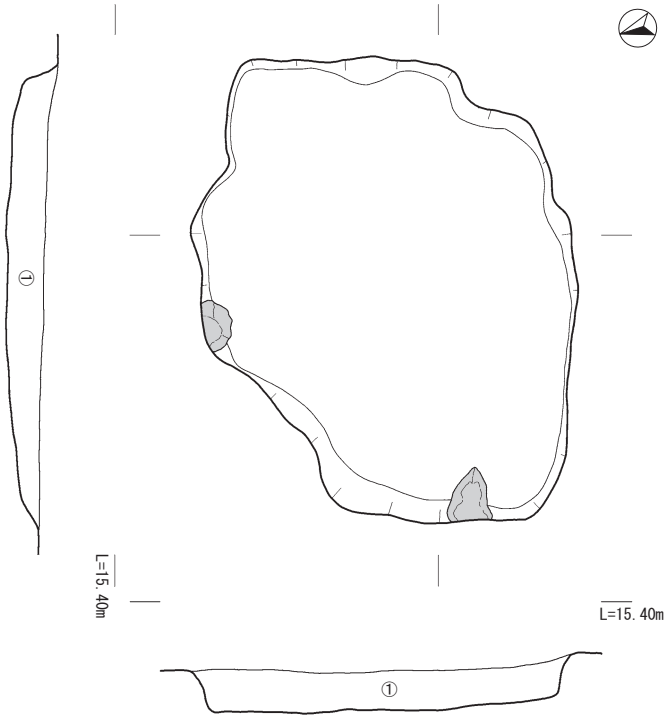
SK2



埋土
① 暗褐色土(10YR3/3)
φ0.5～1.5cm大の礫を多く含む
やや粘性が強い
② 暗褐色土(10YR3/3)
少量の炭化物を含む
やや粘性あり

0 (1:40) 1m

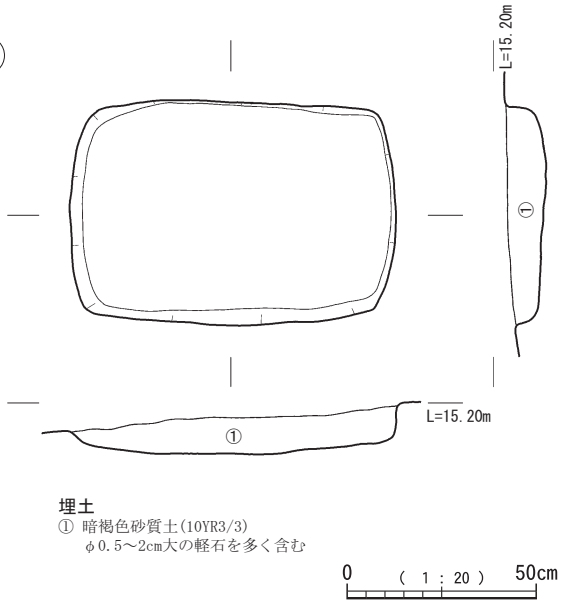
SK3



埋土
① 暗褐色土(10YR3/4)，ややしまりあり

0 (1 : 20) 50cm

SK4

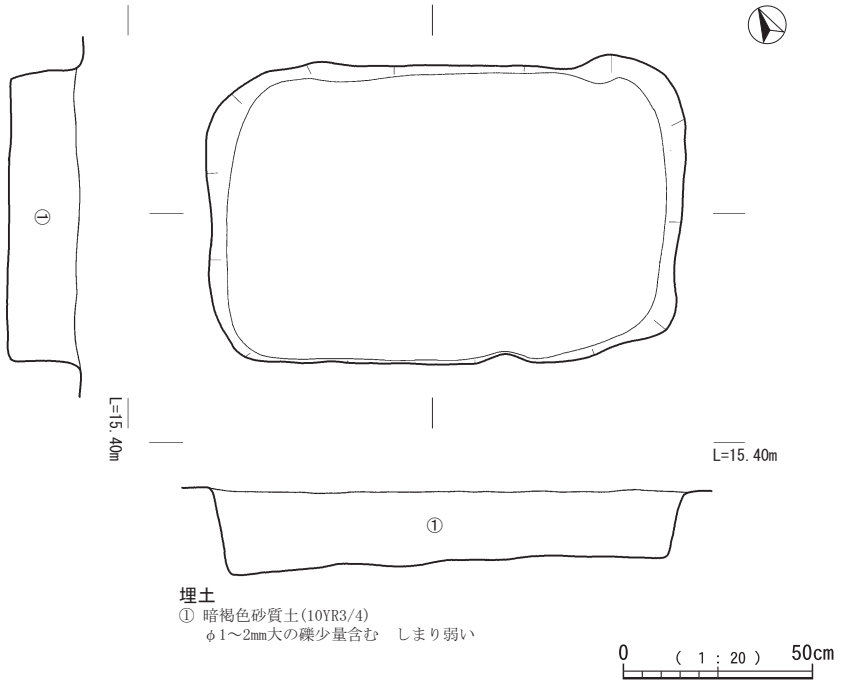


埋土
① 暗褐色砂質土(10YR3/3)
φ0.5～2cm大の軽石を多く含む

0 (1 : 20) 50cm

第167図　SK２・3・4（土坑）

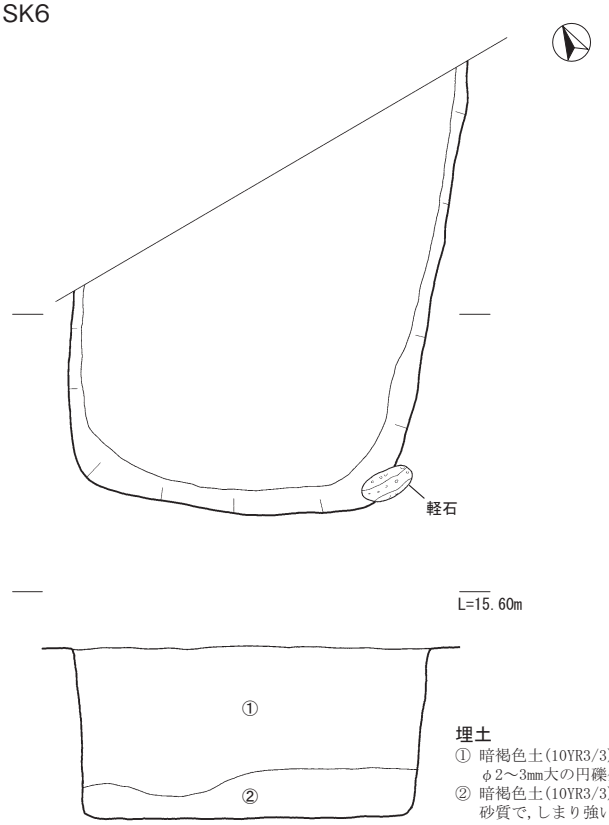
SK5



埋土
① 暗褐色砂質土(10YR3/4)
φ1～2mm大の礫少量含む　しまり弱い

0 (1 : 20) 50cm

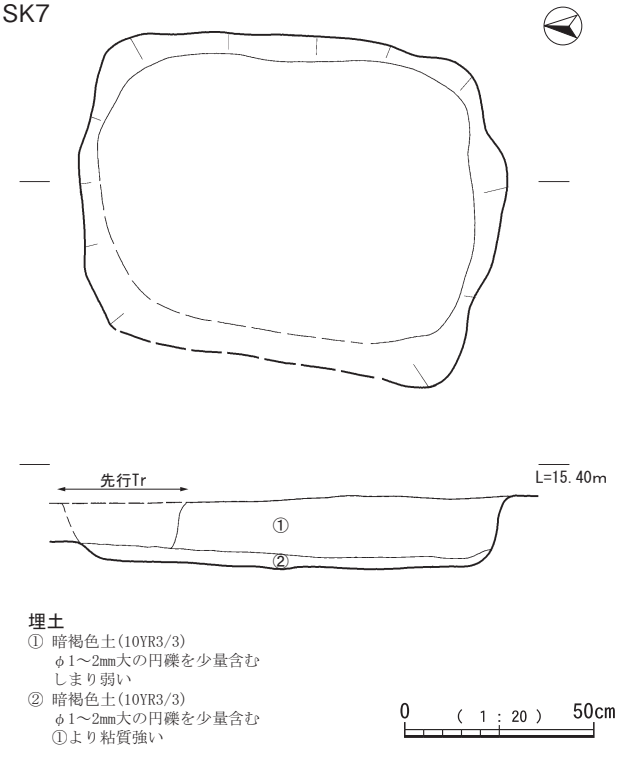
SK6



埋土
① 暗褐色土(10YR3/3)
φ2～3mm大の円礫少量含む
② 暗褐色土(10YR3/3)
砂質で,しまり強い

0 (1 : 20) 50cm

SK7

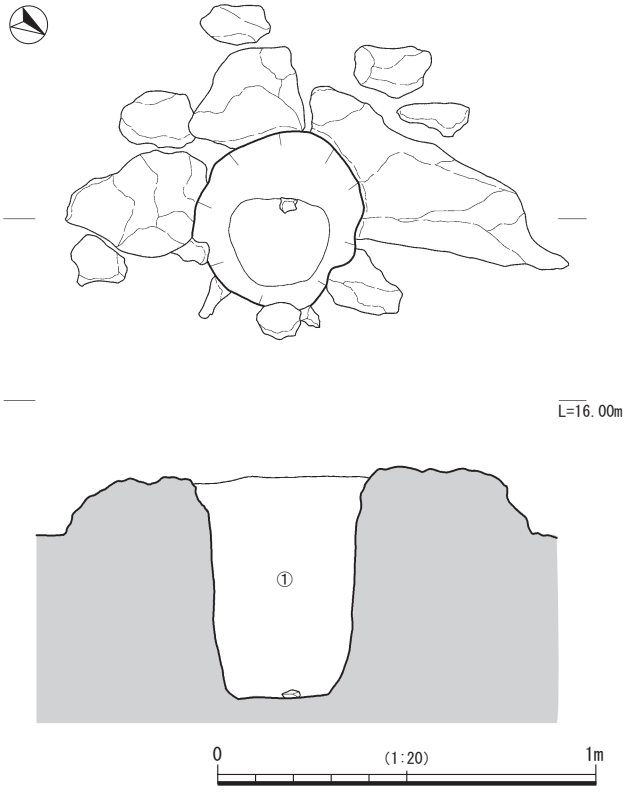


埋土
① 暗褐色土(10YR3/3)
φ1～2mm大の円礫を少量含む
しまり弱い
② 暗褐色土(10YR3/3)
φ1～2mm大の円礫を少量含む
①より粘質強い

0 (1 : 20) 50cm

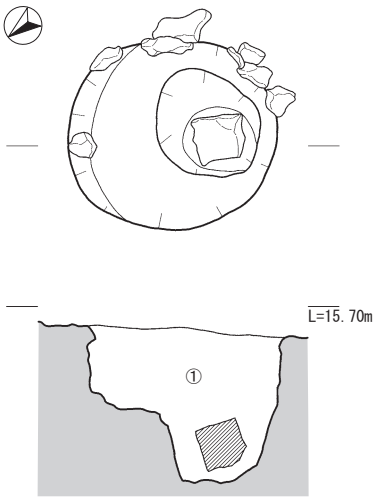
第168図　SK５・６・７（土坑）

P１



埋土
① 暗褐色砂質土(10YR3/3)
φ1～2㎜大のマール片少量含む

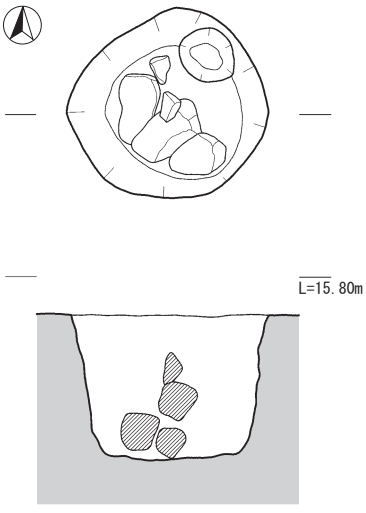
P３

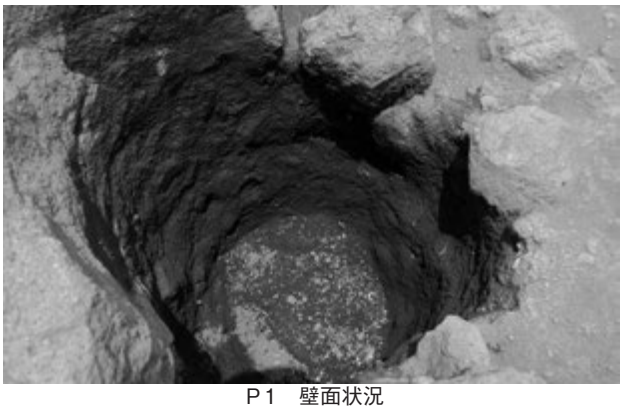




P１

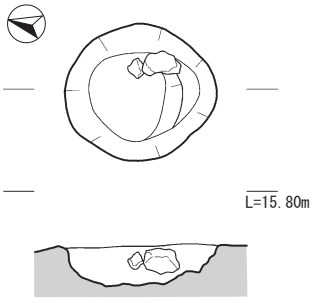
P２

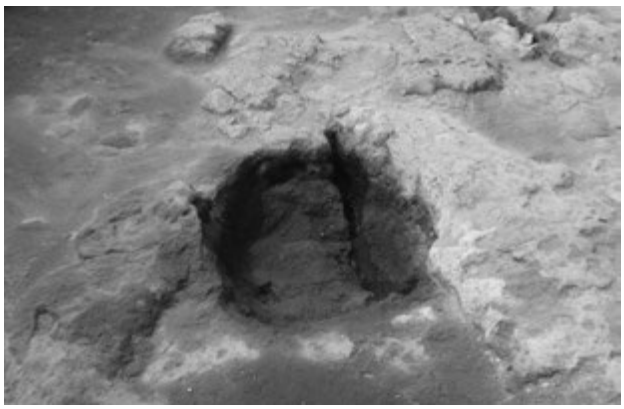




P１　壁面状況

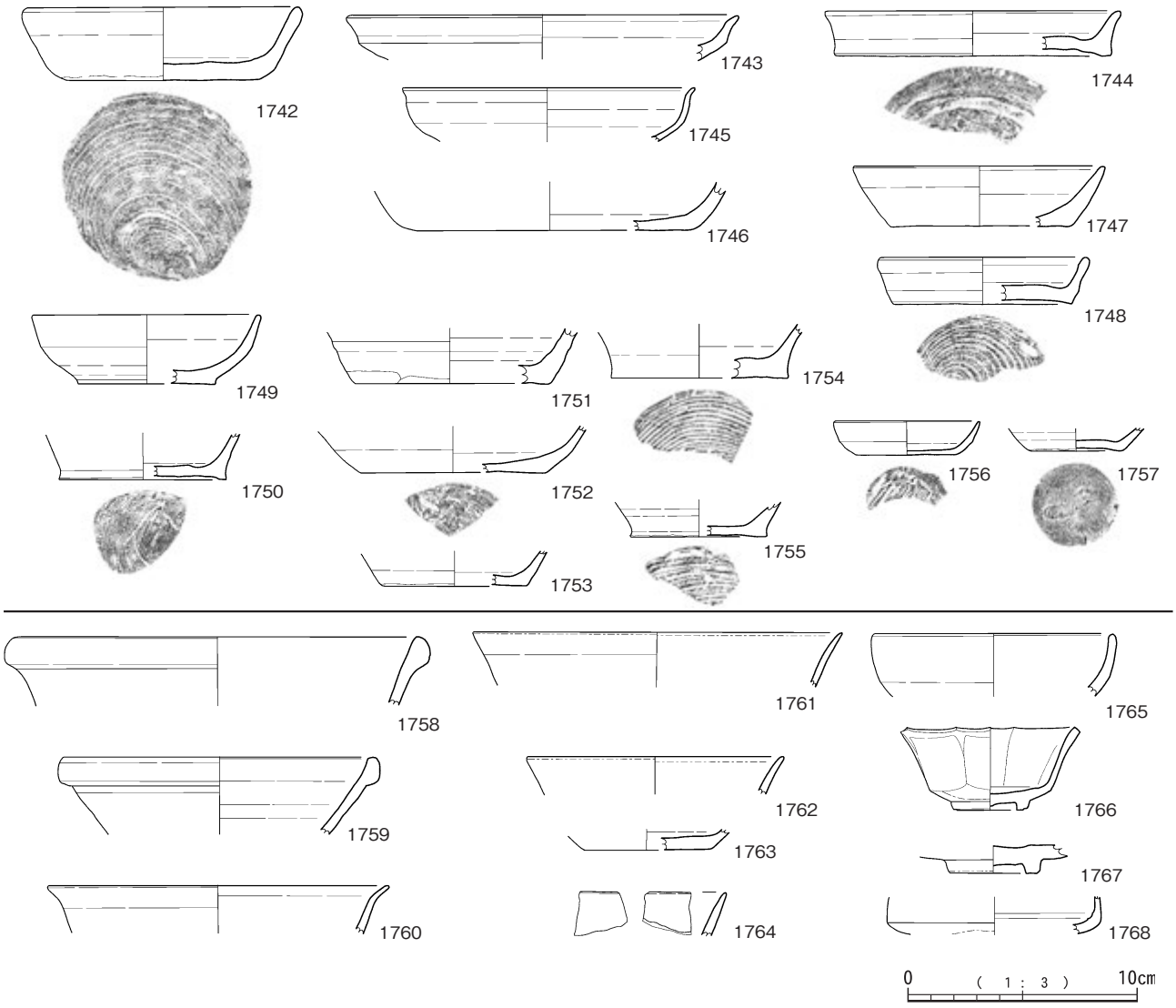
P４





P４　壁面状況

第169図　ピット群（Ｐ１～４）



第170図　中世の遺物（１）（土師器・白磁）

Ｐ２

検出状況　Ｃ－６区のⅡc層上面で検出した。

形状・規模　幅約50×50cmでⅧ層の米丸マール岩盤層を約35cm掘り抜いて成形している。柱穴中心には根石と思われる約５～10cm大の礫が確認された。床面は平坦に成形されている。

埋土　暗褐色砂質土で，φ２～３cm大のマール片を含む。

出土遺物　遺物は出土していない。

Ｐ３

検出状況　Ｃ－５区のⅡc層上面で検出した。

形状・規模　幅約50×55cmでⅧ層の米丸マール岩盤層を約10cm掘り抜いて成形している。

埋土　暗褐色砂質土で，φ５～10cm大のマール片を含まれていた。

出土遺物　遺物は縄文土器の小片が出土した。

Ｐ４

検出状況　Ｃ－５区のⅡc層上面で検出した。

形状・規模　幅約40×35cmでⅧ層の米丸マール岩盤層を約40cm掘り抜いて成形している。床面は段掘り状になっており，柱穴中心部には正方形状の根石を思われる黒色の凝灰岩が確認された。

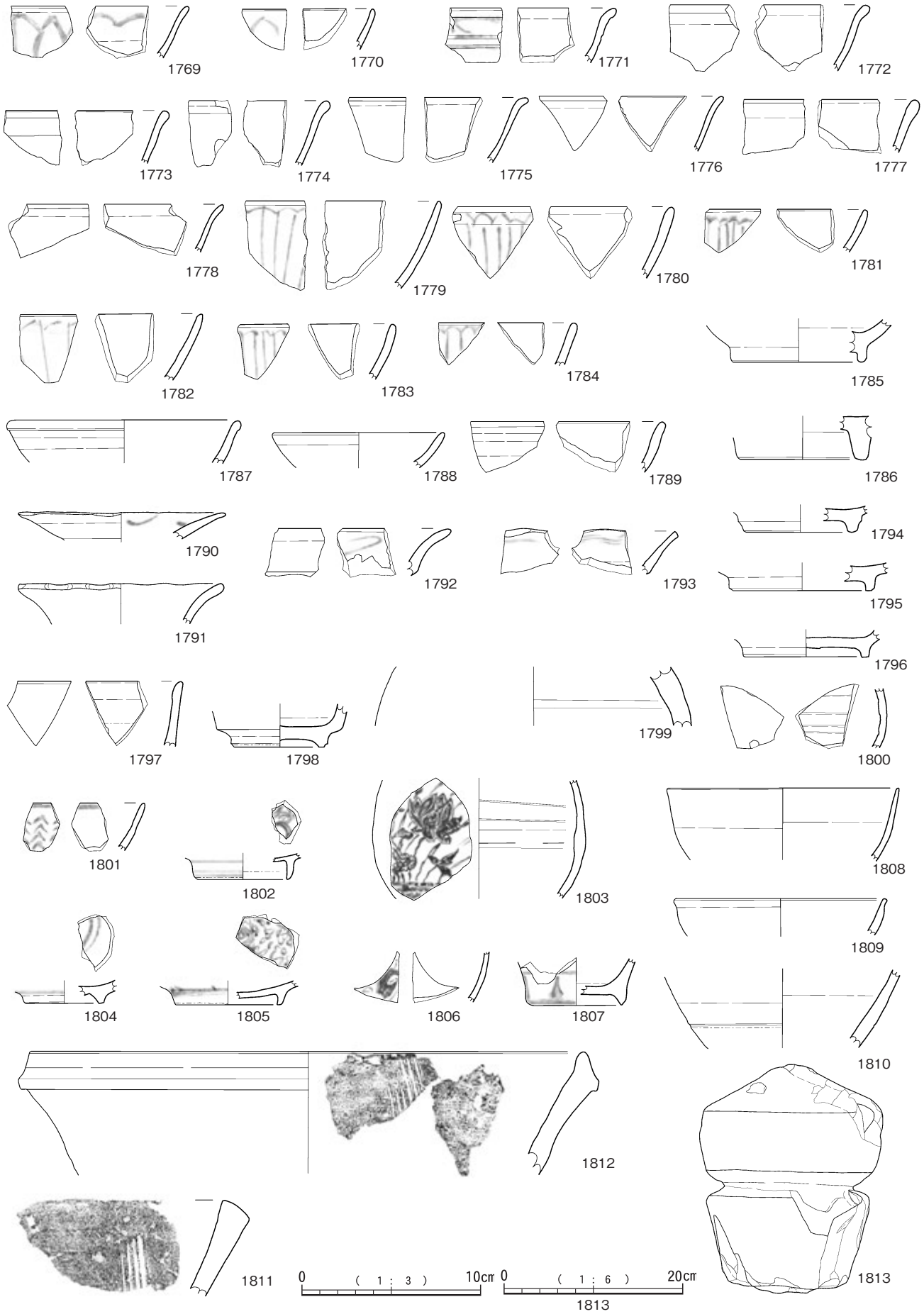
埋土　暗褐色砂質土で，φ１～２mm大のマール片を含まれていた。

出土遺物　遺物は出土していない。

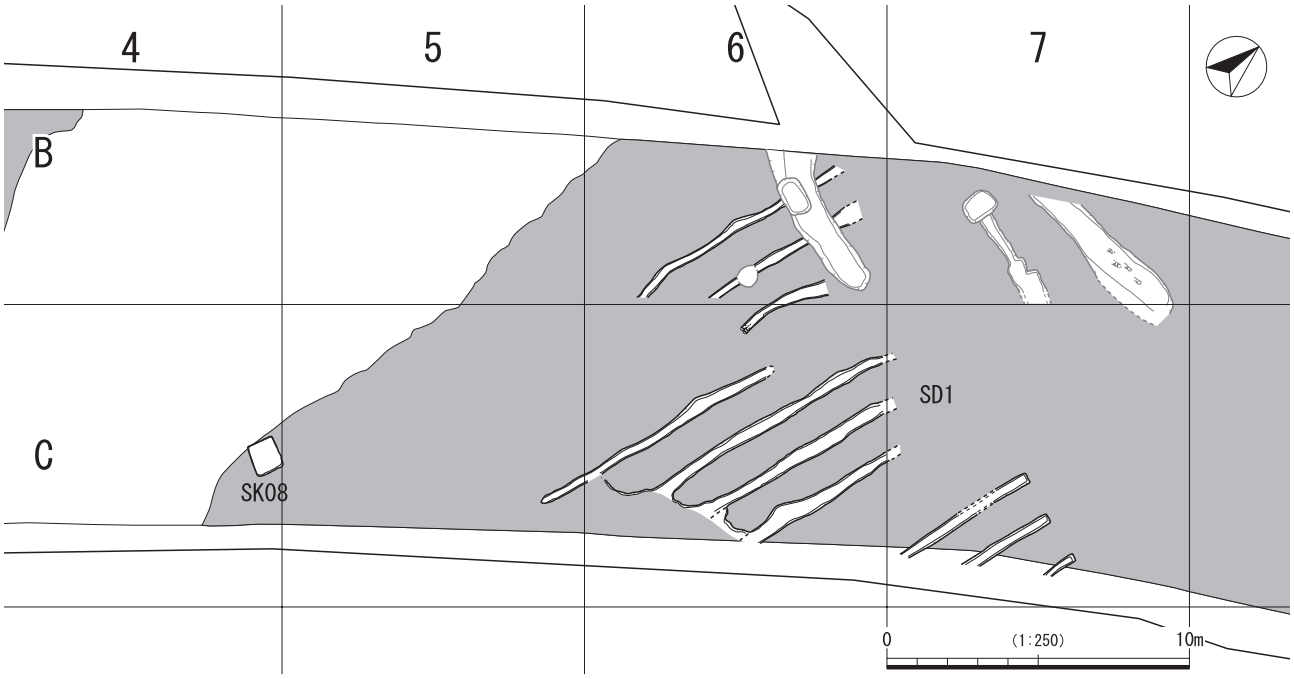
（２）遺物

ア　土師器

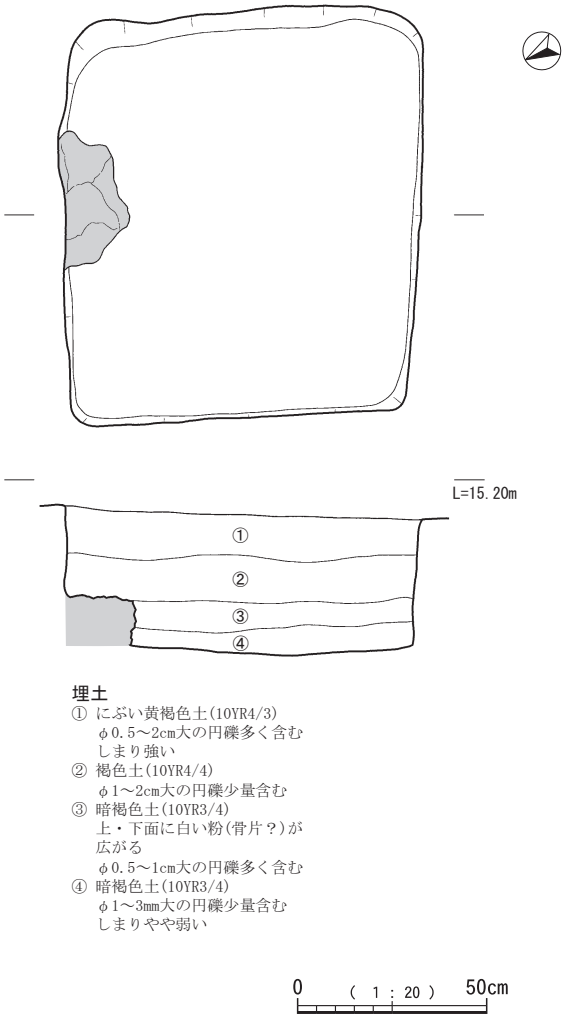
坏・皿　いずれも底部は糸切り底である。1742・1747は坏で，底径が約９cm大で立ち上がりが丸く直線上に外傾する。1744～1746，1748～1752は皿である。1756・1757は底径が約４cm大のもので薄手で焼成もよく，近世相当の可能性がある。



第171図　中世の遺物（２）（陶磁器・石塔）



第172図　近世　遺構配置図



第173図　ＳＫ８（土坑）

イ　陶磁器

白磁　1758・1759は碗Ⅳ類（玉縁），1760は皿Ⅳ類，1765は皿Ⅶ類で大宰府分類Ｃ期に比定される。1761～1763は白磁皿Ⅸ類（口禿：Ｆ期）である。1764・1766・1767は森田Ｄ群の皿で，1766は八角坏である。1768は，袋物の胴部で，内面は露胎する。

青磁　1769・1770は青磁碗Ⅱ類で蓮弁文をもつ。1779～1784は青磁碗Ｂ類（線描蓮弁文）である。1775～1777は口縁部が外反する碗Ｄ類である。1771は碗Ｃ類で雷文帯をもつ。1787・1788は体部が内湾する坏である。1790～1793は稜花皿である。1785・1786は碗の高台である。1798は高台で内面は釉剥ぎで，赤色化する。1799・1800は壺の胴部と考えられる。1799の内面は露胎しており，一部釉垂れがみられる。

青花　1802・1805は見込みが凹む蓮子碗（碗Ｃ群）で，1804は漳州窯系の碗の高台である。1807は長胴型の器形で内面も施釉している。1803は壺の胴部と思われる。1806は赤絵である。

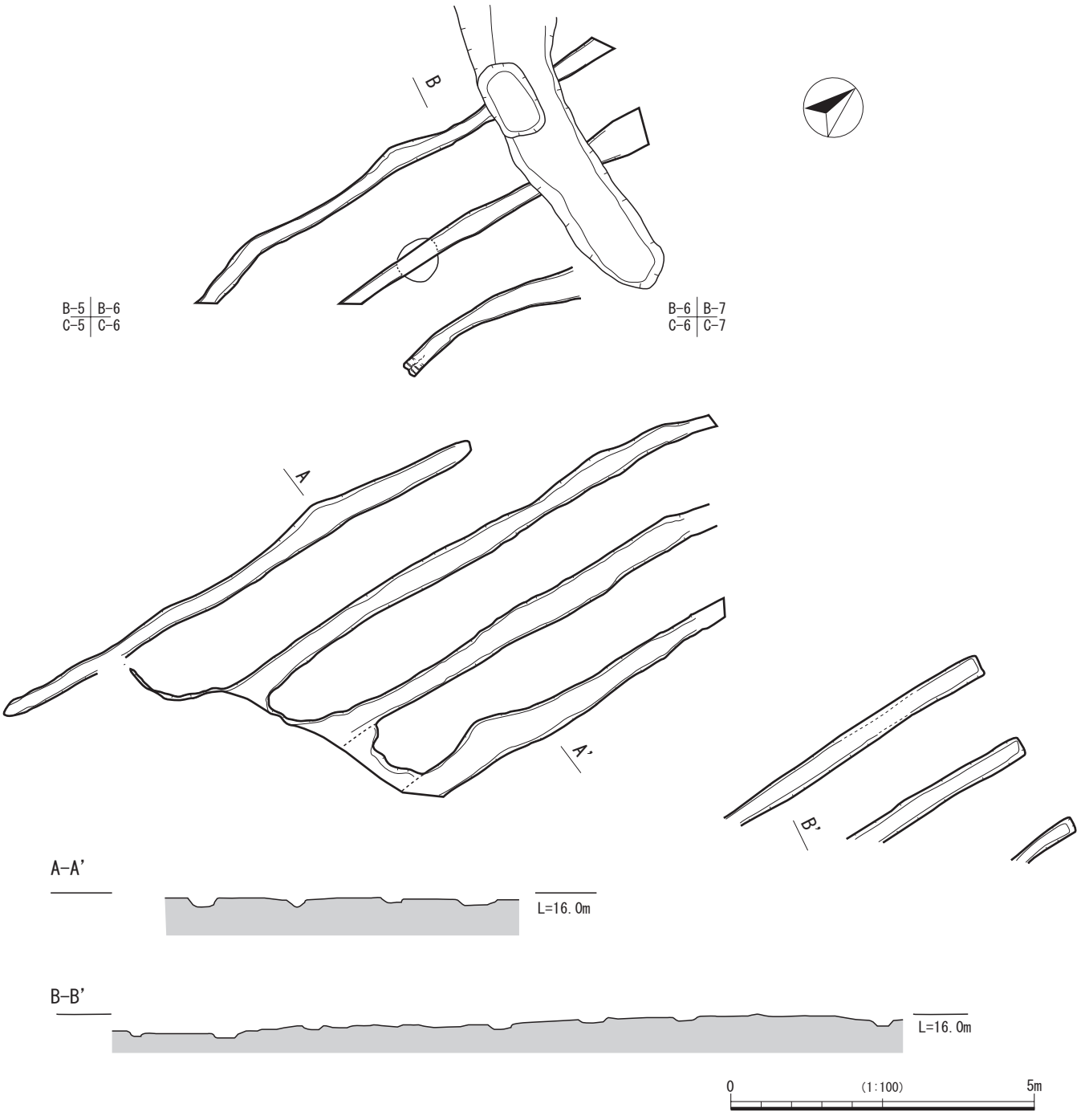
陶器　1808～1810は黒褐色釉の天目碗である。1812は備前の擂鉢である。1811は瓦質の擂鉢である。

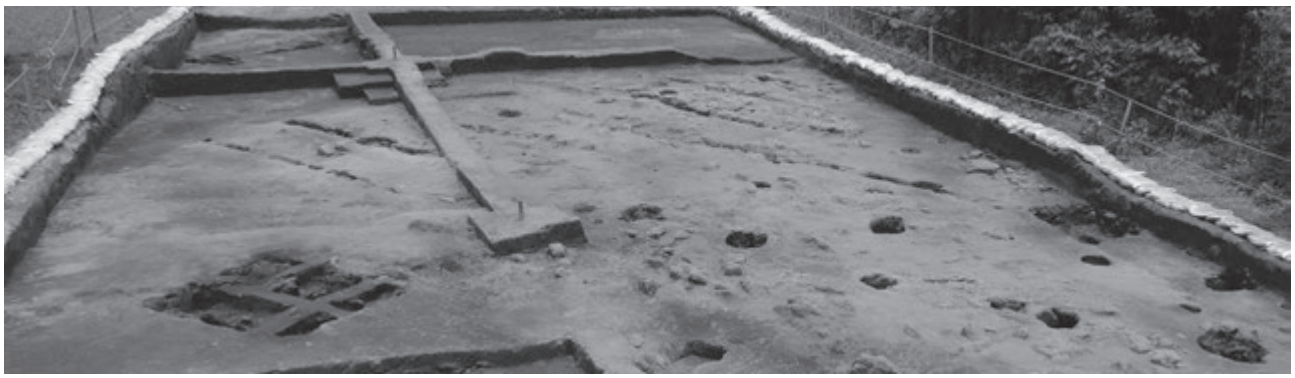
五輪塔

凝灰岩製の宝珠（空輪）である。表面はやや脆く摩滅，欠損が目立つ。15世紀代のものと考えられる。

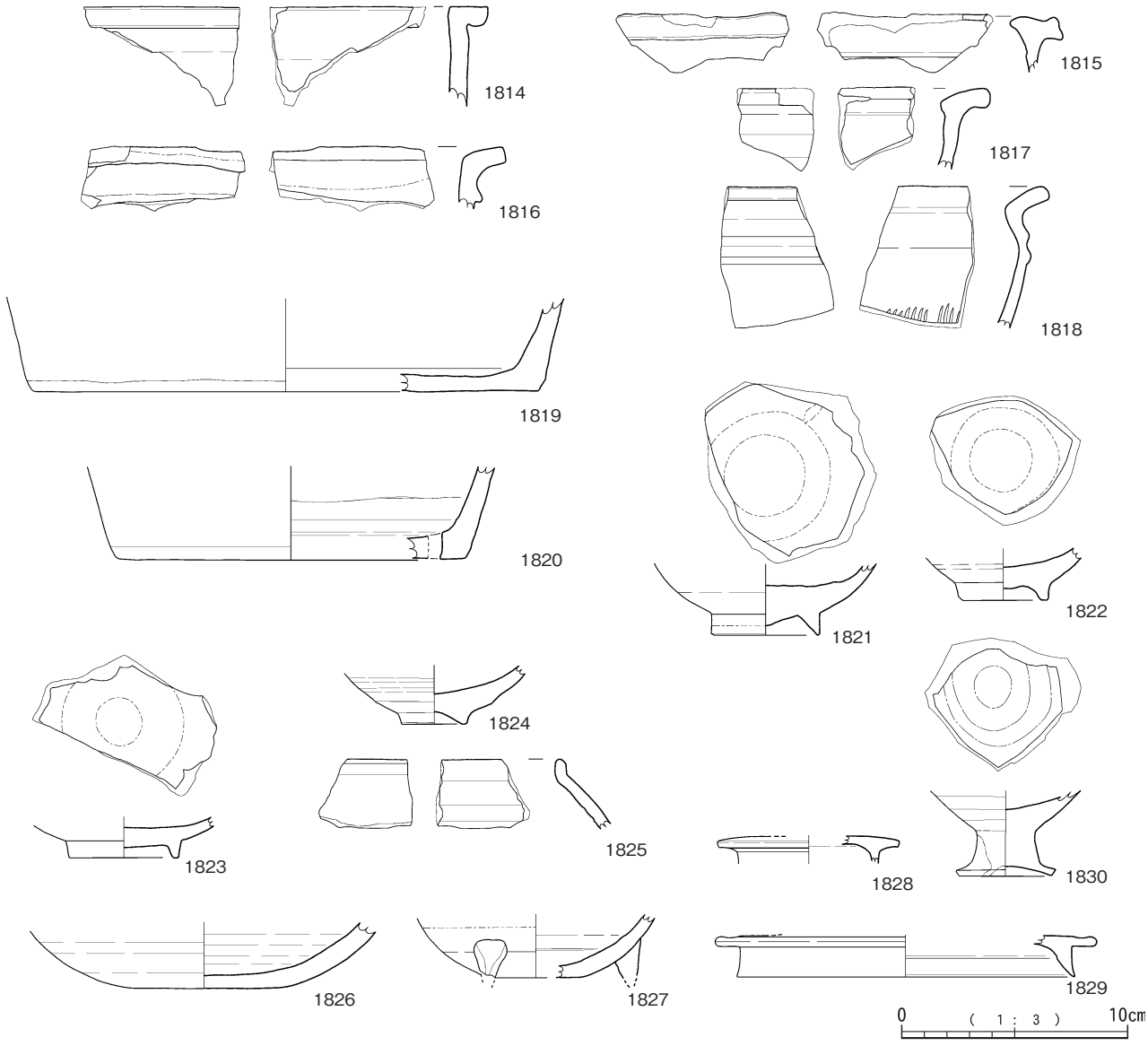
５　近世の調査

近世の遺構・遺物はＢ・Ｃ－４～７区で，表土除去したⅡ層面で検出した。近世期に相当する遺構は土坑１基（ＳＫ8），南北方向に等間隔で10条延びる小溝状遺構





第174図　ＳＤ１（溝状遺構）



第175図　近世の遺物

（ＳＤ１）である。またＳＤ１を切った近世以降の溝状遺構（ＳＤ２～４）も確認された（埋土内から近代～近現代の陶磁器片等が出土）。

（１）遺構

ＳＫ８

検出状況　Ｃ－４区のⅡ・Ⅲ層調査後，Ⅳ層上面で検出した。

形状・規模　約95×110㎝の正方形状を呈す。床面は平坦で，ほぼ垂直に立ち上がる。

埋土　ほぼ平坦に４層堆積しており，②と③層の間には精緻な白色粉が部分的にみられ，断面には極薄の層を成していた（石灰か）。

出土遺物　遺物は薩摩焼の小片が数点出土している。

ＳＤ１（小溝状遺構）

検出状況　Ｂ・Ｃ－５～７区のⅡ層で検出した。

形状・規模　南北方向に幅約40㎝，溝間約100㎝の小溝が10条検出された。深さは約10㎝と浅く，Ⅷ層のマール岩盤層を削って成形している。床面には鍬のような工具で斫った痕跡がみられる。溝の幅などから，畝間（畠状遺構）の可能性が考えられる。

埋土　いずれの小溝も暗褐色土である。

出土遺物　遺物は薩摩焼の小片が数点出土している。

（２）遺物

1818～1822は薩摩焼である。1818は擂鉢，1815・1816は鉢で，1828・1829は蓋である。1826・1827は土瓶の底部・脚部である。1830は高台付碗，1821・1822は碗で，内面見込みは輪状釉剥ぎがみられる。1823は白濁した釉が施釉されるが，二次焼成により全体的に淡い橙色になっている。1824は青磁の碗で内面見込みに目痕がみられる。

第８表　縄文土器観察表（１）

挿図番号	掲載番号	グリッド(小グリッド)／層／取上番号	分類	口径	底径	器高	外面色調	内面色調	外面調整	内面調整	石英	長石	角閃	火ガ	黒粒	白粒	赤粒	軽石	雲母	滑石	他	備考
19	1	C-3(32)/Ⅳ/-	1	15.4	-	-	10YR4/2	10YR5/3	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	2	B-2(58)/Ⅲ/- B-3(97)//Ⅲ/-	1	-	-	-	2.5Y4/2	2.5Y3/3	ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	-	○	-	内：煤
	3	B-4(1)//Ⅲ/-	1	-	-	-	2.5Y4/2	2.5Y4/2	ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	-	○	-	
	4	C-3(-)/76/Ⅲ/-	1	-	-	-	5YR5/4	7.5YR6/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	補修孔
	5	B-3(40)/Ⅳ/-	1	-	-	-	5Y3/1	2.5Y5/3	貝殻条痕	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	6	B-4(-)/Ⅲ/3332	1	24.2	-	-	10YR6/4	10YR7/4	貝殻条痕	貝殻条痕	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	7	B-5(51)/Ⅱc/-	1	18.4	-	-	7.5YR6/6	7.5YR6/6	貝殻条痕	貝殻条痕	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	8	C-4(-)/Ⅲ/4203	1	36.8	-	-	10YR8/4	10YR8/4	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	-	○	○	○	-	○	-	-	
	9	B-2(40)/Ⅳ/- B-2(-)/Ⅲ/1751	1	-	-	-	5Y3/1	2.5Y5/4	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	10	C-4(6)/Ⅳa/-	1	-	-	-	2.5Y4/2	2.5Y5/3	貝殻条痕	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	11	D-10(-)/Ⅱ/-	1	-	-	-	2.5Y4/3	2.5Y3/2	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	
	12	B-4(7)/Ⅲ/-	1	-	-	-	10YR6/4	7.5YR6/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	
	13	C-4(44)/Ⅱc/-	1	-	-	-	7.5YR5/6	2.5Y3/2	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	14	C-4(-)/Ⅳ/-	1	-	-	-	7.5YR3/3	5YR5/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	
20	15	D-11(2)/Ⅲ/-	2	-	-	-	10YR7/4	10YR6/4	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	
	16	D-9(-)/Ⅱ/-	2	-	-	-	10YR6/4	10YR6/4	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	-	○	○	○	-	○	-	
	17	C-4(46)/Ⅲ/-	2	-	-	-	10YR6/4	10YR6/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	-	○	○	○	-	○	-	
	18	C-9(-)/Ⅱ/-	2	-	-	-	7.5YR6/6	10YR5/4	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	19	C-10(2)/Ⅲ/-	2	-	-	-	7.5YR5/4	7.5YR5/6	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	-	○	-	
	20	C-10(3)/Ⅱ/-	2	-	-	-	10YR6/3	10YR6/2	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	-	○	○	○	-	○	-	
	21	D-11(3)/Ⅲ/-	2	-	-	-	10YR6/3	2.5Y6/3	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	-	○	○	-	○	-	-	
	22	B-4(27)/Ⅲ/	2	-	-	-	7.5YR6/4	7.5YR6/6	ミガキ	ミガキ	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	
	23	D-11(4)/Ⅲ/-	2	-	-	-	10YR6/6	7.5YR5/6	貝殻条痕	貝殻条痕	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	
	24	D-10(3)/Ⅱ/-	2	-	-	-	10YR7/4	7.5YR6/4	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	-	○	○	○	-	○	-	
	25	C-9(-)/Ⅱ/-	2	-	-	-	10YR6/3	10YR7/3	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	-	○	○	○	-	○	-	
	26	C-10(1)/Ⅲ/-	2	-	-	-	10YR6/4	10YR7/4	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	
	27	D-10(-)/Ⅱ/- D-10(-)/Ⅲ/-	2	-	-	-	10YR4/3	10YR5/3	貝殻条痕	貝殻条痕	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	
	28	D-9(-)/Ⅱ/-	2	-	-	-	7.5YR5/3	7.5YR5/3	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	-	○	○	○	-	○	-	
	29	C-11(1)/Ⅲ/-	2	-	-	-	10YR7/6	10YR7/6	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	
	30	C-4(49)/Ⅱc/-	2	-	-	-	10YR7/3	10YR7/4	貝殻条痕	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	
	31	C-10(-)/Ⅱ/8453	2	-	-	-	7.5YR5/4	10YR6/3	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	-	○	○	○	-	○	-	
	32	C-10(1)/Ⅲ/-	2	-	-	-	10YR5/2	10YR6/4	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	
	33	C-10(1)/Ⅲ/-	2	-	-	-	10YR5/4	10YR5/4	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	
	34	C-11(1)/Ⅲ/-	2	-	-	-	2.5Y4/2	10YR6/4	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	-	○	○	○	-	○	-	
	35	B-4(59)/Ⅱc/-	2	-	-	-	7.5YR5/3	7.5YR5/3	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	
	36	D-10(3)/Ⅱ/-	2	-	-	-	7.5YR6/6	7.5YR7/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	-	
	37	C-4(55)/Ⅲ/-	2	-	-	-	10YR5/4	10YR5/3	ナデ	ヘラミガキ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	38	C-4(7)/Ⅳa/-	2	-	-	-	5YR5/6	5YR4/6	貝殻条痕	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	39	B-4(70)/Ⅲ/-	2	-	-	-	10YR6/3	10YR6/3	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	40	B-4(-)/Ⅲ/5114 B-4(17)/Ⅲ/- B-4(37)/Ⅲ/-	2	-	-	-	7.5YR5/4	10YR5/4	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	
	41	C-4(-)/Ⅲ/3750 C-4(53)/Ⅲ/-	2	34	-	-	10YR6/6	10YR7/6	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	42	C-10(2)/Ⅱ/-	2	-	-	-	10YR5/3	10YR5/3	ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	
	43	C-4(5)/Ⅲ/-	2	-	-	-	5YR5/4	5YR5/6	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	-	○	○	○	-	○	-	
	44	D-11(-)/Ⅲ/9154 C-9(1)/Ⅱ/-	2	30	-	-	10YR6/4	10YR6/4	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	-	○	○	○	-	○	-	
	45	C-10(2)/Ⅲ/-	2	-	-	-	7.5YR6/6	7.5YR6/6	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	
	46	D-9(-)/Ⅱ/-	2	-	-	-	5YR5/4	5YR5/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	-	○	○	○	-	○	-	壺? 特殊把手
	47	B-2(56)/Ⅳ/- B-2(65)/Ⅳ/-	2	-	-	-	2.5YR6/6	2.5YR6/8	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	-	○	○	○	-	-	-	-	
21	48	C-10(-)/Ⅱ/5639 C-10(1)/Ⅱ/-	2	21.9	-	-	7.5YR6/6	7.5YR6/4	貝殻条痕→ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	
	49	B-4(-)/Ⅲ/5000 B-4(10)/Ⅲ/- B-4(-)/Ⅲ/-	2	-	-	-	7.5YR5/4	7.5YR5/3	貝殻条痕→ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	
	50	D-9(-)/Ⅱ/-	2	-	-	-	10YR3/2	10YR4/3	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	
	51	D-9(-)/Ⅱ/-	2	-	-	-	10YR4/2	10YR5/3	貝殻条痕→ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	52	C-4(32)/Ⅲ/-	2	-	-	-	5YR4/6	10YR5/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	
	53	C-10(2)/Ⅱ/-	2	-	-	-	7.5YR5/6	7.5YR5/6	貝殻条痕→ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	
	54	C-10(-)/Ⅱ/7135 C-10(3)/Ⅱ/- C-10(-)/Ⅲ/-	2	36.6	-	-	10YR5/3	10YR6/6	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	
	55	D-10(2)/Ⅲ/-	2	-	-	-	7.5YR6/6	7.5YR6/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	
	56	C-10(-)/Ⅱ/5548 C-10(-)/Ⅱ/5547 C-10(3)/Ⅱ/-	2	32.9	-	-	7.5YR5/4	5YR5/6	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	57	D-9(-)/Ⅱ/6886 C-9(-)/Ⅱ/-	2	27.4	-	-	10YR6/4	10YR7/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	58	B-4(-)/Ⅲ/5148	2	-	-	-	10YR5/4	10YR6/4	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	59	B-4(-)/Ⅲ/4672	2	-	-	-	7.5YR6/6	7.5YR6/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	
	60	C-10(1)/Ⅲ/-	2	-	-	-	10YR5/3	10YR6/3	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	
	61	C-5(91)/Ⅲ/-	2	-	-	-	7.5YR5/4	10YR6/3	貝殻条痕→ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	
	62	C-10(2)/Ⅲ/-	2	-	-	-	10YR3/2	10YR5/4	貝殻条痕→ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	
	63	B-4(35)/Ⅲ/- C-4(15)/Ⅲ/-	2	-	-	-	10YR6/4	10YR5/3	貝殻条痕	貝殻条痕	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	
	64	B-4(60)/Ⅲ/-	2	-	-	-	2.5Y4/1	2.5Y6/3	貝殻条痕	貝殻条痕	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	65	C-3(39)/Ⅲ/-	2	-	-	-	2.5Y7/4	2.5Y7/4	貝殻条痕→ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	66	C-10(1)/Ⅱ/-	2	-	-	-	2.5Y3/2	10YR4/3	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	67	B-4(23)/Ⅱc/-	2	-	-	-	10YR6/3	10YR5/2	ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	
	68	C-10(-)/Ⅱ/7129	2	-	-	-	7.5YR7/6	10YR8/4	貝殻条痕→ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	○	
	69	B-4(-)/Ⅲ/3453	2	-	-	-	7.5YR5/6	7.5YR5/4	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	70	B-4(-)/Ⅲ/4062	2	-	-	-	5YR6/6	7.5YR5/3	指頭圧痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	-	○	○	○	-	-	-	-	
22	71	C-4(-)/Ⅲ/1833	2	-	-	-	7.5YR5/8	10YR5/8	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	内：煤付着

第９表　縄文土器観察表（２）

挿図番号	掲載番号	グリッド(小グリッド)／層／取上番号	分類	口径	底径	器高	外面色調	内面色調	外面調整	内面調整	石英	長石	角閃	火ガ	黒粒	白粒	赤粒	軽石	雲母	滑石	他	備考
22	72	C-4(87)/Ⅲ/-	2	-	-	-	10YR6/4	10YR6/3	貝殻条痕	貝殻条痕	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	73	C-10(3)/Ⅱ/-	2	-	-	-	10YR4/3	10YR4/2	貝殻条痕	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	
	74	C-10(1)/Ⅱ/-	2	-	-	-	7.5YR5/4	10YR5/4	ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	75	C-4(-)/Ⅲ/1944	2	-	-	-	10YR5/3	10YR6/4	貝殻条痕→ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	76	D-11(-)/Ⅱ/8744	2	-	-	-	7.5YR6/6	5YR6/6	ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	
	77	C-10(-)/Ⅱ/8070	2	-	-	-	10YR7/4	10YR7/4	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	78	B-4(36)/Ⅲ/-	2	-	-	-	10YR4/3	10YR5/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	外：指頭圧痕
	79	C-10(-)/Ⅱ/-	2	-	-	-	10YR3/1	10YR5/2	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	80	C-10(2)/Ⅱ/-	2	-	-	-	5YR5/6	7.5YR5/6	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	81	C-10(1)/Ⅱ/-	2	-	-	-	7.5YR5/4	5YR5/4	貝殻条痕	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	
	82	C-10(1)/Ⅱ/-	2	-	-	-	10YR4/2	7.5YR5/4	ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	83	C-3(69)/Ⅲ/-	2	-	-	-	10YR6/6	10YR5/4	貝殻条痕	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	84	C-4(78)/Ⅱc/-	2	-	-	-	10YR4/3	10YR6/4	ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	85	C-4(84)/Ⅲ/-	2	-	-	-	10YR6/3	10YR4/2	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	
	86	C-10(-)/Ⅱ/7755	2	-	-	-	7.5YR5/6	10YR4/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	
	87	C-3(38)/Ⅳ/-	2	-	-	-	7.5YR6/6	7.5YR5/6	貝殻条痕	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	
	88	B-5(65)/Ⅲ/-	2	-	-	-	7.5YR6/6	7.5YR6/6	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	
23	89	C-4(-)/Ⅲ/1888	2	32.0	-	-	10YR6/4	5YR6/6	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	90と同一
	90	C-5(-)/Ⅲ/2449 C-5(91)/Ⅲ/- C-4(10)/Ⅱc/-	2	32.0	-	-	7.5YR5/6	5YR6/6	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	89と同一
	91	B-4(9)/Ⅲ/- B-4(29)/Ⅲ/- B-4(39)/Ⅱc/-	2	32.6	-	-	10YR6/4	10YR6/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	92	B-4(-)/Ⅲ/3263	2	-	-	-	7.5YR6/4	10YR7/4	貝殻条痕→ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	
	93	C-10(-)/Ⅱ/8041	2	-	-	-	7.5YR4/4	7.5YR4/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	
	94	C-9(-)/Ⅱ/-	2	-	-	-	10YR5/2	10YR7/4	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	95	D-10(1)/Ⅱ/-	2	-	-	-	10YR5/6	10YR6/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	
	96	B-4(-)/Ⅱa/- B-4(-)/Ⅱb/-	2	-	-	-	10YR7/6	10YR7/4	貝殻条痕→ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	97	C-4(83)/Ⅲ/- C-4(84)/Ⅲ/-	2	-	-	-	7.5YR6/6	7.5YR5/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	
24	98	B-4(-)/Ⅲ/2982 C-5(91)/Ⅲ/-	3	42.8	-	-	7.5YR5/6	7.5YR5/6	貝殻条痕	貝殻条痕	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	
	99	C-4(9)/Ⅲ/-	3	-	-	-	10YR5/3	10YR6/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	
	100	C-10(2)/Ⅱ/-	3	-	-	-	10YR5/3	10YR4/2	貝殻条痕	ナデ	○	○	○	-	○	○	○	-	-	-	-	
	101	C-10(3)/Ⅱ/-	3	-	-	-	10YR4/1	10YR6/3	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	102	D-10(2)/Ⅱ/-	3	-	-	-	7.5YR6/6	7.5YR6/6	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	
	103	B-4(38)/Ⅲ/-	3	-	-	-	10YR6/4	7.5YR7/6	ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	内外：煤付着
	104	C-5(61)/Ⅳ/-	3	-	-	-	7.5YR6/6	7.5YR6/6	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	
	105	C-4(54)/Ⅲ/-	3	-	-	-	7.5YR5/4	7.5YR4/3	貝殻条痕→ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	
	106	D-10(-)/Ⅱ/-	3	-	-	-	10YR6/3	10YR7/3	貝殻条痕	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	外：赤色顔料
	107	B-5(43)/Ⅲ/- B-5(53)/Ⅲ/-	3	30.8	-	-	7.5YR6/6	7.5YR6/6	貝殻条痕→ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	外：煤付着
	108	C-10(-)/Ⅱ/8578	3	30.6	-	-	7.5YR6/6	10YR5/3	貝殻条痕	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	
	109	C-4(-)/Ⅲ/5206 C-4(-)/Ⅲ/5207	3	28.6	-	-	10YR5/3	10YR6/4	貝殻条痕	貝殻条痕	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	
	110	B-4(-)/Ⅲ/3964	3	23.7	-	-	7.5YR4/3	10YR5/4	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	111	B-4(15)/Ⅲ/- B-4(-)/Ⅳ/-	3	-	-	-	2.5Y5/3	10YR7/4	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	外：煤付着
	112	C-5(33)/Ⅱc/-	3	-	-	-	10YR4/3	10YR5/4	貝殻条痕→ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	113	D-11(3)/Ⅲ/-	3	-	-	-	7.5YR4/3	7.5YR5/6	ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	114	C-4(12)/Ⅲ/-	3	-	-	-	5YR6/6	5YR6/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	115	C-10(-)/Ⅱ/10404	3	-	-	-	7.5YR5/4	7.5YR6/2	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	116	C-4(-)/Ⅳ/-	3	-	-	-	7.5YR5/4	10YR5/4	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	117	C-10(-)/Ⅲ/-	3	-	-	-	10YR5/3	7.5YR6/4	ケズリ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	
	118	C-10(-)/Ⅲ/-	3	-	-	-	10YR7/4	10YR7/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	
	119	C-4(-)/Ⅲ/2833	3	-	-	-	10YR6/6	10YR6/6	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	120	C-10(2)/Ⅲ/-	3	-	-	-	7.5YR5/6	7.5YR5/4	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	
	121	B-4(8)/Ⅲ/-	3	-	-	-	7.5YR6/6	10YR6/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	
	122	B-4(27)/Ⅲ/-	3	-	-	-	10YR6/4	10YR6/4	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	123	C-10(-)/Ⅱ/10035	3	-	-	-	7.5YR5/3	7.5YR6/6	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	
	124	C-4(78)/Ⅲ/-	3	-	-	-	10YR4/4	7.5YR4/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	125	D-9(-)/Ⅱ/-	3	-	-	-	10YR6/4	2.5Y5/3	貝殻条痕→ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	126	C-3(38)/Ⅱc/-	3	-	-	-	7.5YR5/6	10YR5/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	127	D-11(-)/Ⅱ/8117	3	-	-	-	10YR7/4	10YR7/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	
	128	C-9(3)/Ⅱ/-	3	-	-	-	7.5YR3/2	7.5YR5/4	貝殻条痕	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	129	C-10(1)/Ⅱ/-	3	-	-	-	7.5YR5/4	10YR6/4	貝殻条痕→ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	
25	130	B-4(-)/Ⅲ/3970	3	-	-	-	2.5Y5/3	2.5Y5/3	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	
	131	B-4(-)/Ⅲ/5108	3	-	-	-	2.5Y6/4	2.5Y6/2	貝殻条痕	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	132	D-3(-)/Ⅱ/-	3	-	-	-	7.5YR7/4	10YR7/4	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	
	133	C-4(45)/Ⅲ/-	3	-	-	-	7.5YR6/4	10YR5/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	134	C-4(87)/Ⅲ/-	3	-	-	-	7.5YR4/3	10YR5/3	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	135	B-4(-)/Ⅲ/5353	3	-	-	-	7.5YR6/6	7.5YR6/8	ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	136	B-4(-)/Ⅳ/-	3	-	-	-	7.5YR5/6	7.5YR5/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	137	C-5(92)/Ⅲ/-	3	-	-	-	5YR5/6	5YR5/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	138	C-11(1)/Ⅲ/-	3	-	-	-	10YR5/6	10YR5/2	貝殻条痕	貝殻条痕	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	139	D-10(-)/Ⅱ/6685	3	-	-	-	7.5YR5/3	7.5YR6/6	ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	140	C-10(-)/Ⅱ/9383	3	-	-	-	7.5YR7/6	2.5Y6/3	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	141	C-9(2)/Ⅱ/-	3	-	-	-	10YR6/3	10YR6/4	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	142	B-4(67)/Ⅲ/-	3	-	-	-	10YR5/3	10YR5/4	ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	143	D-10(4)/Ⅲ/-	3	-	-	-	2.5Y6/3	2.5Y6/4	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	144	B-4(-)/Ⅲ/4143	3	-	-	-	10YR6/4	10YR6/6	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	145	C-10(-)/Ⅱ/9645	3	-	-	-	7.5YR6/6	5YR6/6	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	外：赤色顔料
	146	D-10(2)/Ⅱ/-	3	-	-	-	7.5YR6/6	10YR6/3	貝殻条痕	貝殻条痕	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	147	B-4(26)/Ⅲ/-	3	-	-	-	2.5Y5/3	2.5Y7/4	貝殻条痕	貝殻条痕	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	
	148	B-5(-)/Ⅳ/-	3	-	-	-	7.5YR7/6	7.5YR7/6	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	
	149	C-10(-)/Ⅱ/6309	3	-	-	-	7.5YR6/4	10YR7/4	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	

第10表　縄文土器観察表（3）

挿図番号	掲載番号	グリッド(小グリッド)／層／取上番号	分類	口径	底径	器高	外面色調	内面色調	外面調整	内面調整	石英	長石	角閃	火ガ	黒粒	白粒	赤粒	軽石	雲母	滑石	他	備考
25	150	B-4(-)/Ⅲ/-	3	-	-	-	10YR5/3	10YR5/3	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	151	C-10(2)/Ⅱ/-	3	-	-	-	10YR6/4	10YR6/4	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	
	152	C-3(69)/Ⅲ/-	3	-	-	-	10YR5/3	10YR6/4	貝殻条痕	貝殻条痕	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	
	153	C-4(45)/Ⅲ/-	3	-	-	-	7.5YR5/4	7.5YR6/4	貝殻条痕	貝殻条痕	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	
	154	D-10(-)/Ⅱ/9233	3	-	-	-	10YR6/6	10YR6/6	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	155	B-4(-)/Ⅲ/5022	3	-	-	-	10YR5/4	7.5YR6/4	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	156	C-4(77)/Ⅲ/-	3	-	-	-	10YR6/6	10YR6/6	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	157	B-4(38)/Ⅲ/-	3	-	-	-	10YR6/3	10YR6/2	貝殻条痕	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	
	158	D-10(2)/Ⅲ/-	3	-	-	-	7.5YR5/6	7.5YR5/8	貝殻条痕	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	
	159	C-3(9)/Ⅲ/-	3	-	-	-	5YR5/6	10YR4/2	貝殻条痕	貝殻条痕	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	160	C-4(8)/Ⅱc/-	3	-	-	-	10YR5/4	10YR5/3	貝殻条痕	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	161	C-10(-)/Ⅱ/-	3	-	-	-	7.5YR6/6	7.5YR5/6	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	162	C-10(1)/Ⅲ/-	3	-	-	-	10YR7/4	10YR7/4	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	163	D-10(4)/Ⅱ/-	3	-	-	-	7.5YR6/6	10YR6/4	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	164	D-10(-)/Ⅱ/-	3	-	-	-	5YR6/8	5YR6/6	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	165	B-5(2)/Ⅱc/-	3	-	-	-	7.5YR6/4	7.5YR5/6	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	166	B-5(55)/Ⅲ/-	3	-	-	-	10YR7/4	10YR7/3	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	167	C-4(-)/Ⅲ/2705	3	-	-	-	10YR7/4	10YR7/4	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	
	168	B-4(15)/Ⅲ/-	3	-	-	-	7.5YR7/6	7.5YR7/8	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	内：赤色顔料
	169	C-10(2)/Ⅱ/-	3	-	-	-	10YR6/6	10YR5/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	170	D-10(4)/Ⅲ/-	3	-	-	-	7.5YR6/6	7.5YR5/3	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	
26	171	B-4(-)/Ⅲ/5372 B-4(19)/Ⅱc/-	3	48.0	-	-	7.5YR6/6	10YR5/3	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	AMS
	172	B-4(-)/Ⅲ/2360	3	46.0	-	-	7.5YR5/4	7.5YR6/6	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	173	C-4(-)/Ⅲ/4823	3	35.4	-	-	10YR6/4	10YR6/4	ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	内：白色顔料?
	174	B-5(42)/Ⅱc/-	3	-	-	-	7.5YR6/6	10YR6/6	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	175	C-10(-)/Ⅱ/5635 C-10(3)/Ⅱ/-	3	27.6	-	-	7.5YR6/6	7.5YR6/6	貝殻条痕	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	補修孔
	176	C-4(-)/Ⅲ/2835 C-3(81)/Ⅲ/-	3	20.4	-	-	7.5YR6/4	10YR5/8	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	内：赤色顔料
	177	B-4(-)/Ⅲ/4144 B-4(56)/Ⅲ/-	3	18.6	-	-	10YR5/4	10YR5/3	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	外：煤付着
	178	D-11(3)/Ⅲ/-	3	-	-	-	7.5YR6/6	7.5YR5/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	
	179	C-4(78)/Ⅲ/-	3	-	-	-	10YR6/6	10YR6/4	貝殻条痕→ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	180	D-11(-)/Ⅲ/-	3	-	-	-	5YR5/6	5YR5/4	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	
	181	D-11(-)/Ⅱ/6600 D-11(3)/Ⅲ/-	3	40.6	-	-	7.5YR5/6	7.5YR6/6	ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	
	182	B-4(-)/Ⅲ/3145 B-4(-)/Ⅲ/3664	3	32.5	-	-	10YR7/4	2.5Y6/3	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	183	C-10(1)/Ⅱ/- C-10(-)/Ⅱ/5517 C-10(-)/Ⅱ/6773	3	31.2	-	-	5YR4/3	5YR5/4	ケズリ→ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	-	○	-	-	ob	
27	184	D-9(-)/Ⅱ/-	3	46.8	-	-	7.5YR6/6	7.5YR6/6	貝殻条痕	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	外：煤付着
	185	C-5(12)/Ⅱc/-	3	-	-	-	10YR5/6	10YR6/6	貝殻条痕→ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	186	D-10(3)/Ⅱ/-	3	39.5	-	-	7.5YR7/6	10YR6/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	
	187	B-5(-)/Ⅲ/2249	3	21.0	-	-	5YR5/6	5YR5/4	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	188	C-5(91)/Ⅲ/-	3	34.2	-	-	10YR4/2	10YR6/4	貝殻条痕	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	
	189	D-9(-)/Ⅱ/-	3	-	-	-	2.5Y4/4	10YR5/4	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	190	C-4(56)/Ⅱc/-	3	-	-	-	7.5YR5/6	7.5YR5/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	191	C-4(-)/Ⅲ/4154 B-4(-)/Ⅲ/4410	3	31.2	-	-	10YR5/4	7.5YR5/6	貝殻条痕→ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	192	D-11(3)/Ⅲ/-	3	-	-	-	5YR5/6	5YR5/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	193	C-9(-)/Ⅱ/-	3	35.0	-	-	5YR5/6	5YR5/4	貝殻条痕→ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	194	C-10(-)/Ⅲ/-	3	-	-	-	10YR5/4	10YR6/4	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	内：白色顔料?
	195	C-9(-)/Ⅱ/-	3	-	-	-	7.5YR4/2	7.5YR5/2	貝殻条痕	貝殻条痕	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	外：煤付着
	196	C-4(-)/Ⅲ/4838	3	28.2	-	-	10YR4/3	10YR6/4	貝殻条痕→ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	197	C-4(-)/Ⅲ/1953	3	23.5	-	-	7.5YR5/4	10YR5/4	貝殻条痕	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	198	C-10(1)/Ⅲ/-	3	30.4	-	-	10YR5/3	2.5Y5/3	貝殻条痕	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
28	199	B-5(-)/Ⅲ/2173 C-5(91)/Ⅲ/- B-4(-)/Ⅱc/221	3	50.3	-	-	10YR6/4	10YR5/4	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	-	○	○	○	-	-	-	-	
	200	B-5(54)/Ⅳ/- B-5(55)/Ⅳ/-	3	37.4	-	-	7.5YR5/4	7.5YR5/6	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	
	201	C-10(-)/Ⅱ/6767	3	30.4	-	-	2.5Y7/4	2.5Y8/4	ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	
	202	C-4(-)/Ⅱc/1673	3	25.6	-	-	7.5YR6/4	10YR7/4	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	203	C-9(-)/Ⅱ/-	3	27	-	-	10YR3/2	10YR4/3	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	
	204	C-10(-)/Ⅱ/7223 C-10(-)/Ⅱ/7756	3	30.8	-	-	7.5YR4/3	10YR6/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	205	B-5(-)/Ⅲ/2487	3	-	-	-	10YR3/2	7.5YR5/6	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	
	206	C-10(-)/Ⅱ/8431	3	-	-	-	10YR4/2	10YR6/4	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	
	207	C-10(2)/Ⅲ/-	3	-	-	-	7.5YR6/6	7.5YR6/8	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	
	208	B-5(52)/Ⅲ/- B-5(52)/Ⅳ/-	3	-	-	-	7.5YR4/2	7.5YR5/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	209	D-9(-)/Ⅱ/-	3	-	-	-	7.5YR6/6	7.5YR7/6	貝殻条痕→ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
	210	B-4(39)/Ⅲ/-	3	-	-	-	10YR7/3	10YR6/3	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	211	D-9(-)/Ⅱ/-	3	-	-	-	7.5YR5/3	7.5YR5/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	
	212	C-10(-)/Ⅱ/5427	3	-	-	-	7.5YR5/3	10YR6/4	貝殻条痕→ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	
	213	C-3(39)/Ⅲ/-	3	-	-	-	5YR5/8	5YR5/8	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	214	B-5(42)/Ⅲ/-	3	-	-	-	10YR6/4	10YR6/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	
	215	D-11(3)/Ⅲ/-	3	-	-	-	5YR6/6	5YR6/8	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	
	216	D-9(-)/Ⅱ/-	3	-	-	-	7.5YR6/6	2.5Y6/3	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	外：煤付着
	217	B-5(41)/Ⅲ/-	3	-	-	-	5YR6/6	5YR6/8	貝殻条痕→ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
29	218	B-4(-)/Ⅲ/4138 B-4(-)/Ⅲ/-	3	46	-	-	10YR5/3	10YR5/3	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	219	C-10(1)/Ⅲ/- C-10(-)/Ⅲ/-	3	37	-	-	10YR6/4	10YR7/4	貝殻条痕	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	220	C-10(1)/Ⅲ/- C-10(2)/Ⅱ/-	3	30.6	-	-	7.5YR6/6	7.5YR6/6	貝殻条痕→ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	221	D-10(-)/Ⅱ/7475 D-10(-)/Ⅱ/5881	3	28.6	-	-	7.5YR5/4	10YR6/4	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	AMS

第11表　縄文土器観察表（4）

挿図番号	掲載番号	グリッド(小グリッド)／層／取上番号	分類	口径	底径	器高	外面色調	内面色調	外面調整	内面調整	石英	長石	角閃	火ガ	黒粒	白粒	赤粒	軽石	雲母	滑石	他	備考
29	222	C-4(-)/Ⅱc/1538	3	-	-	-	7.5YR7/6	5YR6/8	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	223	C-10(1)/Ⅲ/-	3	32.0	-	-	7.5YR5/4	7.5YR6/4	貝殻条痕→ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	224	C-4(49)/Ⅱc/-	3	-	-	-	2.5Y3/3	7.5YR5/4	貝殻条痕→ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	
	225	D-10(-)/Ⅱ/-	3	-	-	-	2.5Y5/3	2.5Y6/4	貝殻条痕	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	
	226	B-4(-)/Ⅲ/3480 KSK一括	3	31.4	-	-	10YR5/4	5YR5/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	227	C-9(-)/Ⅱ/-	3	-	-	-	7.5YR5/4	10YR5/3	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	-	○	○	○	-	-	-	-	外：煤付着
	228	C-4(20)/Ⅳb/-	3	-	-	-	7.5YR6/6	10YR7/8	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	229	C-4(-)/Ⅲ/2422	3	-	-	-	7.5YR6/6	10YR5/4	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	-	○	-	内：赤色顔料
	230	C-9(-)/Ⅱ/-	3	-	-	-	7.5YR5/4	10YR5/3	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	外：煤付着
	231	B-4(69)/Ⅲ/-	3	-	-	-	7.5YR4/4	7.5YR6/6	貝殻条痕→ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	232	B-5(-)/Ⅳ/8845	3	-	-	-	7.5YR5/4	7.5YR5/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	233	C-?(-)/Ⅲ/-	3	-	-	-	10YR6/6	7.5YR7/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	234	C-10(-)/Ⅱ/-	3	-	-	-	7.5YR5/4	10YR7/4	貝殻条痕→ナデ	ナデ	○	○	○	-	○	○	○	-	○	-	-	
	235	B-4(47)/Ⅲ/-	3	-	-	-	7.5YR4/3	7.5YR4/3	貝殻条痕→ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	-	○	-	外：赤色顔料
	236	C-5(52)/Ⅳ/-	3	-	-	-	10YR5/3	10YR4/1	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	
30	237	D-10(-)/Ⅱ/7060 D-10(3)/Ⅱ/- D-9(-)/Ⅱ/-	3	-	-	-	2.5Y5/3	10YR6/6	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	
	238	C-10(-)/Ⅱ/- C-10(3)/Ⅱ/-	3	-	-	-	7.5YR5/6	7.5YR5/3	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	239	C-4(45)/Ⅲ/-	3	-	-	-	7.5YR6/4	7.5YR6/4	貝殻条痕→ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	AMS
	240	B-4(-)/Ⅱc/1225	3	-	-	-	7.5YR6/6	7.5YR6/6	貝殻条痕→ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
	241	B-4(-)/Ⅲ/3822	3	-	-	-	10YR4/3	10YR4/3	貝殻条痕→ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	
	242	C-4(82)/Ⅲ/-	3	-	-	-	7.5YR5/3	7.5YR5/2	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	243	B-4(70)/Ⅲ/-	3	-	-	-	5YR6/6	5YR5/4	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	244	C-11(1)/Ⅱ/-	3	-	-	-	5YR6/6	5YR6/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	
	245	C-9(-)/Ⅱ/-	3	-	-	-	10YR5/6	10YR6/4	貝殻条痕→ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
	246	C-10(-)/Ⅱ/6718	3	-	-	-	7.5YR6/8	7.5YR6/8	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	247	C-4(-)/Ⅲ/2106	3	-	-	-	10YR7/4	10YR7/4	貝殻条痕	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	
	248	C-10(-)/Ⅱ/10231	3	-	-	-	10YR5/8	10YR6/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	249	C-10(-)/Ⅱ/-	3	-	-	-	7.5YR6/6	7.5YR6/6	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	250	C-4(88)/Ⅲ/-	3	-	-	-	10YR4/3	10YR5/4	貝殻条痕→ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	-	
	251	B-4(-)/Ⅲ/3989	3	-	-	-	5YR5/6	7.5YR6/4	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	252	C-10(-)/Ⅱ/- C-10(3)/Ⅱ/-	3	-	-	-	10YR7/3	10YR7/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	
	253	B-5(65)/Ⅳ/- B-4(-)/Ⅱc/-	3	-	-	-	5YR6/8	7.5YR6/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	254	B-5(55)/Ⅳ/-	3	-	-	-	10YR6/6	10YR6/6	貝殻条痕→ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	255	B-4(-)/Ⅳ/-	3	-	-	-	10YR5/4	10YR5/3	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	256	B-5(54)/Ⅱc/-	3	-	-	-	7.5YR5/4	10YR5/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
31	257	C-10(-)/Ⅱ/5420	3	37.4	-	-	10YR5/4	10YR6/2	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	258	C-4(8)/Ⅱc/-	3	-	-	-	10YR4/2	2.5Y6/3	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	259	B-4(-)/Ⅲ/4580 C-4(48)/Ⅱc/-	3	40.0	-	-	5YR5/4	10YR6/4	指頭圧痕→ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	561と同一
	260	C-4(-)/Ⅲ/-	3	27.2	-	-	10YR4/3	10YR5/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	261	D-10(-)/Ⅱ/5882	3	-	-	-	10YR6/4	2.5Y6/3	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	262	D-9(4)/Ⅱ/-	3	37.3	-	-	10YR4/4	10YR5/4	ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	263	C-4(-)/Ⅲ/1889 C-4(49)/Ⅱc/-	3	21.0	-	-	2.5Y3/2	10YR5/6	貝殻条痕→ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	264	B-4(-)/Ⅲ/3821 B-5(12)/Ⅲ/-	3	31.4	-	-	7.5YR5/3	7.5YR6/6	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	265	D-10(-)/Ⅱ/5910 D-10(-)/Ⅱ/9261	3	29.5	-	-	10YR5/2	10YR6/4	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	266	B-4(-)/Ⅲ/4514 B-4(-)/Ⅲ/4513 B-4(-)/Ⅲ/4508 B-4(49)/Ⅲ/- B-4(40)/Ⅲ/-	3	33.4	-	-	10YR6/4	10YR7/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	内：赤色顔料
	267	C-4(7)/Ⅲ/1588 C-4(-)/Ⅱc/1622 C-4(8)/Ⅳa/- C-4(7)/Ⅲ/-	3	28.2	-	-	10YR4/3	7.5YR6/6	ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	
32	268	C-10(-)/Ⅱ/10522 C-11(1)/Ⅲ/- C-11(-)/Ⅲ/-	3	50.0	-	-	7.5YR6/6	7.5YR6/6	ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	269	C-4(-)/Ⅲ/4506 C-4(-)/Ⅲ/4507 C-4(9)/Ⅳa/-	3	49.4	-	-	5YR6/6	7.5YR6/6	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	
	270	C-4(-)/Ⅲ/1893 C-4(39)/Ⅱc/- C-4(33)/Ⅱc/-	3	44.5	-	-	7.5YR6/6	7.5YR6/8	貝殻条痕	貝殻条痕	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	
	271	C-10(-)/Ⅱ/9633	3	33.6	-	-	7.5YR5/4	10YR5/3	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	-	○	○	○	-	○	-	-	
	272	C-5(91)/Ⅲ/- C-5(100)/Ⅲ/- B-5(41)/Ⅲ/- B-5(-)/Ⅲ/2251 B-5(-)/Ⅲ/2252	3	31.8	-	-	5YR5/6	10YR6/4	貝殻条痕→ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	
	273	B-4(-)/Ⅲ/5145 B-4(57)/Ⅲ/-	3	26.6	-	-	10YR6/4	10YR6/4	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	
	274	B-5(-)/Ⅲ/1986	3	-	-	-	2.5Y7/4	2.5Y7/4	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
33	275	C-4(-)/Ⅲ/4206 C-4(-)/Ⅲ/4207	3	25	-	-	7.5YR4/4	10YR5/4	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	276	B-4(-)/Ⅲ/4639 B-4(17)/Ⅲ/- B-4(27)/Ⅲ/-	3	34.7	-	-	5YR3/1	5YR5/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	補修孔
	277	B-4(8)/Ⅲ/- B-4(18)/Ⅲ/-	3	22.8	-	-	10YR6/4	10YR8/3	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	278	C-4(33)/Ⅲ/-	3	17.2	-	-	10YR6/4	10YR6/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	279	C-4(86)/Ⅲ/- B-4(-)/Ⅱc/- B-4(17)/Ⅲ/-	3	22.6	-	-	5YR4/3	5YR3/1	ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	-	○	○	○	-	○	-	-	-	
	280	B-4(43)/Ⅱc/-	3	-	-	-	5YR5/4	7.5YR6/3	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	-	○	○	○	-	○	-	-	-	

第12表　縄文土器観察表（5）

挿図番号	掲載番号	グリッド(小グリッド)／層／取上番号	分類	口径	底径	器高	外面色調	内面色調	外面調整	内面調整	石英	長石	角閃	火ガ	黒粒	白粒	赤粒	軽石	雲母	滑石	他	備考
33	281	C-4(6)/Ⅲ/-	3	-	-	-	7.5YR5/6	7.5YR6/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	282	C-4(-)/Ⅲ/1942	3	-	-	-	10YR7/3	7.5YR7/6	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	-	○	○	○	-	○	-	-	-	
	283	C-4(16)/Ⅲ/-	3	-	-	-	7.5YR6/4	10YR7/4	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	-	○	○	○	-	○	-	-	-	
	284	B-4(-)/Ⅲ/4623	3	-	-	-	10YR5/3	7.5YR6/4	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	-	○	-	-	-	
	285	D-10(4)/Ⅲ/-	3	-	-	-	7.5YR5/6	10YR7/3	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	-	○	-	-	-	
	286	C-10(-)/Ⅱ/8982	3	-	-	-	7.5YR5/4	10YR5/4	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	-	○	-	-	-	
	287	B-5(55)/Ⅱc/-	3	-	-	-	10YR6/4	7.5YR6/6	ナデ	ナデ	○	○	○	-	○	○	○	-	○	-	-	
	288	B-4(-)/Ⅲ/3245	3	-	-	-	7.5YR6/3	7.5YR5/2	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	-	○	○	○	-	○	○	-	-	
34	289	B-4(25)/Ⅲ/- B-4(29)/Ⅲ/- B-4(36)/Ⅲ/- B-4(48)/Ⅲ/- B-5(-)/Ⅲ/2460	4	43.0	-	-	7.5YR6/6	10YR5/6	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	
	290	C-3(10)/Ⅲ/-	4	-	-	-	2.5Y5/4	2.5Y4/2	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	291	C-4(18)/Ⅲ/- C-4(18)/Ⅲ/1583	4	39.2	-	-	7.5YR5/3	10YR6/4	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	292	C-3(60)/Ⅲ/-	4	-	-	-	7.5YR6/6	10YR6/4	ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	293	B-4(-)/Ⅲ/5147	4	-	-	-	5YR6/4	7.5YR6/6	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	外：赤色顔料?
	294	B-4(8)/Ⅲ/- B-5(43)/Ⅳ/-	4	38.2	-	-	7.5YR5/6	7.5YR6/6	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	295	B-4(-)/Ⅲ/4423	4	-	-	-	7.5YR7/6	7.5YR6/6	貝殻条痕→ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	296	C-5(92)/Ⅲ/- B-4(-)/Ⅲ/-	4	36.6	-	-	10YR5/3	10YR5/4	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	297	C-5(92)/Ⅲ/-	4	-	-	-	10YR5/4	7.5YR6/6	ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	
	298	B-5(34)/Ⅳ/- B-5(14)/Ⅳ/- B-5(61)/Ⅲ/-	4	38.0	-	-	10YR6/4	10YR6/6	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	
	299	C-10(2)/Ⅲ/-	4	-	-	-	10YR6/4	10YR7/4	ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	300	C-10(1)/Ⅲ/-	4	31.4	-	-	7.5YR5/4	10YR6/4	貝殻条痕	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	301	B-4(-)/Ⅲ/4549 B-4(-)/Ⅳ/-	4	-	-	-	10YR5/4	7.5YR5/4	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	302	B-4(-)/Ⅲ/3972 B-4(60)/Ⅲ/-	4	30.5	-	-	10YR5/4	7.5YR5/4	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	303	B-4(18)/Ⅲ/- B-4(69)/Ⅲ/-	4	-	-	-	10YR4/4	10YR6/3	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
	304	B-5(-)/Ⅲ/2020 B-5(-)/Ⅲ/2018 B-5(57)/Ⅲ/- B-5(47)/Ⅳ/- B-5(-)/Ⅳ/-	4	25.2	-	-	7.5YR5/4	7.5YR6/6	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
35	305	C-9(2)/Ⅱ/-	4	38.2	-	-	5YR5/6	10YR7/4	貝殻条痕→ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	306	B-4(-)/Ⅲ/3650	4	-	-	-	10YR4/2	10YR5/4	貝殻条痕→ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	307	C-4(-)/Ⅲ/2409 C-4(43)/Ⅲ/-	4	40.4	-	-	7.5YR5/4	10YR6/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	
	308	B-4(-)/Ⅲ/3825	4	-	-	-	7.5YR5/4	10YR6/4	貝殻条痕→ナデ	ナデ	○	○	○	-	○	○	○	-	○	-	-	
	309	C-4(-)/Ⅲ/2659	4	29.6	-	-	7.5YR5/6	7.5YR6/6	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	
	310	C-10(-)/Ⅱ/- C-10(1)/Ⅱ/-	4	26.1	-	-	10YR5/3	7.5YR5/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	311	B-5(2)/Ⅲ/- B-5(2)/Ⅱc/- B-5(12)/Ⅲ/- B-5(3)/Ⅲ/-	4	21.6	-	-	7.5YR5/4	10YR4/2	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	312	B-4(-)/Ⅲ/5348 C-4(-)/Ⅳ/-	4	34.4	-	-	5YR6/6	10YR6/4	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	313	B-4(44)/Ⅱc/- B-4(54)/Ⅱc/-	4	25.5	-	-	7.5YR5/3	10YR6/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	314	C-9(-)/Ⅱ/-	4	32.2	-	-	7.5YR5/6	7.5YR5/6	貝殻条痕→ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	内：赤色顔料
	315	C-4(-)/Ⅲ/2599	4	-	-	-	10YR5/8	10YR7/6	貝殻条痕→ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
36	316	B-5(-)/Ⅲ/1975	4	40.5	-	-	10YR5/4	10YR5/4	貝殻条痕	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	317	B-5(-)/Ⅲ/1987	4	-	-	-	10YR7/4	2.5Y6/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	318	C-4(-)/Ⅲ/2113 C-4(-)/Ⅲ/2114	4	38.4	-	-	7.5YR6/4	7.5YR6/4	貝殻条痕→ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	外：煤付着
	319	C-11(-)/Ⅱ/9723	4	-	-	-	7.5YR5/3	7.5YR5/4	貝殻条痕→ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	320	C-4(-)/Ⅲ/1945 C-4(-)/Ⅲ/1946 C-4(-)/Ⅲ/1947 C-4(-)/Ⅲ/1948 C-4(-)/Ⅲ/1949 C-4(-)/Ⅲ/1950 C-4(-)/Ⅲ/1951 C-4(69)/Ⅲ/- C-4(69)/Ⅱc/-	4	36.4	-	-	7.5YR6/6	7.5YR6/6	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	
37	321	C-10(-)/Ⅱ/7753 C-10(-)/Ⅱ/6735 C-10(-)/Ⅱ/7191 C-10(-)/Ⅱ/6747 C-10(-)/Ⅱ/7180 C-10(-)/Ⅱ/7181 C-10(-)/Ⅱ/5775 C-10(-)/Ⅱ/6746	5	32.4	-	-	7.5YR6/4	7.5YR6/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	外：煤付着
	322	D-10(2)/Ⅲ/-	5	-	-	-	2.5YR5/3	5YR7/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	
	323	C-4(88)/Ⅲ/-	5	-	-	-	7.5YR5/3	5YR6/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	
	324	B-4(-)/Ⅲ/5152 B-5(57)/Ⅲ/-	5	30.8	-	-	10YR7/4	10YR7/6	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	
	325	C-4(-)/Ⅲ/2178	5	28.4	-	-	5YR5/3	5YR5/3	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	
	326	D-9(-)/Ⅱ/6434	5	27	-	-	10YR5/3	10YR6/3	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	
38	327	C-10(-)/Ⅱ/10339 C-9(2)/Ⅱ/- C-10(-)/Ⅱ/10401 C-10(1)/Ⅱ/- B-5(5)/Ⅲ/- C-11(1)/Ⅲ/- C-10(1)/Ⅲ/-	5	37.2	-	-	7.5YR7/4	7.5YR7/4	貝殻条痕→ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	
	328	B-5(45)/Ⅳ/- B-5(45)/Ⅲ/-	5	25.8	-	-	10YR6/3	7.5YR6/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	
39	329	C-10(-)/Ⅱ/7752	5	37.0	-	-	10YR4/2	10YR4/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	
	330	B-4(-)/Ⅲ/5094	5	-	-	-	7.5YR4/2	10YR4/2	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	
	331	B-5(-)/Ⅳ/8845 B-5(-)/Ⅳ/8850	5	30.3	-	-	5YR5/4	5YR5/1	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	

第13表　縄文土器観察表（6）

挿図番号	掲載番号	グリッド(小グリッド)／層／取上番号	分類	口径	底径	器高	外面色調	内面色調	外面調整	内面調整	石英	長石	角閃	火ガ	黒粒	白粒	赤粒	軽石	雲母	滑石	他	備考
39	332	B-5(27)/Ⅲ/-	5	-	-	-	7.5YR4/1	10YR5/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	
	333	B-5(-)/Ⅱc/644	5	-	-	-	10YR6/3	10YR7/2	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	
	334	B-4(-)/Ⅳ/-	5	-	-	-	10YR6/3	10YR5/1	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	
	335	B-4(6)/Ⅲ/-	5	-	-	-	5YR5/4	5YR4/1	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	
	336	B-4(-)/Ⅲ/3060	5	-	-	-	10YR4/2	10YR4/2	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	
	337	C-10(1)/Ⅱ/-	5	-	-	-	7.5YR5/4	7.5YR4/2	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	
	338	B-4(3)/Ⅱc/-	5	-	-	-	7.5YR5/6	7.5YR5/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	
	339	C-9(-)/Ⅱ/6421	5	-	-	-	10YR4/2	10YR5/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	
	340	D-10(4)/Ⅱ/-	5	-	-	-	10YR5/3	10YR6/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	
	341	C-4(-)/Ⅲ/5219 B-4(-)/Ⅲ/2474 B-4(-)/Ⅲ/5035 D-5(20)/Ⅲ/-	5	-	-	-	5YR5/4	5YR5/4	貝殻条痕→ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	
	342	B-4(-)/Ⅱc/1266	5	-	-	-	5YR6/4	5YR6/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	
	343	B-5(41)/Ⅲ/-	5	-	-	-	5YR5/4	5YR5/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	
	344	C-10(2)/Ⅱ/-	5	-	-	-	7.5YR5/4	10YR5/2	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	
	345	D-10(4)/Ⅲ/-	5	-	-	-	7.5YR5/3	5YR5/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	
	346	C-10(-)/Ⅱ/-	5	-	-	-	5YR4/6	5YR4/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	
	347	B-5(-)/Ⅳ/-	5	-	-	-	7.5YR4/4	7.5YR4/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	
	348	B-4(37)/Ⅲ/-	5	-	-	-	7.5YR4/3	10YR3/3	貝殻条痕→ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	
	349	D-10(3)/Ⅱ/-	5	-	-	-	10YR6/3	10YR6/3	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	
	350	C-10(2)/Ⅲ/-	5	-	-	-	2.5Y4/2	10YR4/3	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	
	351	C-10(1)/Ⅱ/-	5	-	-	-	5YR5/4	5YR5/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	
	352	D-10(-)/Ⅱ/- D-11(3)/Ⅲ/-	5	-	-	-	5YR6/6	5YR6/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	
	353	C-10(1)/Ⅲ/-	5	-	-	-	10YR3/1	10YR4/2	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	
	354	C-10(2)/Ⅱ/-	5	-	-	-	5YR5/3	5YR5/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	
	355	D-10(4)/Ⅲ/-	5	-	-	-	7.5YR6/4	7.5YR6/6	貝殻条痕→ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	
	356	C-4(-)/Ⅲ/4969	5	-	-	-	7.5YR4/4	7.5YR5/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	
	357	C-3(-)/Ⅲ/1741	5	-	-	-	7.5YR5/4	7.5YR6/2	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	
40	358	B-4(-)/Ⅲ/5349 B-4(-)/Ⅲ/5263	5	33.8	-	-	10YR7/4	2.5YR6/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
	359	B-4(-)/Ⅲ/4422 B-4(13)/Ⅲ/-	5	19	-	-	7.5YR5/4	5YR5/6	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	○	-	-	○	-	
	360	D-9(-)/Ⅱ/-	5	-	-	-	5YR5/4	7.5YR6/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	
	361	B-4(-)/Ⅲ/4031	5	32	-	-	7.5YR6/6	7.5YR6/4	貝殻条痕→ナデ	ナデ	○	○	○	-	○	○	○	-	-	-	-	
	362	B-4(60)/Ⅱc/-	5	-	-	-	5YR5/6	5YR6/8	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	363	C-10(-)/Ⅱ/9648	5	-	-	-	7.5YR5/6	7.5YR4/3	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	
	364	C-4(51)/Ⅲ/-	5	-	-	-	7.5YR7/8	10YR8/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	
	365	C-4(57)/Ⅲ/-	5	-	-	-	7.5YR6/6	10YR6/4	貝殻条痕→ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	366	B-5(-)/Ⅲ/1998 B-5(33)/Ⅲ/- B-5(-)/Ⅱc/101 C-4(-)/Ⅲ/1867	5	31	-	-	10YR7/6	2.5Y4/2	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	-	○	○	○	-	-	-	-	
	367	B-4(29)/Ⅲ/-	5	-	-	-	10YR5/4	2.5Y5/4	貝殻条痕→ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	
	368	C-4(58)/Ⅱc/-	5	-	-	-	10YR7/4	7.5YR7/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	
	369	D-10(2)/Ⅲ/-	5	-	-	-	7.5YR3/2	7.5YR5/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	
	370	B-5(24)/Ⅳ/-	5	-	-	-	10YR5/3	7.5YR6/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	
	371	C-11(1)/Ⅲ/-	5	-	-	-	7.5YR3/1	7.5YR5/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	
41	372	B-4(-)/Ⅲ/1771 B-4(-)/Ⅲ/2244 B-4(45)/Ⅲ/- B-4(-)/Ⅱc/423	6	25.8	-	-	7.5YR4/4	10YR6/4	ナデ	ナデ，施文による押圧痕	○	○	○	○	○	○	-	-	-	○	-	
	373	C-4(-)/Ⅲ/5306 B-4(15)/Ⅲ/-	6	26.6	-	-	2.5YR5/6	2.5YR5/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	-	
	374	C-10(1)/Ⅲ/- C-10(-)/Ⅱ/9631	6	27.8	-	-	5YR6/6	5YR6/6	ナデ	ナデ，施文による押圧痕	○	○	○	○	○	○	-	-	○	○	-	
	375	D-10(-)/Ⅱ/6175 B-5(-)/Ⅲ/2589 B-4(10)/Ⅱc/-	6	36	-	-	5YR6/6	7.5YR5/4	ナデ	ナデ，施文による押圧痕	○	○	○	○	○	○	-	-	○	○	-	
	376	C-4(-)/Ⅲ/4807 C-4(-)/Ⅲ/4831 C-5(91)/Ⅲ/-	6	37.3	-	-	7.5YR6/6	7.5YR6/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	-	○	○	-	
	377	C-4(-)/Ⅲ/2341	6	-	-	-	10YR6/4	10YR6/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	-	○	-	-	
	378	B-4(-)/Ⅲ/4416 B-4(-)/Ⅲ/4424 B-4(-)/Ⅲ/2057 C-4(68)/Ⅱc/- C-4(78)/Ⅲ/-	6	34.8	-	-	7.5YR5/4	7.5YR5/4	ナデ	ナデ，施文による押圧痕	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	-	
42	379	D-10(-)/Ⅱ/5868 D-10(3)/Ⅲ/-	6	39.8	-	-	10YR5/3	10YR5/3	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	380	D-10(-)/Ⅱ/- C-10(-)/Ⅱ/- C-10(-)/Ⅱ/6818	6	26	-	-	10YR5/2	7.5YR6/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	
	381	B-4(-)/Ⅲ/3235	6	-	-	-	2.5YR5/6	10YR5/3	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	○	-	
	382	B-4(-)/Ⅲ/3324 B-4(-)/Ⅲ/4554 B-4(-)/Ⅲ/4638	6	36	-	-	5YR5/6	5YR5/6	ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	383	C-4(15)/Ⅲ/-	6	-	-	-	7.5YR4/2	10YR4/3	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	-	○	○	○	-	○	-	-	-	
	384	D-11(-)/Ⅲ/9848	6	-	-	-	5YR5/6	5YR5/6	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	-	○	○	○	-	
	385	B-4(-)/Ⅲ/5051	6	-	-	-	5YR4/6	5YR4/6	ナデ	ナデ，施文による押圧痕	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	386	D-10(-)/Ⅲ/-	6	-	-	-	2.5YR6/4	2.5YR6/4	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	○	-	-	○	-	
43	387	C-4(-)/Ⅲ/4848	6	24.1	-	-	7.5YR4/3	7.5YR5/6	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	○	○	-	-	-	外：煤付着
	388	D-10(4)/Ⅲ/- D-10(4)/Ⅱ/-	6	24	-	-	7.5YR5/3	7.5YR6/4	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	○	-	-	○	-	
	389	C-4(-)/Ⅲ/2712 C-4(-)/Ⅲ/2744	6	26.6	-	-	10YR5/3	10YR6/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	390	C-4(47)/Ⅲ/- B-4(-)/Ⅲ/4013 C-4(-)/Ⅲ/2751	6	17.7	-	-	5YR5/6	7.5YR6/6	ナデ	工具ナデ	○	○	-	○	○	○	○	-	-	-	-	
	391	C-10(-)/Ⅱ/10036	6	28.6	-	-	10YR7/6	7.5YR6/6	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	-	○	-	○	-	
	392	C-3(-)/Ⅲ/4378	6	19.8	-	-	10YR5/4	10YR6/6	ナデ	ナデ，施文による押圧痕	○	○	○	○	○	○	-	-	-	○	-	

第14表　縄文土器観察表（7）

挿図番号	掲載番号	グリッド(小グリッド)／層／取上番号	分類	口径	底径	器高	外面色調	内面色調	外面調整	内面調整	石英	長石	角閃	火ガ	黒粒	白粒	赤粒	軽石	雲母	滑石	他	備考
43	393	B-4(-)/Ⅳ/-	6	-	-	-	5YR6/6	2.5YR5/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	
	394	D-9(-)/Ⅱ/-	6	29.4	-	-	10YR3/1	5YR4/4	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	-	○	○	○	-	
	395	B-4(55)/Ⅲ/-	6	-	-	-	5YR5/3	10YR7/4	ナデ	ナデ，施文による押圧痕	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	
	396	C-10(-)/Ⅲ/-	6	-	-	-	5YR5/4	5YR5/6	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	-	-	-	○	-	
	397	D-11(1)/Ⅲ/-	6	-	-	-	7.5YR5/4	7.5YR5/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	398	C-10(-)/Ⅱ/7890	6	-	-	-	5YR5/4	5YR5/3	ケズリ→ナデ	ナデ	○	○	○	-	-	-	-	-	-	○	-	
	399	C-10(1)/Ⅲ/-	6	-	-	-	5YR6/6	5YR6/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	○	-	
	400	D-9(4)/Ⅱ/-	6	-	-	-	7.5YR4/1	7.5YR6/3	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	-	-	○	-	
	401	B-4(46)/Ⅲ/-	6	-	-	-	2.5YR5/6	5YR5/8	ナデ	ナデ，施文による押圧痕	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	
	402	D-10(-)/Ⅱ/-	6	-	-	-	7.5YR4/3	7.5YR5/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	403	C-4(-)/Ⅲ/5337	6	-	-	-	7.5YR4/3	7.5YR5/4	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	-	○	-	○	-	
	404	C-4(76)/Ⅲ/- C-4(77)/Ⅱc/- C-4(77)/Ⅲ/- C-4(78)/Ⅲ/-	6	37	-	-	7.5YR4/3	10YR5/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	○	-	
44	405	C-10(-)/Ⅱ/ 8871/7413/7409 /7052/5910/7410 /8781/7405/8790 /8772/7408/9296 /9281/8804/8807 /8806/8805/9295 /8802/8776/8837 /8808/8777/8778 /8780/8783/9273 /9276/8809/8773 /8782/8803/8779 /7403/7405/8784 /8787/8810/8789 /8788/9294/8775 /8786/8790/5924 /9271/9273/8788 /9262/8838	6	29.5	-	-	10YR6/4	7.5YR6/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	
45	406	C-10(-)/Ⅱ/5809 C-10(-)/Ⅱ/9968 C-10(-)/Ⅱ/10212 C-10(-)/Ⅱ/9967	6	16.4	-	-	5YR5/6	7.5YR5/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	
	407	B-4(47)/Ⅱ/3412 B-4(-)/Ⅱ/3413	6	47	-	-	5YR5/6	10YR6/3	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
46	408	C-4(-)/Ⅲ/1871	6	36.6	-	-	10YR5/4	7.5YR4/4	ナデ	ナデ，施文による押圧痕	○	○	-	○	○	○	-	○	-	○	-	
	409	C-4(-)/Ⅲ/1900	6	30.8	-	-	7.5YR5/4	10YR6/2	ナデ	ナデ，施文による押圧痕	○	○	-	○	○	○	-	-	○	○	-	
	410	D-10(-)/Ⅱ/-	6	29.6	-	-	7.5YR6/4	10YR5/2	ナデ	ナデ	○	-	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	411	C-4(-)/Ⅱc/2204 C-4(-)/Ⅱc/2205 -(-)/-/KSK一括	6	26.6	-	-	10YR6/4	10YR5/4	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	-	○	-	○	-	
	412	C-4(-)/Ⅲ/2419 C-4(-)/Ⅲ/2615 C-4(-)/Ⅱc/2203	6	22.8	-	-	10YR5/4	10YR6/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	-	-	○	-	
	413	C-10(-)/Ⅱ/5544 C-10(3)/Ⅱ/- C-10(1)/Ⅲ/-	6	24.2	-	-	7.5YR4/2	7.5YR5/3	ナデ	ナデ，施文による押圧痕	○	○	-	○	○	○	-	-	-	○	-	
	414	C-4(55)/Ⅲ/- C-4(75)/Ⅲ/- C-4(47)/Ⅱc/-	6	23	-	-	7.5YR5/4	5YR5/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	○	-	
	415	C-4(-)/Ⅲ/5197	6	-	-	-	7.5YR6/3	10YR7/3	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	○	-	-	○	-	
	416	B-4(-)/Ⅱc/1537	6	-	-	-	5YR6/6	7.5YR7/4	ナデ，指頭圧痕	ナデ，指頭圧痕	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	417	C-10(-)/Ⅱ/5585 C-10(-)/Ⅱ/5643 C-10(1)/Ⅲ/-	6	-	-	-	5YR4/4	5YR5/6	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	○	-	-	○	-	
	418	D-9(-)/Ⅱ/-	6	-	-	-	10YR4/2	5YR5/4	ナデ	ナデ，施文による押圧痕	○	○	-	○	○	○	○	-	-	○	-	
47	419	B-5(-)/Ⅱc/1541 B-4(17)/Ⅱc/- B-4(28)/Ⅲ/-	6	44.8	-	-	7.5YR4/4	5YR5/6	ナデ	ナデ，施文による押圧痕	○	○	○	○	○	○	-	-	-	○	-	
	420	B-4(-)/Ⅱc/1564	6	18	-	-	5YR6/6	5YR6/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	
	421	B-4(-)/Ⅲ/4035 B-4(-)/Ⅲ/5037 B-4(-)/Ⅲ/5268 C-4(76)/Ⅲ/-	6	38.2	-	-	7.5YR4/3	10YR5/3	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	422	C-4(-)/Ⅲ/4801	6	26.4	-	-	7.5YR6/4	10YR6/4	ナデ	ナデ，施文による押圧痕	○	○	○	○	○	○	-	-	○	-	-	
	423	B-4(-)/Ⅲ/3853 B-4(-)/Ⅲ/3858 B-4(-)/Ⅲ/3859 B-4(-)/Ⅲ/3861	6	37	-	-	5YR6/6	7.5YR6/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	424	D-11(-)/Ⅲ/9103	6	28	-	-	5YR6/6	5YR5/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	-	○	○	-	
	425	B-4(-)/Ⅲ/3090 B-4(49)/Ⅲ/-	6	32.2	-	-	5YR4/3	2.5YR5/8	ナデ	ナデ，施文による押圧痕	○	○	-	○	○	○	-	○	-	-	-	
	426	B-5(-)/Ⅳ/8847 C-10(2)/Ⅲ/-	6	-	-	-	7.5YR5/3	7.5YR5/3	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	-	○	-	○	-	
	427	C-4(-)/Ⅲ/4849	6	-	-	-	5YR6/8	7.5YR7/6	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	-	-	○	○	-	
	428	B-5(91)/Ⅳ/-	6	-	-	-	7.5YR4/1	7.5YR5/3	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	○	-	-	-	-	
	429	C-5(31)/Ⅲ/-	6	-	-	-	2.5YR5/3	2.5YR5/6	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	-	-	-	○	-	
	430	C-4(-)/Ⅳ/-	6	-	-	-	5YR4/4	7.5YR5/6	ナデ	ナデ，施文による押圧痕	○	○	○	○	○	○	-	-	-	○	-	
	431	B-4(-)/Ⅲ/3651	6	-	-	-	10YR4/2	10YR5/3	ナデ	ナデ，施文による押圧痕	○	○	-	○	○	○	-	-	-	-	-	
	432	B-4(1)/Ⅲ/-	6	-	-	-	7.5YR5/6	7.5YR6/6	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	○	○	-	-	-	
	433	C-4(-)/Ⅲ/4990	6	-	-	-	7.5YR4/3	7.5YR5/4	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	-	○	○	○	-	
	434	B-4(33)/Ⅱc/-	6	-	-	-	5YR4/1	5YR5/4	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	-	-	-	○	-	
	435	C-10(1)/Ⅲ/-	6	-	-	-	10YR4/2	10YR7/3	ナデ	ナデ，施文による押圧痕	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	
48	436	B-4(-)/Ⅲ/1827	6	-	-	-	5YR5/4	5YR5/6	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	-	○	-	-	-	
	437	C-4(37)/Ⅲ/-	6	-	-	-	5YR5/4	5YR6/6	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	-	-	-	-	-	
	438	C-3(38)/Ⅲ/-	6	-	-	-	10YR6/4	10YR5/3	ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	-	○	○	○	-	○	-	-	-	
	439	C-10(1)/Ⅱ/-	6	-	-	-	7.5YR6/6	10YR7/4	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	-	-	-	-	-	

第15表　縄文土器観察表（8）

挿図番号	掲載番号	グリッド(小グリッド)／層／取上番号	分類	口径	底径	器高	外面色調	内面色調	外面調整	内面調整	石英	長石	角閃	火ガ	黒粒	白粒	赤粒	軽石	雲母	滑石	他	備考
48	440	C-10(-)/Ⅱ/6395	6	-	-	-	5YR5/6	10YR5/3	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	-	○	-	-	-	
	441	C-11(1)/Ⅲ/-	6	-	-	-	5YR5/4	7.5YR6/4	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	-	-	-	○	-	
	442	C-10(-)/Ⅱ/5534	6	-	-	-	7.5YR5/4	10YR5/4	ナデ	ナデ	○	○	-	○	-	○	-	○	-	-	-	
	443	B-4(11)/Ⅱc/-	6	-	-	-	7.5YR6/6	10YR8/6	ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	-	○	○	○	-	○	-	-	-	
	444	D-10(3)/Ⅱ/-	6	-	-	-	7.5YR6/6	7.5YR5/4	ナデ	ナデ	○	-	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	445	C-4(53)/Ⅲ/-	6	-	-	-	10YR4/3	7.5YR6/4	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	-	○	-	-	-	
	446	B-5(53)/Ⅲ/-	6	-	-	-	5YR5/4	10YR7/3	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	○	-	
	447	C-4(-)/Ⅲ/5342	6	-	-	-	10YR7/4	7.5YR6/6	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	-	○	-	-	-	
	448	B-4(-)/Ⅲ/5371	6	-	-	-	5YR5/6	5YR5/6	ナデ	ナデ，施文による押圧痕	○	○	-	○	○	○	-	○	-	-	-	
	449	B-4(-)/Ⅲ/4441	6	-	-	-	7.5YR8/8	7.5YR8/6	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	-	-	-	○	-	
	450	C-4(71)/Ⅱc/-	6	-	-	-	5YR5/4	7.5YR5/4	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	-	○	-	○	-	
	451	D-10(4)/Ⅲ/-	6	-	-	-	5YR6/6	7.5YR6/6	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	-	○	-	-	-	
	452	C-10(1)/Ⅲ/-	6	-	-	-	7.5YR4/3	7.5YR5/3	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	-	○	-	○	-	
	453	C-4(-)/Ⅲ/4264	6	-	-	-	7.5YR5/6	10YR5/4	ナデ	ナデ	○	○	○	-	○	○	-	○	-	-	-	
	454	C-10(1)/Ⅱ/-	6	-	-	-	2.5YR4/6	10YR4/6	ナデ	ナデ	○	-	○	○	○	○	-	○	-	○	-	
	455	B-4(-)/Ⅱc/1232	6	-	-	-	5YR6/6	7.5YR6/6	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	○	-	-	○	-	
	456	D-9(-)/Ⅱ/-	6	-	-	-	7.5YR4/1	7.5YR5/2	ナデ	ナデ，施文による押圧痕	○	○	-	○	○	○	-	-	-	○	-	
	457	C-4(-)/Ⅲ/2335	6	-	-	-	7.5YR6/3	5YR6/4	ナデ	ナデ，施文による押圧痕	○	○	-	○	○	○	-	-	○	○	-	
	458	C-4(-)/Ⅲ/4970	6	-	-	-	5YR6/6	5YR6/6	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	-	○	-	-	-	
	459	C-4(-)/Ⅲ/5314 C-4(56)/Ⅲ/-	6	-	-	-	5YR5/6	5YR5/6	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	-	-	○	○	-	
	460	C-4(-)/Ⅱb/-	6	-	-	-	2.5Y3/2	7.5YR5/4	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	-	○	○	-	-	○	-	
	461	C-10(2)/Ⅲ/-	6	-	-	-	5YR5/4	7.5YR5/3	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	-	-	-	○	-	
	462	C-4(-)/Ⅲ/2336	6	-	-	-	7.5YR6/6	7.5YR6/6	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	-	○	-	-	-	
	463	C-10(-)/Ⅱ/9071	6	-	-	-	5YR5/6	5YR5/6	ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	-	○	○	○	-	○	-	-	-	
	464	B-4(-)/Ⅲ/4622	6	-	-	-	7.5YR6/4	10YR5/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	
49	465	C-10(-)/Ⅱ/10218 C-10(-)/Ⅱ/10219 C-10(-)/Ⅱ/10223	6	33.4	-	-	10YR3/3	5YR5/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	466	C-4(-)/Ⅱc/1580 C-4(-)/Ⅲ/4707	6	34.4	-	-	7.5YR5/6	5YR6/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	467	B-4(-)/Ⅲ/3340 B-4(-)/Ⅲ/3936	6	32.4	-	-	10YR5/4	10YR6/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	外：煤付着
	468	C-10(-)/Ⅱ/9390 C-10(10)/Ⅲ/-	6	32.4	-	-	10YR6/4	10YR6/4	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	-	○	-	-	-	
	469	B-4(-)/Ⅲ/1760	6	-	-	-	7.5YR6/6	10YR6/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	外：煤付着
	470	B-4(10)/Ⅲ/-	6	-	-	-	7.5YR6/6	10YR7/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	
	471	B-4(-)/Ⅲ/4576	6	-	-	-	7.5YR3/1	7.5YR6/6	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	-	○	-	-	-	
	472	B-4(-)/Ⅲ/4122	6	-	-	-	7.5YR4/4	7.5YR5/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	473	C-10(-)/Ⅱ/7779 C-10(-)/Ⅱ/8887 C-10(-)/Ⅱ/8916	6	21.5	-	-	7.5YR5/3	7.5YR5/4	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	-	○	-	-	-	
	474	B-4(-)/Ⅲ/5097	6	16.5	-	-	7.5YR3/2	7.5YR4/2	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	-	-	○	○	-	
	475	C-10(-)/Ⅱ/8590	6	-	-	-	7.5YR5/4	7.5YR6/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	476	C-4(37)/Ⅱc/-	6	-	-	-	5YR6/8	7.5YR6/4	ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	477	C-10(-)/Ⅱ/7759	6	-	-	-	7.5YR6/4	7.5YR6/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	478	D-10(-)/Ⅲ/-	6	-	-	-	7.5YR5/6	7.5YR6/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	
	479	B-4(-)/Ⅲ/3615	6	-	-	-	10YR6/4	10YR6/3	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	-	○	-	-	-	
	480	D-10(4)/Ⅱ/-	6	-	-	-	7.5YR4/3	7.5YR5/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	481	D-10(-)/Ⅱ/-	6	-	-	-	5YR5/6	5YR5/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	482	D-11(-)/Ⅲ/8726	6	-	-	-	7.5YR5/4	7.5YR6/8	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	
50	483	B-4(44)/Ⅱc/- B-4(54)/Ⅱc/-	6	-	-	-	5YR6/8	5YR6/8	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	484	C-4(-)/Ⅲ/5322	6	-	-	-	7.5YR4/3	7.5YR5/6	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	-	○	-	-	-	
	485	C-4(77)/Ⅱc/-	6	-	-	-	7.5YR5/3	7.5YR8/8	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	486	C-10(-)/Ⅱ/7352	6	-	-	-	10YR3/2	7.5YR6/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	487	C-10(-)/Ⅱ/5690 C-10(1)/Ⅱ/-	6	-	-	-	5YR5/4	5YR4/1	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	
	488	B-4(-)/Ⅲ/-	6	-	-	-	7.5YR6/4	10YR6/3	ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	489	C-10(-)/Ⅲ/-	6	-	-	-	10YR4/2	7.5YR6/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	490	B-4(-)/Ⅲ/4056	6	-	-	-	10YR5/4	2.5Y5/4	ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	AMS
	491	C-4(-)/Ⅲ/2715	6	-	-	-	5YR5/6	5YR6/6	ナデ	ナデ	○	-	○	○	○	○	○	○	-	-	小礫	
	492	B-4(28)/Ⅲ/-	6	-	-	-	5YR4/2	5YR5/6	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	-	○	○	○	-	-	-	-	-	内：赤色顔料
	493	B-5(46)/Ⅳ/-	6	-	-	-	5YR4/2	10YR6/4	ナデ	ナデ，施文による押圧痕	○	○	-	○	○	○	-	-	-	○	-	
	494	D-10(-)/Ⅲ/9198 C-10(2)/Ⅱ/-	6	-	-	-	7.5YR5/4	10YR5/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	495	C-10(-)/Ⅱ/10551	6	-	-	-	7.5YR4/3	10YR5/2	ナデ	ナデ，指頭圧痕	○	○	○	○	○	○	-	-	-	○	-	
	496	D-10(-)/Ⅱ/8630	6	-	-	-	5YR4/3	10YR5/3	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	○	-	-	-	-	
	497	C-10(-)/Ⅱ/9655	6	-	-	-	7.5YR6/6	10YR7/4	ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	
	498	B-3(10)/Ⅲ/-	6	-	-	-	5YR5/4	7.5YR6/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	
	499	C-10(2)/Ⅲ/- C-10(-)/Ⅱ/8982	6	-	-	-	7.5YR6/8	10YR5/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	外：煤付着
	500	B-4(79)/Ⅱc/-	6	-	-	-	7.5YR6/6	7.5YR5/2	ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	-	○	○	○	-	○	-	-	-	
	501	C-10(-)/Ⅱ/-	6	-	-	-	5YR5/6	10YR4/2	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	-	-	-	-	-	
	502	C-10(2)/Ⅱ/-	6	-	-	-	5YR4/3	7.5YR5/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	内：赤色顔料
51	503	C-4(-)/Ⅲ/5198 C-4(-)/Ⅲ/5386 C-4(-)/Ⅲ/5387	6	43.2	43.2	-	10YR7/4	10YR6/4	ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	
	504	B-4(-)/Ⅲ/4065	6	37	37	-	5YR4/6	7.5YR5/6	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	-	○	-	-	-	
	505	D-10(3)/Ⅱ/- D-10(4)/Ⅱ/-	6	-	-	-	5YR7/8	10YR7/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	506	C-4(56)/Ⅲ/- C-4(64)/Ⅲ/-	6	-	-	-	7.5YR3/2	7.5YR6/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	507	B-4(-)/Ⅲ/4631	6	-	-	-	7.5YR5/6	7.5YR5/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	
	508	C-10(-)/Ⅱ/5504	6	-	-	-	7.5YR6/6	7.5YR6/6	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	-	○	-	-	-	

第16表　縄文土器観察表（8）

挿図番号	掲載番号	グリッド(小グリッド)／層／取上番号	分類	口径	底径	器高	外面色調	内面色調	外面調整	内面調整	石英	長石	角閃	火ガ	黒粒	白粒	赤粒	軽石	雲母	滑石	他	備考
51	509	B-4(17)/Ⅲ/- B-4(27)/Ⅲ/- B-4(-)/Ⅳ/-	6	-	-	-	7.5YR4/3	5YR5/4	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	○	-	○	○	-	
	510	C-4(-)/Ⅲ/4992	6	-	-	-	5YR6/6	5YR6/4	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	-	-	-	○	-	
	511	B-4(-)/Ⅲ/4063	6	37.2	-	-	7.5YR5/4	7.5YR5/6	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	-	-	-	○	-	
	512	B-4(-)/Ⅲ/4075	6	-	-	-	7.5YR5/4	7.5YR5/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	-	-	○	-	
	513	B-3(9)/Ⅳ/-	6	-	-	-	7.5YR5/4	7.5YR5/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	-	-	○	-	
	514	B-5(-)/Ⅱc/102	6	-	-	-	7.5YR5/4	5YR5/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	-	○	-	
52	515	C-10(-)/Ⅱ/7395	7	23.0	-	-	10YR7/4	10YR7/4	ナデ	磨消縄文：ナデ	○	○	○	○	-	○	○	-	-	-	-	
	516	D-11(-)/Ⅲ/-	7	-	-	-	10YR7/4	10YR7/4	ナデ	磨消縄文：ナデ	○	○	○	○	-	○	○	-	-	-	-	
	517	D-11(2)/Ⅲ/-	7	-	-	-	10YR7/4	10YR6/4	ナデ	磨消縄文：ナデ	○	○	○	○	-	○	○	-	-	-	-	
	518	C-10(-)/Ⅱ/7396	7	-	-	-	10YR6/3	10YR6/3	ナデ	磨消縄文：ナデ	○	○	○	○	-	○	○	-	-	-	-	
	519	D-10(1)/Ⅱ/- D-10(4)/Ⅱ/-	7	-	-	-	2.5Y6/3	2.5Y6/4	ナデ	ナデ	○	○	○	-	○	○	-	-	○	-	-	
	520	C-10(-)/Ⅱ/7827	7	-	-	-	10YR7/4	10YR7/4	ナデ	ナデ	○	○	○	-	○	○	-	-	○	-	-	
	521	C-10(-)/Ⅱ/7221	7	25.6	-	-	10YR7/6	10YR7/6	ナデ	磨消縄文：ナデ	○	○	○	○	-	○	○	○	-	-	-	
	522	D-10(-)/Ⅱ/9366	7	-	-	-	10YR7/3	10YR6/3	ナデ	磨消縄文：ナデ	○	○	○	○	-	○	○	-	-	-	-	
	523	C-10(-)/Ⅱ/5711 D-10(3)/Ⅱ/-	7	-	-	-	10YR7/3	10YR8/4	ナデ	磨消縄文：ナデ	○	○	○	○	-	○	○	-	-	-	-	
53	524	D-11(3)/Ⅲ/- D-11(4)/Ⅲ/- D-10(-)/Ⅱ/-	8	33.6	-	-	5YR6/6	5YR6/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	外：煤付着
	525	C-4(-)/Ⅲ/2642 C-4(-)/Ⅲ/4274 C-4(76)/Ⅲ/-	8	31.6	-	-	7.5YR6/6	10YR6/4	貝殻条痕→ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	
	526	C-4(-)/Ⅲ/4779 C-4(63)/Ⅲ/-	8	32.4	-	-	10YR7/4	10YR7/4	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	-	○	-	-	-	
	527	D-10(-)/Ⅲ/- D-11(-)/Ⅲ/8708 D-11(-)/Ⅲ/9500	8	28.0	-	-	7.5YR5/6	7.5YR5/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	
	528	B-4(-)/Ⅲ/5096 B-4(-)/Ⅲ/5165	8	33.2	-	-	7.5YR5/8	2.5Y5/3	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	内：赤色顔料
	529	C-10(-)/Ⅱ/6734	8	23.6	-	-	7.5YR5/4	7.5YR6/4	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	-	○	-	-	-	
	530	C-4(77)/Ⅲ/- C-4(77)/Ⅱc/-	8	37.0	-	-	7.5YR6/6	7.5YR6/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	
	531	C-4(-)/Ⅲ/2667 C-4(-)/Ⅲ/2669	8	17.6	-	-	7.5YR5/6	7.5YR5/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	532	B-4(9)/Ⅱc/-	8	27.8	-	-	5YR6/6	7.5YR6/6	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	-	○	-	-	-	
	533	C-10(-)/Ⅱ/7349	8	23.0	-	-	5YR5/6	5YR4/3	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	内：煤付着
	534	B-4(-)/Ⅲ/3243 B-4(-)/Ⅲ/3244	8	-	-	-	10YR7/6	10YR6/3	ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	535	B-4(48)/Ⅲ/-	8	-	-	-	10YR4/1	10YR6/3	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	536	C-10(-)/Ⅱ/7131 C-10(-)/Ⅱ/8883	8	-	-	-	7.5YR4/3	7.5YR5/2	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	-	○	-	-	-	
	537	C-4(-)/Ⅲ/4283	8	-	-	-	7.5YR5/6	7.5YR6/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	外：煤付着
	538	B-4(-)/Ⅲ/3515	8	-	-	-	7.5YR6/6	7.5YR5/6	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	-	○	-	-	-	
54	539	C-4(77)/Ⅱc/- C-4(87)/Ⅱc/-	8	39.9	-	-	10YR7/6	10YR7/6	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	-	○	-	-	-	外：煤付着
	540	D-9(4)/Ⅱ/-	8	-	-	-	7.5YR6/4	10YR6/3	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	541	C-4(-)/Ⅲ/4809 C-4(-)/Ⅲ/4810 C-4(-)/Ⅲ/4948 C-4(45)/Ⅲ/- C-4(56)/Ⅲ/- C-4(-)/Ⅲ/-	8	39.8	-	-	5YR5/6	2.5Y7/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	542	D-10(-)/Ⅱ/5889	8	-	-	-	5YR7/8	10YR6/2	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	外：煤付着
	543	C-10(1)/Ⅲ/- D-11(3)/Ⅲ/-	8	31.0	-	-	7.5YR5/6	7.5YR5/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	544	B-4(-)/Ⅲ/3080	8	-	-	-	10YR6/4	7.5YR6/6	ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	545	D-9(4)/Ⅱ/- D-10(1)/Ⅱ/- D-11(-)/Ⅲ/-	8	30.2	-	-	10YR5/3	10YR6/3	ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	-	○	○	○	-	○	-	-	-	
	546	D-10(-)/Ⅱ/7521	8	-	-	-	10YR5/4	10YR5/4	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	-	○	-	-	-	
	547	C-4(-)/Ⅲ/2645	8	28.5	-	-	5YR5/6	5YR5/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	548	C-10(-)/Ⅱ/10411	8	22.8	-	-	10YR5/6	10YR6/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	ob	
	549	B-5(-)/Ⅲ/-	8	15.8	-	-	7.5YR7/4	7.5YR6/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	550	C-4(-)/Ⅲ/2423	8	22.2	-	-	10YR6/6	7.5YR5/6	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	-	-	○	-	-	-	
	551	B-4(-)/Ⅲ/3313 B-4(-)/Ⅲ/4072	8	21.7	-	-	10YR6/4	10YR6/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	
	552	C-11(-)/Ⅲ/10471 C-11(-)/Ⅱ/10089 C-11(-)/Ⅱ/10571	8	26.8	-	-	5YR5/6	7.5YR5/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
55	553	C-4(-)/Ⅲ/2852 C-4(-)/Ⅲ/2898 C-4(-)/Ⅲ/2899 C-4(53)/Ⅲ/-	8	33.0	-	-	7.5YR6/6	7.5YR6/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	
	554	C-3(-)/Ⅲ/2961	8	28.2	-	-	10YR7/6	10YR6/4	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	-	○	-	-	-	
	555	C-10(-)/Ⅱ/5751 C-10(-)/Ⅱ/8576	8	24.8	-	-	7.5YR5/6	10YR6/4	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	-	○	-	-	-	内：煤付着
	556	D-11(-)/Ⅲ/8290 D-11(-)/Ⅲ/8541	8	31.4	-	-	5YR6/6	7.5YR5/6	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	○	○	-	-	-	
	557	B-5(26)/Ⅳ/-	8	23.0	-	-	10YR5/3	7.5YR6/6	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	-	○	-	-	-	
	558	D-11(-)/Ⅲ/9131	8	27.8	-	-	7.5YR4/6	7.5YR6/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	559	D-11(1)/Ⅲ/-	8	21.6	-	-	5YR5/6	5YR5/2	ナデ	ケズリ→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	
56	560	D-10(-)/Ⅱ/9211	8	21.1	-	-	10YR6/3	10YR6/3	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	○	-	-	
	561	D-10(-)/Ⅲ/10576	8	24.2	-	-	10YR7/6	10YR6/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	562	C-10(1)/Ⅱ/-	8	-	-	-	7.5YR5/4	10YR6/4	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	-	○	-	-	-	
	563	B-4(-)/Ⅱ/6393	8	-	-	-	7.5YR5/4	7.5YR6/6	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	-	○	-	-	-	
	564	C-10(-)/Ⅱ/8591	8	-	-	-	7.5YR6/6	10YR6/3	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	外：煤付着
	565	D-10(-)/Ⅱ/- D-9(4)/Ⅱ/-	8	-	-	-	7.5YR6/4	7.5YR6/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	566	B-4(-)/Ⅲ/2325	8	-	-	-	10YR5/3	7.5YR7/6	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	567	B-4(7)/Ⅲ/-	8	-	-	-	7.5YR4/1	7.5YR8/6	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	-	-	-	-	-	
	568	C-10(-)/Ⅱ/8863	8	-	-	-	7.5YR6/6	7.5YR6/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	

第17表　縄文土器観察表（9）

挿図番号	掲載番号	グリッド(小グリッド)／層／取上番号	分類	口径	底径	器高	外面色調	内面色調	外面調整	内面調整	石英	長石	角閃	火ガ	黒粒	白粒	赤粒	軽石	雲母	滑石	他	備考
56	569	D-10(-)/Ⅱ/8096	8	-	-	-	2.5YR5/6	5YR6/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	570	C-3(-)/Ⅲ/2399	8	-	-	-	10YR5/4	10YR5/3	ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	571	C-4(-)/Ⅲ/4481	8	-	-	-	5YR5/6	5YR5/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	572	C-10(-)/Ⅱ/8027	8	-	-	-	7.5YR5/4	5YR5/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	573	C-10(-)/Ⅱ/9429	8	-	-	-	7.5YR4/3	7.5YR5/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	
	574	C-4(-)/Ⅲ/2676	8	-	-	-	10YR6/4	10YR5/3	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	575	D-10(-)/Ⅲ/-	8	-	-	-	7.5YR6/3	7.5YR5/2	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	576	B-4(27)/Ⅱc/-	8	-	-	-	7.5YR4/3	7.5YR4/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	577	C-10(-)/Ⅱ/7877	8	-	-	-	5YR5/6	5YR6/6	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	-	-	-	-	-	
	578	D-9(4)/Ⅱ/-	8	-	-	-	5YR5/2	7.5YR7/4	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	-	○	○	○	-	○	-	-	-	
	579	B-4(47)/Ⅲ/-	8	-	-	-	7.5YR4/4	10YR4/3	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	580	C-11(-)/Ⅲ/-	8	-	-	-	7.5YR5/4	10YR6/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	
	581	B-4(-)/Ⅱc/1562	8	-	-	-	7.5YR5/6	7.5YR5/4	ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
57	582	C-4(36)/Ⅲ/-	8	-	-	-	7.5YR4/2	7.5YR5/6	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	-	○	○	○	-	○	-	-	-	
	583	C-10(-)/Ⅱ/9078	8	-	-	-	7.5YR6/6	10YR5/3	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	584	C-4(18)/Ⅱc/-	8	-	-	-	7.5YR4/3	5YR5/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	585	C-10(-)/Ⅱ/6825	8	-	-	-	7.5YR6/6	2.5Y5/3	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	586	C-4(6)/Ⅱc/-	8	-	-	-	10YR6/4	10YR5/4	貝殻条痕→ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	-	○	-	-	-	
	587	C-4(16)/Ⅱc/-	8	-	-	-	7.5YR6/3	7.5YR6/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	588	C-11(-)/Ⅲ/-	8	-	-	-	7.5YR6/6	7.5YR6/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	589	C-10(1)/Ⅱ/- C-10(1)/Ⅲ/-	8	-	-	-	10YR4/4	7.5YR6/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
58	590	C-9(2)/Ⅱ/-	8	19	-	-	5YR5/2	5YR4/1	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	-	○	-	-	-	
	591	D-10(1)/Ⅱ/-	8	18.4	-	-	5YR5/6	5YR6/3	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	○	○	-	-	-	
	592	C-10(4)/Ⅱ/-	8	-	-	-	5YR5/6	5YR5/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	593	C-10(-)/Ⅱ/10351 C-10(1)/Ⅱ/- C-10(1)/Ⅲ/-	8	21.4	-	-	7.5YR4/1	7.5YR4/4	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	○	○	-	-	-	外：煤付着
	594	C-10(2)/Ⅲ/-	8	17.4	-	-	7.5YR5/3	7.5YR6/3	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	○	○	-	-	-	外：煤付着
	595	C-10(-)/Ⅱ/8461	8	-	-	-	5YR5/6	7.5YR5/3	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	-	○	-	-	-	
	596	C-10(-)/Ⅱ/10334	8	25.2	-	-	7.5YR6/4	7.5YR6/4	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	-	○	-	-	-	
	597	D-10(-)/Ⅱ/7046	8	-	-	-	7.5YR6/6	5YR6/6	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	-	○	-	-	-	
	598	C-10(-)/Ⅱ/5830	8	-	-	-	10YR6/4	10YR6/2	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	○	○	-	-	-	外：煤付着
	599	D-10(-)/Ⅱ/-	8	26.2	-	-	5YR5/6	5YR5/3	ナデ	工具ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	
	600	C-10(-)/Ⅱ/- C-10(4)/Ⅱ/-	8	-	-	-	7.5YR6/4	7.5YR6/4	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	-	○	-	-	-	
59	601	C-4(-)/Ⅲ/4738 C-4(-)/Ⅲ/4739	8	28	-	-	7.5YR6/6	7.5YR6/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	外：煤付着
	602	C-10(-)/Ⅱ/10591	8	29.7	-	-	10YR6/6	10YR6/3	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	603	B-4(-)/Ⅲ/4600	8	34.8	-	-	10YR5/4	10YR7/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	604	C-3(-)/Ⅲ/2302	8	23.4	-	-	10YR6/4	10YR6/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	
	605	D-11(-)/Ⅲ/9334 D-11(2)/Ⅲ/- D-11(2)/Ⅱ/-	8	25.8	-	-	7.5YR4/6	5YR4/6	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	-	○	-	-	-	
	606	C-4(-)/Ⅲ/2908 C-4(-)/Ⅲ/3761	8	17.1	-	-	5YR6/8	5YR6/8	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	
	607	C-10(-)/Ⅱ/10575	8	24.2	-	-	7.5YR5/4	10YR6/4	ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	608	D-11(-)/Ⅲ/8710	8	-	-	-	5YR6/6	5YR5/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	
	609	D-11(-)/Ⅲ/9858	8	15.3	-	-	7.5YR7/6	7.5YR6/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	
60	610	C-10(-)/Ⅱ/9406	8	25.7	-	-	5YR5/4	5YR6/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	AMS
	611	C-10(-)/Ⅱ/7976 C-11(1)/Ⅲ/-	8	-	-	-	7.5YR6/6	7.5YR6/6	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	-	○	○	○	○	○	-	-	-	
	612	D-10(-)/Ⅱ/7679	8	21.2	-	-	10YR5/4	10YR5/4	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	-	○	-	-	-	外：煤付着
61	613	C-10(-)/Ⅱ/5734 C-10(-)/Ⅱ/5741 C-10(-)/Ⅱ/6743 C-10(-)/Ⅱ/8866 C-10(-)/Ⅱ/-	8	27	-	-	7.5YR6/6	10YR4/3	ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	614	D-10(-)/Ⅱ/7081	8	15.6	-	-	7.5YR4/4	10YR4/1	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	-	○	-	-	-	
	615	C-3(69)/Ⅲ/-	8	-	-	-	7.5YR5/6	5YR6/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	外：煤付着
	616	C-4(-)/Ⅲ/1839	8	12.3	6.4	11.6	7.5YR6/4	7.5YR5/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	617	C-10(-)/Ⅱ/10593 C-10(2)/Ⅱ/-	8	36.8	-		10YR5/3	10YR5/3	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	618	C-4(-)/Ⅲ/2288 C-4(-)/Ⅲ/4354	8	24.6	-	-	7.5YR4/4	7.5YR4/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	619	C-10(-)/Ⅱ/8983	8	29	-	-	10YR6/4	10YR6/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	620	C-10(-)/Ⅱ/8366	8	-	-	-	10YR3/1	10YR5/2	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	621	C-4(15)/Ⅱc/1582 C-4(15)/Ⅱc/-	8	-	-	-	7.5YR6/6	10YR8/3	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	外：煤付着
	622	C-10(-)/Ⅱ/9075	8	-	-	-	10YR4/3	10YR5/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	623	C-10(-)/Ⅱ/8982	8	-	-	-	7.5YR6/4	7.5YR6/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	624	C-10(-)/Ⅱ/6963	8	-	-	-	7.5YR6/6	10YR7/3	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	外：煤付着
	625	D-10(3)/Ⅱ/- D-10(3)/Ⅲ/-	8	-	-	-	7.5YR8/4	10YR8/4	ナデ	ナデ，指頭圧痕	○	○	-	○	○	○	-	○	-	-	-	
	626	B-4(49)/Ⅱc/-	8	-	-	-	5YR5/6	10YR6/4	ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	627	B-4(-)/Ⅲ/3137 B-4(-)/Ⅲ/5363	8	-	-	-	10YR4/3	10YR7/4	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
62	628	D-10(-)/Ⅱ/7435 D-10(-)/Ⅱ/8092 D-10(-)/Ⅱ/9284	8	30.6	-	-	5YR5/6	2.5Y6/4	ナデ	ナデ	○	○	○	-	○	○	○	○	-	-	-	外：煤付着
	629	D-10(-)/Ⅱ/10577	8	24	-	-	10YR7/6	10YR7/6	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	○	○	-	-	-	
	630	C-10(-)/Ⅱ/10028	8	24.8	-	-	10YR8/4	10YR8/4	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	○	○	-	-	ob	内外：煤付着
	631	C-10(-)/Ⅱ/10424	8	27.3	-	-	10YR6/4	10YR7/4	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	-	○	-	-	-	外：煤付着
	632	C-4(77)/Ⅲ/-	8	-	-	-	10YR6/4	10YR5/3	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	内：煤付着，補修孔
	633	D-10(-)/Ⅱ/7650	8	-	-	-	10YR7/3	10YR8/3	ナデ	ナデ	○	○	○	-	○	○	○	○	-	-	-	
63	634	C-10(-)/Ⅱ/10561 D-10(2)/Ⅱ/-	8	24.3	-	-	7.5YR4/6	7.5YR5/3	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	635	C-10(-)/Ⅱ/8626	8	25.4	-	-	10YR5/3	10YR5/3	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	外：煤付着

第18表　縄文土器観察表（10）

挿図番号	掲載番号	グリッド(小グリッド)／層／取上番号	分類	口径	底径	器高	外面色調	内面色調	外面調整	内面調整	石英	長石	角閃	火ガ	黒粒	白粒	赤粒	軽石	雲母	滑石	他	備考
63	636	C-10(-)/Ⅱ/9636 C-10(-)/Ⅱ/9637 C-10(1)/Ⅲ/-	8	20.4	-	-	7.5YR5/4	7.5YR5/2	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	637	C-11(-)/Ⅲ/10442	8	26.4	-	-	10YR5/6	7.5YR6/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	外：煤付着
	638	C-10(2)/Ⅱ/-	8	23.2	-	-	10YR6/4	10YR6/3	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	-	○	-	-	-	外：煤付着
	639	C-4(-)/Ⅱc/2052 C-4(-)/Ⅲ/4323 C-4(-)/Ⅲ/4771	8	33	-	-	5YR6/8	10YR6/4	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	-	○	-	-	-	外：煤付着
	640	C-10(-)/Ⅱ/10049 C-10(-)/Ⅱ/10368	8	-	-	-	10YR8/4	10YR8/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	内：煤付着
	641	C-10(-)/Ⅱ/-	8	-	-	-	5YR6/6	7.5YR8/6	ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	642	C-10(-)/Ⅱ/10536	8	-	-	-	10YR7/4	10YR6/3	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	643	C-10(1)/Ⅱ/-	8	-	-	-	7.5YR5/6	7.5YR5/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
64	644	C-4(-)/Ⅲ/4746 C-3(72)/Ⅲ/-	8	35.2	-	-	7.5YR6/8	7.5YR6/4	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	○	○	-	-	-	
	645	C-10(-)/Ⅱ/8620 C-10(2)/Ⅱ/-	8	25.4	-	-	10YR7/4	10YR6/2	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	-	○	-	-	-	外：煤付着
	646	D-10(-)/Ⅱ/9535 D-10(4)/Ⅱ/-	8	26.4	-	-	7.5YR6/6	7.5YR6/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	外：煤付着
	647	C-10(4)/Ⅱ/-	8	32.8	-	-	10YR6/4	10YR6/3	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	外：煤付着
	648	C-10(-)/Ⅱ/10418 C-10(-)/Ⅱ/10550 D-10(4)/Ⅱ/-	8	26.5	-	-	10YR6/4	10YR7/4	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	○	○	-	-	-	外：煤付着
	649	C-4(-)/Ⅲ/3803	8	31.4	-	-	10YR7/4	10YR7/3	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	○	○	-	-	-	
	650	C-10(-)/Ⅱ/5829	8	24.6	-	-	10YR6/4	7.5YR6/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	651	C-10(-)/Ⅱ/10592 C-10(-)/Ⅱ/10593 C-11(-)/Ⅱ/10574 C-10(2)/Ⅱ/- C-10(4)/Ⅱ/-	8	33	-	-	7.5YR6/6	7.5YR7/6	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	○	○	-	-	-	外：煤付着
	652	C-10(-)/Ⅱ/10227 C-10(1)/Ⅱ/-	8	35.6	-	-	7.5YR6/6	7.5YR6/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	653	D-10(-)/Ⅱ/10375	8	22	-	-	10YR5/4	7.5YR6/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	外：煤付着
	654	C-10(-)/Ⅱ/8302	8	21.8	-	-	7.5YR4/3	7.5YR4/1	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	補修孔
65	655	C-10(-)/Ⅱ/5717	8	36.8	-	-	5YR7/6	10YR6/3	貝殻条痕→ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	-	○	-	-	-	外：煤付着
	656	C-10(-)/Ⅱ/10526	8	27.8	-	-	7.5YR4/3	7.5YR5/3	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	-	○	-	-	ob	
	657	C-10(-)/Ⅱ/7909 C-10(-)/Ⅱ/7915	8	29	-	-	7.5YR5/6	10YR7/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	658	C-10(-)/Ⅱ/10557	8	36.2	-	-	7.5YR6/6	10YR5/4	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	○	○	-	-	-	外：煤付着
	659	C-10(-)/Ⅱ/5434 C-10(-)/Ⅱ/10006	8	28	-	-	10YR6/4	2.5Y6/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	外：煤付着
	660	D-10(-)/Ⅱ/6842	8	30.1	-	-	10YR7/4	10YR7/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	661	C-10(-)/Ⅱ/8982	8	27.4	-	-	7.5YR5/4	10YR6/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	外：煤付着
	662	C-4(-)/Ⅲ/2926	8	-	-	-	10YR7/4	10YR6/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	外：煤付着
	663	C-4(-)/Ⅲ/-	8	-	-	-	5YR3/3	5YR4/2	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	664	C-10(-)/Ⅱ/10554	8	-	-	-	10YR6/4	10YR6/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	
	665	C-10(-)/Ⅲ/-	8	-	-	-	7.5YR6/4	7.5YR8/3	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	○	○	-	-	-	
	666	C-10(-)/Ⅱ/10040	8	-	-	-	10YR7/3	10YR8/4	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	-	○	-	-	-	外：煤付着
66	667	D-10(-)/Ⅱ/7648 C-10(-)/Ⅱ/6975 D-10(-)/Ⅱ/- D-10(2)/Ⅱ/-	8	27.2	-	-	7.5YR5/4	7.5YR5/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	ob	
	668	C-10(-)/Ⅱ/5770 C-10(-)/Ⅱ/6824	8	29.5	-	-	7.5YR5/3	7.5YR6/4	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	○	○	-	-	-	外：煤付着
	669	C-10(-)/Ⅱ/10508 C-10(-)/Ⅱ/10540	8	27.6	-	-	10YR8/4	10YR8/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	外：煤付着
	670	C-10(-)/Ⅱ/10425 C-10(2)/Ⅱ/-	8	29	-	-	7.5YR4/4	7.5YR6/2	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	671	C-10(-)/Ⅱ/10520	8	-	-	-	7.5YR6/4	7.5YR7/4	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	○	○	-	-	-	外：煤付着
	672	D-11(-)/Ⅲ/8701	8	-	-	-	10YR7/3	10YR6/1	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	
	673	C-10(-)/Ⅱ/10052	8	-	-	-	5YR5/6	10YR6/3	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	674	C-10(-)/Ⅱ/7946	8	-	-	-	7.5YR6/6	7.5YR6/6	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	-	○	-	-	-	外：煤付着
	675	D-10(-)/Ⅱ/6471	8	-	-	-	7.5YR6/4	10YR6/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	676	C-4(-)/Ⅲ/4347 C-4(-)/Ⅲ/4348	8	-	-	-	10YR7/4	10YR7/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	677	D-10(3)/Ⅱ/-	8	-	-	-	7.5YR3/2	5YR5/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	678	C-10(-)/Ⅱ/8586	8	-	-	-	10YR7/4	10YR7/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	外：煤付着
67	679	C-10(-)/Ⅱ/10573	8	35.2	-	-	7.5YR7/6	10YR7/4	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	-	○	-	-	-	外：煤付着
68	680	D-10(-)/Ⅱ/5846 D-10(-)/Ⅱ/-	8	25	-	-	7.5YR4/3	5YR6/6	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	○	○	-	-	-	
	681	B-4(11)/Ⅱc/- C-4(91)/Ⅱc/-	8	24	-	-	5YR4/6	7.5YR6/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	682	D-10(-)/Ⅱ/9078	8	-	-	-	5YR6/8	10YR7/4	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	-	○	-	-	-	外：煤付着
	683	C-10(-)/Ⅱ/6400	8	-	-	-	7.5YR4/2	5YR6/3	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	684	C-4(-)/Ⅳ/-	8	-	-	-	7.5YR4/2	7.5YR5/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	
	685	C-10(-)/Ⅱ/8987 C-10(-)/Ⅱ/9411	8	-	-	-	7.5YR5/6	10YR5/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	686	D-10(-)/Ⅱ/-	8	-	-	-	5YR5/6	7.5YR5/2	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	687	C-4(-)/Ⅱc/-	8	-	-	-	5YR6/4	7.5YR6/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	外：煤付着
	688	C-10(-)/Ⅱ/10533	8	-	-	-	10YR5/3	10YR5/2	工具ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	-	○	-	-	-	
	689	C-10(-)/Ⅱ/7801	8	-	-	-	10YR4/2	7.5YR7/6	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	○	○	-	-	-	
	690	B-4(2)/Ⅱc/- B-4(2)/Ⅲ/-	8	-	-	-	5YR5/3	5YR5/4	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	-	○	-	-	-	
	691	D-11(-)/Ⅱ/-	8	-	-	-	2.5YR5/6	7.5YR6/4	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	-	○	-	-	-	外：煤付着
69	692	C-4(33)/Ⅲ/- C-4(-)/Ⅲ/2226 C-4(-)/Ⅲ/2286 C-4(-)/Ⅲ/3759	8	41.8	-	-	7.5YR6/4	7.5YR6/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	693	C-10(-)/Ⅱ/9406	8	-	-	-	5YR7/4	5YR6/2	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	外：煤付着
	694	C-10(-)/Ⅱ/10430 D-10(4)/Ⅲ/- C-10(-)/Ⅱ/- C-10(2)/Ⅱ/-	8	26	-	-	7.5YR6/4	10YR6/3	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	外：煤付着
	695	C-4(-)/Ⅲ/2825 C-4(-)/Ⅲ/4759	8	24	-	-	7.5YR6/4	7.5YR6/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	

第19表　縄文土器観察表（11）

挿図番号	掲載番号	グリッド(小グリッド)／層／取上番号	分類	口径	底径	器高	外面色調	内面色調	外面調整	内面調整	石英	長石	角閃	火ガ	黒粒	白粒	赤粒	軽石	雲母	滑石	他	備考
69	696	C-10(-)/Ⅱ/10424	8	37.0	-	-	10YR6/3	10YR6/3	ナデ	ナデ	○	○	○	-	○	○	○	-	-	-	-	
	697	C-4(-)/Ⅲ/2808	8	32.6	-	-	5YR5/8	5YR5/8	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	698	B-4(-)/Ⅲ/4041	8	24.8	-	-	5YR5/8	5YR5/4	貝殻条痕→ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	外：煤付着
	699	D-10(-)/Ⅱ/- D-10(4)/Ⅱ/-	8	-	-	-	5YR5/4	7.5YR6/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	
	700	C-10(-)/Ⅱ/7195 C-10(-)/Ⅱ/7196	8	26.2	-	-	10YR8/4	10YR8/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	701	C-4(3)/Ⅲ/- B-3(4)/Ⅲ/-	8	-	-	-	5YR6/6	5YR6/1	貝殻条痕→ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	702	B-4(-)/Ⅲ/3603 B-4(-)/Ⅲ/3622	8	-	-	-	5YR6/6	5YR6/6	貝殻条痕→ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	703	C-4(-)/Ⅲ/4375 C-3(-)/Ⅲ/-	8	24.6	-	-	7.5YR6/6	10YR6/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	
	704	D-10(-)/Ⅱ/9548 D-10(2)/Ⅲ/-	8	-	-	-	5YR5/6	5YR5/6	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	705	D-9(4)/Ⅱ/-	8	-	-	-	7.5YR6/4	10YR6/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	706	C-11(-)/Ⅲ/10246 C-11(-)/Ⅲ/10286	8	-	-	-	10YR6/4	10YR6/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	707	C-11(-)/Ⅱ/-	8	-	-	-	5YR5/6	7.5YR6/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	708	C-11(-)/Ⅲ/10504	8	-	-	-	5YR6/4	7.5YR5/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
70	709	C-10(2)/Ⅱ/-	8	30.6	-	-	5YR4/3	5YR4/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	710	C-10(1)/Ⅱ/- C-10(-)/Ⅱ/-	8	-	-	-	7.5YR3/3	7.5YR4/3	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	-	○	-	-	-	
	711	C-4(2)/Ⅲ/-	8	-	-	-	7.5YR5/4	7.5YR6/6	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	-	○	-	-	-	
	712	C-4(69)/Ⅱc/-	8	-	-	-	10YR5/4	10YR5/3	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	-	○	-	-	-	
	713	D-10(4)/Ⅲ/- C-10(2)/Ⅲ/-	8	-	-	-	5YR6/6	5YR6/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	714	D-11(3)/Ⅲ/-	8	-	-	-	7.5YR3/3	7.5YR4/3	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	-	○	-	-	-	
	715	D-10(3)/Ⅱ/-	8	-	-	-	7.5YR6/6	10YR6/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	716	C-4(-)/Ⅲ/4244 C-4(-)/Ⅲ/4248 C-4(65)/Ⅲ/-	8	55.0	-	-	7.5YR4/2	5YR4/6	ナデ，ケズリ→ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	-	○	○	-	-	
	717	D-10(-)/Ⅱ/6833	8	26.4	-	-	7.5YR5/3	5YR6/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	
	718	C-10(-)/Ⅱ/10416	8	26.0	-	-	5YR4/6	10YR6/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	
	719	C-10(-)/Ⅱ/8444	8	20.2	-	-	7.5YR6/4	10YR6/3	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	720	C-4(-)/Ⅲ/4314	8	30.6	-	-	10YR5/6	10YR6/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	721	C-10(-)/Ⅱ/- D-10(-)/Ⅱ/- C-10(-)/Ⅱ/8423	8	17.6	-	-	7.5YR5/4	7.5YR6/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	722	D-11(3)/Ⅱ/- D-11(-)/Ⅱ/- C-11(1)/Ⅱ/-	8	23.8	-	-	5YR5/6	5YR5/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	723	C-3(-)/Ⅲ/4718	8	20.4	-	-	7.5YR5/4	7.5YR5/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	724	C-4(-)/Ⅲ/3808	8	-	-	-	7.5YR5/4	7.5YR5/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	725	B-4(-)/Ⅲ/4654	8	-	-	-	7.5YR7/6	10YR8/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	726	C-4(90)/Ⅱc/-	8	11.4	-	-	10YR6/4	10YR5/3	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
71	727	C-4(34)/Ⅱc/- C-4(35)/Ⅲ/-	8	-	-	-	10YR6/3	2.5Y6/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	728	B-4(-)/Ⅲ/4106	8	-	-	-	7.5YR6/6	10YR6/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	729	C-4(55)/Ⅲ/-	8	-	-	-	10YR7/3	10YR7/3	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	730	C-10(4)/Ⅱ/- C-10(3)/Ⅱ/- C-10(1)/Ⅱ/-	8	-	-	-	7.5YR6/4	7.5YR6/4	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	-	○	-	-	-	
	731	C-4(-)/Ⅲ/2769	8	-	-	-	10YR5/4	7.5YR6/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	732	C-4(-)/Ⅱc/713	8	-	-	-	7.5YR6/6	7.5YR6/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	733	D-10(1)/Ⅱ/-	8	-	-	-	10YR7/4	10YR6/2	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	734	C-10(2)/Ⅱ/-	8	-	-	-	7.5YR5/4	7.5YR6/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	735	B-4(36)/Ⅲ/-	8	-	-	-	10YR4/3	7.5YR6/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	-	
	736	B-5(42)/Ⅲ/-	8	-	-	-	7.5YR4/2	7.5YR5/4	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	-	○	-	-	-	
	737	C-10(1)/Ⅱ/-	8	-	-	-	7.5YR5/3	7.5YR5/6	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	-	○	-	-	-	外：煤付着
	738	D-9(4)/Ⅱ/-	8	-	-	-	10YR4/2	10YR5/3	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	739	C-4(-)/Ⅲ/2081	8	-	-	-	7.5YR7/6	7.5YR7/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	740	C-10(1)/Ⅲ/-	8	-	-	-	7.5YR4/2	7.5YR6/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	
	741	B-5(31)/Ⅲ/-	8	-	-	-	5YR5/6	5YR4/3	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	742	C-4(-)/Ⅲ/3795 C-4(72)/Ⅲ/-	8	-	-	-	10YR7/4	10YR4/1	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	-	○	-	-	-	
	743	B-2(-)/Ⅰ/-	8	-	-	-	7.5YR5/3	7.5YR6/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	744	C-10(-)/Ⅲ/-	8	-	-	-	5YR6/6	7.5YR6/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	
	745	D-10(4)/Ⅱ/-	8	-	-	-	7.5YR6/4	7.5YR6/4	ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	-	○	○	○	-	○	-	-	-	
	746	C-10(2)/Ⅱ/-	8	-	-	-	5YR5/4	5YR5/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	
	747	D-10(-)/Ⅲ/9195	8	-	-	-	7.5YR6/6	7.5YR5/3	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	748	C-10(1)/Ⅱ/-	8	-	-	-	7.5YR7/6	7.5YR7/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	749	C-10(-)/Ⅱ/-	8	-	-	-	10YR7/4	10YR7/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	750	D-10(-)/Ⅱ/7455	8	-	-	-	10YR4/2	10YR5/3	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	-	○	○	○	-	○	-	-	-	
	751	D-10(1)/Ⅱ/-	8	-	-	-	7.5YR6/4	7.5YR6/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	752	C-10(-)/Ⅱ/8919	8	-	-	-	10YR5/3	10YR5/3	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	-	○	-	-	-	
	753	B-4(-)/Ⅲ/3875	8	-	-	-	10YR6/4	10YR5/3	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	754	D-10(1)/Ⅱ/-	8	-	-	-	5YR6/6	7.5YR6/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	755	C-4(13)/Ⅲ/-	8	-	-	-	5YR5/6	10YR5/3	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	756	C-11(1)/Ⅲ/-	8	-	-	-	10YR5/3	10YR6/3	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	-	○	-	-	-	
	757	D-10(-)/Ⅱ/6163	8	-	-	-	5YR5/6	5YR5/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	758	C-10(-)/Ⅱ/6721 C-10(-)/Ⅱ/7029	8	-	-	-	5YR5/4	10YR6/4	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
72	759	C-10(-)/Ⅱ/10594 C-10(1)/Ⅱ/- C-10(2)/Ⅱ/- D-9(-)/Ⅱ/-	8	34.0	-	-	10YR4/2	10YR6/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	760	B-4(-)/Ⅲ/3329	8	-	-	-	7.5YR7/4	7.5YR7/6	ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	761	C-4(47)/Ⅱc/-	8	-	-	-	10YR5/6	10YR5/4	ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	762	B-4(57)/Ⅲ/-	8	-	-	-	5YR5/6	5YR3/1	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	763	C-10(1)/Ⅲ/- C-11(1)/Ⅲ/-	8	-	-	-	7.5YR4/2	7.5YR5/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	

第20表　縄文土器観察表（12）

挿図番号	掲載番号	グリッド(小グリッド)／層／取上番号	分類	口径	底径	器高	外面色調	内面色調	外面調整	内面調整	石英	長石	角閃	火ガ	黒粒	白粒	赤粒	軽石	雲母	滑石	他	備考
72	764	B-4(-)/Ⅲ/3424	8	33.2	-	-	7.5YR4/2	10YR7/3	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	765	C-10(-)/Ⅱ/8940	8	29.1	-	-	5YR6/6	5YR5/1	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	外：煤付着
	766	C-4(-)/Ⅲ/1637 C-4(13)/Ⅱc/- C-4(14)/Ⅱc/-	8	33.0	-	-	7.5YR7/6	7.5YR6/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	
	767	C-4(-)/Ⅲ/4456	8	-	-	-	7.5YR6/6	7.5YR5/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	外：煤付着
	768	C-10(-)/Ⅱ/-	8	-	-	-	7.5YR7/6	10YR6/3	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	外：煤付着
	769	B-4(-)/Ⅲ/2240	8	-	-	-	7.5YR6/4	10YR6/3	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	-	○	-	-	-	外：煤付着
	770	C-10(-)/Ⅱ/-	8	-	-	-	5YR5/8	10YR6/6	貝殻条痕→ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	771	B-4(-)/Ⅲ/3180 C-4(-)/Ⅱc/1622 C-4(18)/Ⅲ/1583	8	31.0	-	-	7.5YR6/6	7.5YR6/6	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	772	B-3(24)/Ⅲ/-	8	-	-	-	7.5YR7/4	7.5YR7/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	
73	773	C-10(-)/Ⅱ/9040	8	42.2	-	-	5YR6/6	7.5YR5/6	貝殻条痕→ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	776と同一
	774	C-4(-)/Ⅲ/3724	8	-	-	-	10YR5/3	10YR5/3	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	○	○	-	-	-	
	775	D-10(-)/Ⅱ/6240	8	-	-	-	10YR4/2	7.5YR6/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	
	776	D-10(-)/Ⅱ/7631	8	38.0	-	-	7.5YR5/4	5YR5/6	貝殻条痕→ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	773と同一
	777	C-4(-)/Ⅲ/1880 B-4(19)/Ⅲ/-	8	-	-	-	7.5YR6/6	7.5YR6/6	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	-	○	○	○	-	○	-	-	-	
	778	C-10(-)/Ⅱ/6767	8	41.8	-	-	10YR5/3	10YR6/4	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	
	779	B-4(-)/Ⅱc/269 B-4(-)/Ⅱc/1214	8	-	-	-	2.5YR3/1	10YR5/3	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	○	
	780	C-9(-)/Ⅱ/-	8	-	-	-	7.5YR5/4	7.5YR5/4	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	○	-	-	-	-	
	781	C-3(41)/Ⅲ/-	8	36.4	-	-	5YR6/6	7.5YR6/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	782	B-4(-)/Ⅲ/2348	8	-	-	-	5YR4/4	2.5YR6/8	ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	○	
	783	C-10(-)/Ⅱ/9687	8	32.5	-	-	10YR4/2	10YR5/3	ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	-	○	○	○	-	-	-	-	
	784	C-10(-)/Ⅱ/6765 C-10(1)/Ⅱ/-	8	27.4	-	-	5YR5/6	7.5YR4/2	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	785	C-4(-)/Ⅲ/1922	8	24.2	-	-	10YR6/3	10YR5/4	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	-	○	○	○	-	○	-	-	-	
	786	C-10(-)/Ⅱ/9998	8	-	-	-	7.5YR4/2	7.5YR6/4	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	787	C-4(83)/Ⅲ/- C-4(-)/Ⅲ/4173	8	30.2	-	-	10YR8/3	10YR5/1	ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	788	D-10(-)/Ⅲ/-	8	30.0	-	-	7.5YR5/6	7.5YR5/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	789	C-4(5)/Ⅲ/- C-4(6)/Ⅲ/-	8	-	-	-	7.5YR5/4	7.5YR6/4	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	
74	790	B-4(-)/Ⅲ/3653 B-4(-)/Ⅲ/3663	8	-	-	-	5YR6/6	7.5YR6/3	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	補修孔
	791	C-4(44)/Ⅲ/-	8	-	-	-	7.5YR6/3	5YR5/6	ナデ，指頭圧痕	ケズリ→ナデ	○	○	○	-	○	○	○	-	-	-	-	
	792	B-4(-)/Ⅱc/1210	8	-	-	-	5YR5/4	7.5YR4/2	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	-	○	○	○	-	○	-	-	
	793	C-4(16)/Ⅱc/1579	8	-	-	-	5YR6/6	5YR4/1	ナデ	ナデ	○	○	○	-	○	○	○	-	-	-	-	
	794	C-11(1)/Ⅲ/-	8	30.4	-	-	5YR5/6	7.5YR6/8	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	795	C-4(-)/Ⅲ/2096	8	26.4	-	-	7.5YR5/6	10YR6/6	ナデ，指頭圧痕	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	796	C-4(-)/Ⅱc/2212	8	28.4	-	-	10YR6/4	10YR6/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	
	797	C-4(-)/Ⅲ/3679	8	29.6	-	-	5YR5/6	5YR5/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	798	C-4(-)/Ⅲ/4829	8	26.2	-	-	5YR5/6	10YR6/6	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	外：赤色顔料
	799	B-4(-)/Ⅲ/5136	8	21.7	-	-	10YR4/2	10YR5/3	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	-	
	800	C-10(-)/Ⅱ/-	8	18.4	-	-	7.5YR5/6	7.5YR4/4	貝殻条痕→ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	外：赤色顔料
	801	B-4(-)/Ⅲ/3940 B-4(-)/Ⅲ/3941	8	16.2	-	-	10YR6/4	10YR5/3	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	内外：煤付着
	802	C-10(-)/Ⅱ/9403	8	15.8	-	-	7.5YR6/4	10YR6/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	803	C-10(1)/Ⅱ/-	8	13.4	-	-	5YR5/4	5YR5/6	ナデ，指頭圧痕	ナデ，指頭圧痕	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	
	804	C-10(-)/Ⅱ/-	8	16.2	-	-	7.5YR4/4	7.5YR4/2	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	-	○	○	○	○	-	-	-	-	
	805	C-10(-)/Ⅱ/5559 C-10(-)/Ⅱ/7008	8	15.4	-	-	5YR6/6	5YR6/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
75	806	C-4(-)/Ⅲ/1894 C-4(-)/Ⅲ/1896	8	25.0	-	-	10YR4/4	5YR5/8	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	内：赤色顔料，二次加工
	807	C-4(-)/Ⅲ/2181 B-4(-)/Ⅲ/3161 B-4(-)/Ⅲ/3823	8	29.7	-	-	10YR5/4	10YR6/4	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	内：赤色顔料
	808	C-4(82)/Ⅲ/-	8	24.0	-	-	5YR4/6	7.5YR3/1	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	809	C-10(-)/Ⅱ/8334 C-10(-)/Ⅱ/8335	8	27.8	-	-	7.5YR5/4	7.5YR6/3	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	-	
	810	C-10(-)/Ⅱ/9081	8	19.6	-	-	5YR5/6	7.5YR4/1	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	内外：煤付着
	811	D-10(-)/Ⅱ/6699	8	25.1	-	-	2.5YR5/8	2.5YR5/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	812	B-4(-)/Ⅲ/4059	8	21.0	-	-	10YR3/2	10YR4/3	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	-	-	-	-	-	
	813	C-4(-)/Ⅲ/4496	8	20.2	-	-	7.5YR4/4	10YR4/3	ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	-	○	○	○	○	-	○	-	-	
	814	C-10(-)/Ⅱ/6380	8	17.4	-	-	7.5YR5/4	7.5YR4/3	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	
	815	C-10(-)/Ⅱ/7012	8	16.2	-	-	7.5YR5/4	10YR7/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	外：二次煤付着
	816	D-11(-)/Ⅲ/9471 D-11(-)/Ⅲ/9500	8	14.0	-	-	5YR6/8	7.5YR7/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	
76	817	C-4(-)/Ⅱc/1591	8	17.0	-	-	5YR6/6	10YR6/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	
	818	C-10(1)/Ⅱ/-	8	15.4	-	-	5YR5/6	7.5YR2/3	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	819	C-4(-)/Ⅱc/-	8	11.3	-	-	7.5YR6/6	7.5YR6/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	820	B-4(-)/Ⅲ/2332	8	14.6	6.7	13.3	10YR7/4	10YR6/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	821	D-10(-)/Ⅱ/7454	8	16.6	-	-	5YR5/6	10YR6/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	
	822	C-10(-)/Ⅱ/9977	8	15.4	-	-	10YR5/4	10YR6/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	823	C-10(1)/Ⅲ/-	8	17.2	-	-	10YR5/4	10YR6/4	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	内：赤色顔料
	824	B-4(48)/Ⅲ/- B-4(-)/Ⅲ/4008 4009,4010	8	14.7	7.1	10.2	10YR6/4	7.5YR5/4	貝殻条痕→ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	-	-	-	-	-	
	825	C-4(-)/Ⅲ/2187	8	30.6	-	-	10YR5/4	10YR5/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	826	D-10(-)/Ⅱ/7608	8	17.8	-	-	5YR5/6	10YR5/3	ナデ	ナデ	○	○	○	-	○	○	○	-	○	-	-	
	827	C-10(-)/Ⅱ/8320	8	17.5	-	-	10YR6/3	10YR6/3	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	外：煤付着
	828	C-10(1)/Ⅲ/-	8	12.6	-	-	10YR6/4	10YR6/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	○	
	829	D-11(4)/Ⅲ/- C-11(-)/Ⅲ/-	8	19.4	-	-	10YR3/3	5YR4/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
77	830	C-10(-)/Ⅱ/6709 C-10(-)/Ⅱ/7024 C-10(-)/Ⅱ/10224 C-10(10)/Ⅲ/-	9	32.5	-	-	5YR4/3	7.5YR5/4	ナデ	ケズリ→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	内：赤色顔料?

第21表　縄文土器観察表（13）

挿図番号	掲載番号	グリッド(小グリッド)／層／取上番号	分類	口径	底径	器高	外面色調	内面色調	外面調整	内面調整	石英	長石	角閃	火ガ	黒粒	白粒	赤粒	軽石	雲母	滑石	他	備考
77	831	C-10(-)/Ⅱ/8963 D-10(-)/Ⅱ/5845	9	-	-	-	7.5YR3/2	7.5YR4/3	ケズリ→ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	○	
	832	D-10(3)/Ⅱ/- C-10(2)/Ⅱ/-	9	-	-	-	5YR4/3	7.5YR5/6	ナデ	ケズリ→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	
	833	C-10(-)/Ⅱ/6382 C-10(2)/Ⅱc/-	9	-	-	-	5YR3/4	5YR5/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	○	
	834	C-10(-)/Ⅱ/10594	9	32.0	-	-	5YR5/4	5YR5/3	ケズリ→ナデ	ケズリ→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	外内：赤色顔料?
	835	C-4(53)/Ⅲ/-	9	-	-	-	2.5YR4/8	2.5YR4/8	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	-	外内：赤色顔料?
	836	D-11(3)/Ⅲ/-	9	-	-	-	7.5YR4/3	5YR4/3	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	
	837	D-10(1)/Ⅱ/-	9	-	-	-	5YR4/4	7.5YR5/3	ナデ	ケズリ→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	838	D-11(-)/Ⅲ/9796	9	35.3	-	-	5YR4/8	5YR4/2	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	839	C-3(-)/Ⅲ/2407 B-4(3)/Ⅱc/-	9	-	-	-	5YR4/4	5YR4/6	ナデ	ケズリ→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	内：赤色顔料?
	840	D-10(-)/Ⅲ/8697 -(-)/-/-	9	27.0	-	-	5YR5/6	7.5YR6/4	ナデ	ケズリ→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	外内：赤色顔料?
	841	C-11(-)/Ⅲ/10451	9	-	-	-	5YR5/6	5YR6/6	ナデ	ケズリ→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	842	C-4(31)/Ⅲ/-	9	-	-	-	5YR4/6	5YR5/6	ナデ	ケズリ→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
78	843	C-4(31)/Ⅲ/- C-3(-)/Ⅰ/-	9	38.2	-	-	7.5YR6/4	10YR7/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	844	C-4(-)/Ⅲ/2281 C-4(28)/Ⅲ/- C-4(29)/Ⅲ/-	9	37.8	-	-	5YR4/4	7.5YR6/4	ケズリ→ナデ	ケズリ→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	845	D-10(-)/Ⅲ/9793 D-11(-)/Ⅲ/9794	9	40.4	-	-	5YR4/4	5YR5/4	ケズリ→ナデ	ケズリ→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	内：赤色顔料?
	846	C-10(-)/Ⅱ/9995	9	36.0	-	-	5YR5/6	5YR5/6	ケズリ→ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	847	C-10(-)/Ⅱ/6349	9	-	-	-	5YR5/4	5YR5/6	ケズリ→ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	848	C-11(1)/Ⅲ/- C-10(2)/Ⅱ/-	9	-	-	-	5YR4/6	5YR5/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	○	外内：赤色顔料
	849	C-11(-)/Ⅲ/10243	9	-	-	-	5YR4/4	5YR5/6	ケズリ→ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	外内：赤色顔料?
79	850	C-11(-)/Ⅲ/- D-11(3)/Ⅱ/-	9	28.8	-	-	7.5YR5/6	5YR6/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	外内：赤色顔料
	851	D-10(-)/Ⅱ/8635 D-10(-)/Ⅱ/8636 D-10(-)/Ⅱ/8637	9	21.4	12.0	10.4	5YR6/6	5YR6/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	外：赤色顔料塗布
	852	C-10(-)/Ⅱ/8420 C-10(-)/Ⅱ/7356	9	19.4	9.0-	7.9	7.5YR5/4	7.5YR5/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	外：赤色顔料塗布
	853	C-10(2)/Ⅱ/9680	9	18.3	11.0	8.1	5YR4/6	5YR5/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	○	-	-	外：赤色顔料塗布
	854	C-10(2)/Ⅲ/- C-10(-)/Ⅱ/9421	9	18.0	-	-	5YR5/8	5YR6/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	外：赤色顔料
	855	C-4(-)/Ⅲ/3713 C-4(-)/Ⅲ/4732 C-4(64)/Ⅱc/-	9	15.0	-	-	5YR5/6	5YR4/8	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	-	外内：赤色顔料
	856	C-3(45)/Ⅲ/- C-4(42)/Ⅲ/-	9	13.4	-	-	2.5YR5/6	2.5YR6/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	外内：赤色顔料
	857	C-4(67)/Ⅱc/- B-4(8)/Ⅲ/-	9	16.8	-	-	5YR4/8	5YR5/3	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	外：赤色顔料
	858	C-4(-)/Ⅲ/2672	9	22.2	-	-	5YR5/4	5YR5/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	外内：赤色顔料
	859	C-10(3)/Ⅱ/-	9	-	-	-	7.5YR5/4	5YR6/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	
	860	C-4(-)/Ⅲ/4292	9	15.2	-	-	5YR4/6	5YR4/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	外：赤色顔料
	861	C-11(-)/Ⅲ/10279 C-11(-)/Ⅲ/10114	9	16.8	-	-	7.5YR5/4	5YR5/3	ケズリ→ナデ	ナデ	-	○	-	○	○	○	○	-	○	-	-	
	862	B-4(-)/Ⅲ/5140	9	21.0	-	-	5YR4/3	5YR5/2	貝殻条痕→ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	863	C-11(-)/Ⅲ/10447 C-11(-)/Ⅲ/10294 C-11(-)/Ⅲ/10446	9	18.4	11.0	7.0	2.5YR5/6	5YR5/6	ケズリ→ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	外内：赤色顔料
	864	C-3(-)/Ⅲ/2540 C-3(81)/Ⅲ/-	9	19.0	-	-	5YR4/6	7.5YR5/3	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	865	D-11(1)/Ⅲ/-	9	20.6	-	-	5YR4/3	5YR5/3	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	○	
	866	C-3(-)/Ⅲ/4699 C-3(41)/Ⅲ/-	9	22.8	-	-	7.5YR5/3	7.5YR4/1	ケズリ→ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	
	867	C-10(2)/Ⅲ/-	9	-	-	-	5YR4/8	5YR4/8	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	
	868	C-11(1)/Ⅲ/-	9	-	-	-	2.5YR5/6	2.5YR6/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	外内：赤色顔料
80	869	D-10(-)/Ⅱ/7080 D-10(-)/Ⅱ/9227	9	23.0	-	-	5YR5/4	5YR5/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	○	
	870	D-10(-)/Ⅱ/7604 D-11(3)/Ⅲ/-	9	-	-	-	5YR3/6	5YR5/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	○	
	871	D-10(-)/Ⅲ/-	9	-	-	-	5YR6/6	7.5YR6/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	
	872	D-11(-)/Ⅲ/9147	9	-	-	-	5YR4/6	5YR4/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	外内：赤色顔料
	873	D-10(-)/Ⅱ/7581 D-10(4)/Ⅲ/-	9	-	-	-	2.5YR5/6	2.5YR5/8	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	外内：赤色顔料
	874	C-3(50)/Ⅲ/-	9	-	-	-	2.5YR5/6	2.5YR5/8	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	○	
	875	B-4(-)/Ⅲ/4617	9	-	-	-	5YR5/4	5YR6/3	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	
81	876	D-10(-)/Ⅱ/6199	10	44.4	-	-	5YR5/6	5YR5/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	外：煤付着
	877	C-11(-)/Ⅲ/-	10	37.2	-	-	5YR5/6	5YR5/6	ケズリ→ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	
	878	C-11(-)/Ⅱ/10572	10	34.8	-	-	7.5YR4/1	7.5YR6/4	ケズリ→ナデ，ミガキ	ケズリ→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	内：赤色顔料
	879	D-11(-)/Ⅲ/9164 D-11(-)/Ⅲ/8545	10	36.0	-	-	5YR5/6	5YR5/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	内：煤付着
82	880	D-9(-)/Ⅱ/-	10	22.4	-	-	5YR4/3	5YR4/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	-	○	○	
	881	B-4(-)/Ⅲ/2376 B-4(-)/Ⅲ/2377	10	-	-	-	5YR4/3	2.5YR4/3	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	
	882	C-11(-)/Ⅲ/10300	10	-	-	-	2.5YR4/4	2.5YR4/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	
	883	C-3(66)/Ⅲ/-	10	-	-	-	7.5YR5/6	7.5YR4/2	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	
	884	D-10(-)/Ⅱ/8080	10	-	-	-	10YR4/3	7.5YR5/4	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	-	○	-	-	-	
	885	B-4(-)/Ⅲ/3623	10	-	-	-	5YR5/6	7.5YR5/3	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	886	C-10(-)/Ⅱ/7237 C-10(1)/Ⅱ/-	10	-	-	-	7.5YR4/2	7.5YR5/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	

第22表　縄文土器観察表（14）

挿図番号	掲載番号	グリッド(小グリッド)／層／取上番号	分類	口径	底径	器高	外面色調	内面色調	外面調整	内面調整	石英	長石	角閃	火ガ	黒粒	白粒	赤粒	軽石	雲母	滑石	他	備考
82	887	C-10(-)/Ⅱ/7352	10	-	-	-	7.5YR5/4	10YR6/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
	888	D-10(2)/Ⅱ/-	10	-	-	-	5YR5/4	5YR4/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	889	C-4(-)/Ⅲ/4957	10	-	-	-	5YR5/6	7.5YR5/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	
	890	D-10(-)/Ⅲ/8692	10	-	-	-	5YR5/4	5YR5/6	ナデ	ケズリ→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	○	
	891	C-4(-)/Ⅲ/4907	10	-	-	-	5YR3/2	5YR4/3	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	
	892	C-10(-)/Ⅱ/6321	10	-	-	-	10YR5/3	10YR7/2	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	
	893	C-10(-)/Ⅱ/5437	10	-	-	-	5YR5/6	5YR5/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	894	C-3(47)/Ⅳ/-	10	-	-	-	5YR5/6	5YR5/6	ケズリ→ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	895	C-4(28)/Ⅲ/- C-4(33)/Ⅲ/-	10	28.0	-	-	10YR5/4	7.5YR5/4	ケズリ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	
	896	C-3(59)/Ⅲ/-	10	-	-	-	5YR4/6	7.5YR4/2	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	
	897	C-11(1)/Ⅲ/-	10	-	-	-	7.5YR4/3	7.5YR6/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	外：煤付着
	898	D-11(-)/Ⅲ/9144	10	20.0	-	-	5YR5/6	7.5YR4/3	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	899	D-10(2)/Ⅲ/-	10	25.8	-	-	5YR4/4	5YR4/4	ケズリ→ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	900	C-4(-)/Ⅲ/4356	10	26.2	-	-	5YR6/6	10YR6/4	ナデ	ケズリ→ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
83	901	D-11(-)/Ⅲ/10183	10	40.0	-	-	10YR5/6	10YR5/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	902	D-10(-)/Ⅱ/8538	10	-	-	-	5YR4/6	5YR4/6	ケズリ→ナデ	ケズリ→ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	903	D-11(-)/Ⅲ/8299	10	-	-	-	7.5YR4/6	2.5YR5/6	ケズリ→ナデ	ケズリ→ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	904	B-4(-)/Ⅲ/3645 B-4(-)/Ⅲ/5014	10	27.0	-	-	7.5YR5/6	7.5YR5/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	905	C-10(-)/Ⅱ/10533 C-10(2)/Ⅱ/-	10	29.0	-	-	7.5YR4/4	10YR6/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	906	C-4(-)/Ⅱc/1609	10	27.6	-	-	10YR5/3	10YR4/3	貝殻条痕→ナデ	ケズリ→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	内：赤色顔料
	907	C-10(-)/Ⅱ/8313 C-10(1)/Ⅲ/-	10	29.0	-	-	5YR5/6	5YR5/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	908	C-4(-)/Ⅲ/5180	10	-	-	-	5YR5/6	5YR5/4	ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	909	C-10(-)/Ⅱ/9380	10	-	-	-	5YR5/6	7.5YR6/4	ケズリ→ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	910	C-11(-)/Ⅱ/10065	10	-	-	-	10YR4/4	10YR7/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	911	D-11(-)/Ⅲ/9355	10	-	-	-	5YR5/6	5YR5/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	912	D-11(-)/Ⅲ/6098	10	35.6	-	-	7.5YR5/4	5YR6/6	貝殻条痕→ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	
	913	C-3(41)/Ⅲ/-	10	-	-	-	7.5YR4/3	5YR5/6	ナデ	ケズリ→ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
84	914	D-11(2)/Ⅲ/-	10	-	-	-	10YR4/4	7.5YR4/4	ナデ	ケズリ→ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	915	D-10(-)/Ⅱ/7570	10	-	-	-	5YR4/6	7.5YR4/3	ナデ	ケズリ→ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	916	D-10(-)/Ⅱ/1156	10	-	-	-	5YR5/6	5YR5/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	917	D-9(-)/Ⅱ/-	10	34.2	-	-	10YR6/4	10YR6/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	918	D-11(-)/Ⅲ/9354	10	-	-	-	7.5YR4/4	5YR4/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	919	C-11(1)/Ⅱ/-	10	-	-	-	7.5YR5/4	7.5YR5/4	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	920	D-10(-)/Ⅱ/- D-10(4)/Ⅲ/- C-4(83)/Ⅲ/-	10	37.6	-	-	10YR7/4	10YR7/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	921	C-10(4)/Ⅱ/-	10	-	-	-	7.5YR6/6	10YR6/3	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	922	C-4(-)/Ⅲ/2225	10	-	-	-	5YR5/6	10YR5/4	ケズリ→ナデ	ケズリ→ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	923	C-3(-)/Ⅲ/2258 C-3(-)/Ⅲ/2259	10	-	-	-	7.5YR5/4	7.5YR4/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	924	C-10(4)/Ⅱ/- C-10(2)/Ⅱ/- C-10(3)/Ⅲ/- C-10(-)/Ⅲ/-	10	28	-	-	5YR5/6	5YR5/6	ケズリ→ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	-	○	-	-	-	
	925	D-11(-)/Ⅲ/9826	10	-	-	-	7.5YR6/6	7.5YR6/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	
	926	C-4(-)/Ⅱc/1590 B-4(44)/Ⅱc/- B-4(54)/Ⅱc/-	10	26.4	-	-	10YR5/2	7.5YR5/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	-	○	○	
	927	D-10(1)/Ⅱ/-	10	17.6	-	-	5YR5/8	5YR5/8	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	928	B-5(-)/Ⅱc/874 B-4(30)/Ⅱc/-	10	14.2	-	-	10YR5/4	2.5Y5/3	ナデ，ミガキ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	929	C-11(-)/Ⅲ/10494	10	-	-	-	7.5YR6/6	7.5YR6/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	
	930	C-10(-)/Ⅱ/5765	10	-	-	-	7.5YR5/6	7.5YR5/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
85	931	D-10(-)/Ⅱ/7591 D-10(-)/Ⅱ/7592 D-10(2)/Ⅲ/-	11	29	-	-	5YR6/6	5YR6/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	
	932	D-11(-)/Ⅲ/9152 D-10(-)/Ⅲ/-	11	27.2	-	-	5YR4/6	5YR4/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	
	933	B-5(52)/Ⅱc/1551 B-5(-)/Ⅱc/632 B-5(-)/Ⅱc/1738	11	25.6	-	-	7.5YR5/6	10YR6/4	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	
	934	B-4(-)/Ⅲ/3076	11	26.3	-	-	7.5YR5/4	10YR7/4	ケズリ→ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	
	935	D-10(-)/Ⅱ/6229	11	-	-	-	5YR5/6	5YR5/6	ケズリ→ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	
	936	D-11(-)/Ⅱ/9789 D-11(4)/Ⅲ/-	11	-	-	-	5YR5/6	5YR6/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
	937	C-9(2)/Ⅱ/-	11	30.7	-	-	7.5YR5/6	10YR6/2	貝殻条痕→ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	
	938	D-10(-)/Ⅱ/6235	11	-	-	-	7.5YR5/3	7.5YR6/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	-	○	-	
	939	C-4(-)/Ⅲ/1727	11	18.2	-	-	5YR5/6	5YR5/6	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	外：煤付着
	940	C-4(66)/Ⅲ/- C-4(8)/Ⅱc/-	11	-	-	-	7.5YR7/6	7.5YR7/6	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	941	D-10(-)/Ⅲ/10193 D-11(2)/Ⅱ/-	11	-	-	-	5YR5/6	5YR5/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	
	942	C-9(2)/Ⅱ/-	11	-	-	-	7.5YR5/4	10YR6/3	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	-	○	-	
	943	C-4(44)/Ⅲ/- C-4(-)/Ⅲ/2809 C-4(-)/Ⅲ/2810 C-4(-)/Ⅲ/3745 C-4(45)/Ⅱc/- C-4(-)/Ⅱ/-	11	10.9	-	-	5YR6/6	5YR6/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	944	C-10(2)/-/-	11	-	-	-	7.5YR6/4	7.5YR6/4	ミガキ	ミガキ	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	内：黒色顔料
86	945	B-5(31)/Ⅲ/-	底部	-	9.0	-	10YR6/3	7.5YR5/6	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	946	C-11(1)/Ⅲ/-	底部	-	8.6	-	7.5YR7/6	7.5YR7/4	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	
	947	C-10(2)/Ⅱ/-	底部	-	8.8	-	7.5YR7/6	10YR3/2	貝殻条痕→ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	
	948	B-4(-)/Ⅲ/3334	底部	-	8.2	-	10YR7/4	10YR7/3	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	-	-	○	-	
	949	B-4(-)/Ⅱb/-	底部	-	9.0	-	5YR7/6	10YR7/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	
	950	C-10(2)/Ⅱ/-	底部	-	8.8	-	10YR5/4	7.5YR5/4	貝殻条痕→ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	
	951	C-4(18)/Ⅱc/- B-4(-)/Ⅱc/954	底部	-	11.6	-	10YR8/3	10YR7/2	貝殻条痕→ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	

第23表　縄文土器観察表（15）

挿図番号	掲載番号	グリッド(小グリッド)／層／取上番号	分類	口径	底径	器高	外面色調	内面色調	外面調整	内面調整	石英	長石	角閃	火ガ	黒粒	白粒	赤粒	軽石	雲母	滑石	他	備考
86	952	C-3(28)/Ⅲ/-	底部	-	-	-	7.5YR8/6	10YR8/6	貝殻条痕→ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	
87	953	B-4(-)/Ⅲ/3354	底部	-	10.2	-	5YR5/8	5YR6/8	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	内面見込：貝殻条痕→ナデ
	954	C-11(-)/Ⅲ/-	底部	-	10.8	-	5YR6/6	5YR6/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	955	D-11(4)/Ⅲ/- D-11(-)/Ⅱ/8170 C-11(1)/Ⅲ/-	底部	-	15	-	5YR6/8	5YR6/8	工具ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	956	C-11(-)/Ⅲ/10436	底部	-	14.2	-	5YR6/6	7.5YR5/3	工具ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	957	C-4(13)/Ⅲ/-	底部	-	8	-	5YR6/8	5YR6/6	工具ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	958	C-11(-)/Ⅲ/- C-10(-)/Ⅲ/-	底部	-	8.6	-	10YR8/2	5YR6/6	工具ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	
	959	D-11(-)/Ⅱ/6636	底部	-	12	-	10YR6/3	5YR6/6	工具ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	960	C-11(1)/Ⅲ/-	底部	-	14.3	-	5YR4/6	10YR4/2	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	961	D-10(-)/Ⅱ/5984	底部	-	-	-	5YR5/4	7.5YR5/4	工具ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	
	962	C-10(1)/Ⅲ/- C-10(-)/Ⅱ/-	底部	-	8	-	5YR4/6	10YR6/4	工具ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	
	963	D-10(4)/Ⅲ/-	底部	-	6.4	-	5YR5/6	7.5YR5/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	
88	964	C-10(2)/Ⅱ/- C-10(3)/Ⅱ/-	底部	-	13.2	-	5YR5/4	2.5YR5/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	-	-	○	-	
	965	C-10(2)/Ⅲ/-	底部	-	13.8	-	7.5YR4/1	7.5YR6/2	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	○	-	
	966	C-4(-)/Ⅲ/2185	底部	-	12.8	-	10YR7/4	10YR7/2	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	○	-	
	967	C-4(42)/Ⅲ/-	底部	-	12.4	-	7.5YR5/4	10YR5/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	○	-	
	968	B-4(37)/Ⅲ/-	底部	-	12.3	-	5YR5/6	10YR5/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	○	-	
	969	C-10(-)/Ⅱ/-	底部	-	13.5	-	5YR5/1	5YR4/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	○	-	
	970	C-4(-)/Ⅲ/2122 C-4(-)/Ⅱc/2195 C-4(37)/Ⅱc/- C-4(43)/Ⅲ/- C-3(35)/Ⅳ/-	底部	-	12.6	-	10YR6/4	5YR5/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	○	-	
	971	D-9(-)/Ⅱ/-	底部	-	17.1	-	10YR6/6	10YR6/6	工具ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	○	-	
	972	C-4(57)/Ⅱc/-	底部	-	13	-	7.5YR5/4	10YR5/3	工具ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	○	-	
	973	C-4(-)/Ⅲ/4690	底部	-	13.2	-	5YR6/4	5YR6/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	○	-	
	974	B-4(40)/Ⅲ/-	底部	-	16	-	7.5YR6/4	7.5YR6/4	工具ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	○	-	
	975	D-10(-)/Ⅱ/-	底部	-	11.4	-	5YR5/4	5YR5/2	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	○	-	
	976	B-5(-)/Ⅱc/1405 C-4(-)/Ⅲ/- B-4(-)/Ⅲ/2326 B-5(21)/Ⅳ/- B-4(-)/Ⅳ/- B-5(-)/Ⅱc/640	底部	-	14.4	-	5YR4/3	10YR7/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	○	-	
	977	C-4(-)/Ⅲ/5179	底部	-	14.6	-	5YR5/4	10YR5/3	工具ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	○	-	
	978	C-4(-)/Ⅲ/4484	底部	-	16.4	-	7.5YR5/3	7.5YR5/6	工具ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	○	-	
	979	B-5(-)/Ⅱc/1554	底部	-	11	-	2.5YR4/4	7.5YR5/4	工具ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	○	-	
	980	C-4(70)/Ⅱc/- B-4(-)/Ⅱc/- B-4(-)/Ⅱb/-	底部	-	17.4	-	5YR5/6	5YR5/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	○	-	
	981	B-4(-)/Ⅲ/3199	底部	-	12	-	7.5YR5/4	10YR5/2	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	-	-	○	-	
	982	B-4(-)/Ⅲ/4627 B-4(-)/Ⅲ/5049	底部	-	10.9	-	7.5YR6/6	5YR6/6	工具ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	○	-	
	983	B-4(8)/Ⅲ/- B-4(9)/Ⅲ/-	底部	-	8	-	5YR4/8	5YR4/4	工具ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	○	-	
	984	B-5(-)/Ⅲ/1961	底部	-	14.6	-	5YR6/6	7.5YR5/2	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	-	-	○	-	
	985	C-4(-)/Ⅲ/5230	底部	-	14.7	-	5YR6/6	5YR5/6	工具ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	○	-	
	986	D-10(3)/Ⅱ/-	底部	-	7.4	-	5YR6/6	5YR7/6	貝殻条痕→ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	
89	987	C-4(-)/Ⅲ/4226	底部	-	11.6	-	5YR6/6	5YR6/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	988	D-9(-)/Ⅱ/6864	底部	-	10	-	7.5YR7/8	10YR8/4	工具ナデ	工具ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	989	C-4(75)/Ⅲ/-	底部	-	10.8	-	10YR8/3	5YR6/6	ナデ	ナデ，指頭圧痕	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	990	D-9(-)/Ⅱ/6861	底部	-	10	-	5YR5/6	10YR4/2	貝殻条痕→ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	991	C-10(-)/Ⅱ/7004	底部	-	9.3	-	7.5YR6/6	10YR5/3	ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	992	B-5(73)/Ⅱc/1552	底部	-	15	-	5YR5/4	5YR6/2	工具ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	
	993	C-10(-)/Ⅱ/9032	底部	-	15.2	-	2.5YR4/6	2.5YR5/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	○	-	
	994	D-10(4)/Ⅲ/-	底部	-	14	-	5YR6/6	7.5YR7/4	ナデ	ナデ，指頭圧痕	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	995	C-10(-)/Ⅱ/7309	底部	-	9	-	7.5YR6/6	7.5YR6/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	
	996	B-4(10)/Ⅱc/- B-5(84)/Ⅱc/-	底部	-	6.4	-	5YR5/6	10YR7/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	997	C-10(-)/Ⅱ/10519 D-9(-)/Ⅱ/-	底部	-	18.3	-	5YR4/6	5YR4/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	
	998	C-5(1)/Ⅱc/-	底部	-	14.8	-	5YR5/8	5YR6/8	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	999	C-4(37)/Ⅱc/-	底部	-	19	-	7.5YR6/4	7.5YR5/3	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	○	-	
	1000	C-9(2)/Ⅱ/-	底部	-	10.2	-	10YR6/3	5YR5/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	1001	C-11(-)/Ⅲ/10478	底部	-	10	-	7.5YR5/4	10YR6/3	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	
	1002	D-11(-)/Ⅲ/9184 -(-)/-/-	底部	-	9.2	-	5YR5/6	5YR6/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	1003	D-9(-)/Ⅱ/-	底部	-	9.6	-	7.5YR6/6	10YR6/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	
90	1004	C-10(-)/Ⅱ/10525	底部	-	9.4	-	10YR8/3	10YR8/3	ナデ	ナデ，指頭圧痕	○	○	-	○	○	○	-	○	-	-	-	
	1005	C-11(-)/Ⅲ/10286	底部	-	10.4	-	7.5YR6/4	10YR8/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	1006	C-10(-)/Ⅲ/- C-10(1)/Ⅲ/-	底部	-	9.8	-	5YR6/6	5YR6/6	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	-	○	-	-	-	
	1007	B-4(-)/Ⅲ/4409	底部	-	11.2	-	5YR6/6	7.5YR7/4	ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	1008	C-4(-)/Ⅲ/4952	底部	-	10.4	-	5YR6/6	10YR7/4	貝殻条痕→ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	1009	C-10(-)/-/不明 C-10(-)/Ⅱ/10043	底部	-	11.6	-	7.5YR6/6	7.5YR8/3	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	1010	C-4(-)/Ⅲ/4191	底部	-	13.2	-	10YR7/4	10YR7/4	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	1011	C-10(-)/Ⅱ/7984	底部	-	14.6	-	7.5YR7/6	10YR7/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	1012	D-10(4)/Ⅲ/-	底部	-	14	-	5YR4/6	10YR7/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	1013	C-4(-)/Ⅲ/2660 C-4(-)/Ⅲ/5182	底部	-	12.6	-	5YR5/6	7.5YR6/6	貝殻条痕→ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	1014	C-4(-)/Ⅱc/2213	底部	-	11	-	5YR5/6	5YR5/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	1015	C-10(-)/Ⅱ/9057 C-10(-)/Ⅱ/10534	底部	-	9.8	-	10YR7/4	10YR7/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	1016	C-10(-)/Ⅱ/9983 C-10(1)/Ⅲ/-	底部	-	10.0	-	10YR6/4	10YR5/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	

第24表　縄文土器観察表（16）

挿図番号	掲載番号	グリッド(小グリッド)／層／取上番号	分類	口径	底径	器高	外面色調	内面色調	外面調整	内面調整	石英	長石	角閃	火ガ	黒粒	白粒	赤粒	軽石	雲母	滑石	他	備考
90	1017	B-4(-)/Ⅲ/-	底部	8.4	-	-	5YR7/8	5YR7/6	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
91	1018	C-10(-)/Ⅱ/- C-10(-)/Ⅱ/5716	底部	9.2	-	-	7.5YR6/4	7.5YR6/4	工具ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
91	1019	C-3(50)/Ⅲ/- C-3(80)/Ⅲ/-	底部	8.4	-	-	5YR5/6	5YR5/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
91	1020	C-4(-)/Ⅲ/2897	底部	9.0	-	-	5YR6/6	5YR6/6	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	-	○	-	-	-	
91	1021	D-10(-)/Ⅱ/6692	底部	8.2	-	-	5YR5/6	5YR6/6	工具ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
91	1022	C-9(2)/Ⅱ/-	底部	11.0	-	-	7.5YR5/6	5YR5/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	内：赤色顔料付着
91	1023	C-4(-)/Ⅲ/2733	底部	10.5	9.0	8.1	7.5YR7/6	7.5YR7/6	ナデ，指頭圧痕	ナデ，指頭圧痕	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
91	1024	B-4(-)/Ⅲ/4998 C-4(-)/Ⅲ/2634	底部	9.0	-	-	7.5YR6/6	10YR7/6	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
91	1025	C-4(-)/Ⅱc/1591	底部	8.6	-	-	5YR7/6	7.5YR7/6	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	-	○	-	-	-	
91	1026	C-10(2)/Ⅲ/-	底部	9.8	-	-	5YR7/6	2.5Y8/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
91	1027	C-10(-)/Ⅱ/7732	底部	10.6	-	-	5YR5/4	2.5Y5/3	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	-	○	-	-	-	
91	1028	C-10(2)/Ⅱ/- C-10(4)/Ⅱ/-	底部	9.8	-	-	10YR7/6	10YR8/4	貝殻条痕→ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	
91	1029	C-4(-)/Ⅲ/2949	底部	12.2	-	-	10YR7/4	10YR7/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
91	1030	C-4(-)/Ⅲ/1905	底部	13.2	-	-	7.5YR7/6	7.5YR6/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
91	1031	C-10(-)/Ⅱ/7305 C-10(-)/Ⅱ/7310	底部	7.0	-	-	7.5YR8/6	10YR8/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
91	1032	C-3(-)/Ⅲ/2406	底部	7.2	-	-	10YR6/3	10YR7/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	
93	1033	B-4(-)/Ⅲ/3406 B-4(-)/Ⅲ/3407	底部	14.0	-	-	2.5YR5/6	2.5YR5/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	-	○	○	-	
93	1034	D-10(-)/Ⅱ/7572	底部	16.0	-	-	5YR6/6	5YR6/8	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	
93	1035	B-4(-)/Ⅲ/3503	底部	14.0	-	-	5YR5/6	5YR6/8	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	-	-	○	-	
93	1036	D-9(-)/Ⅱ/-	底部	15.0	-	-	7.5YR7/4	10YR7/3	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	
93	1037	C-4(-)/Ⅲ/5224	底部	11.0	-	-	7.5YR7/6	10YR7/4	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	内：赤色顔料付着
93	1038	C-4(-)/Ⅲ/5204	底部	10.4	-	-	10YR5/3	10YR6/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
94	1039	C-10(-)/Ⅱ/5785 C-10(-)/Ⅱ/9974	底部	14.2	-	-	2.5YR6/6	2.5YR6/6	工具ナデ	工具ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	内：煤付着
94	1040	D-10(-)/Ⅲ/- D-11(-)/Ⅲ/9120	底部	11.4	-	-	5YR4/6	7.5YR5/4	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	○	○	-	-	-	
94	1041	C-4(-)/Ⅲ/5303 C-4(17)/Ⅲ/- B-4(-)/Ⅳ/-	底部	13.0	-	-	5YR4/6	5YR4/6	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	○	○	-	-	-	
94	1042	C-10(1)/Ⅲ/-	底部	8.4	-	-	5YR6/8	5YR5/8	工具ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	
94	1043	C-10(2)/Ⅱ/-	底部	9.8	-	-	5YR7/8	5YR7/6	工具ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	
94	1044	C-9(2)/Ⅱ/-	底部	11.2	-	-	7.5YR5/4	10YR7/3	ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	
94	1045	D-10(-)/Ⅱ/6673	底部	10.8	-	-	7.5YR6/4	7.5YR6/6	ナデ	ナデ，指頭圧痕	○	○	-	○	○	○	○	○	-	-	-	
94	1046	D-10(-)/Ⅲ/6097	底部	12.3	-	-	5YR6/6	5YR6/6	工具ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
94	1047	C-4(-)/Ⅲ/4848	底部	11.2	-	-	10YR7/6	7.5YR7/8	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
94	1048	C-4(58)/Ⅱc/-	底部	13.2	-	-	5YR5/6	10YR5/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
94	1049	D-10(-)/Ⅱ/9213	底部	11.0	-	-	2.5YR5/6	2.5YR5/6	工具ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
94	1050	D-10(-)/Ⅱ/9532	底部	8.3	-	-	5YR4/6	5YR5/6	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	-	○	-	-	-	
94	1051	C-10(-)/Ⅱ/8314	底部	8.0	-	-	10YR6/3	10YR6/3	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	-	○	-	-	-	
94	1052	C-10(-)/Ⅱ/6702	底部	11.4	-	-	7.5YR7/4	10YR8/4	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
94	1053	C-3(-)/Ⅲ/4925	底部	12.0	-	-	5YR5/6	7.5YR6/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
95	1054	D-10(-)/Ⅱ/8827 D-10(-)/Ⅱ/8828	底部	15.0	-	-	5YR6/6	5YR6/6	工具ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	○	-	-	
95	1055	B-5(-)/Ⅲ/2016	底部	10.2	-	-	10YR6/4	7.5YR6/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
95	1056	B-5(-)/Ⅲ/-	底部	12.2	-	-	10YR7/4	10YR7/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	内：赤色顔料付着
95	1057	B-5(-)/Ⅲ/2175	底部	10.2	-	-	7.5YR6/6	7.5YR7/6	ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	-	○	○	○	-	○	-	-	ob	
95	1058	B-4(-)/Ⅲ/3967	底部	12	-	-	10YR8/3	10YR8/3	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	内：赤色顔料付着
95	1059	D-9(4)/Ⅱ/- C-9(2)/Ⅱ/- D-9(-)/Ⅱ/9312	底部	9.7	-	-	5YR5/4	10YR5/4	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
95	1060	C-4(-)/Ⅲ/4184 C-4(-)/Ⅲ/4185 C-4(-)/Ⅲ/4953	底部	12.9	-	-	7.5YR6/4	10YR5/4	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
95	1061	C-4(-)/Ⅲ/1586	底部	11.3	-	-	10YR5/4	10YR6/4	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	-	○	○	○	-	○	-	-	-	
95	1062	C-4(-)/Ⅲ/2267 C-4(-)/Ⅲ/4357 C-4(-)/Ⅲ/4358	底部	11.0	-	-	5YR6/6	5YR6/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
95	1063	B-4(-)/Ⅲ/5297 C-4(85)/Ⅲ/- C-4(86)/Ⅲ/- B-4(-)/Ⅲ/- B-4(-)/Ⅳ/-	底部	11.4	-	-	7.5YR7/4	10YR8/4	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
95	1064	B-5(-)/Ⅲ/1990	底部	11.8	-	-	5YR6/6	5YR6/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
95	1065	C-9(-)/Ⅱ/-	底部	11.4	-	-	5YR6/6	10YR7/4	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	-	○	-	-	-	
95	1066	C-4(-)/Ⅲ/5305	底部	10.0	-	-	7.5YR6/6	7.5YR7/4	工具ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
95	1067	B-4(49)/Ⅲ/- B-4(-)/Ⅲ/3072 B-4(-)/Ⅲ/3986	底部	9.4	-	-	5YR5/6	2.5YR4/6	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	内：赤色顔料付着
95	1068	C-4(-)/Ⅱc/2046	底部	11.0	-	-	5YR5/6	10YR7/6	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	-	○	-	-	-	
95	1069	D-10(-)/Ⅱ/10371	底部	9.2	-	-	5YR5/6	5YR5/4	工具ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	-	○	-	-	-	
95	1070	C-4(-)/Ⅱc/1585	底部	11.2	-	-	5YR6/8	10YR7/4	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
95	1071	C-4(-)/Ⅲ/1899	底部	12.3	-	-	7.5YR6/4	10YR8/3	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	内：赤色顔料付着
95	1072	B-5(-)/Ⅲ/- B-5(32)/Ⅲ/-	底部	11.0	-	-	7.5YR6/4	10YR7/3	貝殻条痕→ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
95	1073	C-4(-)/Ⅲ/1898	底部	10.4	-	-	7.5YR7/6	7.5YR7/6	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
95	1074	C-4(-)/Ⅲ/1724 C-4(-)/Ⅲ/1725	底部	9.6	-	-	7.5YR6/4	7.5YR6/6	工具ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	○	-	
95	1075	C-5(75)/Ⅳ/-	底部	10.2	-	-	2.5Y8/3	2.5Y8/3	貝殻条痕→ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	内：赤色顔料付着
96	1076	B-4(2)/Ⅱc/- C-4(17)/Ⅱc/-	底部	14.2	-	-	5YR5/6	5YR5/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	

第25表　縄文土器観察表（17）

挿図番号	掲載番号	グリッド(小グリッド)／層／取上番号	分類	口径	底径	器高	外面色調	内面色調	外面調整	内面調整	石英	長石	角閃	火ガ	黒粒	白粒	赤粒	軽石	雲母	滑石	他	備考
96	1077	C-10(-)/Ⅱ/5835 C-10(1)/Ⅱ/-	底部	-	9.8	-	7.5YR6/6	10YR7/4	貝殻条痕→ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	-	○	-	-	-	
	1078	D-9(-)/Ⅱ/-	底部	-	12.6	-	5YR6/6	10YR3/3	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	1079	D-10(3)/Ⅱ/-	底部	-	6.6	-	10YR7/4	10YR6/3	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	○	○	-	-	-	
	1080	C-5(81)/Ⅱc/- B-4(-)/Ⅲ/2991	底部	-	12.6	-	7.5YR6/6	10YR7/4	ナデ	工具ナデ	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	
	1081	C-4(-)/Ⅲ/4955	底部	-	12.6	-	7.5YR8/4	10YR8/3	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	
	1082	B-5(-)/Ⅱc/1541	底部	-	6.7	-	5YR6/6	7.5YR7/6	工具ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
挿図番号	掲載番号	グリッド(小グリッド)／層／取上番号	分類	最大長	最大幅	最大厚	外面色調	内面色調	外面調整	内面調整	石英	長石	角閃	火ガ	黒粒	白粒	赤粒	軽石	雲母	滑石	他	備考
97	1083	C-3(50)/Ⅲ/-	円盤	7.6	8.1	1.1	7.5YR5/3	10YR7/3	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	-	○	-	-	-	
	1084	C-11(-)/Ⅱ/10062	円盤	5.4	5.9	0.7	5YR6/6	10YR5/3	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	1085	C-10(-)/Ⅲ/-	円盤	5.7	6.3	0.7	5YR5/6	7.5YR6/4	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	-	○	○	-	-	
	1086	C-3(59)/Ⅲ/-	円盤	3.3	6.7	1.1	7.5YR7/6	7.5YR4/1	貝殻条痕→ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	1087	C-10(1)/Ⅲ/-	円盤	6.3	6.6	0.9	7.5YR7/4	10YR8/4	ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	-	○	○	○	○	○	-	-	-	
	1088	C-4(31)/Ⅲ/-	円盤	5.4	5.6	0.9	5YR6/6	10YR5/4	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	-	○	-	-	-	
	1089	D-10(-)/Ⅲ/-	円盤	4.8	4.7	0.8	2.5YR6/3	5YR7/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	○	-	
	1090	D-10(-)/Ⅲ/-	円盤	5.0	5.0	0.8	5YR5/6	7.5YR4/2	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	-	○	-	○	-	
	1091	C-10(3)/Ⅱ/-	円盤	4.4	4.6	1.0	5YR5/4	10YR7/4	ナデ	貝殻条痕→ナデ	○	○	-	○	○	○	-	○	-	○	-	
	1092	C-3(61)/Ⅲ/-	円盤	3.6	3.4	1.0	7.5YR7/6	10YR8/3	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	1093	C-11(1)/Ⅱ/-	円盤	4.2	4.6	0.9	10YR6/6	5YR5/4	貝殻条痕→ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	1094	C-4(42)/Ⅲ/-	円盤	4.2	4.0	0.9	7.5YR7/8	10YR6/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	1095	C-3(70)/Ⅲ/-	円盤	3.9	3.9	0.9	7.5YR5/4	10YR5/3	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	1096	B-3(80)/Ⅱc/-	円盤	4.9	5.2	1.1	10YR5/4	10YR5/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	1097	B-4(14)/Ⅱc/-	円盤	5.7	6.3	0.7	2.5Y7/6	2.5Y5/3	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	1098	D-11(1)/Ⅲ/-	円盤	3.9	5.0	0.9	10YR8/3	10YR8/3	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	
	1099	B-5(-)/Ⅲ/1977	円盤	3.1	3.1	0.8	5YR4/6	5YR5/4	ナデ	ナデ	○	○	-	○	○	○	-	○	-	-	-	

第26表　縄文石器観察表（1）

挿図番号	掲載番号	グリッド(小グリッド)/層位/取上No	器種	石材	最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重量（g）	備考
101	1100	C-3//Ⅰ/	石鏃	CC	1.04	1.30	0.38	0.61	
	1101	C-4//Ⅱb/	石鏃	OBⅠ	1.33	1.18	0.37	0.56	
	1102	B-4/39/Ⅲ/	石鏃	OBⅠ	1.49	1.35	0.40	0.75	
	1103	D-10//Ⅱ/	石鏃	OBⅢ	1.63	1.30	0.51	0.70	
	1104	D-11//Ⅱ/	石鏃	OBⅡ	1.82	1.40	0.43	0.76	
	1105	B-5(2)//	石鏃	OBⅢ	1.75	1.54	0.42	0.71	
	1106	C-11(1)/Ⅱ/	石鏃	OBⅠ	1.69	1.77	0.38	0.97	
	1107	B-4(38)/Ⅲ/	石鏃	OBⅢ	1.88	1.28	0.29	0.88	
	1108	B-5(61)/Ⅲ/	石鏃	OBⅠ	1.61	1.87	0.57	1.52	
	1109	C-4(86)/Ⅲ/	石鏃	OBⅣ	1.50	1.30	0.32	0.45	
	1110	C-11/Ⅱ/7122	石鏃	OBⅣ	1.70	1.53	0.27	0.61	
	1111	C-9/Ⅱ/	石鏃	OBⅠ	1.70	1.35	0.37	0.53	
	1112	C-4(54)/Ⅲ/	石鏃	OBⅢ	1.45	1.05	0.27	0.28	
	1113	C-4/Ⅱc/2042	石鏃	AN	1.60	1.30	0.40	0.42	
	1114	D-11/Ⅲ/9799	石鏃	AN	1.67	1.18	0.27	0.39	
	1115	B-4/Ⅱc/437	石鏃	AN	1.90	1.20	0.32	0.66	
	1116	C-9/Ⅱ/8549	石鏃	OBⅣ	1.75	1.15	0.20	0.34	
	1116	B-4(28)/Ⅲ/	石鏃	OBⅣ	1.90	1.20	0.33	0.49	
	1118	B-4(21)/Ⅱc/	石鏃	OBⅠ	1.90	1.33	0.33	0.66	
	1119	B-4(27)/Ⅲ/	石鏃	OBⅠ	1.92	1.32	0.42	0.84	
	1120	C-10/Ⅲ/10600	石鏃	OBⅣ	2.19	1.29	0.36	0.57	
	1121	C-10/Ⅱ/10595	石鏃	OBⅢ	2.00	1.15	0.23	0.33	
	1122	C-11(2)/Ⅱ/	石鏃	OBⅢ	2.20	1.37	0.37	0.66	
	1123	D-11/Ⅲ/8257	石鏃	OB	1.58	1.30	0.25	0.48	阿蘇系
	1124	C-10/Ⅱ/8315	石鏃	OBⅣ	1.70	1.02	0.25	0.32	
	1125	B-4/Ⅱb/	石鏃	OBⅢ	1.86	1.00	0.32	0.47	
	1126	B-4(8)/Ⅲ/	石鏃	OBⅢ	2.18	1.23	0.36	0.66	
102	1127	C-11/Ⅱ/9740	石鏃	OBⅣ	1.72	1.15	0.28	0.43	
	1128	C-4/Ⅱc/	石鏃	OBⅣ	1.79	1.19	0.43	0.66	
	1129	C-5(61)/Ⅳ/	石鏃	OBⅣ	1.90	1.22	0.42	0.62	
	1130	C-10/Ⅱ/7352	石鏃未製品	OBⅢ	1.11	0.98	0.23	0.28	
	1131	C-4(33)/Ⅲ/	石鏃	OBⅢ	1.70	1.38	0.35	0.70	
	1132	C-4/Ⅱa/	石鏃	OBⅠ	1.77	1.25	0.34	0.73	
	1133	C-4/Ⅱc/1739	石鏃	OBⅣ	2.05	1.45	0.38	0.86	
	1134	B-5(2)/Ⅳ/	石鏃	OBⅣ	2.65	1.35	0.40	1.01	
	1135	B-4(12)/Ⅱc/	石鏃	OBⅣ	2.45	1.47	0.33	0.77	

第27表　縄文石器観察表（2）

挿図番号	掲載番号	グリッド(小グリッド)/層位/取上No	器種	石材	最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重量（g）	備考
102	1136	B-4/Ⅳ/	石鏃	AN	2.62	1.62	0.36	1.10	
	1137	D-10/Ⅱ/10580	石鏃	AN	2.60	1.40	0.45	0.90	
	1138	B-5/Ⅳ/357	石鏃	OBⅢ	1.60	1.30	0.38	0.72	
	1139	C-3/Ⅰ/	石鏃	OBⅠ	1.54	1.30	0.50	0.92	
	1140	C-4(58)/Ⅱc/	石鏃	OBⅠ	1.70	1.36	0.30	0.41	
	1141	B-4 (16)/Ⅲ/	石鏃	OBⅠ	1.55	1.30	0.46	0.88	
	1142	D-10 /Ⅱ/	石鏃	OBⅣ	1.40	1.50	0.40	0.79	
	1143	D-10/Ⅲ/	石鏃	OBⅢ	1.34	1.54	0.30	0.54	
	1144	C-10/Ⅱ/10596	石鏃	OBⅢ	1.60	1.45	0.40	0.80	
	1145	C-9/Ⅱ/	石鏃	OBⅣ	2.10	1.29	0.41	1.74	
	1146	C-4/Ⅱb/	石鏃	OBⅠ	1.61	1.70	0.63	1.76	
	1147	D-11/Ⅲ/	石鏃未製品	OBⅠ	1.42	1.00	0.48	0.72	
	1148	B-4(39)/Ⅲ/	石鏃未製品	OBⅠ	1.22	1.51	0.31	0.67	
	1149	C-11(1)/Ⅱ/	石鏃	OBⅠ	1.86	1.73	0.63	1.87	
	1150	C-3(49)//	石鏃	OBⅠ	1.99	1.90	0.47	1.50	
	1151	C-9/Ⅱ/	石鏃	OBⅠ	2.70	1.69	0.66	2.54	
	1152	C-3(70)/Ⅲ/	石鏃未製品	OBⅢ	2.40	1.83	0.68	1.74	
	1153	C-3(10)/Ⅱc/	石鏃未製品	CC	2.43	1.72	0.44	1.41	
103	1154	B-5/Ⅱc/152	石錐	OBⅢ	1.30	0.90	0.25	0.31	
	1155	C-4(89)/Ⅲ/	石錐	OBⅢ	1.51	1.12	0.23	0.30	
	1156	B-4/Ⅱb/	石錐	OBⅣ	1.68	1.13	0.36	0.51	
	1157	D-11(3)/Ⅲ/	石錐	OBⅢ	1.45	1.24	0.32	0.36	
	1158	C-4(57)/Ⅱc/	石錐	OBⅠ	1.78	1.35	0.38	0.69	
	1159	B-4(20)/Ⅲ/	石錐	OBⅠ	1.95	1.28	0.35	0.63	
	1160	C-4(88)/Ⅲ/	石錐	OBⅠ	1.62	1.33	0.25	0.32	
	1161	C-3/Ⅰ/	石錐	CH	1.45	1.45	0.50	1.01	
	1162	C-4(86)/Ⅲ/	石錐	AN	1.95	1.20	0.45	0.83	
	1163	B-5(21)/Ⅱc/	石錐	OBⅢ	1.90	1.65	0.28	0.67	
	1164	C-4/Ⅱc/1689	石錐	OBⅠ	1.51	1.86	0.40	1.04	
	1165	B-4/Ⅱc/778	石錐	OBⅠ	1.70	1.40	1.02	1.57	
	1166	B-4/Ⅳ/	石錐	OBⅠ	1.87	1.46	0.60	1.60	
	1167	D-10/Ⅳ/	石錐	OBⅠ	2.03	1.68	0.52	1.36	
	1168	B-4/Ⅲ/	石錐	OBⅠ	2.15	1.48	0.55	1.22	
	1169	C-10(1)/Ⅱ/	石錐	OBⅠ	2.45	1.63	0.30	1.97	
	1170	B-5(45)/Ⅳ/	石錐	OBⅢ	2.35	0.80	0.55	1.00	
	1171	C-10(2)/Ⅱ/	石錐	OBⅠ	2.40	1.69	0.34	2.06	

第28表　縄文石器観察表（3）

挿図番号	掲載番号	グリッド(小グリッド)/層位/取上No	器種	石材	最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重量（g）	備考
103	1172	C-4(57)/Ⅲ/	石錐	OBⅠ	2.18	1.84	0.66	1.81	
	1173	C-4(30)//	石錐	OBⅠ	2.23	1.85	0.65	2.32	
	1174	B-4/Ⅱb/	石錐	AN	2.25	1.81	0.97	2.71	
	1175	B-4/Ⅱc/	石錐	CC	2.47	1.54	0.45	1.19	
	1176	E-12/Ⅱa/	石錐	OBⅠ	2.37	1.77	0.55	1.55	
	1177	B-8/Ⅱ/	石錐	OBⅠ	2.70	1.78	0.52	1.79	
104	1178	C-3(53)/Ⅳ/	石錐	CC	2.48	1.80	0.62	2.35	
	1179	C-10(2)/Ⅱ/	石錐	OBⅠ	2.75	1.88	0.22	2.21	
	1180	B-4/Ⅲ/	石錐	CC	2.00	1.39	0.42	0.61	
	1181	C-10/Ⅱ/	石錐	OBⅠ	2.99	1.80	0.49	2.46	
	1182	C-10(1)/Ⅱ/	石錐	OBⅠ	2.90	1.95	0.32	2.69	
	1183	C-4/Ⅱb/	石錐	OBⅠ	2.40	1.10	0.50	1.36	
	1184	B-4/Ⅲ/	石錐	OBⅠ	2.20	1.10	0.62	1.39	
	1185	B-4(28)/Ⅲ/	石錐	OBⅣ	2.35	1.30	0.75	1.87	
	1186	B-4(19)/Ⅲ/	石錐	OBⅣ	1.50	1.19	0.85	1.20	
	1187	B-4/Ⅱa/	石錐	OBⅠ	2.25	1.15	0.75	1.41	
	1188	B-11/Ⅲ/	石錐	OBⅠ	2.48	1.28	0.90	1.54	
	1189	C-10(2)/Ⅲ/	石錐	OBⅠ	2.10	1.35	0.50	1.04	
	1190	B-4/Ⅱa/	石錐	OBⅠ	2.60	1.70	1.10	4.10	
	1191	D-10(3)/Ⅱ/	石錐	OBⅠ	2.30	1.30	0.40	1.40	
	1192	C-4/Ⅱc/1360	石錐	OBⅠ	2.68	2.05	1.05	3.56	
	1193	B-4/Ⅱb/	石錐	CC	2.28	1.28	1.10	2.36	
	1194	B-4/Ⅰ/	石錐	CC	3.10	1.58	0.74	3.45	
	1195	D-11(1)/Ⅲ/	石錐	OBⅠ	2.70	2.50	0.80	3.90	
	1196	B-4(10)/Ⅱc/	石錐	OBⅠ	2.55	2.10	0.61	2.12	
105	1197	B-4(14)/Ⅱc/	石錐	CC	3.10	1.65	1.10	4.01	
	1198	B-4(29)/Ⅲ/	石錐	OBⅠ	2.70	2.05	0.90	3.35	
	1199	C-4(42)/Ⅲ/	石錐	OBⅠ	1.85	2.00	0.70	2.35	
	1200	B-4(48)/Ⅲ/	石錐	OBⅠ	2.60	2.00	0.70	3.32	
	1201	B-4(60)/Ⅱc/	石錐	OBⅠ	2.45	2.30	0.50	2.36	
	1202	C-3(20)/Ⅲ/	石錐	OBⅢ	3.15	2.30	1.00	5.30	
	1203	B-4(7)/Ⅲ/	石錐	OBⅠ	2.38	3.53	1.10	8.74	
	1204	B-4/Ⅱc/752	石錐	CC	3.45	2.86	0.89	5.81	
	1205	B-6/Ⅱb/	石錐	CC	3.14	2.51	0.96	6.73	
	1206	C-4/Ⅱb/	石錐	粘板岩	3.85	4.40	0.83	13.63	
106	1207	B-4/Ⅱb/	楔形石器	OBⅠ	1.45	1.30	0.65	1.11	
	1208	B-4(38)/Ⅲ/	楔形石器	OBⅠ	1.63	1.48	0.70	1.61	
	1209	D-10/Ⅱ/	楔形石器	OBⅠ	1.66	1.62	0.52	1.38	
	1210	C-3(49)/Ⅲ/	楔形石器	OBⅠ	1.91	1.70	0.70	1.92	
	1211	B-4/Ⅱb/	楔形石器	OBⅠ	1.77	2.17	0.52	2.14	
	1212	C-4(42)/Ⅲ/	楔形石器	OBⅠ	2.20	1.91	0.70	2.81	
	1213	B-4/Ⅱa/	楔形石器	OBⅠ	1.60	2.60	1.10	4.19	
	1214	B-4(28)/Ⅲ/	楔形石器	OBⅠ	2.30	1.55	1.02	2.70	
	1215	D-11(3)/Ⅱ/	楔形石器	OBⅠ	2.20	2.27	0.73	3.72	
	1216	D-11(1)/Ⅱ/	楔形石器	OBⅠ	2.10	2.25	1.00	5.14	
	1217	C-10/Ⅱ/7943	楔形石器	OBⅡ	2.25	2.30	0.90	5.16	
	1218	C-4(68)/Ⅲ/	楔形石器	OBⅣ	2.48	2.35	0.68	3.84	
	1219	C-4/Ⅱc/	楔形石器	OBⅠ	1.92	1.15	0.75	1.65	
	1220	D-9～F-13/Ⅲ/	楔形石器	OBⅠ	2.44	1.26	0.75	1.97	
	1221	C-9(1)/Ⅱ/	楔形石器	OBⅠ	2.70	2.00	0.90	4.10	
	1222	C-3(28)/Ⅲ/	楔形石器	CC	2.37	1.74	0.58	2.10	
	1223	D-10/Ⅱ/	楔形石器	OBⅠ	2.08	1.68	0.86	2.58	
	1224	C-4/Ⅱa/	楔形石器	CC	2.12	1.72	0.90	3.01	
107	1225	C-10(1)/Ⅱ/	楔形石器	OBⅠ	2.35	1.60	1.00	4.80	
	1226	C-3//	楔形石器	OBⅠ	2.48	1.96	0.89	4.59	
	1227	B-3/Ⅰ/	楔形石器	CC	1.90	1.50	1.20	3.20	
	1228	C-4/Ⅱc/	楔形石器	OBⅠ	1.60	1.80	1.40	3.30	
	1229	B-3/Ⅰ/	楔形石器	OBⅠ	2.17	1.95	1.20	4.15	

第29表　縄文石器観察表（4）

挿図番号	掲載番号	グリッド(小グリッド)/層位/取上No	器種	石材	最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重量（g）	備考
107	1230	D-10(4)/Ⅱ/	楔形石器	OBⅠ	2.80	2.01	0.82	5.00	
	1231	B-3(70)/Ⅳ/	楔形石器	OBⅠ	2.48	2.04	0.75	4.09	
	1232	C-4(13)/Ⅲ/	楔形石器	OBⅣ	1.90	2.28	0.40	1.57	
	1233	B-4/Ⅱb/	楔形石器	OBⅠ	2.08	2.08	1.03	3.47	
	1234	D-10(3)/Ⅱ/	楔形石器	OBⅠ	2.14	2.53	0.86	3.77	
	1235	C-3(64)/Ⅲ/	楔形石器	OBⅠ	2.50	3.20	1.00	6.51	
	1236	D-10/Ⅱ/	楔形石器	OBⅠ	2.58	2.48	0.92	5.43	
	1237	B-4(7)/Ⅲ/	楔形石器	OBⅠ	2.99	2.20	1.15	6.79	
108	1238	C-3(66)/Ⅲ/	尖頭器	OBⅣ	3.70	2.06	0.80	3.62	
	1239	B-4(40)/Ⅲ/	尖頭器	OBⅠ	4.28	2.65	1.35	11.79	
	1240	C-5/Ⅱa/	尖頭器	OBⅠ	3.15	2.38	1.03	7.76	
	1241	D-11(3)/Ⅲ/	尖頭器	OBⅠ	3.80	2.60	1.50	13.84	
	1242	B-4(14)/Ⅱc/	尖頭器	OBⅣ	2.75	2.22	0.83	4.66	
	1243	B-5/Ⅱb/	尖頭器	AN	4.95	3.40	1.12	14.15	
109	1244	C-10(4)/Ⅱ/	彫器	OBⅣ	3.49	1.50	0.89	2.95	
	1245	B-4/Ⅲ/	彫器	OBⅠ	2.20	1.50	0.62	2.06	
	1246	B-2//	彫器	CC	3.10	1.57	2.29	8.67	
	1247	D-10/Ⅲ/	異形石器	CC	1.91	1.50	0.57	1.27	
	1248	B-5/Ⅱc/	彫器	CC	2.83	2.02	1.42	6.11	
	1249	C-11(1)/Ⅱ/	彫器	OBⅠ	2.50	1.30	0.60	1.73	
110	1250	C-10(1)/Ⅱ/	削器	OBⅠ	2.00	2.50	0.65	2.63	
	1251	B-4(39)/Ⅲ/	削器	OBⅠ	1.88	2.47	0.68	3.49	
	1252	B-4/Ⅰ/	削器	CC	1.93	2.30	0.70	2.90	
	1253	C-4/Ⅱc/1534	掻器	OBⅠ	2.10	2.45	1.06	5.09	
	1254	B-4(10)/Ⅲ/	削器	OBⅠ	2.00	2.65	0.75	3.50	
	1255	C-5/Ⅱa/	掻器	OBⅡ	2.02	2.10	0.90	2.76	
	1256	B-4/Ⅱa/	掻器	OBⅠ	2.25	2.69	0.91	5.07	
	1257	C-5(81)/Ⅲ/	掻器	OBⅠ	2.52	2.50	0.99	5.76	
	1258	C-4(78)/Ⅱc/	掻器	OBⅠ	2.25	2.30	1.05	6.09	
	1259	B-4(22)/Ⅱc/	二次加工剥片	OBⅠ	2.48	2.40	0.65	3.10	
	1260	C-5/Ⅱa/	掻器	OBⅠ	2.70	2.41	1.33	8.03	
	1261	E-12/Ⅱa/	ノッチドスクレイパー	OBⅠ	3.05	2.60	0.70	4.79	
111	1262	C-4/Ⅱb/	掻器	OBⅠ	3.00	3.05	1.35	8.36	
	1263	C-3(58)/Ⅲ/	掻器	OBⅠ	3.19	3.15	1.38	9.35	
	1264	C-3(70)/Ⅳ/	掻器	OBⅠ	3.14	3.00	1.25	10.04	
	1265	B-4/Ⅱb/	掻器	OBⅣ	2.80	3.02	1.48	10.96	
	1266	B-4(70)/Ⅱc/	掻器	OBⅠ	2.10	2.65	0.93	4.61	
	1267	C-11(1)/Ⅱ/	掻器	OBⅠ	2.40	3.80	1.00	10.20	
	1268	C-10(1)/Ⅱ/	削器	OBⅢ	1.59	2.08	0.58	1.52	
	1269	B-2(48)/Ⅳ/	掻器	AN	2.40	5.00	1.20	10.50	
	1270	B-5(34)/Ⅳ/	削器	OBⅠ	1.64	2.19	0.49	1.61	
	1271	B-4/Ⅱb/	掻器	OBⅠ	1.48	2.40	0.58	1.77	
	1272	C-10/Ⅱ/	掻器	OBⅠ	3.03	4.72	1.32	13.58	
112	1273	D-9/Ⅱ/	掻器	OBⅠ	2.64	3.32	1.10	7.69	
	1274	B-4(55)/Ⅲ/	掻器	OBⅠ	2.10	2.60	0.75	3.16	
	1275	C-4/Ⅱc/1330	掻器	OBⅠ	2.81	2.77	1.33	6.54	
	1276	B-3(26)/Ⅳ/	二次加工剥片	OBⅣ	3.24	2.10	0.87	5.65	
	1277	B-11/Ⅲ/	掻器	OBⅠ	2.19	2.30	1.22	4.13	
	1278	B-4/Ⅱa/	掻器	OBⅠ	3.25	1.75	1.25	6.91	
	1279	C-10/Ⅱ/	ノッチドスクレイパー	OBⅠ	2.90	2.60	0.60	3.50	
	1280	C-4/Ⅰ/	ノッチドスクレイパー	CC	3.70	2.40	1.40	9.90	
	1281	C-4(46)/Ⅲ/	掻器	OBⅠ	4.30	2.45	1.70	17.22	
	1282	C-10 /Ⅱ/7377	掻器	OBⅠ	3.80	2.75	1.40	10.33	
113	1283	C-4(44)/Ⅲ/	石匙	CC	3.00	5.28	0.93	8.25	
	1284	D-10/Ⅱ/9228	石匙	CC	5.00	1.40	0.70	3.99	

第30表　縄文石器観察表（5）

挿図番号	掲載番号	グリッド(小グリッド)/層位/取上No	器種	石材	最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重量（g）	備考
113	1285	C-4(72)/Ⅲ/	石匙	OBⅠ	2.79	2.23	0.75	4.27	
	1286	C-10(1)//	二次加工剥片	OBⅣ	1.98	1.65	0.45	0.97	
	1287	B-4/Ⅱc/	二次加工剥片	OBⅣ	1.49	2.45	0.60	1.69	
	1288	B-4(27)/Ⅱc/	二次加工剥片	OBⅣ	1.92	1.73	0.60	1.92	
	1289	D-11(3)/Ⅱ/	二次加工剥片	OBⅣ	2.99	1.50	0.73	2.01	
	1290	C-10(1)/Ⅱ/	二次加工剥片	OBⅠ	2.84	2.12	0.82	3.61	
	1291	D-10(4)/Ⅱc/	二次加工剥片	OBⅠ	2.14	2.43	0.73	4.26	
	1292	C-10(1)/Ⅲ/	二次加工剥片	OBⅠ	1.73	2.27	0.55	2.29	
	1293	C-11(2)/Ⅲ/	二次加工剥片	OBⅠ	1.35	2.89	0.76	2.29	
	1294	B-5/Ⅱc/	二次加工剥片	OBⅠ	1.20	1.80	0.40	0.54	
	1295	C-4(45)/Ⅲ/	二次加工剥片	OBⅠ	1.20	2.20	0.40	0.89	
114	1296	B-4(46)/Ⅲ/	二次加工剥片	OBⅣ	2.35	1.68	0.90	3.23	
	1297	C-4(31)/Ⅲ/	二次加工剥片	OBⅣ	1.80	2.23	0.64	2.27	
	1298	C-4(53)/Ⅲ/	二次加工剥片	OBⅠ	2.75	1.35	0.60	1.77	
	1299	B-4(3)/Ⅲ/	二次加工剥片	OBⅠ	2.10	1.60	0.70	2.18	
	1300	B-4(51)/Ⅱc/	使用痕剥片	OBⅣ	2.10	1.50	0.42	1.05	
	1301	C-11(1)/Ⅱ/	二次加工剥片	OBⅠ	1.86	1.95	0.54	1.54	
	1302	C-4/Ⅱa/	使用痕剥片	OBⅠ	1.20	1.88	0.35	0.71	
	1303	C-4(35)//	二次加工剥片	OBⅠ	2.32	1.77	0.58	2.68	
	1304	(27)/Ⅲ/	二次加工剥片	OBⅠ	2.50	1.83	0.81	3.25	
	1305	C-4(64)/Ⅲ/	使用痕剥片	OBⅣ	2.30	2.05	0.88	2.83	
	1306	C-10(1)/Ⅱ/	使用痕剥片	OBⅡ	2.18	2.59	0.75	3.43	
	1307	D-11(3)/Ⅲ/	使用痕剥片	OBⅠ	2.32	2.05	0.50	2.00	
	1308	B-7/Ⅱa/	使用痕剥片	OBⅠ	2.39	1.75	0.62	1.82	
	1309	C-4(3)/Ⅲ/	使用痕剥片	OBⅠ	2.05	2.90	1.00	4.93	
	1310	C-4(45)/Ⅲ/	二次加工剥片	OBⅣ	2.05	2.20	0.80	4.10	
	1311	C-4/Ⅱc/1323	二次加工剥片	OBⅠ	2.20	2.65	0.82	5.01	
	1312	D-10(3)/Ⅱ/	使用痕剥片	OBⅡ	2.71	2.86	0.87	6.02	
115	1313	C-3(40)/Ⅳ/	使用痕剥片	OBⅠ	2.22	2.60	0.89	3.84	
	1314	B-5(1)//	使用痕剥片	OBⅠ	2.63	2.33	0.67	4.14	
	1315	B-4(60)/Ⅱc/	二次加工剥片	OBⅠ	3.10	2.20	0.70	5.30	
	1316	B-4/Ⅱb/	二次加工剥片	OBⅠ	2.40	2.32	1.32	6.99	
	1317	C-4(57)/Ⅲ/	二次加工剥片	OBⅠ	2.12	2.85	1.00	5.78	
	1318	B-4/Ⅱc/807	二次加工剥片	OBⅠ	1.82	3.05	0.40	2.07	
	1319	B-4(66)/Ⅲ/	二次加工剥片	OBⅡ	2.50	3.48	0.85	7.82	
	1320	C-4/Ⅱb/	使用痕剥片	OBⅠ	2.30	3.00	0.75	5.01	
	1321	B-4(10)/Ⅱc/	使用痕剥片	OBⅠ	3.20	2.80	0.90	5.19	
	1322	C-4(41)/Ⅱc/	使用痕剥片	OBⅠ	2.03	3.90	0.86	5.92	
	1323	C-4/Ⅱc/1486	使用痕剥片	OBⅠ	3.19	3.22	1.03	10.30	
	1324	C-4(14)/Ⅱ/	二次加工剥片	OBⅠ	2.70	3.10	1.00	8.13	
116	1325	D-11/Ⅱ/	二次加工剥片	OBⅠ	2.80	2.68	1.00	6.66	
	1326	C-10(1)/Ⅱ/	使用痕剥片	CC	3.44	2.20	0.87	3.73	
	1327	B-4/Ⅱb/	使用痕剥片	CC	3.39	2.40	1.20	5.97	
	1328	C-10/Ⅱ/	使用痕剥片	CC	2.82	3.49	0.91	9.04	
	1329	C-3/Ⅰ/	使用痕剥片	CC	2.01	1.80	1.30	4.29	
	1330	C-4(55)/Ⅲ/	二次加工剥片	OBⅠ	2.10	1.50	0.50	1.73	
	1331	B-4(57)/Ⅲ/	使用痕剥片	OBⅠ	2.45	2.50	0.70	3.14	
	1332	B-4/Ⅱa/	使用痕剥片	CC	2.22	1.92	0.69	3.02	
	1333	C-3(67)/Ⅲ/	二次加工剥片	CC	2.89	3.05	0.70	4.82	

第31表　縄文石器観察表（6）

挿図番号	掲載番号	グリッド(小グリッド)/層位/取上No	器種	石材	最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重量（g）	備考
116	1334	D-11/Ⅱc/	使用痕剥片	OBⅠ	3.80	3.62	0.97	10.98	
	1335	C-4(53)/Ⅲ/	使用痕剥片	CC	7.55	4.15	1.45	36.87	
117	1336	B-4(49)/Ⅲ/	フレーク	OBⅠ	2.60	1.80	0.25	1.67	
	1337	C-4(52)/Ⅲ/	フレーク	OBⅠ	2.90	2.20	0.60	3.08	
	1338	B-4 (48)/Ⅲ/	使用痕剥片	OBⅠ	1.60	3.00	0.80	3.97	
	1339	C-4(36)/Ⅲ/	フレーク	CC	2.20	3.05	1.00	4.90	
	1340	C-4(34)/—/	フレーク	CC	2.50	3.50	0.75	5.55	
	1341	C-4(58)/Ⅲ/	フレーク	OBⅠ	2.30	1.50	1.05	3.48	
	1342	B-4/Ⅱc/440	フレーク	OBⅠ	2.40	3.05	1.10	7.04	
	1343	D-10(3)/Ⅱ/	フレーク	OBⅠ	2.60	2.80	0.45	3.05	
	1344	C-10/Ⅱ/	使用痕剥片	OBⅣ	3.35	1.85	0.75	3.60	
	1345	C-4(66)/Ⅱc/	二次加工剥片	OBⅠ	2.90	2.50	1.15	8.13	
	1346	B-4(59)/Ⅲ/	フレーク	OBⅠ	2.70	2.95	0.50	3.23	
	1347	C-6/Ⅱb/	フレーク	OBⅣ？	1.58	1.45	0.72	1.78	
	1348	C-4(73)//	玉未製品	OBⅣ	1.90	1.80	1.50	4.93	
118	1349	B-4/Ⅱb/	使用痕剥片	OBⅠ	1.90	1.35	0.50	1.15	
	1350	B-4/Ⅱb/	使用痕剥片	OBⅠ	1.80	1.70	0.55	1.43	
	1351	B-4(9)/Ⅲ/	フレーク	OBⅠ	2.80	2.70	0.50	3.48	
	1352	D-10 (4)/Ⅲ/	使用痕剥片	OBⅠ	2.00	2.95	0.60	3.62	
	1353	C-4(86)/Ⅲ/	フレーク	OBⅠ	2.60	3.15	0.70	5.08	
	1354	B-4(28)/Ⅲ/	使用痕剥片	OBⅣ	3.00	2.40	0.90	14.37	
	1355	D-10(4)/Ⅱ/	フレーク	OBⅠ	2.55	2.75	0.60	4.40	
	1356	D-10/Ⅳ/	二次加工剥片	OBⅠ	3.80	2.90	1.25	10.82	
119	1357	C-10/Ⅱ/8583	石核	OBⅠ	2.75	3.40	1.95	13.84	
	1358	B-5/Ⅱc/897	石核	OBⅠ	2.70	2.75	2.30	15.04	
	1359	C-4(66)/Ⅱc/	石核	OBⅠ	2.75	3.10	2.20	17.69	
	1360	C-7/Ⅱ/	石核	CC	2.80	4.00	2.88	26.47	石英
	1361	C-3/Ⅰ/	石核	CC	1.48	2.66	1.49	5.72	
	1362	B-4/Ⅱb/	石核	OBⅢ	1.75	2.00	1.90	6.12	
	1363	C-4(88)/Ⅲ/	石核	OBⅠ	2.70	3.60	1.70	14.74	
	1364	C-4(65)/Ⅲ/	石核	OBⅠ	1.40	4.00	2.05	9.87	
	1365	D-10/Ⅳ/	石核	OBⅠ	2.51	2.74	2.44	15.10	
	1366	C-4(84)/Ⅲ/	石核	OBⅠ	1.79	3.28	2.00	8.09	
	1367	C-4/Ⅲ/	石核	OBⅠ	2.50	4.12	1.40	14.50	
	1368	B-4/Ⅱc/475	石核	OBⅠ	2.75	2.62	2.20	14.66	
	1369	B-5(41)/Ⅲ/	石核	OBⅡ	1.90	2.90	1.80	9.27	
	1370	B-4(25)/Ⅱ/	石核	CC	3.28	4.12	3.65	35.47	
	1371	C-4(3)/Ⅲ/	石核	OBⅠ	1.70	2.40	2.50	11.71	
	1372	C-5(61)/Ⅱc/	石核	OBⅡ	2.15	2.95	1.95	10.92	
	1373	B-4/Ⅱc/773	石核	OBⅠ	3.35	3.95	1.10	12.35	
	1374	C-3(39)/Ⅲ/	石核	OBⅠ	2.20	2.95	1.30	9.54	
	1375	C-4/Ⅲ/1876	石核	CC	4.67	6.52	3.32	70.65	
	1376	C-11/Ⅱ/7106	石核	CC	4.81	4.52	2.62	60.20	
120	1377	B-4(57)/Ⅲ/	石核	OBⅠ	1.71	2.38	2.38	10.63	
	1378	B-5(2)//	石核	OBⅠ	1.62	3.35	2.47	11.41	
	1379	C-4(8)/Ⅱc/	石核	OBⅠ	2.04	2.55	1.54	9.07	
	1380	B-4(58)/Ⅲ/	石核	OBⅠ	2.05	2.50	1.60	8.63	
	1381	B-4(18)/Ⅲ/	石核	OBⅠ	2.18	2.60	1.15	5.86	
	1382	B-4/Ⅱb/	石核	CC	3.68	4.06	1.36	20.73	
	1383	B-4(9)/Ⅲ/	石核	OBⅠ	2.12	3.40	1.40	7.35	
	1384	B-4(50)/Ⅲ/	石核	OBⅠ	2.50	3.60	2.65	20.53	
	1385	B-4(47)/Ⅲ/	石核	OBⅠ	2.80	3.40	2.40	14.26	
	1386	C-4(17)/Ⅱc/	石核	OBⅠ	2.44	3.33	2.50	23.62	
	1387	B-4/Ⅲ/3907	石核	OBⅠ	3.00	2.55	1.35	6.86	
	1388	D-11(3)/Ⅱ/	石核	OBⅠ	1.80	2.65	1.10	4.97	
	1389	C-10(2)/Ⅱ/	石核	OBⅠ	2.25	2.85	1.50	10.15	

第32表　縄文石器観察表（7）

挿図番号	掲載番号	グリッド(小グリッド)/層位/取上No	器種	石材	最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重量（g）	備考
120	1390	B-5/Ⅲ/2587	石核	OBⅠ	4.65	7.00	2.20	60.53	
	1391	C-10/Ⅱ/10229	石核	OBⅠ	3.80	4.10	2.60	39.71	
	1392	B-4(15)/Ⅲ/	石核	OBⅠ	2.95	3.10	1.40	10.32	
	1393	D-10(2)/Ⅱ/	石核	OBⅡ	2.42	2.35	0.99	5.59	
	1394	C-10(2)/Ⅱ/	石核	OBⅠ	2.38	2.97	1.78	13.18	
	1395	D-11(3)/Ⅲ/	石核	CC	2.56	4.20	2.53	25.50	
	1396	D-10/Ⅲ/	石核	OBⅡ	2.76	2.27	1.03	5.72	
	1397	D-10(3)/Ⅱ/	石核	OBⅡ	2.14	2.54	1.42	5.80	
	1398	C-11/Ⅱ/8509	石核	OBⅠ	3.80	3.45	1.40	15.35	
	1399	D-10(4)/Ⅱ/	調整剥片	OBⅠ	3.20	3.80	0.85	9.43	
	1400	C-4(56)/Ⅲ/	調整剥片	OBⅠ	2.87	4.47	0.80	14.37	
	1401	D-9/Ⅱ/6436	石核	OBⅠ	2.91	3.97	1.59	18.60	
121	1402	D-10(4)//	石核	OBⅠ	1.98	1.97	1.67	6.57	
	1403	B-4 (30)/Ⅲ/	石核	OBⅠ	2.30	2.40	2.05	9.68	
	1404	C-4/Ⅱa/	石核	CC	2.50	3.88	3.20	23.62	
	1405	C-4(45)/Ⅲ/	石核	OBⅠ	1.95	1.70	1.40	4.12	
	1406	C-7/Ⅱ/	石核	CC	3.22	4.22	2.88	41.18	
	1407	C-4(69)/Ⅱc/	石核	OBⅠ	2.99	2.64	2.12	20.69	
	1408	C-3/Ⅰ/	石核	CC	1.90	3.67	1.46	11.53	
	1409	B-5(35)/Ⅳ/	石核	OBⅠ	3.00	2.23	2.58	18.47	
	1410	C-4(14)/Ⅲ/	石核	OBⅠ	1.95	3.42	2.25	13.56	
	1411	B-4(47)/Ⅲ/	石核	OBⅠ	2.95	3.08	2.95	23.14	
	1412	D-10(4)/Ⅱc/	石核	OBⅠ	2.57	2.10	1.74	10.99	
	1413	C-4(8)//	石核	OBⅠ	2.20	3.45	2.40	15.70	
	1414	B-5/Ⅱc/1096	石核	OBⅠ	1.90	2.09	1.93	7.05	
	1415	C-10(2)/Ⅱ/	石核	OBⅠ	2.96	3.42	1.55	14.90	
	1416	B-4/Ⅱa/	石核	CC	1.54	2.88	2.12	10.22	
	1417	D-11/Ⅲ/8260	石核	CC	2.78	4.81	4.88	56.01	
	1418	B-4/Ⅱc/803	石核	CC	2.22	3.30	3.03	22.71	
	1419	D-11(3)/Ⅱ/	石核	OBⅠ	2.10	3.45	2.10	14.23	
	1420	C-10(2)/Ⅱ/	石核	OBⅠ	2.20	3.60	2.12	16.09	
	1421	C-3(69)/Ⅲ/	石核	OBⅠ	2.00	3.20	2.35	14.63	
122	1422	B-2(58)/Ⅳ/1574	石核	CC	6.80	9.05	4.40	233.32	
	1423	C-3(37)/Ⅲ/	石核	CC	4.10	6.80	3.86	94.48	
	1424	C-4(47)/Ⅱc/	石核	CC	3.69	5.48	3.94	84.55	
	1425	B-4(10)/Ⅱc/	石核	CC	6.77	6.37	9.37	440.00	
	1426	C-10/Ⅱ/9022	石核	CC	3.28	4.08	5.68	66.77	
	1427	C-4(33)/Ⅲ/	石核	OBⅠ	2.20	2.80	2.32	14.65	
	1428	B-4(39)/Ⅲ/	石核	OBⅠ	2.05	2.70	2.20	9.05	
	1429	C-4/Ⅰ/	石核	OBⅠ	1.90	1.75	2.00	6.65	
	1430	B-4/Ⅱc/	石核	OBⅠ	2.57	3.46	3.10	26.90	
	1431	B-4/Ⅲ/3591	石核	OBⅠ	2.45	3.75	2.15	21.86	
	1432	C-10/Ⅱ/	石核	CC	2.24	1.65	2.05	9.68	
123	1433	C-9/Ⅱ/	石核	OBⅠ	4.24	4.23	1.90	28.87	
	1434	C-4(49)/Ⅱc/	石核	OBⅠ	1.80	2.30	2.20	10.05	
	1435	C-4(59)/Ⅱc/	石核	OBⅠ	2.62	2.87	1.70	9.85	
	1436	C-4(35)/Ⅱc/	石核	CC	4.09	3.73	1.62	23.52	
	1437	C-4(53)/Ⅲ/	石核	OBⅠ	3.00	3.22	1.30	10.30	
	1438	C-3/Ⅰ/	石核	CC	6.32	3.30	2.02	35.26	
	1439	B-4(32)/Ⅱc/	石核	OBⅡ	1.83	2.82	3.19	15.11	
	1440	C-4(37)/Ⅱc/	石核	OBⅠ	2.13	2.80	2.05	13.81	
	1441	C-4(68)/Ⅱc/	石核	OBⅠ	1.92	2.80	2.23	11.24	
	1442	C-4/Ⅱb/	石核	CC	2.38	3.08	4.50	26.75	
	1443	C-3(61)/Ⅲ/	石核	OBⅠ	2.95	2.40	2.05	14.72	
	1444	C-4(30)/Ⅱc/	石核	OBⅠ	1.58	2.57	1.96	7.25	
	1445	B-4(3)/Ⅱc/	石核	OBⅠ	3.70	3.05	1.90	19.96	
	1446	C-10/Ⅲ/	石核	OBⅠ	2.51	2.95	2.29	16.46	
124	1447	C-4(63)/Ⅲ/	石核	OBⅠ	2.60	3.00	2.55	19.49	

第33表　縄文石器観察表（8）

挿図番号	掲載番号	グリッド(小グリッド)/層位/取上No	器種	石材	最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重量（g）	備考
124	1448	B-4/Ⅱc/961	石核	OBⅠ	2.75	3.20	1.40	10.68	
	1449	D-10(4)/Ⅲ/	石核	CC	3.41	3.58	3.73	39.94	
	1450	C-4(14)/Ⅲ/	石核	OBⅠ	2.45	3.60	2.54	25.30	
	1451	C-4/Ⅲ/	石核	CC	2.42	3.43	1.52	11.95	
	1452	B-5(24)/Ⅳ/	石核	OBⅠ	3.30	3.05	2.00	14.79	
	1453	C-4(56)/Ⅲ/	石核	OBⅠ	3.00	3.62	3.11	30.99	
	1454	C-4(72)/Ⅲ/	石核	CC	5.89	5.23	2.67	92.13	
	1455	B-4/Ⅲ/2431	石核	OBⅡ	7.70	6.57	4.83	247.28	
125	1456	C-4(74)/Ⅲ/	石核	OBⅠ	2.15	3.55	2.00	10.11	
	1457	B-4(33)/Ⅱc/	石核	OBⅠ	1.10	2.28	2.12	6.06	
	1458	C-4/Ⅱb/	石核	CC	2.42	3.42	2.14	17.17	
	1459	C-5/Ⅰ/	石核	CC	1.59	1.35	2.61	6.87	
	1460	B-4(13)/Ⅲ/	石核	OBⅠ	1.75	2.42	2.29	10.24	
	1461	C-3(30)/Ⅲ/	石核	OBⅠ	2.30	3.90	2.60	15.00	
	1462	C-5/Ⅳ/687	石核	CC	1.60	5.29	4.10	36.49	
	1463	C-4/Ⅱa/	石核	CC	2.58	1.45	2.48	9.77	
	1464	B-4/Ⅱc/282	石核	OBⅠ	1.37	2.22	2.12	5.66	
	1465	B-4(57)/Ⅲ/	石核	OBⅠ	1.85	3.41	1.37	6.77	
	1466	C-4(35)//	石核	OBⅠ	1.19	2.70	1.40	4.19	
	1467	B-4(58)/Ⅲ/	石核	OBⅠ	1.70	3.00	1.65	6.03	
	1468	C-5(62)/Ⅳ/	石核	OBⅠ	1.73	3.37	1.63	6.65	
	1469	C-4(56)/Ⅲ/	石核	OBⅠ	1.71	3.34	3.52	15.19	
	1470	D-11/Ⅱ/8128	石核	CC	4.00	6.90	2.40	65.85	
	1471	C-4(51)/Ⅲ/	石核	OBⅠ	3.90	2.70	0.90	8.95	
	1472	C-4/Ⅰ/	石核	CC	3.70	6.17	3.10	57.21	
126	1473	D-9(4)/Ⅱ/	石核	CC	3.45	3.50	2.05	21.02	
	1474	D-10(3)/Ⅲ/	石核	CC	1.54	2.89	2.52	14.52	
	1475	B-4/Ⅱc/515	石核	CC	2.04	4.45	6.60	62.10	
	1476	C-4(5)/Ⅱc/	石核	OBⅠ	1.23	3.07	2.77	9.58	
	1477	D-9/Ⅱ/	石核	OBⅠ	3.06	4.86	0.87	12.20	
	1478	D-10/Ⅱ/	石核	OBⅠ	3.24	3.37	2.05	15.75	
	1479	D-10(2)/Ⅱ/	石核	CC	2.95	5.28	2.42	32.41	
	1480	D-10(4)/Ⅱ/	石核	CC	2.34	8.25	3.87	61.13	
127	1481	C-11/Ⅱ/10581	磨製石斧	HF	10.40	6.15	2.90	256.00	
	1482	D-10/Ⅱ/8669	磨製石斧	SA	9.70	7.20	2.62	268.00	
	1483	C-10/Ⅱ/	磨製石斧	SA	12.39	5.06	3.13	298.20	
	1484	D-11/Ⅲ/8241	磨製石斧	SA	11.20	5.10	3.35	296.00	
	1485	D-10/Ⅱ/7590	磨製石斧	SA	11.50	5.75	3.75	396.00	
	1486	D-11/Ⅲ/9835	磨製石斧	SA	13.00	5.85	3.30	342.00	
	1487	C-8/Ⅱb/	磨製石斧	SH	10.47	6.82	3.62	333.99	
	1488	C-11/Ⅲ/	磨製石斧	SA	9.12	6.55	3.10	308.45	
128	1489	D-10/Ⅱ/6082	磨製石斧	SA	6.77	5.88	3.70	214.38	
	1490	C-4/Ⅲ/3738	磨製石斧	SA	8.62	5.33	3.68	236.43	
	1491	D-10/Ⅱ/6697	磨製石斧	SA	12.55	5.75	2.20	202.00	
	1492	D-11/Ⅲ/10588	磨製石斧	HF	9.60	5.66	2.95	264.42	
	1493	C-10/Ⅱ/6278	磨製石斧	HF	14.40	6.11	3.38	404.77	
	1494	C-4/Ⅲ/2640	磨製石斧	SA	12.85	6.75	3.82	438.50	
129	1495	D-10/Ⅲ/10599	磨製石斧	SE	16.70	6.85	4.50	678.00	
	1496	B-4/Ⅲ/3418	磨製石斧	HF	7.86	5.93	3.12	198.13	
	1497	D-11(3)/Ⅲ/	磨製石斧	SA	12.01	6.38	2.22	170.16	
	1498	C-10/Ⅱ/6964	磨製石斧	SA	14.30	6.58	3.82	482.00	
130	1499	D-10/Ⅱ/	磨製石斧	SA	4.75	2.52	0.72	14.80	
	1500	C-10/Ⅱ/10506	磨製石斧	SE	7.40	4.10	1.40	58.11	
	1501	C-4(84)/Ⅲ/	磨製石斧	HF	9.74	4.35	2.30	127.64	
	1502	B-4/Ⅳ/	磨製石斧	SH	9.59	5.00	2.00	139.11	
	1503	B-5/Ⅱa/	磨製石斧	HF	7.30	3.55	1.30	50.35	
	1504	C-10(1)/Ⅱ/	磨製石斧	HF	7.60	3.93	1.54	71.92	
	1505	C-11/Ⅲ/10490	磨製石斧	HF	8.65	4.10	1.00	54.02	

第34表　縄文石器観察表（9）

挿図番号	掲載番号	グリッド(小グリッド)/層位/取上No	器種	石材	最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重量（g）	備考
131	1506	D-11/Ⅱ/8124	磨製石斧	HF	2.90	3.64	1.32	16.94	
	1507	C-4/Ⅱc/1568	磨製石斧	HF	4.50	3.95	1.00	26.68	
	1508	D-11/Ⅲ/8711	磨製石斧	SA	3.30	4.70	1.00	20.23	
	1509	C-4(34)/Ⅱc/	磨製石斧	HF	3.90	3.05	1.18	18.88	
	1510	B-2(40)/Ⅲ/1751	磨製石斧	SA	6.08	4.72	2.44	105.09	
	1511	C-9/Ⅲ/	磨製石斧	SE	6.30	6.30	1.95	77.70	
	1512	D-10/Ⅲ/9200	磨製石斧	SH	9.00	5.35	2.25	174.00	
	1513	B-7/Ⅱ/	磨製石斧	HF	8.71	4.87	0.92	55.88	
	1514	D-11/Ⅲ/10177	磨製石斧	SA	7.75	5.15	1.60	76.35	
	1515	D-11/Ⅲ/10601	磨製石斧	SH	6.20	5.10	2.15	97.37	
132	1516	B-5(22)/Ⅲ/	磨製石斧	SE	4.35	3.70	1.54	35.46	
	1517	C-10/Ⅱ/5469	磨製石斧	SH	5.80	2.38	1.23	23.58	
	1518	C-10/Ⅱ/9376	磨製石斧	SE	5.50	3.72	2.02	46.18	
	1519	C-4/Ⅱb/	磨製石斧	SH	7.35	2.16	1.37	24.66	
	1520	B-4(3)/Ⅲ/	磨製石斧	SH	5.40	3.92	1.66	41.53	
	1521	C-10/Ⅱ/10539	磨製石斧	SH	6.70	4.20	1.25	41.40	
	1522	C-4/Ⅱc/2049	磨製石斧	HF	12.00	4.45	2.20	182.06	
	1523	C-11/Ⅱ/	磨製石斧	HF	8.70	2.62	1.43	59.78	
	1524	C-4/Ⅲ/2522	磨製石斧	SE	8.20	2.80	0.80	46.42	
	1525	C-11/Ⅱ/8512	磨製石斧	SA	6.00	2.50	1.80	34.53	
133	1526	D-10/Ⅱ/7078	磨製石斧	SE	11.37	4.76	2.34	168.84	
	1527	D-10/Ⅱ/6035	磨製石斧	SE	8.59	5.87	1.62	87.85	
	1528	C-4/Ⅲ/2508	磨製石斧	SH	15.80	5.50	1.75	206.00	
	1529	C-10/Ⅱ/6831	磨製石斧	SH	10.00	5.02	1.83	137.25	
	1530	D～F/Ⅱ/	磨製石斧	HF	11.62	4.68	2.32	171.20	
134	1531	D-11/Ⅲ/10174	磨製石斧	SA	10.91	4.43	2.10	114.97	
	1532	B-5/Ⅲ/1992	磨製石斧	HF	8.00	4.35	1.25	61.98	
	1533	C-4/Ⅱc/2221	磨製石斧	HF	8.10	3.70	1.45	63.37	
	1534	C-11/Ⅲ/10251	磨製石斧	SE	11.10	3.75	1.50	74.58	
	1535	D-10/Ⅱ/6200	磨製石斧	SA	8.80	4.91	3.71	221.25	
	1536	C-4(79)/Ⅲ/	磨製石斧	HF	8.70	3.10	1.85	74.73	
135	1537	C-4(42)/Ⅲ/	磨石敲石	AN	4.50	4.50	4.20	113.20	
	1538	D-10/Ⅱ/5918	磨石敲石	AN？	4.70	4.60	4.20	117.50	
	1539	C-10/Ⅱ/5641	磨石敲石	GR	5.20	5.30	4.10	137.70	
	1540	D-11/Ⅱ/	磨石敲石	AN	5.80	5.00	4.15	169.80	
	1541	C-4(44)/Ⅲ/	磨石敲石	AN	5.50	4.80	3.70	135.80	
	1542	C-4/Ⅲ/4691	磨石敲石	AN	5.30	4.90	4.90	169.90	
	1543	B-2(57)/Ⅳ/	磨石敲石	AN	7.50	6.10	4.80	307.60	
	1544	C-11/Ⅲ/9483	磨石敲石	AN	5.60	5.20	5.20	225.80	
	1545	C-4/Ⅱc/2027	磨石敲石	GR	6.70	6.00	55.30	282.10	
	1546	B-4(10)/Ⅱc/	磨石敲石	GR	6.45	6.25	5.25	251.00	
	1547	C-3/Ⅰ/	磨石敲石	AN	6.65	6.35	5.40	307.00	
136	1548	B-7/Ⅱa/	磨石敲石	AN	7.70	7.60	5.30	361.10	
	1549	B-4(24)/Ⅱc/	磨石敲石	AN？	9.00	8.80	6.00	655.20	
	1550	B-4(26)/Ⅲ/	磨石敲石	SHⅡ	7.95	2.20	2.40	48.50	
	1551	C-9/Ⅱ/	磨石敲石	SA	11.10	3.90	2.80	197.00	
	1552	B-4/Ⅱc/1254	ハンマー	SA	7.30	3.49	4.11	164.87	
	1553	C-7/Ⅲ/	磨石敲石	AN	11.20	5.00	3.00	193.40	
	1554	D-10/Ⅱ/4782	磨石敲石	SH	12.70	5.20	2.50	272.00	
	1555	D-10/Ⅲ/	磨石敲石	SA	9.20	6.70	2.80	238.50	
	1556	D-10//6030	磨石敲石	SH	9.70	5.20	2.70	196.20	
	1557	B-2(58)/Ⅲ/	磨石敲石	AN	7.20	4.60	3.50	163.10	
	1558	C-10(4)/Ⅱ/	磨石敲石	AN	10.80	4.50	3.70	284.50	
137	1559	D-10(1)/Ⅱ/	磨石敲石	SA	8.70	7.60	3.80	337.70	
	1560	C-4/Ⅲ/2531	磨石敲石	GR	6.30	9.60	4.10	313.30	
	1561	C-4/Ⅱc/2053	磨石敲石	AN	8.60	5.70	3.90	302.40	
	1562	D-10/Ⅱ/	磨石敲石	AN	7.70	7.20	4.50	525.50	

第35表　縄文石器観察表（10）

挿図番号	掲載番号	グリッド(小グリッド)/層位/取上No	器種	石材	最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重量（g）	備考
137	1563	C-10/Ⅱc/5520	磨石敲石	GR	9.45	7.10	6.00	527.60	
	1564	C-4/Ⅲ/1847	磨石敲石	AN	11.40	10.20	4.50	900.70	
	1565	C-3/Ⅰ/	磨石敲石	GR	10.40	8.95	4.35	610.40	
	1566	C-4/Ⅲ/4868	磨石敲石	AN	10.55	4.30	4.30	644.80	
138	1567	C-4/Ⅲ/2119	磨石敲石	SA	5.60	6.10	4.80	155.30	
	1568	C-4(33)/Ⅲ/	磨石敲石	AN？	6.70	6.90	3.90	307.20	
	1569	D-10(4)/Ⅲ/	磨石敲石	AN	6.80	8.30	4.30	285.80	
	1570	C-10/Ⅱ/	台石石皿	AN？	9.90	11.20	3.40	487.10	
	1571	C-10/Ⅱ/7288	台石石皿	AN	9.25	14.00	3.70	490.60	
	1572	D-9/Ⅱ/	台石石皿	TU？	13.20	14.40	2.30	510.60	
	1573	C10/Ⅱ/7264	台石石皿	SA	11.70	8.70	3.30	424.10	
	1574	C-10/Ⅱ/6383	台石石皿	AN	10.90	13.70	3.70	679.40	
	1575	C-11/Ⅲ/10439	台石石皿	GR	19.80	11.25	4.30	1260.30	
139	1576	B-4/Ⅲ/2354	有溝砥石	SA	5.25	6.00	4.55	110.33	
	1577	D-10/Ⅲ/10197	砥石	SA	4.50	6.00	5.00	279.40	
	1578	C-3(66)/Ⅳ/	砥石	SA	6.10	5.10	3.05	141.10	
	1579	C-4/Ⅲ/4148	台石石皿	SH	20.70	13.90	1.00	360.80	
	1580	B-4/Ⅲ/5118	台石石皿	AN	19.10	30.60	6.60	6300.00	
	1581	D-11/Ⅱ/6583	台石石皿	SA	25.20	24.30	12.60	8200.00	
140	1582	B-4(25)/Ⅲ/	二次加工剥片	AN	5.10	4.20	0.70	15.90	
	1583	D-11(3)/Ⅲ/	使用痕剥片	AN	5.50	5.10	1.60	26.40	
	1584	B-4/Ⅲ/4628	フレーク	HF	5.65	6.40	1.10	38.40	
	1585	C-4/Ⅳ/	二次加工剥片	HF	4.70	5.50	1.60	38.80	
	1586	B-7/Ⅱ/	二次加工剥片	HF	7.75	5.20	1.80	46.00	
	1587	D-10/Ⅱ/	使用痕剥片	HF	7.10	4.60	1.60	59.00	
	1588	D-10/Ⅲ/	フレーク	TU	8.80	5.20	2.50	104.00	
	1589	C-3(59)/Ⅲ/	使用痕剥片	AN	8.70	6.15	1.25	45.30	
	1590	C-4/Ⅲ/2343	フレーク	TU	7.60	6.10	2.30	116.30	
	1591	C-4/Ⅱb/	二次加工剥片	AN	6.20	9.60	1.65	103.80	
	1592	C-3(67)/Ⅲ/	二次加工剥片	AN	8.20	6.60	2.30	117.80	
	1593	D-11/Ⅲ/9505	フレーク	TU	14.00	11.70	2.60	312.90	
141	1594	B-4(2)/Ⅱc/	フレーク	HF	7.40	7.10	1.60	87.80	
	1595	C-4(35)/Ⅲ/	擦切石器	SA	5.65	5.19	0.48	17.73	
	1596	B-5(35)/Ⅲ/	礫	凝灰質頁岩	6.05	3.55	2.10	36.50	
	1597	B-4(53)/Ⅱc/	擦切石器	SA	5.52	5.80	0.66	20.43	
	1598	B-4(26)/Ⅲ/	有孔石製品	凝灰質頁岩	3.01	2.27	1.38	6.33	
	1599	C-10/Ⅱ/	石錘	AN	3.40	4.60	1.40	27.50	
	1600	C-3(67)/Ⅳ/	石錘	AN	5.10	5.10	1.90	77.10	
	1601	C-10/Ⅲ/	礫	瑠璃斑岩	7.50	5.80	2.80	137.20	
	1602	D-9/Ⅱ/	礫	AN	9.90	9.20	5.20	499.60	
	1603	KSK一括	線刻礫	TU？	8.20	4.89	4.30	89.51	
142	1604	B-4/Ⅳ/	軽石製品(小玉)	軽石	2.55	2.10	1.05	1.70	
	1605	C-4/Ⅲ/	軽石製品(小玉)	軽石	3.50	3.80	1.50	7.70	
	1606	C-11/Ⅲ/	軽石製品(小玉)	軽石	3.90	3.30	3.60	10.60	
	1607	D-9(4)/Ⅱ/	軽石製品(小玉)	軽石	3.50	3.40	1.60	2.90	
	1608	B-4/Ⅲ/4113	軽石製品(小玉)	軽石	5.70	3.50	1.90	11.80	
	1609	B-4/Ⅲ/3295	軽石製品(小玉)	軽石	4.30	2.10	1.10	3.68	
	1610	D-10/Ⅱ/8672	軽石製品(小玉)	軽石	3.30	2.40	1.20	2.30	
	1611	C-10/Ⅱ/7772	軽石製品(小玉)	軽石	4.15	3.00	1.30	3.17	
	1612	B-5(6)/Ⅲ/	軽石製品(小玉)	軽石	4.10	2.70	1.30	3.30	
	1613	B-4(9)/Ⅲ/	軽石製品(小玉)	軽石	3.40	2.25	1.80	3.50	
	1614	D-10(3)/Ⅲ/	軽石製品(小玉)	軽石	2.70	2.85	2.10	3.70	

第36表　縄文石器観察表（11）

挿図番号	掲載番号	グリッド(小グリッド)/層位/取上No	器種	石材	最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重量（g）	備考
142	1615	B-4(7)/Ⅳ/	軽石製品(小玉)	軽石	6.10	3.00	1.40	3.29	
	1616	C-4(4)/Ⅲ/	軽石製品(小玉)	軽石	7.00	3.60	1.20	11.20	
	1617	C-10/Ⅱ/10367	軽石製品(小玉)	軽石	9.20	3.05	2.65	18.04	
	1618	C-4(46)/Ⅲ/	軽石製品(小玉)	軽石	8.00	3.30	2.00	14.20	
	1619	D-10/Ⅱ/7063	軽石製品(小玉)	軽石	9.25	4.20	2.00	26.80	
	1620	B-5(64)/Ⅲ/	軽石製品(特殊)	軽石	7.50	3.40	3.10	16.20	
143	1621	C-4/Ⅲ/2741	軽石製品(小玉)	軽石	6.00	4.90	3.20	29.90	
	1622	D-10/Ⅱ/	軽石製品(小玉)	軽石	7.40	7.30	3.50	61.00	
	1623	C-5(82)/Ⅱ/	軽石製品(小玉)	軽石	5.50	4.80	3.95	34.60	
144	1624	B-4(18)/Ⅲ/	軽石製品(線刻)	軽石	4.80	5.90	2.90	19.40	
	1625	B-4/Ⅲ/5001	軽石製品(線刻)	軽石	6.70	5.60	2.10	23.00	
	1626	B-4/Ⅲ/4657	軽石製品(線刻)	軽石	6.30	5.70	2.70	32.30	
	1627	C-10(2)/Ⅲ/	軽石製品(線刻)	軽石	10.70	11.40	5.70	175.60	
	1628	B-5(32)/Ⅲ/	軽石製品(線刻)	軽石	9.30	6.10	6.60	104.50	
	1629	C-4(17)/Ⅲ/	軽石製品(線刻)	軽石	13.00	8.20	6.00	185.40	
	1630	C-3(49)/Ⅲ/	軽石製品(線刻)	軽石	8.00	6.90	4.30	68.30	
145	1631	C-4(73)/Ⅲ/	軽石製品(線刻)	軽石	9.30	6.80	3.70	70.60	
	1632	C-4/Ⅲ/1941	軽石製品(線刻)	軽石	11.70	5.50	4.50	78.70	
	1633	D-9/Ⅱ/6863	軽石製品(線刻)	軽石	12.50	9.30	3.80	175.10	
	1634	B-4/Ⅲ/3238	軽石製品(線刻)	軽石	13.80	9.50	4.50	163.70	
	1635	C-4/Ⅲ/4903	軽石製品(線刻)	軽石	7.50	7.10	3.90	65.20	
	1636	C-4(67)/Ⅲ/	軽石製品(線刻)	軽石	13.30	8.70	3.50	107.70	
	1637	C-4/Ⅲ/4150	軽石製品(線刻)	軽石	7.20	7.20	4.20	66.80	
146	1638	C-3/Ⅲ/2315	軽石製品(線刻)	軽石	10.50	8.10	4.50	125.47	
	1639	B-5(31)/Ⅲ/	軽石製品(線刻)	軽石	9.30	6.10	4.45	68.50	
	1640	B-4/Ⅲ/4097	軽石製品(線刻)	軽石	15.00	10.20	4.90	167.30	
	1641	C-4/Ⅲ/2614	軽石製品(線刻)	軽石	19.05	9.90	5.90	242.80	
	1642	D-10/Ⅱ/6476	軽石製品(線刻)	軽石	11.00	9.20	3.80	75.20	
147	1643	C-9/Ⅱ/	軽石製品(線刻)	軽石	5.00	6.20	2.70	24.90	
	1644	C-4(67)/Ⅱc/	軽石製品(線刻)	軽石	6.60	5.20	1.90	13.10	
	1645	C-4(74)/Ⅲ/	軽石製品(線刻)	軽石	11.20	7.50	4.80	101.50	
	1646	D-10/Ⅱ/7599	軽石製品(線刻)	軽石	7.00	6.50	2.40	32.60	

第37表　縄文石器観察表（12）

挿図番号	掲載番号	グリッド(小グリッド)/層位/取上No	器種	石材	最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重量（g）	備考
147	1647	C-10/Ⅱ/9382	軽石製品(凹石)	軽石	11.00	6.60	4.70	71.10	
	1648	C-4/Ⅲ/4280	軽石製品(凹石)	軽石	11.60	12.55	5.65	189.90	
	1649	C-10(1)/Ⅲ/	軽石製品(凹石)	軽石	9.60	7.10	2.70	47.90	
148	1650	C-11/Ⅱ/7120	軽石製品(凹石)	軽石	13.00	11.70	5.30	222.70	
	1651	C-4/Ⅲ/4750	軽石製品(凹石)	軽石	17.10	12.50	4.80	302.30	
	1652	B-4/Ⅲ/2505	軽石製品(凹石)	軽石	17.50	14.30	4.80	163.30	
149	1653	B-4(69)/Ⅲ/	軽石製品(板状)	軽石	8.70	7.55	2.65	36.40	
	1654	C-4/Ⅲ/2571	軽石製品(板状)	軽石	9.10	6.90	2.20	22.50	
	1655	C-4/Ⅲ/3694	軽石製品(板状)	軽石	11.40	9.90	2.60	103.00	
	1656	C-4/Ⅲ/	軽石製品(板状)	軽石	14.90	15.40	2.20	205.80	
	1657	C-4/Ⅲ/2084	軽石製品(板状)	軽石	24.30	15.90	3.00	309.10	
150	1658	C-10/Ⅲ/	軽石製品(太鼓形)	軽石	4.55	4.60	2.10	9.00	
	1659	C-4/Ⅲ/2692	軽石製品(太鼓形)	軽石	7.00	6.90	3.20	42.71	
	1660	B-4/Ⅲ/3363	軽石製品(太鼓形)	軽石	11.35	7.10	5.20	141.10	
151	1661	D-10(4)/Ⅱ/	軽石製品(特殊)	軽石	6.80	4.90	1.90	13.60	
	1662	C-11(1)/Ⅲ/	軽石製品(特殊)	軽石	7.10	6.30	3.90	27.30	
	1663	B-4(28)/Ⅱc/	軽石製品(特殊)	軽石	10.55	5.60	4.20	77.50	
	1664	B-4/Ⅳ/	軽石製品(特殊)	軽石	11.20	4.70	4.50	75.40	
	1665	C-10(1)/Ⅲ/	軽石製品(特殊)	軽石	3.20	3.50	3.40	21.90	
	1666	C-4/Ⅲ/4265	軽石製品(線刻)	軽石	11.40	11.35	3.20	71.60	
152	1667	C-10/Ⅱ/10566	軽石製品(特殊)	軽石	14.90	7.35	2.20	84.50	
	1668	B-4/Ⅲ/5270	軽石製品(特殊)	軽石	15.10	8.50	2.30	94.10	
	1669	C-10/Ⅱ/	軽石製品(特殊)	軽石	16.80	7.30	6.90	198.60	
	1670	B-4/Ⅱc/1557	軽石製品(特殊)	軽石	12.70	11.10	2.80	116.30	
153	1671	B-4/Ⅲ/5279	軽石製品(凹石)	軽石	16.30	9.20	3.30	136.60	
	1672	B-5(51)/Ⅱb/	軽石製品(特殊)	軽石	18.30	8.20	5.20	186.60	
	1673	C-10/Ⅱ/10361	軽石製品(特殊)	軽石	14.70	14.70	5.30	313.50	
154	1674	C-11(1)/Ⅲ/	軽石製品(特殊)	軽石	10.90	11.40	8.70	307.50	
	1675	C-4/Ⅲ/4780	軽石製品(特殊)	軽石	13.20	12.20	8.50	383.60	
155	1676	D-10(1)/Ⅱ/	軽石製品(特殊)	軽石	15.70	12.40	8.90	448.00	
	1677	B-5(62)/Ⅳ/	軽石製品(特殊)	軽石	22.00	14.65	7.80	493.00	

第38表　弥生・古墳時代遺物観察表

挿図番号	掲載番号	グリッド(小グリッド)/層位/取上No	種別	器種	口径	底径	器高	外面色調	内面色調	外面調整	内面調整	石英	長石	角閃	火ガ	黒粒	白粒	赤粒	軽石	雲母	滑石	他	備考
156	1678	C-3/39/Ⅱc/	弥生土器	甕	-	-	-	10YR7/4	10YR7/3	ナデ	ナデ	○	○	○	-	○	○	-	-	-	○	-	刻目突帯
	1679	B-4//Ⅳ/ B-4/5/Ⅲ/	弥生土器	甕	-	-	-	10YR7/4	10YR6/4	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	二条突帯
	1680	D-10//Ⅱ/6081	中津野式土器	甕	-	-	-	10YR7/4	5YR6/6	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	
	1681	C-10/2/Ⅲ/	成川式土器	甕	-	-	-	10YR7/4	5YR6/8	ナデ	ナデ	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	小礫	脚部

第39表　古代・中世遺構内遺物観察表

挿図番号	掲載番号	グリッド(小グリッド)/層位/取上No	種別	器種	口径	底径	器高	外面色調	内面色調	外面調整	内面調整	石英	長石	角閃	火ガ	黒粒	白粒	赤粒	軽石	雲母	滑石	他	備考
158	1682	D-11(SL2)//	土師器	坏	15.5	12.6	2.3	7.5YR8/4	7.5YR8/4	回転ナデ	回転ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	ヘラ切り底
	1683	D-11(SL2)//	土師器	坏	-	-	-	10YR8/4	7.5YR8/6	回転ナデ	回転ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	外赤
	1684	D-11(SL2)//	土師器	蓋	-	-	-	7.5YR8/6	10YR8/3	回転ナデ	回転ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	
159	1686	D-10(SL2)/Ⅱc/8110	土師器	坏	14.3	-	-	10YR8/2	10YR8/3	回転ナデ	回転ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	一部黒色化
	1687	D-10(SL3)//	土師器	坏	13.8	-	-	7.5YR8/4	7.5YR8/6	回転ナデ	回転ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	
	1690	D-10(SL3)//	土師器	坏	9.4	7.4	3.4	2.5Y8/4	10YR8/4	回転ナデ	回転ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	ヘラ切り底
	1685	D-10(SL3)//	土師器	甕	33.2	-	-	10YR8/4	10YR8/4	ヨコナデ	ヨコナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	小礫	
	1688	D-10(SL3)//	土師器	皿	14.2	-	-	10YR7/4	10YR8/6	回転ナデ	回転ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	外赤?
	1689	D-10(SL3)//	土師器	皿	-	-	-	7.5YR8/6	10YR8/4	回転ナデ	回転ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	
165	1740	B-5(SI1)/Ⅱ/	土師器	皿	7.3	5.9	2.2	10YR7/4	10YR7/4	回転ナデ	回転ナデ	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	糸切底

第40表　古代・中世遺物観察表（1）

挿図番号	掲載番号	グリッド(小グリッド)/層位/取上No	種別	器種	口径	底径	器高	外面色調	内面色調	外面調整	内面調整	石英	長石	角閃	火ガ	黒粒	白粒	赤粒	軽石	雲母	滑石	他	備考
160	1691	C-10/Ⅱ/	須恵器	蓋	12	9.2	4.3	2.5Y6/1	2.5Y6/1	回転ナデ	回転ナデ	○	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	
	1692	D-11/Ⅱ/	須恵器	坏	12	-	-	N5/0	N5/0	回転ナデ	回転ナデ	○	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	
	1693	D-11/Ⅱ/ D-3(83)/Ⅲ/	須恵器	坏	15	-	-	10Y6/1	10Y6/1	回転ナデ	回転ナデ	○	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	
	1694	B-4/Ⅱb/	須恵器	壺	-	-	-	2.5Y6/2	10YR6/3	回転ナデ	回転ナデ	○	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	
	1695	C-7/Ⅱc/	須恵器	甕	25.2	-	-	10YR6/1	10YR3/1	同心円当て具痕	格子目タタキ	○	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	
	1696	D-9/Ⅱ/	須恵器	甕	-	-	-	N5/0	N5/0	同心円当て具痕	格子目タタキ	○	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	
	1697	C-8/Ⅱc/	須恵器	甕	-	-	-	5YR7/4	2.5Y5/2	同心円当て具痕	格子目タタキ	○	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	
	1698	B-7/Ⅱ/	須恵器	甕	-	-	-	10YR5/3	5YR4/3	平行タタキ	格子目タタキ	○	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	
	1699	C-10/Ⅱ/8928	土師器	甕	23.4	-	-	10YR6/3	7.5YR7/6	ケズリ・ナデ	ケズリ・ナデ	○	○	○	-	○	○	-	-	-	○	-	
	1700	D-10/Ⅲ/	土師器	甕	18.8	-	-	7.5YR7/8	7.5YR7/8	ケズリ・ナデ	ナデ	○	○	-	-	○	○	○	-	-	○	-	
	1701	D-9/Ⅱ/	土師器	甕・甑	-	-	-	7.5YR8/6	7.5YR8/6	ナデ	ナデ	○	○	○	-	○	○	○	○	-	○	小礫	
	1702	D-11/Ⅲ/	土師器	坏	16	-	-	10YR8/4	10YR8/4	回転ナデ	回転ナデ	○	○	-	-	○	○	○	-	-	-	-	
	1703	C-11(2)/Ⅱ/	土師器	坏	15.6	-	-	10YR8/3	10YR8/3	回転ナデ	回転ナデ	○	○	○	-	○	○	○	-	-	-	-	
	1704	D-10/Ⅳ/ D-11/Ⅱ/	土師器	坏	15.2	-	-	10YR8/4	10YR8/4	回転ナデ	回転ナデ	○	○	○	-	○	○	○	-	-	-	-	
	1705	D-3(83)/Ⅲ/	土師器	坏	-	9.2	-	10YR8/3	10YR8/4	回転ナデ	回転ナデ	○	○	○	-	○	○	○	-	-	-	-	
	1706	D-11/Ⅲ/ D-11/Ⅱ/	土師器	坏	-	8.4	-	10YR8/3	7.5YR8/3	回転ナデ	回転ナデ	○	○	○	-	○	○	○	-	-	-	-	
	1707	B-7/Ⅱ/	土師器	坏	-	8.4	-	5YR7/8	5YR7/8	回転ナデ	回転ナデ	○	○	○	-	○	○	○	-	-	-	-	
	1708	C-10/Ⅲ/	土師器	坏	-	7.4	-	10YR8/4	10YR8/6	回転ナデ	回転ナデ	○	○	○	-	○	○	○	-	-	-	-	
	1709	D-10/Ⅲ/	土師器	坏	-	9.2	-	7.5YR8/6	7.5YR8/6	回転ナデ	回転ナデ	○	○	○	-	○	○	○	-	-	-	-	内面：ヘラ線刻
	1710	B-6/Ⅱb/	土師器	坏	-	7.4	-	10YR8/4	10YR8/4	回転ナデ	回転ナデ	○	○	○	-	○	○	○	-	-	-	-	
	1711	D-11/Ⅱ/6581	土師器	坏	-	8	-	10YR7/2	10YR8/4	回転ナデ	回転ナデ	○	○	○	-	○	○	○	-	-	-	-	
161	1712	D-9/Ⅱ/	土師器	皿	-	8	-	10YR8/4	10YR8/4	回転ナデ	回転ナデ	○	○	○	-	○	○	○	-	-	-	-	
	1713	D-10/Ⅱ/	土師器	皿	-	7.8	-	10YR8/3	10YR8/3	回転ナデ	回転ナデ	○	○	○	-	○	○	○	-	-	-	-	
	1714	C-11/Ⅱ/6549 C-11/Ⅱ/8734	土師器	高台付坏	-	9.6	-	7.5YR8/3	7.5YR8/3	回転ナデ	回転ナデ	○	○	○	-	○	○	○	-	-	-	-	内面：黒色化
	1715	D-9/Ⅱ/	土師器	高台付坏	-	11	-	2.5Y8/1	2.5Y4/1	回転ナデ	回転ナデ	○	○	-	-	○	○	-	-	-	-	-	外面：黒色化
	1716	C-11/Ⅱ/6540	土師器	高台付坏	-	9	-	7.5YR8/4	7.5YR8/4	回転ナデ	回転ナデ	○	○	○	-	○	○	○	-	-	-	-	
	1717	D-11/Ⅱ/	土師器	高台付坏	-	7.6	-	7.5YR8/4	7.5YR8/4	回転ナデ	回転ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	
	1718	C-11/Ⅱ/7123	土師器	高台付坏	-	7.6	-	10YR8/2	10YR8/2	回転ナデ	回転ナデ	○	○	○	-	○	○	○	-	-	-	-	
	1719	C-4(59)/Ⅱc/	内黒土師器	椀	-	-	-	10YR3/1	10YR6/2	ミガキ	ミガキ	○	○	-	-	○	○	-	-	-	-	-	
	1720	C-5/Ⅱc/923	土師器	高台付坏	-	-	-	7.5YR8/4	7.5YR8/4	回転ナデ	回転ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	
	1721	D-10/Ⅱ/	土師器	高台付坏	-	7.2	-	7.5YR7/8	7.5YR7/8	回転ナデ	回転ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	
	1722	D-11/Ⅲ/	内黒土師器	椀	-	7.2	-	10YR2/1	10YR8/3	回転ナデ	ミガキ	○	○	-	-	○	○	-	-	-	-	-	
	1723	C-4(76)/Ⅱc/	内黒土師器	椀	-	6	-	10YR2/1	10YR8/2	回転ナデ	ミガキ	○	○	-	-	○	○	-	-	-	-	-	
	1724	C-10/Ⅱ/	内黒土師器	椀	-	-	-	10YR2/1	10YR8/4	回転ナデ	ミガキ	○	○	-	-	○	○	-	-	-	-	-	
	1725	D-11/Ⅱ/	土師器	坏	-	-	-	2.5Y5/2	10YR8/4	回転ナデ	回転ナデ	○	○	○	-	○	○	○	-	-	-	-	
	1726	D-3(83)/Ⅲ/	土師器	鉢	-	15.2	-	10YR8/6	10YR8/4	回転ナデ	回転ナデ	○	○	○	-	○	○	○	-	-	-	-	
	1727	D-11/Ⅱ/8734	土師器	蓋	-	-	-	7.5YR8/6	7.5YR8/6	回転ナデ	回転ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	内外面：赤色顔料
	1728	D-11/Ⅱ/8738	土師器	蓋	-	-	-	10YR8/6	5YR8/4	回転ナデ	回転ナデ	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	外：赤色顔料
	1729	B-5/Ⅱc/680	土師器	蓋	-	-	-	7.5YR8/6	7.5YR8/6	回転ナデ	回転ナデ	○	○	-	○	○	○	-	-	-	-	-	
	1730	D-3(83)/Ⅲ/	土師器	蓋	-	-	-	10YR8/3	10YR8/4	回転ナデ	回転ナデ	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	
170	1742	C-3/Ⅱ/	土師器	坏	12.2	8.3	3.2	10YR7/4	10YR7/4	回転ナデ	回転ナデ	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	
	1743	D-11/Ⅱ/	土師器	皿	17	-	-	7.5YR8/8	7.5YR8/8	回転ナデ	回転ナデ	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	
	1744	D-11/Ⅱ/	土師器	皿	12.8	12	2	10YR8/4	10YR8/4	回転ナデ	回転ナデ	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	糸切底
	1745	D-10(4)/Ⅱ/	土師器	皿	12.6	-	-	10YR8/4	10YR8/4	回転ナデ	回転ナデ	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	
	1746	C-7/Ⅱ/	土師器	皿	-	12	-	7.5YR8/8	7.5YR8/8	回転ナデ	回転ナデ	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	
	1747	C-3(68)/Ⅲ/	土師器	皿	11	7.8	2.6	7.5YR7/8	7.5YR7/8	回転ナデ	回転ナデ	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	
	1748	C-8/Ⅱ/	土師器	皿	8.9	7.8	2.1	7.5YR6/6	7.5YR6/6	回転ナデ	回転ナデ	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	糸切底
	1749	C-3/Ⅰ/	土師器	皿	10.0	5.9	3	7.5YR7/4	7.5YR7/4	回転ナデ	回転ナデ	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	
	1750	B-4/Ⅱb/323	土師器	皿	-	7.2	-	10YR7/4	10YR7/4	回転ナデ	回転ナデ	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	糸切底
	1751	D-3(83)/Ⅲ/	土師器	皿	-	8.5	-	7.5YR7/6	7.5YR7/6	回転ナデ	回転ナデ	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	
	1752	B-4/Ⅱb/383	土師器	皿	-	8	-	10YR7/4	10YR7/4	回転ナデ	回転ナデ	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	糸切底
	1753	B-4/Ⅱb/180	土師器	皿	-	6.4	-	7.5YR6/6	7.5YR6/6	回転ナデ	回転ナデ	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	
	1754	B-2(39)/Ⅱb/	土師器	皿	-	7.6	-	10YR7/3	10YR7/3	回転ナデ	回転ナデ	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	
	1755	E-12/Ⅱb/	土師器	皿	-	6	-	7.5YR6/6	7.5YR6/6	回転ナデ	回転ナデ	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	
	1756	C-5/Ⅱc/1431	土師器	皿	6.4	4.4	1.5	7.5YR7/6	7.5YR7/6	回転ナデ	回転ナデ	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	糸切底
	1757	B-4/Ⅱb/	土師器	皿	-	4.1	-	10YR7/6	10YR7/6	回転ナデ	回転ナデ	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	糸切底

第41表　古代・中世遺物観察表（2）

挿図番号	掲載番号	グリッド(小グリッド)/層位/取上No	種別	器種	口径	底径	器高	胎土の色調	釉薬の色調・種類	施釉部位	時期	分類	備考
165	1741	B−5/SI01/	白磁	皿	-	-	-	7.5Y8/1	7.5Y7/1	口禿	F期	皿Ⅸ類	
170	1758	C−4/Ⅱb/	白磁	碗	18.4	-	-	7.5Y7/1	7.5Y7/1	全面施釉	C期	碗Ⅳ類	
	1759	B−4/Ⅰ/	白磁	碗	13.8	-	-	7.5Y7/1	7.5Y7/1	全面施釉	D期	碗Ⅳ類	
	1760	B−4/Ⅱb/	白磁	皿	14.8	-	-	5Y7/2	5Y6/2	全面施釉	D期	皿Ⅳ類	
	1761	C−5//Ⅱa/	白磁	皿	16.0	-	-	5Y8/2	10Y7/1	口禿	F期	皿Ⅸ類	
	1762	KSK/Ⅱb/	白磁	皿	10.6	-	-	5Y8/1	5Y7/2	口禿	F期	皿Ⅸ類	
	1763	B−6/Ⅱa/	白磁	皿	-	5.6	-	2.5Y7/2	10Y8/1	全面施釉	F期	皿Ⅸ類	
	1764	E−11/Ⅰ/	白磁	皿	-	-	-	2.5Y7/2	7.5Y7/1	全面施釉	G期	森田D類	
	1765	C−5/15/Ⅳ/	白磁	皿	1.6	-	-	10YR8/1	2.5GY7/1	全面施釉	D期	皿Ⅶ類	
	1766	B−5/51/Ⅱc/	白磁	八角坏	7.8	3.4	3.6	7.5Y8/1	5Y8/1	高台部分露胎	G期	森田D類	
	1767	B−4(51)/Ⅱc/	白磁	坏	-	4.0	-	2.5Y8/2	5Y8/1	高台部分露胎	G期	森田D類	
	1768	B−7/Ⅱa/	白磁	壺?	-	-	-	5Y8/1	10Y8/1	外面施釉，内面露胎	G期	森田D類	
171	1769	C−5()/Ⅱb/	青磁	碗	-	-	-	2.5Y7/2	7.5Y6/2	全面施釉	F期	碗Ⅱ類	
	1770	B−4()/Ⅱb/	青磁	碗	-	-	-	2.5Y7/1	10Y6/2	全面施釉	F期	碗Ⅱ類	
	1771	C−2(62)/Ⅳ/	青磁	碗	-	-	-	2.5Y7/2	10Y6/2	全面施釉	G期	碗C群	雷文帯
	1772	B−4/Ⅱb/	青磁	碗	-	-	-	2.5Y7/2	7.5Y5/2	全面施釉	G期	碗D群	
	1773	C−3/Ⅰ/	青磁	碗	-	-	-	5Y7/1	10Y6/2	全面施釉	G期	碗D群	
	1774	B−4/Ⅰ/	青磁	碗	-	-	-	2.5Y7/2	7.5Y5/2	全面施釉	G期	碗D群	
	1775	B−4/Ⅱb/	青磁	碗	-	-	-	2.5Y7/2	7.5GY7/1	全面施釉	G期	碗D群	
	1776	B−4/Ⅱb/	青磁	碗	-	-	-	5Y8/1	7.5Y6/3	全面施釉	G期	碗D群	
	1777	B−4/Ⅱc/	青磁	碗	-	-	-	2.5Y8/2	5GY6/1	全面施釉	G期	碗D群	
	1778	B−4/Ⅱb/	青磁	碗	-	-	-	5Y7/1	2.5GY6/1	全面施釉	G期	碗D群	
	1779	C−4/Ⅱc/1530	青磁	碗	-	-	-	2.5Y6/3	2.5Y5/3	全面施釉	G期	碗B群	線描蓮弁文
	1780	C−8/Ⅱ/	青磁	碗	-	-	-	2.5Y7/2	7.5GY6/1	全面施釉	G期	碗B群	線描蓮弁文
	1781	C−5/Ⅱa/	青磁	碗	-	-	-	2.5Y8/2	7.5GY7/1	全面施釉	G期	碗B群	線描蓮弁文
	1782	B−6/Ⅱb/	青磁	碗	-	-	-	2.5Y7/2	7.5Y6/2	全面施釉	G期	碗B群	線描蓮弁文
	1783	D−10/Ⅱ/	青磁	碗	-	-	-	2.5Y7/2	7.5GY6/1	全面施釉	G期	碗B群	線描蓮弁文
	1784	B−4/Ⅱb/	青磁	碗	-	-	-	5Y7/1	10Y5/2	全面施釉	G期	碗B群	線描蓮弁文
	1785	B−4/Ⅱb/	青磁	碗	-	7.6	-	2.5Y7/1	10Y6/2	高台内露胎	F期	-	
	1786	C−2/Ⅰ/	青磁	碗	-	7.2	-	2.5Y7/3	5Y6/3	高台内露胎	G期	-	
	1787	B−4(58)/Ⅲ/	青磁	坏	13.0	-	-	2.5Y7/1	10Y6/1	全面施釉	G期	-	
	1788	B-4/Ⅰ C−4/Ⅱb/	青磁	坏	9.6	-	-	2.5Y7/1	10Y6/2	全面施釉	G期	-	
	1789	C−4/Ⅰ/	青磁	坏	-	-	-	2.5Y7/1	5GY7/1	全面施釉	G期	-	
	1790	B−4/Ⅱ/	青磁	稜花皿	11.6	-	-	2.5Y6/3	5Y5/3	全面施釉	G期～	-	
	1791	C−4/Ⅱb/	青磁	稜花皿	11.4	-	-	2.5Y7/2	10Y7/2	全面施釉	G期～	-	
	1792	C−3/Ⅰ/	青磁	稜花皿	-	-	-	2.5Y7/1	10Y6/2	全面施釉	G期～	-	
	1793	D−10/Ⅱ/	青磁	稜花皿	-	-	-	2.5Y7/2	7.5Y6/2	全面施釉	G期～	-	
	1794	C−4/Ⅰ/	青磁	碗	-	6.2	-	10YR8/2	5Y5/3	高台内露胎	G期	-	
	1795	C−7/Ⅱ/	青磁	碗	-	8.0	-	2.5Y7/1	7.5Y6/2	高台内露胎	G期	-	
	1796	C−4/Ⅱa/	青磁	碗	-	7.0	-	2.5Y7/3	7.5GY7/1	高台内露胎	G期	-	
	1797	B−5/Ⅱc/	青磁	香炉	-	-	-	5Y8/1	10Y6/2	内面露胎（赤色化）	G期	-	
	1798	C−4/Ⅱb/	青磁	香炉	-	5.4	-	5Y8/1	10Y6/2	内面露胎（赤色化）	G期	-	
	1799	B−4(41)/Ⅱc/	青磁	壺	-	-	-	7.5Y7/1	7.5Y6/2	内面露胎	G期	-	
	1800	B−8/Ⅱ/	青磁	壺	-	-	-	10YR8/1	2.5GY8/1	内面露胎	G期	-	
	1801	B−7/Ⅱb/	青花	碗	-	-	-	2.5Y7/3	7.5GY8/1	全面施釉	G期～	-	
	1802	B−8/Ⅱ/	青花	碗	-	5.2	-	2.5Y8/1	5B7/1	全面施釉	G期～	碗C群	
	1803	B−4/Ⅱb/	青花	壺	-	-	-	5Y8/1	10Y7/1	内面露胎	-	-	
	1804	B−5(62)/Ⅱc/	青花	碗	-	4.4	-	2.5Y7/3	5Y8/2	高台内露胎	G期～	-	
	1805	C−4/Ⅱb/	青花	碗	-	6.0	-	2.5Y8/1	7.5GY8/1	全面施釉	G期～	碗C群	
	1806	B−7/Ⅱa/	赤絵	碗	-	-	-	N8/0	N8/0	全面施釉	-	-	
	1807	C−4/Ⅱa/	青花	長胴形壺？	-	5.6	-	5Y8/1	7.5GY8/1	全面施釉	G期～	-	芭蕉文
	1808	C−10()/Ⅰ/	国産陶器	天目碗	13.0	-	-	10YR7/1	5YR3/2	全面施釉	-	-	
	1809	B−4(7)/Ⅲ/	国産陶器	天目碗	11.9	-	-	10YR6/1	10YR3/1	全面施釉	-	-	
	1810	C−3/Ⅰ/	国産陶器	天目碗	-	-	-	2.5Y7/2	7.5YR3/2	胴部下半露胎	-	-	
	1811	C−7/Ⅱc/	瓦質土器	擂鉢	-	-	-	10Y5/1	10Y5/1	-	-	-	
	1812	C−10/Ⅱ/	備前	擂鉢	31	-	-	7.5R4/4	7.5R4/4	-	-	-	
175	1814	B-7/Ⅱa/	陶磁器	鉢	-	-	-	2.5YR6/6	5YR3/3	全面施釉	-	薩摩焼	
	1815	C-5/Ⅱa/	陶磁器	鉢	-	-	-	7.5YR4/2	2.5Y4/3	全面施釉	-	薩摩焼	
	1816	E-12/Ⅱc/	陶磁器	鉢	-	-	-	7.5R4/2	10YR3/2	全面施釉	-	薩摩焼	
	1817	C-5/Ⅰ/	陶磁器	鉢	-	-	-	5YR5/4	7.5Y3/2	全面施釉	-	薩摩焼	
	1818	C-8//	陶磁器	擂鉢	-	-	-	5YR4/1	2.5YR4/1	全面施釉	-	薩摩焼	
	1819	B-6/Ⅱb/	陶磁器	壺？	-	22.2	-	5YR5/4	7.5YR3/2	外面施釉	-	薩摩焼	
	1820	B-7/Ⅱa/	陶磁器	植木鉢	-	15.4	-	5YR5/2	7.5Y3/1	全面施釉	-	薩摩焼	
	1821	B-7/Ⅱa/	陶磁器	碗	-	4.8	-	10R3/4	7.5Y3/1	高台見込み輪状釉剥ぎ	-	薩摩焼	
	1822	C-4/Ⅱa/	陶磁器	碗	-	4.0	-	2.5Y3/1	5YR3/1	高台見込み輪状釉剥ぎ	-	薩摩焼	
	1823	B-7/Ⅱ/	陶磁器	碗	-	4.8	-	5YR7/6	5Y7/2	高台見込み輪状釉剥ぎ	-	関西系？	
	1824	C-7/Ⅱb/	陶磁器	碗	-	2.8	-	10YR6/4	5Y5/3	高台見込み目跡	-	肥前？	
	1825	C-5/Ⅱa/	陶磁器	壺？	-	-	-	2.5YR5/6	10YR3/2	全面施釉	-	薩摩焼	
	1826	B-8/Ⅱ/	陶磁器	土瓶	-	7.0	-	7.5YR6/3	—	全面露胎	-	薩摩焼	
	1827	C-5/Ⅰ/	陶磁器	土瓶	-	4.0	-	7.5YR6/3	7.5YR3/4	外面上半施釉	-	薩摩焼	
	1828	B-4/Ⅱa/	陶磁器	蓋	8.0	-	-	7.5Y4/1	7.5Y4/3	外面施釉，内面露胎	-	薩摩焼	
	1829	C-4/Ⅱa/	陶磁器	蓋	16.8	-	-	5YR7/6	5Y3/2	外面施釉，内面露胎	-	薩摩焼	
	1830	C-8/Ⅱ/	陶磁器	高台付碗	-	4.4	-	10YR7/3	5Y4/4	高台見込み輪状釉剥ぎ	-	薩摩焼	

第42表　古代・中世土製品・石塔観察表

挿図番号	掲載番号	グリッド	種別	最大幅	最大厚	重量(g)
161	1734	B-4/Ⅱc/1322	土錘	4.3	2.3	-
	1733	B-5/Ⅱa/-	土錘	4.5	2.0	-
	1738	B-4/Ⅱb/-	土錘	3.2	1.1	-
	1739	C-4/Ⅱa/-	土錘	2.5	1.4	-

挿図番号	掲載番号	グリッド	種別	最大幅	最大厚	重量(g)
161	1735	B-4/Ⅱc/790	土錘	3.1	1.7	-
	1736	C-4/Ⅱb/827	土錘	3.3	1.6	-
	1737	B-5/Ⅱa/-	土錘	3.1	1.6	-
	1732	C-4/Ⅱb/-	土錘	5.2	1.9	-
171	1813	B-7/Ⅱb/2222	石塔	25.6	20.4	5210

第Ⅳ章　自然科学分析

第１節　放射性炭素年代測定

１　木佐木原遺跡における放射性炭素年代測定

株式会社 古環境研究センター

（１）はじめに

放射性炭素年代測定は，光合成や食物摂取などにより生物体内に取り込まれた放射性炭素（14C）の濃度が放射性崩壊により時間とともに減少することを利用した年代測定法である。樹木や種実などの植物遺体，骨，貝殻，土器付着炭化物などが測定対象となり，約５万年前までの年代測定が可能である（中村，2003）。

（２）　試料と方法

第43表に，測定試料の詳細と前処理・調整法および測定法を示す。

（３）　測定結果（第44表・第176図）

加速器質量分析法（AMS：Accelerator Mass Spectrometry）によって得られた14C濃度について同位体分別効果の補正を行い，放射性炭素（14C）年代および暦年代（較正年代）を算出した。第44表にこれらの結果を示し，第176図に暦年較正結果（較正曲線）を示す。

第43表　放射性炭素年代測定分析試料

試料No.	試料の詳細	種類	前処理・調整法	測定法
No.1	B-5区，SI01炭化物２	炭化材	超音波洗浄，酸-ｱﾙｶﾘ-酸処理	AMS
No.2	B-5区，SI01炭化物14	炭化材	超音波洗浄，酸-ｱﾙｶﾘ-酸処理	AMS
No.3	B-5区，SI01炭化物36	炭化材	超音波洗浄，酸-ｱﾙｶﾘ-酸処理	AMS
No.4	B-5区，SI01炭化物49	炭化材	超音波洗浄，酸-ｱﾙｶﾘ-酸処理	AMS
No.5	B-4区，SL04床面，炭化物	炭化材	超音波洗浄，酸-ｱﾙｶﾘ-酸処理	AMS
No.6	B-4区，SL04上面，炭化物	炭化材	超音波洗浄，酸-ｱﾙｶﾘ-酸処理	AMS
No.7	C-3区，SL01，炭化物	炭化材	超音波洗浄，酸-ｱﾙｶﾘ-酸処理	AMS
No.8	D-11区，SL02，炭化物10	炭化材	超音波洗浄，酸-ｱﾙｶﾘ-酸処理	AMS
No.9	D-10区，SL03，炭化物１	炭化材	超音波洗浄，酸-ｱﾙｶﾘ-酸処理	AMS
No.10	D-10区，SL03，炭化物Ｂ	炭化材	超音波洗浄，酸-ｱﾙｶﾘ-酸処理	AMS

（４）　所見

加速器質量分析法（AMS）による放射性炭素年代測定の結果，No.１では710±15年BP（２σの暦年代でAD 1266～1295年），No.２では610±15年BP（AD 1299～1370, 1380～1401年），No.３では710±15年BP（AD1266～1295年），No.４では 675±15年BP（AD 1276～1305, 1363～1385年），No.５では385±15年BP（AD 1446～1515, 1599～1618年），No.６では400±20年BP（AD 1441

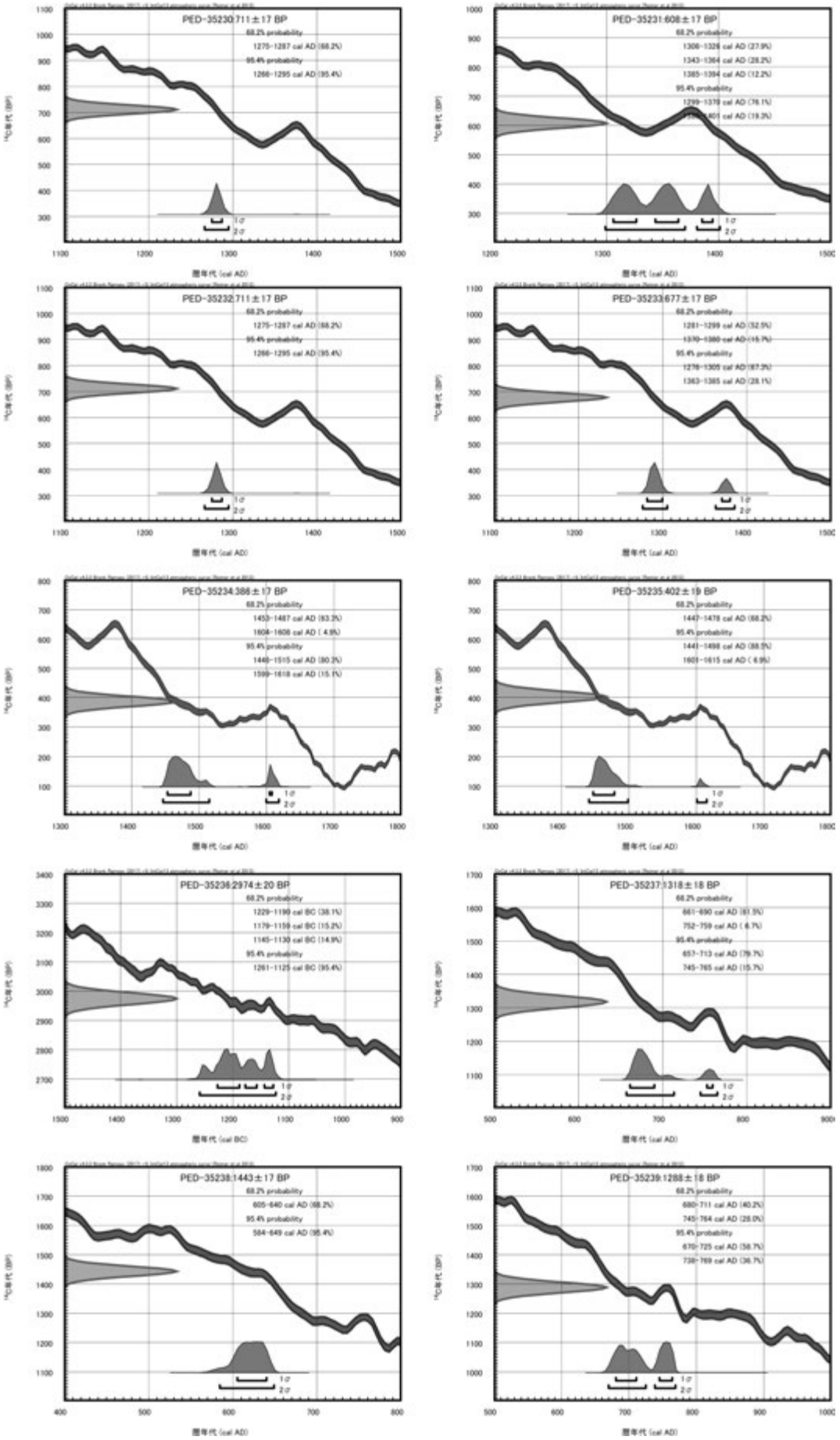
第44表　放射性炭素年代測定分析結果

試料No.	測定No.(PED-)	δ13C（‰）	14C年代：年BP（暦年較正用）	暦年代（較正年代）：cal-１σ（68.2%確率）	２σ（95.4%確率）
No.1	35230	-25.72±0.11	710±15 (711±17)	AD 1275-1287 (68.2%)	AD 1266-1295 (95.4%)
No.2	35231	-24.26±0.12	610±15 (608±17)	AD 1306-1326 (27.9%) AD 1343-1364 (28.2%) AD 1385-1394 (12.2%)	AD 1299-1370 (76.1%) AD 1380-1401 (19.3%)
No.3	35232	-23.83±0.13	710±15 (711±17)	AD 1275-1287 (68.2%)	AD 1266-1295 (95.4%)
No.4	35233	-26.49±0.16	675±15 (677±17)	AD 1281-1299 (52.5%) AD 1370-1380 (15.7%)	AD 1276-1305 (67.3%) AD 1363-1385 (28.1%)
No.5	35234	-25.20±0.12	385±15 (386±17)	AD 1453-1487 (63.3%) AD 1604-1608 (4.9%)	AD 1446-1515 (80.3%) AD 1599-1618 (15.1%)
No.6	35235	-24.38±0.15	400±20 (402±19)	AD 1447-1478 (68.2%)	AD 1441-1498 (88.5%) AD 1601-1615 (6.9%)
No.7	35236	-24.72±0.19	2975±20 (2974±20)	BC 1229-1190 (38.1%) BC 1179-1159 (15.2%) BC 1145-1130 (14.9%)	BC 1261-1125 (95.4%)
No.8	35237	-25.27±0.14	1320±20 (1318±18)	AD 661-690 (61.5%) AD 752-759 (6.7%)	AD 657-713 (79.7%) AD 745-765 (15.7%)
No.9	35238	-24.75±0.13	1445±15 (1443±17)	AD 605-640 (68.2%)	AD 584-649 (95.4%)
No.10	35239	-25.61±0.16	1290±20 (1288±18)	AD 680-711 (40.2%) AD 745-764 (28.0%)	AD 670-725 (58.7%) AD 738-769 (36.7%)

（１）デルタδ13C測定値
試料の測定14C/12C比を補正するための炭素安定同位体比（13C/12C）。この値は標準物質（PDB）の同位体比からの千分偏差（‰）で表す。試料のδ13C値を-25(‰)に標準化することで同位体分別効果を補正している。

（２）放射性炭素（14C）年代測定値
試料の14C/12C比から、現在（AD1950年基点）から何年前かを計算した値。14Cの半減期は5730年であるが、国際的慣例によりLibbyの5568年を用いている。統計誤差（±）は１シグマσ（68.2%確率）である。14C年代値は下１桁を丸めて表記するのが慣例であるが、暦年較正曲線が更新された場合のために下１桁を丸めない暦年較正用年代値も併記した。

（３）暦年代（Calendar Years）
過去の宇宙線強度や地球磁場の変動による大気中14C濃度の変動および14Cの半減期の違いを較正することで、放射性炭素（14C）年代をより実際の年代値に近づけることができる。暦年代較正には、年代既知の樹木年輪の詳細な14C測定値およびサンゴのU/Th（ウラン/トリウム）年代と14C年代の比較により作成された較正曲線を使用した。較正曲線のデータはIntCal 13、較正プログラムはOxCal 4.3である。
暦年代（較正年代）は、14C年代値の偏差の幅を較正曲線に投影した暦年代の幅で表し、OxCalの確率法により１シグマσ（68.2%確率）と２σ（95.4%確率）で示した。較正曲線が不安定な年代では、複数の1σ・２σ値が表記される場合もある。（）内の%表示は、その範囲内に暦年代が入る確率を示す。グラフ中の縦軸上の曲線は14C年代の確率分布、二重曲線は暦年較正曲線を示す。



第176図　暦年較正年代グラフ

～1498, 1601～1615年），№7では2975±20年BP（BC 1261～1125年），№8では1320±20年BP（AD 657～713, 745～765年），№9では1445±15年BP（AD 584～649年），№10では1290±20年BP（AD 670～725, 738～769年）の年代値が得られた。

なお，樹木（炭化材）による年代測定結果は，樹木の伐採年もしくはそれより以前の年代を示しており，樹木の心材に近い部分や転用材が利用されていた場合は，遺構の年代よりも古い年代値となることがある。

2　木佐木原遺跡における放射性炭素年代（AMS測定）および炭素・窒素安定同位体比分析

（測定１）

（株）加速器分析研究所

（１）測定対象試料

木佐木原遺跡は，鹿児島県姶良市蒲生町上久徳に所在する。測定対象試料は，II～III層で出土した土器付着炭化物６点である（第45表）。II～III層は，縄文時代中期から後期と推定されている。

（２）化学処理工程

（１）メス・ピンセットを使い，混入物を取り除く。

（２）酸-アルカリ-酸（AAA：Acid Alkali Acid）処理により不純物を化学的に取り除く。その後，超純水で中性になるまで希釈し，乾燥させる。AAA処理における酸処理では，通常1mol/ℓ（1M）の塩酸（HCl）を用いる。アルカリ処理では水酸化ナトリウム（NaOH）水溶液を用い，0.001Mから1Mまで徐々に濃度を上げながら処理を行う。アルカリ濃度が1Mに達した時には「AAA」，1M未満の場合は「AaA」と第45表に記載する。AAA処理された試料を2つに分け，一方を年代測定用，他方を安定同位体等分析用の試料とする。

（３）試料を燃焼させ，二酸化炭素（CO2）を発生させる。

（４）真空ラインで二酸化炭素を精製する。

（５）精製した二酸化炭素を，鉄を触媒として水素で還元し，グラファイト（C）を生成させる。

（６）グラファイトを内径1mmのカソードにハンドプレス機で詰め，それをホイールにはめ込み，測定装置に装着する。

（３）測定方法

加速器をベースとした14C-AMS専用装置（NEC社製）を使用し，14Cの計数，13C濃度（13C/12C），14C濃度（14C/12C）の測定を行う。測定では，米国国立標準局（NIST）から提供されたシュウ酸（HOxⅡ）を標準試料とする。この標準試料とバックグラウンド試料の測定も同時に実施する。

（４）炭素・窒素安定同位体比及び含有量測定試料の化学処理工程と測定方法

（１）～（２）の処理を行う。

（３）試料をEA（元素分析装置）で燃焼し，N2とCO2を分離・定量する。

（４）分離したN2とCO2を，インターフェースを通して質量分析計に導入し，炭素の安定同位体比（δ13C）と窒素の安定同位体比（δ15N）を測定する。

これらの処理，測定には，元素分析計-安定同位体比質量分析計システム（EA-IRMS：Thermo Fisher Scientific社製Flash EA1112- DELTA V Advantage ConFlo IV System）を使用する。δ13Cの測定ではIAEAのC6を，δ15Nの測定ではN1を標準試料とする。

（５）　算出方法

（１）δ13C は，試料炭素の13C 濃度（13C/12C）を測定し，基準試料（PDB）からのずれを示した値である。δ15Nは，試料窒素の15N濃度（15N/14N）を測定し，基準試料（大気中の窒素ガス）からのずれを示した値である。いずれも基準値からのずれを千分偏差（‰）で表される。δ13CはAMS装置と質量分析計で測定され，AMS装置による値は表中に（AMS）と注記し（第45表），質量分析計による値は表中に（MASS）と注記する（第48表）。δ15Nは質量分析計による値で，表中に（MASS）と注記する。

（２）14C年代（Libby Age：yrBP）は，過去の大気中14C濃度が一定であったと仮定して測定され，1950年

第45表　測定１ 放射性炭素年代測定分析結果（δ13C補正値）

測定番号	試料名	採取場所	試料形態	処理方法	δ13C (‰) (AMS)			δ13C補正あり					
								Libby Age(yrBP)			pMC(%)		
IAAA-172083	No. 1 掲載NO.490	B4区　Ⅲ層(4056) 口縁部・胴部上位　外面	土器付着炭化物	AaA	-26.74	±	0.40	4,000	±	30	60.80	±	0.20
IAAA-172084	No. 2 掲載NO.417	層不明(5643) 胴部上位　外面	土器付着炭化物	AaA	-25.91	±	0.46	3,930	±	30	61.34	±	0.20
IAAA-172085	No. 3 掲載NO.221	D10区　Ⅱ層　(7475) 口縁部　外面	土器付着炭化物	AaA	-26.06	±	0.35	3,980	±	30	60.93	±	0.20
IAAA-172086	No. 4 掲載NO.257	C10区　Ⅱ層　(5420) 口縁部　外面	土器付着炭化物	AaA	-26.02	±	0.32	4,030	±	30	60.59	±	0.19
IAAA-172087	No. 5 掲載NO.610	C10区　Ⅱ層　(9406) 口縁部・胴部上位　外面	土器付着炭化物	AaA	-26.70	±	0.42	3,920	±	30	61.40	±	0.19
IAAA-172088	No. 6 掲載NO.694	C10区　Ⅱ層　(10430) 口縁部　外面	土器付着炭化物	AaA	-26.02	±	0.32	3,870	±	30	61.78	±	0.20

[IAA登録番号：#8878]

第46表　測定１ 放射性炭素年代測定分析結果（δ13C未補正値，暦年較正用14C年代，較正年代cal BP）

測定番号	δ13C補正なし						暦年較正用(yrBP)			1σ暦年代範囲	2σ暦年代範囲
	Age (yrBP)			pMC (%)							
IAAA-172083	4,030	±	30	60.58	±	0.19	3,997	±	26	"4514calBP - 4474calBP (45.7%) 4445calBP - 4425calBP (22.5%)"	4522calBP - 4419calBP (95.4%)
IAAA-172084	3,940	±	20	61.22	±	0.19	3,926	±	25	"4421calBP - 4385calBP (31.4%) 4369calBP - 4353calBP (13.5%) 4328calBP - 4298calBP (23.3%)"	"4435calBP - 4286calBP (93.4%) 4271calBP - 4257calBP (2.0%)"
IAAA-172085	4,000	±	30	60.80	±	0.19	3,980	±	25	"4510calBP - 4485calBP (35.6%) 4441calBP - 4420calBP (32.6%"	"4520calBP - 4462calBP (53.3%) 4453calBP - 4413calBP (42.1%)"
IAAA-172086	4,040	±	20	60.46	±	0.19	4,025	±	25	"4524calBP - 4508calBP (17.0%) 4485calBP - 4440calBP (51.2%)"	"4567calBP - 4558calBP (2.0%) 4531calBP - 4423calBP (93.4%)"
IAAA-172087	3,950	±	20	61.18	±	0.19	3,918	±	25	"4419calBP - 4382calBP (28.3%) 4372calBP - 4352calBP (15.6%) 4329calBP - 4298calBP (24.3%)"	"4424calBP - 4285calBP (92.1%) 4273calBP - 4256calBP (3.3%)"
IAAA-172088	3,890	±	20	61.65	±	0.19	3,869	±	25	"4402calBP - 4368calBP (16.8%) 4355calBP - 4326calBP (16.3%) 4299calBP - 4242calBP (35.1%)"	"4412calBP - 4232calBP (92.7%) 4197calBP - 4183calBP (2.7%)"

〔参考値〕

第47表　測定１ 放射性炭素年代測定分析結果（δ13C未補正値，暦年較正用14C年代，較正年代cal BC/AD）

測定番号	δ13C補正なし						暦年較正用(yrBP)			1σ暦年代範囲	2σ暦年代範囲
	Age (yrBP)			pMC (%)							
IAAA-172083	4,030	±	30	60.58	±	0.19	3,997	±	26	"2565calBC - 2525calBC (45.7%) 2496calBC - 2476calBC (22.5%)"	2573calBC - 2470calBC (95.4%)
IAAA-172084	3,940	±	20	61.22	±	0.19	3,926	±	25	"2472calBC - 2436calBC (31.4%) 2420calBC - 2404calBC (13.5%) 2379calBC - 2349calBC (23.3%)"	"2486calBC - 2337calBC (93.4%) 2322calBC - 2308calBC (2.0%)"
IAAA-172085	4,000	±	30	60.80	±	0.19	3,980	±	25	"2561calBC - 2536calBC (35.6%) 2492calBC - 2471calBC (32.6%)"	"2571calBC - 2513calBC (53.3%) 2504calBC - 2464calBC (42.1%)"
IAAA-172086	4,040	±	20	60.46	±	0.19	4,025	±	25	"2575calBC - 2559calBC (17.0%) 2536calBC - 2491calBC (51.2%)"	"2618calBC - 2609calBC (2.0%) 2582calBC - 2474calBC (93.4%)"
IAAA-172087	3,950	±	20	61.18	±	0.19	3,918	±	25	"2470calBC - 2433calBC (28.3%) 2423calBC - 2403calBC (15.6%) 2380calBC - 2349calBC (24.3%)"	"2475calBC - 2336calBC (92.1%) 2324calBC - 2307calBC (3.3%)"
IAAA-172088	3,890	±	20	61.65	±	0.19	3,869	±	25	"2453calBC - 2419calBC (16.8%) 2406calBC - 2377calBC (16.3%) 2350calBC - 2293calBC (35.1%)"	"2463calBC - 2283calBC (92.7%) 2248calBC - 2234calBC (2.7%)"

第48表　測定１ 炭素・窒素安定同位体比及び含有量

試料名	δ13C (‰) (MASS)	δ15 N (‰) (MASS)	C含有量（%）	N含有量（%）	C/N重量比	C/Nモル比
No. 1 掲載NO.490	-26.5	11.1	56.7	2.53	22.4	26.1
No. 2 掲載NO.417	-26.5	10.2	43.9	2.78	15.8	18.5
No. 3 掲載NO.221	-26.4	13.4	57.4	3.17	18.1	21.1
No. 4 掲載NO.257	-25.6	10.5	34.2	2.08	16.4	19.2
No. 5 掲載NO.610	-27.1	11.2	49.2	2.53	19.5	22.7
No. 6 掲載NO.694	-26.1	12.6	59.1	3.5	16.9	19.7

なお、第48表に結果を示した炭素と窒素の安定同位体比および含有量の測定は、昭光サイエンス株式会社の協力を得て行った。

を基準年（0yrBP）として遡る年代である。年代値の算出には，Libbyの半減期（5568年）を使用する（Stuiver and Polach 1977）。14C年代はδ13Cによって同位体効果を補正する必要がある。補正した値を第45表に，補正していない値を参考値として第46・47表に示した。14C年代と誤差は，下1桁を丸めて10年単位で表示される。また，14C年代の誤差（±1σ）は，試料の14C年代がその誤差範囲に入る確率が68.2%であることを意味する。

（3）pMC (percent Modern Carbon)は，標準現代炭素に対する試料炭素の14C濃度の割合である。pMCが小さい（14Cが少ない）ほど古い年代を示し，pMCが100以上（14Cの量が標準現代炭素と同等以上）の場合Modernとする。この値もδ13Cによって補正する必要があるため，補正した値を第45表に，補正していない値を参考値として第46・47表に示した。

（4）暦年較正年代とは，年代が既知の試料の14C濃度をもとに描かれた較正曲線と照らし合わせ，過去の14C濃度変化などを補正し，実年代に近づけた値である。暦年較正年代は，14C年代に対応する較正曲線上の暦年代範囲であり，1標準偏差（1σ＝68.2%）あるいは2標準偏差（2σ＝95.4%）で表示される。グラフの縦軸が14C年代，横軸が暦年較正年代を表す。暦年較正プログラムに入力される値は，δ13C補正を行い，下1桁を丸めない14C年代値である。なお，較正曲線および較正プログラムは，データの蓄積によって更新される。また，プログラムの種類によっても結果が異なるため，年代の活用にあたってはその種類とバージョンを確認する必要がある。ここでは，暦年較正年代の計算に，IntCal13データベース（Reimer et al. 2013）を用い，OxCalv4.3較正プログラム（Bronk Ramsey 2009）を使用した。暦年較正年代については，特定のデータベース，プログラムに依存する点を考慮し，プログラムに入力する値とともに参考値として第46・47表，第177・178図に示した。なお，暦年較正年代は，14C年代に基づいて較正（calibrate）された年代値であることを明示するために「cal BP」または「cal BC/AD」という単位で表され，ここでは前者を第46表，第179図に，後者を第47表，第178図に示した。

（6） 測定結果

測定結果を第46～48表，第179・180図に示す。較正年代は，cal BPとcal BC/ADの2通りで算出したが，以下の説明ではcal BPの値で記載し，cal BC/ADの値は図表のみ提示した。

試料の14C年代は，4030±30yrBP（No.4）から3870±30yrBP（No.6）の狭い範囲にまとまっている。暦年較正年代（1σ）は，最も古いNo.4が4524～4440cal BPの間に2つの範囲，最も新しいNo.6が4402～4242cal BPの間に3つの範囲で示される。縄文時代中期末葉から後期前葉頃に相当し（小林編 2008），推定年代の範囲に含まれる。

次に試料の炭素・窒素安定同位体比（δ13C，δ15N）と炭素・窒素含有量比（C/Nモル比）について検討する。これらの結果について，日本列島における食性分析の成果を参照して検討する。今回測定された試料の値を日本列島の生物に関するデータと比較し，横軸にδ13C，縦軸にδ15Nを取ったグラフ（Yoneda et al. 2004に基づいて作成，第180図）と，横軸にδ13C，縦軸にC/Nモル比を取ったグラフ（吉田2006に基づいて作成，第181図）に示した。

測定された試料6点のδ13Cは-27.1‰（No.5）から-25.6‰（No.4）で，C3植物やそれを食べる陸生哺乳類の範囲に含まれる。δ15Nは，10.2‰（No.2）から13.4‰（No.3）で，C3植物や陸生哺乳類よりかなり高く，海生魚類や海生哺乳類等の範囲に位置し，肉食淡水魚にも近い。また，C/Nモル比は18.5（No.2）から26.1（No.1）で，C3植物および哺乳類とC3植物の堅果類等の間に分布する。なお，δ15NがC3植物やシカ，イノシシ等の陸生哺乳類よりも高いことに関しては，この値が食物連鎖の上位に向かって濃縮されることから，陸生の雑食もしくは肉食動物は第181図のグラフには表されていない）由来の窒素が試料に含まれる可能性もある（赤澤ほか1993，吉田2006）。

これらの結果より，今回測定された土器付着炭化物のもとになった食物には，C3植物や雑食・肉食の哺乳類等が含まれる可能性がある。淡水魚や海生生物については，δ13Cがそれを示す値になっていないが，δ15Nがその範囲に当たるため，土器付着炭化物が複数種の食物に由来する場合を考慮すれば，海生生物等が含まれる可能性も否定できない。試料に淡水魚や海生生物由来の炭素が含まれる場合，そのリザーバー効果によって年代値が本来より古く示される可能性がある。ただし，今回得られた年代値は推定年代の範囲に含まれ，かつ良く揃っていることもあり，リザーバー効果の影響は，あるとしても小さいと考えられる。

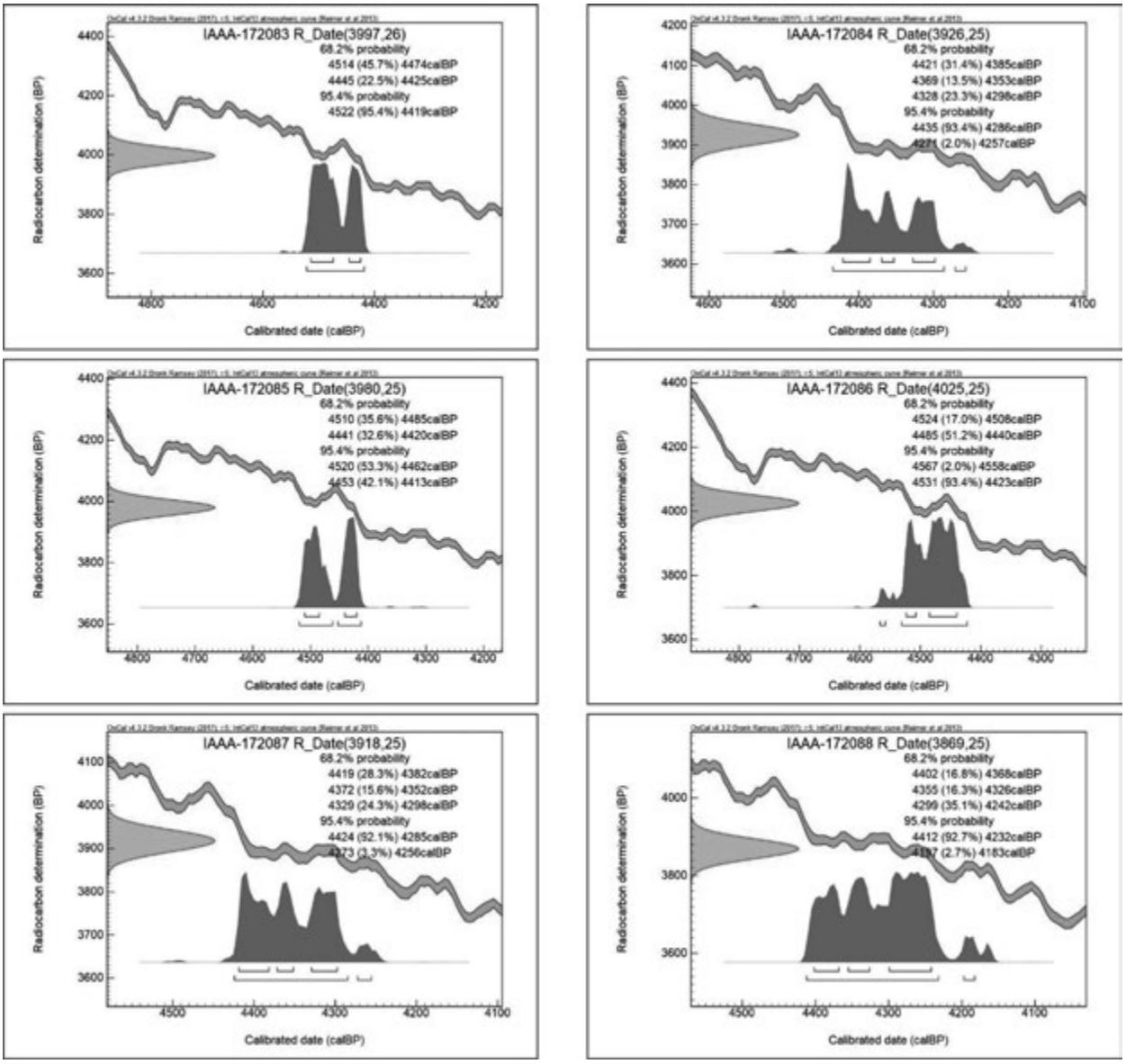
試料の炭素含有率を確認すると，No.4を除く5点は44%（No.2）～59%（No.6）のおおむね適正な値である。No.4は，砂の混入を避けられず，34%という炭化物としてはやや低い値を示した。このため，測定された炭素の由来に若干注意を要するが，年代値に大きく影響するほどではないと考えられる。

文献

赤澤威, 米田穣, 吉田邦夫 1993 北村縄文人骨の同位体食性分析, 中央自動車道長野線埋蔵文化財発掘調査報告書11 ―明科町内― 北村遺跡 本文編（（財）長野県埋蔵文化財センター発掘調査報告書14）, 長野県教育委員会, （財）長野県埋蔵文化財センター, 445-468

Bronk Ramsey, C. 2009 Bayesian analysis of radiocarbon dates, Radiocarbon 51(1), 337-360

小林達雄編 2008 総覧縄文土器, 総覧縄文土器刊行委員会, ア



第177図　測定１ 暦年較正年代グラフ（cal,BP,参考）

ム・プロモーション

Reimer, P.J. et al. 2013 IntCal13 and Marine13 radiocarbon age calibration curves, 0-50,000 years cal BP, Radiocarbon 55(4), 1869-1887

Stuiver, M. and Polach, H.A. 1977 Discussion: Reporting of 14C data, Radiocarbon 19(3), 355-363

吉田邦夫 2006 煮炊きして出来た炭化物の同位体分析，新潟県立歴史博物館研究紀要7, 51-58

３　木佐木原遺跡における放射性炭素年代（AMS測定）および炭素・窒素安定同位体比分析（測定２）

（株）加速器分析研究所

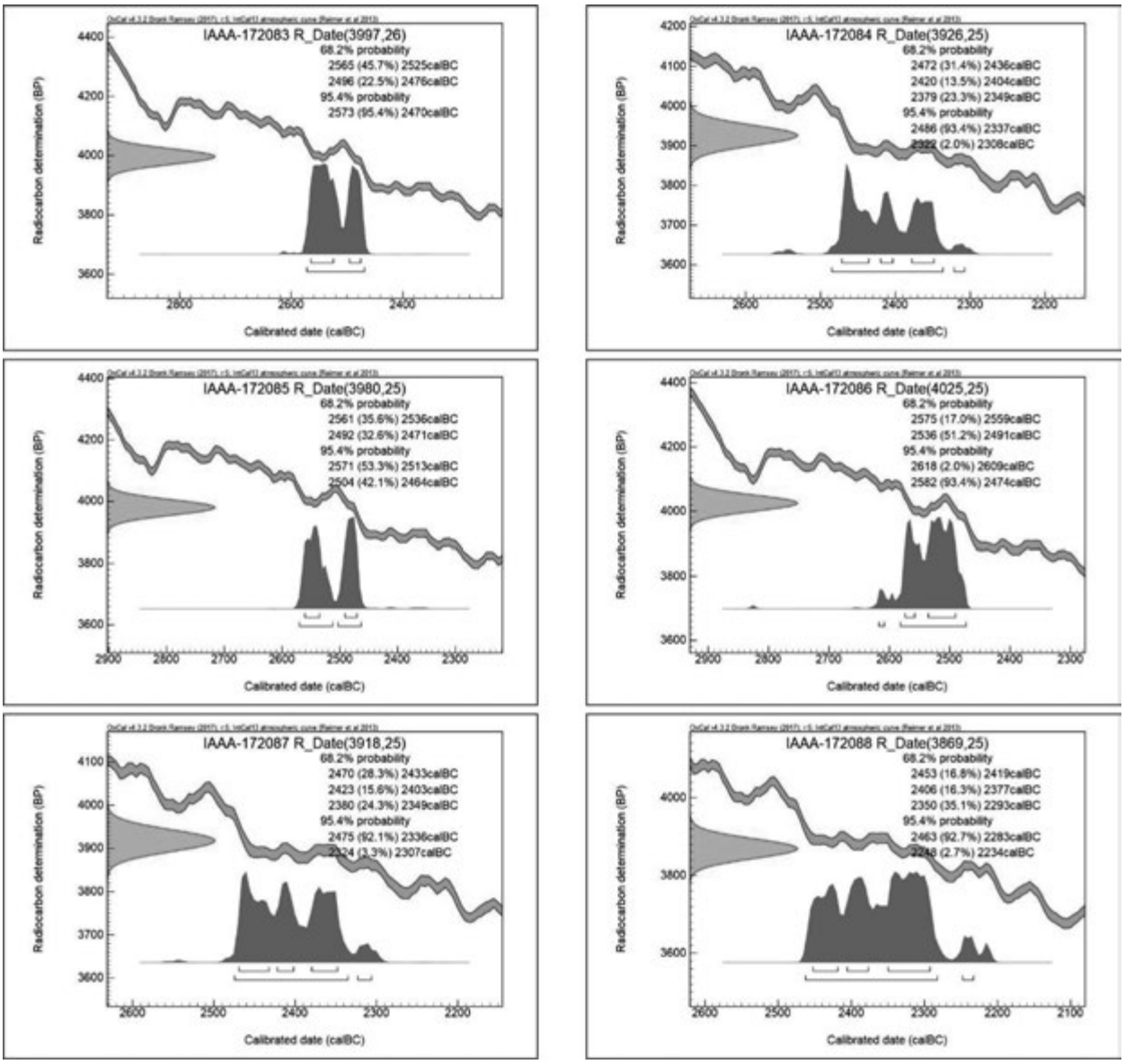
（１）測定対象試料

木佐木原遺跡は，鹿児島県姶良市蒲生町上久徳に所在する。測定対象試料は，II～III層で出土した土器付着炭化物である（第49表）。II～III層は，縄文時代中期から後期と推定されている。測定は４点分析した。結果をを提示する。

（２）化学処理工程

（１）メス・ピンセットを使い，混入物を取り除く。

（２）酸-アルカリ-酸（AAA：Acid Alkali Acid）処理により不純物を化学的に取り除く。その後，超純水で中性になるまで希釈し，乾燥させる。AAA処理における酸処理では，通常1mol/ℓ（1M）の塩酸（HCl）を用



第178図　測定１ 暦年較正年代グラフ（cal,BC/AD,参考）

いる。アルカリ処理では水酸化ナトリウム（NaOH）水溶液を用い，0.001Mから1Mまで徐々に濃度を上げながら処理を行う。アルカリ濃度が1Mに達した時には「AAA」，1M未満の場合は「AaA」と第49表に記載する。AAA処理された試料を2つに分け，一方を年代測定用，他方を安定同位体等分析用の試料とする。

（３）試料を燃焼させ，二酸化炭素（CO2）を発生させる。

（４）真空ラインで二酸化炭素を精製する。

（５）精製した二酸化炭素を，鉄を触媒として水素で還元し，グラファイト（C）を生成させる。

（６）グラファイトを内径1mmのカソードにハンドプレス機で詰め，それをホイールにはめ込み，測定装置に装着する。

（３）測定方法

加速器をベースとした14C-AMS専用装置（NEC社製）を使用し，14Cの計数，13C濃度（13C/12C），14C濃度（14C/12C）の測定を行う。測定では，米国国立標準局（NIST）から提供されたシュウ酸（HOxⅡ）を標準試料とする。この標準試料とバックグラウンド試料の測定も同時に実施する。

（４）炭素・窒素安定同位体比及び含有量測定試料の化学処理工程と測定方法

（１）～（２）の処理を行う。

（３）試料をEA（元素分析装置）で燃焼し，N2とCO2を分離・定量する（第47表）。

（４）分離したN2とCO2を，インターフェースを通して質量分析計に導入し，炭素の安定同位体比（δ13C）と窒素の安定同位体比（δ15N）を測定する。

これらの処理，測定には，元素分析計-安定同位体比質量分析計システム（EA-IRMS：Thermo Fisher Scientific社製Flash EA1112- DELTA V Advantage

第49表　測定２ 放射性炭素年代測定分析結果（δ13C補正値）

測定番号	試料名	採取場所	試料形態	処理方法	δ13C (‰) (AMS)			δ13C補正あり					
								Libby Age(yrBP)			pMC(%)		
IAAA-181993	No. 1 掲載No.376	土器片　C-4区　Ⅲ層　4807 口縁部　外面	土器付着炭化物	AaA	-24.73	±	0.23	4,090	±	30	60.09	±	0.22
IAAA-181994	No. 2 掲載No.171	土器片　B-4区　Ⅲ層　5357 口縁部　外面	土器付着炭化物	AaA	-24.66	±	0.25	4,100	±	30	60.06	±	0.22
IAAA-181995	No. 3 掲載No.295	土器片　B-4区　Ⅲ層　4423 口縁部　外面	土器付着炭化物	AaA	-24.07	±	0.20	3,950	±	30	61.13	±	0.20
IAAA-181996	No. 4 掲載No.239	土器片　C-4区　45　Ⅲ層 口縁部　外面	土器付着炭化物	AaA	-25.37	±	0.23	4,120	±	30	59.87	±	0.21

[IAA登録番号：＃9391]

第50表　測定２ 放射性炭素年代測定分析結果（δ13C補正値）

測定番号	δ13C補正なし						暦年較正用(yrBP)			1σ暦年代範囲	2σ暦年代範囲
	Age　(yrBP)			pMC　(%)							
IAAA-181993	4,090	±	30	60.13	±	0.21	4,091	±	28	"2836calBC - 2816calBC (12.0%) 2669calBC - 2578calBC (56.2%)"	"2859calBC - 2809calBC (19.5%) 2752calBC - 2722calBC (5.9%) 2701calBC - 2569calBC (67.5%) 2516calBC - 2501calBC (2.4%)"
IAAA-181994	4,090	±	30	60.11	±	0.21	4,095	±	28	"2836calBC - 2816calBC (12.7%) 2671calBC - 2579calBC (55.5%)"	"2860calBC - 2809calBC (20.8%) 2753calBC - 2721calBC (7.1%) 2702calBC - 2571calBC (66.1%) 2513calBC - 2503calBC (1.4%)"
IAAA-181995	3,940	±	30	61.25	±	0.20	3,953	±	26	"2563calBC - 2534calBC (18.1%) 2494calBC - 2456calBC (47.1%) 2417calBC - 2410calBC (3.0%)"	"2568calBC - 2521calBC (22.5%) 2499calBC - 2399calBC (62.5%) 2382calBC - 2347calBC (10.4%)"
IAAA-181996	4,130	±	30	59.82	±	0.21	4,121	±	28	"2856calBC - 2811calBC (21.1%) 2747calBC - 2725calBC (10.4%) 2698calBC - 2625calBC (36.7%)"	"2866calBC - 2804calBC (25.6%) 2775calBC - 2579calBC (69.8%)"

第51表　測定２ 炭素・窒素安定同位体比及び含有量

試料名	δ13C (‰) (MASS)	δ15 N (‰) (MASS)	C含有量（%）	N含有量（%）	C/N重量比	C/Nモル比
No. 1 掲載No.376	-26.4	13.7	57.4	3.76	15.3	17.8
No. 2 掲載No.171	-26.5	10.0	9.74	0.557	17.5	20.4
No. 3 掲載No.295	-25.4	11.0	3.62	0.338	10.7	12.5
No. 4 掲載No.239	-25.6	10.7	14.0	0.998	14.1	16.4

注）
* δ15Nについては、試料量が少なく、適正出力が得られなかったため、ばらつきが大きいことが予想される。
** δ15Nについては、試料量が少なく、適正出力が得られなかったため、同量程度の既知試薬にて補正を行っている。このため、通常よりばらつきが大きいことが予想される。
なお、表3に結果を示した炭素と窒素の安定同位体比および含有量の測定は、昭光サイエンス株式会社の協力を得て行った。

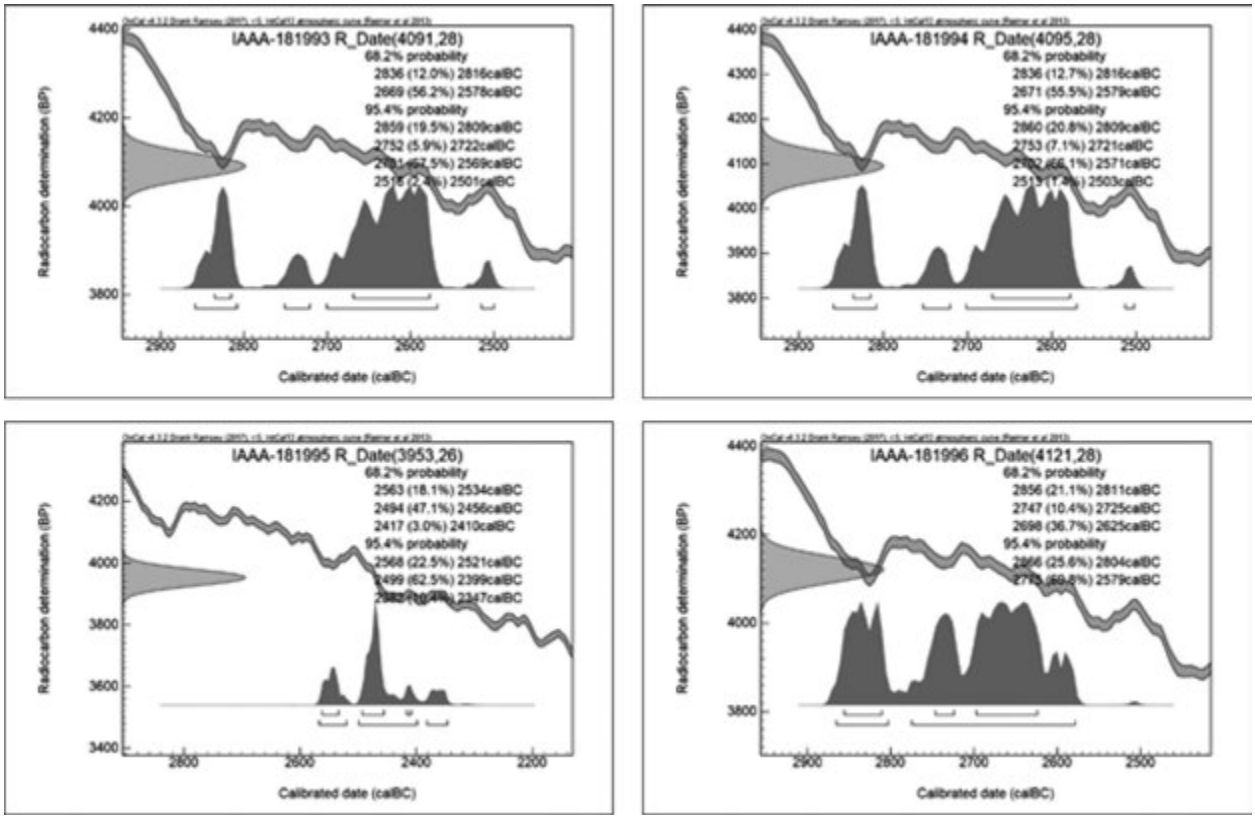
ConFlo IV System）を使用する。δ13Cの測定ではIAEAのC6を，δ15Nの測定ではN1を標準試料とする。

（５）　算出方法

（１）δ13C は，試料炭素の13C 濃度（13C/12C）を測定し，基準試料（PDB）からのずれを示した値である。δ15Nは，試料窒素の15N濃度（15N/14N）を測定し，基準試料（大気中の窒素ガス）からのずれを示した値である。いずれも基準値からのずれを千分偏差（‰）で表される。δ13CはAMS装置と質量分析計で測定され，AMS装置による値は表中に（AMS）と注記し（第49表），質量分析計による値は表中に（MASS）と注記する（第51表）。δ15Nは質量分析計による値で，表中に（MASS）と注記する（第51表）。

（２）14C年代（Libby Age：yrBP）は，過去の大気中14C濃度が一定であったと仮定して測定され，1950年を基準年（0yrBP）として遡る年代である。年代値の算出には，Libbyの半減期（5568年）を使用する（Stuiver and Polach 1977）。14C年代はδ13Cによって同位体効果を補正する必要がある。補正した値を第49表に，補正していない値を参考値として第50表に示した。14C年代と誤差は，下1桁を丸めて10年単位で表示される。また，14C年代の誤差（±1σ）は，試料の14C年代がその誤差範囲に入る確率が68.2%であることを意味する。

（３）pMC (percent Modern Carbon)は，標準現代炭素に対する試料炭素の14C濃度の割合である。pMCが小さい（14Cが少ない）ほど古い年代を示し，pMCが100以上（14Cの量が標準現代炭素と同等以上）の場合Modernとする。この値もδ13Cによって補正する必要があるため，補正した値を第49表に，補正していない値を参考値として第50表に示した。



第179図　測定２ 暦年較正年代グラフ(cal,BC/AD,参考)

（４）暦年較正年代とは，年代が既知の試料の14C濃度をもとに描かれた較正曲線と照らし合わせ，過去の14C濃度変化などを補正し，実年代に近づけた値である。暦年較正年代は，14C年代に対応する較正曲線上の暦年代範囲であり，1標準偏差（1σ＝68.2%）あるいは2標準偏差（2σ＝95.4%）で表示される。グラフの縦軸が14C年代，横軸が暦年較正年代を表す。

暦年較正プログラムに入力される値は，δ13C補正を行い，下1桁を丸めない14C年代値である。なお，較正曲線および較正プログラムは，データの蓄積によって更新される。また，プログラムの種類によっても結果が異なるため，年代の活用にあたってはその種類とバージョンを確認する必要がある。

ここでは，暦年較正年代の計算に，IntCal13データベース（Reimer et al. 2013）を用い，OxCalv4.3較正プログラム（Bronk Ramsey 2009）を使用した。暦年較正年代については，特定のデータベース，プログラムに依存する点を考慮し，プログラムに入力する値とともに参考値として第49・50表，第181図に示した。なお，暦年較正年代は，14C年代に基づいて較正（calibrate）された年代値であることを明示するために「cal BP」または「cal BC/AD」という単位で表され，ここでは前者を第49表，第181図に，後者を第50表，第181図に示した。

（６）　測定結果２

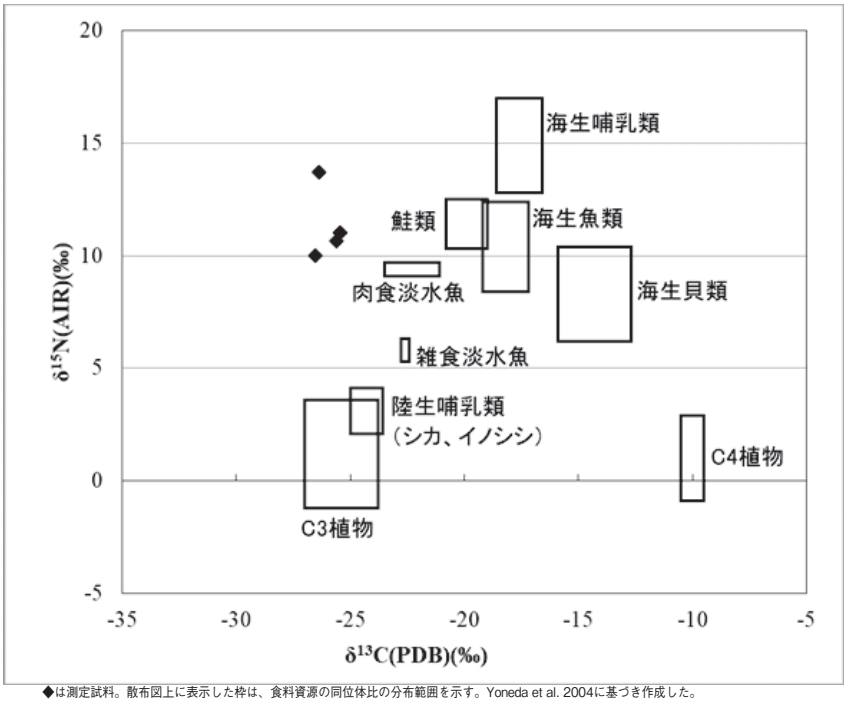
測定結果を第49～51表，第179図に示す。

試料の14C年代は，4120±30yrBP（試料4）から3950±30yrBP（試料3）の狭い範囲にまとまっている。暦年較正年代（1σ）は，最も古い試料4が2856～2625cal BCの間に3つの範囲，最も新しい試料3が2563～2410cal BCの間に3つの範囲で示される。縄文時代中期中葉から後期初頭頃に相当する（小林2017，小林編 2008）。

次に試料の炭素・窒素安定同位体比（δ13C，δ15N）と炭素・窒素含有量比（C/Nモル比）について検討する。これらの結果について，日本列島における食性分析の成果を参照して検討する。今回測定された試料の値を日本列島の生物に関するデータと比較し，横軸にδ13C，縦軸にδ15Nを取ったグラフ（Yoneda et al. 2004に基づいて作成，第180図）と，横軸にδ13C，縦軸にC/Nモル比を取ったグラフ（吉田2006に基づいて作成，第181図）に示した。

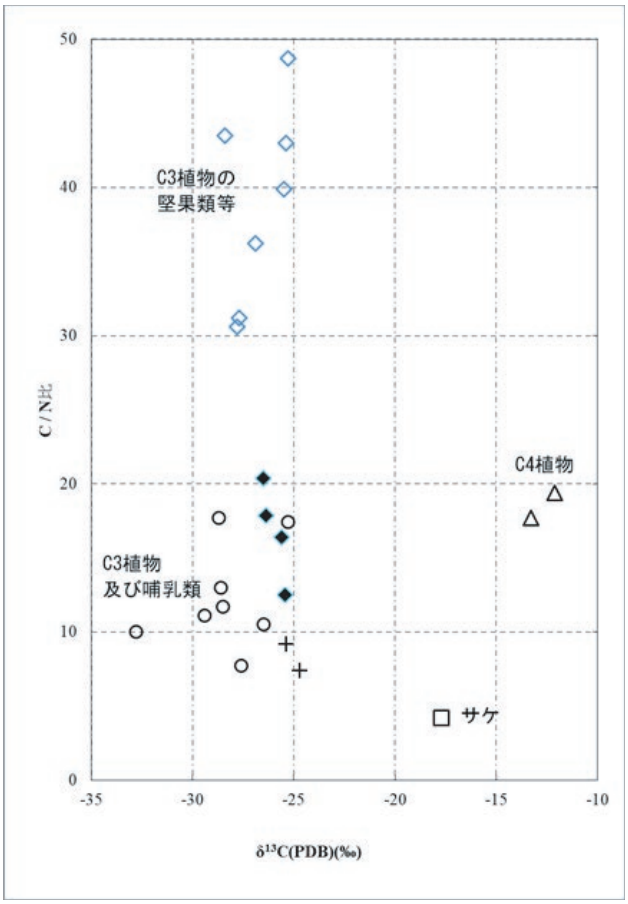
測定された試料4点のδ13Cは-26.5‰（試料2）から-25.4‰（試料3-②）で，C3植物やそれを食べる陸生哺乳類の範囲に含まれる。δ15Nは，10.0‰（試料2）から13.7‰（試料1）で，C3植物や陸生哺乳類よりかなり高く，海生魚類や海生哺乳類等の範囲に位置し，肉食淡水魚にも近い。

また，C/Nモル比は12.5（試料3）から20.4（試料2）



◆は測定試料。散布図上に表示した枠は、食料資源の同位体比の分布範囲を示す。Yoneda et al. 2004に基づき作成した。

第180図　炭素・窒素安定同位体比グラフ（参考）



グラフのC/N比はモル比。
◆は測定試料、その他は現生動植物の炭化試料。現生動植物試料　のデータは吉田2006による。また吉田2006、國木田ほか2010を参考に食料資源の大別を示した。
◇はC3植物の堅果類等、○は堅果類以外のC3植物、＋はC3植物を食べる哺乳類、□はサケ、△はC4植物。

なお、吉田2006によると、C3植物の堅果類等（測定データはトチ、同（木灰）、ミズナラ、ドングリ、同（粉）、カチグリ、ヤマユリ、ジャガイモ、以下他の食料資源も同様に示す）のC/N比は30～50、他のC3植物（エゴマ、アズキ、サトイモ、ヤマイモ、ナガイモ、ノビル、マムシグサ、クワイ）及び哺乳類（タヌキ、クマ）は7～20、C4植物（アワ）も堅果類以外のC3植物と同程度とされる。また、サケは海産魚類の範囲に属するものとして示されている。

第181図　炭素・窒素安定同位体比グラフ（参考）

で，C3植物および哺乳類の範囲か，それより若干高い。なお，δ15NがC3植物やシカ，イノシシ等の陸生哺乳類よりも高いことに関しては，この値が食物連鎖の上位に向かって濃縮されることから，陸生の雑食もしくは肉食動物（第181図のグラフには表されていない）由来の窒素が試料に含まれる可能性もある（赤澤ほか1993，吉田2006）。

これらの結果より，今回測定された土器付着炭化物のもとになった食物には，C3植物や雑食・肉食の哺乳類等が含まれる可能性がある。淡水魚や海生生物については，δ13Cがそれを示す値になっていないが，δ15Nがその範囲に当たるため，土器付着炭化物が複数種の食物に由来する場合を考慮すれば，海生生物等が含まれる可能性も否定できない。試料に淡水魚や海生生物由来の炭素が含まれる場合，そのリザーバー効果によって年代値が本来より古く示される可能性がある。ただし，今回得られた年代値は4点の間でおおむね揃っていることもあり，リザーバー効果の影響は，あるとしても小さいと考えられる。

試料の炭素含有率を確認すると，試料1は57.4％の適正な値である。他の3点の炭素含有率は，炭化物としては低い値となっている。3点とも黒味が薄く，試料4については胎土の混入が避けられなかった。このため，試料1以外の3点については，測定された炭素の由来に注意を要する。

文献

赤澤威，米田穣，吉田邦夫 1993 北村縄文人骨の同位体食性分析，中央自動車道長野線埋蔵文化財発掘調査報告書11　―明科町内―　北村遺跡　本文編（（財）長野県埋蔵文化財センター発掘調査報告書14），長野県教育委員会，（財）長野県埋蔵文化財センター，445-468

Bronk Ramsey, C. 2009 Bayesian analysis of radiocarbon dates, Radiocarbon 51(1), 337-360

小林達雄編 2008 総覧縄文土器，総覧縄文土器刊行委員会，アム・プロモーション

Reimer, P.J. et al. 2013 IntCal13 and Marine13 radiocarbon age calibration curves, 0-50,000 years cal BP, Radiocarbon 55(4), 1869-1887

Stuiver, M. and Polach, H.A. 1977 Discussion: Reporting of 14C data, Radiocarbon 19(3), 355-363

吉田邦夫 2006 煮炊きして出来た炭化物の同位体分析，新潟県立歴史博物館研究紀要7, 51-58

第２節　樹種同定・植物珪酸体分析

１　木佐木原遺跡における樹種同定

株式会社 古環境研究センター

（１）はじめに

木材は，セルロースを骨格とする木部細胞の集合体であり，解剖学的形質の特徴から樹種の同定が可能である。木材は花粉などの微化石と比較して移動性が小さいことから，比較的近隣の森林植生の推定が可能であり，遺跡から出土したものについては木材の利用状況や流通を探る手がかりとなる。

（２）試料

試料は，Ｂ-５区のSI01（竪穴建物跡）およびＣ-３区のSL01（炉跡）から採取された炭化材10点である。試料の詳細を第52表に示す。

（３）方法

以下の手順で樹種同定を行った。

１）試料を洗浄して付着した異物を除去

２）試料を割折して，木材の基本的三断面（横断面：木口，　放射断面：柾目，接線断面：板目）を作成

３）落射顕微鏡（40～1000倍）で観察し，木材の解剖学的形質や現生標本との対比で樹種を同定

（４）結果

第52表に同定結果を示し，主要な分類群の顕微鏡写真を示す。以下に同定根拠となった木材構造の特徴を記す。

１）マツ属複維管束亜属　*Pinus subgen. Diploxylon*

マツ科　　試料番号５

仮道管，放射柔細胞，放射仮道管および垂直，水平樹脂道などから構成される針葉樹材である。早材から晩材への移行は急な箇所と緩やか箇所があり垂直樹脂道が見られる。放射断面では放射柔細胞の分野壁孔は窓状である。放射仮道管の内壁には鋸歯状肥厚が存在する。接線断面では放射組織が単列の同性放射組織型であるが，水平樹脂道を含むものは紡錘形を呈する。

以上の特徴からマツ属複維管束亜属に同定される。マツ属複維管束亜属にはクロマツとアカマツがあり，どちらも北海道南部，本州，四国，九州に分布する常緑高木である。材はいずれも水湿によく耐え，広く用いられる。

２）スダジイ　*Castanopsis sieboldii Hatusima*

ブナ科　試料番号１，７，８，９

年輪のはじめに中型から大型の道管がやや疎に数列配列する環孔材である。晩材部で小道管が火炎状に配列する。道管の穿孔は単穿孔で，放射組織は平伏細胞からなる単列の同性放射組織型を示す。

以上の特徴からスダジイに同定される。スダジイは本州（福島県，新潟県佐渡以南），四国，九州に分布する常緑の高木で，高さ20m，径1.5mに達する。材は耐朽・保存性がやや低く，建築，器具などに用いられる。

第52表　樹種同定結果

試料番号	試料名	結果（学名／和名）	
1	B-5区 SI01炭化木2	*Castanopsis sieboldii* Hatusima	スダジイ
2	B-5区 SI01炭化木14	Quercus subgen. *Cyclobalanopsis*	コナラ属アカガシ亜属
3	B-5区 SI01炭化木15	Quercus subgen. *Cyclobalanopsis*	コナラ属アカガシ亜属
4	B-5区 SI01炭化木22	*Castanopsis cuspidata* Schottky	ツブラジイ
5	B-5区 SI01炭化木29	Pinus subgen. *Diploxylon*	マツ属複維管束亜属
6	B-5区 SI01炭化木35	*Castanopsis cuspidata* Schottky	ツブラジイ
7	B-5区 SI01炭化木36	*Castanopsis sieboldii* Hatusima	スダジイ
8	B-5区 SI01炭化木44	*Castanopsis sieboldii* Hatusima	スダジイ
9	B-5区 SI01炭化木49	*Castanopsis sieboldii* Hatusima	スダジイ
10	C-3区 SL01炭化木	Quercus subgen. *Cyclobalanopsis*	コナラ属アカガシ亜属

３）ツブラジイ　*Castanopsis cuspidata Schottky*

ブナ科　　試料番号４，６

年輪のはじめに中型から大型の道管がやや疎に数列配列する環孔材である。晩材部で小道管が火炎状に配列する。道管の穿孔は単穿孔で，放射組織は平伏細胞からなる同性放射組織型であり，単列のものと集合放射組織が存在する。

以上の特徴から，ツブラジイに同定される。ツブラジイは関東以南の本州，四国，九州に分布する常緑の高木で，高さ20m，径1.5mに達する。材は耐朽性，保存性低く，建築材などに用いられる。

４）コナラ属アカガシ亜属

***Quercus subgen. Cyclobalanopsis*　ブナ科**

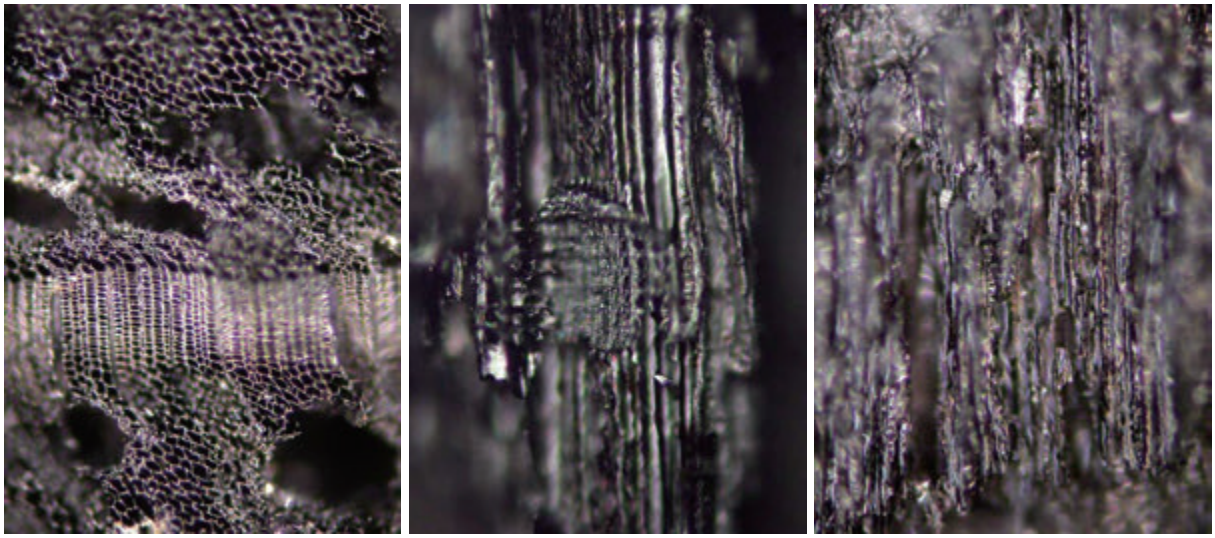
試料番号２，３，10

中型から大型の道管が１～数列幅で年輪界に関係なく放射方向に配列する放射孔材である。道管は単独で複合しない。道管の穿孔は単穿孔で，放射組織は平伏細胞からなる同性放射組織型であり，単列のものと大型の広放射組織からなる複合放射組織である。

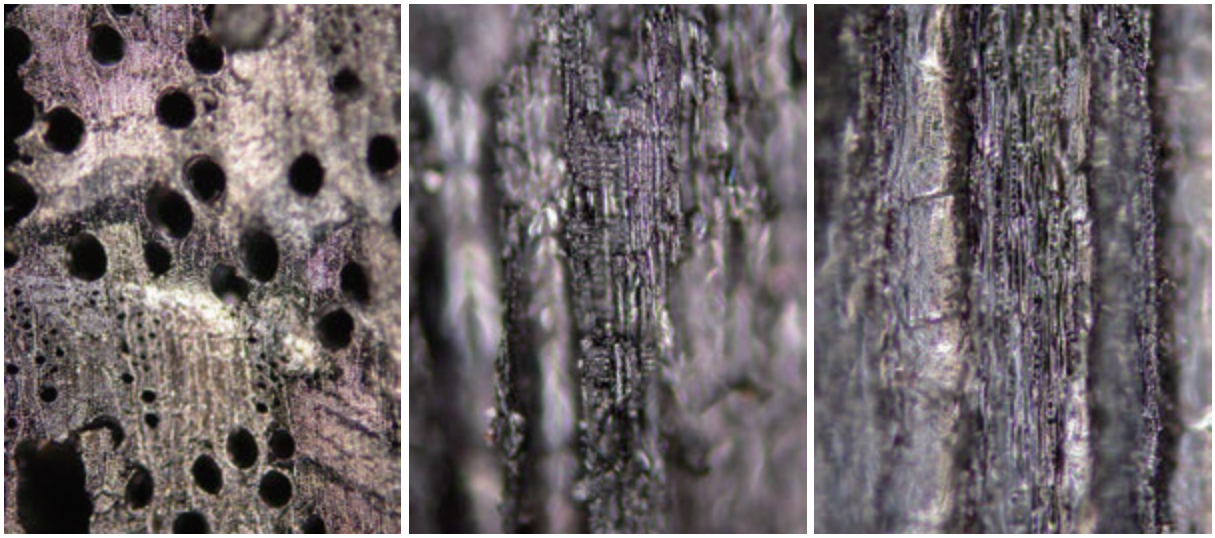
以上の特徴からコナラ属アカガシ亜属に同定される。コナラ属アカガシ亜属にはアカガシ，イチイガシ，アラカシ，シラカシなどがあり，本州，四国，九州に分布する常緑高木で，高さ30m，径1.5m以上に達する。材は堅硬で強靭であり，弾力性が強く耐湿性も高い。特に農耕具に用いられる。

（５）　所見

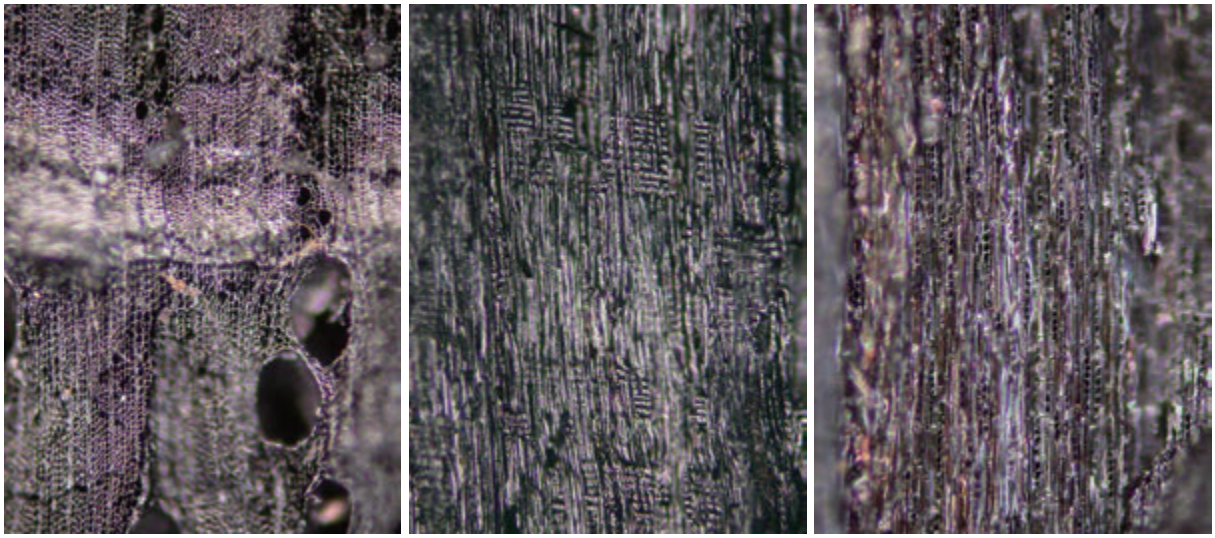
Ｂ-５区のSI01およびＣ-３区のSL01から採取された炭化材10点について樹種同定を行った。その結果，スダジ



横断面　0.1mm　放射断面　0.1mm　接線断面　0.1mm
マツ属複維管束亜属　試料番号５　B-5区SI01炭化木㉙

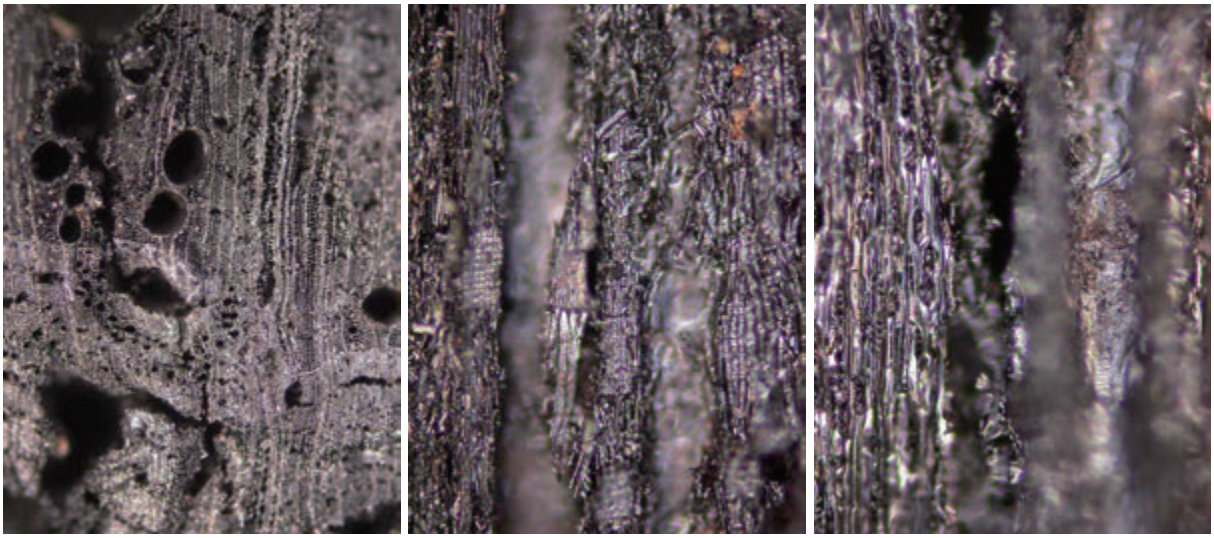


横断面　0.1mm　放射断面　0.1mm　接線断面　0.1mm
スダジイ　試料番号１　B-5区SI01炭化木②

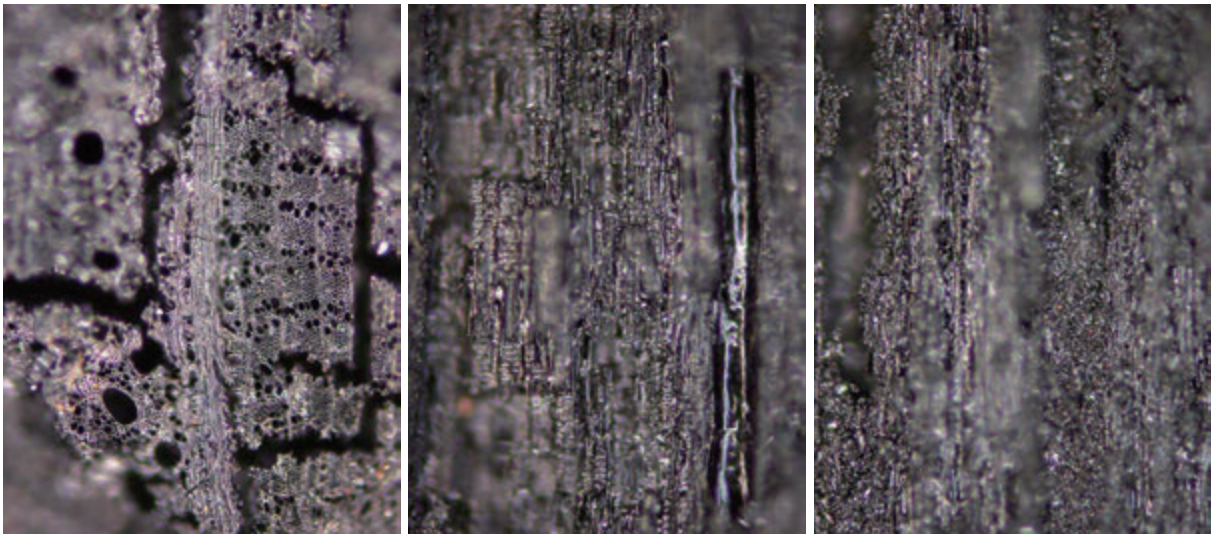


横断面　0.1mm　放射断面　0.1mm　接線断面　0.1mm
スダジイ　試料番号９　B-5区SI01炭化木㊾

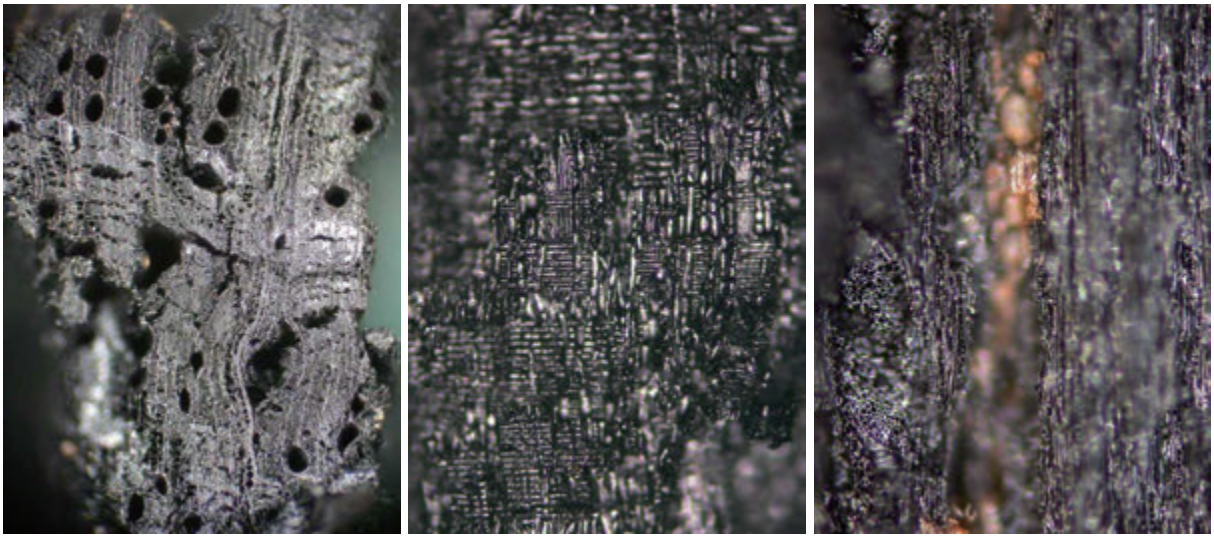
第182図　樹種同定結果（木材１）



横断面 ― 0.1mm　放射断面 ― 0.1mm　接線断面 ― 0.1mm
ツブラジイ 試料番号４ B-5区SI01炭化木㉒



横断面 ― 0.1mm　放射断面 ― 0.1mm　接線断面 ― 0.1mm
コナラ属アカガシ亜属 試料番号２ B-5区SI01炭化木⑭



横断面 ― 0.1mm　放射断面 ― 0.1mm　接線断面 ― 0.1mm
コナラ属アカガシ亜属 試料番号３ B-5区SI01炭化木⑮

第183図　樹種同定結果（木材２）

イ４点，コナラ属アカガシ亜属３点，ツブラジイ２点，マツ属複維管束亜属１点が同定された。

スダジイとツブラジイは，やや重硬で耐朽・保存性は低い材であるが，九州では古くからスダジイを含むシイ属を多く利用する傾向にあり，建築部材などに広く利用されている。コナラ属アカガシ亜属は，堅硬な材で建築材などに広く用いられるが，弥生時代以降の西南日本では農耕具を中心に用いられることが多い。マツ属複維管束亜属は，重硬で水湿に良く耐え腐りにくい材である。マツ類の木材は樹脂を多く含み，二次林種で成長が早いことから，燃料材（薪）として極めて有用な材である。

スダジイ，ツブラジイ，コナラ属アカガシ亜属は，温帯下部の暖温帯に分布する照葉樹林の主要構成要素であり，マツ属複維管束亜属は温帯を中心に広く分布する常緑針葉樹である。いずれの樹種も当時の遺跡周辺もしくは近隣の地域で採取可能であったと考えられる。

２　木佐木原遺跡における植物珪酸体分析

株式会社 古環境研究センター

１　はじめに

植物珪酸体は，植物の細胞内に珪酸（SiO２）が蓄積したもので，植物が枯れたあともガラス質の微化石（プラント・オパール）となって土壌中に半永久的に残っている。植物珪酸体分析は，この微化石を遺跡土壌などから検出して同定・定量する方法であり，イネをはじめとするイネ科栽培植物の同定および古植生・古環境の推定などに応用されている（杉山，2000，2010）。また，イネの消長を検討することで埋蔵水田跡の検証や探査も可能である（藤原・杉山，1984）

２　試料

分析試料は，D-11区南壁のⅡc層～シ層から採取された№１～№12，およびB-5区北壁のⅡa層～Ⅶ層から採取された№13～№20の計20点である。試料採取箇所を第184図および分析結果の柱状図（写真）（第185・186図）に示す。

３　分析法

植物珪酸体の抽出と定量は，ガラスビーズ法（藤原，1976）を用いて，次の手順で行った。

（１）試料を105℃で24時間乾燥（絶乾）

（２）試料約１gに対し直径約40μmのガラスビーズを約0.02g添加（0.1mgの精度で秤量）

（３）電気炉灰化法（550℃・６時間）による脱有機物処理

（４）超音波水中照射（300W・42KHz・10分間）による分散

（５）沈底法による20μm以下の微粒子除去

（６）封入剤（オイキット）中に分散してプレパラート作成

（７）検鏡・計数

同定は，400倍の偏光顕微鏡下で，おもにイネ科植物の機動細胞に由来する植物珪酸体を対象として行った。計数は，ガラスビーズ個数が400以上になるまで行った。これはほぼプレパラート１枚分の精査に相当する。試料１gあたりのガラスビーズ個数に，計数された植物珪酸体とガラスビーズ個数の比率をかけて，試料１g中の植物珪酸体個数を求めた。

また，おもな分類群についてはこの値に試料の仮比重（1.0と仮定）と各植物の換算係数（機動細胞珪酸体１個あたりの植物体乾重）をかけて，単位面積で層厚１cmあたりの植物体生産量を算出した。これにより，各植物の繁茂状況や植物間の占有割合などを具体的にとらえることができる（杉山，2000）。タケ亜科については，植物体生産量の推定値から各分類群の比率を求めた。

４　分析結果

(１)分類群

検出された植物珪酸体の分類群は以下のとおりである。これらの分類群について定量を行い，その結果を第53表および第185図，第186図に示した。主要な分類群について顕微鏡写真を示す（第187図）。

〔イネ科〕

イネ，ヨシ属，キビ族型，ススキ属型（おもにススキ属），ウシクサ族Ａ（チガヤ属など），ウシクサ族Ｂ（大型）

〔イネ科ータケ亜科〕

メダケ節型（メダケ属メダケ節・リュウキュウチク節，ヤダケ属），ネザサ節型（おもにメダケ属ネザサ節），チマキザサ節型（ササ属チマキザサ節・チシマザサ節など），ミヤコザサ節型（ササ属ミヤコザサ節など），マダケ属型（マダケ属，ホウライチク属），未分類等

〔イネ科ーその他〕

表皮毛起源，棒状珪酸体（おもに結合組織細胞由来），未分類等

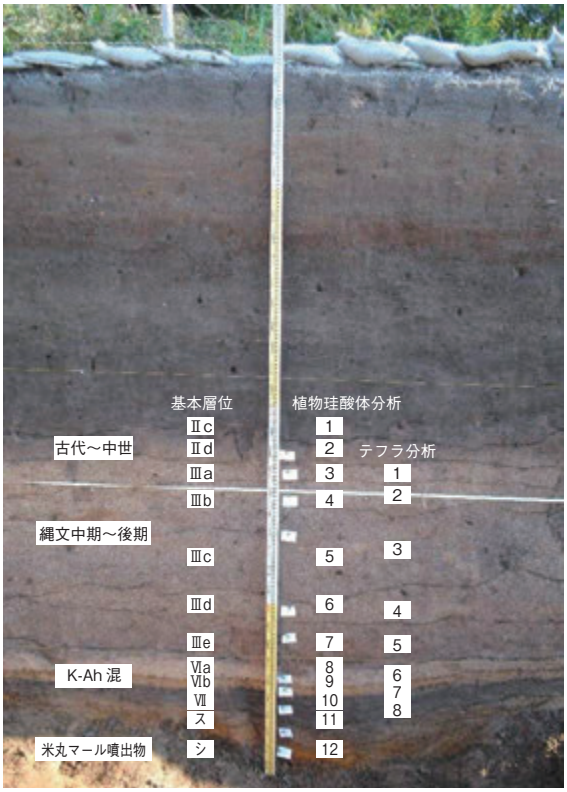
〔樹木〕

ブナ科（シイ属），クスノキ科，マンサク科（イスノキ属），アワブキ科，はめ絵パズル状（ブナ科ブナ属など），その他

(２)植物珪酸体の検出状況

１　D-11区南壁

下位のシ層（試料12）では，ススキ属型，ウシクサ族Ａなどが検出されたが，いずれも少量である。ス層（試料11）からⅦ層（試料10）にかけては，ススキ属型が多量に検出され，ウシクサ族Ａも比較的多く検出された。また，試料10ではヨシ属，キビ族型なども認められた。ススキ属型の密度は，試料11では43,900個/g，試料10では74,400個/gとかなり高い値である。K-Ah混のⅥb層（試料９）からⅥa層（試料８）にかけては，各分類群とも大幅に減少し，ヨシ属は見られなくなっている。また，マンサク科（イスノキ属）などの樹木起源が



D-11 区　南壁土層断面



B-5 区　北壁土層断面

第184図　試料採取箇所

出現している。樹木は一般に植物珪酸体の生産量が比較的低いことから，少量が検出された場合でも過大に評価する必要がある（杉山，1999）。なお，すべての樹種で植物珪酸体が形成されるわけではなく，落葉樹では形成されないものも多い（近藤・佐瀬，1986）。Ⅲe層（試料７）からⅢd層（試料６）にかけては，ススキ属型が比較的多く検出され，ウシクサ族Ａ，ネザサ節型，チマキザサ節型，ミヤコザサ節型，および樹木起源のブナ科（シイ属），クスノキ科，マンサク科（イスノキ属）なども認められた。Ⅲc層（試料５）からⅢa層（試料３）にかけてはススキ属型などが減少し，アワブキ科が出現している。また，試料３ではイネが出現している。イネの密度は600個/gと低い値であり，稲作跡の検証や探査を行う場合の判断基準としている5,000個/g（状況により3,000個/gとする場合もある）を下回っている。Ⅱd層（試料２）からⅡc層（試料１）にかけては，イネが増加し，メダケ節型，マダケ属型が出現している。イネの密度は，試料２では4,500個/gと比較的高い値であり，試料１では2,500個/gと比較的低い値である。おもな分類群の推定生産量によると，おおむねススキ属型が優勢であり，とくにス層からⅦ層にかけてはススキ属が卓越している。また，Ⅱd層ではイネも比較的多くなっている。

２　B-5区北壁

下位のⅦ層（試料20）からⅥ層（試料19）にかけては，ススキ属型，ウシクサ族Ａが比較的多く検出され，ヨシ属，クスノキ科，樹木（その他）なども認められた。Ⅴ層（試料18）からⅣa層（試料16）にかけては，ススキ属型が増加し，キビ族型，ブナ科（シイ属），マンサク科（イスノキ属）などが出現している。Ⅲ層（試料15）ではススキ属型がやや減少し，Ⅱb層（試料14）ではメダケ節型，ネザサ節型，マダケ属型，Ⅱa層（試料13）ではイネ，ムギ類（穎の表皮細胞）が出現している。イネの密度は3,700個/gと比較的高い値である。ムギ類（穎の表皮細胞）の密度は500個/gと低い値であるが，穎（籾殻）が栽培地に残される確率は低いことから，少量が検出された場合でもかなり過大に評価する必要がある。おもな分類群の推定生産量によると，おおむねススキ属型が優勢であり，Ⅱa層ではイネも比較的多くなっている。

５　植物珪酸体分析から推定される植生と環境

（１）D-11区南壁

下位のス層からⅦ層にかけては，ススキ属が繁茂してウシクサ族（チガヤ属など），キビ族なども生育する日当たりの良い草原的な環境であったと考えられ，Ⅶ層の時期にはヨシ属が生育するような湿潤なところも見られたと推定される。その後，Ⅵb層からⅥa層にかけては，鬼界アカホヤ火山灰（K-Ah，約7,300年前）が堆積した影響などで，ススキ属などのイネ科草本類は大幅に減少

したと考えられる。

縄文時代中期後半～後期初頭とされるⅢe層からⅢd層にかけては，ススキ属を主体として，ウシクサ族，メダケ属（おもにネザサ節）なども見られる草原的な環境であったと考えられ，遺跡周辺にはシイ属，クスノキ科，イスノキ属などの照葉樹林が分布していたと推定される。Ⅲc層からⅢa層にかけても，おおむね同様の状況であったと考えられるが，植物珪酸体密度が減少していることから，土層の堆積速度が速かったことなど何らかの影響が想定される。

古代～中世とされるⅡd層からⅡc層にかけては，調査地点もしくはその近辺で稲作が行われていたと推定される。遺跡の立地や周辺の植生などから，ここで行われた稲作は畑作の系統（陸稲）であった可能性が考えられる。また，Ⅱc層ではマダケ属が出現しているが，マダケ属にはマダケやモウソウチクなど有用なものが多く，建築材や生活用具，食用などとしての利用価値が高い。植物珪酸体分析でマダケ属が認められるのは，一般に中世以降である。

（2）B-5区北壁

下位のⅦ層からK-Ah混のⅥ層にかけては，ススキ属やウシクサ族（チガヤ属など）が生育する日当たりの良い草原的な環境であったと考えられ，部分的にヨシ属が生育するような湿潤なところも見られたと推定される。Ⅴ層から縄文時代中期後半～後期初頭とされるⅢ層にかけては，ススキ属，ウシクサ族をはじめ，キビ族なども生育する草原的な環境であったと考えられ，遺跡周辺にはシイ属，クスノキ科，イスノキ属などの照葉樹林が分布していたと推定される。

古代～中世とされるⅡb層からⅡa層にかけても，おおむね同様の状況であったと考えられるが，この時期にはマダケ属が見られるようになり，Ⅱa層の時期には調査地点もしくはその近辺で稲作をはじめムギ類の栽培も行われていたと推定される。

文献

伊東隆夫・山田昌久（2012）木の考古学．出土木製品用材データベース．海青社，449p.

島地 謙・佐伯 浩・原田 浩・塩倉高義・石田茂雄・重松頼生・須藤彰司（1985）木材の構造．文永堂出版，290p.

近藤錬三・佐瀬隆（1986）植物珪酸体，その特性と応用．第四紀研究，25，p.31-63.

杉山真二・藤原宏志（1986）機動細胞珪酸体の形態によるタケ亜科植物の同定－古環境推定の基礎資料として－．考古学と自然科学，19，p.69-84.

島地 謙・伊東隆夫（1988）日本の遺跡出土木製品総覧．雄山閣，296p.

杉山真二（1999）植物珪酸体分析からみた九州南部の照葉樹林発達史．第四紀研究，38(2)，p.109-123.

杉山真二（2000）植物珪酸体（プラント・オパール）．考古学と植物学．同成社，p.189-213.

杉山真二（2009）植物珪酸体と古生態．人と植物の関わりあい④．大地と森の中で－縄文時代の古生態系－．縄文の考古学Ⅲ．小杉康ほか編．同成社，p.105-114.

中村俊夫（2000）放射性炭素年代測定法の基礎．日本先史時代の14C年代編集委員会編「日本先史時代の14C年代」．日本第四紀学会，p.3-20.

中村俊夫（2003）放射性炭素年代測定法と暦年代較正．環境考古学マニュアル．同成社，p.301-322.

藤原宏志（1976）プラント・オパール分析法の基礎的研究(1)－数種イネ科植物の珪酸体標本と定量分析法－．考古学と自然科学，9，p.15-29.

藤原宏志・杉山真二（1984）プラント・オパール分析法の基礎的研究(5)－プラント・オパール分析による水田址の探査－．考古学と自然科学，17，p.73-85.

町田洋・新井房夫（1976）広域に分布する火山灰-姶良Tn火山灰の発見とその意義．科学，46，p.339-347.

町田洋・新井房夫（2003）新編火山灰アトラス－日本列島とその周辺－．東京大学出版会，336p.

山田昌久（1993）日本列島における木質遺物出土遺跡文献集成－用材から見た人間・植物関係史．植生史研究特別１号．植生史研究会，242p.

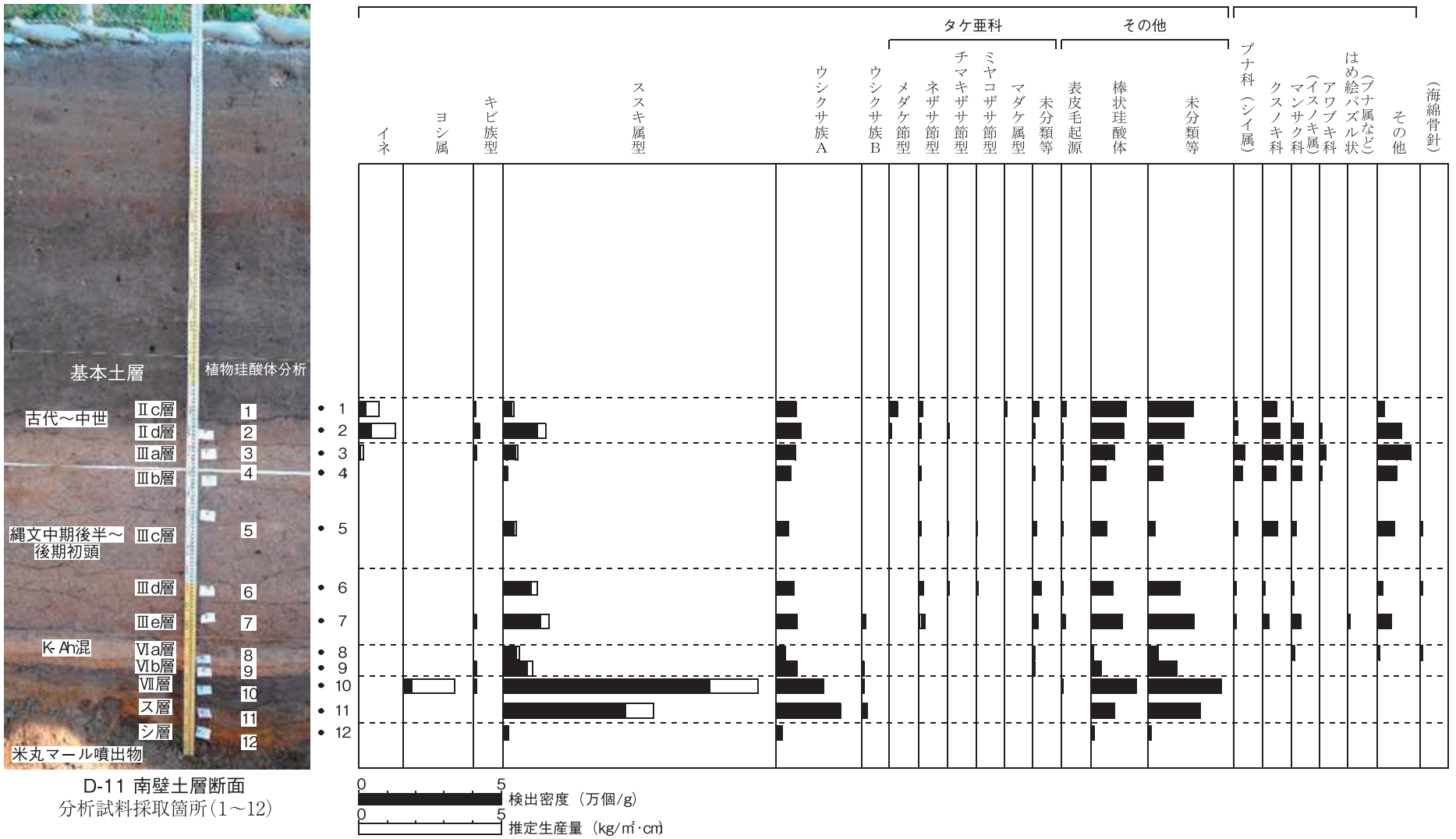
横山卓雄・檀原 徹・山下透（1986）温度変化型屈折率測定装置による火山ガラスの屈折率測定．第四紀研究，25，p.21-30.

横山卓雄・山下透（1986）温度変化型屈折率測定装置（RIMS-86）による斜方輝石・角閃石の屈折率測定の試み．京都大学教養部報告（九十九地学），21，p.30-36.

Bronk Ramsey, C. (2009) Bayesian Analysis of Radiocarbon dates. Radiocarbon, 51(1), 337-360.

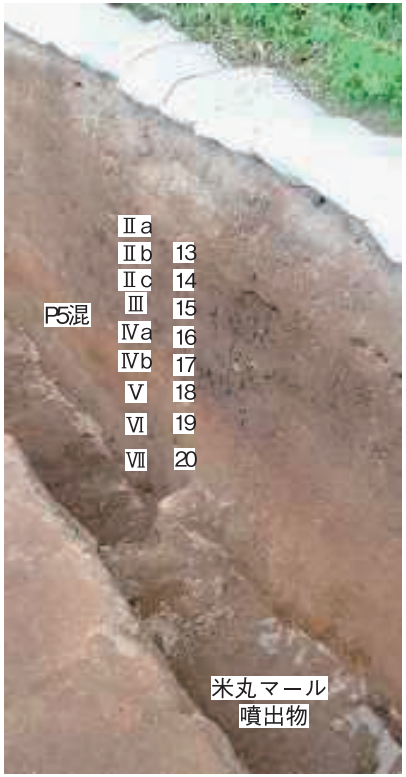
Paula J Reimer et al., (2013) IntCal 13 and Marine 13 Radiocarbon Age Calibration Curves, 0-50,000 Years cal BP. Radiocarbon, 55, p.1869-1887.

Smith V.C., Staff R.A., Blockley S.P.E., Bronk Ramsey C., Nakagawa T., Mark D.F., Takemura K., Danhara T., Suigetsu 2006 Project Members（2013）Identification and correlation of visible tephras in the Lake Suigetsu SG06 sedimentary archive, Japan: chronostratigraphic markers for synchronizing of east Asian/west Pacific palaeoclimatic records across the last 150 ka. Quaternary Science Reviews, 67, 121-137.

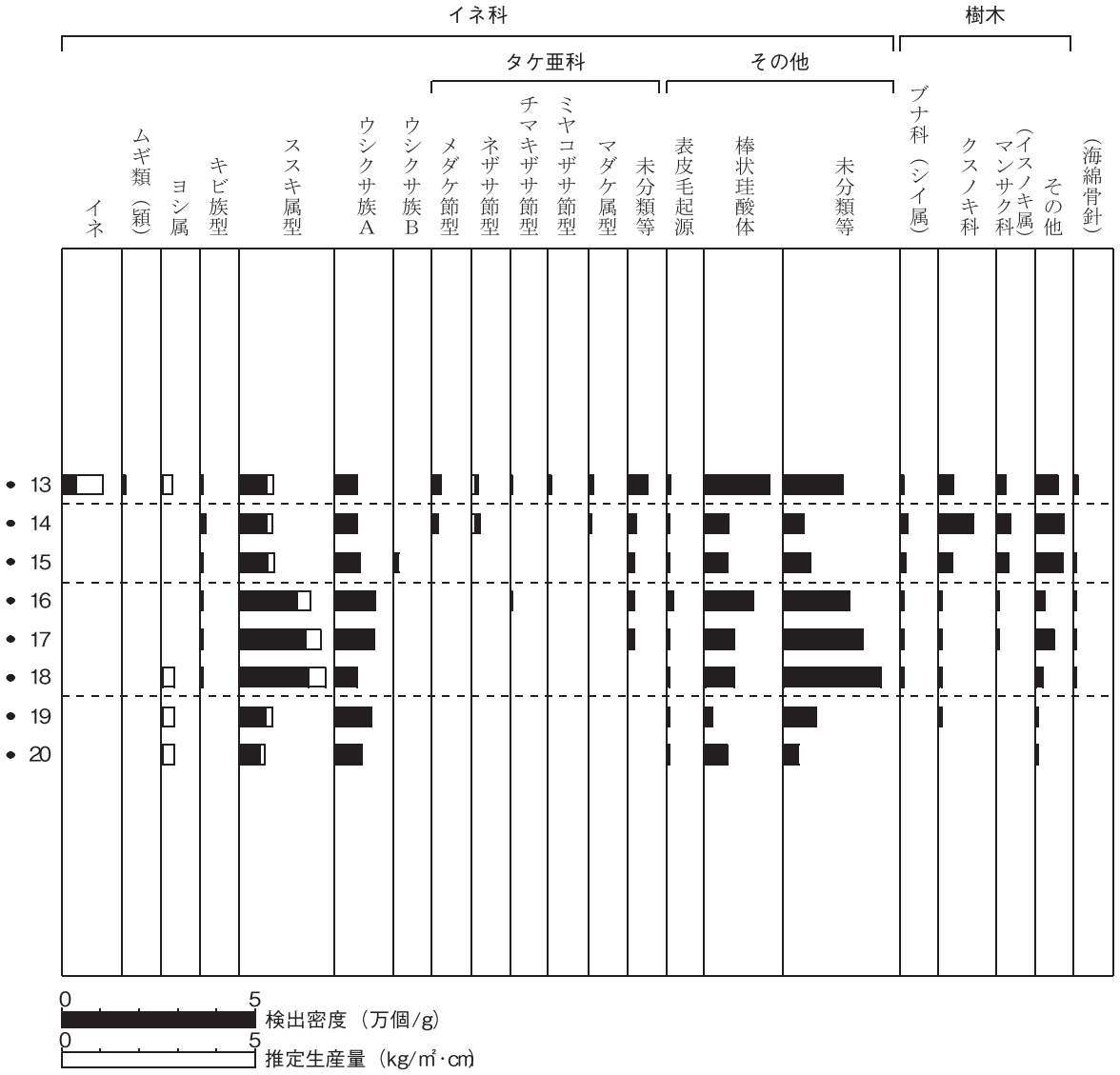


D-11 南壁土層断面
分析試料採取箇所（1～12）

第185図　植物珪酸体分析結果 1



B−5区　北壁土層断面
試料採取箇所(13～20)



第186図　植物珪酸体分析結果２

第53表　植物珪酸体分析結果３

検出密度（単位：×100個/g）

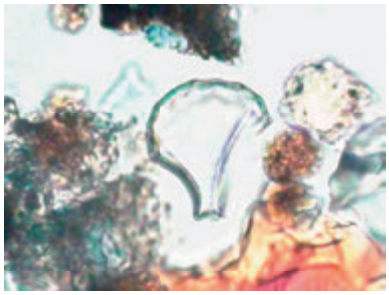
分類群	学名	地点・試料	D-11区南壁												B-５区北壁							
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
イネ科	Gramineae																					
イネ	*Oryza sativa*		25	45	6										37							
ムギ類(穎の表皮細胞)	*Hordeum-Triticum* (husk Phytolith)														5							
ヨシ属	*Phragmites*											29			5					6	6	6
キビ族型	Paniceae type		5	17	6				6		6	6			5	11	6	6	6	6		
ススキ属型	*Miscanthus* type		30	123	43	11	38	99	133	46	92	744	439	15	74	72	75	154	175	186	71	56
ウシクサ族A	Andropogoneae A type		71	89	68	51	43	64	73	33	75	168	228	23	60	61	69	108	105	60	97	73
ウシクサ族B	Andropogoneae B type								12		6	6	18				12					
タケ亜科	Bambusoideae																					
メダケ節型	*Pleioblastus* sect. Nipponocalamus		25	6											23	17						
ネザサ節型	*Pleioblastus* sect. Nezasa		10	6		6	5	12	18						19	22						
チマキザサ節型	*Sasa* sect. Sasa etc.			6			5	6							5			6				
ミヤコザサ節型	*Sasa* sect. Crassinodi						5	6							9							
マダケ属型	*Phyllostachys*		5												9	6						
未分類等	Others		20	6		6	11	29	18	7	6				51	22	17	17	6			
その他のイネ科	Others																					
表皮毛起源	Husk hair origin		15	6	6	6	5	6	12			6			9	6	6	17	6	6	6	6
棒状珪酸体	Rod-shaped		122	112	80	51	54	75	109	7	34	157	82	8	167	61	58	125	76	90	19	56
未分類等	Others		157	123	49	51	22	110	158	33	98	256	182	8	153	50	69	171	204	252	84	39
樹木起源	Arboreal																					
ブナ科(シイ属)	*Castanopsis*		10	11	37	28	11	6	6						5	17	12	6	6	6		
クスノキ科	Lauraceae		46	56	68	45	49	6	18						37	89	35	6	6	6	6	
マンサク科(イスノキ属)	*Distylium*		5	39	37	34	16	6	30	7					23	33	29	6	6			
アワブキ科	Sabiaceae			6	18	6																
はめ絵パズル状(ブナ属など)	Jigsaw puzzle shaped (*Fagus* etc.)								6													
その他	Others		25	84	117	68	59	17	48	7					56	72	69	23	47	18	6	6
(海綿骨針)	Sponge spicules						5	6		7				8				6	6	6	6		
植物珪酸体総数	Total		572	732	535	361	324	441	648	139	316	1371	949	53	752	540	456	643	640	637	297	241

おもな分類群の推定生産量（単位：kg/m²･cm）：試料の仮比重を1.0と仮定して算出

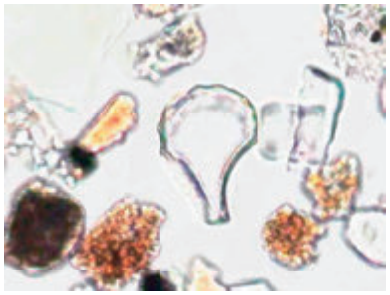
イネ	*Oryza sativa*		0.74	1.31	0.18										1.09							
ヨシ属	*Phragmites*											1.83			0.29					0.38	0.41	0.35
ススキ属型	*Miscanthus* type		0.38	1.52	0.53	0.14	0.47	1.22	1.65	0.57	1.14	9.22	5.45	0.19	0.92	0.90	0.93	1.91	2.16	2.31	0.88	0.69
メダケ節型	*Pleioblastus* sect. Nipponocalamus		0.29	0.06											0.27	0.19						
ネザサ節型	*Pleioblastus* sect. Nezasa		0.05	0.03		0.03	0.03	0.06	0.09						0.09	0.11						
チマキザサ節型	*Sasa* sect. Sasa etc.			0.04			0.04	0.04							0.03			0.04				
ミヤコザサ節型	*Sasa* sect. Crassinodi						0.02	0.02							0.03							

タケ亜科の比率（%）

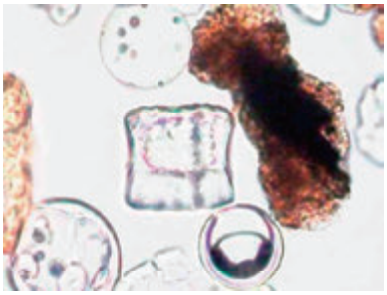
メダケ節型	*Pleioblastus* sect. Nipponocalamus		86	49											64	64						
ネザサ節型	*Pleioblastus* sect. Nezasa		14	20		100	31	48	100						21	36						
チマキザサ節型	*Sasa* sect. Sasa etc.			31			49	37							8			100				
ミヤコザサ節型	*Sasa* sect. Crassinodi						20	15							7							
メダケ率	Medake ratio		100	69		100	31	48	100						85	100		0				



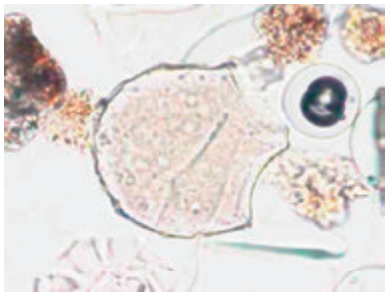
イネ
No.13



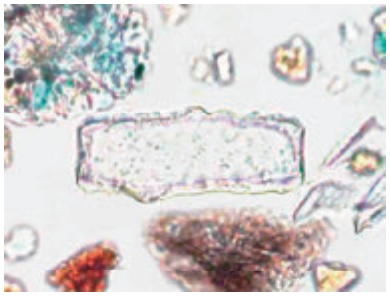
イネ
No. 2



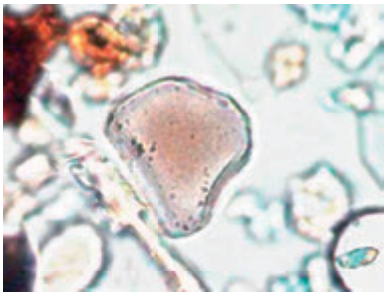
イネ（側面）
No.13



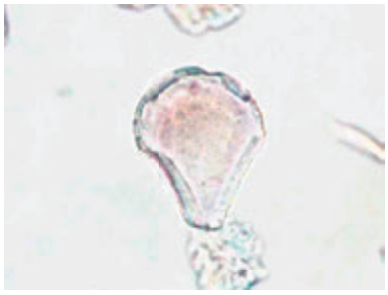
ヨシ属
No.19



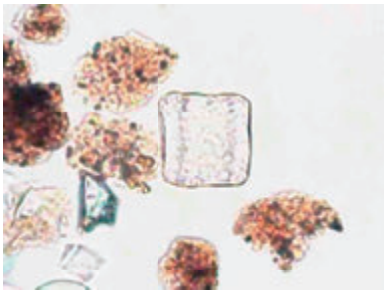
キビ族型
No. 2



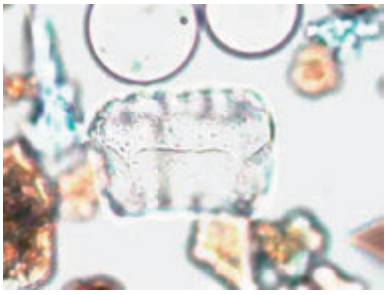
ススキ属型
No. 6



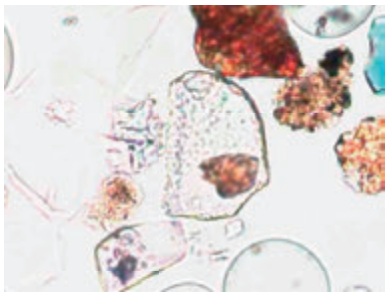
ススキ属型
No.20



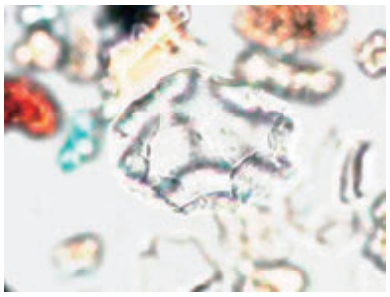
ウシクサ族A
No.17



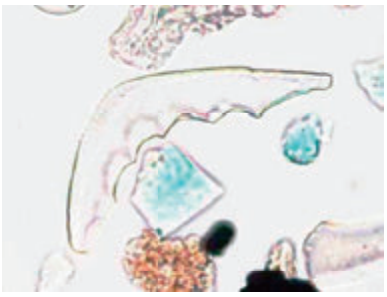
ネザサ節型
No. 2



チマキザサ節型
No.16



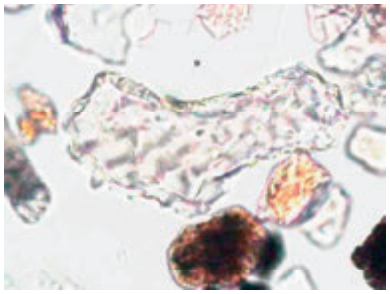
ブナ科（シイ属）
No.15



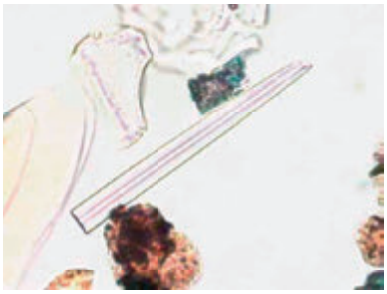
クスノキ科
No.13



マンサク科（イスノキ属）
No.13



アワブキ科
No. 2



海綿骨針
No.17

50μm

第187図　木佐木原遺跡の植物珪酸体分析

第３節　テフラ分析

木佐木原遺跡におけるテフラ分析

株式会社 古環境研究センター

（１）はじめに

テフラ（火山灰）の岩石学的諸特性（鉱物組成，火山ガラスの形態，火山ガラスと斜方輝石の屈折率など）を明らかにすることにより，指標テフラとの対比を試みた。なお，テフラの岩石学的諸特性や年代については新編火山灰アトラス（町田・新井，2003）などを参照した。

（２）試料

分析試料は，D-11区南壁のⅢa層～Ⅶ層から採取されたNo.１～No.８およびB-5区北壁のⅡc層～Ⅶ層から採取されたNo.９～No.15の計15点である。試料採取箇所を第185・186図および分析結果の第188～191図，第54表に示す。

（３）分析方法

超音波洗浄機で試料を分散し，１φ（0.5mm），２φ（0.25mm），３φ（0.125mm），４φ（0.063mm）の篩を重ねて湿式篩分けを行った。また，４φ篩残渣についてテトラブロムエタン（比重：2.96）を用いて重液分離を行い，重鉱物と軽鉱物のフラクションに区分した。

重鉱物は，カナダバルサムで封入してプレパラートを作成し，偏光顕微鏡下で斜方輝石（Opx），単斜輝石（Cpx），角閃石（Ho），磁鉄鉱（Mg）を同定・計数した。軽鉱物は，簡易プレパラートを作製し，軽鉱物組成と火山ガラスの形態分類を行った。

火山ガラスの形態は，町田・新井（2003）の分類基準に従い，バブル（泡）型平板状火山ガラス（b1），バブル（泡）型Ｙ字状火山ガラス（b2），軽石型繊維状火山ガラス（p1），軽石型スポンジ状火山ガラス（p2），急冷破砕型フレーク状火山ガラス（c1），急冷破砕型塊状火山ガラス（c2）に分類した。

温度変化型屈折率測定装置（古澤地質製，MAIOT2000）を用いて，４φ篩残渣の火山ガラスと斜方輝石について屈折率測定を行った。

（４）結果

テフラ分析結果を第54表および第188～191図に示し，以下に各地点ごとに試料の特徴を記載する。

１　D-11区南壁

含水率は30.1～46.2％で，Ⅵa層（No.６）とⅦ層（No.８）で比較的高い。含砂率は4.3～48.5％で，Ⅵb層（No.７）で最も高い。粒度組成では，Ⅲa層（No.１）～Ⅲc層（No.３），Ⅵa層（No.６）～Ⅶ層（No.８）で１φ篩残渣が比較的多い。鉱物組成では，軽鉱物の割合が78.0～90.3％と高い。重鉱物は，Ⅲa層（No.１）～Ⅲe層（No.５）は斜方輝石，Ⅵa層（No.６）とⅥｂ層（No.７）は磁鉄鉱，Ⅶ層（No.８）は角閃石とカンラン石が多い。火山ガラスは，Ⅵa層（No.６）で最も多く，Ⅵb層（No.７），Ⅲa層（No.１）～Ⅲc層（No.３）でも比較的多い。火山ガラスの形態は，主にバブル（泡）型平板状（b1）やバブル（泡）型Ｙ字状（b2）で，軽石型スポンジ状（p2）を伴う。Ⅶ層（No.８）は，火山ガラスは少ないものの，急冷破砕型塊状（c2）がやや多い。また，バブル（泡）型火山ガラスを中心に淡褐色ガラスが含まれる。

火山ガラスの屈折率では，Ⅲa層（No.１）～Ⅲe層（No.５），Ⅵb層（No.７），Ⅶ層（No.８）に1.498-1.501付近の粒子，Ⅲa層（No.１）～Ⅵb層（No.７）に1.506-1.513付近の粒子が含まれる。斜方輝石（Opx）の屈折率では，各試料とも1.700-1.713の粒子が含まれ，上位のⅢa層（No.１）～Ⅲc層（No.３）に1.727-1.731の粒子が少量含まれる。また，Ⅶ層（No.８）には1.728-1.735の粒子が含まれる。

２　B-5区北壁

含水率は27.1～47.8％で，Ⅴ層（No.13）で最も高い。含砂率は16.6～34.7％であり，Ⅴ層（No.13）ではやや低い。粒度組成では，Ⅶ層（No.15）で１φ篩残渣が多いが，礫を含むためと考えられる。鉱物組成では，軽鉱物の割合が72.8～79.6％と高い。重鉱物は，Ⅳa層（No.11）では斜方輝石が最も多い。また，下位層ほどカンラン石が多く，とくにⅦ層（No.15）で多い。火山ガラスは，Ⅵ層（No.14）で最も多く，上位層に向かって減少する。火山ガラスの形態は，主にバブル（泡）型平板状（b1）やバブル（泡）型Ｙ字状（b2）であるが，全体的に軽石型スポンジ状（p2）を伴い，Ⅳa層（No.11）では比較的多い。また，Ⅳb層（No.12）～Ⅶ層（No.15）には急冷破砕型塊状（c2）が含まれる。

火山ガラスの屈折率では，Ⅱc層（No.９），Ⅳa層（No.11）～Ⅶ層（No.15）に1.498-1.502付近の粒子，Ⅱc層（No.９）～Ⅵ層（No.14）に1.506-1.514付近の粒子が含まれる。斜方輝石（Opx）の屈折率では，各試料とも1.699-1.714の粒子が含まれ，Ⅱc層（No.９），Ⅵ層（No.14），Ⅶ層（No.15）には1.726-1.731の粒子が少量含まれる。

（５）考察

１　D-11区南壁

全体的に見られる屈折率が1.498-1.501付近のバブル型火山ガラスは，姶良Tnテフラ（AT）に由来すると考えられる。なお，姶良Tnテフラ（AT）に由来する斜方輝石（屈折率1.726-1.731）は少ない。全体的に見られる屈折率が1.700-1.713の斜方輝石（Opx）は，桜島火山に由来すると考えられる。Ⅵa層（No.６）とⅥb層（No.７）に含まれる屈折率が1.506-1.513付近の火山ガラスは，鬼界アカホヤテフラ（K-Ah）に由来すると考えられる。Ⅶ層（No.８）に含まれる屈折率が1.505-1.510付近の火山ガラスは，軽石を含むことから桜島火山に由来する可能性が考えられるが，詳細は不明である。

２　B-5区北壁

Ⅱc層（No.９），Ⅳa層（No.11）～Ⅶ層（No.15）に含

第54表　テフラ分析結果１

分析No.	地区	層位	湿潤重量(g)	含水率(%)	乾燥重量(g)	砂粒分の粒度組成（重量g）					砂粒分の粒度組成（重量%）					重液分離(g)		重液分離(%)	
						1φ	2φ	3φ	4φ	≧4φ	1φ	2φ	3φ	4φ	≧4φ	軽鉱物	重鉱物	軽鉱物	重鉱物
1	D-11区	Ⅲa層	52.11	30.67	36.13	0.4966	0.4394	0.7187	1.2003	2.8550	1.37	1.22	1.99	3.32	7.90	0.1221	0.0210	85.32	14.68
2		Ⅲb層	54.56	30.20	38.08	0.6265	0.5521	0.9761	0.8682	3.0229	1.65	1.45	2.56	2.28	7.94	0.1170	0.0195	85.71	14.29
3		Ⅲc層	54.21	31.81	36.97	0.2466	0.5158	0.8063	0.9174	2.4861	0.67	1.40	2.18	2.48	6.73	0.1351	0.0191	87.61	12.39
4		Ⅲd層	53.41	32.23	36.20	0.1413	1.8231	2.9058	1.7553	6.6255	0.39	5.04	8.03	4.85	18.30	0.1517	0.0429	77.95	22.05
5		Ⅲe層	55.06	30.41	38.32	0.0306	0.2271	0.5753	0.8316	1.6646	0.08	0.59	1.50	2.17	4.34	0.1234	0.0133	90.27	9.73
6		Ⅵa層	38.83	46.16	20.91	0.5303	0.0678	0.7740	1.5655	2.9376	2.54	0.32	3.70	7.49	14.05	0.1124	0.0156	87.81	12.19
7		Ⅵb層	46.99	30.13	32.83	3.3184	4.5684	4.8331	3.2106	15.9305	10.11	13.92	14.72	9.78	48.52	0.1535	0.0272	84.95	15.05
8		Ⅶ層	57.06	45.20	31.27	2.1689	1.9806	2.0367	1.1730	7.3592	6.94	6.33	6.51	3.75	23.53	0.1452	0.0170	89.52	10.48
9	B-5区	Ⅱc層	34.35	27.05	25.06	0.7988	1.4390	2.1430	2.0616	6.4424	3.19	5.74	8.55	8.23	25.71	0.1436	0.0369	79.56	20.44
10		Ⅲ層	36.31	32.21	24.61	0.9562	2.0336	2.7479	2.1984	7.9361	3.88	8.26	11.16	8.93	32.24	0.1436	0.0493	74.44	25.56
11		Ⅳa層	43.48	35.54	28.03	0.5127	3.0955	3.4833	2.6412	9.7327	1.83	11.04	12.43	9.42	34.73	0.1417	0.0376	79.03	20.97
12		Ⅳb層	25.56	37.36	16.01	0.4249	1.0753	1.3922	1.4135	4.3059	2.65	6.72	8.70	8.83	26.89	0.1398	0.0420	76.90	23.10
13		Ⅴ層	39.44	47.83	20.58	0.3044	0.5183	1.1033	1.4956	3.4216	1.48	2.52	5.36	7.27	16.63	0.1387	0.0363	79.26	20.74
14		Ⅵ層	20.15	36.57	12.78	0.4258	0.8307	1.5654	1.3719	4.1938	3.33	6.50	12.25	10.73	32.81	0.1357	0.0378	78.21	21.79
15		Ⅶ層	37.36	38.97	22.80	1.4000	1.1673	1.8019	1.8633	6.2325	6.14	5.12	7.90	8.17	27.33	0.1631	0.0610	72.78	27.22

分類群／分析No.	地区	層位	石英(Qu)	長石(Pl)	不明(Opq)	火山ガラス：()内は淡褐色ガラスの個数						ガラス合計	軽鉱物の合計	重鉱物							不明(Opq)	重鉱物の合計
						バブル（泡）型		軽石型		急冷破砕型				斜方輝石(Opx)	単斜輝石(Cpx)	角閃石(Ho)	カンラン石(ol)	ｲﾃﾞｨﾝｸﾞｻｲﾄ(In)	ジルコン(Zr)	磁鉄鉱(Mg)		
						平板状(b1)	Y字状(b2)	繊維状(p1)	ｽﾎﾟﾝｼﾞ状(p2)	ﾌﾚｰｸ状(c1)	塊状(c2)											
1	D-11区	Ⅲa層	2	130	344	82(1)	36(1)		6	2(1)	1	127	603	152	44	14	1			22	39	272
2		Ⅲb層	5	141	280	52	32(1)		10(1)	5	1	100	526	161	41	14	2			25	33	276
3		Ⅲc層	5	171	243	60(1)	38(3)		7	0	2	107	526	133	40	5	8			45	46	277
4		Ⅲd層		231	186	8(2)	7(1)	1	17	3	1	37	454	122	64	1				38	27	252
5		Ⅲe層	4	192	1082	51(4)	39(3)		5	7		102	1380	141	53	7	1			33	67	302
6		Ⅵa層		23	77	119(8)	77(10)		4(1)			200	300	105	55	4				112	40	316
7		Ⅵb層	2	114	135	75	39(3)	1	2(1)	2(1)	1	120	371	110	58	8	7			66	59	308
8		Ⅶ層	4	183	241	41(1)	20(1)	1	5	7(1)	25(1)	99	527	121	51	43	20	3	1	42	36	317
9	B-5区	Ⅱc層	2	129	241	46(2)	60(10)		10	8	2	126	498	66	52	7	53	7		27	37	249
10		Ⅲ層		170	99	40(2)	41(5)	1	14(1)	3	1	100	369	88	52	4	59	8		29	49	289
11		Ⅳa層	1	161	41	45(2)	20(6)		17	1	1	84	287	119	70	7	27	2		58	27	310
12		Ⅳb層	1	163	80	53	37(9)		15	1	5	111	355	100	58	4	58	13		41	29	303
13		Ⅴ層	2	96	119	88(9)	61(11)		11	4(1)	5	169	386	73	47	15	85	26		43	36	325
14		Ⅵ層	2	78	121	96(5)	66(5)	1	14(1)	5	10(2)	192	393	59	62	2	78	20		40	25	286
15		Ⅶ層	4	185	197	29(1)	23	1	12	3	25(3)	93	479	17	25	7	200	48		16	25	338

まれる屈折率が1.498-1.502を示すバブル型・軽石型の火山ガラスは，姶良Tnテフラ（AT）に由来すると考えられる。Ⅱc層（№９）～Ⅵ層（№14）に含まれる屈折率が1.506-1.514付近の火山ガラスは，鬼界アカホヤテフラ（K-Ah）に由来すると考えられる。なお，軽石を比較的多く含むⅣa層（№11）については桜島火山に由来すると考えられ，降下軽石の分布から桜島５テフラ（Sz-5, Sz-P5，約5,600年前?）の可能性が考えられる。Ⅶ層（№15）に含まれる屈折率が1.506-1.508付近の火山ガラスは，軽石を含むことから桜島火山に由来する可能性が考えられるが，詳細は不明である。

＜各テフラの年代と特徴＞

桜島５テフラ（Sz-5, Sz-P5）：約5,600年前に桜島火山から噴出した降下軽石（pfa）。分布は桜島火山の北側約30km。主な鉱物は斜方輝石（Opx）と単斜輝石（Cpx）。火山ガラスの屈折率（n）は1.509-1.515，斜方輝石（Opx）の屈折率（γ）は1.708-1.712（町田・新井，2003）。

鬼界アカホヤテフラ（K-Ah）：約7,300年前に鬼界カルデラから噴出した降下軽石，火砕流堆積物とその降下火山灰。バブル型の多い火山ガラスは，姶良Tnテフラ（AT）と比較すると薄手で淡褐色を帯びるものがあり，屈折率がかなり高く広いレンジをもつ（n=1.508-1.516）が，完全には水和していないガラスの継目などガラスの厚い部分では1.500前後と低いものもある。姶良カルデラ周辺における火山ガラスの屈折率は1.504-1.513，斜方輝石は1.708-1.712（町田・新井，2003）。

姶良Tnテフラ（AT）：約３万年前（Smith et al.,2013）に姶良カルデラを噴出源として噴出した降下軽石，入戸火砕流堆積物とその降下火山灰。火山ガラスの屈折率は1.498-1.501（最頻値1.499-1.500），斜方輝石の屈折率は1.728-1.734（町田・新井，2003）。

文献

伊東隆夫・山田昌久（2012）木の考古学．出土木製品用材データベース．海青社，449p.

島地 謙・佐伯 浩・原田 浩・塩倉高義・石田茂雄・重松頼生・須藤彰司（1985）木材の構造．文永堂出版，290p.

近藤錬三・佐瀬隆（1986）植物珪酸体，その特性と応用．第四紀研究，25，p.31-63.

杉山真二・藤原宏志（1986）機動細胞珪酸体の形態によるタケ亜科植物の同定－古環境推定の基礎資料として－．考古学と自然科学，19，p.69-84.

島地 謙・伊東隆夫（1988）日本の遺跡出土木製品総覧．雄山閣，296p.

杉山真二（1999）植物珪酸体分析からみた九州南部の照葉樹林発達史．第四紀研究，38(2)，p.109-123.

杉山真二（2000）植物珪酸体（プラント・オパール）．考古学と植物学．同成社，p.189-213.

杉山真二（2009）植物珪酸体と古生態．人と植物の関わりあい④．大地と森の中で－縄文時代の古生態系－．縄文の考古学Ⅲ．小杉康ほか編．同成社，p.105-114.

中村俊夫（2000）放射性炭素年代測定法の基礎．日本先史時代の14C年代編集委員会編「日本先史時代の14C年代」．日本第四紀学会，p.3-20.

中村俊夫（2003）放射性炭素年代測定法と暦年代較正．環境考古学マニュアル．同成社，p.301-322.

藤原宏志（1976）プラント・オパール分析法の基礎的研究(1)－数種イネ科植物の珪酸体標本と定量分析法－．考古学と自然科学，9，p.15-29.

藤原宏志・杉山真二（1984）プラント・オパール分析法の基礎的研究(5)－プラント・オパール分析による水田址の探査－．考古学と自然科学，17，p.73-85.

町田洋・新井房夫（1976）広域に分布する火山灰-姶良Tn火山灰の発見とその意義．科学，46，p.339-347.

町田洋・新井房夫（2003）新編火山灰アトラス－日本列島とその周辺－．東京大学出版会，336p.

山田昌久（1993）日本列島における木質遺物出土遺跡文献集成－用材から見た人間・植物関係史．植生史研究特別１号．植生史研究会，242p.

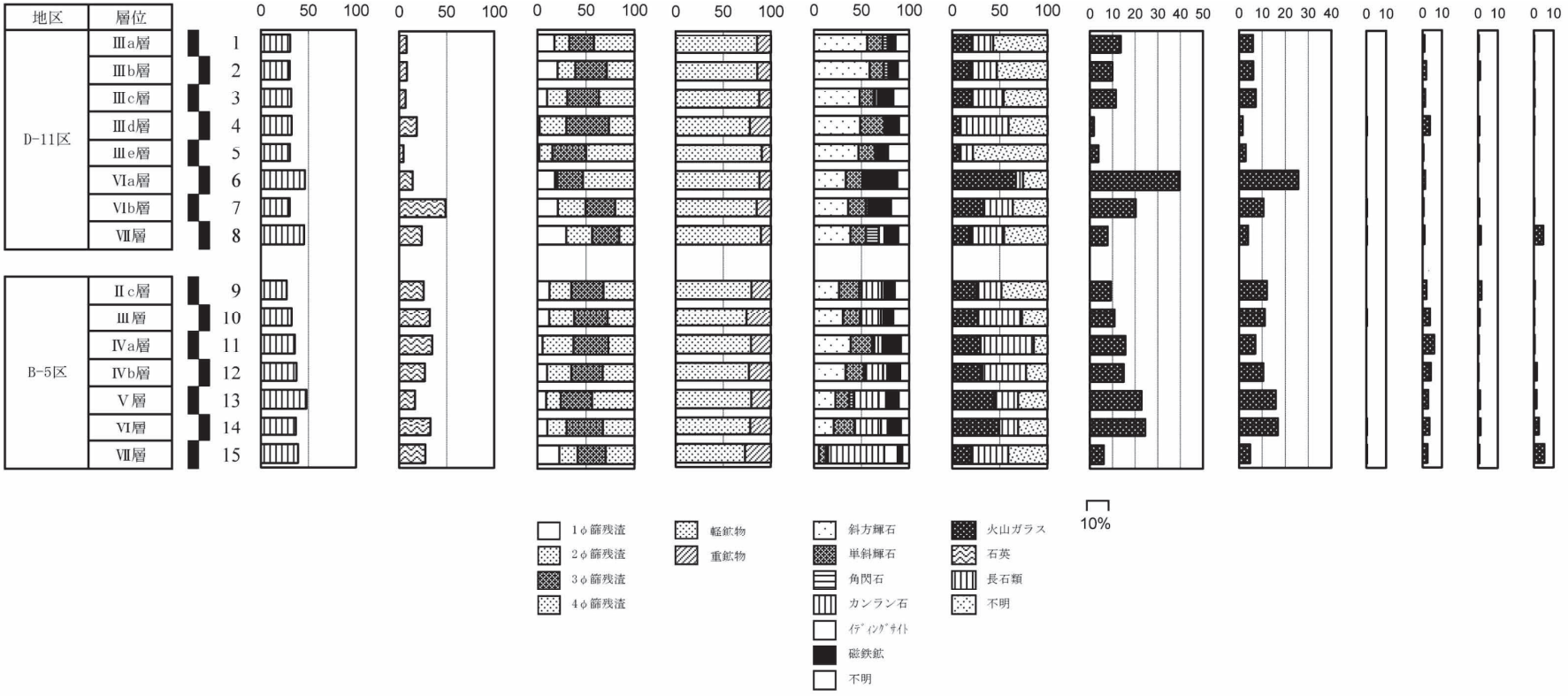
横山卓雄・檀原 徹・山下透（1986）温度変化型屈折率測定装置による火山ガラスの屈折率測定．第四紀研究，25，p.21-30.

横山卓雄・山下透（1986）温度変化型屈折率測定装置（RIMS-86）による斜方輝石・角閃石の屈折率測定の試み．京都大学教養部報告（九十九地学），21，p.30-36.

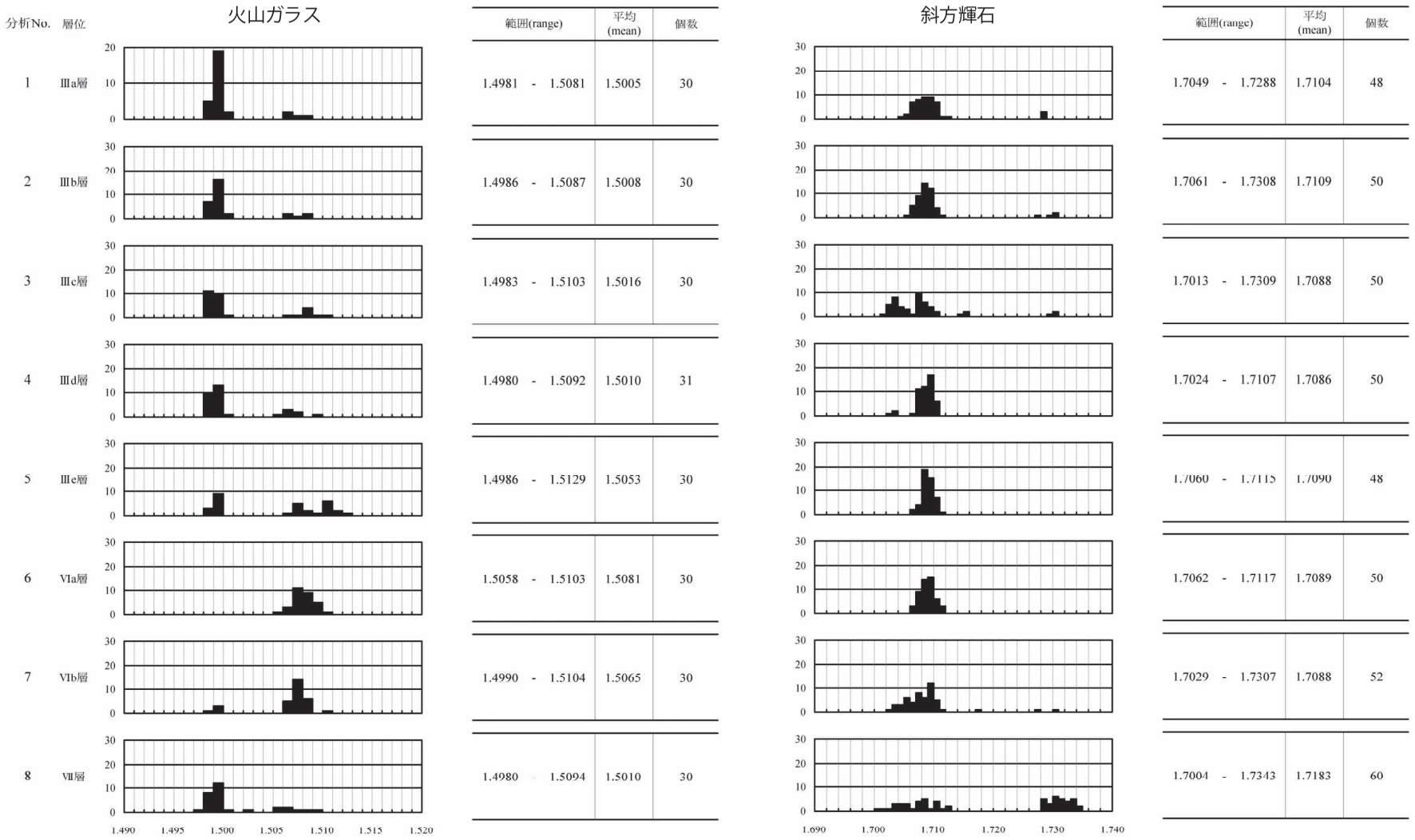
Bronk Ramsey, C. (2009) Bayesian Analysis of Radiocarbon dates. Radiocarbon, 51(1), 337-360.

Paula J Reimer et al., (2013) IntCal 13 and Marine 13 Radiocarbon Age Calibration Curves, 0-50,000 Years cal BP. Radiocarbon, 55, p.1869-1887.

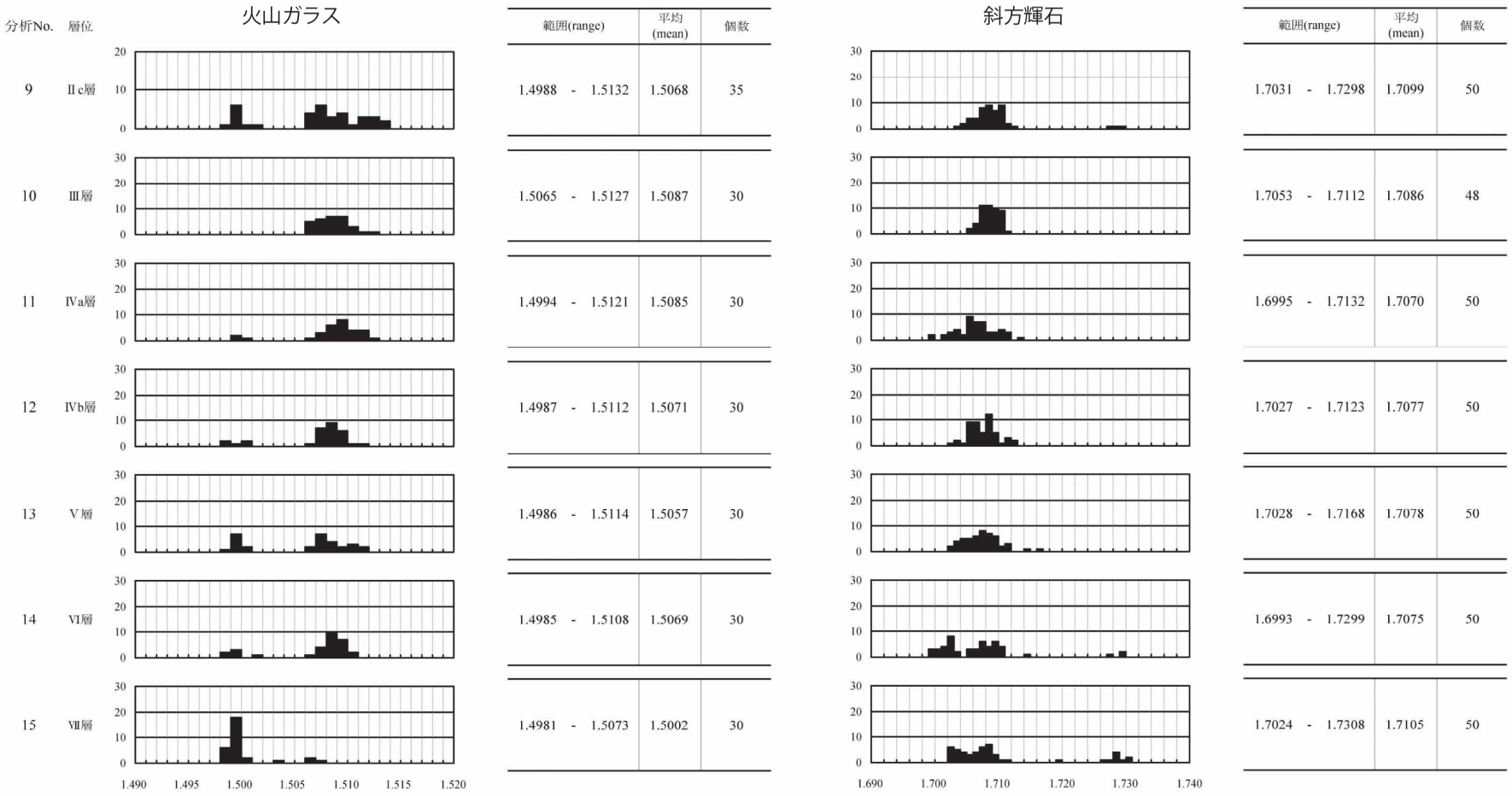
Smith V.C., Staff R.A., Blockley S.P.E., Bronk Ramsey C., Nakagawa T., Mark D.F., Takemura K., Danhara T., Suigetsu 2006 Project Members（2013）Identification and correlation of visible tephras in the Lake Suigetsu SG06 sedimentary archive, Japan: chronostratigraphic markers for synchronizing of east Asian/west Pacific palaeoclimatic records across the last 150 ka. Quaternary Science Reviews, 67, 121-137.



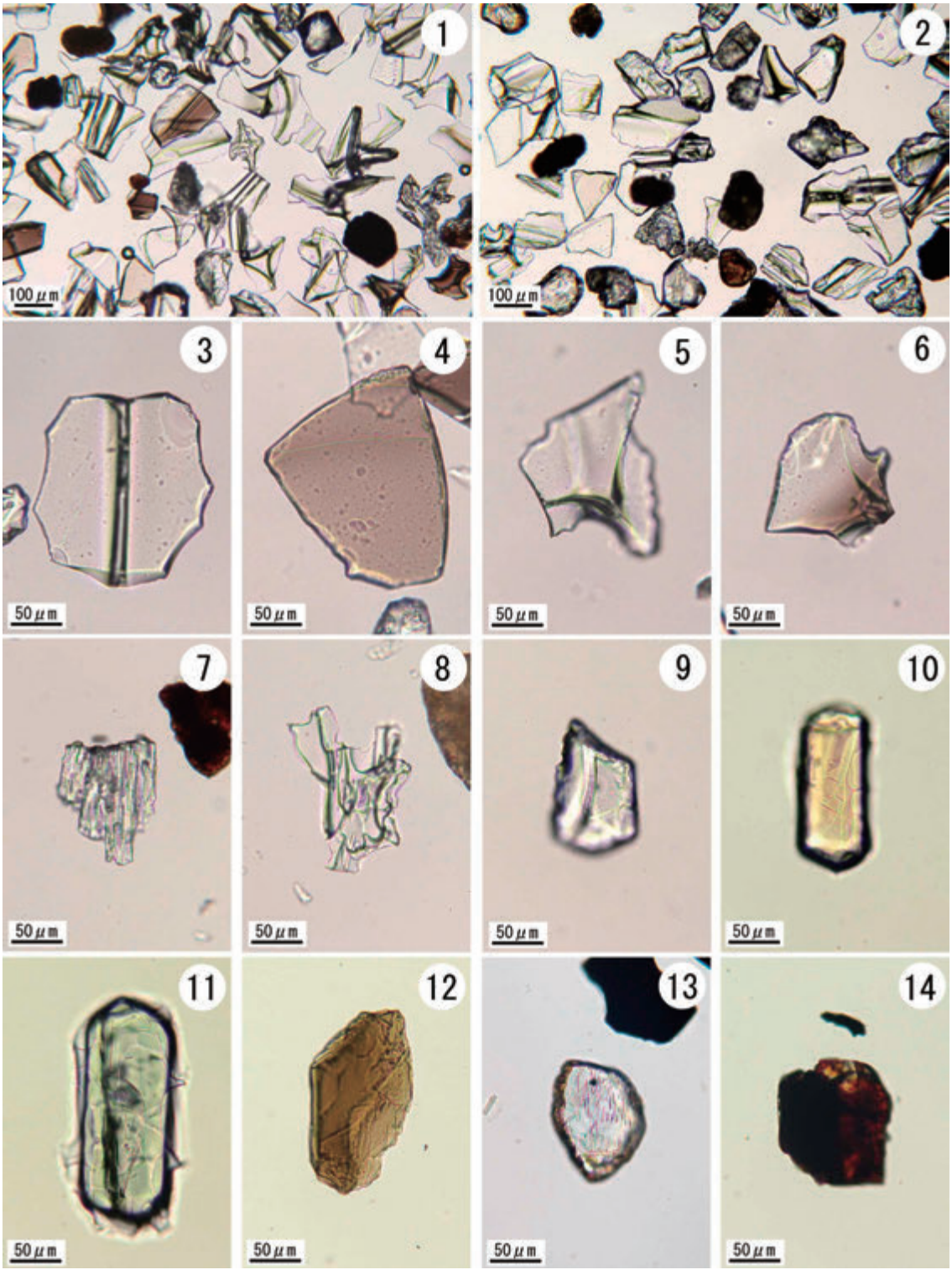
第188図　テフラ分析結果２（含有比・含砂率・鉱物組成・火山ガラスの形態）



第189図　テフラ分析結果３



第190図　テフラ分析結果４



木佐木原遺跡における火山ガラス・鉱物の偏光顕微鏡写真

1. 軽鉱物(No.6)　2. 軽鉱物(No.14)　3. バブル型平板状ガラス(No.6)　4. バブル型平板状淡褐色ガラス(No.6)
5. バブル型Y字状ガラス(No.6)　6. バブル型Y字状淡褐色ガラス(No.6)　7. 軽石型繊維状ガラス(No.15)
8. 軽石型スポンジ状ガラス(No.15)　9. 急冷破砕型フレーク状ガラス(No.15)　10. 斜方輝石(No.11)
11. 単斜輝石(No.14)　12. 角閃石(No.15)　13. カンラン石(No.1)　14. イディングサイト(No.15)

第191図　テフラ分析結果5

第４節　木佐木原遺跡の地質

鹿児島県考古学会会員　成尾英仁
産業総合技術研究所地質調査総合センター　下司信夫

１　遺跡の地質概要

木佐木原遺跡の地質は表土から下位側へ，３層の火山噴出物，その間に挟まる黒色腐植土層と風化土壌層からなる。火山噴出物は下位から米丸マール噴出物（以下，米丸テフラと略記），鬼界アカホヤ火山灰（以下，アカホヤ火山灰と略記），桜島北岳起源の第５軽石（以下，Ｐ５と略記）の順に堆積する。

遺跡にみられる特徴的な地質現象として次の３点がある。1：地層が折り重なるように堆積する覆瓦構造およびモールトラック状構造，2：液状化現象による噴砂脈，3：アカホヤ直下に認められる砂層である。噴砂脈は米丸テフラを切り内部および上部で停止するもの，Ｐ５を含む層を切り縄文時代中期～後期面以降に達するものとが存在する。

２　遺跡の地層

木佐木原遺跡の模式柱状図を第194図に示す。覆瓦構造部分とモールトラック状構造部分を除き，いずれの地層も地形と平行にほぼ水平に堆積する。地点によっては同一地層の層厚が増減したり消失する。また，層によっては色調や遺物の包含状況の相違により細分化される。

2-1　海成層

遺跡南部では別府川支流の後郷川が東流するが，そこでの橋脚設置工事により米丸テフラ直下に海成層が確認された。海成層は灰青色を帯びた砂質シルト，軽石含有砂質シルトの互層からなり，豊富な植物化石を含むが，この地点では貝化石は未発見である。森脇ほか（1986, 2002）によると，同一層準の海成層中の植物化石・貝化石から，おおよそ8,200年前の14Ｃ年代が得られている。海成層が遺跡周辺で確認されることから，当時の温暖化の進行の影響で，この付近まで海が侵入していたと推定される。

海成層の上位には後述する米丸テフラとその間に挟まる礫混じり砂層が層厚約5mで堆積する。遺跡内では掘削作業が海成層まで到達せず確認できない。

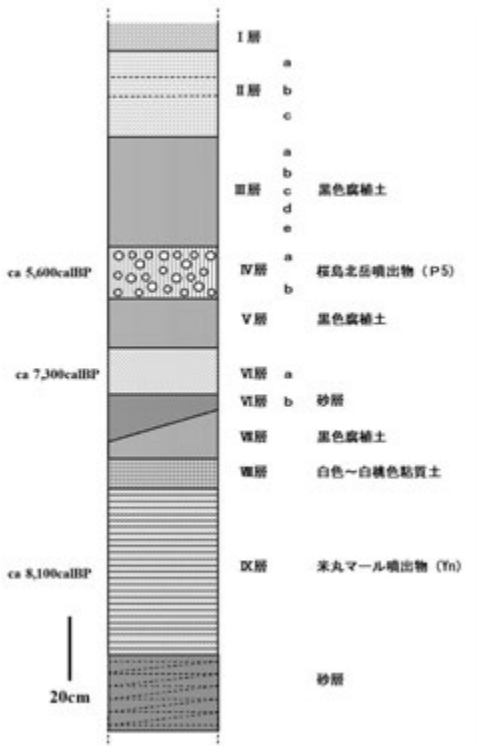
2-2　米丸テフラ（Ⅷ層；Yn）

遺跡でみられる最下層は玄武岩質の火山灰・スコリア互層，およびその間に挟まる礫混じり層からなる。森脇ほか（1986）では，これらの火山灰・スコリア互層は遺跡北西部に位置する米丸マールを噴出源とする，マグマと水が接触して生じたマグマ水蒸気爆発によるベースサージ堆積物（米丸テフラ）とされる。

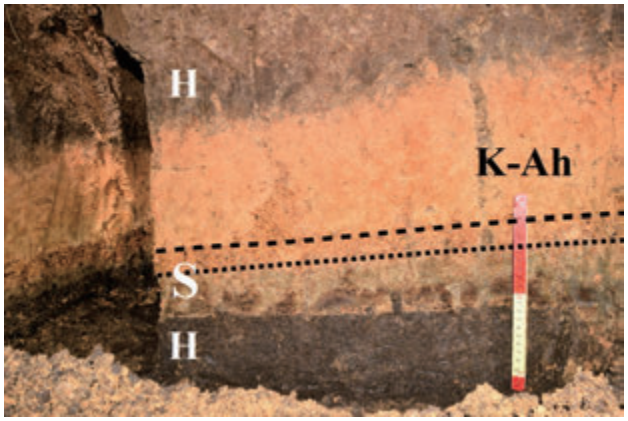
遺跡で確認できる本層の最下部は火山灰・スコリア互層，その下部に堆積する層厚約１mの砂層からなる（第194図）。遺跡内では本層の下限が確認できず層厚は不明であるが，遺跡南部の川沿いでの観察から，少なくとも５m程度の層厚と推定される。本層を構成する火山灰・スコリア層の一枚の層厚は１～３ cmで，これが密に繰り返す。スコリアは細礫サイズで，それより大きなものは確認できない。火山灰は細粒～中粒で，径５mm程度の火山豆石を含むことがある。上部ではスコリアが少なく火山灰が卓越する。最上部の層厚60～100cmの部分はごく細粒の火山灰で，非常に硬く固結し板状となる。火山灰・スコリア互層下部の砂層は粗粒～中粒砂からなり，部分的に細礫～中礫サイズの軽石・火山岩礫を含む。全体に細かいラミナが認められ，部分的にはクロスラミナを形成する。砂層上部は細粒火山灰と互層する。実体顕微鏡下では砂層を挟む上下の層から，カンラン石や急冷破砕タイプの玄武岩ガラスが存在する。

本層内部には下位の地層を構成する砂が上昇した噴砂脈が顕著に認められる。断面ではほぼ垂直に発達し，途中で枝分かれするものが多い。平面では網目状に複雑につながる。幅は５cm以内で，それより幅広のものは認められない。上昇する高さは脈ごとに異なるが，一般に米丸テフラ層上部まで達しており，一部は米丸テフラ層中で横に広がる。

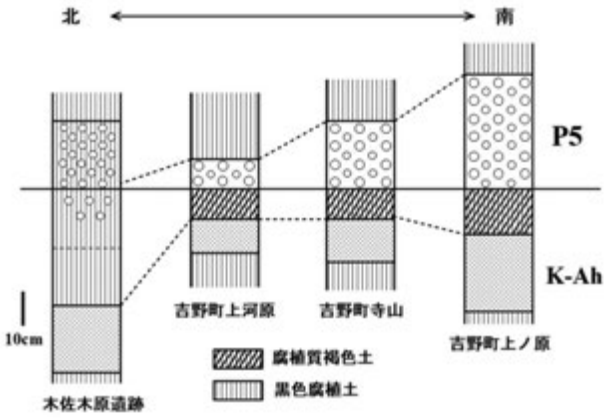
遺跡南側地点（Ａ地点：Ｂ・Ｃ－１～５区）では米丸テフラ上位に黒色腐植土層（Ⅶ層）が堆積するが，その中には径１cm程度の米丸テフラ破片が頻繁に混入する。遺跡北側地点（Ｃ地点：Ｃ・Ｄ－9～11区）では，米丸テフラが風化した白色～ベージュ色・オレンジ色の粘質土壌（Ⅷ層）がレンズ状に堆積し，その上位に黒色腐植土層（Ⅶ層）が堆積する。別稿の報告書ではＣ地点のＤ－11区南壁の黒色腐植土層にヨシの植物珪酸体が報告さ



第192図　遺跡の模式地質柱状図
個々の地層の層厚は地点で異なる



第193図　アカホヤ（K-Ah）直下の砂層（S）
上下に黒色腐植土（H)が堆積する



第194図　桜島北岳噴出物Ｐ５の対比

れること，米丸テフラ中に生痕化石が確認されること，周辺での海成層の存在と当時が高海水面期であったことを考慮すると，遺跡付近は海に近く河川水が流れ込む塩性湿地的環境であったと推定される。また，米丸テフラ層中に砂層が存在することから，噴火途中に洪水（ラハール）の発生があったと判断される。

2-3　砂層（Ⅵｂ層）および鬼界アカホヤ火山灰（Ⅵａ層；K-Ah）

第193図に示すように黒色腐植土層の上位には，砂層と黄橙色火山灰が堆積する。黒色腐植土層と砂層の境界は直線的で明瞭である。砂層の層厚は地点により数cm～20cmと変化に富むが，黄橙色火山灰層の層厚は約20cmでほとんど変化がない。これら2層の堆積状況はＣ地点では比較的明瞭であるが，Ａ地点では後述の覆瓦構造の影響を受け断片的となる。中央部（Ｂ地点：Ｂ・Ｃ－６～８区）付近では両者が欠層することが多い。

Ｃ地点では砂層は中～粗砂および細礫～中礫からなり，下部～中部にかけて弱い平行ラミナが認められる。上部では細粒化する級化構造を持ち，やや褐色の棒状～円状の褐色塊を含むシルト層となり，黄橙色火山灰層に移行する。砂層基底部付近には黄橙色を帯び風化した細礫サイズの軽石，細礫～中礫サイズの米丸テフラ破片が散在する。

Ａ地点では場所により砂が卓越する箇所，細礫～中礫が卓越する箇所がある。前者の場合は粗粒砂主体で，細礫サイズの米丸テフラ破片が混在する。後者の場合はまれに径10cm程度の中礫サイズの米丸テフラ片や，細礫～中礫サイズでよく円摩された軽石が混在する。実体顕微鏡による観察では，本層には褐色火山ガラス・磁鉄鉱粒子が多量に含まれ，その他にカンラン石や急冷破砕型の玄武岩ガラスが含まれる。

黄橙色火山灰層は地点によっては濃い赤橙色を帯びたり，やや白色を帯びたりする。全体に多量の褐色火山ガラスを含み，斜方輝石粒子も多く含まれる。下部が粗く上部が細かい級化構造を示す。

この黄橙色火山灰層にはバブルウォール型の褐色火山ガラスや，斜方輝石粒子が含まれること，別稿の火山ガラス屈折率測定値から判断して，鬼界カルデラ起源の鬼界アカホヤ火山灰（町田・新井1978：アカホヤ火山灰；K-Ah）に同定される。

Ｃ地点の北西側壁面では，火山灰層中に径１cm，長さ十数cmの生痕化石が散在する。このことから，米丸テフラ堆積後も引き続き，海辺に近い環境が維持されたと判断される。

2-4　桜島北岳起源P5（Ⅳ層）

アカホヤ火山灰層の上位には黒色腐植土層（Ⅴ層）が堆積し，それに連続し軽石を含む黒色腐植土層（Ⅳ層）が堆積する。上位の黒色腐植土層中の軽石は最大径1cm程度で，風化により黄白色を帯びる。地点によっては軽石が比較的多く濃集することもあるが，大半は散在的な堆積状況である。調査では軽石の比較的多い層をⅣａ，少ない層をⅣｂ層に細分している。

別稿のテフラ分析に示されるように，軽石には斜方輝石が多く含まれ，その屈折率が1.700-1.713であること，アカホヤ火山灰層上位に堆積すること，遺跡南方の鹿児島市吉野台地周辺でアカホア火山灰層上位に20cm程度の層厚で桜島北岳起源のP5軽石（小林ほか2013）が堆積し，北部に向かうに従い層厚を減ずる（第196図）ことなどを考慮すると，この軽石はＰ５に同定される。

2-5　黒色腐植土層（Ⅲ層）および乳白色～赤褐色土層（Ⅱ層）

Ｐ５軽石層の上位には黒色腐植土層（Ⅲ層）が堆積し，縄文時代中期～後期の遺物が検出される。調査では色調と遺物の出土状況からａ～ｅの５層に細分されている。全体に軽石や米丸テフラの破片を含む。軽石には径２～３cmのものも散在するが，粒径と含まれる火山ガラスの形態，屈折率から入戸火砕流堆積物に由来すると判断される。

乳白色～赤褐色土層（Ⅱ層）からは古代～中世の遺物が検出され，別のプラントオパール分析ではイネ科植物が検出されること，入戸火砕流堆積物起源やアカホヤ火山灰層起源の火山ガラスを含むことから，降雨の際に周辺地域から流れ込んで集積した堆積物で，それを稲作な





第195図　左：覆瓦構造　矢印は噴砂脈　右：モールトラック状構造　スケールは１m

どに利用したと推定される。色調や遺物の検出状況などからａ～ｄの４層に細分される。

３　覆瓦構造とモールトラック状構造

Ａ地点では傾斜した米丸テフラ・黒色腐植土・アカホヤ火山灰層が，繰り返し出現する覆瓦構造が見られる（第195図左）。大半の地点で覆瓦構造の傾斜角は20°程度であるが，場所により高角度で覆うことがある。米丸テフラは本来の層構造を保っている場合が多いが，アカホヤ火山灰は破砕された小さなブロックとなっている。移動体の全体層厚は約60cmであり，少なくとも３つの滑り面を確認できる。このような堆積構造は地滑りの末端部分に形成され（永田2015），移動体の圧縮に伴いリッジを形成したと判断される。移動方向は山手側（北側）から川側（南側）である。

Ｂ地点からＣ地点にかけては，米丸テフラが0.5～１mの高さで盛り上がるモールトラック状の構造が認められる（第195図右）。米丸テフラは破砕されたブロックであるが，その断面を観察すると下部ではブロックが大きくなり，米丸テフラ本体につながる。また，その部分では上昇する噴砂脈が顕著であり，平面でも網目状に噴砂脈が形成されている。これらのことから，山手側からの移動体が前方にある地層と衝突して盛り上がりを形成し，圧縮により米丸テフラに割れ目が生じ，それに沿って下部の砂が上昇したと考えられる。このような移動体による噴砂脈例は，多摩ニュータウン遺跡内に堆積するローム層にも多数確認されている（服部　仁ほか1996）。

遺跡全体を通して，深さ１m程度に掘削した平面では米丸テフラが露出する場所，米丸テフラが欠層し黒色腐植土が堆積する場所が繰り返している。これについては，米丸テフラを含む地層がブロックとして移動し，開口した元の場所が凹地となり，黒色腐植土が厚く堆積したと推定される。

遺跡南側の川沿いでは，海成層・米丸テフラが約１m食い違うノンテクトニックの断層が存在し，地盤が川側へ滑ったことを裏付けている。

Ａ地点での観察によれば，覆瓦構造はＰ５を含む黒色腐植土層（Ⅳ層），およびその下位の黒色腐植土層（Ⅴ層）に覆われており，地滑りの発生はアカホヤ火山灰層堆積後，Ｐ５堆積以前に発生したと判断される。防災科学研究所のJ-SHIS　Map（2019）によると，遺跡北西部山地では地滑り地形が存在しており，遺跡付近は地滑りの発生しやすい環境と考えられる。

４　砂層

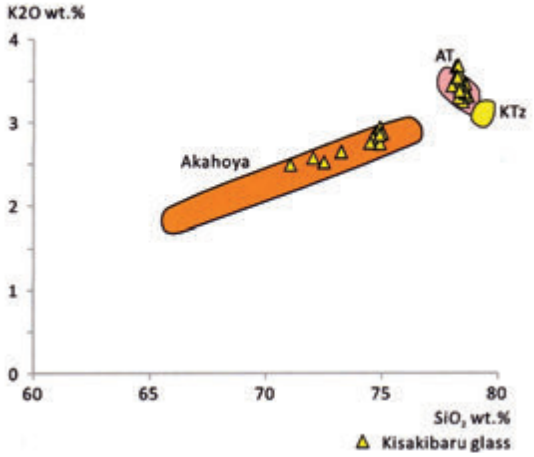
アカホヤ火山灰層直下の砂層には褐色火山ガラス・磁鉄鉱が多量に含まれ，その他にカンラン石や急冷破砕型の火山ガラス・透明火山ガラスが含まれる。砂層中の火山ガラスの化学組成を第196図に示す。

図から明らかなように，本層に含まれる火山ガラスは，その少数がAT，K-Tzの組成範囲に含まれるものの，大部分の火山ガラス片の化学組成はアカホヤ火山灰のものに一致する。本層にアカホヤ火山灰の火山ガラスが含まれることから，本層はアカホヤ火山灰降下中に堆積したものと考えられる。なお，本遺跡より下流側の剣御前遺跡でもアカホヤ火山灰層直下に砂層が堆積する。

本砂層とアカホヤ火山灰層は上下を黒色腐植土層に挟まれている。別稿の植物珪酸体分析に示されるように，この二層は明らかな陸上堆積物である。陸上堆積物の間に水成の砂層が堆積する理由としては，ａ.洪水，ｂ.台風による高潮，ｃ.津波などが想定される。

ａの洪水については遺跡が河川近くに立地することから可能である。しかし，砂層中にアカホヤ火山灰由来の火山ガラスが大量に存在すること，砂層がアカホヤ火山灰層に覆われることから，アカホヤ噴火最中に洪水があったことになり，タイミング良く洪水が発生したのかという疑問が残る。

ｂの高潮については，遺跡が海岸近くに立地していたと推定されることから可能である。しかし，アカホヤ噴火当時の海域は，鹿児島湾からさらに細長く入り組んだ内湾であり，復元された湾口部の幅は数100 m程度で両側から半島状に突き出ており，台風時に大量の砂を運搬するような高潮は想定しにくい。また，ａと同様にタイミングよくアカホヤ噴火最中に台風が襲来したとは考え



第196図　砂層中の火山ガラスの化学組成

にくい。

ｃの津波については，西日本各地で同時期の津波堆積物が確認され（藤原ほか2010など），鬼界カルデラに近い屋久島でも津波堆積物が確認されている（Geshi et al.2017）。アカホヤ火山灰層直下の砂層は下流側ほど厚いこと，川沿いでは米丸テフラをえぐるように砂混じりアカホヤ火山灰が堆積することなどから，各地で確認されている津波堆積物と同一と考えられる。

鬼界アカホヤ噴火に伴う津波の発生時期については，鬼界アカホヤ噴火後の陥没時という考えもあるが（小林2015），遺跡での砂層とアカホヤ火山灰層との関係から，噴火途中とするのが合理的である。ただし，遺跡での砂層の堆積状況からは幸屋降下軽石の噴出時期か，幸屋火砕流噴出時期かなど，より細かい発生時期については不明な点が多く今後の検討課題である。津波の原因については，アカホヤ噴火途中で発生した２度の地震（成尾・小林2002），火砕流堆積物の海中への流入，カルデラ陥没などが想定されるが，現時点では不明な点が多い。

５　縄文時代中期～後期以降の液状化跡

遺跡のＡ地区では米丸テフラとアカホヤ火山灰層，その上位に堆積する黒色腐植土層・Ｐ５を切って上昇する噴砂脈が存在する（第195図左，第198図）。米丸テフラ上部層付近で観察される噴砂脈は，平面で最大幅５cm程度であり，途中で二つに枝分かれする。内部を充填するものは中粒砂が主体であるが，まれに泥塊や細礫サイズの軽石が入る。また，部分的には粗粒砂が混じる。断面ではほぼ垂直に上昇するが，部分的には屈曲したり枝分かれしたりする。上部は直線状に消滅し，地層内部に砂が噴き出した痕跡は確認できない。別稿の報告書のように，Ａ地区における平面での噴砂脈伸長方向はおおよそ北北西－南南東で，Ｐ５層上部の平面での噴砂脈幅は最大３cm程度である。

噴砂脈は縄文時代中期～後期遺物を含むⅢ層に達し，それより上部では不明瞭なことから，噴砂の発生時期は縄文時代中期～後期以降となる。ただ，前述のように横



第197図　噴砂脈の平面と断面　スケールは１ｍ

に広がる砂が確認されないことから，正確な時期は今後の検討課題である。

噴砂脈は地滑りによる圧縮でも形成されるが，本遺跡ではこの時期の地滑りは認められず安定した地盤環境であり，噴砂脈は地震動で形成されたと考えられる。想定される地震は日向灘で発生する，桜島の火山活動に関連して発生する，鹿児島湾形成に関連して発生する，活断層の活動により発生するなどが想定される。姶良市内の小倉畑遺跡では，南北方向へ伸長する古代の液状化跡が検出されており（成尾2003），本遺跡の噴砂脈も南北性のものであることを考慮すると，あるいは鹿児島湾形成に起因するものかもしれない。

参考文献

防災科学研究所（2019）J-SHIS Map　地滑り分布図.
http://www.j-shis.bosai.go.jp/map/?ls=1&center=140.7879680,39.94777349&zoom=12，2019.11.25閲覧

藤原　治・町田　洋・塩地潤一（2010）大分市横尾貝塚に見られるアカホヤ噴火に伴う津波堆積物.第四紀研究，49，23-33.

Geshi,N.,Maeno,F.,Nakagawa,S.,Naruo,H.,Kobayashi,T.（2017）Tsunami deposits associated with the 7.3ka caldera-forming eruption of the Kikai Caldera,insights for tsunami generation during submarine caldera-forming eruptions.J.V.G.R.，347，221-233.

服部　仁・福嶋宗人・上条朝宏（1996）多摩ニュータウンにおけるローム質噴砂脈.地質学雑誌，　102，391-403.

小林哲夫（2015）噴火に伴う津波－鬼界カルデラのアカホア噴火を中心に－.月刊地球，37，169-180.

小林哲夫・味喜大介・佐々木　寿・井口正人・山　孝広・宇都浩三（2013）1:25,000桜島火山地　質図（第2版）.産業技術総合研究所地質調査総合センター.

町田　洋・新井房夫（1978）南九州鬼界カルデラから噴出した広域テフラ-アカホヤ火山灰.第　四紀研究，17，143-163.

森脇　広・町田　洋・初見祐一・松島義章（1986）鹿児島湾北岸におけるマグマ水蒸気噴火とこ　れに影響を与えた縄文海進.地学雑誌，95，94-113.

森脇　広・松島義章・町田　洋・岩井雅夫・新井房夫・藤原　治（2002）鹿児島湾北西岸平野に　おける縄文海進最盛期以降の地形発達.第四紀研究，41，253-268.

永田秀尚（2015）北海道中標津町における地すべり末端部の覆瓦構造.「ノンテクトニック断層　－識別方法と事例」，p91-93，ノンテクトニック断層研究会編著.

成尾英仁・小林哲夫（2002)鬼界カルデラ，6.5ka BP噴火に誘発された2度の巨大地震.第四紀　研究，41，287-299.

成尾英仁（2003）姶良町小倉畑遺跡の液状化跡.鹿児島県地学会誌，87号，13-27.

第Ⅴ章　総括

第１節　縄文時代の成果

１　遺跡の旧地形

調査区全体として縄文時代の包含層（Ⅲ・Ⅳa層）の残存状況が良好であったことから，縄文中期後半～後期前半の遺物が多量に出土した。しかしながら，それに付随する遺構は確認されず，生活などの痕跡は確認されなかった。地形的には調査区東側から後郷川へ向かって緩やかに傾斜していることから，本遺跡に付随する住居などは遺跡東側の地形的に小高い所にある可能性が高いと想定される。

また，遺物の出土が集中した４・５区，10・11区は下層確認の結果，Ⅷ層の落ち込み部分であることが明らかになった。この区域の遺物包含層の埋土状況・遺物の出土状況からみて，縄文時代も窪地状またはゆるく傾斜した地形であったことが出土遺物の垂直分布からみても確認できた。

６～９区の包含層は削平されていたため，詳細は不明だが，５～６区や９～10区にかけてⅧ層の岩盤層直上から縄文中・後期の遺物が出土していたことから，当時もⅧ層の岩盤層が剥き出しであった可能性が高い。よって，岩盤層が広がる６～９区は土中を掘削して遺構等をつくることは困難であったと考えられる。

また，①遺構などがなく，窪地状になっているところに多量の遺物が出土していること，②遺物は新旧のものが入り混じって層位的な差異が認められないこと，③多量の土器も破片資料が多く，石器の製品関連遺物のほかに被熱破砕礫も多量に出土している点から調査区内の遺物集中区は廃棄的な性格が強いと想定される。

さらに，時期をみると中期後半～後期前半から存続していることからも，一定期間廃棄場として使用されていた可能性が高いと考えられる。

２　出土遺物

中期後半～後期前半の土器群について

縄文時代前期～後期前半の範疇に入る土器群が多量に出土した。前期の曽畑・轟式は少量しか出土しておらず，中期後半の春日式から後期前半の指宿式が出土した。中期前半は中尾田Ⅲ類，大平式，並木式，阿高式が主体で，後期前半は南福寺式・出水式・指宿式の出土もみられるが，主体は宮之迫式である。

春日式土器（２類）は口縁部の内湾が弱くキャリパー形をわずかに残す轟木ヶ迫段階と口唇部に突帯を貼り付ける南宮島段階がみられた。轟木ヶ迫段階では滑石の混入が多いが，南宮島段階では滑石はみられない。

中尾田Ⅲ類土器（３類）は，口縁部を肥厚させ，段を成すもので，本遺跡でも出土量が多い土器で，本遺跡出土のものに関しては口縁部形態や文様のバリエーションが多い傾向がみられた（詳細は後述）。

さらに幅広の突帯（押引・貝殻刺突）と沈線をもつ，協和式と仮称されていた土器もみられた（89：第198図）。これまで少ないながらも，宮崎県えびの市上田代遺跡などでも出土例がある。本報告では中尾田Ⅲ類土器の範疇に入れたが，突帯貼付（口縁部肥厚）と押引文・沈線文の組み合わせは大平式や並木式との関わりも考えられるものであり，本資料は協和式の実態解明につながる可能性が考えられる。

大平式土器（４類）は，南九州東南部を中心に分布するもので，口縁部下位が屈曲または段をもつ古段階のものはみられず，口縁部が直行し，段をもつ中段階のものが主体で，わずかに段をもたない新段階がみられた（c.f.相美2017）。中尾田Ⅲ類土器と比べ，数量は少なく，器面調整が貝殻条痕を残す個体が目立つ（詳細は後述）。

九州西半部に分布する並木式土器（５類）は口縁部下位に横位の文様帯をもつ古段階のものが少量で，胴部中位～下位までの押引文+沈線文をもつ新段階のものが主体であった。県内の遺跡の中でも出土量も多く，滑石混入品が多い。

凹線文系の阿高式土器（６類）は出土量が多く，滑石混入も多い。口縁部上位に２分割の文様帯をもつ（２－１類）ものと，胴部中位まで施文されるもの（２－２類）に大別した。器種は深鉢のほか，浅鉢形のものも少なからず存在する（390，414）。

文様は太形凹線文を深く施文することで内面に施文による凹凸を残すものが多い。やや沈線が細いものもあり，宮之迫式と分別しづらいものもあるが，凹線文の鋭利さや深さ，文様の複雑さ，器面調整などを基準に本類としたものもある。中尾田Ⅲ類との関係が考えられる文様帯下に刻目突帯をもつもの（511～513）は，宮崎県都城市王子原遺跡でも出土例がみられる。

磨消縄文の中津式土器（７類）はごく少量出土しており，いずれも新段階（中津Ⅱ式）相当のものと考えられる。口縁が内湾し，波状を呈し，口唇部が肥厚する深鉢（515～517）やや外反する直口縁の深鉢（518・519）のほか，頸部が窄まる鉢（521～523）が存在する。器壁の薄さや胎土的特徴から搬入品の可能が高いが，上記の器種がセットで搬入されている点は非常に興味深い。他遺跡との事例を検討する必要がある。

後期前半の宮之迫式土器（８類）は本遺跡で最も出土量が多い土器である。形態的特徴や文様構成も阿高式と併行，後続型式と捉えられる。従来岩崎上層式，桐木耳取７類，山ノ中ⅠA類，宮ノ上５～９類土器として整理されてきた土器である。

主体となる分布域は南九州東部で，阿高式の山形文や入組文が簡略化され，器面調整もナデ調整が基本となる。サイズも大型～小型品があり，外面への煤の付着が

目立つものが多い。凹線文系の文様から簡略化された波文・横線文の文様変化がみられる（宮之迫１～４式。c.f.眞邉2010）。また，貝殻刺突と連点文と沈線の組み合わせの擬似縄文も少なからずみられる。

南福寺式土器（８類）は逆Ｓ字形の文様をもつ深鉢と削り出し文の浅鉢があり，浅鉢が多い傾向にある。文様帯下はケズリで段を持ち，器壁は丁寧なナデ調整で光沢をもち，胎土はやや赤味を持つ。

出水式土器（９類）は南福寺式と同様に口縁部下位の文様帯をもち，文様は簡略化したものがみられる。深鉢が大半を占める。指宿式土器（10類）は出土量が少なく，後続する型式が認められないことから，本遺跡主体時期の最終段階と考えられる。

変容形・折衷形について

中尾田Ⅲ類土器は①口縁部肥厚帯と幅が狭く，段の下の接合痕を明瞭に残すものと，②口縁部肥厚帯と幅がやや広く，段がやや低くなり，接合痕をナデ消すものの２つに大別できる。②に関しては，形態的特徴や文様が大平式と類似する属性が多く，型式学的な類縁性が高いことが指摘されている（相美2017）。

①と②を差異を型式的な時期差とみるか，同一型式に変異をするかは今後の課題としたいが，ここで注目したのは，中尾田Ⅲ類にみられる他型式の影響である。

①の中でも口縁部断面が四角形にあるものは，口唇部に突起をもつものが多く，文様には大平式系の鋸歯文や亀甲文などを沈線や貝殻腹縁刺突で施文する。口唇部に突起を持つ特徴は並木式や阿高式に類似するものが存在する。

それを示すように，本遺跡で報告した中尾田Ⅲ類（３類）や大平式（４類）とした中でも，両者の分別が難しい次のような特徴をもつ変容形と考えられるものが存在している（第198図）。

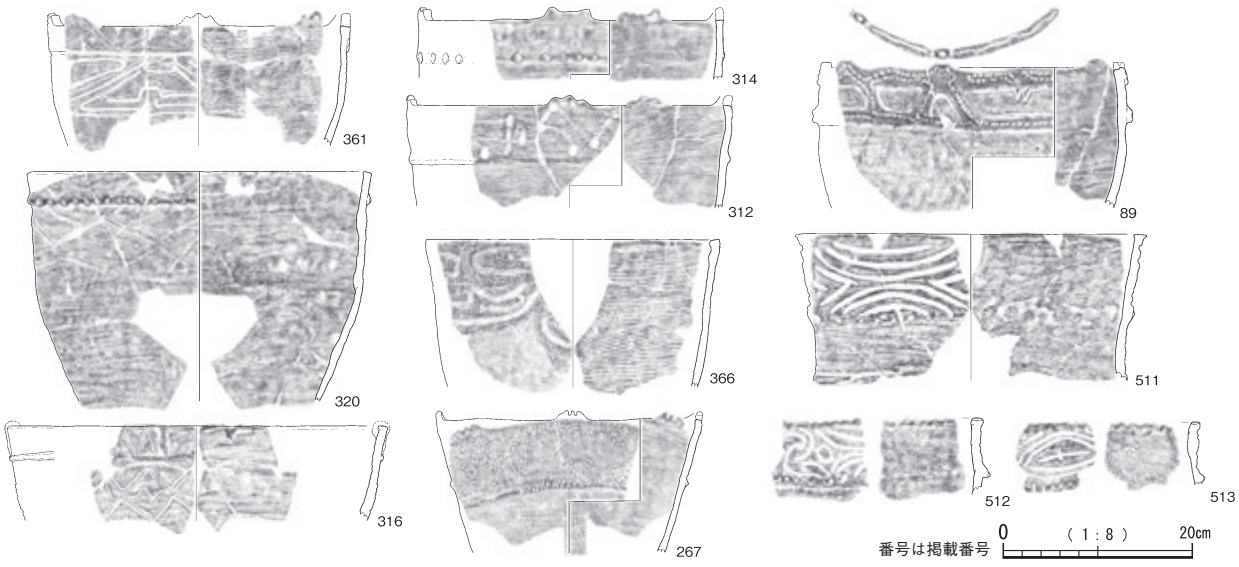
・形態的には中尾田Ⅲ類で，文様が並木式的（凹線と貝殻刺突文）をもつもの（361）
・口縁部は中尾田Ⅲ類的だが，内湾する形態や横位の文様構成が並木式的と思われるもの（89）
・形態的には大平式（新段階）で，文様が並木式的（凹線と貝殻刺突文）をもつもの（366）
・形態的には大平式だが，文様が並木式・阿高式のような太凹線文をもつもの（314，312）
・形態的には大平式だが，突帯と沈線文から文様が中尾田Ⅲ類的なもの（320，316）
・形態的には大平式だが，口縁部の突起や文様（押引文）が中尾田Ⅲ類的なもの（267）
・形態的には大平式だが，口縁下に中尾田Ⅲ類的な突帯をつけ，文様は阿高的な凹線文をもつもの（511～513）

これらは，異なる型式の属性をもつ折衷形・変容形といえるもので，各型式間の併行関係や分布域を考える上で重要な資料と考えられる。

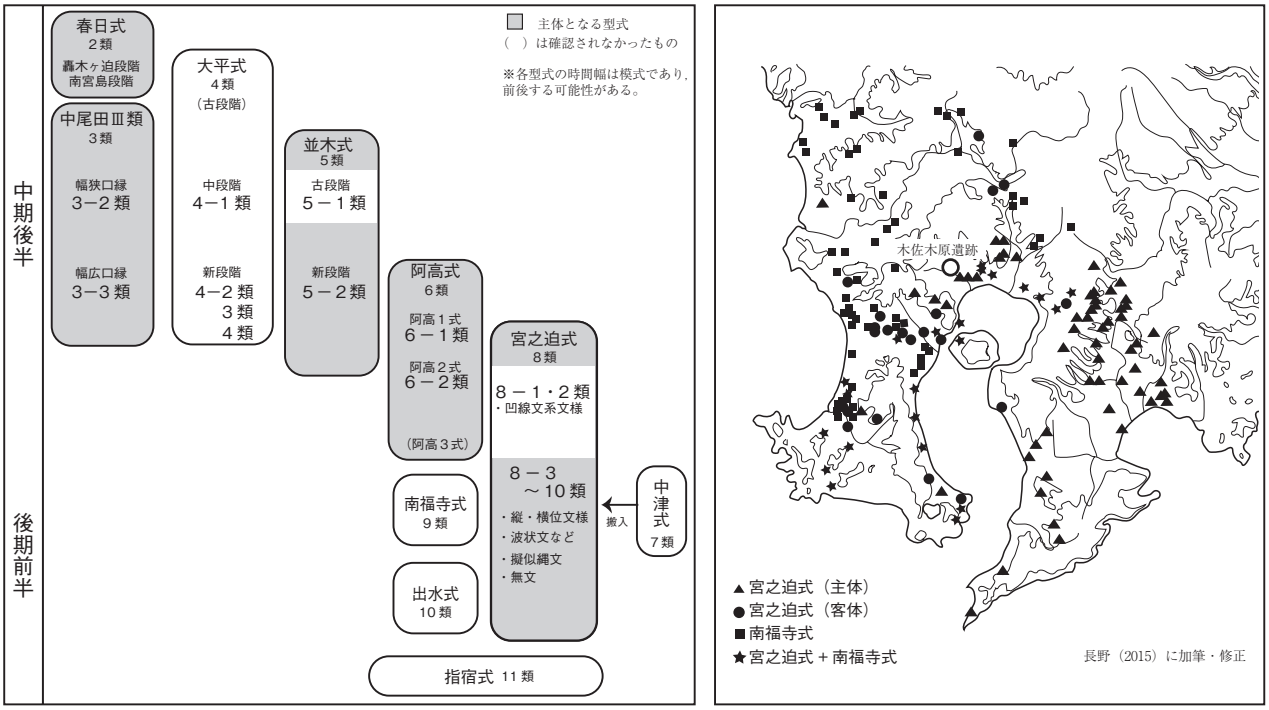
中期後半段階では大平式と並木式の折衷形などが確認されていることから，薩摩半島錦江湾沿岸部が各型式の分布域の接触地帯と考えられている（眞邉2006ほか）。本遺跡の立地と変容形の在り方は指摘されている接触地帯の事象に当てはまる。

特に本遺跡出土の中尾田Ⅲ類は量とともに，バリエーションも多い傾向にあったことから，本書で報告した中尾田Ⅲ類・大平式・並木式のの変容形については，広義の中尾田Ⅲ類の範疇に入る可能性が高く，属性の共有からこの３型式は同時期に併存すると考えられる。

大平式は中尾田Ⅲ類と比べ数量は少ないが，２～３条の篦状工具で鋭利な沈線で鋸歯文など施文され，やや器壁が薄手で器面調整の貝殻条痕を明瞭に残し，胎土には金雲母がみられる傾向にあった。胎土的特徴から大平式が客体的な搬入品ととられることもできるが，中尾田Ⅲ類にも雲母が入るものも多く，一概にはいえない。しか



第198図　変容形・折衷形土器



第199図　木佐木原遺跡の土器変遷・遺跡分布図

し，数量的な割合や器面調整などの違いからも可能性は高いと考えられる。

両者の出土量からみても，中尾田Ⅲ類が主体で，併行して大平式や並木式新段階が存在していたと考えられる。中尾田Ⅲ類はその実態が曖昧な部分が多く，大平式・並木式等との型式間の関係性を文化的接触による変異と捉えるべきかは今後の検討が必要となるが，本遺跡での両者の在り方は良好な手がかりとなるであろう。

土器変遷と分布について

本遺跡は前述した通り中期後半〜後期前半にかけて，鹿児島湾岸を境とした土器形式の分布域の接触地帯に立地しており，各時期その主体が変化していることが分かる（第199図）。中期後半は春日式から中尾田Ⅲ類を主体とし，東南部の大平式が客体的に存在する。その後，九州西部に分布する凹線文系の流れとなり，並木式（新段階）から阿高式が主体となる。阿高式の６－２類段階（阿高２式）と東部に分布する宮之迫式の凹線文系文様をもつもの（８－１・２類）が併行関係またはやや後続すると思われる。中尾田Ⅲ類と大平式・並木式・阿高式は同時併存すると考えられるが，各型式の時期幅については前後する可能性が高く，並木式の成立等にも関わるため今後の課題としたい。

後期前半は東部の宮ノ迫式土器（８－３〜10類）が主体となり，西部の南福寺式・出水式が併存する。中津式もこの時期に搬入されるものと考えられ，宮之迫式にも擬似縄文の文様が出現し始める。また，本遺跡に関しては，南福寺式は深鉢が少なく浅鉢が多い傾向にあり，精製土器として意識的に搬入していた可能性も考えられる。

本遺跡の土器の変遷と当該時期の編年との詳細な対応関係は今後の課題となるが，本遺跡の変遷は地域性も考慮すれば土器分布圏の境界地域の様相や時間的変遷を表していると想定される。

これは中期後半から後期初頭まで様々な土器型式や情報が複雑に関係しながら，連続的に存続していたといえ，本遺跡は当該時期の物的・情報の交流の拠点であったと考えられる。

石器

縄文時代前期〜晩期相当の遺物が出土しているが，大半は中期後半〜後期前半の範疇に入るものであった。

器種構成は，石鏃等の小型剥片と磨石，敲石，石皿などの礫石器，軽石加工品などが確認された。

特に小型剥片石器は少ないが，製品以上に石核が非常に多いが，近隣の三船産（黒曜石Ⅱ類）は少なく，石材も黒曜石Ⅰ類（上牛鼻産のもの）が圧倒的数量が多い傾向にあった。また，石核のほか原石なども多く，石材の入手（交流）も頻繁に行わなれていた可能性が高い。

対して，礫石器は遺跡近辺で採取しやすい安山岩などが使用されるようである。また図化しなかったが，安山岩のやや大型（10cm大）の剥片や二次加工剥片も多い傾向がみられた。軽石加工品は量が多く多種にわたるが，機能などについては今後の課題である。

第２節　古代・中世の成果

古代

２基の炉跡が確認された。SL２は馬蹄状を成す竈として使用され，SL３は土師器の焼成遺構と考えられ

る。古代駅家関連遺跡の城ヶ崎遺跡で非常に類似した遺構（８世紀後半～９世紀前半）が確認されている。SL３も８世紀後半と考えられ，古代駅路沿いの立地することから今後検討する必要がある。

中世

大きく２時期（①12世紀後半～13世紀段階と②15～16世紀段階）に分別される遺構・遺物が確認された。

①12世紀後半～13世紀段階では，掘立柱建物跡２軒（ＳＢ1・２）と竪穴建物跡１基（ＳＩ1）が確認された。方形の竪穴建物跡は工房跡もしくは一時的な保管場所としての穴蔵で機能したことが指摘されており（堂込1999，2003），県内でも大口市新平田遺跡，出水市外畠遺跡・中郡遺跡群などで12～13世紀代の方形竪穴建物跡が掘立建物跡とセットで確認されている。SI1は炉跡は確認されていないことから，蔵としての機能をもったものであったと推定される。また，南九州では東国御家人の権力下のおける象徴的施設として位置づけられており（堂込ibid），本遺跡の対岸の蒲生城の築城（1123年）や蒲生氏の支配にも関係があると考えられる。

②14～15世紀代は，カマド状遺構（ＳＬ４）が確認されている。馬蹄形を成し，焼土片・炭化物層がみられた。輸入陶磁器も線描蓮弁文の青磁碗Ｂ類や八角坏などの森田Ｄ群を中心に出土している。

第３節　遺跡の残存状況等

木佐木原遺跡はⅧ層（米丸マール岩盤層）が表土下30～80㎝下に広く堆積しており，包含層は部分的に残存している（第200図）。縄文時代・古代の包含層についてはⅧ層の落ち込み部分のみで確認されており，落ち込み部分の延長上に包含層が残存している可能性がある。

しかし，Ⅷ層が広く堆積して包含層の残存状況が良好でないところでも，Ⅷ層をくり抜いた中世相当の遺構等が多数確認されているため，今後も取り扱いに十分注意する必要がある。

主要参考文献

新東晃一 1988「縄文土器―九州地方南九州（２）」『考古学ジャーナル』296

相美伊久雄 2006「南九州における縄文時代中期初頭～後葉の土器の様相―深浦式と春日式と船元・里木式－」『Archaeology from the South 鹿児島大学考古学研究室25周年記念論集』

相美伊久雄 2017「大平式再考―東南部からみた九州縄文時代中期後半期の様相―」『鹿児島考古』47

土岐耕司 2016「春日式土器の分類・変遷と長崎市深堀遺跡出土資料の検討」『西海考古』9

徳永貞紹 1994「並木式土器の成立とその前夜」『牟田裕二君追悼論集』

徳永貞紹 2010「並木式土器研究の現在地」『九州の縄文時代中期土器を考える』第20回九州縄文研究会佐賀大会発表要旨・資料集

冨井　眞 2000「西日本縄文後期初頭土器の再編へ―山陰地方西部からの問題提起―」『考古学研究』47-1

冨井　眞 2001「西日本縄文土器のとしての並木式土器の評価―阿高式・中津式との関係―」『古文化談叢』47冨井　眞 2008「並木式・阿高式土器」『総覧縄文土器』

冨井　眞 2011「中津式・福田KⅡ式土器について―方法論点を射程にしつつ九州縄文後期前葉土器研究のために―」『九州における縄文時代後期前葉の土器―中津式・福田KⅡ式併行期を中心として』第21回九州縄文研究会佐賀大会発表要旨・資料集

長野眞一2015「宮ノ上遺跡の縄文時代後期前半の土器群について」『紀要縄文の森から』8

東　和幸 1994「春日式土器と並木式土器・阿高式土器」『南九州縄文通信』8

東　和幸 2010「鹿児島県における縄文時代中期土器の様相」『九州の縄文時代中期土器を考える』第20回九州縄文研究会佐賀大会発表要旨・資料集

眞邉　彩 2006「縄文時代中期土器の研究の現状―研究史と中尾田Ⅲ類土器・大平式土器の整理―」『鹿児島考古』40

眞邉　彩 2007「縄文時代中期並木式土器の研究―太形凹線文土器のはじまり―」『南九州縄文通信』18

眞邉　彩 2009「並木式土器・阿高式土器」『鹿児島の縄文時代中期土器』南九州縄文通信第20号刊行記念研究会要旨・資料集

眞邉　彩 2010「九州南部における中期土器の現状と課題―中期後葉～中期末の様相―」『九州の縄文時代中期土器を考える』第20回九州縄文研究会佐賀大会発表要旨・資料集

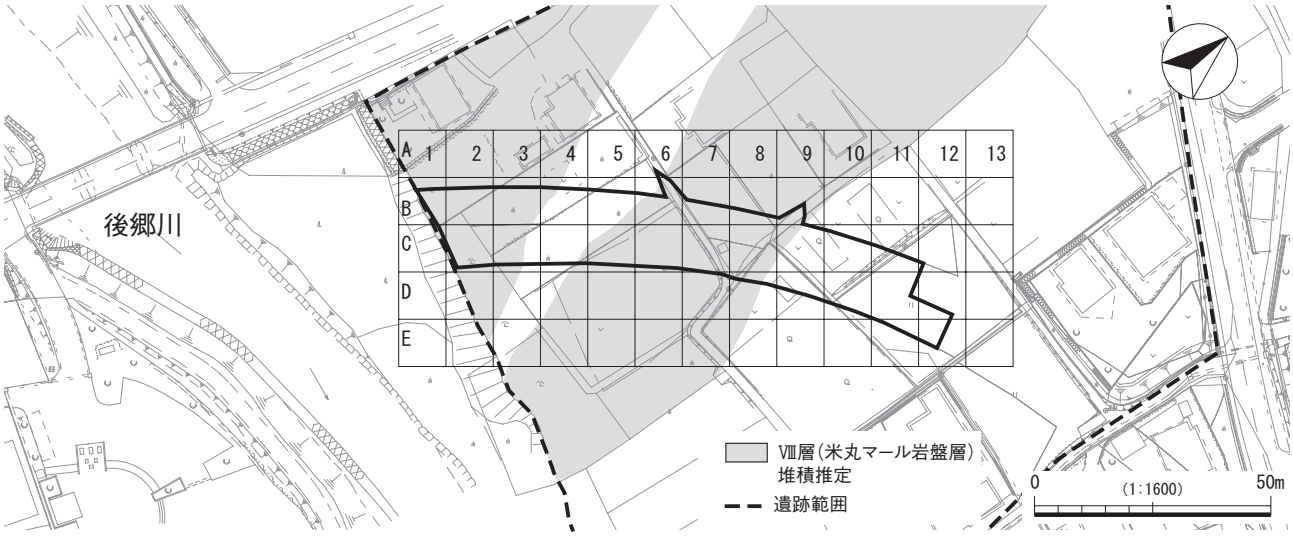
水ノ江和同 1999「九州地方　中期」『縄文時代』10

水ノ江和同 2009「九州における縄文時代中期と後期の境界問題―はたして阿高式は中期土器か，後期土器か？―」『古文化談叢』62

三輪晃三1996「九州阿高式系・縁帯文系土器群の研究－縄文中・後期の土器ホライズンの形成とその背景―」『奈良大学大学院研究年報』創刊号

矢野健一 1995「並木式・阿高式の編年観変更の意義」『日本考古学協会第61回総会研究発表要旨』

矢野健一 2010「九州縄文中期土器編年論争の本質」『九州の縄文時代中期土器を考える』第20回九州縄文研究会佐賀大会発表要旨・資料集



第200図　遺跡の残存状況

写真図版







①遺跡全景（奥に蒲生城）　②遺跡俯瞰（米丸マール岩盤層露出）　③Ｂ・Ｃ－１～６区俯瞰

図版2



①B・C－１～６区遺構検出状況（Ⅳ層面）北から　②B・C－３～５区遺構検出状況（Ⅳ層面）南から　③B・C－３～５区遺構検出状況（Ⅳ層面）東から
④B・C－３～５区南壁土層堆積状況（深掘トレンチ）　⑤B・C－３～５区中央トレンチ土層堆積状況（床面はⅧ層岩盤層）　⑥中央トレンチ噴砂跡
⑦C・D－８～12区遺構検出状況（Ⅲ・Ⅳ層）⑧C・D－８～12区南壁土層堆積状況










①Ｂ・Ｃ－１～５区Ⅲ層遺物出土状況　②Ｂ－３区遺物出土状況　③Ｂ－４区遺物出土状況　④Ｂ－５区木葉底出土状況　⑤Ｃ－10区遺物出土状況
⑥Ｃ・Ｄ－９～10区遺物出土状況　⑦Ｂ－４区ＳＫ１　遺物出土状況　⑧Ｂ－３区　ＳＬ１完掘状況

図版4



①Ｄ－10区ＳＬ３　検出状況　②Ｄ－10区ＳＬ３　焼土検出状況　③Ｄ－10区ＳＬ３　完掘状況　④Ｄ－11区ＳＬ２　検出状況　⑤Ｄ－11区ＳＬ２　埋土堆積状況　⑥Ｂ－４区ＳＬ４　調査状況　⑦Ｂ－４区ＳＬ４　マール片利用状況　⑧Ｂ－５区ＳＩ１　炭化木出土状況

















①Ｂ－５区ＳＩ１　完掘状況　②Ｂ－５区ＳＩ１　柱穴　③Ｃ－５区　ＳＢ１完掘状況　④Ｃ－５区　Ｐ１検出状況　⑤Ｃ－５区　Ｐ１完掘状況
⑥Ｃ－５区Ｐ３　検出状況　⑦Ｂ－２区　ＳＫ3検出状況　⑧Ｂ－２区　ＳＫ3完掘状況

図版6



①Ｃ－３区ＳＫ５　検出状況　②Ｃ－３区ＳＫ５　完掘状況　③Ｃ－４区ＳＫ２　完掘状況　④Ｃ－４区ＳＫ８　完掘状況　⑤Ｂ－５区ＳＫ６　完掘状況
⑥Ｃ－４区ＳＫ８　完掘状況　⑦Ｂ・Ｃ－４～８区　ＳＤ1完掘状況



311



327



405



406

図版8



634



527



616



824



803



804



853



852



851

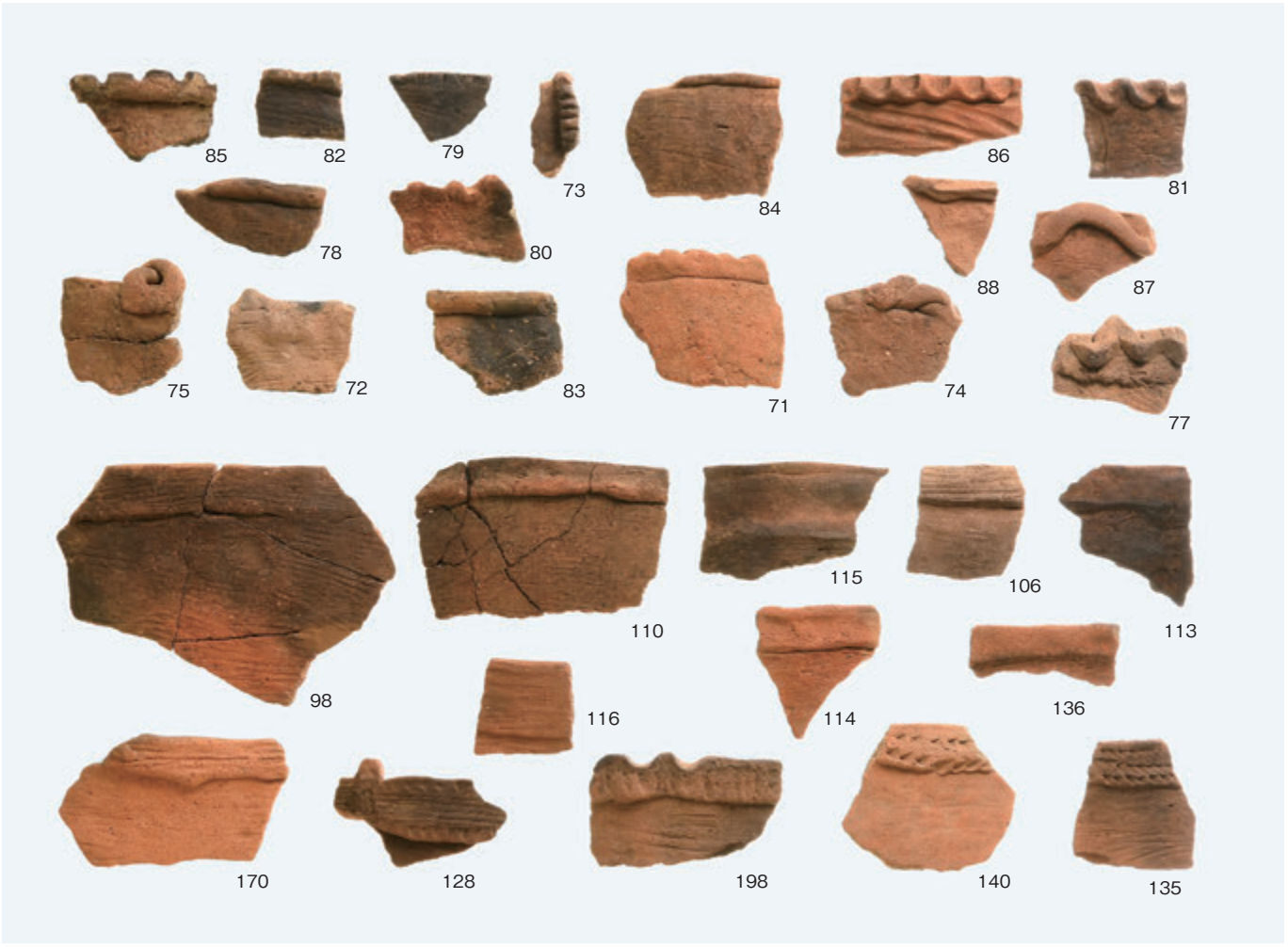

1
2
3
10
7
9
5
6
12
13
11
14
8

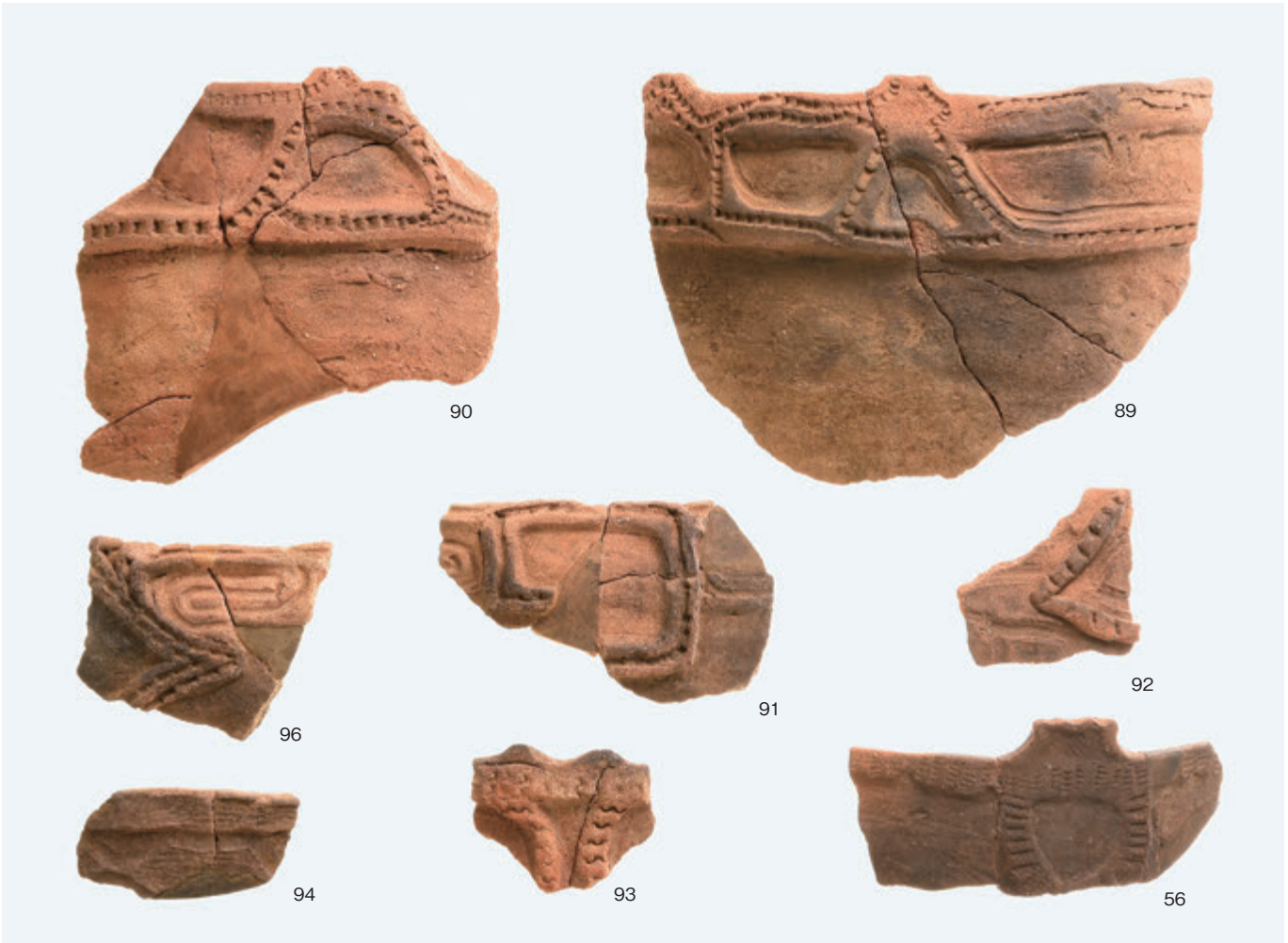

19
23
33
32
15
27
34
18
37
22
24
20
25
21
45
17
16
44
40

図版10

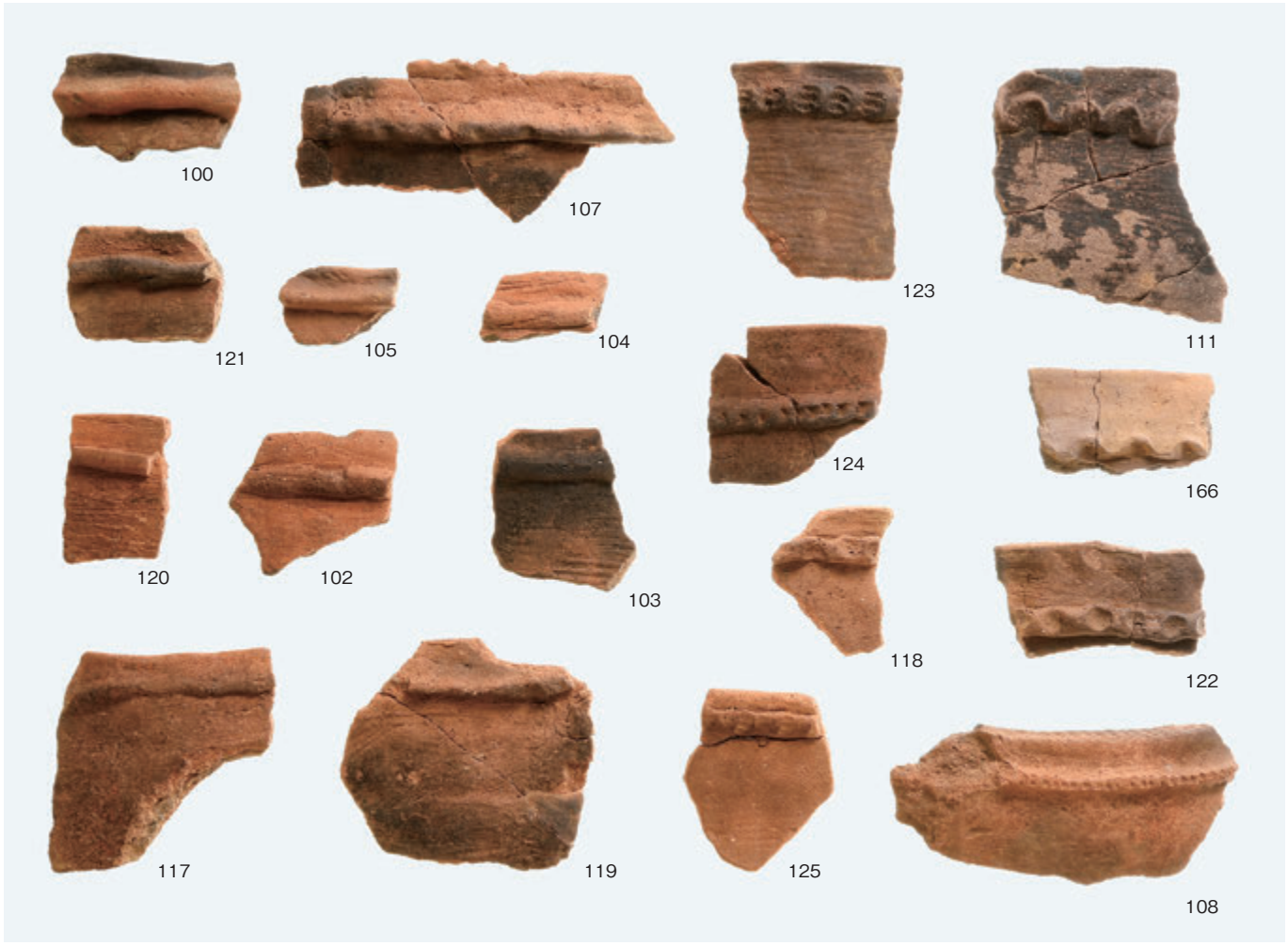

42
41
26
57
38
39
31
43
36
46
47
28
35

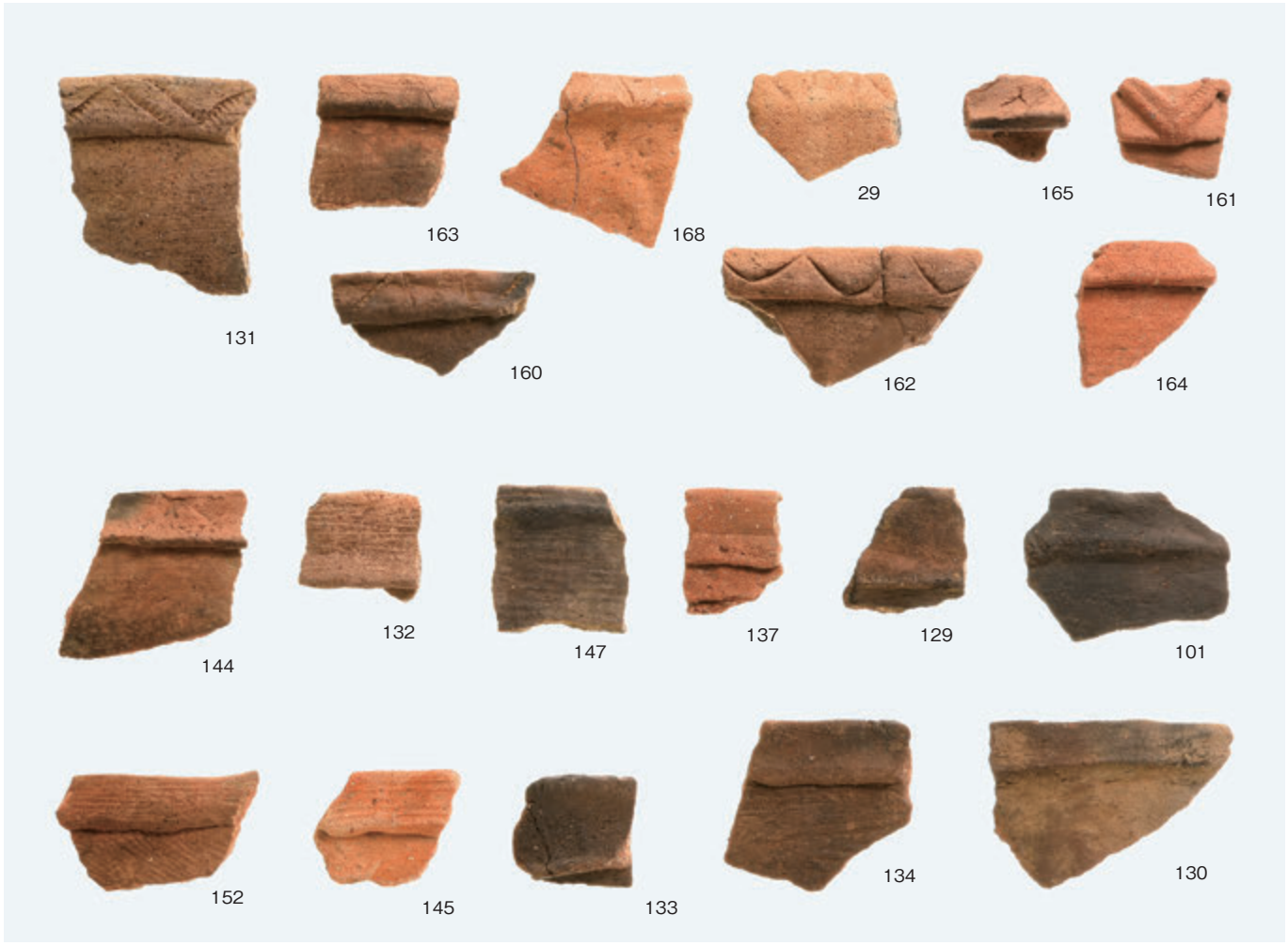

54
49
50
52
55
51
53
60
48
61
58
62
59
64
63
67
65
66
95
69

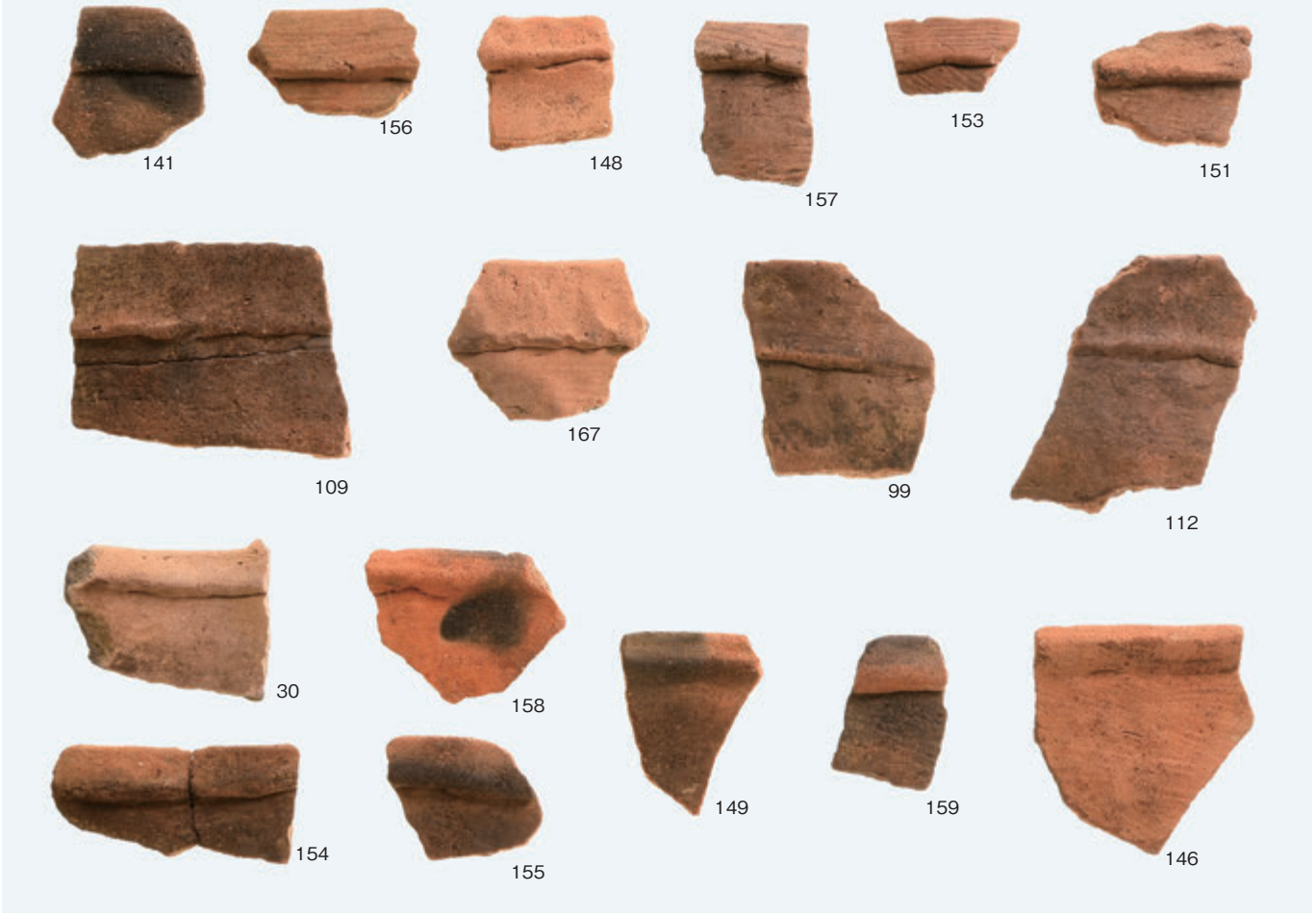

85
82
79
73
84
86
81
78
80
88
87
75
72
83
71
74
77
98
110
115
106
113
116
114
136
170
128
198
140
135


90
89
96
91
92
94
93
56

図版12

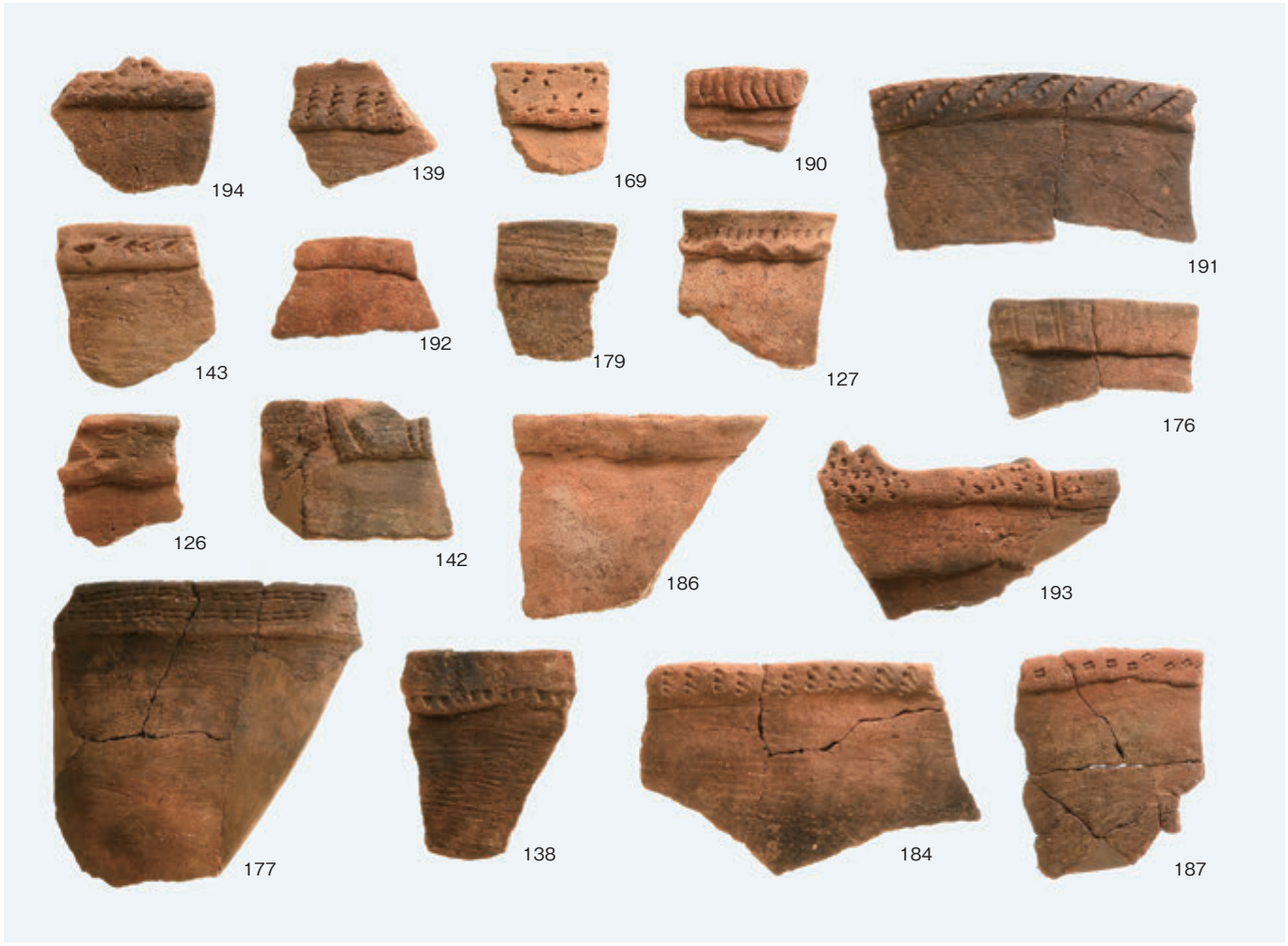

100
107
123
111
121
105
104
124
166
120
102
103
118
122
117
119
125
108


163
168
29
165
161
131
160
162
164
144
132
147
137
129
101
152
145
133
134
130

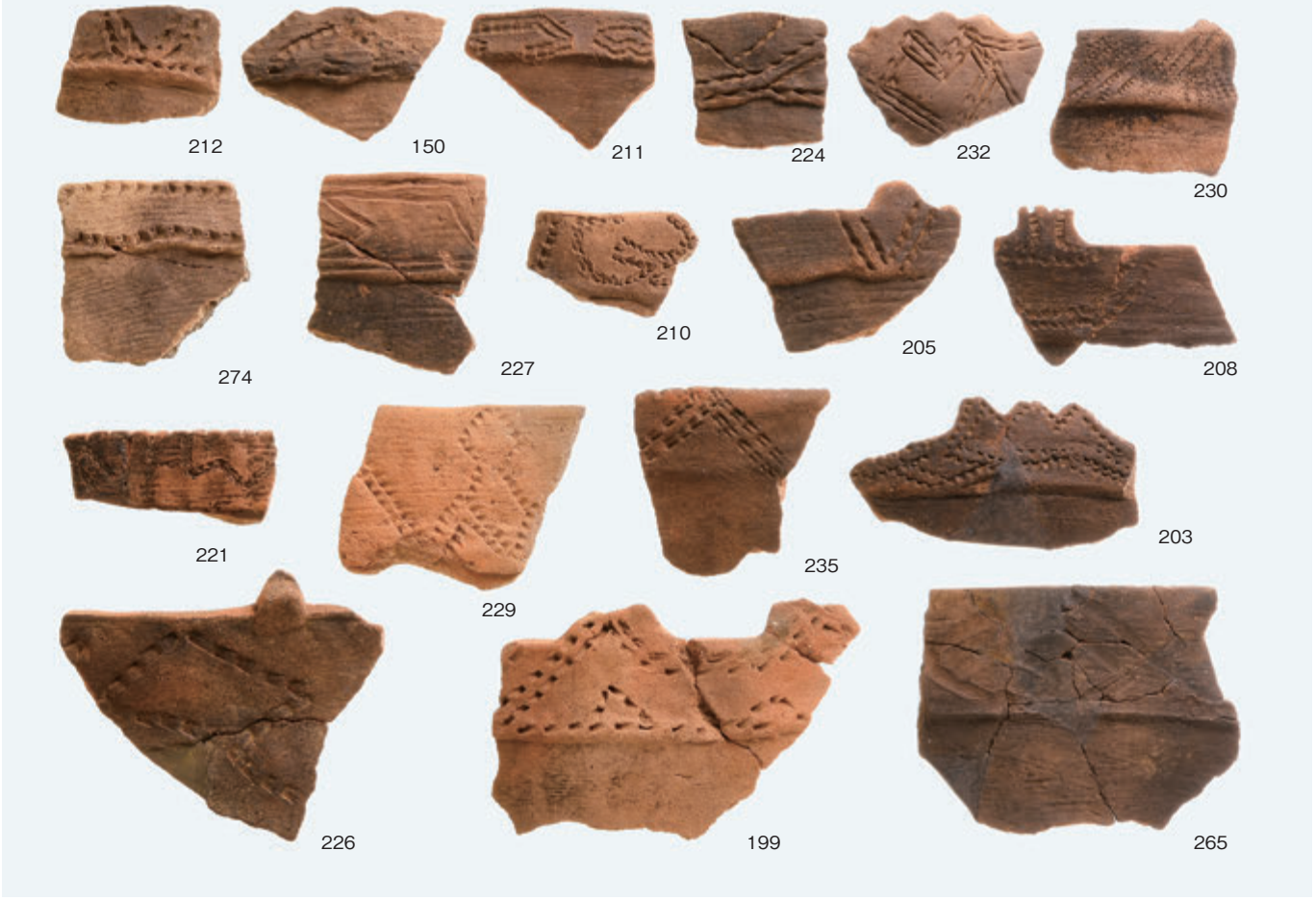

141
156
148
157
153
151
109
167
99
112
30
158
149
159
146
154
155


196
189
195
185
197
188
183
885
173
175
182
172
174
181
178
171
180

図版14


194
139
169
190
191
143
192
179
127
176
126
142
186
193
177
138
184
187


216
215
213
202
207
217
231
214
201
223
206
245
251
209
259
258
222
234
244


212
150
211
224
232
230
274
227
210
205
208
221
229
235
203
226
199
265

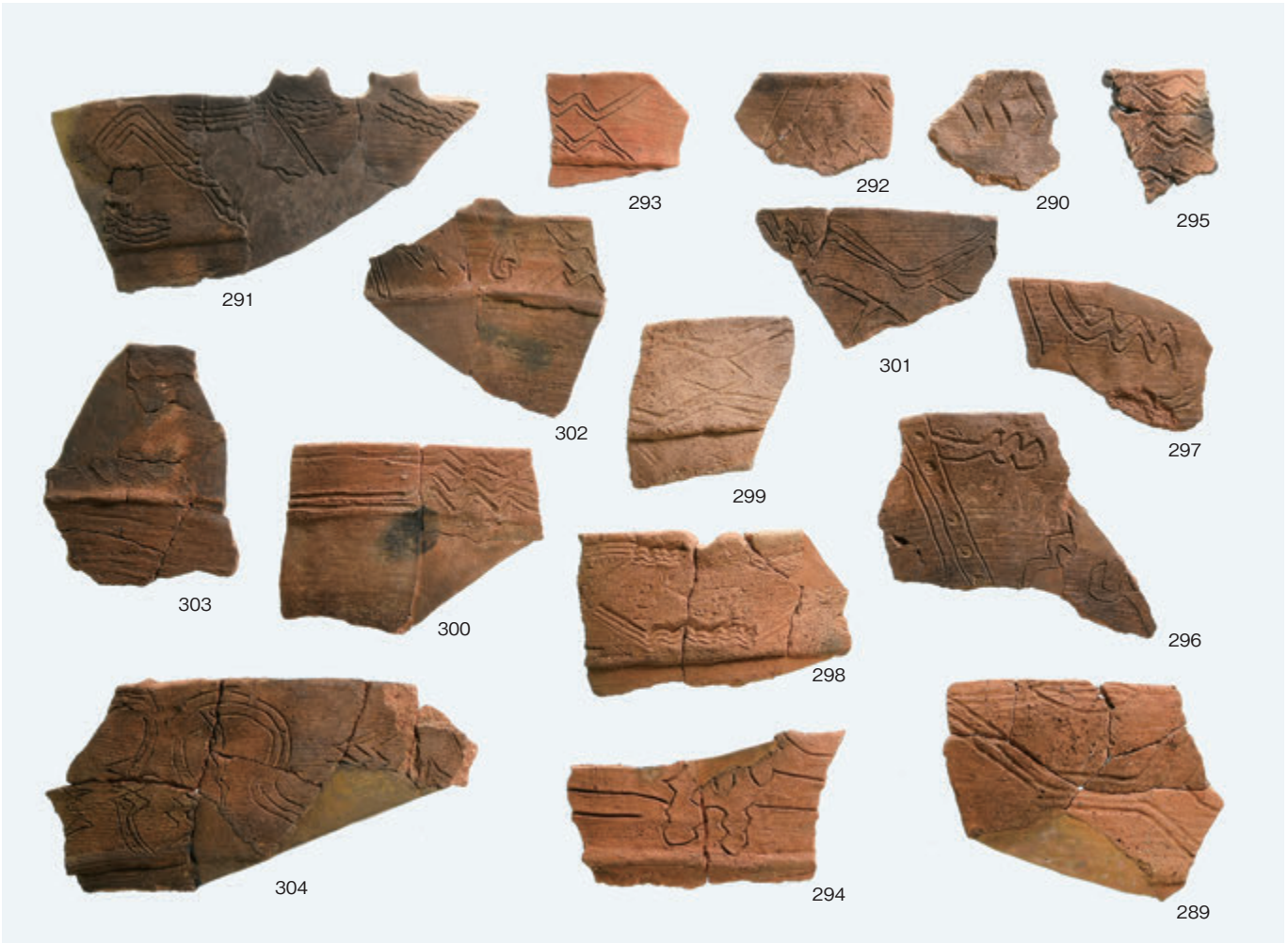

262
218
250
240
239
255
242
263
243
261
256
254
233
257
253
266
238
220
228

図版16


272
241
219
247
225
246
236
268
273
200
237
271
248
264
267
269
249
252
270

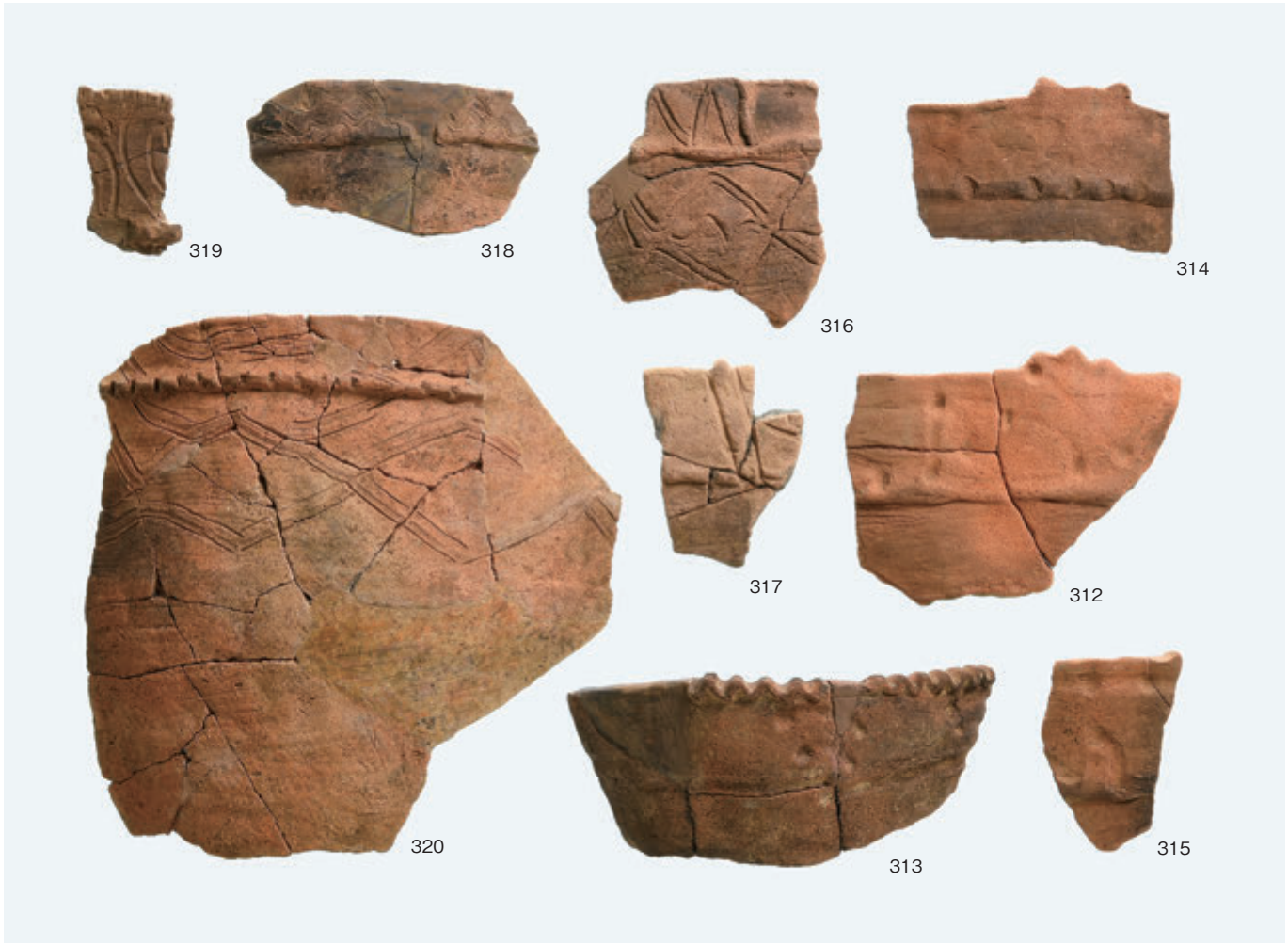

277
275
283
282
204
278
884


279
276
280
285
284
286
288
287
4
281
260


293
292
290
295
291
301
302
297
299
303
300
298
296
304
294
289

図版18






324


323


322


321


328


325


326

図版20


353
357
337
333
334
329
344
338
339
335
354
348
345
340
331
347
346
342
336
356
351
349
350
330
355
352
343
341
332


367
368
363
364
360
362
365
369
371
358
370
366
361
359


515


518


519


517


516


522


520


521


523


374


373


372


375


382


383


378

図版22


384
379
380
386
385
376
377
381


395
397
398
391
402
392
396
401
393
400
403
388
390
387
399
404
389
394


407
412
411
418
417


425
422
409
459
421
408

図版24


419
415
413
452
426
427
455
434
493
461
433
456
457
429
460
449
430


447
451
472
414
453
458
431
474
547
432


416
488
495
499
420
464
436
587
441
437
443
450
439
438
442
509
510
466
435
467
424
428
469
454
471
489
465

図版26


423
504
506
507
470
480
483
477
448
505
476
484
481
482
508
494
487
496
486
479
492
475
500
497
498
444
478
445
485
501
490
440
463


491


539


410


503


462


468


588


446


511


512


513


514

図版28


530
561
551
562
554
585
557
529
548
526
525
531
556
524
550


546
544
541
576
538
566
535
528


552
543
581
532
553
558


536
559
555
574
564
537
582
542
568
569
534
573
540
571
575
572
567
570
579
583
580
589
586
584
578
545
565
533
577
549

図版30






611


624


620


612


625


623


617


614


626


622


606


627


615


628


633


652


646


637


630

図版32


629
644
631
679
667
649
645


663
647
669
642
650
666
672
665
643
653
678


648


640


674


659


638


654


632


677


664


656


662


661


676


673


657


636


660


641

図版34

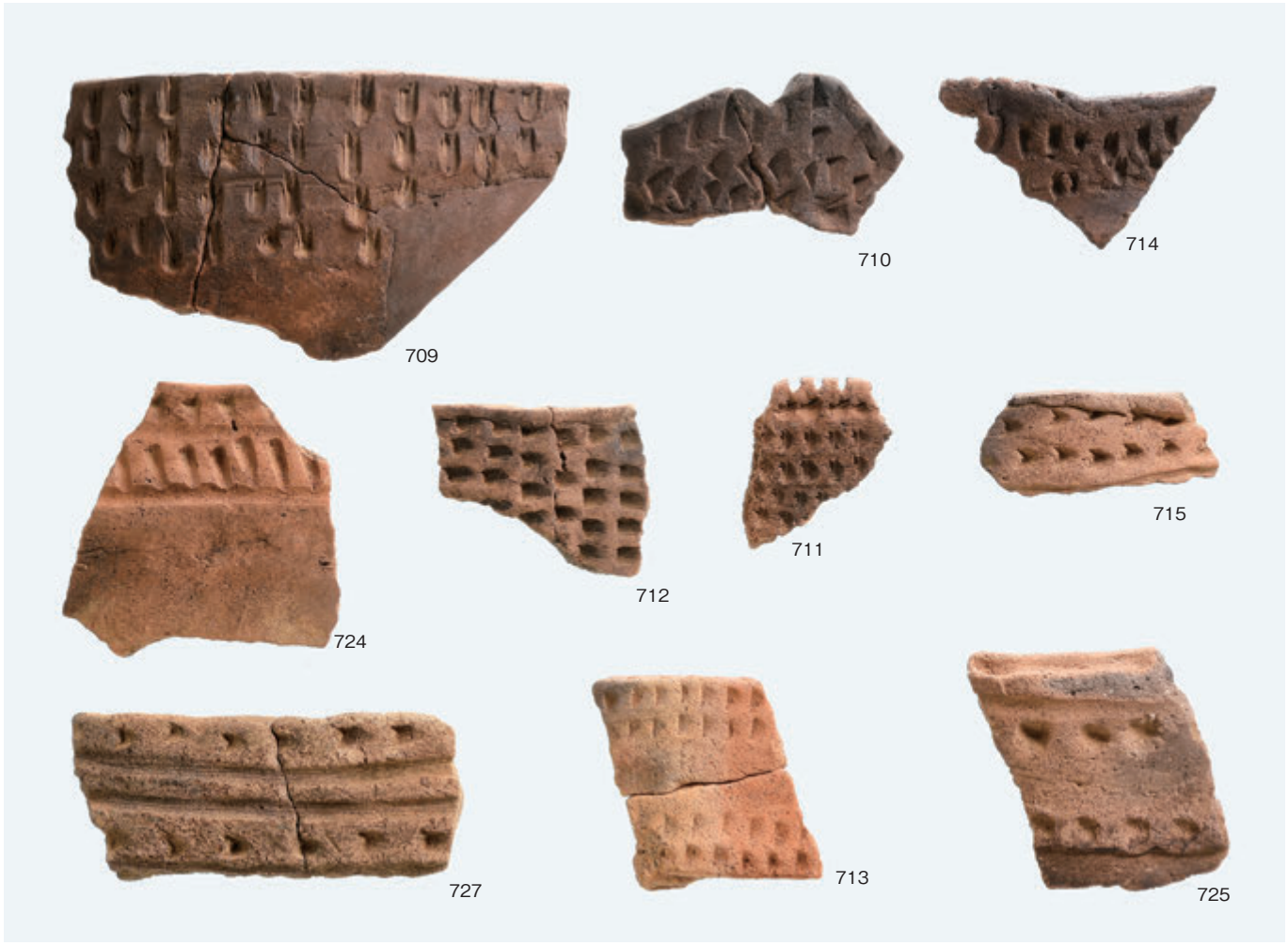





680
690
681
683
687
686
688
689
691
684
685
682


560
596
597
563
675
599
670

図版36






693
694
702
695
692
701

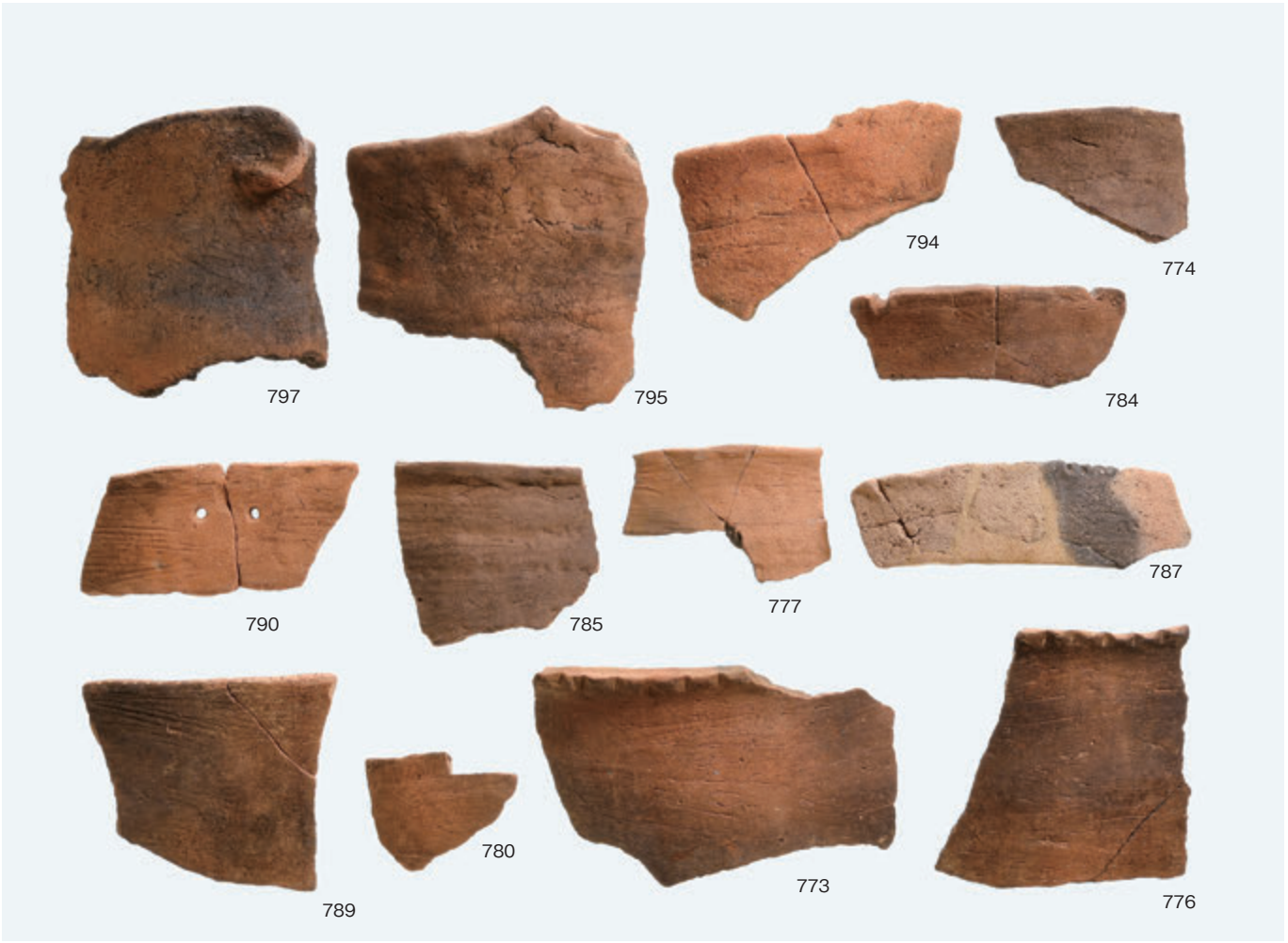

700
707
706
708
703
704
699
697
698
705

図版38

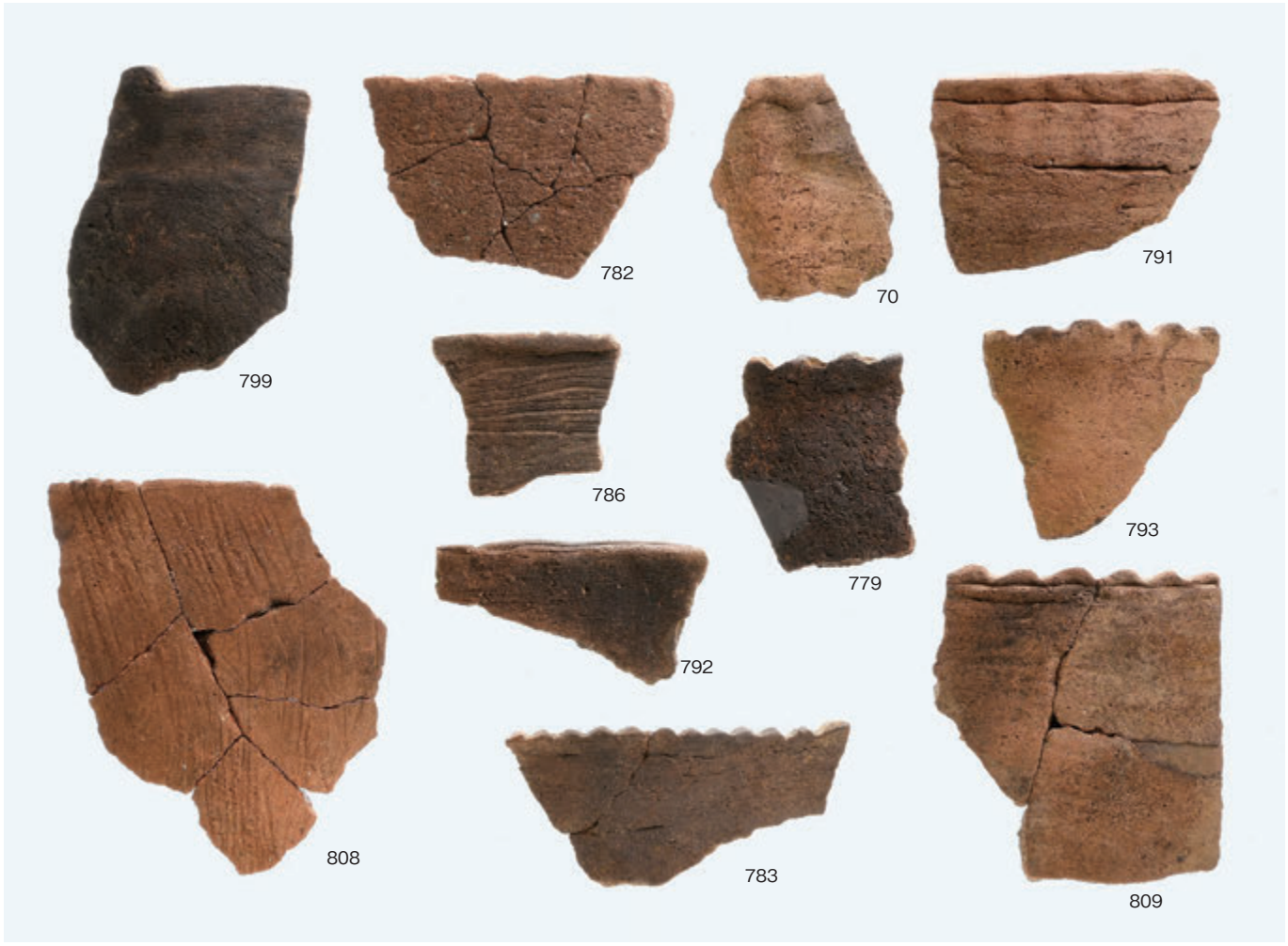

721
720
728
746
739
734
733
729
723
738
730
748
732
753
740
737
735
731


716
719
717
756
758
718
754
752
755
750
726
722
743
757
747
741
751
736
749
742
744
745

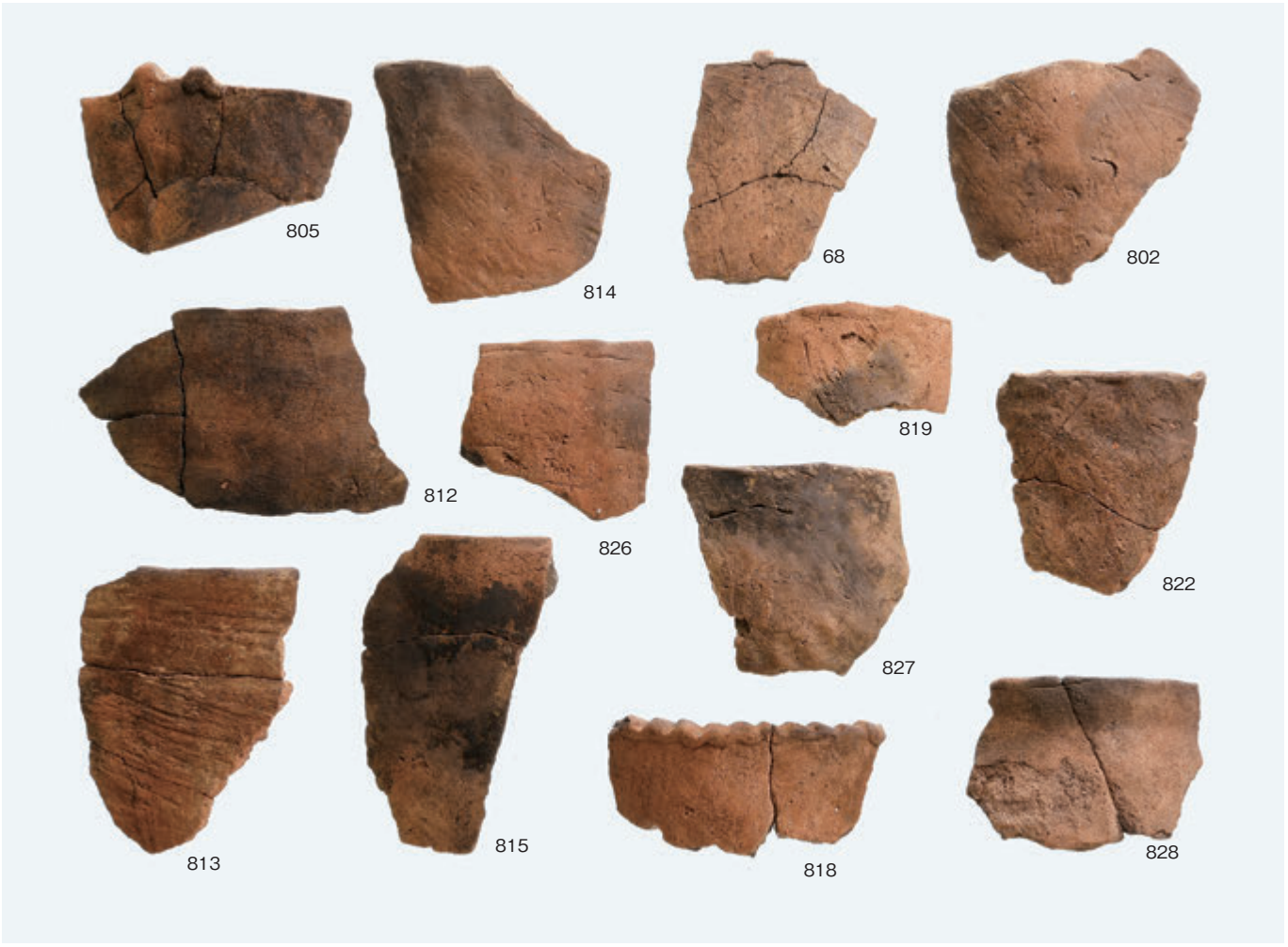

764
766
769
768
765
767

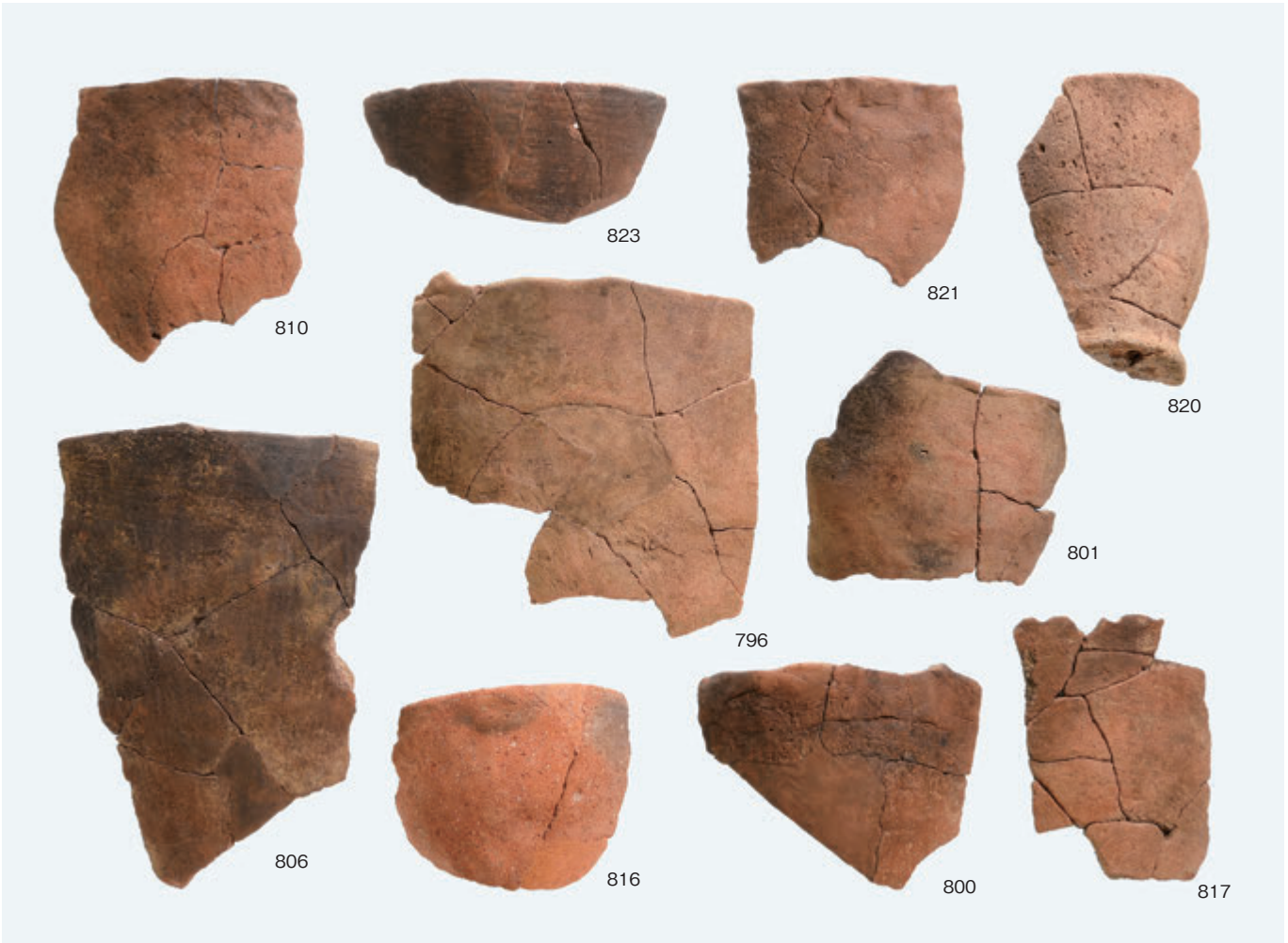

797
795
794
774
784
790
785
777
787
789
780
773
776

図版40


799
782
70
791
786
779
793
792
808
783
809


807
811
788
775
781
778
798
825
696


805
814
68
802
812
826
819
822
827
813
815
818
828


823
821
810
820
801
796
806
816
800
817

図版42


832
830
837
848
833
834
849
842
831
839
843
835
844
847
846
841
836


845
838
840
901


873
868
858
855
856
869
857
854
862
863
850


860
864
865
872
870
861
871
875
867
859
874
926
866

図版44



878



877



876



880



923



912



879


895
888
890
889
892
883
886
887
891
882
881
893
897
896
930
894


903
473
905
907

図版46


898
902
908
910
909
916
904
920
899


914
900
922
927
913
915
921
911
925
918
928
917
919
76
502
829
924


933


932


934


931


939


937


942


943


936


938


935


906


941


940

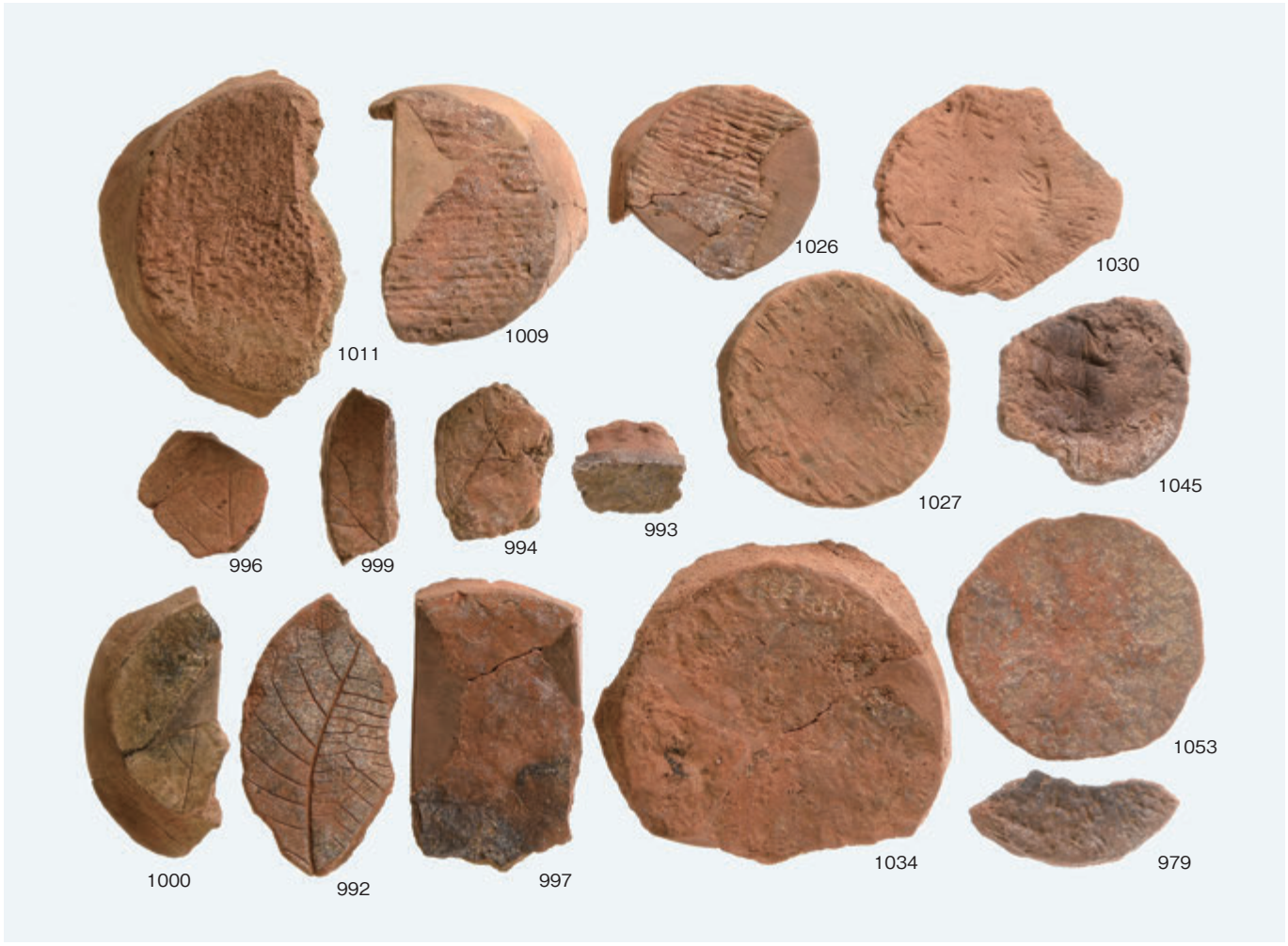
図版48






1054
1063
1004
1008
1056
1064
1062
976
1010
1025
1060
1033
1057
1059
1005
1041
1061
1013
1042
1081
1076
992
1002
958
1082
960
955
953
974
959
1032
1051
1075
964
975
1067
1079
1074
973
1072
1039
965
972
990
970
988
971
987
968
966
989
967
963
969

図版50


1011
1009
1026
1030
996
999
994
993
1027
1045
1000
992
997
1034
1053
979


1089
1083
1085
1086
1091
1095
1090
1088
1084
1087
1092
1096
1099
1098
1093
1094
1097


1100
1101
1102
1103
1104
1105
1106
1109
1110
1111
1112
1113
1114
1115
1116
1117
1118
1119
1120
1121
1122
1123
1124
1125
1126
1127
1128
1129
1133
1134
1135
1136
1137
1107
1108
1132
1138
1139
1140
1141
1131
1142
1143
1144
1146
1145
1147
1130
1148
1149
1150
1151
1152
1153

石鏃

図版52


1154
1155
1156
1157
1158
1159
1160
1161
1162
1163
1164
1165
1166
1167
1168
1169
1171
1172
1173
1180
1175
1178
1176
1174
1179
1177
1181
1182
1170
1184
1183
1185
1186
1187
1188
1189
1191
1190
1192
1193
1194
1197

石錐


1207


1208


1209


1210

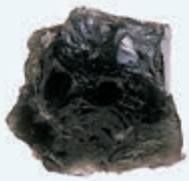

1211


1212


1215


1232


1216


1217


1218


1219


1220


1221


1225


1224


1227


1222


1223


1233


1214


1229


1226


1230


1231


1234


1235


1236


1237

楔形石器

図版54





尖頭状石器・彫器・異形石器


1268


1270


1271


1250


1252


1254


1253


1256


1255


1258


1257


1251


1259


1260


1261


1262


1263


1264


1265


1273


1267

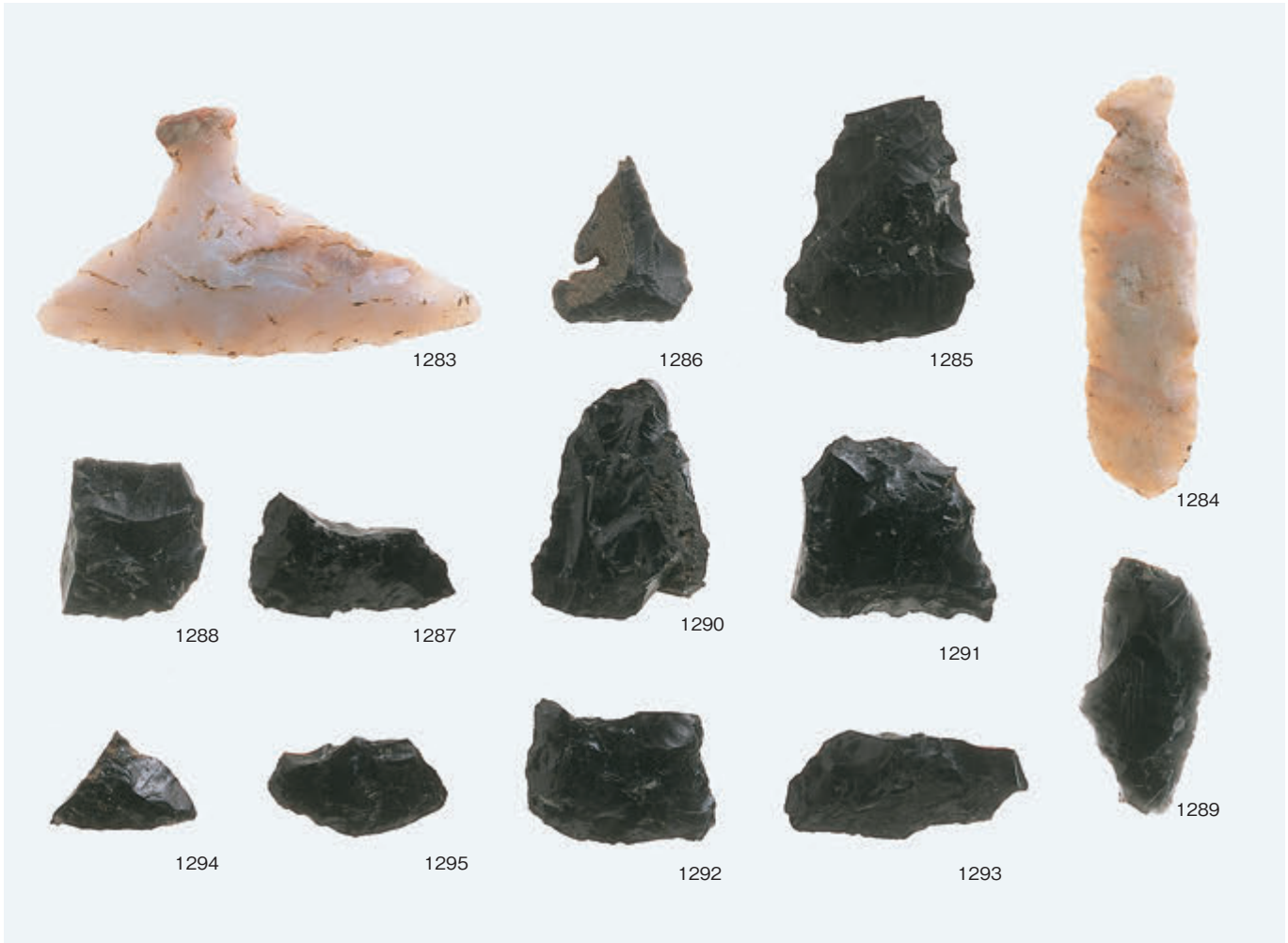

1269


1272

掻器・削器

図版56


1266
1274
1275
1276
1278
1277
1279
1282
1280
1281

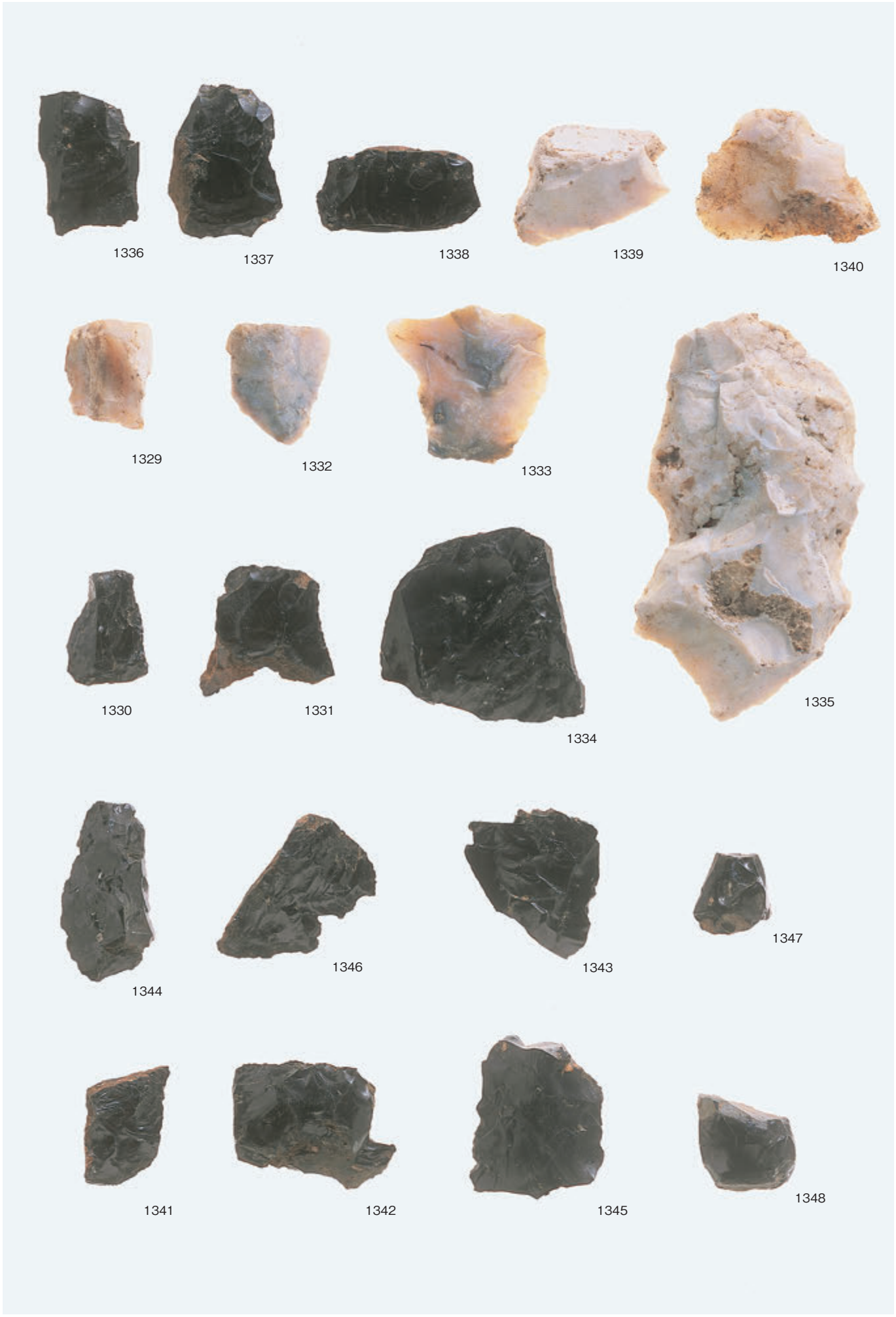

1283
1286
1285
1284
1288
1287
1290
1291
1289
1294
1295
1292
1293

石匙・掻器・削器


1296
1297
1298
1299
1300
1302
1318
1301
1308
1304
1305
1303
1306
1307
1310
1309
1311
1312
1313
1314
1315
1316
1319
1320
1322
1321
1323
1324
1325
1326
1327
1328

二次加工・使用痕剥片

図版58



二次加工・使用痕剥片


1425
1422
1454
1426
1475
1382
1470
1423
1375
1417
1424
1480
1438
1479
1449
1370
1436
1472
1376
1458
1406
1462
1395
1404
1474
1442
1473
1451
1360
1418
1463
1455
1416
1432
1361
1459
1408
1439
1372
1369
1362
1397
1396
1390
1453
1391
1433
1450
1415
1477
1400
1469
1478
1445
1430
1420
1431
1411
1386
1358
1384
1410
1461
1394
1401
1443
1446
1377
1367
1357
1447
1412
1407
1428
1373
1440
1399
1398
1368
1413
1437
1363
1371
1366
1385
1392
1476
1364
1374
1471
1383
1388
1421
1419
1403
1444
1448
1389
1387
1365
1456
1457
1380
1409
1434
1467
1379
1452
1378
1460
1359
1427
1414
1468
1441
1435
1402
1429
1464
1465
1466
1405
1381
1393

石核

図版60


1499
1500
1504
1503
1532
1505
1501
1533
1508
1506
1515
1507
1514
1513
1511
1502
1512
1510

磨製石斧1


1521
1517
1525
1519
1524
1523
1536
1534
1529
1531
1527
1520
1518
1509
1516
1522
1526
1530
1528

磨製石斧2

図版62

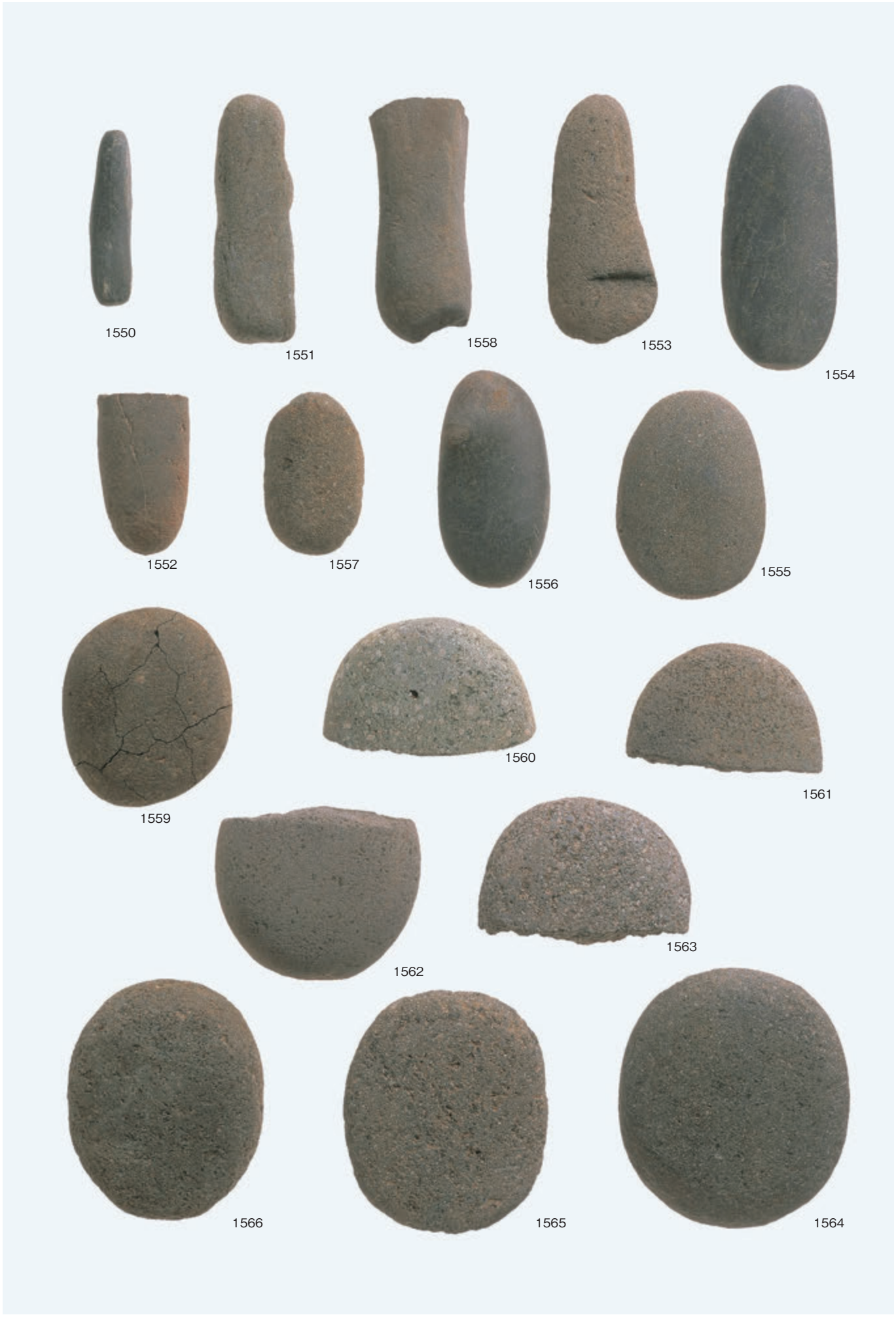

1482
1481
1483
1484
1535
1488
1487
1485
1491
1486
1497
1492
1496
1489
1490
1493
1494
1498
1495

磨製石斧3


1537
1538
1539
1540
1542
1541
1544
1546
1543
1547
1545
1548
1549

磨石・敲石 1

図版64


1550
1551
1558
1553
1554
1552
1557
1556
1555
1559
1560
1561
1562
1563
1566
1565
1564

磨石・敲石２


1582
1583
1584
1585
1586
1587
1588
1589
1590
1594
1592
1591
1593
1597
1595
1600
1599
1598
1596
1603
1601
1602

図版66



1568

表面



1568

裏面



1571

表面



1571

裏面



1570

表面 1



1570

表面2



1570

表面3



1570

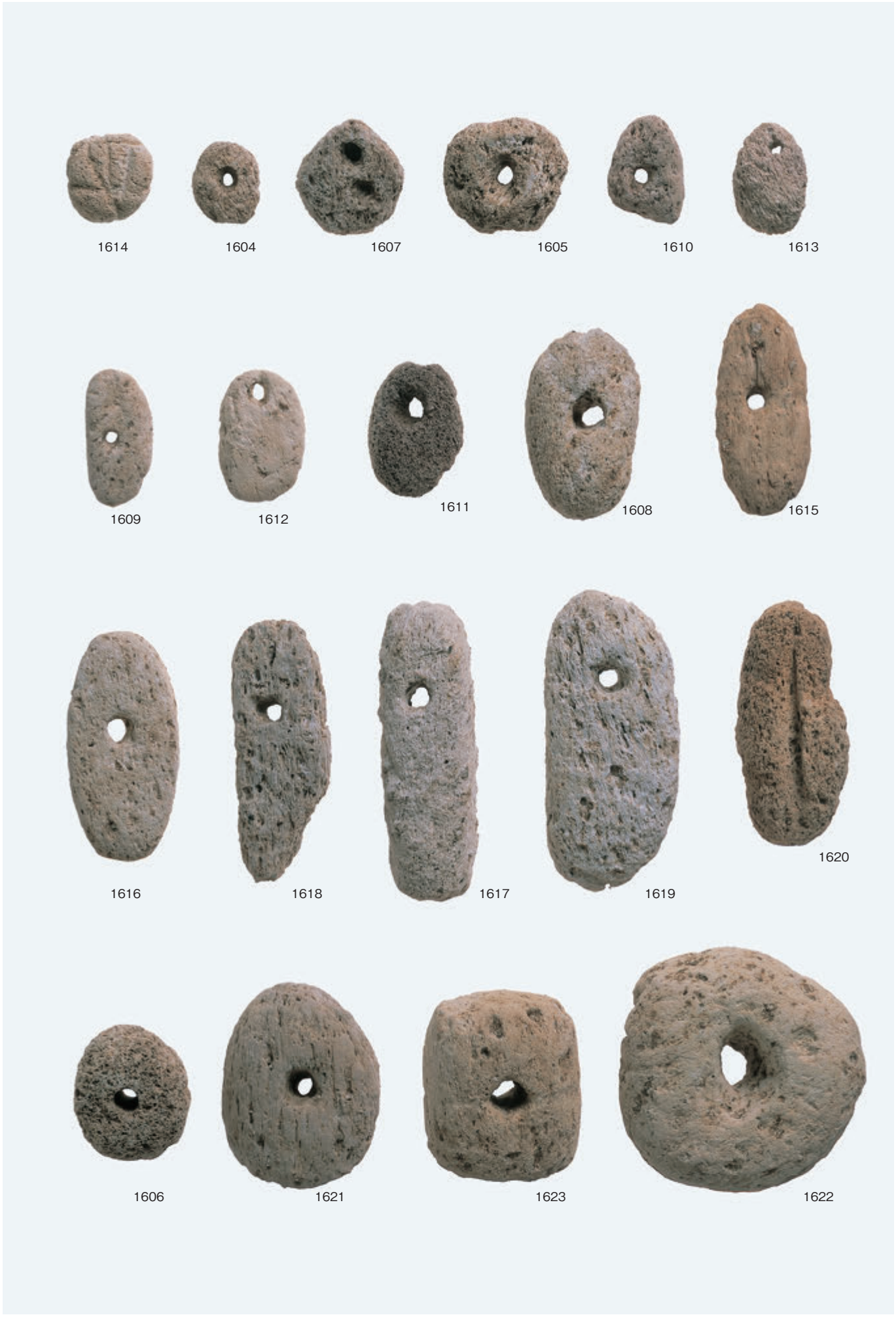
裏面

赤色顔料付着石器


1580
1581
1575
1574
1573
1572
1579
1569
1571
1568
1577
1567
1576
1578
1570

台石・石皿

図版68


1614
1604
1607
1605
1610
1613
1609
1612
1611
1608
1615
1616
1618
1617
1619
1620
1606
1621
1623
1622

軽石製品 1


1624


1625


1626

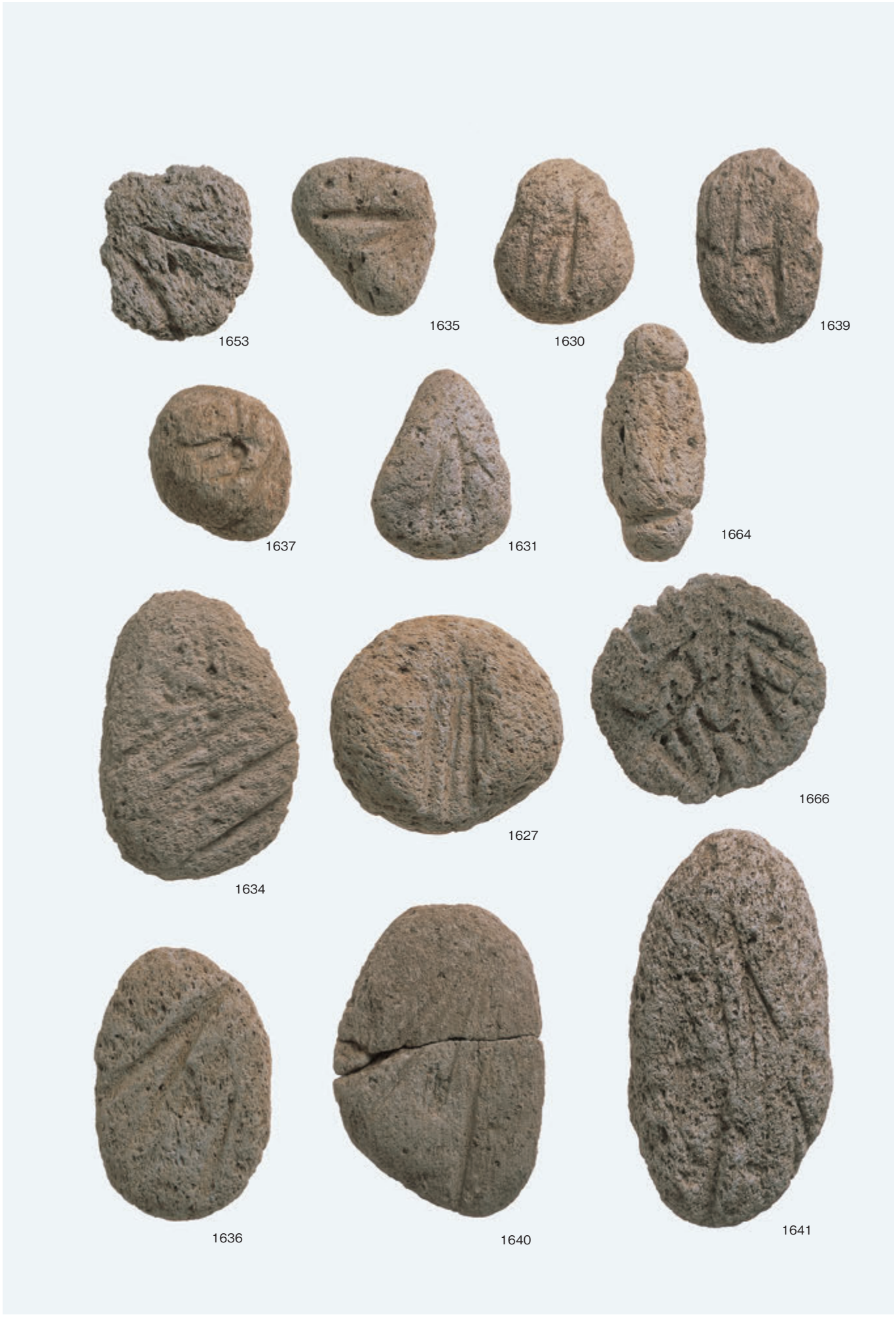

1662


1638


1670

軽石製品2

図版70


1653
1635
1630
1639
1637
1631
1664
1634
1627
1666
1636
1640
1641

軽石製品3


1677
1657
1673
1676
1670
1675
1656
1653
1674
1667
1672
1668
1654
1655
1669
1671
1666
1633
1627
1651
1641
1640
1645
1634
1652
1642
1636
1629
1647
1650
1648
1646
1639
1628
1632
1649
1659
1660
1630
1643
1658
1631
1644
1635
1637
1621
1623
1663
1665
1664
1604
1605
1609
1616
1661

軽石製品4

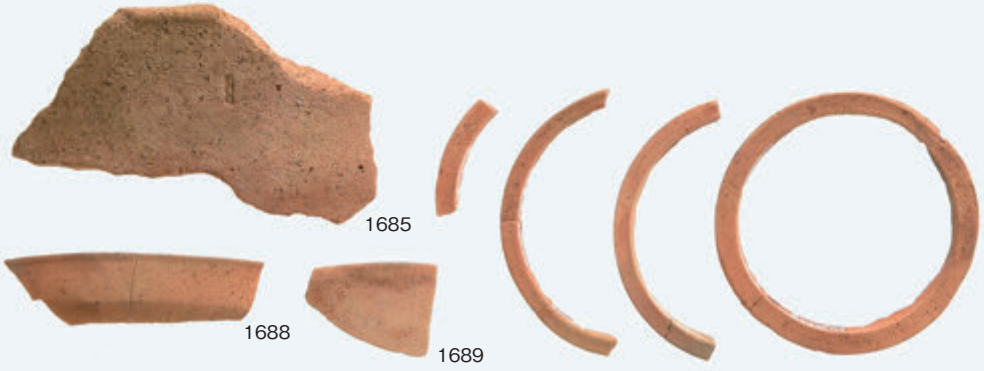
図版72









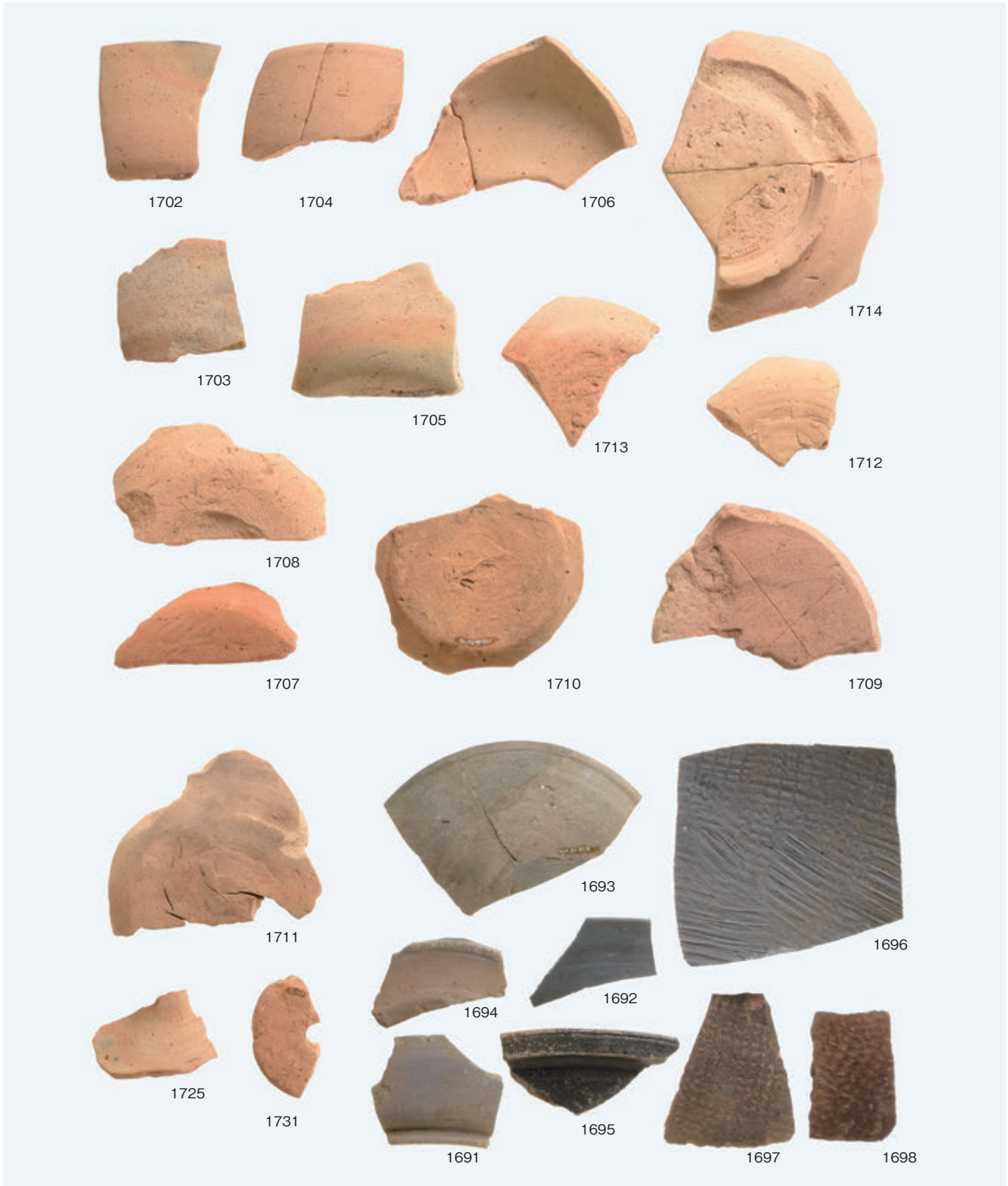


未掲載：土師器高台

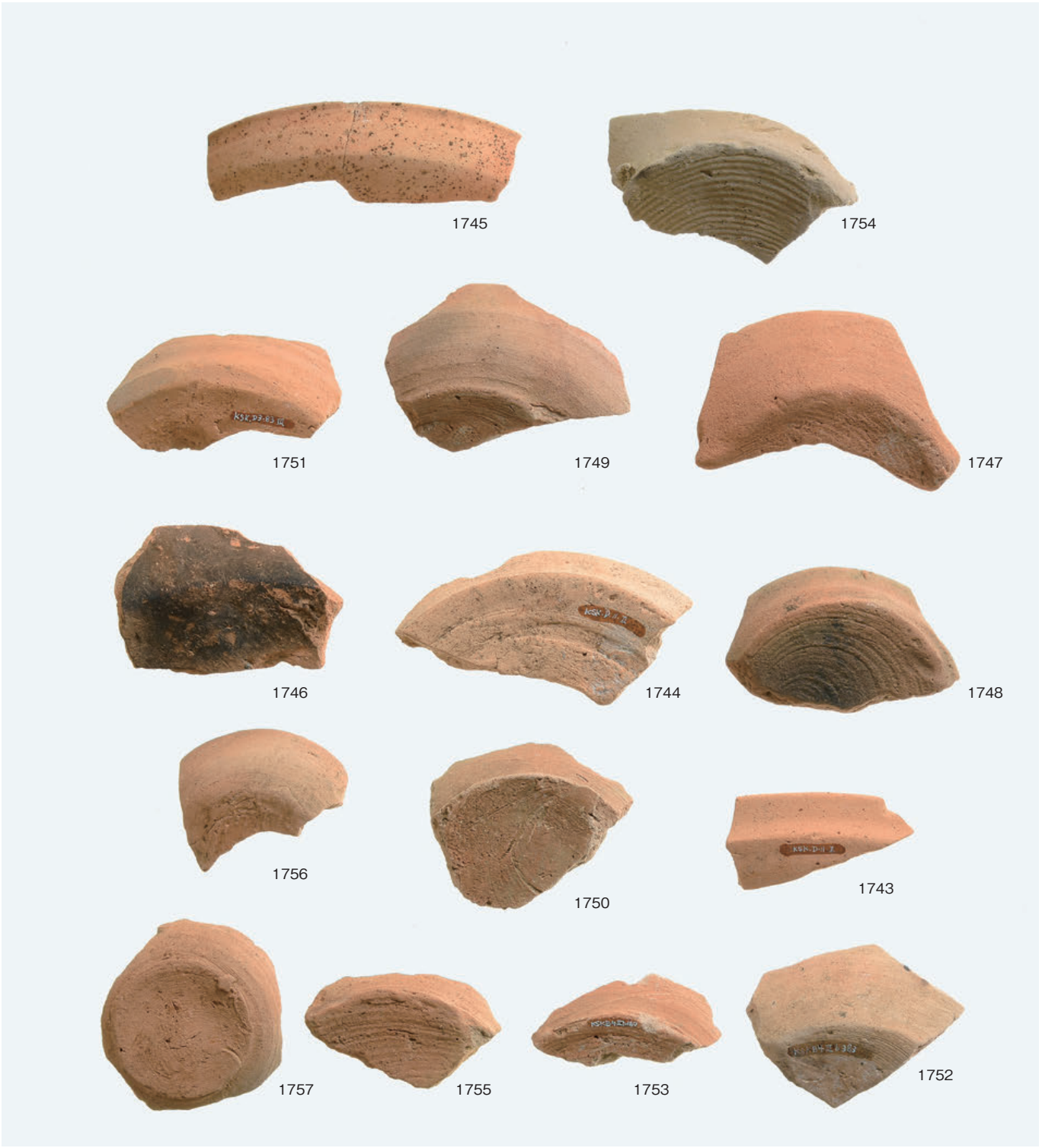
弥生・古墳～古代の遺物


1700
1701
1726
1699
1719
1724
1723
1722
1730
1729
1728
1727
1721
1716
1715
1718
1717
1720

図版74


1702
1704
1706
1714
1703
1705
1713
1712
1708
1707
1710
1709
1711
1693
1696
1694
1692
1725
1731
1691
1695
1697
1698
1734
1733
1738
1739
1735
1736
1737
1732

古代の遺物２


1745
1754
1751
1749
1747
1746
1744
1748
1756
1750
1743
1757
1755
1753
1752


1742
1690
1741

図版76


1759
1758
1765
1761
1760
1762
1764
1768
1763
1767
1782
1783
1781
1779
1780
1784
1775
1778
1776
1773
1777
1771
1787
1789
1788
1790
1774
1791
1792
1793
1772
1769
1770
1785
1796
1786
1797
1795
1794
1798
1799
1800
1801
1807
1805
1804
1806
1802
1803
1809
1808
1810
1811
1812

中世の遺物２


1766


1813

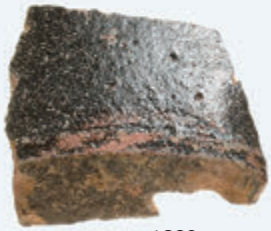

1818


1816


1817


1814


1815


1820

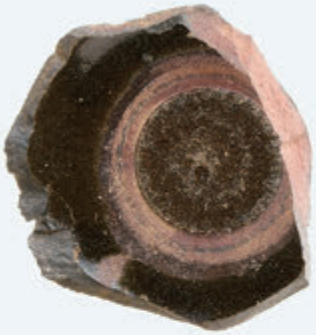

1819


1825


1829


1828


1826


1821


1823


1827


1822


1830


1824

中世・近世の遺物

鹿児島県立埋蔵文化財センター発掘調査報告書（203）
県道伊集院蒲生溝辺線改築に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

木佐木原遺跡

発行年月日　2020年３月
編集・発行　鹿児島県立埋蔵文化財センター
〒899－4318　鹿児島県霧島市国分上野原縄文の森２番１号
TEL　0995-48-5811

印　　刷　株式会社イースト朝日
〒891－0122
鹿児島県鹿児島市南栄３丁目30－７
TEL　099-266-5522　　FAX　099-266-5523


鹿児島県